国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外
建築主体工事

実施設計図

株式会社　ＫＲＣ

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面番号	工事種別	図面名称	縮尺(A1/A3)
000　共通			
A－001	意　匠	特記仕様書（１）〔木造〕	NON
A－002		特記仕様書（２）〔木造〕	NON
A－003		特記仕様書（３）〔木造〕	NON
A－004		特記仕様書（４）〔木造〕	NON
A－005		特記仕様書（５）〔木造〕	NON
A－006		特記仕様書（６）〔木造〕	NON
A－007		特記仕様書（７）〔木造〕	NON
A－008		特記仕様書（１）〔非木造〕	NON
A－009		特記仕様書（２）〔非木造〕	NON
A－010		特記仕様書（３）〔非木造〕	NON
A－011		特記仕様書（４）〔非木造〕	NON
A－012		特記仕様書（５）〔非木造〕	NON
A－013		特記仕様書（６）〔非木造〕	NON
A－014		特記仕様書（７）〔非木造〕	NON
S－001	構　造	構造特記仕様書〔木造〕	NON
S－002		構造特記仕様書（１）〔非木造〕	NON
S－003		構造特記仕様書（２）〔非木造〕	NON
S－004		鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	NON
S－005		鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	NON
S－006		鉄骨構造標準図（１）	NON
S－007		鉄骨構造標準図（２）	NON
S－008		木構造標準図（１）	NON
S－009		木構造標準図（２）	NON
S－010		木構造標準図（３）	NON
S－011		木構造標準図（４）	NON
共－001	共　通	工事区分表	NON
共－002		案内図	NON
共－003		全体配置図	1：800/1：1600
共－004		敷地求積図	1：800/1：1600
共－005		仮設計画図（１）	1：800/1：1600
共－006		仮設計画図（２）	1：800/1：1600

図面番号	工事種別	図面名称	縮尺(A1/A3)
100　クラブハウス			
A－101	意　匠	クラブハウス　配置図	1：200/1：400
A－102		クラブハウス　求積図・面積表	1：200/1：400
A－103		クラブハウス　仕上表	NON
A－104		クラブハウス　平面図	1：100/1：200
A－105		クラブハウス　屋根伏図	1：100/1：200
A－106		クラブハウス　立面図	1：100/1：200
A－107		クラブハウス　矩計図（１）	1：30/1：60
A－108		クラブハウス　矩計図（２）	1：30/1：60
A－109		クラブハウス　矩計図（３）	1：30/1：60
A－110		クラブハウス　矩計図（４）	1：30/1：60
A－111		クラブハウス　矩計図（５）	1：30/1：60
A－112		クラブハウス　矩計図（６）	1：30/1：60
A－113		クラブハウス　矩計図（７）	1：30/1：60
A－114		クラブハウス　矩計図（８）	1：30/1：60
A－115		クラブハウス　平面詳細図（１）	1：50/1：100
A－116		クラブハウス　平面詳細図（２）	1：50/1：100
A－117		クラブハウス　平面詳細図（３）	1：50/1：100
A－118		クラブハウス　部分詳細図（１）	1：10/1：20 1：5/1：10
A－119		クラブハウス　部分詳細図（２）	1：10/1：20 1：5/1：10
A－120		クラブハウス　部分詳細図（３）	1：10/1：20 1：5/1：10
A－121		クラブハウス　部分詳細図（４）	1：10/1：20 1：5/1：10
A－122		クラブハウス　部分詳細図（５）	1：20/1：40 1：10/1：20
A－123		クラブハウス　展開図（１）	1：50/1：100
A－124		クラブハウス　展開図（２）	1：50/1：100
A－125		クラブハウス　展開図（３）	1：50/1：100
A－126		クラブハウス　展開図（４）	1：50/1：100
A－127		クラブハウス　展開図（５）	1：50/1：100
A－128		クラブハウス　展開図（６）	1：50/1：100
A－129		クラブハウス　展開図（７）	1：50/1：100
A－130		クラブハウス　天井伏図	1：100/1：200
A－131		クラブハウス　ピット図	1：50/1：100
A－132		クラブハウス　建具キープラン	1：100/1：200
A－133		クラブハウス　建具表（１）	1：50/1：100
A－134		クラブハウス　建具表（２）	1：50/1：100
A－135		クラブハウス　建具表（３）	1：50/1：100
A－136		クラブハウス　サインキープラン	1：100/1：200
A－137		クラブハウス　サイン詳細図（１）	NON
A－138		クラブハウス　サイン詳細図（２）	NON
A－139		クラブハウス　雨水設備平面図	1：100/1：200
A－140		クラブハウス　外構詳細図	1：20/1：40
A－141		クラブハウス　法規チェック図	1：100/1：200
S－101	構　造	クラブハウス　木構造標準仕様	NON
S－102		クラブハウス　地盤改良工法仕様書	NON
S－103		クラブハウス　柱状図	NON
S－104		クラブハウス　基礎伏図	1：100/1：200
S－105		クラブハウス　基礎配筋図	1：50/1：100 1：30/1：60
S－106		クラブハウス　地盤改良伏図	1：100/1：200
S－107		クラブハウス　土台伏図	1：100/1：200
S－108		クラブハウス　梁伏図	1：100/1：200
S－109		クラブハウス　梁伏図（金物伏図）	1：100/1：200
S－110		クラブハウス　母屋伏図	1：100/1：200
S－111		クラブハウス　軸組図（１）	1：100/1：200
S－112		クラブハウス　軸組図（２）	1：100/1：200

図面番号	工事種別	図面名称	縮尺(A1/A3)
200　スタンド			
A－201	意　匠	スタンド　配置図	1：200/1：400
A－202		スタンド　求積図・面積表（１）	1：150/1：300
A－203		スタンド　求積図・面積表（２）	1：150/1：300
A－204		スタンド　仕上表	NON
A－205		スタンド　平面図	1：150/1：300
A－206		スタンド　屋根伏図	1：150/1：300
A－207		スタンド　立面図	1：150/1：300
A－208		スタンド　矩計図（１）	1：30/1：60
A－209		スタンド　矩計図（２）	1：30/1：60
A－210		スタンド　矩計図（３）	1：30/1：60
A－211		スタンド　矩計図（４）	1：30/1：60
A－212		スタンド　矩計図（５）	1：30/1：60
A－213		スタンド　矩計図（６）	1：30/1：60
A－214		スタンド　平面詳細図（１）	1：50/1：100
A－215		スタンド　平面詳細図（２）	1：50/1：100
A－216		スタンド　平面詳細図（３）	1：50/1：100
A－217		スタンド　平面詳細図（４）	1：50/1：100
A－218		スタンド　部分詳細図（１）	1：10/1：20 1：5/1：10
A－219		スタンド　部分詳細図（２）	1：10/1：20
A－220		スタンド　部分詳細図（３）	1：10/1：20
A－221		スタンド　部分詳細図（４）	1：20/1：40
A－222		スタンド　建具キープラン・建具表	1：50/1：100
A－223		スタンド　法規チェック図（１）	1：150/1：300
A－224		スタンド　法規チェック図（２）	1：150/1：300
S－201	構　造	スタンド　構造設計標準仕様	NON
S－202		スタンド　地盤改良工法仕様書	NON
S－203		スタンド　柱状図	NON
S－204		スタンド　ハイベース標準図（１）	NON
S－205		スタンド　ハイベース標準図（２）	NON
S－206		スタンド　地盤改良伏図・基礎リスト	1：150/1：300 1：30/1：60
S－207		スタンド　基礎伏図・梁伏図	1：150/1：300
S－208		スタンド　軸組図	1：150/1：300
S－209		スタンド　ＲＣ配筋詳細図・雑配筋詳細図	1：30/1：60
S－210		スタンド　ＲＣ部材リスト	1：30/1：60
S－211		スタンド　鉄骨詳細図・部材リスト	1：30/1：60

図面番号	工事種別	図面名称	縮尺(A1/A3)
300　トイレ			
A－301	意匠・構造	トイレ　配置図・面積表［トイレ１］	1：100/1：200
A－302		トイレ　配置図・面積表［トイレ２］	1：100/1：200
A－303		トイレ　仕上表・求積図［共通］	1：50/1：100
A－304		トイレ　平面詳細図・屋根伏図［共通］	1：50/1：100
A－305		トイレ　立面図［トイレ１］	1：50/1：100
A－306		トイレ　立面図［トイレ２］	1：50/1：100
A－307		トイレ　矩計図［トイレ１］	1：30/1：60
A－308		トイレ　矩計図［トイレ２］	1：30/1：60
A－309		トイレ　部分詳細図（１）［共通］	1：10/1：20
A－310		トイレ　部分詳細図（２）［共通］	1：10/1：20
A－311		トイレ　展開図［共通］	1：50/1：100
A－312		トイレ　ピット図・天井伏図［共通］	1：50/1：100
A－313		トイレ　建具キープラン・建具表［共通］	1：50/1：100
A－314		トイレ　床伏図・土台伏図［共通］	1：50/1：100
A－315		トイレ　梁伏図・小屋伏図［共通］	1：50/1：100
A－316		トイレ　基礎詳細図［トイレ１］	1：50/1：100 1：30/1：60
A－317		トイレ　基礎詳細図［トイレ２］	1：50/1：100 1：30/1：60
A－318		トイレ　壁量計算表［共通］	NON
400　付属棟			
A－401	意匠・構造	倉庫　配置図・面積表	1：100/1：200
A－402		倉庫　平面図・立面図・断面図	1：50/1：100 1：100/1：200
A－403		倉庫　矩計図・建具表	1：50/1：100 1：30/1：60
A－404		倉庫　構造図	1：100/1：200 1：30/1：60
A－405		シェルター　配置図・面積表	1：100/1：200
A－406		シェルター　詳細図	1：50/1：100
A－407		四阿　配置図・面積表	1：100/1：200
A－408		四阿　詳細図	1：50/1：100

工事名称　：　国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称　：　図面リスト

縮　尺　：　NON　　図面番号　：　Ａ－000

DATE　：　.　.

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体　工事設計図

仕様書　※ 本特記仕様書は、木造の建築物に適用する。

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　　長野市篠ノ井東福寺　南長野運動公園

2．工事種目

	建物名	構造	階数	延床面積	備考
1	クラブハウス	木　造	平屋建て	929.13㎡	
2	トイレ１	木　造	平屋建て	44.89㎡	
3	トイレ２	木　造	平屋建て	44.89㎡	

3．工事範囲

※「2．工事種目」すべてを工事範囲とする。

・「2．工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。

ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2　仮設工事	
3-1 土　工　事	
3-2 地業工事	
3-3 基礎工事	
4　木造工事	
5　軸組構法（壁構造系）工事	
6　軸組構法（軸構造系）工事	
7　枠組壁工法工事	
8　丸太組構法工事	
9　ＣＬＴパネル工法工事	
10　木工事	
11　防水工事	
12　石工事	
13　タイル工事	
14　屋根及びとい工事	
15　金属工事	
16　左官工事	
17　建具工事	
18　塗装工事	
19　内装工事	
20　断熱・防露、ユニット工事	
21　排水工事	
22　舗装工事	
23　植栽工事	

Ⅱ　建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて長野市建設工事共通仕様書による。

（2）（1）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築木造工事標準仕様書 令和７年版 」(以下、「木造標仕」という。)により、木造標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版 」(以下「標仕」という。)による。

（3）木造標仕で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）に抵触する場合には、関係法令等の適合（1.1.13）の規定を優先する。
なお、関係法令を遵守する場合は具体的な対応策について監督職員と協議すること。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

（3）本工事は特記あるものを除き、長野市契約規則及び工事請負契約書の記載事項による。

（4）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、木造標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）特記事項に記載の［　　］内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（6）Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達等の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。なお、特定調達品目か否かの判断基準は監督職員との協議による。

（7）長野市環境方針について
工事にあたっては、長野市環境方針(最新版)を充分に配慮し、設計書及び標準仕様書はもとより、環境に配慮した材料の仕様、廃棄物の発生抑制、アイドリングストップや省エネ重機の使用による省エネルギーの推進、低公害工事機材の使用、工事従業者への教育など、施工にあたって細心の注意を払うことにより、工事の環境への影響を極力少なくするよう配慮すること。なお、具体的な計画を、施工計画書に記載し実践するものとする。
また、循環型社会の構築への取り組みとして、リサイクル促進の観点から「長野市溶融スラグ入りコンクリート二次製品利用基準」に基づき、溶融スラグ入りコンクリート二次製品の積極的な利用に努めること。

（8）長野市公契約等基本条例に関する事項
受注者等は、法令を遵守するとともに、次に掲げる取組その他長野市公契約等基本条例第３条の基本理念に基づく必要な取組を行ない、公契約等を適正に履行するよう努めなければならない。
１）長野市公契約等基本条例の内容について、労働者等へ周知するとともに、事務所（作業所）等へポスターを掲示すること。
２）業務の一部を下請負者等に履行させるときは、長野市公契約等基本条例の内容について説明し、各々の対等な立場における合意に基づいて適正に契約を締結すること。
⊙ 長野市公契約等労働環境報告書１部及び施工体系図（共通仕様書に定められたもの）の写し１部を契約後速やかに監督職員へ提出すること。この場合、業務の一部を下請負者等に履行させるときは、下請負者等の労働環境報告書を取りまとめて提出すること。

（9）本工事における必要な諸手続等は原則として受注者において行うこと。

（10）工事の着手前に工事概要等を近隣住民等に周知するなど、理解協力を求めること。
また、工事車両の通行による道路の損傷には十分留意し、損傷が発生した場合は、道路管理者と協議のうえ受注者の責任において速やかに修復すること。

（11）工事区域外に土砂等を散乱することがないように注意すること。また、道路を汚した場合は速やかに清掃すること。

（12）作業時間、作業日、騒音振動等については、近隣住民に配慮し、関係法令を遵守することとし、事前に監督職員と協議のうえ、工事内容、施工条件等考慮して決めること。特に建設業法、建設リサイクル法には留意のこと。

（13）施設用途を充分に理解し、転倒防止、落下防止、衝突防止、足掛かり、指詰め防止、面取り等に配慮し、図示なくとも施工段階で考慮し安全性の高い施設になるよう努めること。

（14）諸材料については必要に応じ見本品または現品を提出し、監督職員の承諾を受け使用のこと。
ただし、JIS規格合格品等で監督職員がそれを確認できた場合はこの限りではない。

（15）施工上必要ある個所は、監督職員の指示により適切なる材料をもって養生を施し、急硬急乾凍結破損の防止をすること。

（16）施工するにあたり建築、電気設備、機械設備等の取合いを十分に検討すること。

（17）施工期間中の降雨等の排水については、任意仮設により水処理を行うこと。

（18）施工にあたり、必要最小限の樹木の枝打ち伐採は工事に含む。（監督職員と協議、承諾のうえとする）

（19）工事完了後検査不可能個所の施工にあたっては、必要に応じ監督職員の立会いのもとに施工のこと。

（20）工事完了後は速やかに工事現場内外の清掃、後片付け及び損傷個所の復旧補修をし、監督職員の確認を受けること。

（21）上記各事項に要する諸経費は全て受注者において負担する。

（22）工事しゅん工引渡し後特記あるものを除き、工事の施工に起因した不具合が生じた場合は、木造建物及び工作物１年間（受注者の故意または重大な過失による場合、５年間）以内に期日を定め補修工事をし、市建築課係員の検査を受けること。

（23）暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について
１）長野市が発注する建設工事（以下「発注工事」という。）において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否すること。また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
２）上記により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
３）発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

（24）過去の工事における瑕疵等を発見した場合は速やかに監督職員に報告すること。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和４年版） ⊙工事写真撮影ガイドブック（建築工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和５年版） ・建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）同解説・令和５年版（国土交通省官房官庁営繕部監修）
	② 週休２日工事	本工事は、週休２日工事の対象工事である。実施にあたっては、長野市週休２日工事実施要領により行う。 ※ 発注者指定型（通期） 本工事は、発注者指定型の週休２日工事である。当初予定価格において、４週８休以上の達成を前提とした経費補正を行っている。そのため、現場の閉所実績を確認し、４週８休未満の場合は、未達成として減額変更を行う。 ・ 施工者希望型 本工事は、施工者希望型の週休２日工事であり、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休２日に取組む旨を通知したうえで取組む工事である。当初予定価格において、４週８休以上達成を前提とした経費補正を行っている。そのため、４週８休未満の場合は、現場の閉所実績に応じた金額補正を行う。 また、希望しなかった場合は、未達成として減額変更を行う。
	③ 熱中症対策に資する現場管理費補正(試行)	本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して現場管理費の補正を試行的に実施する対象工事である。熱中症リスク軽減対策として、遮光ネット（足場に設置するものに限る）等の設置を予定し現場管理費の補正を求める場合は、受発注者間で必要な設置期間等を協議し、設計変更により対応する。 受注者は、事前（施工計画書等）に「熱中症リスク軽減に対する具体的対策内容」を記載し、竣工時に熱中症対策に資する現場管理の実績報告書を提出するものとする。
	④ 工事実績情報の登録	※ 適用する（工事カルテ：請負金額500万以上）　(1.1.4)
	⑤ 火災保険等	工事目的物及び工事用材料（支給材料を含む）について、次により保険を付す。 保険の種類　・ 火災保険　※ 建設工事保険（ ⊙ 水災害特約を含む ） 保険期間　工事着手から工事目的物引渡し日まで
	⑥ 書面の書式等	※長野市公共建築工事関係提出書類様式（令和４年度改定）による。　(1.1.5)(1.2.4)
	⑦ 品質計画	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。　(1.2.2) ※ 風速（Vo=30m/s） ※ 地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ※Ⅲ ・Ⅳ ） ※ 積雪区分　建告示第 1455 号　別表（ ・第25号　※第26号 ）
	8 電気保安技術者	・適用する　・適用しない　(1.3.3)
	9 条件明示項目	部分引渡し　・無　・有　範囲（　　）　(1.3.5) 引渡し時期：令和　年　月 部分使用　・無　・有　範囲（　　） 使用開始時期：令和　年　月 イメージアップ　・行う（　　）
	⑩ 発生材の処理等	※構外搬出適切処理　(1.3.11)
	⑪ 環境配慮	揮発性有機化学物を放散させる建築材料等　(1.4.1) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するとともに、次の１）から５）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ２）保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ３）接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを 放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ５）１）、３）及び４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
	⑫ 材料の品質等	建築材料等　(1.4.2) 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合はあらかじめ監督職員の承諾を受ける。 材料・機材等の製造業者は次の（1）から（6）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁 平成18年2月15日）に準拠した証明書を、監督職員に提出する。
	⑬ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑭ 技能士	(1.5.2) 適用工事種別 ／ 技能検定作業 仮設工事 ／ ⊙とび作業 鉄筋工事 ／ ⊙鉄筋組立作業 コンクリート工事 ／ ⊙型枠工事作業　⊙コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 ／ ⊙構造物鉄工作業 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ ／ ・コンクリートブロック工事作業 押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 ／ ・エーエルシーパネル工事作業 防水工事 ／ ・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙ系塗膜防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業　・セメント系防水工事作業 ⊙シーリング防水工事作業　⊙ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 ／ ・石張り作業 タイル工事 ／ ⊙タイル張り作業 木工事 ／ ⊙大工工事作業 屋根及びとい工事 ／ ⊙内外装板金作業　・スレート工事作業　・瓦葺き作業 金属工事 ／ ・鋼製下地工事作業　・内外装板金作業 左官工事 ／ ⊙左官作業 建具工事 ／ ⊙ビル用サッシ施工作業　⊙ガラス工事作業　⊙自動ドア施工作業 塗装工事 ／ ⊙建築塗装作業 内装工事 ／ ⊙プラスチック系床仕上げ工事作業　⊙カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上げ工事作業　⊙ボード仕上げ工事作業 ⊙壁装作業 排水工事 ／ ⊙建築配管作業 舗装工事 ／ ・浴槽ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業　・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業 植栽工事 ／ ・造園工事作業
	15 見本施工の実施	・実施する　・実施しない　(1.5.5)
	⑯ 化学物質の濃度測定	(1.5.10) 設計書の仕様のみならず、ＶＯＣ等濃度を下げる施工方法を提案し、かつ、しゅん工前に「厚生労働省が定める室内濃度に関する指針値」によるＶＯＣ測定（対象物：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン）を行い、指針値以下であることを確認する。また、測定により指針値を超えた場合、監督職員との協議により必要な措置（強制換気等による対象物質の放散法、ＶＯＣ等の吸収、分解法他、工期の延期及び再検査等）を講ずるものとする。 測定結果について、測定時の室温を記載した報告書を監督職員に提出すること。 測定はアクティブ方式にて行う。 着工前の測定　※ 行わない　・行う 測定対象室：多目的室Ａ・Ｂ、ロッカールームＤ・Ｆ、管理事務室、医務室、審判員控室 測定箇所数：７箇所
	⑰ 技術検査	中間技術検査　・ 行わない　(1.6.2) ※ 行う（※建て方完了時　・　　） ※ 行う（長野市建設工事中間検査実施要領第３（契約金額5000万以上））
	⑱ 完成図等	完成図　(1.7.1～2)(表 1.7.1) ※ 作成する 様式等 ／ 作成方法 ／ 部数 ／ 備考 建築主体原図 ／ CADデータ ／ 1 ／ 総合版製本 ／ 見開きＡ1製本 ／ ／ 総合版製本 ／ 見開きＡ3製本 ／ 3 ／ ※　製本については、白焼きとし、背表紙に年度と工事名、表紙に年度、工事名、設計者名、工事監理者名、施工者名、工期しゅん工日を印刷する。 ※　電気設備工事、機械設備工事等が別途発注されている場合は総合版で提出すること。 ※　CADデータの提出は、CDにjww形式（SXF対応拡張線色・線種）で保存したものを１部提出する。
	保全に関する資料	(1.7.3) ※ 作成する　提出部数２部 なお、「建築物等の利用に関する説明書」は、建築物等の利用に関する説明書作成の手引き（国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課保全指導室）を参考に、保全に関する事項について作成すること。
	⑲ 電子納品に関する事項（試行）	※適用する　・適用しない（国庫補助事業による工事） 竣工書類の電子納品について、受注者が電子媒体の提出を希望し、発注者（長野市の工事担当課）がこれを認めた場合に適用する。 電子納品は「工事書類の電子納品に関する運用の手引き」に基づくものとする（図面関係、写真関係のみ）。なお、電子納品における書類の作成費用等は工事費の諸経費（共通仮設費の率分）に含まれ、検査に要する費用においても受注者の負担とする。
	⑳ 情報共有システム	(1.1.5) 本工事は、情報共有システムを利用できる工事である。利用にあたっては、長野市情報共有システム実施要領により行う。 利用するシステムは「長野市情報共有システム機能仕様書」を満たすものから受注者が選択し、事前に監督員の承諾を受けるものとする。 情報共有システム利用に要する費用（登録料及び利用料）は、共通仮設費の積み上げによる算定とし、設計変更により対応する。
	㉑ 完成写真	⊙作成する　・作成しない　(1.7.2) 下記のものを監督職員に提出する。ただし、板は撮影業者の保管とする。 分類・規格 ／ 撮影箇所数 ／ 提出部数 ／ 原板の大きさ（mm） ※カラー　※ 2L判 ・ ｷｬﾋﾞﾈ判 ／ 外部（ 27 ）内部（ 32 ） ／ ※ 1 ／ ※ 100×125 以上 ・カラー半切木製パネル 324×400（mm） ／ 外部（　）内部（　） ／ ※ 2 ／ ・ ※電子データ（ﾌｫﾙﾀﾞｰ＋ｻﾑﾈｲﾙ） ／ 外部（ 27 ）内部（ 32 ） ／ ※ 1 ／ ※ 428 万画素以上 ※ 350 dpi以上 電子データは、RGB 各 8 ビット（フルカラー）、JPEG 形式最高画質としCD-Rに提出する。 撮影業者は監督職員の承諾する撮影業者（建築完成写真撮影の実績のある業者）とする。
	㉒ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	㉓ 設計ＧＬ	※ 図示　・ 設計ＧＬ＝ 現状ＧＬ
	㉔ 工事写真	・「営繕工事電子納品要領（令和３年改定）」による ・着工前状況及び完成後の工事写真について電子データで１部提出すること。
	25 工事数量総括表	・有り　・なし

2 仮設工事	① 足場その他	足場を設ける場合、「標仕」2.2.4（b）によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行うこと。　(2.2.4)
	2 監督職員事務所	・設ける　（　　）㎡程度　※設けない　(2.3.1) 設ける備品（机、椅子、書棚、行事予定表、長机、雨合羽、懐中電灯、安全帯、更衣ロッカー、時計、事務用品、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ、冷暖房、冷蔵庫、電話、インターネット回線、プリンター、コピー機）
	③ 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※ 有償　・ 無償）
	④ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※ 有償　・ 無償）
	⑤ 交通誘導員	※ 配置する　（延べ 280 人）　・配置しない
3 土・地業・基礎工事	① 埋戻し及び盛土	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.1)
	② 建設発生土の処理	・ 現場説明書による　※ 構外搬出適切処理　(3.2.1) ⊙ 構内指示の場所にたい積　⊙ 構内指示の場所に敷き均し ※ 本工事の残土搬出先は○○○株式会社（長野市○○○）、運搬距離は○○km、第○種発生土を想定しています。残土搬出先は積算上の参考処分場であり、指定するものではありません。なお、参考処分場以外に搬出する場合（自社処分場、無償処分地、参考処分地での受け入れが不可により他の有料処分地）土質区分が想定と異なる場合は、変更協議の対象とする。
	3 山留め	山留めの撤去　・有り　・なし　(3.2.1) 山留め撤去跡の処理　（・　　・砂充填　）
		３節 地業 及び ４節 基礎工事は木造建築特記仕様書（構造関係）による
4 木造工事	① 材料	使用する材料は図示及び特記による指定並びに木造標仕各章の規定による。 ※ 信州木材認証製品又は同等品（長野市産材）を極力使用すること ・ 材料のホルムアルデヒド放散量 ※ 木造標仕 4.2.1(2)による　(4.2.1)

製材 Ⓖ　(4.2.2(1))

JAS 1083-3,-4 による構造用製材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種	構造材の種類	等級 目視等級	等級 機械等級	材面の品質		含水率
・ 土台	ﾋﾉｷ	甲種Ⅱ	・1級 ・2級 ・3級				・D15・D20・D25
・ 柱	ｽｷﾞ	乙種		・E50 ・E70	・２方	・無節	
・ 隅柱		乙種		・E90 ・E110 ・E130 ・E150	・３方 ・４方	・上小節 ・小節	・D15・D20・D25
・ 管柱	ｽｷﾞ	乙種					
・ 梁	ｽｷﾞ	甲種Ⅱ					
・ 胴差	ﾍﾞｲﾏﾂ						
・ 桁							
・ 母屋							
・ 棟木							
・ 根太							
・ たる木							

JAS 1083-4 による広葉樹製材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種	等級	含水率	備考
・	ケヤキ	・特等 ・1等 ・2等	・D10 ・D13	
・	なら			

加工前の縦振動ヤング係数測定部位　※図示

無等級材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種	材面の品質		含水率	備考
⊙ 柱	杉	特一等		20%	K0・機械等級E50相当
⊙ 梁、母屋	唐松	特一等		20%	K0・機械等級E70相当
⊙ 小屋束	杉	特一等		20%	K0・機械等級E50相当
⊙ 上記以外	杉	上小節		20%	K0

無等級材の縦振動ヤング係数測定部位　※図示　⊙全て

国土交通大臣指定を受け基準強度の数値を指定された製材の含水率　※図示　・　%

枠組壁工法構造用製材 Ⓖ　(4.2.2(2))

JAS 0600に基づく甲種枠組材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種名又は樹種群	寸法型式名	乾燥材、未乾燥材の別	材面の品質
・	ﾊﾞｲﾝ		・乾燥材 ・未乾燥材	・特級・1級・2級・3級
・				

JAS 0600に基づく乙種枠組材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種名又は樹種群	寸法型式名	乾燥材、未乾燥材の別	材面の品質
・	ﾊﾞｲﾝ	・104・204・210	・乾燥材 ・未乾燥材	・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ
・				
・				

JAS 0600に基づくＭＳＲ枠組材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種名又は樹種群	ＭＳＲ等級（曲げ・引張）	寸法型式名	乾燥材、未乾燥材の別
・	ﾊﾞｲﾝ		・104 ・204 ・210	・乾燥材 ・未乾燥材

枠組壁工法構造用たて継ぎ材 Ⓖ　(4.2.2(3))

JAS 0600に基づくたて用たて継ぎ材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種名又は樹種群	寸法型式名	備考
・	ﾊﾞｲﾝ		
・			

株式会社　ＫＲＣ
一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号
一級建築士　第293052号　遠利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図

特記仕様書（１）〔木造〕　令和７年度

縮尺 NON

図面番号 A-001

JAS 0600に基づく甲種たて継ぎ材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種名又は樹種群	寸法型式名	備考
・	ﾊﾟｲﾝ	・205 ・212	

JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種名又は樹種群	寸法型式名	備考
・	ﾊﾟｲﾝ	・203 ・204	

JAS 0600にMSRたて継ぎ材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種名又は樹種群	寸法型式名	備考
・	ﾊﾟｲﾝ		

下地用製材 G　(4.2.2(4))

JAS 1083-5に基づく下地用製材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種名	等級	含水率	備考
・	桧	・1級 ・2級	・D15 ・D20	
・	杉			

集成材 G　(4.2.2(5))

JAS 1152に基づく構造用集成材　（※下表による（寸法は図示）　⊙図示 ）

施工部位	樹種名 最外層	樹種名 中間層	品名	強度等級（曲げ性能）	材面の品質	接着性能（使用環境）	保存処理（性能区分）
通し柱			・異等級構成集成材	・	・1種	・A	・K3
梁			・同一等級構成集成材		・2種	・B	
間柱					・3種	・C	

JAS 1152に基づく化粧ばり構造用集成材　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	樹種名 芯材	樹種名 化粧薄板	曲げヤング係数	曲げ強さ	見付材面の化粧面数	備考
通し柱						
梁						
間柱						

構造用単板積層材 G　(4.2.2(6))

JAS 0701に基づく構造用単板積層材

・A種構造用単板積層材

・B種構造用単板積層材

施工部位	接着性能（使用環境）	樹種名	曲げヤング係数区分	曲げ性能等級（A種構造用単板積層材のみ）	水平せん断区分	保存処理（性能区分）
	・A ・B ・C		・	・特級 ・1級 ・2級	・	・
・						

直交集成板 G　(4.2.2(7))

JAS 3079に基づく直交集成板　（※下表による（寸法は図示）　・図示 ）

施工部位	品名	樹種名	強度等級（曲げ性能）	種別	ラミナの等級区分 ラミナの樹種群等級	接着性能（使用環境）
・	・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板	・	・	・A種構成 ・B種構成	・	・A ・B ・C
・						

丸太材 G　(4.2.2(8))

施工部位	樹種名	寸法(mm)	含水率	末口径(mm)
・	・	・	・20%以下	・
・				

・加工前に縦振動ヤング係数を測定する施工部位（対象部材：　　）

木質接着成形軸材料 G　木質複合軸材料 G　(4.2.2(9))

形状、寸法　※図示　・（　　）

含水率（　　%）

2　構造用面材 G

構造用面材　(4.2.2(10))

JIS A 5905に基づくMDF G

施工部位	普通、構造用MDFの区分	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)	難燃性による区分
・	・普通MDF ・構造用MDF	・無研磨板 ・研磨板 ・塗装 ・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ	・30タイプ ・25タイプ ・15タイプ ・5タイプ	・耐水1（Mタイプ） ・耐水2（Pタイプ）	・	・難燃2級 ・難燃3級
・	・	・	・	・	・	・

JAS 0233に基づく構造用合板 G

施工部位	品名	強度等級 曲げ性能	接着の程度	厚さ(mm)	板面の品質	単板の樹種名
	・構造用合板 ・構造用合板（防虫処理） ・構造用合板（さね加工）	・1級 ・2級	・特類 ・1類	・	・C-D ・	・
・	・	・	・	・	・	・

JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板 G

施工部位	品名	接着の程度	厚さ(mm)	板面の品質	単板の樹種名
	・化粧ばり構造用合板 ・化粧ばり構造用合板（防虫処理） ・化粧ばり構造用合板（さね加工）	・特類 ・1類	・	・	・
・	・	・	・	・	・

JAS 0360に基づく構造用パネル G

施工部位	厚さ(mm)	曲げ性能等級（常態曲げ試験）	曲げ性能等級（湿潤曲げ試験）
・	・	・1級 ・2級 ・3級 ・4級	・1級 ・2級 ・3級 ・4級
・	・	・	・

3　接合金物、接合具等

JIS A 5908に基づくパーティクルボード G

施工部位	種類	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)
・	・	・無研磨板 ・研磨板 ・	・13タイプ ・18タイプ ・	・耐水1（Mタイプ） ・耐水2（Pタイプ）	・
・	・	・	・	・	・

JIS A 5905に基づくハードファイバーボード G

施工部位	種類		難燃性による区分	厚さ(mm)
	・スタンダードボード（無処理）	・テンパードボード（処理）		
・	・素地ハードボード ・無研磨板 ・研磨板 ・内装用化粧ハードボード ・曲げ強さによる区分 ・35タイプ	・素地ハードボード ・無研磨板 ・研磨板 ・外装用化粧ハードボード ・曲げ強さによる区分 ・45タイプ ・35タイプ	・2級 ・3級	・
・	・	・	・	・

JIS A 5404に基づく硬質木片セメント板 G

施工部位	断面形状	重ねしろの有無	厚さ(mm)
・	・平板 ・凹凸板	・有り ・無し	・
・	・	・	・

JIS A 6901に基づく石こうボード

施工部位	種類	厚さ(mm)
・	・構造用せっこうボード（GB-St-A）	・
・	・構造用せっこうボード（GB-St-B）	・
・	・せっこうボード（GB-R）	・
・	・強化せっこうボード（GB-F）	・
・	・せっこうラスボード（GB-L）	・
	・	・

JIS A 5905に基づくシージングボード

施工部位	厚さ(mm)
・	・12 ・15 ・18
・	・

JIS A 5524に基づくラスシート

施工部位	ラス目による区分	山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分	板厚(mm)
・	・モルタル下地用(M)	・LS1 ・LS2 ・LS3 ・LS4	・
・	・	・	・

JIS A 5430に基づくフレキシブル板

施工部位	厚さ(mm)
・	・6 ・8
・	・

JIS A 5440に基づく火山性ガラス質複層板（VSボード）

施工部位	密度による区分（g/cm3）	曲げ強度（N/mm2）	厚さ(mm)
・	・0.6以上 0.8未満 ・0.8以上	・11.5以上	・
・	・	・	・

木質断熱複合パネル G　木質接着複合パネル G

施工部位	形状	厚さ(mm)	含水率
・	・	・	・
・	・	・	・

接合金物　(4.2.7)

施工部位及び接合金物名称、記号、寸法は図示による

接合金物規格		
	⊙Zマーク表示金物	⊙Cマーク表示金物
	・Mマーク表示金物	・χマーク表示金物
	⊙Dマーク表示金物	⊙Sマーク表示金物

屋外環境下の使用金物

⊙溶融亜鉛めっき製　・鋼板製　・ステンレス製

接合具等

釘、木ねじ、特殊ねじ

使用部位	種類	記号	規格	表面処理	備考
・せっこうボード耐力壁	せっこうボード用釘	PW	大臣認定品		
		GNF	JIS A 5508		
・構造用合板耐力壁 ・床下地 ⊙屋根下地 ・火打ち土台 ⊙間柱	普通鉄丸釘	N	JIS A 5508	※鉄 ・SUS	
	太め鉄丸釘	CN			
	ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ用釘	SN			
	太め釘	ZN			
⊙接合金物	太め釘	ZN	日本住宅		
	平釘	ZF	木材技術	JIS H 8641	Zﾏｰｸ表示
	スクリュー釘	ZS	ｾﾝﾀｰ規格		

ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金

ボルト、ナットはJIS B 1180、JIS B 1181による

引張り応力を受けるボルトに用いる座金

⊙A種 ⊙B種 ⊙C種 ・D種 ・E種 ・F種 ・G種

せん断応力を受けるボルトに用いる座金

⊙H種 ・I種 ・J種 ・K種 ・L種

ラグスクリューの材質、形状、寸法　※図示　・（　　）

ドリフトピンの径、寸法　※図示　・（　　）

木栓及びダボの樹種、形状、長さ　※図示　・（　　）

接着剤

床鳴り防止用接着剤の適用　・適用する　・適用しない

床鳴り防止用接着剤の種類　※図示　・（・一般用 ・構造用Ⅰ類 ・構造用Ⅱ類 ）

接着剤併用接合の適用　・適用する（部位 ※図示　・　）・適用しない

併用接着剤の種類　※図示　・（ 床根太用接着剤 JIS A 5550 ）

輪型ジベル接合、圧入型ジベル接合

施工部位	種類	材質、形状、寸法等
・	・	・
・	・	・

4　防腐・防蟻処理

防腐・防蟻処理　(4.3.1)

工場における薬剤の加圧注入等

施工部位（適用部材）	保存処理の性能区分
⊙土台（トイレ棟）	・K2又はA03 ⊙K3又はA02 ・K4又はA01
・	・

木造標仕4.3.1(1)(7)(b)に基づく加圧式保存処理

施工部位（適用部材）	保存処理の性能区分	インサイジング
・	・K2又はA03相当・K3又はA02相当・K4又はA01相当	・適用・適用なし
・	・	・

⊙ 薬剤の塗布等　（処理の方法　※ 木造標仕4.3.1による）

適用部位（ＧＬから高さ１ｍの範囲）

・ 薬剤の接着剤への混入による防腐防蟻処理

・ 合板等の加圧注入等による防腐防蟻処理

・ 防蟻性能のある断熱材

施工部位	防蟻性能	断熱性能（熱伝導率 W/m･k）	断熱材の厚さ(mm)
・	・	・	・
・	・	・	・

土壌の防蟻処理　(4.3.3)

・行う（薬剤名：　　使用量：　　）　・行わない

防腐措置　(4.3.4)

・床下換気

基礎外周部の換気孔（・ねこ土台　・換気孔　）

⊙小屋裏換気

換気方法（木造標仕4.3.4(3)　・(a)・(b)⊙(c)・(d)・(e)　）

換気孔の大きさ（※図示による）

5　防耐火処理等

防火被覆の材料及び工法　(4.4.2)

・防火被覆材

施工部位	材料	厚さ(mm)	防火被覆処理 留付け対の種類	防火被覆処理 留付け間隔(mm)	留付ける各層の防火被覆詳細 下地材への留付け長さ	留付ける各層の防火被覆詳細 端あき距離(mm)	留付ける各層の防火被覆詳細 接着剤の使用	留付ける各層の防火被覆詳細 目地等の処理方法
・	・	・	・	・	・	・	・	・図示
・	・	・	・	・	・	・	・	・

・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理（※図示による　）

不燃処理木材等　(4.4.4)

施工部位（適用部材）	材料規格等 ・不燃材料	・準不燃材料	・難燃材料
・	・	・	・

6　鋼材等の接合

鋼材と木材の接合　(4.5.1)

・当該木材と鋼材の接合部分

接合部位（施工部位）	接合詳細	工法適用の有無
・	・	・
・	・	・

5　軸組構法（壁構造系）工事

6　軸組構法（軸構造系）工事

1　木材の加工

現寸図　(5.4.2)(6.4.2)

床書き現寸図の作成

・行う　⊙行わない

孔あけ加工　(5.4.6)(6.4.6)

ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ

※ 表5.4.2又は表6.4.2による　・（　　）

ドリフトピンの孔径

※ ピン径と同径　・（　　）

表面仕上げ　(5.4.7)(6.4.7)

見え掛り面の仕上げの程度

⊙機械加工

施工部位（適用部材）	仕上の程度
⊙ 見え掛かり部	※プレーナー加工仕上 ・超自動機械かんな掛け仕上げ ・サンダー掛け仕上げ
・	・

・手加工

施工部位（適用部材）	仕上の程度
・	・斜めから光線を当て、さか目、かんなまくれが全くないもの ・さか目、かんなまくれがほとんどないもの ・多少のさか目、かんなまくれを許容するが、のこ目が見えないもの

見え掛り面の表面保護　[18,12.2][表18,12.1]

工事現場搬入前の木材保護塗料塗り

・行う（ ※標仕18章12節 木材保護塗料塗り(WP)　・　）

施工部位（適用部材）	種別
・	・A種 ・B種

2　搬入及び建方

アンカーボルトの設置等　(5.5.3)(表5.5.1)(6.5.3)(表6.5.1)

施工部位	埋込み深さ(mm)	保持及び埋込み工法	埋込み位置の許容誤差
⊙土台	⊙図示による	・A種 ⊙B種	※±5mm ・
・	・	・	・

基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ　(5.5.4)(表5.5.2)(6.5.4)(表6.5.2)

施工部位	無収縮モルタル	モルタルの厚さ(mm)	柱底均しモルタルの工法
・	・適用する ・適用しない	・図示による ・	・A種 ※B種
・	・	・	・

建方精度　(5.5.7)(6.5.7)

建入れ直し後の水平、垂直の誤差の範囲

※ 1/1000以下　・

7　枠組壁工法工事

1　材料

材料　(7.2.2)

国土交通大臣の認定を受けた耐力壁に使用する枠組材の含水率

※15%以下　・　%以下

国土交通大臣の指定を受けたもので、基準強度の数値を指定された木材の含水率

※20%以下　・　%以下

接合金物、接合具等　(7.2.3)

木質構造用ねじ

※木造特記仕様書「4 木造工事　材料」による

建築基準法施行規則第８条の３の認定工法を受けた耐力壁に用いる接合具

・

2　搬入及び建方

アンカーボルトの設置等　(7.5.3)(表7.5.1)

施工部位	埋込み深さ(mm)	保持及び埋込み工法	埋込み位置の許容誤差
・	・図示による	・A種 ・B種	※±5mm ・
・	・	・	・

基礎天端均しモルタルの仕上げ　(7.5.4)

施工部位	埋込み深さ(mm)	モルタルの厚さ(mm)
・	・適用する ・適用しない	・図示による ・
・	・	・

ラグスクリューの工法　(7.5.10)

構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリューの取付け方法

・図示による　・埋め木　・

3　床版

床パネル　(7.7.1)

床根太の転び留め

・設ける　・設けない

床根太トラス

・使用する　・使用しない

床版材料

・直交集成板　・木質断熱複合パネル　・木質接着複合パネル

大引又は床束を用いる場合　(7.7.2)

床束の種別

・木製床束

・鋼製床束（仕様及び設置方法　※図示による　・　）

・樹脂製床束（仕様及び設置方法　※図示による　・　）

4　小屋組等

小屋組及び屋根パネル　(7.9.1)

屋根版材料

・直交集成板　・木質断熱複合パネル　・木質接着複合パネル

3　軸組

接合金物の工法　(5.5.9)(6.5.9)

面材の取付けに必要な場合の木材への彫り込み

※ 行わない　・図示による

釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法　(5.5.10)(6.5.10)

構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち

・隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し

構造材を仕上材として用いる場合の木ねじの留付け

※木ねじ頭埋め木　・

各種ボルトの工法　(5.5.11)(6.5.11)

構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部のボルトの取付け方法

・図示による　・埋め木　・

ラグスクリューの工法　(5.5.12)(6.5.12)

構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリューの取付け方法

・図示による　・埋め木　・

ドリフトピンの工法　(5.5.13)(6.5.13)

構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部のドリフトピンの取付け方法

・ 図示による　・埋め木

4　小屋組

火打梁　(5.7.8)(5.8.6)(6.7.8)(6.8.6)

⊙木製火打梁

・鋼製火打梁

・Ｚマーク表示金物火打金物（・ＨＢ　・ＨＢ－Ｓ）

5　床組

床束の種別　(5.8.2)(6.8.2)

・木製床束

・鋼製床束（仕様及び設置方法　※図示による　・　）

・樹脂製床束（仕様及び設置方法　※図示による　・　）

6　壁

軸組耐力壁　(5.9.2)(6.9.2)

⊙木筋かい

・鉄筋筋かい

材料　・図示による　・

留付け方法及び接合金物・接合具の種類　・図示による　・

大壁造の面材耐力壁　(5.9.3)(6.9.3)

・ラスシートの留付けに使用する釘又はドリリングタッピンねじの留付け間隔

・ 図示による　・

真壁造の面材耐力壁　(5.9.7)(6.9.7)

間渡し竹の種類　（ ・マダケ　・シノチク ）

土塗り壁の厚さ　（・　mm　※ 図示 ）

大臣認定耐力壁　(5.9.10)(6.9.10)

国土交通大臣が認定した耐力壁の適用

・適用する（適用部位：　・図示による）　・適用しない

株式会社　ＫＲＣ

一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号

一級建築士　第293062号　護利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図

特記仕様書（２）〔木造〕

令和７年度

縮尺 NON

図面番号 A-002

8 丸太組構法工事

1 材料

接合金物、接合具 (8.2.4)

だぼの適用
- 木だぼは、(4.2.7(2)(e))材料による
- 鋼製だぼは、木造標仕8.2.4(7)(b)による
- ラグスクリューだぼ
- Zマーク表示金物だぼ　・Zマーク表示金物以外のだぼは、図示による

2 木材の加工

丸太組壁用木材の表面仕上げ (8.4.5)

見え掛り面の仕上げの程度
- 機械加工

施工部位（適用部材）	仕上の程度
・	※プレーナー加工仕上 ・超自動機械かんな掛け仕上げ ・サンダー掛け仕上げ
・	・

- 手加工

施工部位（適用部材）	仕上の程度
・	・斜めから光線を当て、さか目、かんなまくれが全くないもの ・さか目、かんなまくれがほとんどないもの ・多少のさか目、かんなまくれを許容するが、のこ目が見えないもの ・ちょうな仕上げ

見え掛り面の表面保護 [18.12.2][表18.12.1]

工事現場搬入前の木材保護塗料塗り
- 行う（ ※標仕18章12節 木材保護塗料塗り(WP) ・ ）

施工部位（適用部材）	種別
・	・A種　・B種

丸太組壁の仮組立　・行う　・行わない (8.4.9)

手加工による丸太組壁加工材の場合は仮組立てを行う

3 搬入及び建方

アンカーボルトの設置等 (8.5.3)

施工部位	埋込み深さ(mm)	保持及び埋込み工法	埋込み位置の許容誤差
・	・図示による	・A種　・B種	※±5mm　・
・	-	-	-

基礎天端均しモルタルの仕上げ (8.5.4)

施工部位	埋込み深さ(mm)	モルタルの厚さ(mm)
・	・適用する ・適用しない	・図示による ・
・	・	・

釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 (8.5.11)

構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち
- 隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し

構造材を仕上材として用いる場合の木ねじの留付け
※木ねじ頭埋め木　・

4 土台及び丸太組壁

火打土台 (8.6.2)
- 木製火打土台　・適用する（樹種　　寸法 ※図示）　・適用しない
- 鋼製火打土台　・適用する（材質　　寸法 ※図示）　・適用しない

5 小屋組

火打梁 (8.7.9)
- 木製火打梁　・適用する（樹種　　寸法 ※図示）　・適用しない
- 鋼製火打梁　・適用する（材質　　寸法 ※図示）　・適用しない

6 床組

床束 (8.8.2)
- 木製床束　・適用する（樹種　　寸法 ※図示）　・適用しない
- 鋼製床束　・適用する（仕様、設置方法 ※図示）　・適用しない
- 樹脂製床束　・適用する（仕様、設置方法 ※図示）　・適用しない

火打梁 (8.8.6)
- 木製火打梁　・適用する（樹種　　寸法 ※図示）　・適用しない
- 鋼製火打梁　・適用する（材質　　寸法 ※図示）　・適用しない

9 CLTパネル工法工事

1 木材の加工

孔あけ加工 (9.4.4)

ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ
※ 表9.4.1による　・（　　）

ドリフトピンの孔径
※ ピン軸径と同径　・（　　）

引きボルトの孔径
※ 軸径+5～10mm　・（　　）

表面仕上げ (9.4.5)

見え掛り面の仕上げの程度
- 機械加工

施工部位（適用部材）	仕上の程度
・	※プレーナー加工仕上 ・サンダー掛け仕上げ
・	・

見え掛り面の表面保護 [18.12.2][表18.12.1]

工事現場搬入前の木材保護塗料塗り
- 行う（ ※標仕18章12節 木材保護塗料塗り(WP) ・ ）

施工部位（適用部材）	種別
・	・A種　・B種

2 搬入及び建方

アンカーボルトの設置等

施工部位	埋込深さ	保持及び埋込み工法	埋込み位置の許容誤差
・CLT用アンカーボルト	・図示による	・A種　・B種	・
・土台用アンカーボルト	・図示による	・A種　・B種	※±5mm

基礎天端均しモルタルの仕上げ (9.5.4)

施工部位	無収縮モルタル	モルタルの厚さ(mm)
・	・適用する　・適用しない	・図示による
・	・	・

建方精度 (9.5.7)

建入れ直し後の水平、垂直の誤差の許容値
※ 1/1000以下　・

建入れ直し後の床の天端及び壁の天端の平坦さ
※±3mm以下　・

接合金物の工法 (9.5.9)

構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付方法
※ 図示による　・（　　）

釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 (9.5.10)

構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち
・ 隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し

構造材を仕上材として用いる場合の木ねじの留付け
※ 木ねじ頭埋め木　・

ドリフトピンの工法 (9.5.13)

構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部のドリフトピンの取付方法
・ 図示による　・埋め木

3 壁等

CLTパネルによる壁等 (9.9.1)

CLT壁パネルの接合部の処理
・ 図示による　・埋め木

10 木工事

① 表面仕上げ

見え掛り面の仕上げの程度 (10.1.4)

⊙機械加工

施工部位（適用部材）	仕上の程度
⊙見え掛かり部	※プレーナー加工仕上 ・超自動機械かんな掛け仕上げ ・サンダー掛け仕上げ
・	・

・手加工　（　　）

② 木材 G

木材の品質 (10.2.1)

※信州木材認証製品又は同等品(長野県産材)　⊙木造標仕 10.2.1　・市販品

製材 (10.2.1(2))

種　別	施工部位	樹種名	寸法	等級(材面の品質)	含水率
⊙ 下地用製材	図示	図示	※図示	・1級　※2級	※A種・B種
⊙ 造作用製材	図示	図示	※図示	・上小節 ※小節以上・並	※A種・B種
・ 広葉樹製材	・		※図示	・特等 ※1等 ・2等	※10%以下・
・ JAS1038以外の製材	・		※図示	※A種 ・B種	※A種・B種

③ 集成材等 G

造作用集成材等 (10.2.1(3))

種　別	施工部位	品名	樹種・見付材面の品質 化粧薄板の厚さ等	寸法
⊙ 造作用集成材	見切材・枠	・	カラマツ　一等	※図示
・ 化粧ばり造作用集成材	・	・	※図示(A-　図)	※図示
・JAS以外の造作用集成材	・		※図示(A-　図)	※図示
・JAS以外の化粧ばり造作用集成材	・		※図示(A-　図)	※図示

造作用単板積層材 (10.2.1(4))

施工部位	品名	表面の化粧加工		防虫処理	寸法(mm)
・	・	・無し ・1等 ・2等 ・3等	・有り ・天然木化粧加工 ・塗装加工	・行う ・行わない	

直交集成板 (10.2.1(5))

施工部位	品名	強度等級	接着性能	樹種名	ラミナの構成・等級	寸法(mm)
			・A ・B ・C		※図示(A-　図)	※図示

④ 合板等 G

(10.2.3)

施工部位	品名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理
	・普通合板	※5.5・	※1類・2類	・2等以上・0-0以上	※図示(A-　図)	・有 ・無
図示	⊙構造用合板	※12・	⊙特類・1類	※0-0以上・	針葉樹合板	・有 ・無
	・化粧ばり構造用合板	・	・特類・1類		※図示(A-　図)	・有 ・無
	・天然木化粧合板	・	・特類・1類		※図示(A-　図)	・有 ・無
	・特殊加工化粧合板	・	・特類・1類		※図示(A-　図)	・有 ・無
	・構造用パネル	・				

構造用合板の強度等級　※2級以上　・1級

特殊加工化粧合板の表面性能　・F　・FW　・W　・SW

特殊加工化粧合板の化粧加工の方法　・オーバーレイ　・プリント　・塗装

施工部位	品名	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	・ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	・9 ※15	・	※13タイプ ・18タイプ	・耐水1(ﾒﾗﾐﾝ) ・耐水2(PF)	
	・MDF	・	・	・	・耐水1(ﾒﾗﾐﾝ) ・耐水2(PF)	・難燃2級 ・難燃3級

⑤ 接合具等

釘等 (10.2.2)

造作材化粧面の釘打ち
※ 隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し

諸金物形状及び材質
※ 木造標仕10.2.2(2)による

⑥ 防腐、防蟻、防虫処理等

防腐、防蟻処理 (10.3.1)

・工場における薬剤の加圧注入処理
・JAS1083に基づく保存処理又は優良木質建材等認証制度に基づく保存処理

施工部位（適用部材）	保存処理の性能区分
・	・K2又はAQ3　・K3又はAQ2　・K4又はAQ1

・木造標仕10.3.1(7)(b)に基づく加圧式保存処理

施工部位（適用部材）	保存処理の性能区分	インサイジング
・	・K2又はAQ3相当 ・K3又はAQ2相当 ・K4又はAQ1相当	・適用する ・適用しない

・薬剤の塗布
薬剤の種類（　　）適用部材（　　）

・薬剤の接着剤への混入

施工部位（適用部材）	保存剤の種類	処理の方法
・	-	・

・合板等の加圧注入等

施工部位（適用部材）	保存処理の性能区分
・	・K3又はAQ2

防虫処理 (10.3.2)

・適用する（適用部位：　　）

不燃処理木材等 (10.3.3)

施工部位（適用部材）	不燃材料	準不燃材料	難燃材料
⊙ 図示	-	・	⊙羽目板

⑦ 屋根回り

軒先　けらば回り (10.4.1)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
鼻隠し	※ 図示 ⊙（ 杉 ）	図示	
破風板	※ 図示 ⊙（ 杉 ）	図示	
広小舞　登りよど	※ 図示 ⊙（ 杉 ）	図示	
面戸板	※ 図示 ・（　　）		

屋根下地 (10.4.2)

瓦棒葺屋根用心木材の樹種及び寸法　※ 図示　・（　　）

屋根の構造用面材の上部に通気層を設ける場合
通気垂木の樹種及び寸法　※ 図示　・（　　）
断熱材の厚さ　※ 図示　・（　　）
通気垂木に留め付ける下地合板の種類及び厚さ　※ 図示　・（　　）

軒天井下地 (10.4.3)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
野縁受け	※ 図示 ⊙（ 松 ）	図示	
野縁	※ 図示 ⊙（ 松 ）	図示	
下地板	※ 図示 ・（　　）		

8 外部開口部回り

建具回り (10.5.1)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
取付下地材	※ 図示 ・（　　）		
受材	※ 図示 ・（　　）		

外部出入口木製建具回り (10.5.2)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
枠材	※ 図示 ・（　　）		

下枠 (10.5.2)

材質、種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	形　状
※ステンレス製	※2.0	※ 図示 ・（　　）	
・花こう岩	※40以上	※ 図示 -（　　）	

外部額縁 (10.5.3)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
額縁材	※ 図示 ・（　　）		

9 内部開口部回り

内部出入口木製建具回り (10.6.1)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
枠材	※ 図示 ・（　　）		

内部窓回り (10.6.2)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
窓枠材	※ 図示 ⊙（ 集成材 ）	図示	

10 内部床回り

内部床下地 (10.7.1)

施工部位（適用部材）	材料名	厚さ(mm)	備　考
・下地用床材	・構造用合板 ・パーティクルボード	※12 ・15	
・二重張り用合板	※ 普通合板	※12　・	

内部床板張り (10.7.2)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
製材	※ 図示 ・（　　）		

上がりかまち (10.7.3)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
製材	※ 図示 ・（　　）		

11 外壁回り

外壁下地材料 (10.8.1)

施工部位	樹種名	寸法(mm)	間　隔	防腐・防蟻処理
胴縁	※ 図示 ・（　　）			・適用・適用しない

施工部位	樹種名	厚さ(mm)	幅(mm)	釘の種類・寸法	防腐・防蟻処理
ラス下地板	※ 図示 ・（　　）	※12	※75	※NZ50 ・	・適用・適用しない

施工部位	下地用合板の留付け釘 種類	寸法(mm)	間隔(mm)	防腐・防蟻処理
下地用合板				・適用・適用しない

施工部位	樹種名	厚さ(mm)	幅(mm)	通気金物形状及び寸法	防腐・防蟻処理
通気胴縁	※ 図示 ・（ 杉 ）	※18	※45		・適用⊖適用しない

12 外壁通気工法

通気胴縁工法 (10.8.2)

胴縁の負荷が大きい場合の接合具と留付け間隔　※ 図示　・（　　）
積雪地域の胴縁補強の方法及び高さ　※ 木造標仕10.8.2(9)(h)③による　・（　　）

横通気胴縁工法
胴縁の間隔　※ 図示　・（　　）
積雪地域の胴縁補強の方法及び高さ　※ 木造標仕10.8.2(9)(i)③による　・（　　）

13 外壁板張り

・押縁下見板張り (10.8.3)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
押縁	※ 図示 ・（　　）		
下見板	※ 図示 ・（　　）		

・南京下見板張り (10.8.3)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
下見板	※ 図示 ・（　　）		

・横羽目板張り及び縦羽目板張り (10.8.3)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
羽目板	※ 図示 ・（　　）		

・目板付縦羽目板張り (10.8.3)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
目板	※ 図示 ・（　　）		
羽目板	※ 図示 ・（　　）		

・敷目板張り (10.8.3)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
敷目板	※ 図示 ・（　　）		

14 外壁造作

材料 (10.8.4)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
付け土台	※ 図示 ・（　　）		
雨押え	※ 図示 ・（　　）		
見切り縁	※ 図示 ・（ 集成材 ）	図示	
笠木	※ 図示 ・（　　）		
外部回り縁	※ 図示 ・（　　）		

15 ひさし

陸ひさし (10.8.5)

種　別	樹種名	寸法(mm)	備　考
製材	※ 図示 ・（　　）		

霧除けひさし (10.8.5)

種　別	樹種名	寸法(mm)	備　考
製材	※ 図示 ・（　　）		

腕木ひさし (10.8.5)

種　別	樹種名	寸法(mm)	備　考
製材	※ 図示 ・（　　）		

16 内部壁

内壁下地材料 (10.9.1)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	間隔(mm)	備　考
胴縁	※ 図示 ⊙（ 杉 ）	図示	図示	

・横羽目板張り　・縦羽目板張り材料 (10.9.2)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
羽目板	※ 図示 ・（　　）		

・目板付縦羽目板張り (10.9.2)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
目板	※ 図示 ・（　　）		
羽目板	※ 図示 ・（　　）		

・敷目板張り (10.9.2)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
敷目板	※ 図示 ・（　　）		

株式会社　KRC
一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号
一級建築士　第293052号　渡利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図

特記仕様書（3）〔木造〕

令和7年度

縮尺 NON

図面番号 A-003

10 木工事

⑰ 内部造作

材料 (10.9.3)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
幅木	※ 図示 ⊙（ 杉 ）	図示	
回り縁	※ 図示 ⊙（ 杉 ）	図示	
二重回り縁	※ 図示 ・（ ）		

⑱ 天井下地

材料 (10.9.4)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
吊木受け	※ 図示 ⊙（ 杉 ）	図示	
吊木	※ 図示 ⊙（ 松 ）	40×30	
野縁	※ 図示 ⊙（ 松 ）	40×30	
野縁受け	※ 図示 ⊙（ 松 ）	40×30	
板野縁	※ 図示 ・（ ）		

⑲ 天井板張り

・敷目天井板張り (10.9.5)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
敷目板	※ 図示 ・（ ）		

⊙打上げ天井板張り (10.9.5)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
羽目板	※ 図示 ⊙（ 杉 ）	図示	

20 和室の造作

材料 (10.10.1)(10.10.2)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
柱	※ 図示 ・（ ）		・背割不要処理製材
敷居	※ 図示 ・（ ）		
かもい	※ 図示 ・（ ）		
-			

21 壁回り

材料 (10.10.3)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
塗込め貫	※ 図示 ・（ ）		

22 床回り

材料 (10.10.4)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	厚さ(mm)	備　考
畳下地板	※ 図示 ・（ ）			
畳寄せ	※ 図示 ・（ ）			

23 天井回り

・竿縁天井板張り (10.10.5)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
竿縁天井板	※ 図示 ・（ ）		

・格縁天井板張り (10.10.5)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
格縁天井板	※ 図示 ・（ ）		

24 床の間回り

材料 (10.10.7)

施工部位（適用部材）	樹種名	寸法(mm)	備　考
製材（床の間）	※ 図示 ・（ ）		
製材（床脇棚）	※ 図示 ・（ ）		

11 防水工事

1 ＦＲＰ系塗膜防水

ルーフドレン　※ FRP系塗膜防水用ルーフドレン　・鋳鉄製 (11.2.2)

下地合板の上の防水板　・有　・無 (11.2.4)

材質（ ※ケイ酸カルシウム板　・　） 厚さ（ ※10mm　・　）

防水層平場の勾配 (11.2.4)

※ 1/100　・

水張り試験　※ 行う　・ 行わない (11.2.4)

② シーリング

下表以外は、木造標仕表 11.3.1による (11,3,2,3)(表 11.3.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）	目地寸法
化粧ケイ酸カルシウム板	SR-1	⊙図示

接着性試験　※行う　・行わない (10.3.5)

（※簡易接着性試験　・引張接着性試験）

③ ケイ酸質系塗布防水

防水層の種別 [9.6.3]

※ C-SUI　・ C-SUP

④ 防水テープ

両面粘着テープの幅　※ 50mm　・　mm (11.4.2)

5 バルコニー手すり

バルコニー手すり (11.4.3)

※ 木造標仕11.4.3(2)（ｳ）による。

固定方法　※　図示

6 保証書の提出

※受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。

・ FRP防水　保証期間 10年

12 石工事

1 石材

粗面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げ　・図示　・

・天然石張り [10.2.1][表 10.2.1～2]

天然石

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上げの種類	パフ仕上げの有無

・テラゾ張り [10.2.1][表 10.2.2]

種　類	種石の種類、大きさ(mm)	形状	仕上げ	寸法	表面仕上げ
・テラゾブロック	※大理石　※1.5～12	・平もの ・役もの	・片面仕上げ ・両面仕上げ		・粗磨き ・水磨き
・テラゾタイル	※大理石　※1.5～12			・300型 ・400型	・本磨き

2 取付金物

外壁湿式工法、内壁空積工法用金物の材質、形状及び寸法 [10.2.2]

受け金物　※標仕10.2.2(1)(ｲ)による

特殊部位用金物の材質、形状等

・引金物、だぼ、かすがい及び受け金物（ ）

・吊り金物、化粧吊りボルト（ ）

アンカーの材質、寸法

・湿式工法、空積工法（ ）

あと施工アンカーの材質、寸法等（ ）

その他の取付金物（ ）

3 外壁湿式工法

下地ごしらえ ※ 流し筋工法　・ あと施工アンカー工法　・ [10.3.2～3]

石裏面処理　・適用する　・適用しない

裏打ち処理　・適用する　・適用しない

ドレンパイプの材質　※ ステンレス SUS 304　・樹脂ネットパイプクロスネット巻き

一般目地　目地幅(mm)　※6mm　・

シーリング材　・適用する　・適用しない

4 内壁空積工法

下地ごしらえ ※ あと張ｴﾝｶｰ横筋流し工法　・ あと施工アンカー工法　・ [10.4.2～3]

石裏面処理　・適用する　・適用しない

裏打ち処理　・適用する　・適用しない

一般目地　目地幅(mm)　※6mm　・

シーリング材　・適用する　・適用しない

5 乾式工法

石裏面処理　・適用する（・小口共）　・適用しない [10.5.2～3]

裏打ち処理　・適用する　・適用しない

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法）

・適用しない

一般目地　目地幅(mm)　※6mm　・

シーリング材　・適用する　・適用しない

6 床及び階段の石張り

床石張りの裏面処理　・適用する　・適用しない [10.6.2][10.6.3]

階段石張りの裏面処理　・適用する　・適用しない

7 特殊部位の石張り

[10.7.1～10.7.3]

施工箇所	工法	材料	厚さ	表面処理	裏打ち処理
	・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法			・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

8 石材の割付け

・イモ目地　・ウマ目地 [10.1.3]

9 清掃

屋内木磨き床ワックス　・行う（適用箇所　・すべて　・　）　・行わない [10.1.5]

13 タイル工事

① 陶磁器質タイル

タイルの種類 [11.2.2,11.3.2]

主な用途区分 施工箇所	形状・寸法(mm)	吸水率区分 I類	吸水率区分 II類	吸水率区分 III類	釉薬 施釉	釉薬 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材適用 ○	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	備考
床	150×150	⊙	-	・	-	⊙	⊙	・	⊙	-	-	⊙	・	
巾木	二丁掛	⊙	-	・	-	⊙	⊙	・	⊙	-	-	⊙	・	
床	300×300	⊙	▪	・	▪	⊙	⊙	・	⊙	▪	-	⊙	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする

タイルの試験張り　※ 行わない　▪行う（※ 外壁タイル　・　）

タイルの見本焼き　※ 行わない　・行う（※ 外壁タイル　・　）

2 伸縮調整目地、ひび割れ誘発目地

目地の位置 [11.1.3]

※ 標仕 表11.1.1による　・ 図示

3 セメントモルタルによるタイル張り

既調合モルタル [11.2.3]

・（ ）

壁タイル張りの工法 [11.2.7][表 11.2.3]

内装タイル　※ 改良積上げ張り

外装タイル　・ 密着張り　・ 改良積上げ張り　・ 改良圧着張り

コンクリート素地面の処理　・行わない　※ 行う(施工範囲　※図示　・　) [11.2.7]

処理方法　・ＭＣＲ工法　・目荒し工法

4 有機系接着剤によるタイル張り

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・第三種 [11.3.3]

壁タイル張りの工法 [11.3.7]

・内装壁タイル接着剤張り

・外装壁タイル接着剤張り（・外装タイル　・内装タイル以外のユニットタイル）

コンクリート素地面の処理　・行わない　※ 行う(施工範囲　※図示　・　)

処理方法　・ＭＣＲ工法　・目荒し工法

外装壁タイル接着剤張りにおける目地シーリング材 [11.3.4]

打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系　・

伸縮調整目地、その他目地　※変成シリコーン系　・

14 屋根及びとい工事

① 金属板葺

(14,3,2)(表 14,3,1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類、記号	坂厚(mm)
・平葺（一文字葺） ・瓦棒葺（心木なし） ・横葺 ⊙立て平葺	※ 塗装溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・	※ 0.4 ・ 0.5

下葺材料　⊙ アスファルトルーフィング 940 (14.2.2)

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材（一般タイプ）

屋根葺工法　※ 図示（A-105・118・304・309図）

雪止め　※ 設ける（図示 A-105・304図） (14,3,4～8)

心木の樹種及び防腐防蟻処理 (14,3,2)

樹種（ ）

防腐防蟻方法（ ）

平葺（一文字葺）工法 (14.3.4)

はぜの作り方　※ 図示　・

吊子の間隔　※ 図示　・

軒先及びけらば　唐草の留付け間隔　※ 図示　・

心木あり瓦棒葺工法 (14,3,5)

瓦棒、吊子及び釘の留付け間隔　※ 図示　・

銅板以外の板による屋根一般部分の工法

溝板及びキャップの留付け方法　※ 図示　・ 木造標仕14.3.5(3)(ｱ)(c)による

棟覆い

銅板以外　棟板の材質及び留付け間隔　※ 図示　・

銅板　通し付け子の留付け間隔　※ 図示　・

唐草　留付け間隔　※ 図示　・

心木なし瓦棒葺工法 (14.3.6)

棟覆いの釘の留付け間隔　※ 図示　・

軒先の釘の留付け間隔　※ 図示　・

屋根の流れ方向に並行な壁との取合い部

雨押えを付ける場合　※ 図示　・ 木造標仕14.3.6(4)(ｱ)(a)による

雨押えを用いない場合　※ 図示　・ 木造標仕14.3.6(4)(ｱ)(b)による

横葺工法 (14.3.7)

特殊工法　※ 図示　・

立て平葺工法 (14,3,8)

吊子の工法　※ 図示　・

特殊工法　※ 図示　・

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

屋根の構造用面材の上部に通気層を設ける場合

通気垂木の樹種及び寸法、断熱材の厚さ　※ 図示　・

通気垂木に留付ける下地合板の種類及び厚さ　※ 図示　・

2 折板葺

(14,4,2～3)

形　式	※ 重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形　状(mm)	山高（ ）　山ピッチ（ ）
材　料（規格等）	※ 塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ 150）・
耐力区分	（ ）種
厚さ(mm)	※ 0.6　・0.8
軒先面戸板	※ 有り　・無し

断熱材張り

・行う　断熱材（種別：　厚さ(mm)　防火性能　時間）

・行わない

タイトフレームを留め付ける下地材

（材質：　形状：　寸法：　）

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

雪止め　※ 設ける（図示 A-〇〇図）

3 粘土瓦葺

(14.5.2)

種　類	大きさ	産　地	役　物	雪止め瓦	備　考

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

棟の工法 (14.5.3)

・冠瓦伏せ棟　・のし積み棟

面戸、雀口及び葺土の露出する瓦接合部の仕上げ

・モルタル　・瓦葺き用しっくい

4 スレート葺

(14.6.2)

種　類	寸　法	形　状	棟・けらば等役物	色　彩	備　考

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

5 アスファルトシングル葺

(14.7.2)

品　質	寸　法	形　状	色　彩	備　考

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

⑥ とい

材　種　・金属板　・銅板　・硬質塩化ビニル樹脂 (14.8.2)(表 14.8.1)

金属製とい (14.8.3)

部　位	金属板の種類	板　厚	備　考
と　い	図示	図示	
谷どい			

塩ビとい (14.8.3)

種　類	外　径	厚　さ	集水器・あんこうの形	備　考

⑦ 保証書

※受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。

⊙ガルバリウム等　保証期間 10年

・折　板　保証期間 10年

・長尺カラー鉄板　保証期間 5年

15 金属工事

1 あと施工アンカー

引抜耐力の確認試験　※ 行う [14.1.3]

2 ステンレスの表面仕上げ

[14.2.1]

種　類	施工箇所
※ ＨＬ程度	下記以外の見え掛かり全て
・ No.2 Ｂ 程度	
・ 鏡面仕上げ	

3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

[14.2.2][表 14.2.1]

種　別	施工箇所
・ AB-1 種（無着色）	
・ BB-1 種（無着色）	
・ BB-2 種（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	

陽極酸化皮膜も着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

4 鉄鋼の亜鉛めっき

[14.2.3][表 14.2.2]

表面処理方法	種　別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
	・D種	
電気亜鉛めっき	・E種	
	・F種	

5 軽量鉄骨天井下地

・ダクト等により吊ボルト間隔が900mmを超える場合の補強　※図示（A- 図） [14.4.4]

・天井ふところ 1.5m 以上の場合　※吊りボルトの補強を行う

・天井ふところ 3.0m を超える場合の補強　※図示（A- 図）

・耐震性を考慮した補強　※ 図示（A- 図）

・屋外の軒天井及びピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強　※ 図示（A- 図）

6 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが５ｍを超える場合　※図示 [14.5.3][表 14.5.1]

7 金属成形板張り

[14.6.2][表 14.2.1]

形　状	製　法	材　種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※ アルミニウム製 ・			・ B-1 種 ・ B-2 種（ ） ・
・パネル形	※プレス ・				

伸縮調整継手　※ 設けない　・ 設ける（施工箇所は図示）

8 アルミニウム製笠木

[14.7.2][表 14.2.1][表 14.7.1]

種　類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	備　考
・250 形	1.6 以上	※ A-1 又は B-1 種 ・ B-2 種（ ）	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300 形	1.8 以上			
・100 形				
・				

9 手すり

[14.2.1][14.8.2][表 14.2.2]

材料の種別	表面処理
※ ステンレス SUS 304	※ ＨＬ程度　・ 鏡面程度　▪
・ 鉄	亜鉛めっき（外部 ※Ｃ種 ・　内部 ※Ｅ種 ・　）

株式会社　ＫＲＣ

一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号

一級建築士　第293052号　濃利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図

特記仕様書（４）〔木造〕　令和７年度

縮尺 NON

図面番号 A-004

16 左官工事

1 ラス系下地 [15.2.4]
種類
通気工法 ・二層下地 ・単層下地 ・（ ）
直張り工法 ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 ・（ ）
通気工法（外張断熱工法） ・（ ）
建築基準法に基づく指定がある場合の仕様
ラス下地板 ※図示 ・（ ）
下地用合板 ※図示 ・（ ）
面材等 ※図示 ・（ ）
材料
ラス及び補強用平ラス
素材による区分，種類及び単位面積当りの質量
※2種波形ラス700（通気工法二層下地） ・（ ）
※2種防水紙付きリブラス800（通気工法単層下地） ・（ ）
ラスシート
山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチ
※LS4（耐力壁） ・（ ）
ステープル
形状及び寸法
※L925TS（リブラス） ※L1019JS（波形ラス） ・（ ）
施工
通気工法二層下地の場合の捨気口の指置
※公共建築木造工事標準仕様書11.4.3(2)(ｳ)による ・図示
直張工法のラスシートモルタル下地の場合のラスシートの施工（耐力壁）
※図示

2 せっこうボード その他のボード下地 [15.2.5]
材料
せっこうボード及びラスボードの種類、厚さ ※図示 ・（ ）
木質系セメント板の種類、厚さ ※図示 ・（ ）

3 こまい下地 建築基準法に基づく耐力壁の指定 ※図示 ・（ ） [15.2.6]

4 木ずり下地 [15.2.7]
材料
木ずり用小幅板の樹種 ※杉（心去り材） ・（ ）

⑤ モルタル塗り [15.3.2]
モルタルの種類
・既調合モルタル ⊙普通ポルトランドセメント ・図示
既成目地材 [15.3.2]
・使用しない ・使用する（形状、寸法は図示）
床目地 ・設ける（工法： ） ・押目地 [15.3.5]

⑥ 床コンクリート直均し仕上げ 標仕 15.4.2 及び標仕表 6.2.5 による [15.4.2][表 6.2.5]

7 ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り ・せっこう系 ・セメント系 [15.5.2][表 15.5.1]

8 仕上塗材仕上げ [15.6.2][表 15.6.1]

種類	呼び名	仕上げの形状等	
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓi	・	
	・可とう形外装薄塗材Ｓi	・	
	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状	
	・外装薄塗材Ｓ	砂壁状	
	・内装薄塗材Ｃ	・	吸放湿性 ・有 ・無
	・内装薄塗材Ｌ	・	
	・内装薄塗材Ｓi	・	
	・内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく	
	・内装薄塗材Ｗ	京壁状じゅらく	耐湿性 ・有 ・無
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸模様	
	・複層塗材Ｓi	耐候性 ※3種 ・	
	・複層塗材Ｅ	上塗材	
	・複層塗材ＲＥ	溶媒 ※水系 ・溶剤系	
	・可とう形複層塗材ＣＥ	樹脂 ※アクリル系	
	・防水形複層塗材ＣＥ	・ｳﾚﾀﾝ系 ・ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系	
	・防水形複層塗材Ｅ	外観 ※つやあり ・つやなし	
	・防水形複層塗材ＲＥ	・メタリック	
	・防水形複層塗材ＲＳ	防水形の増塗材 ※行う	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状	
	・こて塗用軽量塗材	平たん状	

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種
防火材料の指定 [15.6.2]
※ 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。
所要量等の確認 [15.6.7]
※ 行う（単位面積当たりの使用量） ・行わない

9 しっくい塗り 下地 ※図示 ・（ ） [15.10.1]
材料 ・現場調合材料図示 ・既調合材料（しっくい塗材の種類等 ） [15.10.2]
調合及び塗厚 [15.10.3]
木ずり下地の場合 ※[表15.10.1]による ・（ ）
こまい土壁下地の場合 ※[表15.10.2]による ・（ ）
その他の下地の場合 ※図示による ・（ ）

10 こまい壁塗り 材料 [15.11.2]
のり
土壁用 ※つのまた ・（ ）
砂壁用 ※ふのり ・（ ）
色土
土物仕上げに用いる色土の種類 ・（ ） ・図示
大津仕上げに用いる色土の種類 ・（ ） ・図示
色砂 ・（ ） ・図示
調合 [15.11.3]
下塗りの調合 ※[表15.11.2]による ・（ ）
塗厚 [15.11.4]
※[表15.11.2]による ・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合（ ）mm
工程 [15.11.5]
※A種 ・B種

11 土物仕上げ 工法 [15.11.7]
・土物仕上げ工法（・水ごね土物1 ・水ごね土物2 ・のりさし仕上げ ・のりごね仕上げ）
・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法

12 大津仕上げ 工法 [15.11.8]
・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法

17 建具工事

1 防火戸 防火戸の指定 ※図示（建具表による） [16.1.3]
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸と連動させるもの
・図示 ・ヒューズ装置 ・熱感知器 ・煙感知器

2 見本の製作等 建具見本製作 ・行う（・工事に使用するもの ・納まりの確認） ※行わない [16.1.4]
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ※行わない

3 防犯建物部品 ※適用する（図示） ・適用しない [16.1.6]

④ アルミニウム製建具 外部に面する建具（木下地） [16.2.2][16.2.4][表 16.2.2]

種別	耐風圧性	気圧性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
⊙Ｂ種	Ｓ－５	※A－３	※W－４	※ 70	※ 図示
⊙Ｅ種	Ｓ－３	⊙A－４	⊙W－４	⊙ 図示	

表面処理 ※ BB-1種 ⊙ BB-2種（・ｱﾌﾞﾗｳﾝ系 ⊙ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ） [表 14.2.1]
水切板、ぜん板等 ※図示による
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ）
断熱ドアセット、断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級（ ）
屋内建具
表面処理 ※ BD-1 種又は BB-1 種 [表 14.2.1]
・ BD-2 種又は BB-2 種（・ｱﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
結露水の処理方法 ※図示（A- 図） [16.2.4]
シャッター
・ 建具一体型 ・ 後付け
雨戸
・ アルミニウム製 ・ 塗装鋼板

⑤ 網戸 防虫網 [16.2.3]
網の種別 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ⊙ 合成樹脂製 ・ ステンレス製（SUS 316）
形 式 ※ 外部可動式 ・ 固定式

6 樹脂製建具 外部に面する建具（木下地） [16.3.2,4][表 16.3.2～4]

種別	耐風圧性	気圧性	水密性	枠見込み	遮音性能等級	断熱性能等級
・Ｄ種	Ｓ－２	A－４	W－３	※ 建具表による	・ T-A種	・H-A種 ・H-C種
・Ｅ種	Ｓ－３				・ T-B種	・H-B種

表面色 ※ 標準色 ・ 特注色

⑦ 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [16.4.2][表 16.4.1]
耐風圧性の適用は建具表による
片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm [16.4.4]
又は有効高さが2,400mmを超える場合の鋼板類の厚さ ※図示

⑧ 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用 ※ 建具表による [16.5.2]
片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm [16.5.4]
又は有効高さが2,400mmを超える場合の鋼板類の厚さ ※図示

9 ステンレス製建具 表面仕上げ ※ ＨＬ程度 ・ 鏡面仕上げ [16.6.4]
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（補強あり） [16.6.5]
特定防火設備の戸 ・ 適用あり [表 16.6.1]

施工箇所	鋼材の種類
屋外	※ SUS304又はSUS430JIL
屋内	※ SUS430 ・ SUS304又はSUS430JIL

⑩ 木製建具 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 [16.7.2]
※ 規制対象外 ・ 第三種
フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ﾗﾜﾝ程度 ・ ） 不透明塗料塗り （※しな程度 ・ ） 板面の品質（ ） 接着の程度（・1類 ・2類） 防虫処理 ・行う	
・ 天然木化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類） 防虫処理 ・行う	
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 （ ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 ） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・1類 ・2類） 防虫処理 ・行う	

表面材の厚さ ※標仕表16.7.6による ・

かまち戸
かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ） [16.7.2]
見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・
ふすま
張りの種別 （ ・Ⅰ型 ・Ⅱ型 ） [表 16.7.3]
ふすまの上張り ※ 新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く） ・鳥の子
縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） [表 16.7.10]
見込み寸法 ※19.5mm ・ 建具表による [16.7.3]
戸ぶすま
見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による [16.7.3]
紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による [16.7.3]
枠、くつずりの材料 ※ 建具表による ・（ 枠： くつずり： ）

⑪ 建具用金物 マスターキー ※ 製作する（3本1組を鍵箱に収納） ・ 製作しない [16.8.4]
建具用金物 [16.3,6][16.5,6]
錠類はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする

⑫ 自動ドア開閉機構 [16.9.2、3][表 16.9.1～4]

開閉方式	センサーの種類
※ スライディングドア	※ 光線反射センサー ・ 熱線センサー ・音波センサー
・ SSLD-1 ・ SSLD-2	・ 光電センサー ・ 電波センサー
・ DSLD-1 ・ DSLD-2	・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ
・ スイングドア	・ 多機能トイレスイッチ
・ SWD-1 ・ SWD-2	

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

⑬ 自閉式上吊り引戸装置 材料 ※ SUS 304 アルミニウム製等 防錆性能を有するもの [16.10.2,3]
⊙ 製造所標準仕様による
性能等 ※ 標仕表 16.10.1 による
⊙ 製造所標準仕様による

14 重量シャッター [16.11.2]

シャッターの種類	
・ 一般重量シャッター	耐風圧強度（ ）N/m²
・ 外壁用防火シャッター	耐風圧強度（ ）N/m²
・ 屋内用防火シャッター	
・ 屋内用防煙シャッター	

開閉機能 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式 [16.11,2][表 16.11.1]
保護装置
落下防止装置 ・二重チェーン ・急降下制動装置 ・急降下停止装置
危害防止機構 ※ 障害物感知装置（自動閉鎖型） ・ シャッターの二段降下式
一般重量シャッターのシャッターケース ※ 設ける ・ 設けない [16.11.2]
スラット及びシャッターケース用鋼板 [16.11.3]
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ [16.11.3]

15 軽量シャッター 開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用） [16.12.2][表 16.12.1]
スラット 材質 ※ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）又は JIS G 3318
（塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）
・ 鎧板 [16.12,3]
形状 ※ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 [16.12.4]
ガイドレール等 ※ 鋼板製 ・ ステンレス製 SUS 304 [表 16.12.2]
耐風圧強度（ ）N/m² [16.13.2～3]

16 オーバーヘッドドア

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※ スチールタイプ	※ バランス式	・ スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板
・ アルミニウムタイプ	・ チェーン式	・ ローヘッド形	・ ステンレス鋼板
・ ファイバーグラスタイプ	・ 電動式	・ ハイリフト形	（SUS 304）
		・ バーチカル形	

耐風圧性能（ ）Pa

⑰ ガラス 材料 [16.14.2]
品種及び厚さによる種類 ※ 建具表による
ガラス留め材 [16.14.2][表 9.7.1]

建具の種類	材種
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材
ステンレス製	※ シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ [16.14.3]
標仕 16.13.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会 JASS 17 ｶﾞﾗｽ工事「3.1 納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する

18 ガラスブロック 材料 [16.14.5]

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	防火性能
・ 正方形	・	・	※ クリア	※ 無し
・ 長方形			・カラー	・ 有り

壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状※図示 ・ ） ・設けない
化粧目地モルタルの色（ ）
ガラスブロック積みの金属製化粧カバー
材質（・ステンレス ・アルミニウム） 寸法（※図示 ・ ） 形状（※図示 ・ ）
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない

19 ガラス用フィルム（内張り用）

用途による区分	記号
・ ガラス飛散防止フィルム	※ GS-A・B
・ 日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム	・ SC-A/GS-A・B ・ SC-B/GS-A・B
・ ガラス貫通防止フィルム	※ SF-A
・ 日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム	・ SC-A/SF-A ・ SC-B/SF-A

品質 JIS A5759 による

18 塗装工事

① 材料 屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする [18.1.3]
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種

② 素地ごしらえ 亜鉛めっき面の素地ごしらえの種別 [18,2,4][表 18,2,3][表 18,3,4]

種別	施工部位及び塗料種別
Ａ種	工場で行われる化成皮膜処理
Ｂ種	工事現場で行われる汚れ、付着物の除去、脱脂

3 床用塗料塗り 材質 ウレタン樹脂系塗料（※ 標準色 ・ ）
仕上種別 ※ 平滑仕上げ ・防滑仕上げ
塗布量 プライマー塗りのうえ主剤 2回塗りとし、総塗布量は 0.5kg/m² 以上とする

④ 防塵用塗料塗り 材質 水性アクリル系樹脂塗料（※ 標準色 ・ ）
仕上種別 コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量 主剤 2回塗とし、総塗布量は 0.25kg/m² 以上とする。

5 クリヤラッカー塗り 木部のクリアラッカー塗り ・Ａ種 ※Ｂ種 [18.5.2]

⑥ 耐候性塗料塗り 鉄鋼面の上塗り等級 [18.7.2]

等級	塗料種別
・１級	ふっ素樹脂塗料
・２級	アクリルシリコン樹脂塗料
・３級	ポリウレタン樹脂塗料

亜鉛めっき鋼面の上塗り等級 [18.7.3]

等級	塗料種別
⊙１級	ふっ素樹脂塗料
・２級	アクリルシリコン樹脂塗料
・３級	ポリウレタン樹脂塗料

コンクリート面及び押出成形セメント板面種別 [18.7.4]

種別	塗料種別
・Ａ種	ふっ素樹脂塗料
・Ｂ種	アクリルシリコン樹脂塗料
・Ｃ種	ポリウレタン樹脂塗料

7 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面 [18.8.2]
・Ａ種 ※Ｂ種

⑧ 合成樹脂エマルションペイント塗り コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面 [18.9.2]
・Ａ種 ※Ｂ種

9 ウレタン樹脂ワニス塗り 木部のウレタン樹脂ワニス塗り ・Ａ種 ※Ｂ種 [18.11.2]

⑩ 木材保護塗料塗り 屋外木部の木材保護塗料塗り ⊙Ａ種 ※Ｂ種 [18.13.2]

19 内装工事

① 接着剤 壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤の [19.2.2][19.3.3]
ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種
※ 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

② ビニル床シート張り G [19.2.2]

種類	JIS の記号	色柄	厚さ(mm)
※ 発泡層のないもの	※ ＦＳ ・	※ 無地 ・マーブル柄	☒ 2.0 ⊙ 2.5
・ 発泡層のあるもの		※ 柄物 ・無地	
・			

工法 ※ 熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ） [19.2.3]
特殊機能 [19.2.2]
帯電防止 ・適用する
性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上～3.2未満
又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1.0×10 ～10 Ω程度
※適用しない

3 ビニル床タイル張り G [19.2.2]

種類	JIS の記号	厚さ(mm)	備考
※ コンポジションビニル床タイル（半硬質）	ＫＴ	※ 2.0	
・ コンポジションビニル床タイル（軟質）	ＫＴ	・	
・ ホモジニアスビニル床タイル	ＴＴ、ＦＴ	・	

株式会社 ＫＲＣ
一級建築士事務所 長野県知事登録 H第75251号
一級建築士 第293052号 渡利 真二

国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図
特記仕様書（５）〔木造〕 令和７年度

縮尺 NON
図面番号 A-005

19 内装工事

4 帯電防止床タイル張り G

[19.2.2]

種類	厚さ(mm)	性能
・コンポジションビニル床タイル	※ 2 ・	体積抵抗値（JIS K 6911 による）
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0 ・ 4.5	1.0×10^{9} Ω以下、または、
・	・	漏えい抵抗値（JIS A 1454 による）
・	・	1.0×10^{10} Ω未満

⑤ ビニル幅木

[19.2.2]

材質　※ 軟質　・硬質
高さ(mm)　※ 60　・ 70　・100
厚さ(mm)　※1.5　・

⑥ カーペット敷き

消防法に定める防炎性能を有するものとし、防炎表示のあるものとする

・織じゅうたん [19.3.2、3][表 19.3.1～2]

種別	パイル形状	色柄等	備考
・A種	・カットパイル	※ 無地	
・B種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・C種	・カット、ループパイル併用	・	

帯電性　・適用する（※ 人体帯電圧 3kV 以下　・　　）　※適用しない
下敷き材　※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm　・

・タフテッドカーペット G [19.3.2、3][表 19.3.2]

パイル形状	パイル長(mm)	工法	備考
・カットパイル	※ 5～7 ・	※ 全面接着工法	
・ループパイル	※ 4～6 ・	・グリッパー工法	
・カット、ループ併用	・		

帯電性　・適用する（※ 人体帯電圧 3kV 以下　・　　）　※適用しない
下敷き材（グリッパー工法の場合）
※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm　・

・ニードルパンチカーペット G　（厚さ　　mm）
帯電性　・適用する（※ 人体帯電圧 3kV 以下　・　　）　※適用しない

⊙ タイルカーペット [19.3.2][表 19.3.2]

パイル形状	種類	形状	総厚さ(mm)	備考
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種	※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・カットパイル				
・カット・ループ併用				

帯電性　・適用する（※人体帯電圧 3kV 以下（フリーアクセスフロア敷設範囲））
※適用しない
タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し　・
階段　・市松敷き　※模様流し　・
見切り、押え金物　※適用する
材質（　　）　種類（　　）　形状（　　）
・適用しない

7 合成樹脂塗床

[19.4.2、3][表 19.4.1～8]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床材			※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材		※ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂モルタル仕上げ	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 [19.4.2]
※ 規制対象外　・ 第三種

8 フローリング張り

・単層フローリング G [19.5.2～7][表 19.5.1～4]

種別	工法	樹種	厚さ	仕上げ塗装等
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ	・釘どめ(根太張り) ・釘どめ(直張り) ※接着工法	※ なら ・ ひのき ・	※ 15 ・ 12 ・	※ 塗装品 ・ 無塗装品 ・ｸﾘﾔﾗｯｸ樹脂ｳﾚﾀﾝ塗り ・ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗りﾜｯｸｽ塗 ・生地のままﾜｯｸｽ塗
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ	※接着工法 ・ﾓﾙﾀﾙ流し込み			
・ﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄ	※接着工法			

※天然木化粧複合フローリング G

種別	工法	樹種	厚さ	種別	仕上げ塗装等
・複合1種 ・複合2種 ・複合3種	・釘どめ(根太張り) ・釘どめ(直張り)	※ なら ・		・ A種 ・ B種 ※ C種	※ 塗装品
	※接着工法		※ 8 ・		

ホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・ 第三種 [19.5.2]
間伐材等の適用　・有　・無
防湿処理　・適用する　・適用しない [19.5.4]
接着工法の場合の緩衝材　※合成樹脂発泡シート　・ [19.5.5]

9 畳敷き

[19.6.2][表 19.6.1]

下地の種類	畳の種別
標仕表 12.5.1 による床組	※ B 種
ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G）	※ C 種

畳表及び畳床は VOC 含有量が少ないものとする

10 ポリスチレンフォーム床下地材

ノンフロンのもの G
畳下地　厚さ(mm)　※ 40　・ 65　・ 80　（不燃）
フローリング類　厚さ(mm)　※ 80　・ 95　（不燃）

11 浴室天井材

市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	備考
※ アルミニウム製	※ 焼付け塗装品	準不燃品	※ 200	回り縁は縁付きとし製造所の標準品とする。

⑫ せっこうボード その他のボード張り

[19.7.2][表 19.7.1]

種類	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板 G	・ 15　・ 20　・ 25
・普通木毛セメント板 G	・ 15　・ 20　・ 25
・硬質木片セメント板 G	・ 15　・ 20　・ 25
・普通木片セメント板 G	・ 30
⊙ けい酸カルシウム板	※0.8 Fk タイプ 2（無石綿）（ ⊙ 6　⊙ 8　・ ）
	・ 化粧ボード（　・　・　・　）
⊙ ロックウール化粧吸音板	※ フラットタイプ（※ 9（不燃）・ 12　・　）
	・ 凹凸タイプ（※ 12（不燃）・ 15　・ 19　・　）
⊙ せっこうボード	⊗ 12.5（不燃）　⊙ 9.5（準不燃）
・ 不燃積層せっこうボード	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
⊙ シージングせっこうボード	12.5（不燃）
・ 強化せっこうボード	12.5（不燃）　15.0（不燃）
・ せっこうラスボード	9.5
・ 化粧せっこうボード（木目）	12.5（不燃）　幅 440mm 程度 横様（※ 柾目　・ 板目）　専用下地材付き
⊙ 化粧せっこうボード（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ）	9.5（準不燃）
・ 普通合板（難燃処理） G	表面の材種 ・ 生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・ 不透明塗料塗り（しな合板程度） 板面の品質（　　） 厚さ(mm)（　　） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・ 天然木化粧合板 G	樹種名（　　） 接着の程度（ ・1類　・2類 ） 厚さ(mm)（　　） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・ 特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法　（ ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装 ） 表面性能　（　　）タイプ 接着の程度（ ・1類　・2類 ） 厚さ(mm)（　　） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による　厚さ 1.2
・ ポリエステル樹脂化粧板	
・ ミディアムデンシティファイバーボード G	・ 素地 MDF(RS)化粧 MDF(・ DV ・ DO ・ PC) ・ 3　・ 7　・ 9　・ 12
・ 単板張り パーティクルボード G	・ 無研磨板　VN ・ 研磨板　VS ・ 10　・ 12　・ 15　・ 18
・ 化粧 パーティクルボード G	・ 単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・塗装 ・ 10（難燃）　・ 12（難燃）
・ ハードボード（素地） G	・ 素地　・RN－HB　・RS－HB ・ 2.5　・ 3.5　・ 5　・ 7
・ インシュレーションボード G	・ T－IB　・A－IB　・S－IB ・ 9　・ 12　・ 15　・ 18
・ ロックウール吸音ボード1号	※ 25
・ グラスウール吸音ボード 32K	※ 25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み)

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※ 規制対象外　・ 第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 [19.7.2][表 9.6.1]
・ 適用する　（・ シーリング材　・ ジョイントコンパウンド）
合板類の張付け　・A種　※B種 [19.7.3]
せっこうボードの目地工法　（⊙ 縁目処理工法　・ 突付工法　・ 目透し工法　・ 図示）[19.7.3]

⑬ 壁紙張り

[19.8.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	プラ(ビニル)	その他(化学繊維)	無機質	防火性能	備考
図示	・	・	⊙	・	・	⊙ 不燃 ⊙ 準不燃・ 難燃	
	・	・	・	・	・	・ 不燃・ 準不燃・ 難燃	
	・	・	・	・	・	・ 不燃・ 準不燃・ 難燃	
	・	・	・	・	・	・ 不燃・ 準不燃・ 難燃	
	・	・	・	・	・	・ 不燃・ 準不燃・ 難燃	

素地ごしらえ [表 18.2.4][表 18.2.7]
モルタル面、プラスター面　※ B種　・ A種（施工箇所：　　）
コンクリート面、ＡＬＣ面　※ B種　・ A種（施工箇所：　　）
せっこうボード面　※ B種　・ A種（施工箇所：　　）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・ 第三種 [19.8.2]

20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事

① 断熱材等

・断熱材 (20.1.2)(表20.1.1)

種類		施工箇所	厚さ(mm)又は使用量	品質等
⊙ ﾌｪﾉｰﾙ状断熱材	⊙ ｸﾞﾗｽｹｰﾙ	壁・天井	100・50	24kg品
	・ ﾛｯｸｹｰﾙ			
・ボード状断熱材	・ ｸﾞﾗｽｹｰﾙ			
	・ ﾛｯｸｹｰﾙ			
	・ 木質繊維			
⊙ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	※ A種2種ｂ	※ 一般部	※ 25	ノンフロンのもの G
	※ A種3種ｂ	⊙ ピット内	※ 25 ⊙ 30	ノンフロンのもの G
・ ﾌｪｰﾙﾌｫｰﾑ保温材	※ A種1種	・	・	ノンフロンのもの G
⊙ 現場発泡断熱材	※ A種1	※ 断熱材補修部分	——	ノンフロンのもの G
		⊙一般部	※ 25	※ 難燃性
		・	・	

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材の
ホルムアルデヒドの放散量
※ 規制対象外　・ 第三種

・防湿材
種類　・木造標仕20.2.2(2)(ｱ)　・木造標仕20.2.2(2)(ｲ)　・木造標仕20.2.2(2)(ｳ)
厚さ　・
施工箇所　※図示　・
・気密材
種類　・木造標仕20.2.2(3)(ｱ)　・木造標仕20.2.2(3)(ｲ)　・木造標仕20.2.2(3)(ｳ)
・木造標仕20.2.2(3)(ｴ)　・木造標仕20.2.2(3)(ｵ)　・木造標仕20.2.2(3)(ｶ)
・木造標仕20.2.2(3)(ｷ)
厚さ　・
施工箇所　※図示　・
・防風材
種類　・木造標仕20.2.2(4)(ｱ)　・木造標仕20.2.2(4)(ｲ)　・木造標仕20.2.2(4)(ｳ)
・木造標仕20.2.2(4)(ｴ)　・木造標仕20.2.2(4)(ｵ)
厚さ　・
施工箇所　※図示　・
断熱材の施工
・充填断熱工法
・外張断熱工法
防蟻処理　※行う　・行わない
防湿層の施工
・省略する
床下及び小屋裏等の点検口まわり　・木造標仕20.2.4(5)(ｳ)(b)
コンセント及びスイッチボックスまわり　・木造標仕20.2.4(4)(ｴ)(b)①
・木造標仕20.2.4(4)(ｵ)(b)②

② サイディング工事

・窯業系サイディング (20.3.2)

種類	形状	働き長さ	働き幅(mm)	厚さ(mm)	表面模様	耐凍害性能
・素板ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ	⊙縦張り用	・1820mm	・182	・12	・フラット	⊙あり
・塗装用ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ	・横張り用	・2730mm	・303	・15	⊙木目調	・なし
⊙化粧ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ		⊙3030mm	⊙455	・18	・タイル調	
		・ mm	・	⊙16	・	

防火、耐火性能（ ・耐火構造 ・準耐火構造 ・防火構造 ・準防火構造 ・なし ）
現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ（　　）
通気胴縁　樹種　※杉　・図示　寸法　※図示
通気胴縁の防腐処理方法（　　）

・複合金属サイディング (20.3.3)

種類	形状	有効幅(呼び寸法)	長さ(mm)	厚さ(mm)	表面材・しん材の種別
・1種	・縦張り用	・150ﾀｲﾌﾟ・140ﾀｲﾌﾟ	・2727	・12～15	・塗装溶融亜鉛めっき鋼板
・2種	・横張り用	・170ﾀｲﾌﾟ・165ﾀｲﾌﾟ	・3030	・15～18	・塩化ビニル鋼板
		・225ﾀｲﾌﾟ・215ﾀｲﾌﾟ	・3636		・せっこうﾎﾞｰﾄﾞt9.5
		・ ﾀｲﾌﾟ・ ﾀｲﾌﾟ	・		・せっこうﾎﾞｰﾄﾞt12.5

防火、耐火性能（ ・耐火構造 ・準耐火構造 ・防火構造 ・準防火構造 ・なし ）
現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ（　　）
通気胴縁　樹種　※杉　・図示　寸法　※図示
通気胴縁の防腐処理方法（　　）

③ トイレブース

[20.2.5]

表面材の材質	脚部形状	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質	備考
⊙ メラミン樹脂系化粧板	※ 幅木型	・ 標準	⊙ アルミニウム	ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き
・ ポリエステル樹脂系化粧板	・足金物型	⊙ R	・ ステンレス	

パネル材料のホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・ 第三種

4 階段手すり

[20.2.6]

種別	施工箇所
※ 集成材クリアラッカー仕上げ（市販品）	
・ ビニル製ハンドレール	

5 階段滑止め

材　種　ステンレス SUS 304 [20.2.7]
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※ 有り（・ ステンレス製　※ ビニル製）　・ 無し
幅(mm)　・35　・
取付け工法　※ 接着工法　・ 埋込み工法

6 黒板及びホワイトボード

[20.2.9]

種類		寸法(mm)	色彩	備考
・ 黒板	※ 焼付け		※ 緑 ・ 黒	※平面 ・ 曲面 ・ ｽｸﾘｰﾝ付引分
・ ホワイトボード	※ ほうろう		※ 白	※平面 ・ 曲面 ・ ｽｸﾘｰﾝ付引分

⑦ 錠

寸法(mm)　⊙ 図示　・ [20.2.10]
厚さ(mm)　※ 5　⊙ 6

⑧ 表示

衝突防止表示 [20.2.11]
※ 図示（市販品　※ ステンレス製　径約 30 mm　・　　）
（※ 両面　・ 片面）
・無し
表示標識　案内用図記号については JIS Z 8210 によるほか、図示による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

⑨ ブラインド

[20.2.14]

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)
※ 横型	※ 手動	※ ｷﾞﾔ式 ・ ｺｰﾄﾞ式 ・ 操作棒式	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	※ 25
	・ 電動		・	・
・ 縦型	・ 手動	・ 1本操作ｺｰﾄﾞ　※ 2本操作ｺｰﾄﾞ	・ ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ	・ 80
	・ 電動		・ ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・ 100

⑩ ロールスクリーン

防炎性能　※ 有り [20.2.15]

取付箇所	材種	操作方法	種類	幅、高さ	遮光性能
図示		※ 手動	⊙ ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式 ・ ｺｰﾄﾞ式		・1級・2級・3級
		・ 電動			

⑪ カーテン

防炎性能の表示があるものとする [20.2.16]

施工箇所	種別 ﾄﾞﾚｰﾌﾟ	ｼｬｰ	形式 ｼﾝｸﾞﾙ	ﾀﾞﾌﾞﾙ	片引	引分	装置 電動	ひも引	手引	性能	備考
図示	⊙	・	⊙	・	⊙	⊙	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・	・	・	・		

カーテン用きれ地
ひだの種類　・ プレーンひだ　・ 片ひだ　・ 箱ひだ　・ つまひだ　・ フランスひだ
特殊加工　※ 防炎加工　・

⑫ カーテンレール

材　種　※ アルミニウム製　・ ステンレス製 [20.2.14]
形　式　・ シングル　・ ダブル
・ 片引き　・ 引分け

⑬ ブラインドボックス及びカーテンボックス

・市販品（アルミニウム製　押出し型材）　※ 木製
溝幅×深さ(mm)　・ 90×150　・ 120×80　※ 120×150　・ 150×80　⊙ 図示
色彩　※ B－1　・ B－2（※ ブラウン系　・ ブラック　・ ステンカラー）
・図示

⑭ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
⊙ アルミニウム製	⊙ 450×450	⊙ 一般型	・ 屋内外用	・ 枠ﾀｲﾌﾟ	・ 枠ﾀｲﾌﾟ
・	・ 600×600		・ 屋内用	⊙ 目地ﾀｲﾌﾟ	⊙ 目地ﾀｲﾌﾟ
		・ 密閉型			

⑮ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・ アルミニウム製	・ 450×450	・ 一般型	⊙ 屋内外用	⊙ 鍵付き
⊙ ステンレス製	⊙ 600×600	・ 密閉型	・ 屋内用	
・ 鋼製		⊙ 結露防止型		

16 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ 1種　・ 2種　・ 3種
・ 鋼製物品棚		・ 4種　・ 5種　・ 6種

⑰ かぎ箱

市販品
形　式　（⊙ 30 組用　・ 60 組用　・ 120 組用　・　）

18 くつふきマット

市販品
材　質　・ 塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ ビニル製（ステンレス製受枠）
・ 硬質アルミニウム製（受枠とも）　・ ステンレス製（受枠とも）

⑲ 流し台ユニット

種類	寸法(L= mm)	適用内容	規格・品質等
⊙ 流し台	※ 1200　・ 1500　⊙ 2100	トラップ付き	※ 優良住宅部品
・ コンロ台	※ 600　・ 700	ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ　※ 有り	(ｾｸｼｮﾅﾙｷｯﾁﾝⅠ型)
⊙ つり戸棚	※ 1200　・ 900　・ 600		◔ 図示
・ 水切り棚	※ 1200　・ 900	ｽﾃﾝﾚｽ製　※ I段式	※ 市販品

⑳ 屋内掲示板

枠の材質　※ アルミニウム製　⊙ 図示
表面の材質　※ 塩ビ発泡シート張り

㉑ 洗面カウンター

材　種　・ メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　⊙ 人工大理石
奥行き(mm)　・ 約 450　⊙ 約 600

㉒ 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンは JIS T 9251 による [19.2.2]
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※ 塩化ビニル製　・ 磁器又はせっ器質タイル（※ 300　・　　）
・ レジンコンクリート製　⊙ SUS製
屋　外　※ レジンコンクリート製　⊙ 磁器又はせっ器質タイル（※ 300　・　　）

23 フェンス

・ エキスパンドフェンス　（※ 樹脂塗装　・ 溶融亜鉛めっき）
・ メッシュフェンス　（※ 樹脂塗装　・　　）

24 屋外掲示板

照明器具　※ 有り　・ 無し
施　錠　※ 有り　・ 無し

㉕ 収納家具

材質
形状　・ 寸法　※ 図示
ホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・ 第三種

㉖ 止水板

形　状　⊙ 据置式　・ 壁張り式　・ 差込式
寸　法

株式会社　ＫＲＣ
一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号
一級建築士　第293052号　諏利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図
特記仕様書（６）〔木造〕　令和７年度

縮尺 NON
図面番号 A-006

21 排水工事

① 屋外雨水排水

排水管用材料 [21.2.1][表 21.2.1][21.2.2]

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（※１種　・２種）	Ｂ形（ゴム接合）
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	※ ＶＰ　⊙ ＶＵ	円形（接着接合）
・ ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管	・ RS-Ⅵ G	
・ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	・ ＤＶ	

桝の種類 [21.2.1]

種　別	形　状	寸法（mm）
・ 現場打ち	・ 角型	※ 図示
※ 既製品	⊙ 塩ビ製小口径雨水桝	・ 450×450

鋳鉄製マンホールふた [21.2.1]

種　類	適用荷重
・ 水封形　　・ 密閉形（テーパー・パッキン式）	・ Ｔ－ ２用
・ 簡易気密形（パッキン式）　・ 中ふた付密閉形	・ Ｔ－ ６用
	・ Ｔ－１４用
	・ Ｔ－２０用

グレーチングふた [21.2.1]

材　質	形　式	種　類	適用荷重	ﾒﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	上面形状
・ 鋼製	※ 受枠付き	・ 溝ふた用	・ 歩行用	※ 細目	※ 凹凸形
・ ステンレス製	・	・ 桝ふた用	・ Ｔ－ ２用	※ 普通目	※ 平形
	ボルト固定	・ かさ上げ用	・ Ｔ－ ６用	・ 細目	・ 凹凸形
	※ 無し	・ Ｕ字溝用	・ Ｔ-１４用		
			・ Ｔ-２０用		

基床の厚さ及び種類（　　）
現場打ちコンクリート
　種類　※普通コンクリート　・（　　）
　設計基準強度　※18N/mm2　・（　　）
　スランプ　・15cm　・18cm
　鉄筋の種類　※SD295A　・（　　）
凍上抑制層の材料（・　　）
砂の粒度試験　・行う　・行わない
埋戻し材料の種別　・A種　※B種　・C種　・D種 [21.2.1][表 3.2.1]

2 浸透管及び浸透桝

※ 図示

3 縁石及び側溝

コンクリート縁石及び側溝の形状、寸法 [21.3.1]
　※ 図示（A-　　図）
地業の材料及び厚さ　（・砂地業　・砂利地業　※地業の厚さ100mm）
コンクリート　※6章14節［無筋コンクリート］　※設計基準強度18N/mm2　（・　　）
凍上抑制層の材料（・　　）

22 舗装工事

1 路床安定処理

添加材料による安定処理　・行う　・行わない [22.2.2~3][表 22.2.2]
　種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
　　・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
　添加量　　kg/㎡（目標 CBR　※ 5 以上　・　　）
ジオテキスタイル
　・適用する
　　単位面積質量　・60g/m2以上　・
　　厚さ(mm)　・0.5~1.0　・
　　引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
　　透水係数　・1.5×10-1cm/sec以上　・
　・適用しない

2 盛り土に用いる材料

・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種 [22.2.3][表 3.2.1]

3 遮断層、凍上抑制層フィルター層の材料

・ 遮断層　※ 川砂、海砂又良質な山砂 [22.2.2~3]
・ 凍上抑制層　※ 再生クラッシャラン　・ クラッシャラン　切り込み砂利　・ 砂
・ ﾌｨﾙﾀｰ層　※ ごみ、泥等の有機物を含まない砂

4 路床土の支持力比試験

・ 行う（※ 乱した土　・ 乱さない土）合格判定値　　以上　・行わない [22.2.5]

5 路床締固め度の試験

・ 行う（合格判定値　　以上）　・行わない [22.2.5]

6 砂の粒度試験

・ 行う　・行わない

7 路盤材料 G

※ 再生クラッシャラン（ＲＣ－４０） G [22.3.3]
・ クラッシャラン鉄鋼スラグ（ＣＳ－４０） G
・ クラッシャラン（Ｃ－４０）
　透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

8 路盤の締固め度の試験

※ 行う [22.3.5]

9 アスファルト舗装

車道部の基層　※ 無し　・ 有り
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度 [22.4.2]
アスファルト　※ 再生アスファルト　・ ストレートアスファルト [22.4.3]
再生アスファルトの種類　・ 60~80　・80~100
加熱アスファルト混合物の種類 [22.4.4][表 22.4.4]

区分	・ 一般地域	・ 寒冷地域
表層	※ 密粒度アスファルト混合物（13）	※ 密粒度アスファルト混合物（13F）
	・ 細粒度アスファルト混合物（13）	・ 細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・ 粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート　※ 行わない　・ 行う（施工範囲：　　） [22.4.5]
シールコート用乳剤の種別　・ ＰＫ-１　・ ＰＫ-２ [22.4.3]
アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　・行う [22.4.6]

10 コンクリート舗装

早強セメント　※ 使用しない　・ 使用する [22.5.3]
注入目地材料　※ 低弾性タイプ　・ 高弾性タイプ [表 22.5.2]
　※目地の種類、間隔、構造　標仕表22.5.3 図22.5.1による　・図示
溶接金網　※ 有り　・ 無し [22.5.3~4]

11 カラー舗装

[22.6.2~3]

種類	材料	厚さ	構　成
※ 加熱系	・有色骨材（焼成）・ 着色骨材（樹脂被覆）・自然石		
・ 常温系	・		

常温系カラー舗装着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装

12 透水性アスファルト舗装 G

アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　・ 行う [22.7.6][22.4.6]

13 ブロック系舗装 G

・ コンクリート平板舗装（コンクリート平板は、JIS A 5371 の平板） [22.8.2~3]

種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
※ 普通平板（Ｎ）	※ 300角	※ 60	※ 砂
・ 透水平板（Ｐ）	・		・モルタル

・ インターロッキングブロック舗装 [22.8.2~3]

種　類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等
※ 普通ブロック（Ｎ）	車道部　※ 80　・	※ 標準品
・ 透水性ブロック（Ｐ）	歩道部　※ 60　・	・
・ 誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色系とする
・ 植生ブロック（Ｖ）	※ 80　・ 100	

・ 舗石舗装（石材は、JIS A 5003 の ２等品） [22.8.2~3]

種　類	厚さ(mm)	施工方法	基　層
※ 小舗石（花こう岩）	※ 80~100　・	※ うろこ張り	※ コンクリート舗装
・	・	・	・ アスファルト舗装

14 砂利敷き

・　Ａ種　・　Ｂ種 [22.9.2][表 22.9.1]

15 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・ １種 G	常温	液状	※ 白	※ 150	※ 1.0	塗料総質量に対して
・ ２種 G	加熱		・	・	・	5% 以下
※ ３種１号	溶融	粉体状				

23 植栽工事

1 樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類 [23.2.2~3][表 23.2.1~2]

適　用	有効土層の厚さ(cm)	工　法	整備範囲
※ 行う　・ 行わない	※ 20	※ Ｂ種	※ 植栽範囲　・ 図示

樹木 [23.2.2~3][表 23.2.1~2]

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ(cm)	工　法	整備範囲
・ １２ 以上	※ 100	※ Ａ種	・ 葉張りの範囲
・ ７ 以上～１２ 未満	※ 80	・ Ｂ種	ただし、低木は植栽範囲
・ ３ 以上～７ 未満	※ 60	・ Ｃ種	・ 図示
・ ３ 未満	※ 50	・ Ｄ種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで補込み用土で盛土を行う。

2 植込み用土

※ 現場発生土の良質土　・ 客土（※ 畑土　・ 黒土） [23.2.3]

3 土壌改良材 G

※ 適用する [23.2.3~4]
　施工箇所　※ 植栽範囲　・ 図示
パークたい肥 G
　有機物の含有量（乾物）　：70%以上
　炭素窒素比（C/N比）　：35以下
　陽イオン交換容量（乾物）：70meq/100g以上
　pH　：5.5~7.5
　水分　：55~65%
　幼植物試験の結果　：生育阻害その他の以上を認めない
　窒素全量（現物）　：0.5%以上
　りん酸全量（現物）　：0.2%以下
　かり全量（現物）　：0.1%以上
発酵下水汚泥コンポスト G
　「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする
　有機物の含有量（乾物）　：35%以上
　炭素窒素比（C/N比）　：20以下
　pH　：8.5以下
　水分　：50%以下
　窒素全量（現物）　：0.8%以上
　りん酸全量（現物）　：1.0%以上
　アルカリ分（現物）　：15%以下（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない）

4 支柱材

※ 杉、ひのき又はから松（皮はぎもの、間伐材） G ※加圧式防腐処理 [23.3.2]
・ 真竹（良質な ２年生以上）

5 幹巻き用材料

※ 幹巻き用テープ　・ わら及びこも [23.3.2]

6 樹木の枯補償

期間（引渡しの日から）　・（　　）年　・ 1年 [23.3.4]

7 芝張り

種類　※ コウライシバ　・ノシバ [23.4.2]
工法　・ 目地張り　・ べた張り
　平地　※ 目地張り　・ べた張り
　法面　・ 目地張り　※ べた張り

8 吹付けは種用種子等

※ 洋芝類（採取後２年以内） [23.4.2]

9 他被類

※ コンテナ栽培品

株式会社　ＫＲＣ
一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号
一級建築士　第293052号　渡利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図
特記仕様書（７）〔木造〕
令和７年度

縮尺 NON
図面番号 A-007

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体　工事設計図

仕様書

※ 本特記仕様書は、非木造の建築物に適用する。

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　　長野市篠ノ井東福寺　南長野運動公園

2．工事種目

	建物名	構　造	階　数	延床面積	備　考
1	スタンド（観客席Ａ棟）	鉄骨造	平屋建て	366.11㎡	
2	スタンド（中央倉庫棟）	ＲＣ造	平屋建て	114.00㎡	
3	スタンド（観客席Ｂ棟）	鉄骨造	平屋建て	366.11㎡	
4	倉庫	鉄骨造	平屋建て	105.41㎡	
5	シェルター	アルミニウム合金造	平屋建て	12.60㎡	4棟（合計：50.40㎡）
6	四阿	鉄骨造	平屋建て	9.00㎡	

3．工事範囲

※「2．工事種目」すべてを工事範囲とする。

・「2．工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。

ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2　仮設工事	
3　土工事	
4　地業工事	
5　鉄筋工事	
6　コンクリート工事	
7　鉄骨工事	
8　ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ,ALCﾊﾟﾈﾙ,押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	
9　防水工事	
10　石工事	
11　タイル工事	
12　木工事	
13　屋根及びとい工事	
14　金属工事	
15　左官工事	
16　建具工事	
17　カーテンウォール工事	
18　塗装工事	
19　内装工事	
20　ユニット及びその他の工事	
21　排水工事	
22　舗装工事	
23　植栽及び屋上緑化工事	

Ⅱ　建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて長野市建設工事共通仕様書による。

（2）（1）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書・同指針（建築工事編）令和７年版」（以下、「標仕」という。）で「特記がなければ」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。

⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

（3）本工事は特記あるものを除き、長野市契約規則及び工事請負契約書の記載事項による。

（4）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達等の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。なお、特定調達品目か否かの判断基準は監督職員との協議による。

（6）長野市環境方針について

工事にあたっては、長野市環境方針（最新版）を充分に配慮し、設計書及び標準仕様書はもとより、環境に配慮した材料の仕様、廃棄物の発生抑制、アイドリングストップや省エネ重機の使用による省エネルギーの推進、低公害工事機材の使用、工事従業者への教育など、施工にあたって細心の注意を払うことにより、工事の環境への影響を極力少なくするよう配慮すること。なお、具体的な計画を、施工計画書に記載し実践するものとする。

また、循環型社会の構築への取り組みとして、リサイクル促進の観点から「長野市溶融スラグ入りコンクリート二次製品利用基準」に基づき、溶融スラグ入りコンクリート二次製品の積極的な利用に努めること。

（7）長野市公契約等基本条例に関する事項

受注者等は、法令を遵守するとともに、次に掲げる取組その他長野市公契約等基本条例第３条の基本理念に基づく必要な取組を行ない、公契約等を適正に履行するよう努めなければならない。

1）長野市公契約等基本条例の内容について、労働者等へ周知するとともに、事務所（作業所）等へポスターを掲示すること。

2）業務の一部を下請負者等に履行させるときは、長野市公契約等基本条例の内容について説明し、各々の対等な立場における合意に基づいて適正に契約を締結すること。

⊙ 長野市公契約等労働環境報告書１部及び施工体系図（共通仕様書に定められたもの）の写し１部を契約後速やかに監督職員へ提出すること。この場合、業務の一部を下請負者等に履行させるときは、下請負者等の労働環境報告書を取りまとめて提出すること。

（8）本工事における必要な諸手続等は原則として受注者において行うこと。

（9）工事の着手前に工事概要等を近隣住民等に周知するなど、理解協力を求めること。

また、工事車両の通行による道路の損傷には十分留意し、損傷が発生した場合は、道路管理者と協議のうえ受注者の責任において速やかに修復すること。

（10）工事区域外に土砂等を散乱することがないように注意すること。また、道路を汚した場合は速やかに清掃すること。

（11）作業時間、作業日、騒音振動等については、近隣住民に配慮し、関係法令を遵守することとし、事前に監督職員と協議の上、工事内容、施工条件等考慮して決めること。特に建設業法、建設リサイクル法には留意のこと。

（12）施設用途を充分に理解し、転倒防止、落下防止、衝突防止、足掛かり、指詰め防止、面取り等に配慮し、図示なくとも施工段階で考慮し安全性の高い施設になるよう努めること。

（13）諸材料については必要に応じ見本品または現品を提出し、監督職員の承諾を受け使用のこと。

ただし、JIS規格合格品等で監督職員がそれを確認できた場合はこの限りではない。

（14）施工上必要ある個所は、監督職員の指示により適切なる材料をもって養生を施し、急硬急乾凍結暖損の防止をすること。

（15）施工するにあたり建築、電気設備、機械設備等の取合いを十分に検討すること。

（16）施工期間中の降雨等の排水については、任意仮設により水処理を行うこと。

（17）施工にあたり、必要最小限の樹木の枝打ち伐採は工事に含む。（監督職員と協議、承諾のうえとする）

（18）工事完了後検査不可能個所の施工にあたっては、必要に応じ監督職員の立会いのもとに施工のこと。

（19）工事完了後は速やかに工事現場内外の清掃、後片付け及び損傷個所の復旧補修をし、監督職員の確認を受けること。

（20）上記各事項に要する諸経費は全て受注者において負担する。

（21）工事しゅん工引渡し後特記あるものを除き、工事の施工に起因した不具合が生じた場合は、木造建物及び工作物１年間（受注者の故意または重大な過失による場合、５年間）、木造以外の建物及び工作物２年間（同、10年間）以内に、期日を定め補修工事をし、市建築課係員の検査を受けること。

（22）暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

1）長野市が発注する建設工事（以下「発注工事」という。）において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否すること。また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。

2）上記により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。

3）発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

（23）過去の工事における瑕疵等を発見した場合は速やかに監督職員に報告すること。

（24）「1．各章共通事項」と「2．仮設工事」については、図A-001の「1．各章共通事項」、「2．仮設工事」を適用する。

章	項　目	特　記　事　項
1 各章共通事項	1　適用基準等	⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和４年版） ⊙工事写真撮影ガイドブック（建築工事編）（国土交通省官房官庁営繕部監修 令和５年版） ・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）同解説・令和5年版（国土交通省官房官庁営繕部監修）
	2　週休２日工事	本工事は、週休２日工事の対象工事である。実施にあたっては、長野市週休２日工事実施要領により行う。 ※ 発注者指定型 本工事は、発注者指定型の週休２日工事である。当初予定価格において、４週８休以上の達成を前提とした経費補正を行っている。そのため、現場の閉所実績を確認し、４週８休未満の場合は、未達成として減額変更を行う。 ・ 施工者希望型 本工事は、施工者希望型の週休２日工事であり、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休２日に取組む旨を通知したうえで取組む工事である。当初予定価格において、４週８休以上達成を前提とした経費補正を行っている。そのため、４週８休未満の場合は、現場の閉所実績に応じた金額補正を行う。 また、希望しなかった場合は、未達成として減額変更を行う。
	3　熱中症対策に資する現場管理費補正(試行)	本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して現場管理費の補正を試行的に実施する対象工事である。熱中症リスク軽減対策として、遮光ネット（足場に設置するものに限る）等の設置を予定し現場管理費の補正を求める場合は、受発注者間で必要な設置期間等を協議し、設計変更により対応する。 受注者は、事前（施工計画書等）に「熱中症リスク軽減に対する具体的対策内容」を記載し、竣工時に熱中症対策に資する現場管理の実績報告書を提出するものとする。
	4　工事実績情報の登録	※ 適用する（工事カルテ：請負金額500万以上）　(1.1.4)
	5　火災保険等	工事目的物及び工事用材料（支給材料を含む）について、次により保険を付す。 保険の種類　・ 火災保険　※ 建設工事保険（ ⊙ 水災害特約を含む ） 保険期間　工事着手から工事目的物引渡し日まで
	6　書類の書式等	※長野市公共建築工事関係提出書類様式（令和４年度改定）による。　(1.1.5)
	7　品質計画	⊙建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。　(1.2.2) ※ 風速（Vo=30m/s） ※ 地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ※Ⅲ ・Ⅳ ） ※ 積雪区分　建告示第 1455 号 別表（・第25号　※第26号）
	8　電気保安技術者	・適用する　・適用しない　(1.3.3)
	9　条件明示項目	部分引渡し　・無　・有　範囲（　　）　(1.3.5) 引渡し時期：令和　年　月 部分使用　・無　・有　範囲（　　） 使用開始時期：令和　年　月 イメージアップ　・行う（　　）
	10　発生材の処理等	※構外搬出適切処理　(1.3.11)
	11　環境配慮	揮発性有機化合物を放散させる建築材料等　(1.4.1) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の１）から５）を満たすものとする。 1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 2）保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 3）接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを 放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 5）1）、3）及び 4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
	12　材料の品質等	建築材料等　(1.4.2) 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合はあらかじめ監督職員の承諾を受ける。 材料・機材等の製造業者は次の（1）から（6）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁 平成18年2月15日）に準拠した証明書等を、監督職員に提出する。
	13　特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	14　技能士	(1.5.2) 適用工事種別 ／ 技能検定作業 仮設工事 ／ ・とび作業 鉄筋工事 ／ ・鉄筋組立て作業 コンクリート工事 ／ ・型枠工作業　・コンクリート圧送施工作業 鉄骨工事 ／ ・構造物鉄工作業 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ ／ ・コンクリートブロック工事作業 押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 ／ ・エーエルシーパネル工事作業 防水工事 ／ ・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業　・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 ／ ・石張り作業 タイル工事 ／ ・タイル張り作業 木工事 ／ ・大工工事作業 屋根及びとい工事 ／ ・内外装板金作業　・スレート施工 金属工事 ／ ・鋼製下地工事作業　・内外装板金作業 左官工事 ／ ・左官作業 建具工事 ／ ・ビル用サッシ施工作業　・ガラス工事作業　・自動ドア施工作業 カーテンウォール工事 ／ ・金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業　・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業　・ｶﾞﾗｽ工事作業 塗装工事 ／ ・建築塗装作業 内装工事 ／ ・プラスチック系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業　・壁装作業 排水工事 ／ ・建築配管作業 舗装工事 ／ ・溶融ﾍﾞｲﾝﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業　・加熱ﾍﾞｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業 植栽工事 ／ ・造園工事作業
	15　見本施工の実施	・実施する　・実施しない　(1.5.5)
	16　化学物質の濃度測定	設計書の仕様のみならず、ＶＯＣ等濃度を下げる施工方法を提案し、かつ、しゅん工前に「厚生労働省が定める室内濃度に関する指針値」によるＶＯＣ測定（対象物：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン）を行い、指針値以下であることを確認する。また、測定により指針値を超えた場合、監督職員との協議により必要な措置（強制換気等による対象物質の放散法、ＶＯＣ等の吸収、分解法他、工期の延期及び再検査等）を講ずるものとする。　(1.5.9) 測定結果について、測定時の室温を記載した報告書を監督職員に提出すること。 測定はアクティブ方式にて行う。 着工前の測定　※ 行わない　・行う 測定対象室　※図示　測定箇所数　※図示
	17　技術検査	中間技術検査　・ 行わない　(1.6.2) ・ 行う（※建築基準法第7条の3に規定する特定工程終了時　・ 躯体完了時） ※ 行う（※長野市建設工事中間検査実施要領第３（契約金額5000万以上）） ・ 行う（※長野市合同検査実施要領第４（条件付一般競争入札対象工事））
	18　完成図等	完成図　(1.7.1～3)（表 1.7.1） ※ 作成する 様式等 ／ 作成方法 ／ 部数 ／ 備考 建築主体原図 ／ CADデータ ／ 1 ／ 総合版製本 ／ 見開き A1製本 ／ ／ 見開き A3製本 ／ 3 ／ ※　製本については、白焼きとし、背表紙に年度と工事名、表紙に年度、工事名、設計者名、工事監理者名、施工者名、工期しゅん工日を印刷する。 ※　電気設備工事、機械設備工事、杭地業工事等が別途発注されている場合は総合版で提出すること。 ※　CADデータの提出は、ＣＤにjww形式（SXF対応拡張線色・線種）で保存したものを１部提出する。 保全に関する資料 ※ 作成する　提出部数２部 なお、「建築物等の利用に関する説明書」は、建築物等の利用に関する説明書作成の手引き（国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課保全指導室）を参考に、保全に関する事項について作成すること。
	19　電子納品に関する事項（試行）	※適用する　・適用しない（国庫補助事業による工事） 竣工書類の電子納品について、受注者が電子媒体の提出を希望し、発注者（長野市の工事担当課）がこれを認めた場合に適用する。 電子納品は「工事書類の電子納品に関する運用の手引き」に基づくものとする（図面関係、写真関係のみ）。なお、電子納品における書類の作成費用等は工事費の諸経費（共通仮設費の率分）に含まれ、検査に要する費用においても受注者の負担とする。　(1.1.5)
	20　情報共有システム	本工事は、情報共有システムを利用できる工事である。利用にあたっては、長野市情報共有システム実施要領により行う。 利用するシステムは「長野市情報共有システム機能仕様書」を満たすものから受注者が選択し、事前に監督員の承諾を受けるものとする。 情報共有システム利用に要する費用（登録料及び利用料）は、共通仮設費の積み上げによる算定とし、設計変更により対応する。
	20　完成写真	※作成する　・作成しない　(1.7.2) 下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。 分類・規格 ／ 撮影箇所数 ／ 提出部数 ／ 原板の大きさ（mm） ※カラー　※ 2L判 ・ ｷｬﾋﾞﾈ判 ／ 外部（　）内部（　） ／ ※ 1 ／ ※ 100×125 以上 ・ ・カラー半切木製パネル 324×400（mm） ／ 外部（　）内部（　） ／ ※ 2 ／ ※電子データ（ﾌﾚｰﾑｻｲｽﾞ＋ｻﾑﾈｲﾙ） ／ 外部（　）内部（　） ／ ※ 1 ／ ※ 428 万画素以上 ※ 350 dpi以上 電子データは、RGB 各 8 ビット（フルカラー）、JPEG 形式最高画質としCD-Rにて提出する。 撮影業者は監督職員の承諾する撮影業者（建築完成写真撮影の実績のある業者）とする。
	21　設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	22　設計ＧＬ	※ 図示　・ 設計ＧＬ＝ 現状ＧＬ
	23　工事写真	・「営繕工事電子納品要領（令和３年改定）」による ・着工前状況及び完成後の工事写真について電子データで１部提出すること。
	24　工事数量総括表	・有り　・なし

章	項　目	特　記　事　項
2 仮設工事	1　足場等	足場を設ける場合、「標仕」2.2.4（2）によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行うこと。　(2.2.4)
	2　監督職員事務所	・設ける　（　　）㎡程度　※設けない　(2.3.1) 設ける備品（机、椅子、書棚、行事予定表、長靴、雨合羽、懐中電灯、安全帯、更衣ロッカー、時計、事務用品、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ、冷暖房、冷蔵庫、電話、インターネット回線、プリンター、コピー機）
	3　工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※ 有償　・ 無償）
	4　工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※ 有償　・ 無償）
	5　交通誘導員	※配置する　（　　）・配置しない
3 土工事	① 埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の材料及び工法　(3.2.3)（表 3.2.1） ※ 標準構仕 表3.2.1による　・ ・ A 種　施工箇所（　　） ⊙ B 種　施工箇所（　全て　） ・ C 種　施工箇所（　　）　土質（　　） 受渡場所（　　） ・ D 種　施工箇所（　　）
	② 建設発生土の処理	・ 現場説明書による　※構外搬出適切処理　(3.2.5) ⊙ 構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し ※ 本工事の残土搬出先は○○○株式会社（長野市○○○）、運搬距離は○○km、第○種発生土と想定しています。残土搬出先は積算上の参考処分場であり、指定するものではありません。なお、参考処分場以外に搬出する場合（自社処分場、無償処分地、参考処分地での受け入れが不可により他の有料処分地）土質区分が想定と異なる場合は、変更協議の対象とする。
	③ 山留め	山留めの撤去　・有り　・なし 山留め撤去跡の処理　（　・　・砂充填　）
4 地業工事		特記仕様書（構造関係）による
5 鉄筋工事		特記仕様書（構造関係）による
6 コンクリート工事		特記仕様書（構造関係）による
7 鉄骨工事		特記仕様書（構造関係）による
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1　補強コンクリートブロック造	材料　(8.2.2) 断面形状及び圧縮強さによる区分 ／ 正味厚さ（mm） ／ ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法 長さ ／ ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法 高さ ／ 化粧の有無 ／ 適用箇所 ／ 備考 ・空洞ブロックC(16) ／ ・100　・120 ／ 400 ／ 200 ／ ・無　・有 ／ ／ ／ ・型枠状ブロック ／ ・150　・190 ／ ／ ／ ・無　・有 ／ ／ ／ ・ ／ ／ ／ ／ ・無　・有 ／ ／ ／ モルタルの調合（容積費）　(8.2.3) ブロックの区分がA(08)、B(12)、C(16)の場合で、目地巾が100mm程度の場合 ※ 標仕 表8.2.1による 上記以外の場合　・ 各部の配筋　・図示による　・　(8.2.5) 目地仕上げ　・ 押し目地仕上げ　・ 化粧目地仕上げ　(8.2.7) まぐさを受ける開口部両側のブロックにおいて、モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲　(8.2.8) ・ 図示による　・
	2　コンクリートブロック帳壁及び塀	材料　(8.3.2)（表8.3.1） 断面形状及び圧縮強さによる区分 ／ 正味厚さ（mm） ／ ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法 長さ ／ ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法 高さ ／ 化粧の有無 ／ 適用箇所 ／ 備考 ※ 空洞ブロック(C16) ／ ／ ／ ／ ・無　・有 ／ ※ 表8.3.1 ／ ・ ／ ・120　・150 ／ ／ ／ ・無　・有 ／ ※ 塀 ／ ・ ／ ／ ／ ／ ・無　・有 ／ ／ ／ モルタルの調合（容積費）　(8.3.3) ブロックの区分がA(08)、B(12)、C(16)の場合で、目地巾が100mm程度の場合 ※ 標仕 表8.2.1による 上記以外の場合　・ 鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　(8.3.4) ・ 図示による　・ 各部の配筋　・図示による　・　(8.3.4)
	3　ALCパネル	材料、構法　(8.4.2～8.4.5)（表 8.4.2～表8.4.4） パネルの区分 用途 ／ 形状 ／ 表面加工 ／ 単位荷重（N/m²） ／ 厚さ（mm） ／ 幅及び長さ（mm） ／ 耐火性能（時間） ／ 構法の種別 ・外壁用 ／ ・一般 ・ﾆｰﾅｰ ／ 平 ・意匠 ／ ・1180 ・1960 ／ ・100 ・ ／ ・図示 ／ ・有(1) ／ ・A種 ・B種 ・間仕切壁用 ／ ・一般 ・ﾆｰﾅｰ ／ 平 ・意匠 ／ ・ ／ ・100 ・ ／ ・図示 ／ ・有(1) ・無 ／ ・C種 ・D種 ・屋根用 ／ — ／ — ／ ・980 ／ ・100 ・ ／ ・図示 ／ ・有(0.5) ／ F種 ・床版用 ／ — ／ — ／ ・2350 ・3530 ／ ・100 ・ ／ ・図示 ／ ・有（　） ・無 ／ F種

株式会社　ＫＲＣ 一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号 一級建築士　第293052号　渡利　真二	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図	縮尺 NON	
	特記仕様書（１）〔非木造〕	令和７年度	図面番号 A-008

4　押出成形セメント板（ＥＣＰ）

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材　(8.4.2)
・ 図示による　・
・ 外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法　(8.4.3)(8.4.5)
耐風圧性能　（　）
耐震性能　（　）
・ 間仕切壁パネル構法　(8.4.4)
耐震性能　（　）
パネル幅の最小限度（mm）　(8.4.3)(8.4.4)(8.4.5)
・ 300未満（・ 図示　・　）
パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地幅（mm）　(8.4.3)(8.4.4)
※ 10～20　・ 図示による
伸縮調整目地への耐火目地材の充填　・ 適用する　・ 適用しない　(8.4.3)(8.4.4)

材料、工法　(8.5.2～8.5.4)(表 8.5.1)(表 8.5.2)

ﾊﾟﾈﾙの種類	形　状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法種別	備考
・ 外壁ﾊﾟﾈﾙ	※ Ｆ（ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ）	・ 50　・ 60　・	600	・Ａ種 ・Ｂ種	
	・ Ｄ（ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ）	・ 50　・ 60			
	・ Ｔ（ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ）	60			
・ 間仕切ﾊﾟﾈﾙ	※ Ｆ（ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ）	・ 50　・ 60　・	600	・Ｂ種 ・Ｃ種	
	・ Ｄ（ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ）	・ 50　・ 60			
	・ Ｔ（ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ）	60			

・ 外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法　(8.5.3)
耐風圧性能　（　）
耐震性能　（　）
・ 間仕切壁パネル構法　(8.5.4)
耐震性能　（　）
耐火構造以外の目地及び隙間の処理　※ パネル製造所の仕様による　(8.5.3)(8.5.4)
パネル幅の最小限度（mm）　(8.5.3)(8.5.4)
・ 300未満（・ 図示　・　）
パネル相互の目地幅（mm）　(8.5.3)(8.5.4)
長辺の目地幅　・ 10以上　・ 図示による
短辺の目地幅　・ 15以上　・ 図示による
出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅（mm）　(8.5.3)(8.5.4)
※ 15程度（シーリング材を充填）　・ 図示による
溝堀及び開口部の措置　(8.5.5)
やむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度
・ 図示による　・

9　防水工事

1　アスファルト防水

屋根保護防水
防水層の種別　(9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.3～表 9.2.6)

種　別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・ Ａ－１			※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/㎡程度 ・
・ Ａ－２			
・ Ａ－３			
・ Ｂ－１			
・ Ｂ－２			
・ ＡＩ－１		（厚さ） ・ mm	※ ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/㎡程度 ・
※ ＡＩ－２			
・ ＡＩ－３			
・ ＢＩ－１			
・ ＢＩ－２			

改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ　(9.2.2)
※ 標仕 表9.2.3及び表9.2.4による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・ R種　・ N種
厚さ　・　mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ　(9.2.2)
※ 標仕 表9.2.5及び表9.2.6による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・ R種　・ N種
厚さ　・　mm以上
押え金物の材質及び形状寸法　(9.2.2)
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
立上り部への断熱材及び絶縁シートの設置　(表 9.2.4)(表 9.2.6)
・ 適用する　・ 適用しない

屋根露出防水
防水層の種別　(9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.7)(表 9.2.8)

種　別	施工箇所	断熱材	仕上塗料（種類）	仕上塗料（使用量）
・ Ｄ－１			・	※ 製造所の仕様による ・
・ Ｄ－２				
・ Ｄ－３				
・ Ｄ－４		（厚さ） ・ mm		
・ ＤＩ－１				
・ ＤＩ－２				

改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ　(9.2.2)
※ 標仕 表9.2.3及び表9.2.8による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・ R種　・ N種
厚さ　・　mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ　(9.2.2)
※ 標仕 表9.2.7及び表9.2.8による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　・ R種　・ N種
厚さ　・　mm以上

2　改質アスファルトシート防水

押え金物の材質及び形状寸法　(9.2.2)
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び装置数量　(9.2.3)
種類　※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量　※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　個

屋内防水
防水層の種別　(9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.9)

種　別	施工箇所	種　別	施工箇所
・ E-I		・ E-I	

保護層　・ 設ける（・ 図示　・　）　(9.2.3)
・ 設けない
E-Iの工程3を行う場合の部位　(表 9.2.9)
※ 貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位
・

施工
防水層の下地のモルタル塗り　(9.2.4)
・ 適用する（施工範囲　・ 図示　・　）　(9.2.4)
・ 適用しない
防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ　(9.2.4)
※ 標準構仕 表6.2.4のB種　・
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　(9.2.4)
・ 図示による　・

保護層等の施工　(9.2.5)
平場の保護コンクリートの厚さ　(9.2.5)
こて仕上げ　※ 水下 80mm以上　・
床タイル張り　※ 水下 60mm以上　・
立上り部の保護工法　(9.2.5)
・ 乾式保護材　乾式保護材の材料（・　）　(9.2.2)
・ コンクリート押え
・ モルタル押え（屋内等）
・ れんが押え（・ 図示　・　）
れんがの材料　・ JIS R 1250（普通れんが及び化粧れんが）　(9.2.2)
・
屋上排水溝の設置　(9.2.5)
・ 図示による　・

3　合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別　(9.3.2)(9.3.3)(表 9.3.1～表9.3.3)

種　別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
・ＡＳ－Ｔ１				-	※ 製造所の仕様による
・ＡＳ－Ｔ２					
・ＡＳ－Ｔ３					
・ＡＳ－Ｔ４					
・ＡＳ－Ｊ１					
・ＡＳＩ－Ｔ１		（種類） ・ mm （厚さ） ・ mm	・ 設ける ・ 設けない		
・ＡＳＩ－Ｊ１					

(9.3.3)
改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.1から表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.2から表9.3.3による　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ
※ 標仕 表9.3.2から表9.3.3による　・
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度　・

屋根露出防水絶縁工法、屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量　※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　個

防水層の種別　(9.4.2～9.4.4)(表 9.4.1)(表 9.4.2)

種　別	施工箇所	可塑剤移行防止ｼｰﾄの材質	断熱材	歩行の仕様	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
・ S-F1				※非歩行用 ・軽歩行用	・	※ 製造所の仕様による ・
・ S-F2				・非歩行用 ・軽歩行用		
・ S-M1				※非歩行用 ・軽歩行用	・	※ 製造所の仕様による ・
・ S-M2				・非歩行用 ・軽歩行用		
・ S1-F1			（種類） ・ mm （厚さ）		・	※ 製造所の仕様による ・
・ S1-F2			・ mm			
・ S1-M1			（種類） ・ mm （厚さ）		・	※ 製造所の仕様による ・
・ S1-M2		・発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	・ mm			

屋内防水層の種別　(9.4.2～9.4.4)(表 9.4.3)

種　別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗厚（mm）	保護層 平場のモルタル塗り 工法	立上り部の保護モルタル塗りの厚さ
・ S-C1	・	・	・ 床塗り ・ 下地モルタル塗り	※ 7mm以下 ・

ルーフィングシートの種類及び厚さ　(9.4.2)
※ 標仕 表9.4.1から表9.4.3による　・
固定金具の材質及び形状　(9.4.2)
材質　※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの
・
厚さ（mm）　※0.4以上　・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量　(9.4.3)
種類　※ ルーフィングシートの製造所の指定
・
設置数量　※ ルーフィングシートの製造所の指定
・　個
断熱工法（SI-M1、SI-M2の場合）の防湿用フィルム　(表 9.4.2)
・ 設置する　・ 設置しない

接着工法の場合のPCコンクリート部材防水下地の目地処理　(9.4.4)
・ 行う（・ 図示　・　）　・ 行わない
PCコンクリート下地の入隅部の増し張り（S-F1、S1-F1の場合）　(9.4.4)
・ 行う（・ 図示　・　）　・ 行わない
機械的固定方法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け　(9.4.4)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 図示による　・

4　塗膜防水

防水層の種別　(9.5.3)(表 9.5.1)(表 9.5.2)

種　別	施工箇所	仕上塗料 種　類	仕上塗料 使用量	保護層
・ X-1		・	※ 製造所の仕様による	
⊙X-2	⊙ 屋上	・	※ 製造所の仕様による	
・ Y-1	・ 地下外壁防水 ・			
・ Y-2	・ 屋内防水 ・			・ ・

ウレタンゴム系塗膜防水 X-I（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量　(9.5.3)
種類　※ 主材料の製造所の仕様　・
設置数量　※ 主材料の製造所の仕様　・　個

5　ケイ酸質系塗布防水

防水層の下地（壁及び天井）　(9.6.4)
※ コンクリート打放し仕上げ（標仕 表6.2.4のB種）
・
下地処理　(9.6.4)
コンクリートの打継箇所の処理
※ 標仕9.6.4(2)(ｱ)による
標仕9.6.4(2)(ｲ)及び(ｳ)以外の下地処理
・ 図示による　・

6　シーリング

材料　(9.7.2)
種類及び施工箇所
※下表以外は、標仕 表9.7.1による
ただし、外壁タイル接着剤張りの目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所（　）
シーリング材の目地寸法　(9.7.3)
※ 標仕9.7.3(1)による　・
接着性試験　(9.7.5)
※ 簡易接着性試験　・ 引張接着性試験　・

7　標準仕様書以外の工法

FRP系塗膜防水
・ 適用する（メーカー仕様による）
※ 適用しない
超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水
・ 適用する（・高伸張形　・高強度形）（メーカー仕様による）
※ 適用しない

8　保証書の提出

※ 受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。

・ アスファルト防水	保証期間 10年
・ シート防水	保証期間 10年
⊙ 塗膜防水	保証期間 10年
・ 超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水	保証期間 15年
・ FRP防水	保証期間 10年
・ ステンレス防水	保証期間 10年

10　石工事

1　施工　石材の割付け　・ 図示による　・　(10.1.3)

2　石材等

天然石　(10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2)

施工箇所	岩石の種類	寸法	表面仕上げの種類	バフ仕上げの有無	備考
	・	・ 図示による			

テラゾブロック　(10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ（mm）	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法	表面仕上げの種類	備考
	※ 大理石 ・ 花崗岩	※ 1.5～12 ・	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面			

テラゾタイル　(10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ（mm）	寸法による区分（mm）	表面仕上げの種類	備考
	※ 大理石 ・ 花崗岩	※ 1.5～12 ・	・ 300×300 ・ 400×400		

取り付け用モルタル、既調合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料　(10.2.3)
※ 専門工事業者の指定する製品　・

3　外壁湿式工法

受金物　材質　※ ステンレス（SUS304）製　・　(10.2.2)
形状及び寸法
※ L-75×75×6(mm)　（・ 長さ=100mm　・ 長さ=150mm）
・
アンカーの材質及び寸法　(10.2.2)
材質：※ SS400　・　寸法：
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質、形状及び寸法
・ 図示による　・
ドレンパイプの材質　(10.2.3)
・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ等き　25～35φ

石材の厚さ(mm)　・　(10.3.2)
石裏面処理　・ 適用する　・ 適用しない
裏打ち処理　・ 適用する　・ 適用しない
下地ごしらえ　※ あと施工アンカー 横筋流し工法　(10.3.3)
・ 流し筋工法
・ あと施工アンカー工法
目地　一般目地　目地幅(mm)　・ 6mm　・ mm　(10.3.3)
シーリング材　・ 適用する　・ 適用しない
伸縮調整目地　位置　※ 標仕 表11.1.1による
・ 図示による
シーリング材の目地寸法
※ 幅・深さ共 10mm以上
・ 図示による

4　内壁空積工法

受金物　材質　※ ステンレス（SUS304）製　・　(10.2.2)
形状及び寸法
※ L-75×75×6(mm)　（・ 長さ=100mm　・ 長さ=150mm）
・
アンカーの材質及び寸法　(10.2.2)
材質：※ SS400　・　寸法：
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質、形状及び寸法
・ 図示による　・

石材の厚さ(mm)　・　(10.4.2)
石裏面処理　・ 適用する　・ 適用しない
裏打ち処理　・ 適用する　・ 適用しない
下地ごしらえ　※ あと施工アンカー 横筋流し工法　(10.4.3)
・ あと施工アンカー工法
目地　一般目地　目地幅(mm)　・ 6mm　・ mm　(10.4.3)
シーリング材　・ 適用する　・ 適用しない
伸縮調整目地　位置　※ 6m程度ごと　・ 図示による
シーリング材の目地寸法
※ 幅・深さ共 10mm以上
・ 図示による

5　外壁乾式工法

外壁乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等　(10.2.2)
※ 標仕10.2.4による
方式　・ スライド方式　・ ロッキング方式
・ 図示による

アンカーの材質及び寸法　(10.2.2)
材質：※ ステンレス（SUS304）製　・　寸法：
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法
種類：　材質：　寸法：
上記以外の金物の材質、形状及び寸法
・ 図示による　・

石材の厚さ(mm)　・　(10.5.2)
だぼ用の穴の位置　※ 標仕10.5.2(2)(ｱ)による　・ 図示による
裏打ち処理　・ 適用する　・ 適用しない
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　(10.5.3)
・ 図示による　・
目地　一般目地　目地幅(mm)　・ 8mm　・ mm　(10.5.3)
シーリング材　・ 適用する（※ 標仕9.7による　・ 図示）
・ 適用しない

株式会社　ＫＲＣ
一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号
一級建築士　第293052号　諏利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図
特記仕様書（２）〔非木造〕　令和７年度

縮尺 NON
図面番号 A-009

11 タイル工事

6 床及び階段の石張り

石材の厚さ(mm)　床（　　）、階段（　　）　(10.6.2) (10.6.3)

床石張り　(10.6.2)

- 浸透性吸水防止剤　・適用する　・適用しない
- 石裏面処理　・適用する　・適用しない
- 裏打ち処理　・適用する　・適用しない

階段石張り　(10.6.3)

- 石裏面処理　・適用する　・適用しない
- 目地　一般目地　目地幅(mm)　・図示による　・　(10.6.2) (10.6.3)
- シーリング材　・適用する　・適用しない
- 伸縮調整目地　位置　※ 床面30m程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部　・図示による
- シーリング材の目地寸法　※ 幅・深さ共 10mm以上　・図示による

7 笠木、甲板等の石張り

取り付け方法　・湿式工法　・乾式工法　(10.7.2) (10.2.2)

- 湿式工法の取付け金物　・標仕10.2.2(1)による　・図示による
- 乾式工法の取付け金物　・標仕10.2.2(2)による　・図示による
- 方式　・スライド方式　・ロッキング方式
- 特殊部位用金物　・標仕10.2.2(3)による　・図示による
- ファスナー　・図示による

アンカーの材質及び寸法　(10.2.2)

- 湿式工法の材質：※ ステンレス（SUS304）製　・　寸法：
- 乾式工法の材質：※ SS400　・　寸法：

あと施工アンカーの種類、材質及び寸法

- 種類：　材質：　寸法：

上記以外の金物の材質、形状及び寸法

- ・図示による　・

石材の厚さ(mm)　・　(10.7.2)

- 石裏面処理　・適用する　・適用しない
- 乾式工法の場合の取付け代　※ 標仕10.5.3(2)による　・
- 石裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない

目地　(10.7.2)

湿式工法の場合

- 一般目地　目地幅(mm)　・6mm　・　mm　(10.3.3)
- シーリング材　・適用する　・適用しない
- 伸縮調整目地　位置　※ 標仕 表11.1.1による　・図示による
- シーリング材の目地寸法　※ 幅・深さ共 10mm以上　・図示による

乾式工法の場合

- 目地幅(mm)　・8mm　・　mm　(10.5.3)
- シーリング材　・適用する（※ 標仕9.7による　・図示）　・適用しない

9 隔て板

石材の厚さ(mm)　※ 40　・　(10.7.3)

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　※ 標仕 表 11.1.1による　・図示による　(11.1.3)

2 見本焼、試験施工

見本焼　・行う　※ 行わない　(11.1.4)

試験張り　・行う　※ 行わない

3 セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状、寸法等　(11.2.2) (11.2.3) (11.2.6)

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率区分 I類	II類	III類	釉薬 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	再生材適用G 有	無	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

既調合モルタル　(11.2.3)

- 既調合モルタルの製造所の仕様による　・

下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法　(11.2.6)

- 目荒し工法（標仕 15.3.4(4)による）
- MCR工法（標仕 6.8による）
- ・

壁タイル張りの工法　(表 11.2.3)

- 内装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
- 内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

4 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状、寸法等　(11.3.2～11.3.4) (11.3.7)

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率区分 I類	II類	III類	釉薬 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	再生材適用G 有	無	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・　(11.3.3)

外装タイルにおける目地詰め　・行う　・行わない　(11.3.3) (11.3.5)

目地のシーリング材　(11.3.4)

- 打継ぎ目地　※ ポリウレタンシーリング材　・
- ひび割れ誘発目地　※ ポリウレタンシーリング材　・
- 伸縮調整目地　※ 変性シリコーンシーリング材　・
- その他の目地　※ 変性シリコーンシーリング材　・

下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法　(11.3.5)

- 目荒し工法（標仕 15.3.4(4)による）
- MCR工法（標仕 6.8による）

12 木工事

1 施工一般 G

ホルムアルデヒド放散量　※ 標仕12.2.1(7)のいずれかによる　・　(12.2.1)

木材の品質

木材の現場における含水率　※A種　・B種

※信州木材認証製品又は同等品（長野県産材）　・改修標仕 6.5.2　・市販品

・保存処理木材を適用する箇所（　　）

・間伐材等※1)：間伐材、林地残材又は小径木であること。

注1　間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。

2 製材

・JAS 1083-5 による下地用製材　(12.2.1)(表 12.2.1)

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
		※ 2級 ・	※ A種 ・ B種 ・	
		※ 2級 ・	※ A種 ・ B種 ・	
		※ 2級 ・	※ A種 ・ B種 ・	

・JAS 1083-2 による造作用製材　(12.2.1)(表 12.2.1)

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※ 上小節 ・	※ A種 ・ B種 ・	
見え掛り面以外		※ 小節以上 ・	※ A種 ・ B種 ・	
			※ A種	

・JAS 1083-6 による広葉樹製材　(12.2.1)(表 12.2.1)

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
		※ 1等 ・	※ 10%以下 ・ A種 ・ B種	
		※ 1等 ・	※ 10%以下 ・ A種 ・ B種	

・JAS 1083 以外の製材　(12.2.1)(表 12.2.1)(表 12.2.2)(12.3.2)

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理
		（ ）造作材の場合（※A種 ・B種）	※ A種 ・ B種 ・	・ 行う ・ 行わない
		（ ）造作材の場合（※A種 ・B種）	※ A種 ・ B種 ・	・ 行う ・ 行わない

3 造作用集成材

・JAS 1152(集成材) による造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
					※ 1等 ・ 2等
					※ 1等 ・ 2等

・JAS 1152(集成材) による化粧ばり造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
		芯材： 化粧薄板：				※1等 ・2等
		芯材： 化粧薄板：				※1等 ・2等

・JAS 1152(集成材) 以外の造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)
				※ 15以下 ・

・JAS 1152(集成材) 以外の化粧ばり造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)
	芯材： 化粧薄板：				※ 15以下 ・
	芯材： 化粧薄板：				※ 15以下 ・

4 造作用単板積層材

・JAS 0701(単板積層材) による造作用単板積層材　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	防虫処理
			・ 有り（加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・ 無し（等級：・1等・2等・3種）	・ 行う ・ 行わない

・JAS 0701(単板積層材) 以外の造作用単板積層材　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	含水率(%)	防虫処理
		・ 有り（加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・ 無し（　　）	※ 14以下 ・	・ 行う ・ 行わない

・JAS 3079（直行集成板）によるＣＬＴ　(12.2.1)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)

5 合板等

・JAS 0233(合板) による普通合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
		※ 5.5 ・		※ 1類 ・ 2類	広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上 ・	・ 行う ・ 行わない

・JAS 0233(合板) による構造用合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	板面の品質	保存処理	防虫処理	強度等級
		※ 12 ・	・1級 ※2級以上		・ ※C-D以上		・行う ・行わない	

接着の程度　常温湿潤状態となる場所での使用　・

※特類　・

その他の場合

※1類以上　・

・JAS 0233(合板) による化粧ばり構造用合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・ 1類 ・ 特類	・行う ・行わない

・JAS 0233(合板) による天然木化粧合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理
			・ 1類 ・ 2類	・行う ・行わない

・JAS 0233(合板) による特殊加工化粧合板　(12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		※ 12 ・	※ 1類 ・ 2類			・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装	・行う ・行わない

・パーティクルボード　(12.2.1)

施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)
		※ 13タイプ ・	※ 耐水性1(Mタイプ) 耐水性2(Pタイプ) ・	※ 15 ・

・構造用パネル　(12.2.1)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	寸法(mm)

・ＭＤＦ　(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

6 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち　(12.2.2)

・ 適用する（※ 隠し釘打ち　・　）　・ 適用しない

諸金物の形状、寸法及び材質　(12.2.2)(表 12.2.3～表 12.2.5)

※ 標仕12.2.2(2)(7)による

接着剤（木れんが用接着含む）のホルムアルデヒド放散量　(12.2.2)(12.2.3)

※ Ｆ☆☆☆☆　・

7 防腐・防蟻処理等

・ 薬剤による防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材　(12.3.1)

適用部材：（　　）

・ 工場における薬剤の加圧注入処理による防腐・防蟻処理　(12.3.1)

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

・ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理　(12.3.1)

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※ 薬剤の製造所の仕様による ・	・
	・	・

・ 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　(12.3.1)

適用部材：（　　）

・ 合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理　(12.3.1)

適用部材：（　　）

・ 不燃処理（ ・不燃材料 ・準不燃材料 ・難燃材料 ）　(12.3.3)

8 間仕切軸組に用いる木材

※（製材を用いる場合）　杉又は松　・　(12.4.1)

9 床組に用いる木材

※（製材を用いる場合）　杉又は松　・　(12.4.1)

10 窓、出入口その他に用いる木材

※（製材を用いる場合）　吊元枠、水掛りの下枠及び敷居は、ひのき、その他は、松又は杉　・　(12.5.1)

11 縁甲板及び上がりが床もに用いる木材

※（製材を用いる場合）　ひのき　・　(12.6.1)

12 壁及び天井に用いる木材

※（製材を用いる場合）　杉又は松　・　(12.7.1)

13 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺

材料　(13.2.2)(13.2.3)(表 13.2.1)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量等	厚さ(mm)	屋根葺形式	葺板の寸法・厚さ	下地	留め付け方法
	※JIS G 3322の屋根用コイル ・			・立て平葺 ・心木なし 瓦棒葺 ・横葺 ・			

下葺材料　※ アスファルトルーフィング 940

・ 改質アスファルトルーフィング下葺材

（・ 一般タイプ　・ 複層基材タイプ　・ 粘着層付タイプ）

工法　(13.2.3)

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・ 図示による　・

横葺の場合のけらば納め

・ つかみ込み納め　・ けらば包み納め

雪止め　・ 設置する（・ 図示　・　）

② 折板葺

材料　(13.3.2)(表 13.2.1)

施工箇所	形式	山高・山ピッチによる区分 山高	山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	鉄先面戸板
屋根（スタンド）	⊙ ﾊﾞﾋﾞ締め形 ・ 嵌合形	90	300	（ ）種	※ 鋼板製 ・	⊙ 0.6 ・ 0.8	・ 有 ⊙ 無
屋根（倉庫）	⊙ ﾒｰｶｰ仕様						

材質の種類（ JIS G 3322 ）

塗膜の耐久性の種類、めっき付着量等（　　）

断熱材　⊙ 有り（倉庫）　⊙ メーカー仕様（結露軽減材）

⊙ 無し（スタンド）

工法　(13.3.3)

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・ 図示による　・

大雪性能に応じた工法

・ 適用する（・ 図示　・　）　・ 適用しない

折板のけらば納め　※ けらば包みによる方法　・

保証書

※ 受注者及び施工業者連名で、保証書を提出すること

⊙ガルバリウム等　保証期間 10年

⊙折　板　保証期間 10年

・長尺カラー鉄板　保証期間 5年

3 粘土瓦葺

材料　(13.4.2)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦の使用

JIS A 5208に基づく凍害試験　・ 行う　※ 行わない

瓦桟木　材質　※ 杉

寸法　※ 幅21×高さ15(mm)以上　・

棟補強用心材　材質　※ 杉

寸法　※ 幅40×高さ30(mm)以上　・

瓦緊結用釘又はねじ　種類　・

径　・

長さ　・

棟補強等に使用する金物等　材質　・ ステンレス製

・ 溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製

形状　・

寸法　・

留め付け方法　・

工法　(13.4.3)

建築基準法に基づき定まる風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法などの工法

風圧力　・ 図示による　・

地震力　・ 図示による　・

瓦緊結用釘又はねじの有効長さの最小値　（　　）mm

瓦桟木の留付け工法　・ 図示による

棟の工法　・ 7寸丸伏せ棟又はF型用冠瓦伏せ棟

・ のし積み棟　・

面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合

・ モルタルによる　・ 瓦葺き用しっくいによる

④ とい

材料　(13.5.2)(表 13.5.1)

といの材種　・ 配管用鋼管(WGP)　⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管（倉庫）

・ ステンレス鋼板　⊙ アルミ既製品（スタンド）

・ 表面処理鋼板(屋根同材)

・ 表面及び裏面の塗膜の種類（　　）

・ 耐酸被覆鋼板　・

とい受金物

とい受金物の材種、形状、取付け間隔　※ 標仕 表13.5.2による　⊙ 図示

足金物の材種、形状、取付け間隔　※ 標仕 表13.5.2による　・

・多雪地域の場合の軒どいの取付間隔0.5m以下

・図示による

防露材のホルムアルデヒド放散量　※ Ｆ☆☆☆☆　・

工法　(13.5.3)

・ 鋼管製といの場合の防露巻きの工法

※ 標仕 表 13.5.4による

⑤ ルーフドレイン

JCW 301によるルーフドレインの種類及び呼び　(13.5.2)

種類		呼び	施工箇所
⊙ ろく屋根用たて形Ⅰ型	ねじ込み式	図示	図示
⊙ ろく屋根用横形Ⅰ型	ねじ込み式	図示	図示
・ バルコニー中雌用	・ ねじ込み式 ・ 差し込み式	・	
・ バルコニー用	・ ねじ込み式 ・ 差し込み式	・	
・		・	

株式会社　ＫＲＣ
一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号
一級建築士　第293052号　渡利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図

特記仕様書（３）〔非木造〕　令和７年度

縮尺 NON

図面番号 A-010

14 金属工事

1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

表面処理 (14.2.1)(表 14.2.1)

種別	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）	色合い等
・AB-1種		
・AB-2種		
・AC-1種		
・AC-2種		
・BA-1種		
・BA-2種		
・BB-1種		
・BB-2種		
・BC-1種		
・BC-2種		
・C種		

・常温乾燥形の塗装の場合（　　）

陽極酸化被膜の着色方法 (14.2.1)
※ 二次電解着色　・三次電解着色

2 鉄鋼の亜鉛めっき

表面処理 (14.2.2)(表 14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

3 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 (14.4.2)(表 14.4.1)
屋外（※ 25 形　・ 19 形）
屋内（※ 19 形　・ 25 形）
・屋外の場合の形式及び寸法 (14.4.3)
野縁受、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部端からの距離
・図示による　・
野縁の間隔
・図示による　・
工法 (14.4.4)
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法　・図示による　・
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　・図示による　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所、補強方法　・図示による　・
・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強
補強箇所、補強方法　・図示による　・

4 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナ等の種類 (14.5.3)
※ 標仕 表14.5.1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
スタッドの高さが 5.0m を超える場合
・図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 (14.5.4)
※ 標仕14.5.4(5)による　・図示による　表面処理　・図示による　・

5 金属成形板張り

種別　・図示による　・ (14.6.2)
表面処理　・図示による　・
取付け用下地　※ 標仕14.4による　・図示による (14.6.3)
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　） (14.6.3)
※ 設けない

⑥ アルミニウム製笠木

部材の種類 (14.7.2)(表 14.7.1)
⊙ 225、250形　・ 300形　・ 350形
表面処理　種別（ BB-2 ）種 (14.7.2)(表 14.2.1)
色合等　⊙ 標準色（　　）
・特注色（　　）
笠木の固定金具の工法等 (14.7.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による　・

15 左官工事

1 ラス系下地

下地の種類 (15.2.4)
・通気工法　（・二層下地　・単層下地）
・直張り工法　（・ラスモルタル下地　・ラスシートモルタル下地）
・図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合）
材料 (15.2.4)
ラス及び補強用平ラス
材料記号（※ K　・　）
種類及び単位面積当りの質量
・二層下地通気構法
※ 波形ラス（W700）　・ こぶラス（K800）　・ 力骨付きラス（BP700）
・単層下地通気構法
・リブラスC（RC800）にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス
・
ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分
※ LS4（耐力壁の場合）
ステープルの形状及び寸法
リブラス　※ L925TS以上（リブラスC（RC800）の場合）
・
波形ラス　※ L1019JS以上（波形ラス（W700）の場合）
・
施工 (15.2.4)
二層下地通気構法
換気口部の措置　※ 講ずる　・
直張り構法（ラスシートモルタル下地の場合）
建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工
・図示による　・

2 せっこうボード その他のボード下地

材料 (15.2.5)
せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ
せっこうボード　種類（　　）厚さ（　　mm）
せっこうラスボード　種類（　　）厚さ（　　mm）
木質系セメント板　種類（　　）厚さ（　　mm）

3 こまい下地

建築基準法に基づく耐力壁の指定　・なし　・あり (15.2.6)

4 木ずり下地

材料 (15.2.7)
木ずり用小幅板の樹種　※ 杉（心去り材）　・

⑤ モルタル塗り

モルタル　⊙ 現場調合材料　・ 既調合材料 (15.3.2)
既製目地材 (15.3.2)
・設ける　施工箇所（　　）　形状（・図示　・　）
・設けない
床の目地 (15.3.5)
・設ける　目地割　※ 2m程度（最大目地間隔3m程度）　・
種類　※ 押し目地　・
・設けない
外装タイル張りの下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 (15.3.5)
・行う　・行わない

6 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2)
※ F☆☆☆☆　・
材料 (15.6.2)(表 15.6.1)
・薄付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	吸放湿性	防火材料
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
※ 外装薄塗材E（見上げ面）	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け		・適用する ・適用しない
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・凹凸状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

・厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	吸放湿性	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り		・適用する ・適用しない
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

外装厚塗材Cにおける上塗材がセメントスタッコ以外の場合
（　　）
外装厚塗材Si、外装厚塗材Eにおける上塗材の適用
・適用する　・適用しない

・複層仕上塗材
・軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	※ 耐候形3種 ・	・適用する ・適用しない
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	※ 耐候形3種 ・	・適用する ・適用しない
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ※ 防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	※ 耐候形3種 ・	・適用する ・適用しない
・吹付用軽量塗材	・砂壁状	・吹付け		・適用する ・適用しない
・こて塗用軽量塗材	・平たん状	・こて塗り		・適用する ・適用しない

複層仕上塗材の上塗材 (表 15.6.2)
樹脂　・アクリル系　・シリカ系　・ポリウレタン系
・アクリルシリコン系　・ふっ素系
外観　・つやあり　・つやなし　・メタリック
溶媒　・溶剤系　・弱溶剤系　・水系

7 マスチック塗材塗り

種別　・A種　・B種 (15.7.2)(表 15.7.1)

8 しっくい塗り

下地の種類（　　） (15.10.1)
・標仕 15.10.1による場合以外の下地への適用（　　）
材料 (15.10.2)
・標仕 15.10.2(1)(ｱ)、(ｲ)による
色しっくい　・適用する　・適用しない
・
調合及び塗厚 (15.10.3)(表 15.10.1～表 15.10.4)
既調合しっくい　※ 標仕 15.10.3(1)による
・
現場調合しっくい　※ 標仕 15.10.3(2)による
・
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 (15.10.4)(表 15.10.5)
・押え仕上げ　・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ

9 こまい壁塗り

材料 (15.11.2)
土壁用ののりの種類　※ つのまた　・ふのり
・ぎんなんそう　・粉末海藻
砂壁用ののりの種類　・つのまた　※ ふのり
・こんにゃくのり　・にかわ　・合成高分子系混和剤
色土の種類　・土物仕上げ（　　）
・大津仕上げ（　　）
色砂の種類　・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
調合　下塗りの調合　※ 標仕 表15.11.2による　・ (15.11.3)
塗厚　※ 標仕 表15.11.8による (15.11.4)
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合
・図示による　・
工程　こまい壁　※ A種　・ B種 (15.11.5)(表 15.11.9)

土物仕上げの工法 (15.11.7)
・土物仕上げの工法
・水こね土物1工法　・水ごね土物2工法
・のりさし土物工法　・のりごね土物工法
・砂壁仕上げの工法
・切返し仕上げの工法
大津壁仕上げの工法 (15.11.8)
・普通大津仕上げ工法　・大津みがき工法
ちりじゃくり　・図示による　・ (15.11.7)(15.11.8)

10 ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・ (15.12.2)
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・
仕上げ吹付け厚さ(mm)　※ 図示による　・ (15.12.3)

16 建具工事

1 防火戸

・建具表による　・ (16.1.3)
・防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置等
・建具表による　・

2 見本の製作等

建具見本製作　・行う（建具符号：　）　※ 行わない (16.1.4)
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）　※ 行わない

3 防犯建物部品

※ 適用する（適用箇所　・建具表による　・　）　・適用しない (16.1.6)

④ アルミニウム製建具

性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） (16.2.2)
⊙ 建具表による　・図示による
外部に面する建具の種別
※ 標仕 表16.2.1、表16.2.2による
・A種　・B種　・C種　・D種　・E種
・
・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（・　）
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級（・　）
表面処理 (16.2.4)
外部に面する建具
種別　・BB-1種　・BB-2種 (表 14.2.1)
着色　・標準色　・特注色
屋内の建具
種別　・BC-1種　・BC-2種 (表 14.2.1)
着色　・標準色　・特注色
ステンレス鋼板の種類　※ SUS304、SUS430J1L 又は SUS443J1　・ (16.2.3)(16.6.3)
ステンレス製くつずりの仕上げ　※ HL　・ (16.2.4)(16.4.4)
結露水の処理方法　・図示による　・ (16.2.4)
水切り板、ぜん板　・図示による　・ (16.2.5)
木下地の内付け建具　・適用する（建具の製造所の仕様）　・適用しない (16.2.5)

5 網戸

防虫網の材料 (16.2.3)

種　類	材　質	線　径	網　目
・防虫網	・合成樹脂製 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製（SUS 316）	※ 0.25mm以上 ・	※ 16～18ﾒｯｼｭ ・

6 樹脂製建具

性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） (16.3.2)
耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級
・建具表による　・図示による
外部に面する建具の種別
※ 標仕 表16.3.1、表16.3.2による
・A種　・B種　・C種　・D種　・E種
・防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級　・T-1種　・T-2種
・断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級
※ 外部に面する建具は標仕 表16.3.3による
（等級・　）
・
外部に面する建具の日射熱取得性の等級　・
ガラス　※ 複層ガラス　・　・ (16.3.3)
ステンレス製くつずりの仕上げ　※ HL　・ (16.3.4)(16.4.4)
表面色　・標準色　・特注色 (16.3.4)
水切り板、ぜん板　・図示による　・ (16.3.5)(16.2.5)
木下地の内付け建具　・適用する（建具の製造所の仕様）　・適用しない (16.3.5)(16.2.5)

⑦ 鋼製建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.4.2)
簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級
※ 標仕 表16.4.1　・建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（表 16.2.1による）
⊙ S-4　・S-5　・S-6
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（・　）
・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（・　）
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級（・　）
ステンレス鋼板の種類　※ SUS304、SUS430J1L 又は SUS443J1　・ (16.4.3)(16.6.3)
点検口の類のくつずりの材料　・ (16.4.3)
鋼板類の厚さ(mm)　※ 標仕 表16.4.2による (16.4.4)
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ HL　・ (16.4.4)
標準型鋼製建具の有効内法寸法（表 16.4.5による） (16.4.6)
・適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）

8 鋼製軽量建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.5.2)
簡易気密型ドアセットの気密性等級　・A-3　・建具表による
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（・　）
・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（・　）
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級（・　）
鋼板の種類 (16.5.3)
・亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
召合せ、縦小口包み板の材質　※ 鋼板　・ (16.5.3)
鋼板の厚さ(mm)　※ 標仕 表16.5.1による　・図示による (16.5.4)
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ HL　・ (16.5.4)(16.4.4)
標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表 16.4.5による） (16.5.6)
・適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）

9 ステンレス製建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.6.2)
簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級　・建具表による　・
耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級　・建具表による　・
外部に面する建具の耐風圧性（表 16.2.1による）
・S-4　・S-5　・S-6
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（・　）
・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（・　）
・断熱ドア、断熱サッシとする場合　断熱性の等級（・　）
ステンレス鋼板の種類　※ SUS304、SUS430J1L 又は SUS443J1　・ (16.6.3)
表面仕上げ　※ HL　・ (16.6.4)
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ HL　・ (16.6.4)(16.4.4)
ステンレス鋼板の曲げ加工　※ 普通曲げ　・角出し曲げ (16.6.5)

10 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率　※ A種　・B種 (16.7.2)(表 16.7.1)
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・ (16.7.2)
枠、くつずりの材料　・建具表による　・ (16.7.2)

・フラッシュ戸 (16.7.2)(表 16.7.2)
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備　考
・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所１類、その他２類以上 ・ 板面の品質　※広葉樹１等 ・（　）	
・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所１類、その他２類以上 ・ 板面の品質　※広葉樹１等 ・（　）	
・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所１類、その他２類以上 ・ 板面の品質　※広葉樹１等 ・（　）	
・ＭＤＦ	表裏面の状態による区分（　） 曲げ強さによる区分（　） 耐水性による区分（　） 難燃性による区分（　） ・（　）	

株式会社　ＫＲＣ
一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号
一級建築士　第293052号　波利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図
特記仕様書（４）〔非木造〕　令和７年度

縮尺 NON
図面番号 A-011

表面材のホルムアルデヒド放散量　※ 標仕 16.7.2(4)(a)による　・
表面板の厚さ　※ 標仕 表16.7.6による　(16.7.3)
引戸の定規縁　・ 召し合せかまちいんろう付きとする　(16.7.4)

・かまち戸　(16.7.2)(16.7.3)(表16.7.7)
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　※36mm　・ 建具表による　・

・ふすま　(16.7.2)(表16.7.3)(16.7.3)
種別、工法　・Ⅰ型　・Ⅱ型　(表16.7.7)(16.7.4)(表16.7.10)
上張り　・ 鳥の子　・ 新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上　・ 塗り縁　・ 生地縁（素地）　・ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※ 19.5mm　・ 建具表による　・

・戸ぶすま　(16.7.2)(16.7.3)(表16.7.7)(16.7.4)
表面材の種類、品質等（　　）
見込み寸法　※ 30mm　・ 建具表による　・

・紙張り障子　(16.7.3)(表16.7.7)
見込み寸法　※ 30mm　・ 建具表による　・

⑪ 建具用金物

金物の種類・見え掛り部の材質等　(16.8.2)
※ 標仕 表16.8.1及び適用（備考欄の特記事項も含め）は、建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 標仕 表16.8.2による　・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 標仕 表16.8.3による　・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 標仕 表16.8.4による　・
木製建具に使用する戸車及びレール
※ 標仕 表16.8.3による　・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置　(16.8.3)
・ 建具表による　・

⑫ 鍵

マスターキー　※ 製作する　・ 製作しない　(16.8.4)
鍵の製作本数等　※ 各室３本１組　・（　）本　鍵箱　※ 必要　・ 不要

13 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式　・ 図示による　・　(16.9.2)
自動ドア開閉装置の性能　(16.9.2)
駆動装置の性能
※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16.9.1による
防錆の適用　・適用する　・適用しない
・
車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能
※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16.9.2による
防錆の適用　・ 適用する　・ 適用しない
・
検出装置の性能
※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16.9.3による
防錆の適用　・ 適用する　・ 適用しない
・
引き戸用検出装置の種類は、標仕 表16.9.4による　(16.9.2)
種類　・光線（反射）センサー　・熱線センサー　・音波センサー　・光電センサー
・電波センサー　・タッチスイッチ（・無線式　・光電式）・押しボタンスイッチ
・車椅子使用者用便房用操作スイッチ（・大形（開・閉）押しボタンスイッチ
・非接触スイッチ）
凍結防止装置　・ 適用する　・ 適用しない　(16.9.2)

14 自閉式上吊り引戸装置

性能　※ 標仕 表16.10.1による　・図示による　(16.10.3)

15 重量シャッター

シャッターの種類　・管理用シャッター　(16.11.2)
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防炎シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッター　耐風圧強度（　　）pa　(16.11.2)
開閉方式の種類（標仕 表16.11.1）　※ 電動式（手動併用）　・ 手動式
安全装置の設置箇所　(16.11.2)
危険下制御装置又は危険下停止装置の設置箇所　・ 図示による　・
障害物感知装置の設置箇所　・ 図示による　・
危害防止機構の設置箇所　・ 図示による　・
管理用シャッターのシャッターケース　・ 設ける　・ 設けない　(16.11.2)
スラット及ぶシャッターケース用鋼板　(16.11.3)
鋼板の種類　・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・ JIS G 3302（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※ Z12 又は F12
ステンレス鋼板の種類　※ SUS304、SUS430J1L 又は SUS443J1　・　(16.11.3)(16.6.3)

⑯ 軽量シャッター

開閉形式　・ 電動式（手動併用）　※ 手動式　(16.12.2)(表16.12.1)
耐風圧強度（　　）pa
電動式の場合の安全装置　(16.12.2)
急降下停止装置　・ 設ける　・ 設けない
障害物感知装置の設置箇所　・ 図示による　・
スラットの材質の種類　(16.12.3)
⊙ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※ Z06 又は F06　・
・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム一亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※ AZ90　・
スラットの種類　⊙ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形　(16.12.4)

17 オーバーヘッドドア

区分、材料　(16.13.2)(16.13.3)

セクション材料	風圧力区分(Pa)	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※ スチールタイプ	・ 125	※ バランス式	・ スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板
・ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ	・ 100	・ チェーン式	・ ローヘッド形	・ ステンレス鋼板
・ ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	・ 75	・ 電動式	・ ハイリフト形	(SUS 304)
	・ 50		・ バーチカル形	

電動式の場合の障害物感知装置の設置場所　・ 図示（　　）

18 ガラス

適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による　(16.14.2)
・ フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
※ 図示（※ 建具表　・　）による　・
・ 型板ガラスの厚さによる種類
※ 図示（※ 建具表　・　）による　・
・ 網入板ガラス及び線入板ガラス　網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類
※ 図示（※ 建具表　・　）による　・
・ 合わせガラス
材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類
※ 図示（※ 建具表　・　）による　・
・ 強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類、特性による種類
※ 図示（※ 建具表　・　）による　・
・ 熱線吸収板ガラス　板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類
※ 図示（※ 建具表　・　）による　・
・ 複層ガラス
材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射遮蔽性による区分、封入気体の種類
※ 図示（※ 建具表　・　）による　・
・ 熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射熱遮蔽性による区分
※ 図示（※ 建具表　・　）による　・
・ 倍強度ガラス　材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類
※ 図示（※ 建具表　・　）による　・

ガラス留め材及び溝の大きさ　(16.14.2)(16.14.3)(図 16.14.1)

建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ 建築用ガスケット ※ グレイジングチャンネル ・	※ 建具の製造所の仕様による ・
樹脂製	・ 建築用ガスケット ・ グレイジングビード	※ 建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・
ステンレス製	※ シーリング材 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・

19 ガラスブロック積み

材料　(16.14.5)

表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調 クリヤ	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地位置(mm)
・ 正方形	・160×160	95	・	・	※ 8～15	外側	※ 6m以下ごとに10～25
	・200×200	95	・	・	※ 15～25	※ 15以下	
			・	・		内側	・ 図示
・ 長方形	・		・	・		※ 6以上	・
	・		・	・		・	

壁用金属枠及び補強材
・ 設ける（形状　・ 図示　・　）
・ 設けない
力骨　材質　※ ステンレス鋼（SUS304）　・
寸法　※ 径5.5mm　・
形状　※ はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（　　）
シーリング材の種類　（　　）
金属製化粧カバー　材質　・ ステンレス製　・ アルミニウム製
寸法　・ 図示による　・
形状　・ 図示による　・
工法　(16.14.5)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 図示による　・
木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（　　）
目地部の横力骨の納まり
※ ガラスブロック製造所の仕様による　・ 図示による

18 ガラス用フィルム（内張り用）

用途による区分	記号
・ ガラス飛散防止フィルム	※ GS-A·B
・ 日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム	・ SC-A/GS-A·B　・ SC-B/GS-A·B
・ ガラス貫通防止フィルム	※ SF-A
・ 日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム	・ SC-A/SF-A　・ SC-B/SF-A

品質　JIS A5759 による

17 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

性能　(17.1.3)

耐風性能	耐震性能 水平方向(kH)	耐震性能 垂直方向(kV)	水密性	気密性	耐火性	耐温度差性(℃)	遮音性	断熱性
	・ 1.0	・ 0.5	・ W-4	・ A-3		・ 80	・ T3	・ H-2
	・	・	・ W-5	・ A-4		・ 70	・ T4	・ H-3
						・ 60	・ T5	・ H-4
								・ H-5

性能の確認方法及び判定方法
※ 性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料
・

2 メタルカーテンウォール

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による
金属系材料の種類
・ アルミニウム材　・ 鋼材　・ ステンレス鋼材
（アルミニウム材の場合）
規格等　標仕16.2.3による
種別　・
着色　・ 標準色　・ 特注色

3 PCカーテンウォール

適用は以下によるほか、カーテンウォール図による
材料
コンクリート　種類（　　）
品質　設計基準強度（Fc）　※ 30N/mm2　・
スランプ　※ 12cm　・
気乾単位容積質量　・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下
・
単位水量の最大値　※ 185kg/m　・
鉄筋　種類記号　※ SD295　・
補強鉄線　径(mm)　・ 3.2　・ 4.0　・ 5.0　・ 6.0
網目寸法　・

シーリング材　下表以外は標仕 表9.7.1による

被着体の組合せ	シーリング材の種類 記号	シーリング材の種類 主成分による区分

ガラスの取付け材料
・ 構造ガスケット（材質、形状等　・ 図示　・　）
耐火目地材　・
耐火材　種類　（　　）
厚さ(mm)（　　）
施工箇所　・ 図示による　・
先付けの材料
・ 先付け材料の仕上げ材
・ 石材（・ 花こう岩　・ 大理石　・　）
・ セラミックタイル
・ 建具枠
・ ゴンドラ用ガイドレール

形状及び仕上げ
製品の見え掛り部の寸法許容差
※ 標仕 表17.3.1による
・ 上記以外
辺長（　　mm）、対角線上の差（　　mm）、版厚（　　mm）
開口部内法寸法（　　mm）、ねじれ、そり（　　mm）、曲がり（　　mm）
面の凹凸（　　mm）、先付け金物の位置（　　mm）
カーテンウォールの仕上げ　・
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・ 図示による
製作　配筋　・ 図示による　・
取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
※ 標仕 表17.2.2による　・ 図示による
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
※ 標仕 表17.2.2による　・ 図示による
ガラスの取付け方法　・

18 塗装工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・　(18.1.3)
・ 防火材料　・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・ 次の箇所を除き防火材料とする（箇所：　　）

③ 素地ごしらえ

種別　(18.2.2～18.2.7)(表 18.2.1～表 18.2.7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種　・ B種
	透明塗りの場合	・ A種　※ B種
鉄鋼面	耐候性塗料塗り(DP)の場合	・ A種　※ B種　・ C種
	上記以外の場合	・ A種　・ B種　※ C種
亜鉛めっき鋼面		・ A種　・ B種
モルタル面、せっこうプラスター面		・ A種　※ B種
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面		・ A種　※ B種
コンクリート面（DP）		※ A種　・ B種
押出成形セメント板面		・ A種　※ B種
せっこうボード面、その他のボード面		・ A種　※ B種

④ 錆止め塗料塗り

種別　(18.3.2)(18.3.3)(表 18.3.1～表 18.3.6)

下地面等			錆止め塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	As種	※ A種　・B種
		DP	1回目　Cs種 2,3回目 Ds種	標仕 表18.3.4
		EP-G	・As種　※ Bs種	※ A種　・B種
	見え隠れ部分	SOP	As種	・A種　※ B種
		DP	1回目　Cs種 2,3回目 Ds種	標仕 表18.3.4
		EP-G	・As種　※ Bs種	・A種　※ B種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOP	※ Az種　・Bz種	※ A種　・B種
		DP	Bz種	標仕 表18.3.6
		EP-G	Cz種	※ A種　・B種
	鋼製建具以外	SOP	・Az種　※ Bz種	・A種　※ B種
		DP	Bz種	標仕 表18.3.6
		SOP	Cz種	・A種　※ B種

⑤ 塗装

種別　(18.4.2～18.12.2)(表 18.4.1～表 18.12.1)

塗装		種別
・ 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り（ＳＯＰ）	・ 木部（屋外）	※ A種　・ B種
	・ 木部（屋内）	・ A種　※ B種
	・ 鉄鋼面	・ A種　※ B種
	・ 亜鉛めっき鋼面	標仕 表18.4.3
・ クリヤラッカー塗り（ＣＬ）		・ A種　※ B種
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料（ＮＡＤ）		・ A種　※ B種
⊙耐候性塗料塗り（ＤＰ）	・ 鉄鋼面	標仕 表18.7.1
	⊙ 亜鉛めっき鋼面	標仕 表18.7.2
	・ ｺﾝｸﾘｰﾄ面	・ A種
	・ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・ B種
		・ C種
・ つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（ＥＰ－Ｇ）	・ ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面等	・ A種　※ B種
	・ 木部	標仕 表18.8.2
	・ 屋内鉄鋼面	・ A種　※ B種
	・ 亜鉛めっき鋼面	標仕 表18.8.4
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（ＥＰ）		・ A種　※ B種
・ ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）		・ A種　※ B種
・ ピグメントステイン塗り		標仕 表18.11.1
・ 木材保護塗料塗り（ＷＰ）	屋外	・ A種　※ B種

塗料の種類等　(表 18.5.1)
クリヤラッカー塗り（ＣＬ）
種別がＡ種の場合における、標仕 表 18.5.1 の工程2
・ 塗料の種類（　　）
耐候性塗料塗り（ＤＰ）　上塗り塗料の等級　鉄鋼面　（　）級　(表 18.7.1)
亜鉛めっき鋼面（ １ ）級　(表 18.7.2)
ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）　(表 18.10.1)
種別がＡ種の場合における工程１の着色　・ 適用する

19 内装工事

1 接着剤等

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・　(19.2.2)(19.3.2)(19.5.4)(19.7.2)(19.9.3)
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合のゴム床タイル用接着剤の主成分による区分　(19.2.2)(表 19.2.2)
・ 図示による　・
下地の施工　標仕19.2.3(1)(7)から(9)以外の下地の工法　(19.2.3)
・ 図示による　・

2 ビニル床シート G

材料　(19.2.2)

種類	色柄	厚さ(mm)	備考
※ ＦＳ（複層ビニル床シート）	※ 無地　・ マーブル柄	※ 2.0	
	※ 柄物　・ 無地	・	
・	・		

接合部の処理　※ 熱溶接工法　・ 突付け　・　(19.2.3)

3 ビニル床タイル G

材料　(19.2.2)

種類	色柄	寸法	厚さ(mm)	備考
※ ＫＴ（ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・ 無地	・ 300×300	※ 2.0	
・ ＴＴ（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		・ 450×450	・	
・ ＦＴ（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		・ 500×500		
・ ＦＯＡ（置敷ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）				
・ ＦＯＢ（薄型置敷ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）				

4 特殊機能床 G

材料　(19.2.2)

シート・タイルの種別	種類	性能	厚さ、寸法、形状(mm)
・ 帯電防止床シート			厚さ：
・ 帯電防止床タイル			寸法：　厚さ：
・ 視覚障害者用床タイル		—	形状：
・ 耐動荷重性床シート		—	厚さ：
・ 防滑性床シート		—	厚さ：
・ 防滑性床タイル		—	寸法：　厚さ：

5 ビニル幅木

材質の種類　※ 軟質　・ 硬質　(19.2.2)
高さ(mm)　※ 60　・ 70　・ 100
厚さ(mm)　※ 1.5以上　・

6 ゴム床タイル

種類　・ 単層品　・ 積層品　(19.2.2)
色柄　（　　）
厚さ(mm)　・ 3.0　・ 4.5　・ 6.0　・ 9.0
寸法(mm)　（　　）

株式会社　ＫＲＣ
一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号
一級建築士　第293052号　浅利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図
特記仕様書（５）〔非木造〕
令和７年度

縮尺 NON
図面番号 A-012

7 カーペット敷き

・織じゅうたん (19.3.2)(表19.3.1)

織り方	パイル形状	帯電性	備　考
・ウィルトンカーペット	・カットパイル	・適用する	
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル	・適用しない	
・アキスミンスターカーペット	・カット,ループパイル併用		

色柄、パイル糸の種類等
※　無地（種別　・A種　・B種　・C種）　(表19.3.1)
・　柄物（標準品）
・
下敷き材　※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm　・
見切り、押え金物
・適用する（材質、形状等　・図示　・　）
・適用しない
織じゅうたんの接合方法　(19.3.3)
※シートボンド工法　・

・タフテッドカーペット (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	帯電性	備考
・カットパイル	※ 5～7　・	※ 全面接着工法	・適用する	
・ループパイル	※ 4～6　・	・ グリッパー工法	・適用しない	
・カット,ループ併用	・			

下敷き材　(グリッパー工法の場合)
※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm
・
見切り、押え金物
・ 適用する（材質、形状等　・図示　・　）
・ 適用しない

・タイルカーペット (19.3.2)(19.3.3)

種類	パイル形状	寸法	総厚さ(mm)	施工箇所	備考
※ 第一種	※ ループパイル	※ 500×500	※ 6.5		
・第二種		・	・		
・第一種	・ カットパイル	※ 500×500	※ 6.5		
・第二種		・	・		
・第一種	・ カット,ループ併用	※ 500×500	※ 6.5		
・第二種		・	・		

見切り、押え金物
・ 適用する（材質、形状等　・図示　・　）
・ 適用しない
タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し　・
平場　※ 市松敷き　・ 模様流し　・
階段　・ 市松敷き　※ 模様流し　・

8 合成樹脂塗床

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・　(19.4.2)

種類 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1～表19.4.8)

種　類	工　法	仕上げの種類	施工箇所
・厚膜型塗床材（弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材）		※ 平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	
・厚膜型塗床材（ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材）	・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	
・薄膜型塗床材（ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材）		※ 平滑仕上げ	
・			

9 フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒド放散量　(19.5.2)
※ 標仕 19.5.2(2)による　・

単層フローリング Ⓖ (19.5.2～19.5.5)

種　類	工　法	樹種	厚さ、幅及び長さ
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等	・ 釘留め(根太張り)	・	※ 標仕 表19.5.1による ・
	・ 釘留め（直張り）	・	※ 標仕 表19.5.3による ・
	※ 接着工法	・	※ 標仕 表19.5.5による ・
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等	※ 接着工法	・	・

複合フローリング Ⓖ (19.5.2～19.5.5)

種　類	工　法	樹種	厚さ、幅及び長さ
・複合フローリング（天然木化粧）	・ 釘留め(根太張り)	・	※ 標仕 表19.5.2による ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
	・ 釘留め（直張り）	・	※ 標仕 表19.5.4による ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
	※ 接着工法	・	※ 標仕 表19.5.6による ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

接着工法の場合の不陸緩衝材　(19.5.5)
※ 合成樹脂発泡シート　・

10 畳敷き

種別 (19.6.2)(表19.6.1)
・Ａ種（畳表　・JS　・JI　）
・Ｂ種
・Ｃ種（畳床　・PS-C20　・PS-C25　・PS-C30　）
・Ｄ種（畳床　・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N　）

・衝撃緩和型畳
畳表（JIS A 5902）　・Ｃ１　・Ｃ２

11 せっこうボード、その他ボード及び合板張り

材料 (19.7.2)(表 19.7.1)

規格名称	種　類	厚さ(mm)等
木質系ｾﾒﾝﾄ板	・硬質木毛セメント板 Ⓖ	・15　・20　・25　・
	・中質木毛セメント板 Ⓖ	・15　・20　・25　・
	・普通木毛セメント板 Ⓖ	・15　・20　・25　・
	・硬質木片セメント板 Ⓖ	・12　・15　・18　・21　・
	・普通木片セメント板 Ⓖ	・30　・
繊維強化ｹｲｶﾙ板	・けい酸カルシウム板	タイプ２(無石綿)　・6　・8
火山性ｶﾞﾗｽ質複層板(VSﾎﾞｰﾄﾞ)	・火山性ｶﾞﾗｽ質複層板	
繊維板	・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ（ＭＤＦ）	・3　・7　・9　・12　・
	・ハードボード（素地）Ⓖ	・無研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ） ・研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ） ・2.5　・3.5　・5　・7　・
	・ハードボード（化粧）Ⓖ	・内装用　・外装用 ・2.5　・3.5　・5　・7　・
	・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ Ⓖ	・Ａ級（・天井仕上　・内装仕上　・） ・9　・12　・15　・18　・
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ Ⓖ	・無研磨板　・研磨版 ・10　・12　・15　・18　・
	・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ Ⓖ	・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・塗装　・10　・12
吸音材料	・ロックウール化粧吸音板	・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※ 9（不燃）・12　・） ・凹凸ﾀｲﾌﾟ（※ 9（不燃）・12　・）
	・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音ﾎﾞｰﾄﾞ 1号	・25　・
	・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ 32K	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包）　・
石膏ﾎﾞｰﾄﾞ製品	・せっこうボード	※ 12.5（不燃）・9.5（準不燃）
	・不燃積層せっこうボード	・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様） ・9.5（不燃）　・
	・シージングせっこうボード	※ 12.5（不燃）　・
	・強化せっこうボード	※ 12.5（不燃）　・15（不燃）
	・せっこうラスボード	・9.5　・
	・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(木目)	模様（※ 柾目　・ 板目）専用下地材付き ・12.5（不燃）　幅 440mm 程度
	・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ)	・9.5（準不燃）

ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※ Ｆ☆☆☆　・
ボード表面への化粧張仕上げの有無
・ 有り（種類：　）　・

天井ボードの重ね張りの張り付け方法（ロックウール吸音板を除く）　(19.7.3)
（　）
せっこうボードの目地工法　(19.7.3)
種類
・ 図示（仕上げ表）による　・
せっこうボードのエッジの種類（縦目処理工法、突付け工法、目透し工法の場合）
・ 図示による　・

材料 (19.7.2)

種　類	規　格	防虫処理
・普通合板 Ⓖ	品名（　） 厚さ（mm）（　） 板面の品質（　） 単板の樹種名（　）	・行う ・行わない
・天然木化粧合板 Ⓖ	厚さ（mm）（　） 化粧板に使用する単板の樹種名（　）	・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板 Ⓖ	品目（　） 厚さ（mm）（　） 接着の程度（　） 単板の樹種名（　） 化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装　）	・行う ・行わない

合板のホルムアルデヒド放散量
※ 標仕 19.7.2(2)(イ)のいずれかによる
・
合板の張付け　・Ａ種　・Ｂ種　(19.7.3)(表 19.7.3)

12 壁紙張り

種類 (19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維(織物)	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	塩化ﾋﾞﾆﾙ	その他	防火性能	備　考
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	

施工 (19.8.3)
モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ (表19.8.1)
・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面の素地ごしらえ (表19.8.2)
・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボード面の素地ごしらえ及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえ
・Ａ種　※Ｂ種　(表19.8.3)

13 断熱材

・断熱材打込み工法 (19.9.3)

断熱材名	種類（記号）	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ ・	・ ・	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	※ A種2種ｂ ※ A種3種ｂ ・	・ ・ ・	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・ ・	・ ・	
・フェノールフォーム断熱材	※ A種1種 ・	・ ・	

フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のフォルムアルデヒド放散量
※ Ｆ☆☆☆　・

・断熱材現場発泡工法 (19.9.4)
断熱材の種類　・Ａ種１　・Ａ種１Ｈ
吹付け厚さ(mm)　・25　・30
施工箇所　・図示による　・

20 ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア

材料等 (20.2.2)

施工箇所	構造	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備　考
	・支柱調整式 ・置敷式	・	・	・ 1.0Ｇ ・ 0.6Ｇ	・ 3,000Ｎ ・ 5,000Ｎ	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

帯電防止性能　・Ｕ値（クラス1）　・Ｕ値（クラス2）
漏洩抵抗　・Ｒ≧1×10Ω6　・
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法
※ 標仕20.2.2(2)(イ)による　・
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の寸法精度
※ 標仕20.2.2(2)(オ)による　・

2 可動間仕切

材料等 (20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ	ﾊﾟﾈﾙ表面の仕上げ	遮音性能(dB/500Hz)
・ｽﾀｯﾄﾞ式（内装）			※ ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付け	・0
・ｽﾀｯﾄﾞ式（露出）			・　壁紙張り	・12
・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式				・20
・ﾊﾟﾈﾙ式				・28
				・36

パネル内に取付ける建具
・ あり（寸法及び形状　・図示　・　）
・ なし
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆　・

3 移動間仕切

材料等 (20.2.4)

操作方法による種類	圧縮装置の操作方法	ﾊﾟﾈﾙの表面材 材質	仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
・手動式	・ﾌﾟｯｼｭ式	※ 鋼板	※ 焼付塗装	・36未満
・電動式	・ﾊﾝﾄﾞﾙ式		・壁紙張り	・36以上
・部分電動式				

ハンガーレールの取付け下地の補強
※ 標仕 20.2.4(3)(ｳ)による　・図示による
ハンガーレール
※ 標仕 20.2.4(3)(ｴ)による　・図示による
ランナー
※ 標仕 20.2.4(3)(ｵ)による　・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ 標仕 20.2.4(3)(ｶ)による　・図示による
あと施工アンカー
・ 使用する
種類：　材質：　寸法：
・ 使用しない

4 トイレブース

材料等 (20.2.5)

パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質
・ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材

⑤ 手すり

材料等 (20.2.6)

種　別	表面仕上げ	直径(mm)	施工箇所	備考
※ 集成材	・ｸﾘｱﾗｯｶｰ　・	※35　・45		（市販品）
・ステンレス	・HL　・			
⊙ 鋼製	⊙亜鉛メッキ	⊙34	図示	
・ビニル製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ				

6 階段滑止め

材料等 (20.2.7)

材　種	形状	寸法(mm)	取付工法
・ステンレス製（SUS304）	・ひも型	・	※ 接着工法
・黄銅製押出型材	・タイヤ型	・	・ 埋込み工法
・アルミニウム製押出型材			

7 黒板及びホワイトボード

材料等 (20.2.9)

種　類		寸法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※ 焼付け ・ほうろう		※ 緑　・黒	※ 平面　・曲面 ・ｽｸﾘｰﾝ付引分
・ホワイトボード			※ 白	

8 鏡

取付箇所　（　）　(20.2.10)
寸法（mm）（・図示　・　）
厚さ（mm）（※ 5　・　）

⑨ 表示

・ 衝突防止表示　(20.2.11)
形状、寸法（・ 30φ　・　）
材質　（・ ステンレス製　・　）
・ 非常用進入口等の表示等　(20.2.11)
※ 消防法に適合する市販品　・

室名札、ピクトグラム、案内板等の形状寸法材質色、書体、印刷等の種別、取付け形式
⊙ 図示による　・　(20.2.11)

10 タラップ

材料の種類　※ ステンレス製　・　(20.2.12)
仕上げ　※ 研磨等の仕上げは行わない　・

11 煙突ライニング

煙突用成形ライニング材　(20.2.13)
適用安全使用温度　・650℃　・400℃　・　℃
工法　（　）

12 ブラインド

材料等 (20.2.14)
・横形ブラインド
種類　※ギア式　・コード式　・操作棒式
幅、高さ　・図示による　・
スラットの幅　※25mm　・
材質
スラット　※アルミニウム合金製　・
ヘッドボックス　※鋼製　・
ボトムレール　※鋼製　・
縦形ブラインド
幅、高さ　・図示による　・
開閉方式　・片引き　・両備開き
操作方法　※2本操作コード方式　・1本操作コード方式
スラットの材質　・焼付け塗装仕上げのアルミスラット
・消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット
スラットの幅　（　）mm

13 ロールスクリーン

材料等 (20.2.15)

材種	品質	遮光性能	操作方式	幅、高さ	取付箇所
・ポリエステル	・	・ 1級	・電動式	・図示	・図示
・		・ 2級	・スプリング式	・	・
		・ 3級	・チェーン式		

14 カーテン

材料等 (20.2.16)(表20.2.1)

形式	開閉操作方式	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・ｼﾝｸﾞﾙ	・片引き	・手引き	・つまみひだ（三つ山ひだ、二つ山ひだ）	※ 防炎加工	・図示
・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、片ひだ	・	
		・電動	・ﾌﾟﾚｰﾝひだ	・	
					（暗幕）

15 カーテンレール

材料等 (20.2.16)
レール及びブランケットの強さによる区分
※ 10-90　・
レールの材料による区分
※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ ステンレス製
レールの仕上げ　※アルマイト　・
レールの形状　※角形　・
カーテンの付属物　フック（ひるかん）　※鋼製　・樹脂製

16 プレキャストコンクリート

補強鉄線の径及び網目寸法　・図示による　・　(20.3.2)

製作 (20.3.3)
コンクリートの設計基準強度
※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m2を満足する調合強度
・ 図示による
配筋　・図示による
取付方法　・図示による　・　(20.3.4)

17 間知石及びコンクリートブロック積み

材料等 (20.4.2)

材　料	材　種	種　類	質量区分	備　考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	
・コンクリート間知ブロック	—		・Ａ ・Ｂ	

工法 (20.4.3)
積み方　※ 谷積み　・布積み
目塗り　※ 図示による　・
伸縮調整目地　材種　※ 図示による　・
厚さ　※ 図示による　・

18 ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ（mm）　・90×150　・120×80　※ 120×150　・150×80　・図示による
材質　・集成材（仕上げ：　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
種別（標仕 表14.2.1）　・BC-1種　BC-2種
色合い　・標準色（　）　・特注色（　）
・鋼製（仕上げ：　）

19 天井点検口

材　種	寸　法	形　式	外　枠	内　枠
・アルミニウム製	・450×450	・一般型	・額縁タイプ	・額縁枠タイプ
・	・600×600	・屋内外用	・目地タイプ	・目地タイプ
		・屋内用		

20 床点検口

材　種	寸　法	形　式		備　考
・アルミニウム製	・450×450	・一般型	・屋内外用	・鍵付き
・	・600×600	・密閉型	・屋内用	
		・		

21 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能	備　考
・垂直方向	※ 完全（全貫通型）	・耐火型	・有り	
・水平方向	・	・非耐火型	・無し	

目地

目　地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	・シーリング材（見え掛かりのみ）	・シーリング材（内外とも）
目地寸法(mm)	※ 20×10　・	※ 20×10　・

目地材の材質は、標仕 表9.7.2による

株式会社　ＫＲＣ
一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号
一級建築士　第293052号　滝利　真二

国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図
特記仕様書（６）〔非木造〕　令和７年度

縮尺 NON
図面番号 A-013

20 ユニット及びその他の工事

22 止水板
形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式
施工箇所 ・図示による

23 エキスパンション・ジョイント金物

材種	クリアランス	耐火性能	備考
⊙ アルミニウム製	⊙ 50 ・ 100	・有り（ 時間）	⊙ 外部は防水型
⊙ ステンレス製	・ 150 ・	⊙ 無し	

外部は防水型とする

24 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

25 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ｽﾃﾝﾚｽ製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ有り 天板ｽﾃﾝﾚｽ製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り棚	・1200 ・900 ・600			市販品 ｽﾃﾝﾚｽ製 ・1段式 ・

品質・性能 JIS A 4420による
形状 ※ 図示による ・

26 旗竿

材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・バンド式 ・ベース式

27 旗竿受金物 材種 ・ステンレス製（SUS 304） ・

28 車止め支柱 ※ ステンレス製（上下式鎖内蔵型） 径 114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm
※ スプリング付 ・ スプリング無し

29 フェンス
フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ ・図示による ・

30 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種

31 屋内掲示板
枠の材質 ※ アルミニウム製 ・
表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り ・

32 洗面カウンター
材種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石
奥行き(mm) ・約 450 ・約 600

33 防煙垂れ壁
・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨板ガラス ・ 線入り磨板ガラス	※ 6.8 ・	※ 500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※ 不燃布（不燃認定品） ・	※ 500 ・800 ・	ガイドレール ※ 固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・800 ・	表面仕上げ ※ 天井材張り ・

34 収納家具
降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）
材質形状・寸法 ※ 図示による ・
合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆ ・

35 屋外掲示板 照明器具 （※ 有り ・ 無し） 施錠 （※ 有り ・ 無し）

36 敷地境界石標
種類 ※ コンクリートブロック製（市販品）
・花こう石類（文字記号等入り）

37 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）
ブロックパターンは JIS T 9251 による
色彩は黄色を原則とする
屋 内 ※ 塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル（※ 300 ・ ）
・レジンコンクリート製
屋 外 ※ レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル（※ 300 ・ ）

38 かぎ箱
形 式 市販品（・ 30 組用 ・ 60 組用 ・ 120 組用 ・ ）

21 排水工事

① 屋外雨水排水
排水管用材料 (21.2.1)(表 21.2.1)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
※ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管 ・	・図示 ・	
⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管	※ VP		・図示 ・	
	⊙ VU		⊙ 図示 ・	
	・RS-VU G		・図示 ・	
・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV		・図示 ・	
	・VU継手		・図示 ・	

基床の厚さ及び種類 ・図示による ・ (21.2.2)
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※ 接着剤 ・ゴム輪 (21.2.2)
側塊の形状及び寸法 ・図示による ・ (21.2.1)
排水桝の種類 ⊙ 図示による ・ (21.2.1)
砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 (21.2.1)
砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石 (21.2.1)
・現場打ちの場合のコンクリート材料 ※ 普通コンクリート ・ (21.2.1)
設計基準強度 ※ 18N/mm2 ・
スランプ ※ 15cm又は18cm ・
・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295 ・ (21.2.1)
凍上抑制層に用いる材料 ・ (21.2.1)
砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない

・標準仕様書21.2.2(6)(ｵ)の排水桝を現場打ちとする場合の足掛け金物 (21.2.2)
・幅400mm、径22mmのステンレス製
・径22mmの防錆処理を行った鋼製
・径19mmの成樹脂被覆加工を行ったもの

② 鋳鉄製ふた
種類 (21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製 ﾏﾝﾎｰﾙふた	・水封形 ・簡易気密形（ﾊﾟｯｷﾝ式） ・密閉形（ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・中ふた付密閉形（ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・	・T- 2用 ・T- 6用 ・T-20用	・有 ・無	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による

③ グレーチング
材料等 (21.2.1)

材質	形式	種類	適用荷重	ﾒﾝﾊﾞｰﾋﾞｯﾁ	受枠ﾌﾗｯﾄ(付着量)	上面形状
⊙ 鋼製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ⊙ 桝ふた用 ・U字溝用	⊙ 歩行用 ・T- 2用 ・T- 6用 ・T-14用 ・T-20用	※ 細目 ※ 普通目 ・細目	・ （ ）	⊙ 凹凸形 ・平形 ・
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T- 2用 ・T- 6用 ・T-14用 ・T-20用	・ ・		・凹凸形 ・平形 ・

④ 街きょ、縁石、側溝
材料 (21.3.1)(表21.3.1)

種類	形状、寸法
・街きょ、縁石	・図示 ・
・L形側溝	・図示 ・
・U形側溝	・図示 ・
・U形側溝ふた	・図示 ・
・	・

砂地業の材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 (21.3.1)
砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石 (21.3.1)
砂利事業の厚さ ※ 100(mm)19 ・図示による (21.3.2)
・現場打ちの場合のコンクリート材料 ※ 普通コンクリート ・ (21.3.1)
設計基準強度 ※ 18N/mm2 ・
スランプ ※ 15cm又は18cm ・
・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295 ・ (21.3.1)
凍上抑制層に用いる材料 ・ (21.3.1)
砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない

⑤ 埋戻し土
※ B種（標準仕様書 表3.2.1） ・ (21.2.1)

22 舗装工事

1 路床
路床の材料 (22.1.3)(22.2.2)(22.2.3)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	標準仕様書 表3.2.1により ・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示 ・
・凍結抑制層	※ 再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂	・図示 ・

透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ・図示による ・

路床安定処理 ・適用する ・適用しない (22.2.2)(22.2.3)
安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法
添加材料 (表22.2.1)
種類 ・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号 ・1号）
・消石灰（・特号 ・1号）
添加量を定めるために用いるCBR（ ） (22.2.4)

試験 (22.2.5)
路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験（現場密度） ・行う ・行わない
現場CBR試験 ・行う ・行わない

2 路盤
路盤の厚さ ・図示による ・
路盤材料 ※ 再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・粒度調整砕石
※ 再生粒度調整砕石 ・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

3 アスファルト舗装
アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示による ・ (22.4.2)
材料 (22.1.3)(22.4.3)
アスファルト ※ 再生アスファルト（ ・60～80 ・80～100）
・ストレートアスファルト

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表 22.4.5)

区分	地域	種類
表層	・一般地域	※ 密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）
	・寒冷地域	※ 密粒度アスファルト混合物（13F）

試験 (22.4.6)
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 (22.4.2)
※ 適切の支障となる水たまりを生じない程度
・

4 コンクリート舗装
コンクリート舗装の厚さ (22.5.2)

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	歩行者用通路	・図示 ・	※ 70 ・図示
	車路及び駐車場	・図示 ・	・図示 ・

材料 (22.5.3)
コンクリート
※ 普通コンクリート、標準仕様書 表22.5.1による
・図示による
早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない
注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・高弾性タイプ

施工：日地 (22.5.4)
種類、間隔、構造
※ 標準仕様書 表 22.5.3 及び 図 22.5.1による
・図示による
舗装の平たん性 (22.5.2)
※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

5 カラー舗装
・加熱系カラー舗装 (22.6.2)(22.6.3)(22.6.4)(表22.6.1)
構成・厚さ ・図示による ・
表層に用いる加熱系混合物の結合材
・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物 顔料の添加量（ %）
加熱系混合物に添加する材料
・着色骨材（ ）
・自然石 （ ）
アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない (22.6.6)

・常温系カラー舗装 (22.6.2)(22.6.3)(22.6.4)(表22.6.1)
工法 ・ニート工法 ・塗布工法
着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
ニート工法及び塗布工法の配合等 ・
舗装の平たん性 (22.6.6)
※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

6 透水性アスファルト舗装 G
舗装構成 ※ 図示による ・ (22.7.2)
材料 (22.1.3)(22.7.3)
アスファルト
※ 再生アスファルト （・60～80 ・80～100）
・ストレートアスファルト
試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない (22.7.6)
舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの ・ (22.7.2)

7 ブロック系舗装 G
・コンクリート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
※ 普通平板（N） ・透水性平板（P） ・保水性平板（M）	・300角 ・	※ 60 ・	※ 砂 ・モルタル

クッション材 ・砂 ・空錬モルタル (22.8.2)
仕上がりの平たん性 ※ コンクリート平板間の段差3mm以内 ・ (22.8.2)

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	色彩、表面加工等
※ 普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	車路	・図示	※ 80 ・	※ 5.0 ・	※ 標準品 ・
	歩行者用通路	・図示	※ 60 ・	※ 3.0 ・	

インターロッキングブロックの割付け ・図示による ・ (22.8.4)
仕上がりの平たん性 ※ インターロッキングブロック間の段差3mm以内 (22.8.2)
・

・舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	形状寸法	厚さ(mm)	割付け	基層(mm)
※ 小舗石（花こう岩） ・	・図示 ・	・80 ・	・図示 ・	※ ｺﾝｸﾘｰﾄ版（※70 ・ ） ・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（※ 50 ・ ）

クッション材 ・砂 ・空錬モルタル (22.8.2)
舗装の割付け ・図示による ・ (22.8.4)
仕上がりの平たん性 ※ 舗装間の段差3mm以内 ・ (22.8.2)

8 砂利敷き
種別 (22.9.2)(表22.9.1)
通路 ※ A種 ・図示による
建築物周囲その他 ※ B種 ・図示による
（ ） ・

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等
土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 ・行う ・行わない (23.1.3)
電気伝導度(EC)試験 ・行う ・行わない

2 樹木の植栽基盤整備
整備内容 (23.2.2)(表 23.2.1)(表 23.2.2)

植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※ A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150) 樹高7m以上～12m未満 (※80 ・100) 樹高3m以上～7m未満 (※60 ・80) 樹高3m未満 (※50 ・60)	・業張りの範囲 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
※ 芝、地被類	・B種 ・	※ 20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

3 植込み用土 ・現場発生土の良質土 ・客土 (23.2.3)

4 土壌改良材 G
種類、指定量 (23.2.3)(23.2.4)
・バークたい肥
施工箇所 ・植栽範囲 ・図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡当たり（・ L ・ ）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
施工箇所 ・植栽範囲 ・図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡当たり（・ L ・ ）

5 樹木
樹種、寸法、株立数 ・図示による ・ (23.3.2)
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ）
・適用しない

6 支柱
支柱材の種類 (23.3.2)
※ 丸太（間伐材） ・真竹 ・
防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸太材 ・
形式 (23.3.3)
・添え柱形 ・鳥居形 ・ハツ掛け形
・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形

7 幹巻き用材料
材料 ※ 幹巻き用テープ ・わら ・こも (23.3.2)

8 芝
種類 ※ コウライシバ ・ノシバ (23.4.2)
芝張り工法
平地 ※ 目地張り ・べた張り
法面 ・目地張り ※ べた張り

9 吹付けは種子
種類等 (23.4.2)

種子の種類	種子の量(g/m2)	備考
※ 洋芝類		
・		

10 地被類
種類等 (23.4.2)

植物の種類	株立数	径	単位面積当たりの株数
・	・	・	・
・	・	・	・

11 新植、移植樹木、芝等の枯保証
新植樹木の枯補償の期間（芝張り、吹付は種及び地被類を含む） (23.3.4)(23.4.7)
※ 引渡しの日から１年 ・ ・無し
移植樹木の枯損処置を行う期間 (23.3.6)
※ 引渡しの日から１年 ・ ・無し

12 屋上緑化
植栽基盤及び材料 (23.5.2)(23.5.3)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・図示による ・
排水層 ・軽量骨材（層の厚さ： ） ・板状成型品
植込み用土 ※ 改良土 ・人工軽量土
・屋上緑化軽量システム

樹木、芝及び地被類 (23.5.3)
樹種、寸法、株立数 ・図示による ・
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ）
・適用しない

見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 (23.5.3)
・図示による ・

工法 (23.5.4)
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法
・図示による ・
支柱 ・設置する（形式 ・図示 ・ ） (23.5.4)
かん水装置 ・設置する（種類 ・図示 ・ ） (23.5.4)

株式会社 KRC
一級建築士事務所 長野県知事登録 II第75251号
一級建築士 第293052号 渡利 真二

国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図
特記仕様書（７）〔非木造〕
令和７年度

縮尺 NON
図面番号 A-014

木造特記仕様（構造関係）

Ⅰ　建物構造概要等

1. 建物概要

主要用途	クラブハウス：事務所　トイレ：公衆トイレ	延べ面積	クラブハウス：929.13㎡　トイレ：44.89㎡	
階　数	地上　1　階	地下　　階	塔屋　　階	
建物高さ	クラブハウス：6.45m　トイレ：4.24m	軒高	クラブハウス：3.30m　トイレ：3.00m	
工事種別	⊙ 新築　・ 増築　・ 改築　・ 移転			
増築計画	・ 有り　⊙ 無し			
構造種別	地上　木　造	地下　造		
耐震安全性の分類	・ Ⅰ類（Ⅰ=1.50）　・ Ⅱ類（Ⅰ=1.25）　⊙ Ⅲ類（Ⅰ=1.00）			

2. 構造計算条件

a　耐震設計条件		
地震荷重	建物一次固有周期	（　　）秒
	地盤種別	第（　2　）種地盤
	地域係数	Z = 1.0
b　耐風設計条件		
基準風速（V0）	30 m/秒	
地表面粗度区分	・ Ⅰ　・ Ⅱ　※ Ⅲ　・ Ⅳ	
c　耐積雪設計条件		
建設地の標高	（　353　）m	
多雪区域の指定	・ 有り　⊙ 無し	
設計垂直積雪量	（　55　）cm	

Ⅱ　建築工事仕様（構造関係）

1．共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築木造工事標準仕様書 令和７年版 」（以下、「木造標仕」という）により、木造標仕に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版 」（以下、「標仕」という。）による。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
　⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、「木造標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の［　　］内表示番号は、「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（5）G 印は「国等による環境物品等の調達等の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。なお、特定調達品目か否かの判断基準は監督職員との協議による。

適用範囲

特記仕様（構造関係）の適用範囲は下記の工事種目とする。
※ 特記仕様書(1)　仕様書　Ⅰ工事概要　2.工事種目に掲げる下記の工事種目番号
（番号○～番号○までの工事種目）
・

3-3 地業工事

① 支持力又は支持地盤の確認

支持地盤の位置及び種類　[4.3.4][4.3.5][4.5.5]
・杭基礎（基礎ぐいの先端の位置含む）
　- 構造図（　　）による
⊙直接基礎（基礎底部の位置含む）
　⊙構造図（ S-105・A-316・317図 ）による
　長期設計支持力度
　・（　　）kN/㎡
試験
　杭の載荷試験　[4.2.3][4.2.5]
　・行わない
　・行う
　　・構造図（　　）による　・
　　・報告書の記載事項（　　）

　地盤の載荷試験(平板載荷試験)　[4.2.4][4.2.5]
　⊙行わない
　・行う
　載荷荷重等仕様
　　・構造図（　　）による
　　・報告書の記載事項（　　）

② 液状化対策
・ 行う （工法、施工範囲、仕様及び計測、試験等は構造図による。）
・ 行わない

③ 既製コンクリート杭地業　[4.3.3]

種類等
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
SC杭の鋼管材料
・SKK400　・SKK490

材料
寸法、継手、性能等　[4.3.3]

	杭径(mm)		杭長(m)及び種類等 種類の記号	板厚(mm)	杭長(m)	セット数	コンクリート強度(N/mm²)	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭		上杭							
		中杭							
		下杭							
本杭		上杭							
		中杭							
		下杭							

試験杭　[4.2.2][4.3.4]
試験杭の位置、本数及び寸法
・構造図（　　）による　・

④ 鋼杭地業

材料(種類の記号)　・SKK400　・SKK490　・SHK400　・SHK490M
寸法、継手、性能等　[4.4.3]

	杭径(mm)		杭長(m)及び種類等 種類の記号	板厚(mm)	杭長(m)	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭		上杭						
		中杭						
		下杭						
本杭		上杭						
		中杭						
		下杭						

試験杭　[4.2.2][4.4.4]
試験杭の位置、本数及び寸法
・構造図（　　）による　・
杭先端部形状　[4.3.3]
・開放形　・半開放形　・閉そく形　・
施工方法
・セメントミルク工法　[4.3.4]
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ
・1.5m程度　・
杭の支持地盤への根入れ深さ
・1.0m以上　・
杭の精度
・水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下　・
・杭の傾斜
・1/100以内　・
・特定埋込杭工法　[4.3.5]
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式の内、α、β、γが下記の値を採用できる工法
　α=（　　）、β=（　　）、γ=（　　）
工法
・プレボーリング拡大根固め工法　・中堀り拡大根固め工法
杭周固定液
・使用する　・使用しない
杭の精度　[4.3.5]
・水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下　・
・杭の傾斜
・1/100以内　・評定条件又は認定条件による　・
杭継手工法　[4.3.6]
・アーク溶接継手
・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法　※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法　・
検査　※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目　・
施工　※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による　・
杭頭の処理(切断方法)　[4.3.8]
・処理しない
・処理する
切断方法
・構造図（　　）による　・
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

⑤ 砂利地業

材料　[4.6.2]
※ 再生クラッシャラン G　・ 切込み砂利　・ 切込み砕石
厚さ及び適用範囲

厚さ	適用箇所
・ 60	・基礎スラブ下　・基礎梁下　・土間コンクリート下　・土に接するスラブ下
⊙150	図示
⊙210	図示

⑥ 捨コンクリート地業　[4.6.4]

厚さ	適用箇所
※ 50	⊙基礎スラブ下　⊙ 基礎梁下　・土に接するスラブ下
・	

※ 設計基準強度18N/mm2　・
※ スランプ15cm又は18cm　・

⑦ 床下防湿層

施工範囲　[4.6.5]
⊙建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)　・
防湿工法　[4.6.2]
⊙ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・
防湿層の位置　[4.6.5]
⊙図示

⑧ 地盤改良（セメント系固化材を用いた工法による改良）

工法
・深層混合処理工法
改良範囲、仕様(計測、試験等含む。)は構造図（　　）による。
・浅層混合処理工法
改良範囲、仕様(計測、試験等含む。)は構造図（　　）による。
⊙柱状地盤改良工法
改良範囲、仕様(計測、試験等含む。)は構造図（ S-102・106図 ）による。

9 置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）

形状等
・構造図（　　）による　・
支持地盤の長期設計支持力
（　　）kN/㎡
支持地盤
・構造図（　　）による　・
型枠使用の有無
・ 無し　・ 有り （型枠の使用箇所等は構造図S－〇〇による）

3-4 基礎工事（鉄筋工事）

① 適用基準　標仕５章　鉄筋工事による

② 鉄筋の種類　[5.2.1][表5.2.1]

規格の名称	種類の記号	呼び径(mm)	適用箇所	備考
鉄筋コンクリート用棒鋼（異形鉄筋）	⊙ SD295	※ D16以下	基礎・スラブ・腰壁	
	⊙ SD345	※ D19以上	梁	

3　溶接金網　[5.2.2]

種類	種類の記号	桝目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	適用箇所
・ 溶接金網			
・ 鉄筋格子			

④ 鉄筋の継手　[5.3.4]

適用箇所	継手方法と適用径の範囲
・ 基礎柱主筋	・ ガス圧接(D19以上)　・
・ 基礎梁主筋	・ ガス圧接(D19以上)　・
⊙ 基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など	・ ガス圧接（　　） ⊙ 重ね継手（　　）
・ 杭主筋	・ 重ね継手　・

⑤ 主筋の継手位置等

カットオフ鉄筋の長さ
・関東地方整備局営繕部版 構造関係共通図(配筋標準図)（以下「配筋標準図」という）
5.1、6.1、7.1、7.3による（・全て　・下記以外全て ）
・上記以外の位置
・構造図（　　）による
基礎梁主筋の継手
・ 各部配筋参考図 1.3による
・ 配筋標準図 図5.2による（・全て ・ 構造図による ・　　）
・ 配筋標準図 図5.3による（・全て ・ 構造図による ・　　）
・ 配筋標準図 図5.4による（・全て ・ 構造図による ・　　）
・ 構造図（　　）による

⑥ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）　[5.3.5][表5.3.6]

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)
※ 表5.3.6 による
・ 構造図（　　）による
柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
・無し　・有り　適用箇所（　　）
主筋のかぶり厚さ
・最小かぶり厚さ（　　）mm
特殊な要求性能におけるコンクリートの部分(耐久性上不利な部分)
・無し
・有り　適用箇所（　　）
・配筋標準図 表4.1に加える厚さ　（　）mm

⑦ 各部配筋

⊙配筋標準図による。　[5.3.7]
⊙構造図(S-105・A-316・317図)による。
・各部配筋参考図による。

⑧ 帯筋

組立の形の種別
・配筋標準図 6.2（　　形 ）による
⊙構造図（ S-105図 ）による

9 圧接完了後の試験

外観試験　※行う(全数)　[5.4.10]
抜取試験（第三者試験機関による）　[5.4.10]
※超音波探傷試験
試験の箇所数等
・標仕 5.4.10、5.4.11による　・
・引張試験
試験片の採取数は、１ロットに対して(※３本・５本)とする
試験ロット：１組の作業班が１日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごとよする
試験片を採取した箇所の処置：標仕5.4.10による

3-4 基礎工事（コンクリート工事）

① 適用基準　標仕６章　コンクリート工事による

② コンクリートの使用骨材による種類及び強度

※ 普通コンクリート　[6.2.1～6.2.4]

設計基準強度 Fc（N/mm²）	スランプ（cm）	適用箇所
⊙ 21	※ 15	土間スラブ
・ 24	⊙ 18	基礎、基礎梁
・ 18	15 又は 18	

③ コンクリートの類別　類別　[6.2.1][表6.2.1]
※ Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・ Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

④ セメントの種類　[6.3.1][表6.3.1]

セメントの種類	適用箇所
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	下記以外全て
・ 高炉セメントB種 G ・ フライアッシュセメントB種 G ・ エコセメント G	・1FLより下部(立ち上がり部含む) ・

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱		
	7日	352J/g以下
	28日	402J/g以下

⑤ 骨材の種類　使用骨材のアルカリシリカ反応による区分　[6.3.1][6.11.2]
・ A
※ B（コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m3 以下）
普通エコセメントを使用するコンクリートに再生骨材Hを使用する　[6.3.1][6.11.2]
・ 適用する
・ 適用しない

⑥ 混和材料
⊙混和剤（JIS A 6204に適合するＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はⅠ種とする。）　[6.3.1]
・混和材（JIS A 6201に適合するフライアッシュのⅠ種又はⅡ種、JIS A 6206に適合する高炉スラグ微粉末又はJIS A 6202に適合する膨張材）

⑦ コンクリートの調合　構造体強度補正（Ｓ）　・図示による　※[表6.3.2]による　[6.3.2]
6.3.2(f)(f)①～③以外の混和材料の使用方法及び使用量　※図示による（　　）

8 打継ぎ　打継ぎの位置　[6.6.4]
梁及びスラブ　・図示による　※そのスパンの中央又は端から1/4の付近
柱及び壁　・図示による　※スラブ、壁梁又は基礎の上端

⑨ 打継ぎ目地の寸法、位置及び形状
目地寸法　[6.6.4][6.8.1][9.7.3]
・標仕 9.7.3による　・
開隔　[6.8.1]
・意匠図による　・
位置　[6.8.1]
⊙意匠図による　・
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する

⑩ 湿潤養生　期間　[6.7.2]
※[標仕 6.7.2]による　・
・普通エコセメントを使用した場合　（ ※ 7日以上　・　　）

⑪ コンクリートの仕上り　合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　[6.2.5][6.6.6][表6.2.4]

種別	適用箇所
⊙ Ａ種	腰壁（見掛り部）
・ Ｂ種	
・ Ｃ種	

⑫ 打増し厚さ　打増し厚さ　[6.8.1]
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm　・20mm　・
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20mm　・
・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理
プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行なう
・10mm　・20mm
打増し範囲
・意匠図による

⑬ 型枠　せき板の材料　[6.8.2]
⊙合板
・床型枠用鋼製デッキプレート
使用箇所等　※構造図による　・
※せき板の材料として合板を使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した内容の板面表示等により合法性を確認し、監督職員に報告する。　[1.4.2]
スリーブの材種　[6.8.2][表6.8.1]
・標仕 6.8.2(9)(f)及び標仕 表6.8.1による

⑭ コンクリート強度及び試験方法
※ 標仕6.5.5、6.9.2、6.9.3、6.9.4、6.9.5による。　[6.5.5][6.9.2～5]
※ 構造体コンクリートで、10m3 未満かつ構造上重要でない部分については、フレッシュコンコンクリートの試験、コンクリートの強度試験を省略することができる。　[6.9.1]

15 軽量コンクリート　[6.10.1、表6.10.1]

種類	所要気乾単位容積質量(t/m3)	適用箇所	常時土又は水に直接接する部分
・ 1種	・ 1.8　・		・
・ 2種	・ 1.4		

16 寒中コンクリートの適用期間　※ 打込み日を含む旬の日平均気温が 4℃以下の期間　[6.11.1]
（前年の気象庁データ、現場での実測データにより判断する）

17 暑中コンクリートの適用期間　日平均気温の平年値が25℃を超える期間　[6.12.1]
※ 7月17日から8月27日（気象庁 長野地区 旬別平均気温及び7月8月平均値より）
構造体強度補正値（S）
※ 6N/mm2　・ 3N/mm2　[6.12.2]

⑱ 無筋コンクリート　コンクリートの種類
※普通コンクリート　・　[6.14.1]

設計基準強度 Fc（N/mm²）	スランプ（cm）	セメントの種類	適用箇所
※18	※15 又は18	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	捨コンクリート
・	・	・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種	

株式会社　ＫＲＣ 一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号 一級建築士　第293052号　原利　真二 一級建築士　第235863号　山崎　高夫	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図	構造特記仕様書〔木造〕	令和７年度	縮尺 NON 図面番号 S-001

特記仕様(構造関係)

※ 本特記仕様書は、非木造の建築物に適用する。

Ⅰ 建物構造概要等

1. 建物概要 ※ 下表はスタンドについて示す。倉庫、シェルター、四阿の概要は全体配置図による。

主要用途		観客席A・B棟：観覧場 中央倉庫棟：倉庫	延べ面積	観客席A・B棟：355.11㎡ 中央倉庫棟：114.00㎡	
階数		地上 1 階 地下 階	塔屋	階	
建物高さ		観客席A・B棟：5.095m 中央倉庫棟：4.40m	軒高	観客席A・B棟：4.75m 中央倉庫棟：3.00m	
工事種別		⊙ 新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 移転			
増築計画		・ 有り ⊙ 無し			
構造種別		地上 RC造・鉄骨 造 地下 造			
架構形式	X方向	ラーメン 構造			
	Y方向	ラーメン 構造			
耐震構造方式		⊙ 耐震構造 ・ 免震構造 ・ 制振構造			
耐震安全性の分類		・ Ⅰ類（I=1.50） ・ Ⅱ類（I=1.25） ⊙ Ⅲ類（I=1.00）			

2. 構造計算条件

a 耐震設計条件

地震荷重	建物一次固有周期	（ ）秒	
	地盤種別	第（ Ⅱ ）種地盤	
	地域係数	Z = 1.0	
計算ルート	X方向	※ 許容応力度計算 （ルート 1 ）	
		・ その他	
		・	
	Y方向	※ 許容応力度計算 （ルート 1 ）	
		・ その他	
		・	
設計層間変形角	X方向	一次設計	
		二次設計	
	Y方向	一次設計	
		二次設計	

b 耐風設計条件

基準風速 (V0)	30 m/秒
地表面粗度区分	・ Ⅰ ・ Ⅱ ※ Ⅲ ・ Ⅳ

c 耐積雪設計条件

建設地の標高	（ 353 ） m
多雪区域の指定	・ 有り ⊙ 無し
設計垂直積雪量	（ 55 ） cm

Ⅱ 建築工事仕様(構造関係)

1．共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書・同監理指針（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という）による。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達等の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。なお、特定調達品目か否かの判断基準は監督職員との協議による。

適用範囲

特記仕様(構造関係)の適用範囲は下記の工事種目とする。
※ 特記仕様書(1) 仕様書 Ⅰ工事概要 2 工事種目に掲げる下記の工事種目番号
（番号○～番号○までの工事種目）
・

4 地業工事

① 試験及び報告書

・ 杭基礎 (4.2.1)(4.2.2)
支持地盤の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む）
・ 図示による ・
試験杭の位置
・ 図示による ・

⊙ 直接基礎 (4.2.1)
支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む）
⊙ 図示による ・

試験堀り（根切り底の状況の確認等） (3.2.1)
・ 行わない ⊙ 行う
位置等 ・ 図示による ・

・ 杭の載荷試験 (4.2.3)
載荷試験の方法
・ 鉛直載荷試験
・ 地盤工学会基準JGS（ ）による
・
・ 水平載荷試験
・ 地盤工学会基準JGS 1831 による
・
・
試験の位置、本数、載荷荷重
・ 図示による ・
報告書の記載事項
・

⊙ 地盤の載荷試験 （付属棟、設備基礎） (4.2.4)
載荷試験の方法
⊙ 平板載荷試験 ・ 地盤工学会基準JGS 1521 による
・
試験の位置、載荷荷重
⊙ 図示による（位置は監督員の指示による）
報告書の記載事項

2 既製コンクリート杭

種類等 (4.3.2)
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490
・

杭の種類、性能及び曲げ強度区分（種別）、寸法、継手の個所数等 (4.2.2)(4.3.3)

		種類 種別	コンクリート 強度(N/mm2)	杭長及び種類等 杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(m)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
本杭	上杭									
	中杭									
	下杭									

杭先端部形状 (4.3.3)
・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉塞形 ・

・セメントミルク工法 (4.3.1)(4.3.4)
掘削深さ
・ 図示による ・
杭の支持層への根入れ長さ
・ 図示による ・
杭の水平方向の位置ずれ精度
・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・
根固め液及び杭周固定液の管理試験
・ 標準仕様書 4.3.4(6)(a)による ・ (表4.3.1)(表4.3.2)

・特定埋込杭工法 (4.3.1)(4.3.5)
・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法
α＝（ ）、β＝（ ）、γ＝（ ）
工法
・ プレボーリング拡大根固め工法
・ 中堀り拡大根固め工法
・

杭継手工法 (4.3.3)(4.3.6)(7.2.5)
・ アーク溶接継手
溶接材料
・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による
・
・ 機械式継手（溶接部に接続金具を用いた方式のもの）

杭頭の処理 (4.3.8)
・ 処理しない
・ 処理する
処理方法（切断に伴う補強方法含む）
・ 図示による ・

3 鋼杭地業

杭の種類（材料）、寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)

		種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(m)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

特定埋込杭工法 (4.3.5)(4.4.4)
・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・ 平成13年国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法
α＝（ ）、β＝（ ）、γ＝（ ）
工法
・ 中堀り拡大根固め工法 ・

杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)
・ アーク溶接継手
溶接材料
・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・
・ 機械式継手

杭頭の処理 (4.4.6)
・ 処理しない
・ 処理する
処理方法（切断を伴う補強方法含む）
・ 図示による ・

4 場所打ちコンクリート杭地業

工法 (4.5.1)(4.5.4～4.5.6)
・ アースドリル工法 ・ リバース工法
・ オールケーシング工法 ・ 拡底杭工法
・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・
鋼管の材料（・SKK400 ・SKK490 ・ ）

寸法等 (4.2.2)(4.5.4)

	鋼管厚(mm)	鋼管径(mm)	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(m)	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭								
本杭								

・孔壁の確認（超音波測定器による） (4.5.5)
測定箇所
・ 試験杭（ ）箇所、本杭（ ）箇所 ・
杭の支持層への根入れ長さ
・ 図示による ・
杭の水平方向の位置ずれ精度
・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・

鉄筋の種類 (4.5.4)(5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・ SD295		
・ SD345		

帯筋の加工及び組立 (4.5.4)
・ 図示による ・
鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4)
・ 100mm ・
鉄筋かごの補強 (4.5.4)
・ 図示による ・
組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4)(5.3.4)
・ 重ね継手
重ね継手の長さ ※ 標準仕様書 表5.3.2による ・
・
主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.4)(5.3.4)
・ 図示による ・

セメントの種類 (4.5.4)
※ 高炉セメントB種 ・
コンクリートの設計基準強度 (4.5.4)
・ 図示による ・
コンクリートの種別 (4.5.4)(表4.5.1)
・ A種 ・ B種 ・ 評定等の内容による
スランプ (4.5.4)
・ 18cm ※ 21cm ・ （ ）cm
構造体強度補正値(S) (4.5.4)
※ 3N/mm2
・ 図示による ・ 評定等の内容による ・

⑤ 砂利事業

材料 (4.6.2)
⊙ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石
砂利の厚さ (4.6.3)
※ 60mm ⊙ 図示
範囲
・ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下、土間コンクリート下
⊙ 図示による ・

6 砂地業

材料 (4.6.2)
・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂
砂の厚さ (4.6.3)
※ 60mm ・
範囲
・ 図示による ・

⑦ 捨コンクリート地業

捨てコンクリートの厚さ (4.6.4)
※ 50mm ・
範囲 (4.6.4)
・ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下
⊙ 図示による ・
コンクリートの種類 (4.6.4)(6.14.1)
※ 普通コンクリート ・
設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1)
※ 18N/mm2 ・
スランプ (4.6.4)(6.14.1)
※ 15cm又は18cm ・

⑧ 床下防湿層

材料 (4.6.2)
※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・
範囲 (4.6.5)
・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
⊙ 図示による ・

⑨ 地盤改良（セメント系固化材を用いた工法による改良）

工法
・ 深層混合処理工法 (4.7.1)
方式 ※ 機械撹拌方式 (4.7.3)
改良範囲、仕様（計測、試験等含む。）は構造図（ ）による。
・ 浅層混合処理工法 (4.8.1)
方式 ※ 原位置混合方式 (4.8.3)
改良範囲、仕様（計測、試験等含む。）は構造図（ ）による。
⊙ ブロック状地盤改良工法
改良範囲、仕様（計測、試験等含む。） ⊙ 図示

10 置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）

形状等
・ 構造図（ ）による ・
支持地盤の長期設計支持力
（ ） kN/㎡
支持地盤
・ 構造図（ ）による ・
型枠使用の有無
・ 無し ・ 有り （型枠の使用箇所等は構造図S－○○による）

5 鉄筋工事

① 鉄筋

鉄筋の種類 (5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備考
⊙ SD295	・ D16以下	
⊙ SD345	・ D19以上	
・		
・		

加工
・ 鉄筋の折曲げ角度が90°未満の折曲げ内法直径(D) （ ）以上

② 溶接金網

鉄線の形状等 (5.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	仕様部位
⊙ 溶接金網			
・ 鉄筋格子			

③ 鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)

適用箇所	継手方法と適用径の範囲	呼び径(mm)
柱及び梁主筋	⊙ ガス圧接 ・ 機械式継手	・
	・ 溶接継手 ・ 重ね継手	
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手 ・	-
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	⊙ 重ね継手 ・ ガス圧接	-
上記以外	⊙ 重ね継手 ・	-

継手位置 ⊙ 図示による ・ (5.3.4)
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5.3.4)
※ 標準仕様書 表5.3.2による
・ 図示による ・
耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4)
※ 標準仕様書 5.3.4(3)(ｱ)による
・ 図示による ・
先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同箇所に設ける場合
・ 図示による ・
鉄筋の定着長さ (5.3.4)
※ 標準仕様書 表5.3.4による
・ 図示による ・
標準仕様書 5.3.4(5)(ｲ)の場合の折り曲げ定着の方法
※ 標準仕様書 図5.3.3により5.3.4(5)(ｲ)をすべて満足する
・
機械式定着工法 (5.3.4)
・ 適用する
適用箇所 ・ 図示による ・
種類 ・ 図示による ・

④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5)
※ 標準仕様書 表5.3.6 による
柱及び梁の主筋に029以上の使用の有無
・ あり 使用箇所（ ）
主筋のかぶり厚さの径の1.5倍以上確保する
軽量コンクリートの適用の有無
・ あり 適用箇所（ ）
・ 最小かぶり厚さに加える厚さ （ ）mm
・
耐久性上不利な個所の有無（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・ あり 適用箇所（ ）
・ 最小かぶり厚さに加える厚さ （ ）mm
・
・ 図示による

⑤ 各部配筋

各部配筋 ⊙ 図示による ・ (5.3.7)

⑥ ガス圧接完了後の試験

抜取試験（第三者試験期間による） (5.4.10)
※ 超音波探傷試験 標準仕様書 5.4.10(4)(a)による
・ 引張試験
試験方法等 １ロットは、１組の作業班が１日に行った圧接箇所
試験片の採取数は、１ロットに対して３本
試験片の形状、寸法、試験方法は、JIS Z 3120 による

7 機械式継手

適用箇所 ・ 図示による ・ (5.5.3)
平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.5.3)
・ A級 ・
機械式継手の種類 (5.5.3)
・ 図示による ・
鉄筋相互のあき (5.5.3)
・ 評定等の内容による ・ 図示による
施工完了後の継手部の試験 (5.5.5)
・ 外観試験（全ての継手部）
試験項目、合否判定
※ 標準仕様書 表5.5.1～表5.5.3による ・
・ 超音波測定試験
・ 行う ・ 行わない
試験対象
・ 図示による ・
不合格となった場合の措置 (5.5.6)
※ 標準仕様書 5.5.6(1)(ｱ)～(ｳ)による ・

8 溶接継手

適用箇所 ・ 図示による ・ (5.6.3)
平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.6.3)
・ A級 ・
溶接継手の工法 (5.6.3)
・ 図示による ・
鉄筋相互のあき (5.6.3)
・ 評定等の内容による ・ 図示による
(5.6.5)

株式会社 ＫＲＣ
一級建築士事務所 長野県知事登録 H第75251号
一級建築士 第293052号 渡利 真二
一級建築士 第163891号 関田 政道

国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図
特記仕様書（構造関係１）〔非木造〕 令和７年度

縮尺 NON
図面番号 S-002

6 コンクリート工事

① コンクリートの種別等

コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)
※ Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・ Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

・ 普通コンクリート (6.2.1～6.2.4)(表6.2.2)

設計基準強度(N/mm2)	スランプ（cm）	適用箇所
⊙ 24 ・	※ 15又は18 ・	スタンド（基礎、基礎梁、土間）
⊙ 24 ・	※ 18 ・	スタンド（柱、梁、スラブ、壁）
⊙ 21 ・	※ 18 ・	スタンド以外全て
・	・	

・ 軽量コンクリート (6.2.1)(6.2.10)
（特記事項は、「9. 軽量コンクリート」に示す）
・ 建築基準法第37条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート (6.2.1)
適用箇所（・ ）

構造体強度補正値 (6.3.2)
※ 標準仕様書 表6.3.2による
・

② セメント

種類 (6.3.1)
※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
適用箇所（※ 下記以外全て ・ ）
・ 高炉セメントB種
適用箇所（・ ）
・ フライアッシュセメントB種
適用箇所（・ ）
・ 普通エコセメント
適用箇所（・ ）
・ 再生骨材Hを使用する 適用箇所（・ ） (6.3.1)
湿潤養生の期間（ ）日以上 (6.7.2)
型枠の最小存置機関（ ） (6.8.4)

③ 骨材

フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ細骨材及び電気が酸化スラグ骨材
・ 適用する 適用箇所（・ ） (6.3.1)
アルカリシリカ反応性による区分
※ A ⊙ B

④ 混和材料

⊙ 混和剤 (6.3.1)
混和剤の種類
※ 標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・
・ 混和材 (6.3.1)
混和材の種類
※ 標準仕様書 6.3.1(4)(b)による ・
標準仕様書 6.3.2(f)の①～③以外の混和材料 (6.3.2)
・ 混和剤（ ） ・混和材（ ）
使用方法 ・
使用量 ・

⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

打継ぎの位置 (6.6.4)
梁及びスラブ ※ スパンの中央又は端から1/4の付近
・ 図示による ・
柱及び壁 ※ スラブ、壁梁又は基礎の上端
・ 図示による ・

目地寸法（ひび割れ誘発目地を含む） (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
※ 標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による
・ 図示による ・
ひび割れ誘発目地の位置、形状 (6.8.1)
・ 図示による ・

⑥ コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(表6.2.4)

種別	適用箇所
⊙ A種	⊙ 図示
・ B種	・ 図示
・ C種	・ 図示

コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5)(表6.2.5)

種別	適用箇所
⊙ a種	⊙ 図示
・ b種	・ 図示
・ c種	・ 図示

⑦ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

打増し厚さ (6.8.1)
⊙ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
⊙ 20mm ・
⊙ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・ 10mm ⊙ 20mm ・
打増し範囲
⊙ 図示による ・

⑧ 型枠

せき板の材料 (6.8.2)
※ 標準仕様書 6.8.2(1)(ｱ)、(ｲ)による
・ 合板（厚さ ※ 12mm ・ ）
・
・ 断熱材を兼用した型枠 (6.8.2)
使用箇所
・ 図示による ・
・ MCR工法用シート (6.8.2)
適用箇所
・ 図示による ・
スリーブの材種・規格等 (6.8.2)
・ 図示による ・

9 軽量コンクリート

適用箇所 ・ 図示による ・ (6.10.1)
種類 ・ 1種 ・ 2種 (6.10.2、表6.10.1)
気乾単位容積重量 ・（ ）t/m3
スランプ ※ 21cm ・

⑩ 寒中コンクリート

適用期間 ・ 図示による ・ (6.11.1)
構造体強度補正値（S） (6.11.2)
⊙ 標準仕様書 6.11.2(3)(ｱ)による
・ 積算温度を基に定める（ ）

11 暑中コンクリート

スランプ ※ 21cm ・ (6.12.2)
構造体強度補正値（S）
※ 標準仕様書 表 6.12.1による

12 マスコンクリート

適用箇所 ・ 図示による ・ (6.13.1)

セメントの種類 (6.13.2)
・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種
・ 中庸熱ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
・ 低熱ポルトランドセメント ・ シリカセメント

混和材料 (6.13.2)
・ 混和剤
混和剤の種類
※ 標準仕様書 6.13.2(2)(ｱ)による ・
混和材の種類
※ 標準仕様書 6.13.2(2)(ｲ)による ・
スランプ ※ 15cm ・ (6.13.2)
構造体強度補正値（S） ※ 標準仕様書 6.13.1による ・ (6.13.2)

13 無筋コンクリート

コンクリートの種類 (6.14.1)
※ 普通コンクリート ・
設計基準強度 ※ 18(N/mm2) ・ (6.14.1)
スランプ ※ 15cm又は18cm ・ (6.14.1)
適用箇所 (6.14.1)
※ 標準仕様書 6.14.1(4)による
・ 図示による ・
・ 標準仕様書 表 6.2.1以外のコンクリートを用いる場合 (6.14.1)
（ ）

14 流動化コンクリート

適用箇所 (6.15.1)
・ 図示による ・

15 高流動化コンクリート

適用箇所 (6.16.1)
・ 図示による ・
スランプフロー ・ cm (6.16.2)

⑯ コンクリート強度及び試験方法

※ 構造体コンクリートで、10m3 未満かつ構造上重要でない部分については、監督員の承諾を受けてフレッシュコンコンクリートの試験、コンクリートの強度試験を省略することができる。 (6.9.1)

17 コンクリートの単位水量測定

・ 行う ・ 行わない
実施要領
(1)単位水量の測定は、150m3 に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m3 の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m3 の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m3 以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m3 を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±20kg/m3 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
4)上記の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面（計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等）と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。

7 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

製作工場の加工能力 (7.1.3)
⊙ 国土交通省から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
（ M ）グレード以上
・ 監督職員の承諾する製作工場

② 施工管理技術者

※ 適用する (7.1.3)(7.1.4)

③ 鋼材

種類等 (7.2.1)

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格等
⊙SS400	小梁	※ JISによる ・
⊙SN400B ・SN490B	大梁	※ JISによる ・
⊙SN400C ・SN490C	ダイアフラム	※ JISによる ・
・BCR295 ⊙STKN400B	柱	※ JISによる ・
⊙SSC400	嵩上材	※ JISによる ・

形状及び寸法 (7.2.1)
⊙ 図示による ・
板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験 (7.2.10)
・ 行う（適用箇所： ） ⊙ 行わない

④ 高力ボルト

高力ボルトの種類 (7.2.2)
・ トルシア形高力ボルト
・ JIS形高力ボルト
⊙ 溶融亜鉛めっき高力ボルト
・ 建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト

ボルトの寸法 (7.2.2)
ねじの呼び ⊙ 図示による ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
⊙ 図示による ・

摩擦面の性能及び処理
・ すべり試験 (7.4.2)
試験の方法等 ・ 図示による ・
⊙ 溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法 (7.12.5)
※ 標準仕様書 7.12.5(1)(ｱ)、(ｲ)による
・

JIS形高力ボルトの締付け（本締め） (7.4.7)
ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量
・ 図示による ・

⑤ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
※ 標準仕様書 表7.2.3 による ・
ボルトの形状及び寸法 (7.2.3)
ねじの呼び ⊙ 図示による ・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
⊙ 図示による ・

母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8)
※ ねじの呼び径＋1.0mm ・

⑥ アンカーボルト

種類 (7.2.4)
・ 構造用アンカーボルト
・ ABR400 ・ ABR490 ⊙ 図示
・ 建方用アンカーボルト
・ SS400 ・
アンカーボルト及びナットのねじの交差域クラス及び仕上げの程度
※ 標準仕様書 表7.2.3 による ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
・ 図示による ・

⑦ 溶接材料

溶接材料 (7.2.5)
※ 標準仕様書 表7.2.5(1)、(2) による
・ 図示による ・

⑧ ターンバックル

種類 (7.2.6)
建築用ターンバックルボルト
※ 羽子板ボルト ・
建築用ターンバックル胴
※ 割枠式 ・
ねじの呼び等 (7.2.6)
・ 図示による ・

9 構造用デッキプレート

材質、形状及び寸法 (7.2.7)

工法の種別	適用箇所	材質、形状、寸法	備考
・ デッキプレート単独の構法			
・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブ構法			
・			

鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8)
・ 図示による ・

鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8)
・ 図示による ・

10 スタッド

種類等 (7.2.8)

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
・ 16	・80 ・100 ・120	
・ 19	・80 ・100 ・130 ・150	
・ 22	・80 ・100 ・130 ・150	

⑪ 柱底均しモルタル

⊙ 無収縮モルタル (7.2.9)(表 7.2.5)
無収縮モルタルの材料及び調合
※ 標準仕様書 7.2.9(2) による ・
・ 標準仕様書 7.2.9(1) によるモルタル

12 鉄骨の仮組

※ 行う (7.3.10)
仮組を行う範囲 ・ 図示による ・

13 溶接作業者の技量付加試験

試験の要領 (7.6.3)
・ 図示による ・

⑭ 溶接接合

開先の形状 (7.6.4)
⊙ 図示による ・

鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 (7.6.7)
⊙ 図示による ・
切断面の仕上げ
※ 標準仕様書 7.6.7(1)(ｶ)(b)②による ・
スカラップの形状 (7.6.7)
⊙ 図示による ・

低応力高サイクル疲労を受ける部位 (7.6.7)
・ 図示による ・

⑮ 溶接部の試験

溶接部の外観試験 (7.6.12)
平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験
試験の方法
⊙ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル（鉄骨製作管理技術者登録機構）」3.5.2受入検査による
・ 抜き取り検査① ※ 抜き取り検査②
・
JASS 6 付則6の付表3「溶接」に関する試験
試験の方法
⊙ JASS 6 10.4「受入検査」e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶け込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。
・

・ 完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12)
※ 自社 100%
※ 第三者検査機関
・ 工場溶接の場合
AOQL(%) ※ 4.0 ・ 2.5

節	・ 全て ・	
検査水準	※ 第６水準	

・ 工事現場溶接の場合
※ 全数

⑯ 錆止め塗装

塗料の範囲 (7.8.2)
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・ 図示による ・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
※ 標準仕様書 表7.8.2(1) による
・ 図示による ・
下記以外の塗料の種別は、18章による
・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種別 (表 18.3.1)
※ A種 ・ B種
・ 耐火被覆が接着する面の塗料の種別
・
溶融亜鉛メッキ処理
⊙ 行う（ 適用部位：スタンド観客席Ａ棟・Ｂ棟 ）

17 耐火被覆

種類、材料、工法等 (7.9.2～7.9.8)

種類	材料・工法	耐火性能（時間）	適用箇所(部位・部分)
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ		
	・ 半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ		
	・ 湿式ﾛｯｸｳｰﾙ		
	・		
・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸ｶﾙｼｳﾑ板		
	・		
・ 耐火材巻付け	・ 高耐熱ﾛｯｸｳｰﾙ		
	・		
・ ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り	ー		
・ 耐火塗料			

⑱ アンカーボルトの設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
⊙ 図示による ・
構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.10.3)
⊙ 図示による ・

建て方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)(表 7.10.1)
種別 ・ A種 ・ B種

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3)(表 7.10.2)
厚さ ・ mm ⊙ 図示
種別 ※ A種 ⊙ 図示

19 軽量形鋼構造

ボルト接合の方法 (7.11.2)
・ 普通ボルト接合 ・

その他

1 軽微な変更の対応（あらかじめ検討）

施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更事項への対応方法について、あらかじめの検討を行っている部分
本検討は、計画通知の変更を要しない範囲及び対応方法を定めるものであり、品質管理上の施工誤差を許容するものではない。
・ くいの芯ずれを考慮した検討
あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※ 構造図による。
・ くいの長さの変更を見込んだ検討
あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※ 構造図による。
・ はり貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討
あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※ 構造図による。

株式会社 ＫＲＣ
一級建築士事務所 長野県知事登録 H第75251号
一級建築士 第293052号 渡利 真二
一級建築士 第163891号 関田 欽道

国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図
特記仕様書（構造関係２）〔非木造〕
令和７年度

縮尺 NON
図面番号 S-003

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）

1．一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

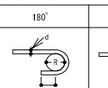
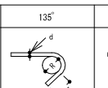
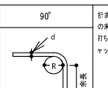
d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　D…部材の成　R…直径

s…間隔　r…半径　…中心線　lo…部材間の内法距離　ho…部材間の内法高さ

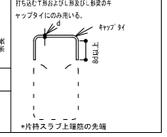
ST…あばら筋　HOOP…帯筋　S．HOOP…補強帯筋　φ…直径又は丸鋼

2．鉄筋加工、かぶり

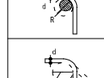
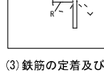
(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（*4d以上）	8d以上（*4d以上）

折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上



(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のリミット(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ　D16　以下	3d以上
			19φ　D19　以下	4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ　D16　以下	
			19φ～25φ　D19～D25	6d以上
			28φ～32φ　D29～D38	8d以上

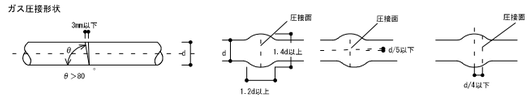
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm²)	定着の長さ 一般 (Ld)	定着の長さ 下ば筋 小梁 (Ld)	定着の長さ 下ば筋 スラブ (Ld)	特殊の定着及び重ね継手の長さ (Ld)
SR235	21～36	35d フックつき	25d フックつき	15d フックつき	35d フックつき
	18以下	45d フックつき			45d フックつき
SD295A SD295B SD345	21～36	35d または 25d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 15cm以上	40d または 30d フックつき
	18以下	40d または 30d フックつき			45d または 35d フックつき

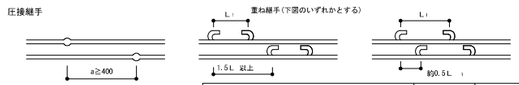
継　手

1. 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない。
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



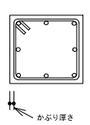
圧接継手



重ね継手(下図のいずれかとする)

(4) かぶり厚さ　(単位：mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



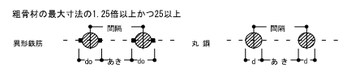
部位			設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30	30 (20)
		屋外	40 (1)	40 (20)
	はり 耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50 (2)	40 (3) (30)
	擁壁		50 (2)	40
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40 (4)
	基礎・擁壁		70	60 (4)

(注)　(1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる
(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5) ( )内は仕上げがある場合、
改定により標準かぶり厚さは10mm増し

(5) 鉄筋のあき

丸鋼で径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上

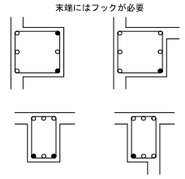
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



(6) 鉄筋のフック　(a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

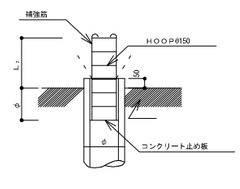
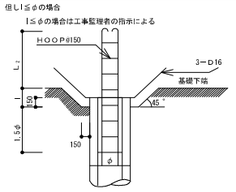
a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
e. 単筋梁の下端筋
f. その他、、本記筋標準に記載する箇所

図の ● 印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



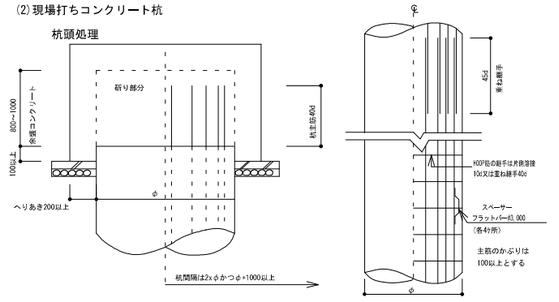
3．杭　(地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。)

(1) ＰＣ杭、又はＰＨＣ杭の全てに補強を行う

所定の位置に止まった場合			所定より低く止まった場合		
					
杭径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6－D13	8－D13	10－D13	8－D16	10－D16
HOOP	D10@150				

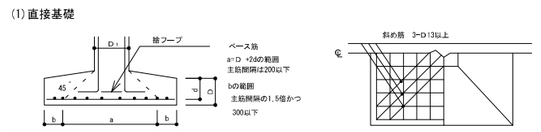
(2) 現場打ちコンクリート杭

杭頭処理

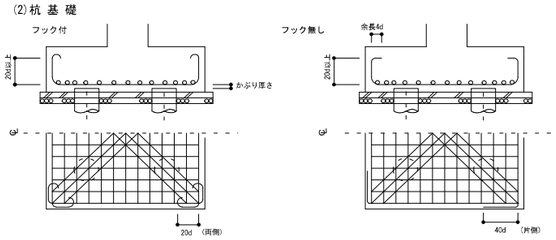


4．基　礎

(1) 直接基礎

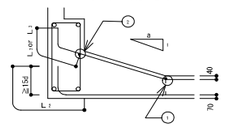


(2) 杭 基 礎



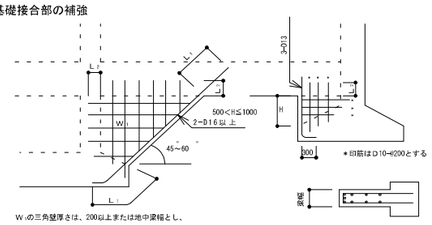
(3) べた基礎

ハンチを付けた場合(a ≧ 3)



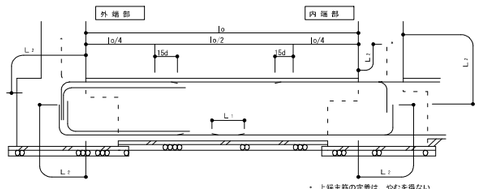
1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋戻し土のある場合は40を70とする

(4) 基礎接合部の補強



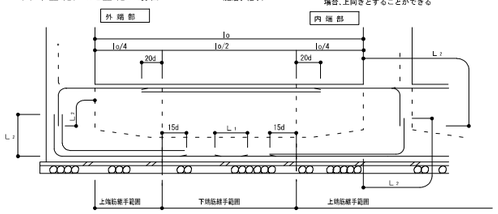
5．地中梁

(1) 独立基礎、杭基礎の場合　(定着、継手)



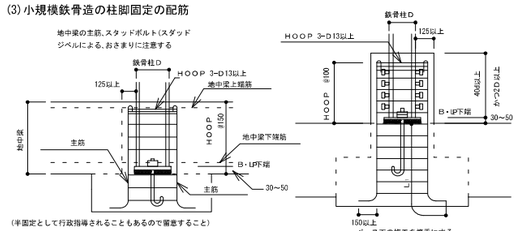
・上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる

(2) 布基礎、べた基礎の場合　(定着、継手)



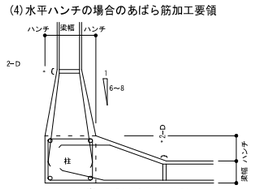
(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

地中梁の主筋、スタッドボルト(スダッドジベルによる、おさまりに注意する



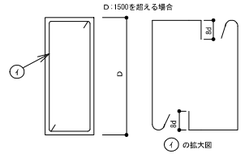
(半固定として行政指導されることもあるので留意すること)

(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領



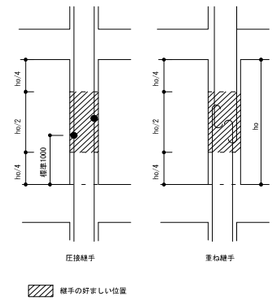
・一般のあばら筋と同様のものを2本束ねる

(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領図

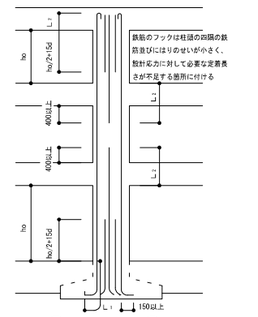


6．柱

(1) 柱主筋の継手

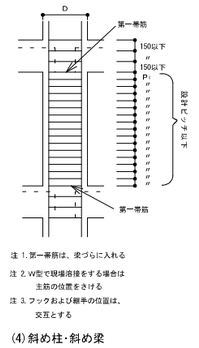


(2) 柱主筋の定着



鉄筋のフックは柱頭の四隅の鉄筋並びにはりのせいが小さく、設計応力に対して必要な定着長さが不足する箇所に付ける

(3) 帯　筋


D
第一帯筋
150以下
150以下
Pi
Pi
Pi

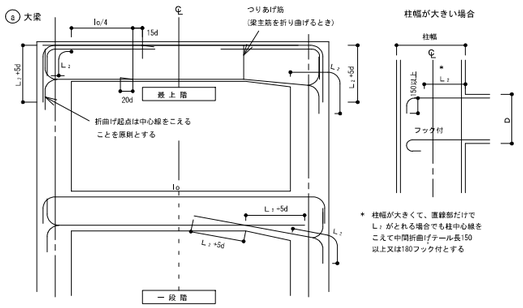
鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋
標準図(1)の2-(3)による。

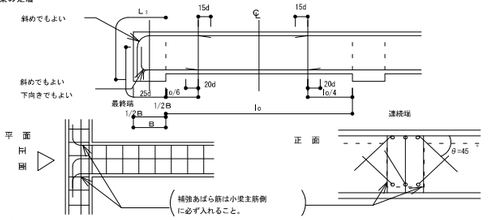
7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

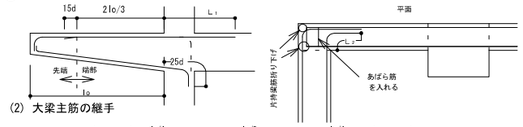
ⓐ 大梁



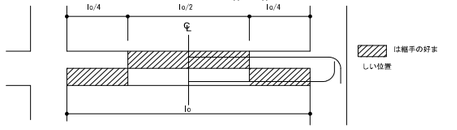
ⓑ 小梁の定着



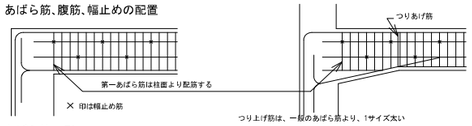
ⓒ 片持梁の定着



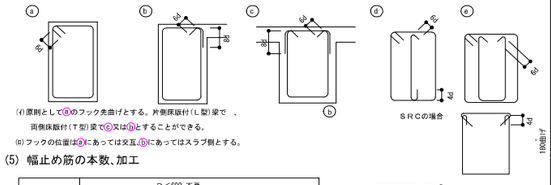
(2) 大梁主筋の継手



(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



(4) あばら筋の型

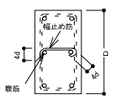


(イ)原則としてⓐのフック先曲げとする。片側床版付(L型)梁で、両側床版付(T型)梁でⓒ又はⓓとすることができる。

(ロ)フックの位置はⓐにあっては交互、ⓑにあってはスラブ側とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

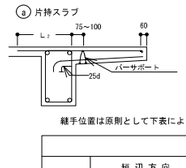
	D＜600 不要	
腹筋	600≦D＜900	2—D10(9φ) 1段
	600≦D＜1200	4—D10(9φ) 2段
	1200≦D	D10(9φ)@300以内
幅止め筋	D10(9φ)@1000以内で適り付ける	



8. 床 板

(1) 定着および継手

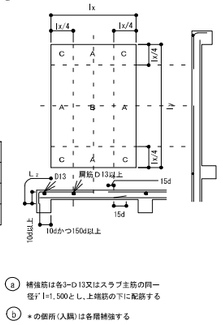
ⓐ 片持スラブ



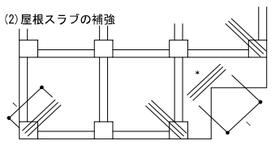
継手位置は原則として下表による。

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A C

ⓑ 一般床スラブ



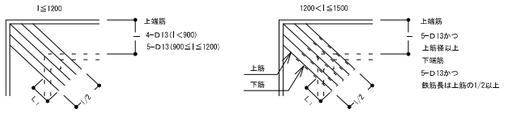
(2) 屋根スラブの補強



ⓐ 補強筋は各3-D13又はスラブ主筋の同一径で l=1,500とし、上端筋の下に配筋する

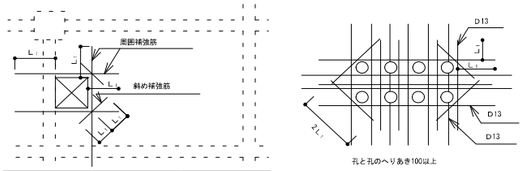
ⓑ ＊の箇所(入隅)は各階補強する

(3) 片持ちスラブ出隅部補強



(4) 床板開口部の補強

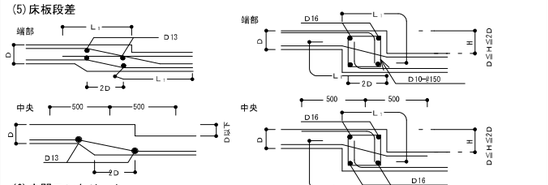
(開口の径500程度の場合)



床板厚さ D	周 囲	斜 め
D≦150	各2-D13	各1-D13
150＜D≦200	各2-D13	各2-D13
200＜D≦300	各2-D19	各2-D16

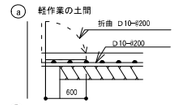
注)設備の小開口が連続してあく場合は梁、柵、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

(5) 床板段差

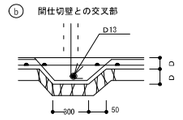


(6) 土間コンクリート

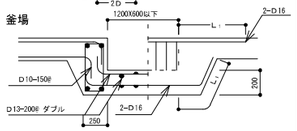
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 開仕切壁との交叉部



(7) 釜場



(8) 打継ぎ補強 (ダメ穴打継面について)

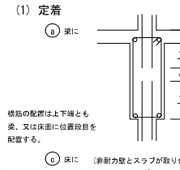
●設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L1以上

●無筋部分D10-@200 長さ800以上

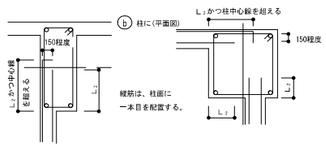
9. 壁

(1) 定着

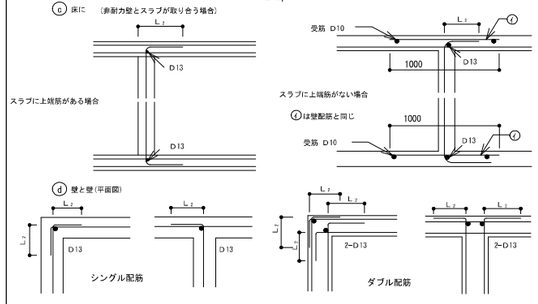
ⓐ 梁に



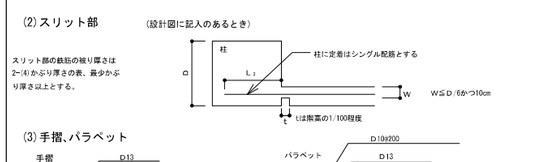
ⓑ 柱に(平面図)



ⓒ 床に (非耐力壁とスラブが取り合う場合)



ⓓ 壁と壁(平面図)

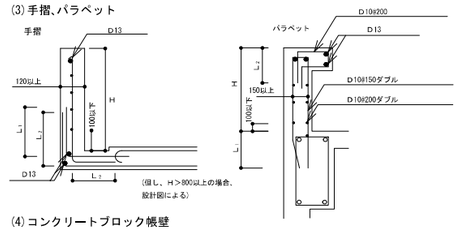


(2) スリット部

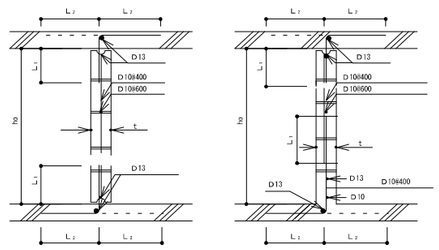
(設計図に記入のあるとき)

スリット部の鉄筋の被り厚さは2-(4)かぶり厚さの表、最少かぶり厚さ以上とする。

(3) 手摺、パラペット



(4) コンクリートブロック帳壁



注)ho≦25tかつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に、又は柱がある場合は除く

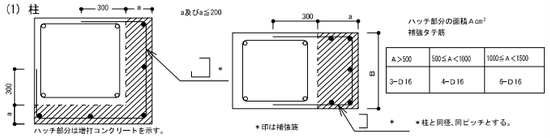
注)hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦H≦400

注)縦手部は必ずモルタルをてん充すること

10. 柱、梁増打コンクリート補強

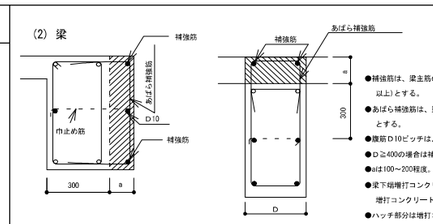
(増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと)

(1) 柱



ハッチ部分の面積 A cm² 補強タテ筋			
A≦500	500≦A＜1000	1000≦A＜1500	
3-D16	4-D16	6-D16	

(2) 梁



●補強筋は、梁主筋の1段落し径(D16以上)とする。

●あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。

●腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。

●D≧400の場合は補強筋を3本とする。

●aは100～200程度。

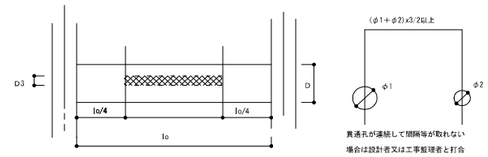
●梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。

●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部(スパンl/10以内かつ2D以内)は避ける

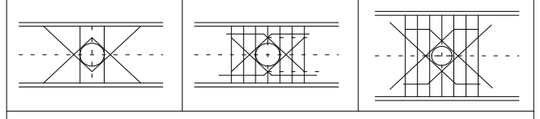


貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

(2) 鉄筋標準配筋

但し φ≦D/3とする

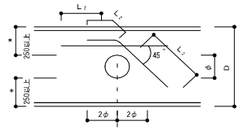
80≦φ≦100	100＜φ≦150	150＜φ≦250
折筋 2-(2-D13)	折筋 2-(2-D13)	折筋 4-(2-D13)
縦筋 ST 2-D13-100@	縦筋 ST 2-D13-100@	縦筋 ST 2-D13-100@
	横筋 2-(2-D13)	横筋 2-(2-D13)
		上下 縦筋 ST 2-D13



φ＜250

孔補強の有効範囲と定着長さのとり方

＊部分について計算で確認された場合は右記の位置、寸法によらなくて良い。



●梁幅が400を超える場合は補強筋でD13はD16又は、2—D13は3—D13と、各々読みかける

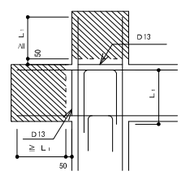
(3) 既製品

(使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

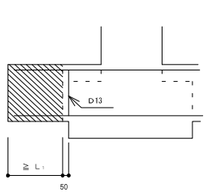
□ リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型

(将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する)

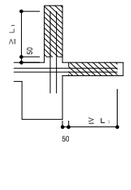
(1) 柱、梁



(2) 地中梁



(3) 床版、壁



工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)
縮尺	NON
図面番号	S—005
DATE	. .

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二
1級建築士 第235863号 山崎 高夫
1級建築士 第163891号 関田 政道

鉄 骨 構 造 標 準 図 (1)

1．一般事項

(1) 材 料 及 び 検 査

(a) 構造設計仕様による

(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする

(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

(2) 工 作 一 般

(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る

(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による

(c) 高張力鋼の歪矯正は、冷間矯正とする

(3) 高 力 ボ ル ト 接 合

(a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

(4) 溶 接 接 合

(a) 溶接技能者

溶接技能者は施工する溶接に適応するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

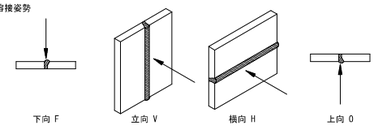
(b) 溶接機器

（イ） 交流アーク溶接機 300A～500A
（ロ） アークエアーガウジング機（直流）
（ハ） サブマージアーク溶接機一式
（ニ） 炭酸ガスアーク半自動溶接機
（ホ） 溶接電流を測定する電流計
（ヘ） 溶接棒乾燥器

(c) 溶接方法

アーク手溶接 (MC)
ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接 (NGC)
アークエアーガウジング (AAG)

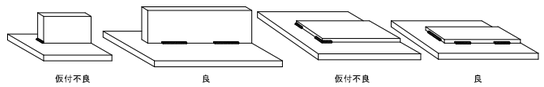
(d) 溶接姿勢



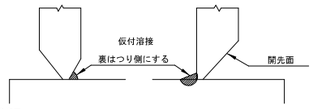
(e) 仮付溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

（イ） 仮付位置

仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



（ロ） 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(f) 溶接施工

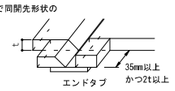
（イ） エンドタブ

1) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける

2) エンドタブの材質は、母材と同質とする

3) エンドタブの長さは、MC:35mm以上
NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする

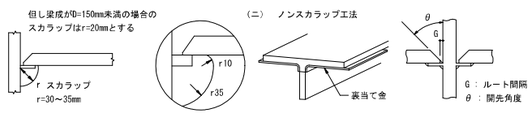
4) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る



（ロ） 裏あて金

材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする

（ハ） スカラップ 半径は30～35mmと、10mmのダブルアールとする



（ホ） 裏はつり

規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける

（ヘ） 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいたためない様に、養生を行なう

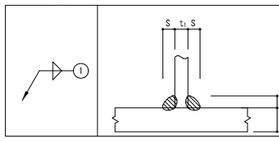
(5) 塗 装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2．溶接規準図

(注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位mm)

(1) 隔 肉 溶 接

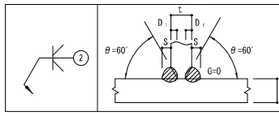


t≦16mm

t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

・但し片面溶接の場合はS=tとする
・t1は1、t2の小なる方とする
余盛は（1+0.1S）mm以下とする
・軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部 分 溶 け 込 み 溶 接 （使用箇所に注意）

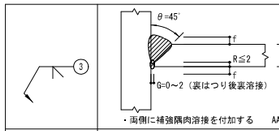


R≦2　t/4≦S≦10mm　t≦t1

t	t>16mm
溶接姿勢	F.V

・両側に補強隔肉溶接を付加する

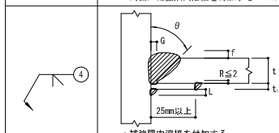
(3) 完 全 溶 込 み 溶 接 （平継手 T形継手）



f=t/4

t	6<t<19mm
溶接姿勢	F.V

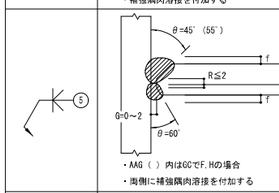
・両側に補強隔肉溶接を付加する　AAG



f=t/4

	MC	NGC			GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t<16	35°	9	9	8	45°	6	9	8
16≦t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

・補強隔肉溶接を付加する

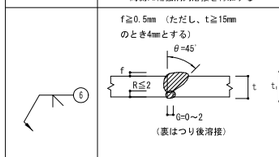


T形突合せ継手余盛　f=t/4

のど厚tmm	余盛の高さmm
t≦4	1
4<t≦12	2
12<t≦19	3
t>19	4

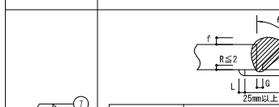
t	t≧19mm
溶接姿勢	F.V

・AAG（ ）内はGCでF.Hの場合
・両側に補強隔肉溶接を付加する



t	6<t<19mm
溶接姿勢	F.V

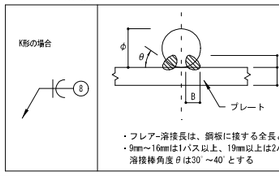
・両側に補強隔肉溶接を付加する



f=t/4

	MC	NGC			GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6<t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	8	45°	6	9	5
t>19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

(4) フ レ ア ー 溶 接

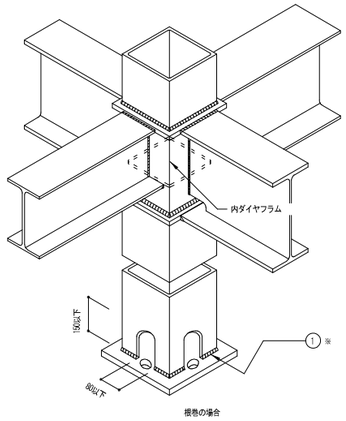


寸法 (mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

・フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする
・9mm～16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする
溶接棒角度θは30°～40°とする

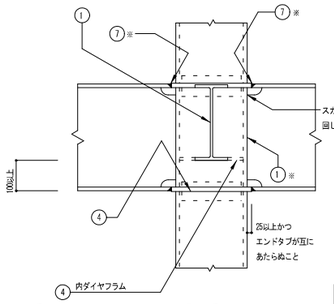
※溶接記号番号を○中に記入する

⊖ BOX型 （通しダイヤフラムの場合）

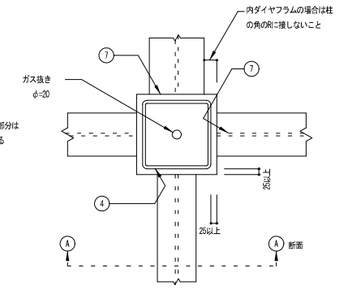


横取の場合

A-A断面図



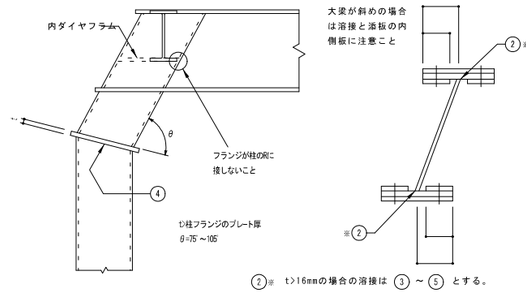
平面詳細



（柱材料：BCR295,BCP325を使用する場合）
ダイヤフラムは、SN490B・C ,SM490同等以上の鋼材を使用する事。
ダイヤフラム厚は、接合する柱、梁の最大厚の1サイズアップとする事。

①※ t>16mmの場合の溶接は ③～⑤ とする。

⊖ 柱が途中で折れる場合及梁成が異なる場合

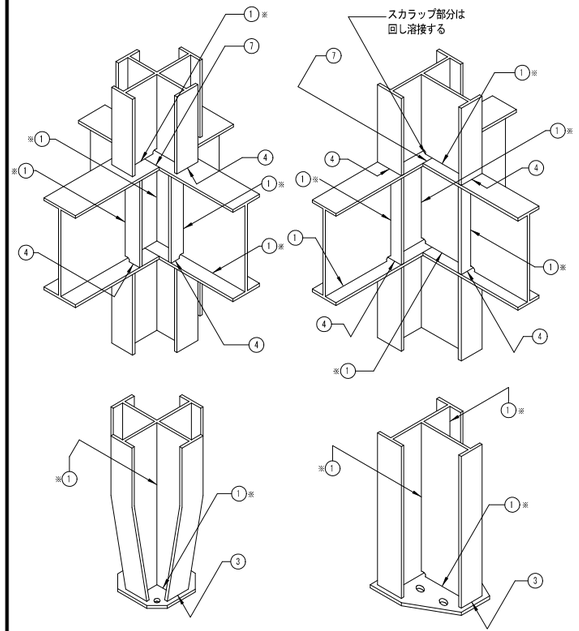


⑦※ t>16mmの場合の溶接は ③～⑤ とする。

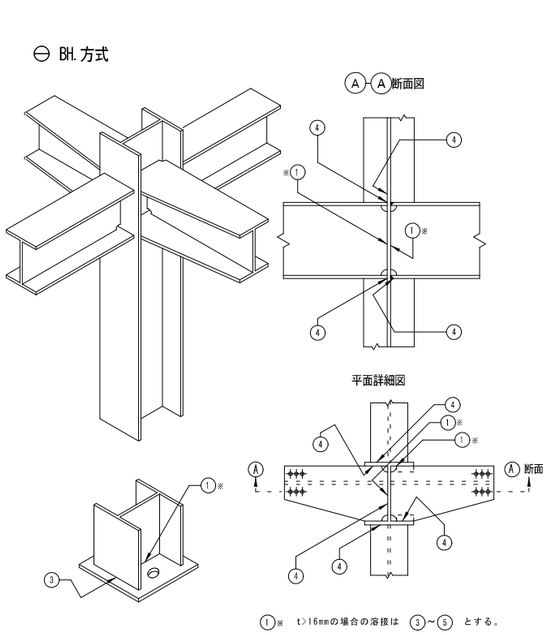
⊖ 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス温度差 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211,3212,3214	40以下	350以下
	YGW-11,15		
	YGW-18,19		
	YGA-50M,50P		
490N級鋼	JIS Z 3212,3214	40以下	350以下
	YGW-11,15	30以下	250以下
	YGW-18,19	40以下	350以下
	YGA-50M,50P		

⊖ 中 、 ㅍ 、 ㅏ 型



⊖ BH.方式



①※ t>16mmの場合の溶接は ③～⑤ とする。

工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	鉄骨構造標準図（1）
縮尺	NON
図面番号	S－006
DATE	. .

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二
1級建築士 第163891号
構造設計1級建築士 第 1981号 関田 政道

鉄 骨 構 造 標 準 図 (2)

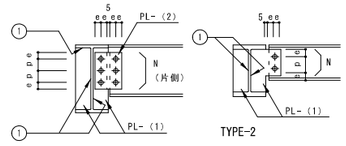
3．継手規準図、その他

(1) ボルトピッチ (P) 、 ボルト穴径、最少縁端距離 (mm)

呼び	ボルト穴径	最少縁端距離 (e) (1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	ピッチ (P) 最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	32	45	60	70

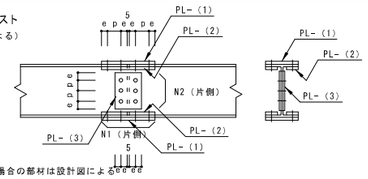
〔注〕 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

(2) ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
		H-150×75×5×7	PL-6		2-M16
		H-200×100×5.5×8	PL-6		2-M16
		H-248×124×5×8	PL-6		2-M16
		H-250×125×6×9	PL-6		2-M16
		H-296×149×5.5×8	PL-9		3-M20
		H-300×150×6.5×9	PL-9		3-M20
		H-346×174×6×9	PL-9		3-M20
		H-350×175×7×11	PL-9		3-M20
		H-396×199×7×11	PL-9		4-M20
		H-400×200×8×13	PL-9		4-M20

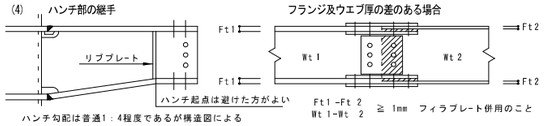
(3) 梁剛接合継手リスト
(SCSS-H97による)



注）端部をBHとする場合の部材は設計図による

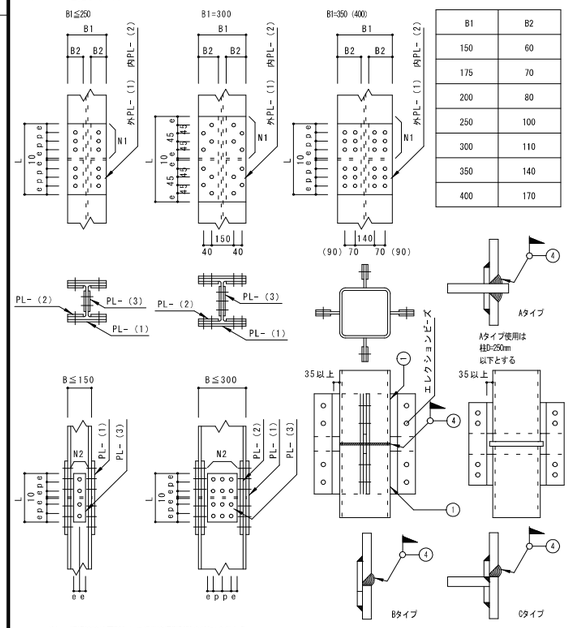
符号	部材	フランジ P-(1)	P-(2)	N1-径	ウエブ P-(3)	N2-径
	H-250×125×6×9	PL-12		6-M16	PL-6	4-M16
	H-296×149×5.5×8					
	H-300×150×6.5×9	PL-9	PL-9	4-M20	PL-6	2-M20
	H-346×174×6×9					
	H-350×175×7×11	PL-9	PL-9	4-M20	PL-6	3-M20
	H-396×199×7×11					
	H-400×200×8×13	PL-9	PL-9	6-M20	PL-9	4-M20
	H-446×199×8×12					
	H-450×200×9×14	PL-12	PL-12	6-M20	PL-9	5-M20
	H-496×199×9×14					
	H-500×200×10×16	PL-12	PL-12	6-M20	PL-9	5-M20
	H-600×200×11×17	PL-12	PL-12	6-M20	PL-9	8-M20

(4) ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通1：4程度であるが構造図による

(5) 柱継手リスト (SCSS-H97による)



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

注） 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%を行なう

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウエブ PL-(3)	N2-径

(6) 鉄筋ブレース （JIS規格品とする…JISA5540…1982/5541・5542 …1993）

(a) 羽子板ボルト

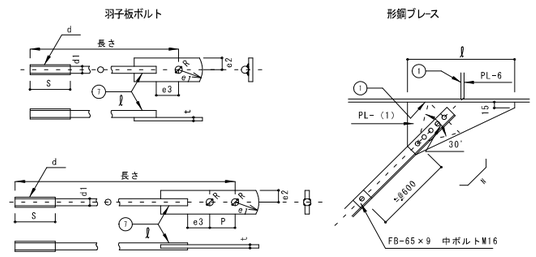
ねじの呼び (d)			M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径d_1	最大		10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最小		10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差 +0 −1.5mm		R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき（最小）		(2) e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき（最小）	(1) e2	22	28	28	34	34	38	38
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき（最小）	(1) e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付けボルト穴心のあき（最小）		e3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ（最小）		l	40	50	55	60	75	85	85
② 取付ボルト	種類		JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中 8g 10.9						
	ねじの呼び		M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数		1	1	1	1	1	1	2

注 (1) e1、e2が確保されていれば形状は自由でよい
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（摩擦）接合とする
(3) 取付ボルトの種類は ＪＩＳＢ１１８６ 2種高力ボルト(F10T)

(b) 形鋼ブレース

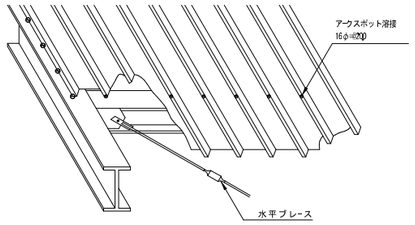
符号	部材	PL-(1)	N-径	ℓ

羽子板ボルト　　形鋼ブレース

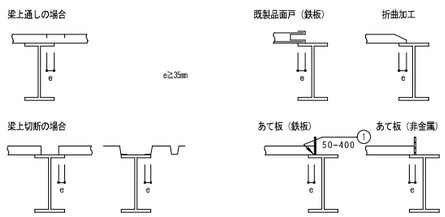


(7) デッキプレート （床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照）

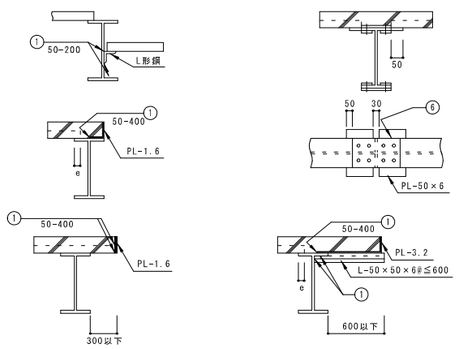
梁との溶接およびコネクター



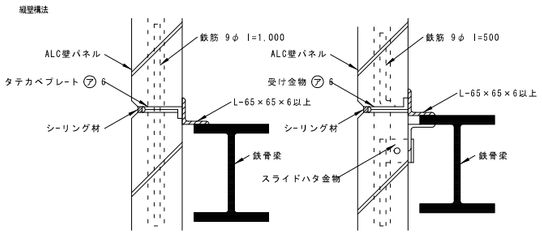
受梁へのかかり寸法および端部処理

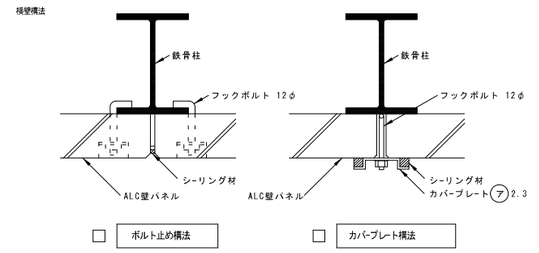


スラブ端部の補足材　　補足受材



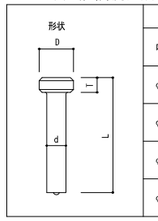
(8) ALC板取付要領





(9) 頭付きスタッド (JIS 1198)

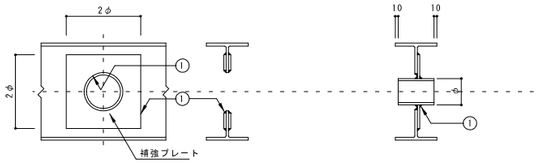
スタッド材の標準形状・寸法

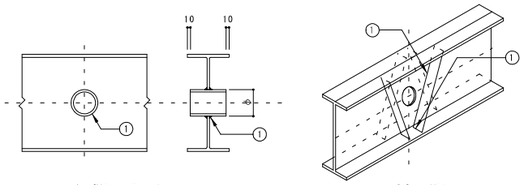


スタッド材 呼び名	軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	溶接後の長さ L mm
φ13mm	13.0 12.7	22.0 25.4	10.0 7.9	50, 80, 100, 130
φ16mm	16.0 15.8	29.0 31.7	10.0 7.9	80, 100, 130
φ19mm	19.0 19.0	32.0 31.7	10.0 9.5	80, 100, 130, 150
φ22mm	22.0 22.2	35.0 34.9	10.0 9.5	100, 130, 150

(10) 梁貫通補強

・計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくて良い。
・梁端部（スパンの ℓ／10以内かつ2D以内）は避ける
・φ≦0.4D





(11) その他

工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	鉄骨構造標準図（２）
縮尺	NON
図面番号	Ｓ－007
DATE	. .

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
１級建築士 第293052号 渡利 真二
１級建築士 第163891号
構造設計１級建築士 第 1981号 関田 政道

木　造　軸　組　接　合　部　標　準　図（１）

１．一般事項

（１）適用範囲
※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。
木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。

（２）設計図書
設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。

（３）準拠する図書
設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（ ※全て最新版による。）

「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）
「公共建築木造工事標準仕様書」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造計画・設計基準」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」（日本住宅・木材技術センター）
「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」

上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。

（４）設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は下記による。
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）
2. 設計図
3. 特記仕様書
4. 本標準図

（５）疑義
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

（６）製作要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。

（７）施工図及びプレカット図の提出
工事に先立ち各種の施工図を作成し監督職員の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

（８）製作工場の選定、承諾
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監督職員の承諾を受ける

（９）各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

(10) 接合工法
本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。

・継手仕口による在来工法
・梁受け金物、及びホゾパイプ等による金物工法

なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。
また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。
本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監督職員の承諾を得ること。

(11) 加工部材に関する留意事項
本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。

・梁:部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と同寸～450mm、及び材長６ｍ以下
・柱:90角～150角の正方形断面、長さ6m以下

これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。

２．材料

（１）木材及び木質材料
主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。

（２）接合具
a)くぎ
主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。

b)木質構造用ビス
主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靭性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。
使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。

c)ボルト・ナット・座金

1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。
- ボルトはJIS B 1051，ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼
- 公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット
  【 Ｚマーク表示金物 】
  【 Ｄマーク表示金物 】
  【 Ｓマーク表示金物 】
- 上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット

2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分には M12以上を用いる。
3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。

※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。

d)ドリフトピン・ラグスクリュー
主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靭性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。

e)木栓・木ダボ
主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。
樹種・径等については、特記仕様書で指定する。
節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。

（３）接合金物
a)規格金物
構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。
- JIS A 5531：木構造用金物
- 公益財団法人日本住宅･木材技術センターによる規格に準じた金物：
  Ｚマーク表示金物 、又は Ｃマーク表示金物
- 同等認定金物：Ｄマーク表示金物
- 性能認定金物：Ｓマーク表示金物

上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。
使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。

b)製作金物
製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、
特記仕様書及び設計図による。

（４）接着剤
原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。
建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。

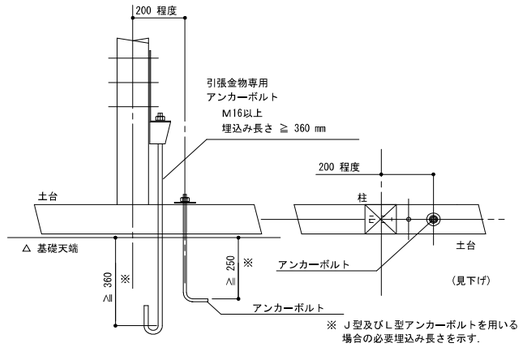
（５）防腐防蟻処理及び耐候処理
防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。
土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。
適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。

３．アンカーボルト

※共通事項
・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。

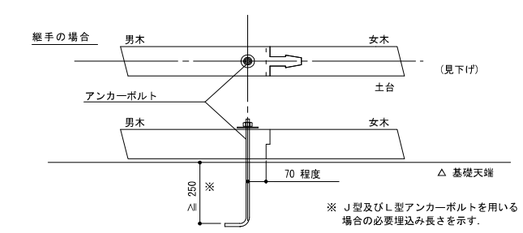
（１）土台固定用アンカーボルト
a)．アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。

-1．耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部；
耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置（柱芯より200mm内外）とする。

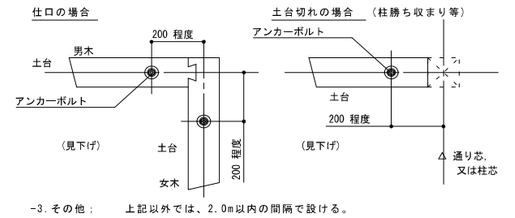


※ Ｊ型及びＬ型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す.

-2．土台切れの端部及び、土台の継手仕口；
土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。
当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。



※ Ｊ型及びＬ型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す.



-3．その他； 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。

（２）引張金物専用アンカーボルト

a)．引張金物専用アンカーボルトの径
引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。

b)．引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ
引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、
Ｊ型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他の
アンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満た埋込み長さとする。

４．接合一般

（１）釘接合
・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
・面材表面に対し、釘頭がめり込んではならない。
・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。
・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。

（２）木質構造用ビス接合
・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。：
比重が 0.5 以上の樹種・・・・呼び径の 60～75 %
上記以外の樹種 ・・・・・・呼び径の 40～70 %
※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの２／３程度とする。

（３）ボルト接合
・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。
・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから２山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。
・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。

（４）ラグスクリュー接合
・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。
・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。：
比重が 0.5 以上の樹種・・・・呼び径の 60～75 %
上記以外の樹種 ・・・・・・・呼び径の 40～70 %
※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。
・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。
・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。
・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。

・呼び径 M12以下 ：＋1.0mm
・呼び径 M16以上 ：＋1.5mm

（５）ドリフトピン接合
・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
・ドリフトピンは、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、孔に対しテーパーのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。

（６）木栓接合
・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
・木栓は、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないよう注意し、無理な打撃を加えてはならない。
・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。

（７）グルードインロッド接合
・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。
・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やＬＶＬ等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はＫＤ材とする。
・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。

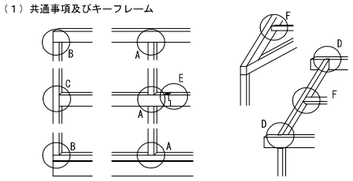
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	木造軸組接合部標準図（１）
縮　尺	NON
図面番号	Ｓ－008
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第235863号
構造設計１級建築士　第　1977号　山崎　高夫

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図（２）

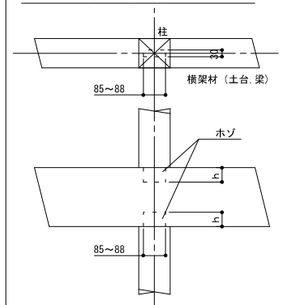
５．軸組標準接合部

（１）共通事項及びキーフレーム

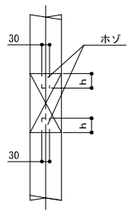


（２）標準的な継手仕口 (mm)

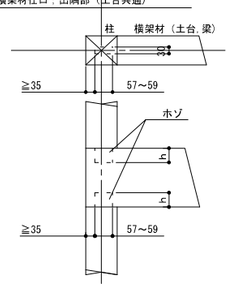
A 柱-横架材仕口：一般部（土台共通）



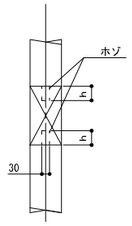
h ：ホゾ長さ □ 短ホゾ 45～60 mm
□ 長ホゾ 90 mm
□ 上記以外（ ） mm



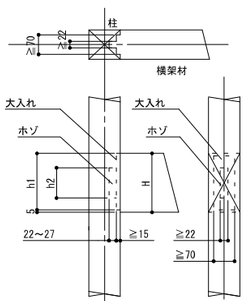
B 柱-横架材仕口：出隅部（土台共通）



h ：ホゾ長さ □ 短ホゾ 45～60 mm
□ 長ホゾ 90 mm
□ 上記以外（ ） mm



C 通柱―横架材仕口：胴差し

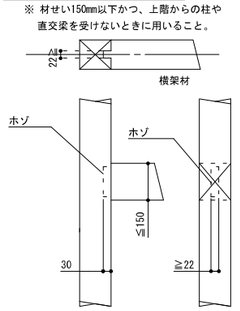


h1 ＝ H-5 mm 程度

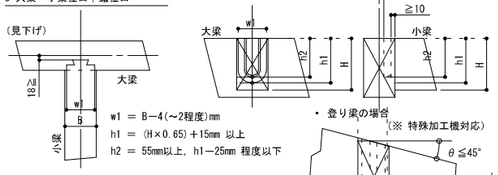
※ 胴差しで通し柱に取り付く方向は、２方向までとする。

C 通柱―横架材仕口：桁差し

※ 材せい150mm以下かつ、上階からの柱や直交梁を受けないときに用いること。

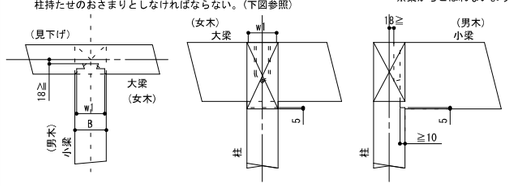


D 大梁―小梁仕口：蟻仕口



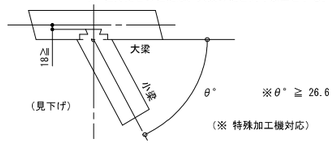
※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

※ 小梁せいが大梁せいより大きい場合：
小梁せいが大梁せいより大きい場合には、
柱持たせのおさまりとしなければならない。(下図参照)



※ 柱持たせの柱幅は、大梁の幅と同寸以上とする。

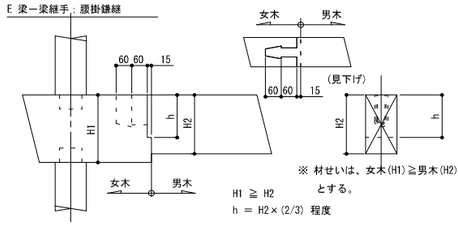
※ 斜め蟻の場合：



※θ° ≧ 26.6

(※ 特殊加工機対応)

E 梁―梁継手：腰掛鎌継

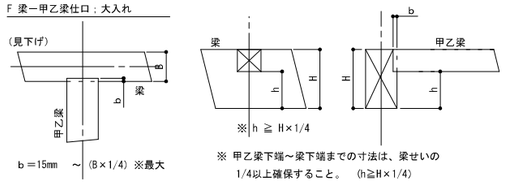


※ 材せいは、女木(H1)≧男木(H2)とする。

H1 ≧ H2

h ＝ H2×(2/3) 程度

F 梁―甲乙梁仕口：大入れ



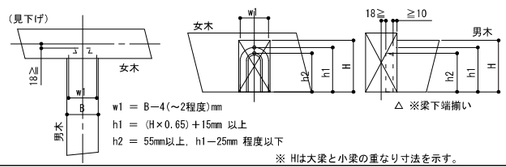
b＝15mm ～(B×1/4) ※最大

※h ≧ H×1/4

※ 甲乙梁下端～梁下端までの寸法は、梁せいの1/4以上確保すること。 (h≧H×1/4)

G 梁―梁仕口：逆蟻仕口

※ バルコニ等の先端に架ける梁に用いる。

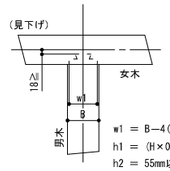


w1 ＝ B―4(～2程度)mm
h1 ＝ (H×0.65)＋15mm 以上
h2 ＝ 55mm以上，h1―25mm 程度以下

△ ※梁下端揃い

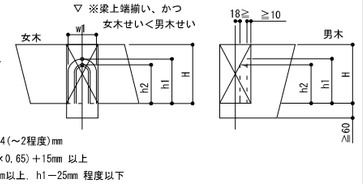
※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

H 梁―梁仕口：茶臼仕口



※ バルコニ等の先端に架ける梁に用いる。

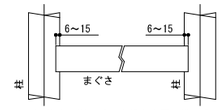
▽ ※梁上端揃い、かつ女木せいく男木せい



w1 ＝ B―4(～2程度)mm
h1 ＝ (H×0.65)＋15mm 以上
h2 ＝ 55mm以上，h1―25mm 程度以下

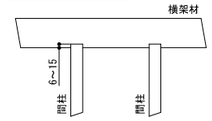
※ Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。

I その他：まぐさ欠き



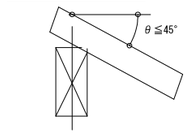
※ 筋交い耐力壁の中桟も上図に準じる。

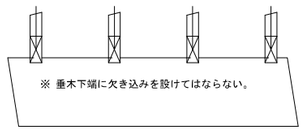
J その他：間柱欠き



※ 開口上部の横架材の開柱欠きは、0～6mm 以下とする。

K その他：垂木欠き



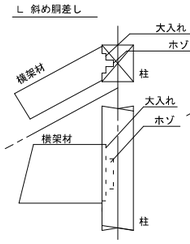


※ 垂木下端に欠き込みを設けてはならない。

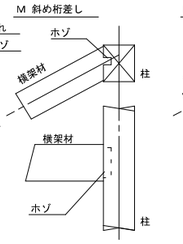
（３）特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一例を、本節に示す。
特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。
特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

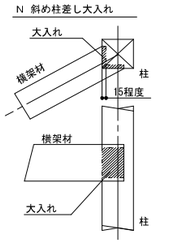
L 斜め胴差し



M 斜め桁差し

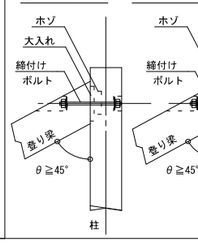


N 斜め柱差し大入れ

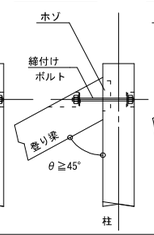


※ L,Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で用い、柱断面を調整して使用すること。
※ L,Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を横使いとする。
使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

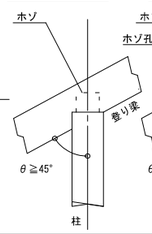
O 登り胴差し



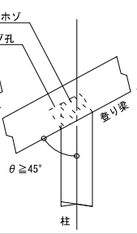
P 登り桁差し



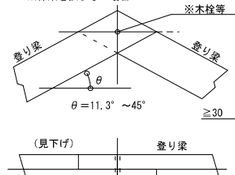
Q 登り斜めホゾ



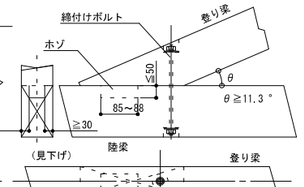
R 登り座付きホゾ



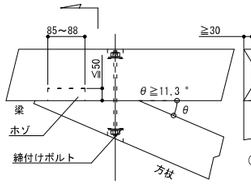
S 登り梁合掌部



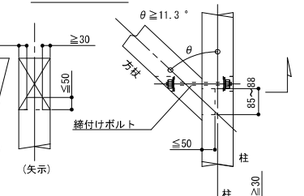
T 登り梁合掌尻



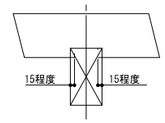
U 方杖―梁仕口



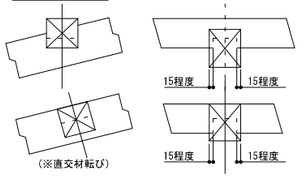
V 方杖―柱仕口



W 渡り顎

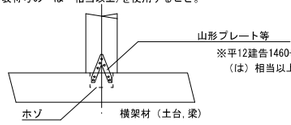


X 登り梁渡り顎



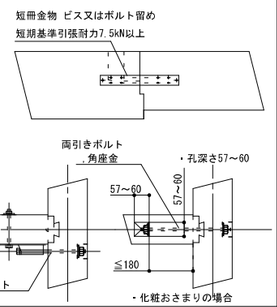
（４）継手・仕口の補強金物

- 耐力壁枠柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
- 上記以外の柱脚接合部には、5.1KN以上の引張耐力を保有する接合金物（平12建告1460号表３に対応する表符号の”は”相当以上）を使用すること。



（梁-梁 接合部）

- **水平構面の外周部横架材接合部においては、床水平構面による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。**
- **上記以外の接合部には、7.5KN以上の引張耐力を保有する接合金物を使用すること。（右図参照）**



（小梁端部接合部）

- 小梁端部接合においては、地震力によって外れ落ちることのないよう、最低3.0kN以上の引張耐力を保有する接合金物で緊結すること。

工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	木造軸組接合部標準図（２）
縮 尺	NON
図面番号	S－009
DATE	. .

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
１級建築士 第293052号 渡利 真二
１級建築士 第235863号
構造設計１級建築士 第 1977号 山崎 高夫

木　造　軸　組　接　合　部　標　準　図（３）

６．面材耐力壁

（注）（単位）mm

6.1 共通事項

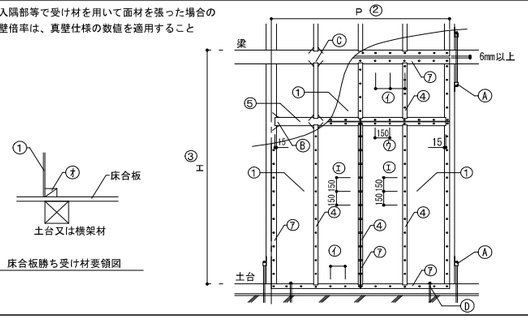
各部仕口形状は、（３）高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図（２）５.軸組標準接合部に準ずる。
面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、面材厚の10%未満かつ1mmを限度とする。左記を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。
耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐久力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。
柱の有効細長比（断面の最小二次率半径に対する座屈長さの比）は、150以下とすること。

6.2 面材耐力壁の仕様

（１）昭56建告1100号に準じた耐力壁　　面材種類：構造用パーティクルボード、構造用MDF、構造用合板、構造用パネル（OSB）

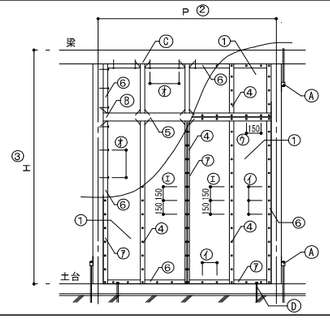
ａ.面材張り大壁仕様耐力壁

※ 入隅部等で受け材を用いて面材を張った場合の壁倍率は、真壁仕様の数値を適用すること



床合板勝ち受け材要領図

ｂ.受け材付き真壁仕様耐力壁



ａ-1. 高倍率仕様大壁耐力壁　　壁倍率：4.3または3.7

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm	・・・4.3 倍
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・・・3.7 倍
② 柱間隔	600mm≦P≦2000mm	
③ 高さ	H≦6000mm、　かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下	
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下	
⑤ 中桟	幅90mm以上	
2)各部仕口形状及び性能		
Ⓐ 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する	
Ⓑ 中桟端部	まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち	
Ⓒ 間柱端部	間柱欠きに6～15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち	
Ⓓ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200mm内外）に１本ずつ設ける	
3)面材の釘打ち方法	※ 構造用合板には、ＣＮ釘を用いること.	
㋐ 面材の釘打ち	面材の４周を釘打ちする. 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする.	
	柱及びはりに対するかかり寸法	22.5mm以上
	面材に対するへり空き	10mm以上
	柱はりのへり空き	12.5mm以上
㋑ 横架材・柱	構造用合板：CN50@75mm以下、　左記以外の面材：N50@75mm以下	
㋒ 中桟	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下	
㋓ 間柱	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下	
㋔ 受け材 ※ 床合板勝ち仕様の場合	受け材	45×60以上
	受け材と柱梁	釘N90@120mm以下　（両面張りの場合は、@60mm以下） ※ 枠材用ホールダウン金物は,45mm用を用いること(30mm用は不可)

ａ-2. 標準仕様大壁耐力壁　　壁倍率：2.5

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm	・・・2.5 倍
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・・・2.5 倍
②③④⑤	ａ-1.（高倍率仕様）に同じ	
2)各部仕口形状及び性能		
ⒶⒷⒸⒹ	ａ-1.（高倍率仕様）に同じ	
3)面材の釘打ち方法		
㋐ 面材の釘打ち	ａ-1.（高倍率仕様）に同じ	
㋑ 横架材・柱	N50@150mm以下	
㋒ 中桟	N50@150mm以下	
㋓ 間柱	N50@150mm以下	
㋔ 受け材 ※ 床合板勝ち仕様の場合	受け材	45×60以上
	受け材と柱梁	釘N90@200mm以下　（両面張りの場合は、@100mm以下）

ｂ-1. 高倍率仕様真壁耐力壁　　壁倍率：4.0または3.3

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm		・・・4.0 倍
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上		・・・3.3 倍
② 柱間隔	600mm≦P≦2000mm		
③ 高さ	H≦6000mm、　かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下		
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下		
⑤ 中桟	幅90mm以上	⑥ 受け材	幅45mm以上
2)各部仕口形状及び性能			
Ⓐ 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する		
Ⓑ 中桟端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち		
Ⓒ 間柱端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち		
Ⓓ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200mm内外）に１本ずつ設ける		
3)面材の釘打ち方法	※ 構造用合板には、ＣＮ釘を用いること.		
㋐ 面材の釘打ち	面材の４周を釘打ちする. 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする.		
	受け材に対するかかり寸法	22.5mm以上	
	面板に対するへり空き	10mm以上	
	受け材のへり空き	12.5mm以上	
㋑ 外周受材	構造用合板：CN50@75mm以下、　左記以外の面材：N50@75mm以下		
㋒ 中桟	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下		
㋓ 間柱	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下		
㋔受け材	受け材	45×60以上	
	受け材と柱梁	構造用パーティクルボード、構造用MDF：釘N90@120mm以下（両面張りの場合は、@60mm以下）	
		構造用合板、構造用パネル：釘N90@200mm以下（両面張りの場合は、@100mm以下）	
※ 床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はａ-1.に準ずる ※ 枠材用ホールダウン金物は,45mm用を用いること(30mm用は不可)			

ｂ-2. 標準仕様真壁耐力壁　　壁倍率：2.5

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm	・・・2.5 倍
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・・・2.5 倍
②③④⑤⑥	ｂ-1.（高倍率仕様）に同じ	
2)各部仕口形状及び性能		
ⒶⒷⒸⒹ	ｂ-1.（高倍率仕様）に同じ	
3)面材の釘打ち方法		
㋐ 面材の釘打ち	ｂ-1.（高倍率仕様）に同じ	
㋑ 外周受材	N50@150mm以下	
㋒ 中桟	N50@150mm以下	
㋓ 間柱	N50@150mm以下	
㋔ 受け材	受け材	45×60以上
	受け材と柱梁	釘N90@300mm以下　（両面張りの場合は、@120mm以下）
※床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はａ-2.に準ずる		

（２）高耐力仕様構造用合板張り耐力壁（JIS A 3301標準仕様）：　短期許容せん断耐力◿Qa＝29.6kN/m

本耐力壁を採用する場合は、設計図書に試験成績書を添付すること。

ａ.条件及び仕様

1)各部材料

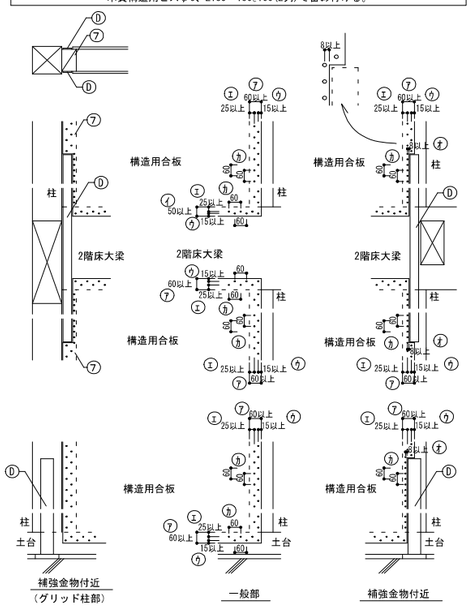
①	面材：構造用合板　t=12mm　両面張り
②	間隔：900mm≦P≦1000mm
③	高さ：1800mm≦H≦3650mm
④	高耐力壁を用いる場合のグリッド柱：150mm×150mm以上 （グリッド柱：Ｘ方向とＹ方向の主要鉛直構面の交点の柱）
⑤	高耐力壁の端部および合板継ぎ目部の柱：120mm×120mm以上
⑥	構造用合板継ぎ目部横つなぎ材：120mm×120mm以上
⑦	グリッド柱に取付く受け材：75mm×120mm以上
Ⓑ	間柱：見付け45mm以上、見込み120mm以上、間隔Ｐ/3以下
⑨	小屋柱：120mm×120mm以上

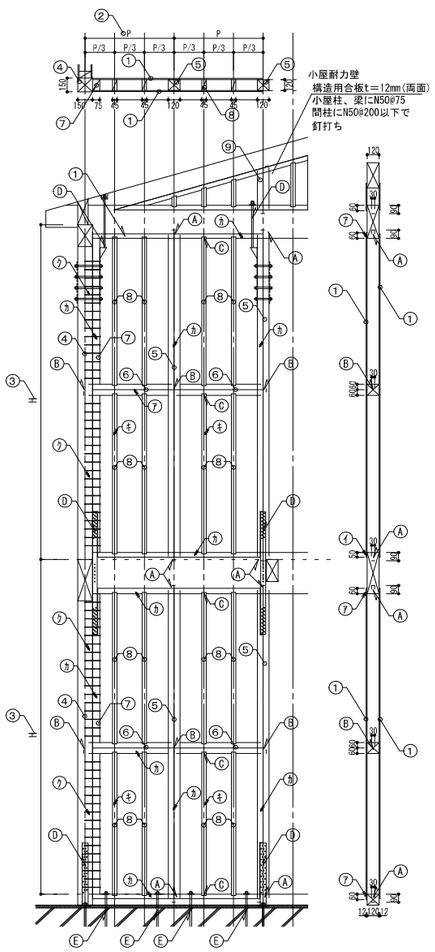
2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	柱頭柱脚ホゾ:厚さ30mm×深さ90mm以上
Ⓑ	中桟端部ホゾ： 片側から柱に取り付く場合：厚さ30mm×深さ90mmホゾ差し 両側から柱に取り付く場合：厚さ30mm×深さ60mmホゾ差し
Ⓒ	間柱両端:横架材への溝加工及び15mm程度大入れ
Ⓓ	各階の柱頭柱脚部: 水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
Ⓔ	耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M16アンカーボルト耐力壁１P当り２本設ける

3)各部への釘打及びビス止め

	構造用合板はたて張り、４周を釘打ちする
⑦	㋑を除き、柱及びはりに対するかかり寸法:60mm以上
㋑	2階耐力壁合板を２階床大梁へ留め付ける場合かかり代:50mm以上
㋒	㋓を除き、合板に対するへり空き:15mm以上
㋓	柱はりのへり空き:25mm以上
㋔	金物が干渉しへり空きが確保できない合板部分のへり空き:8mm以上
㋕	横架材・柱・受け材：N50@60mmチドリ打ち
㋖	間柱:N50@90mm打ち
㋗	㋐の受け材とグリット柱: 木質構造用ビスφ6、L130～150@100(2列)で留め付ける。





釘打ち要領図

6.3 その他の耐力壁

・木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年版）の詳細計算法による面材張り耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様に準拠することとする。
・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守ること。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	木造軸組接合部標準図（３）
縮　尺	NON　　図面番号：S－010
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第235863号
構造設計１級建築士　第　1977号　山崎　高夫

木　造　軸　組　接　合　部　標　準　図（４）

７．水平構面

(注)　(単位)mm

7.1共通事項

・各部仕口形状は、（３）高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図（2）5.軸組標準接合部に準ずる。
・木造軸組み工法住宅の許容応力度設計（2008年）の計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。

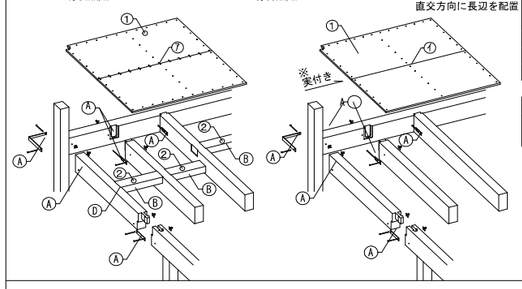
7.2水平構面の仕様

（１）木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

(a) 日の字釘打ち
短期許容せん断耐力
7.84kN/m

(b) 川の字釘打ち
短期許容せん断耐力
3.53kN/m

※ 合板は、横架材に対し直交方向に長辺を配置



1)各部材料および寸法

①	面材：構造用合板t=24mm～30mm横架材に直貼
②	甲乙梁:幅45mm以上×せい45mm以上・梁及び甲乙梁の間隔1000mm以下

2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	各仕口部分： 水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
Ⓑ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
Ⓒ	高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
Ⓓ	甲乙梁端部は小梁に対して深さ15mm程度の大入れ　N75　1本斜め打ち

3)各部への釘打及びビス止め

⑦	構造用合板はN75@150mm目の字釘打ちで横架材,甲乙梁,床受材に留め付ける
⑦	構造用合板はN75@150mm川の字釘打ちで横架材,甲乙梁,床受材に留め付ける ※ 構造用合板は、実付きとする.

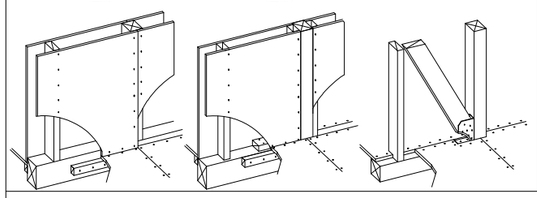
注意事項：構造用合板（又はOSB）に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする
2mmを超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
川の字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、
撓み等に注意する事

告示耐力壁-床納まり

大壁合板耐力壁-床構面
（壁勝）

真壁合板耐力壁-床構面
（壁勝）

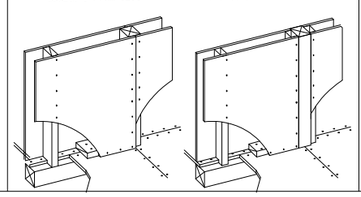
筋違耐力壁-床構面
（筋違勝）



認定仕様例示）日合連（JPMA）仕様耐力壁-床勝納まり

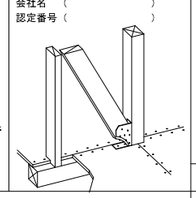
大壁合板耐力壁-床勝
認定番号：FRM-0296

真壁合板耐力壁-床勝
認定番号：FRM-0298



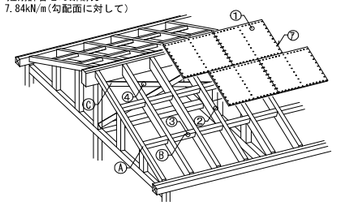
筋違金物による床勝ち納まり

筋違耐力壁-床構面
（床勝:大臣認定仕様）
会社名（　　）
認定番号（　　）

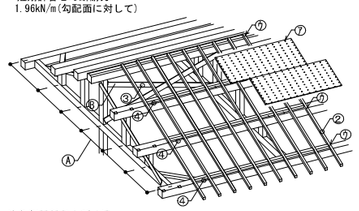


（２）木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

(a) 登梁-厚合板
短期許容せん断耐力
7.84kN/m(勾配面に対して)



(b) 垂木-合板
短期許容せん断耐力
1.96kN/m(勾配面に対して)



1)各部材料および寸法

①	面材：構造用合板t=24mm～30mm横架材に直貼
②	登梁：幅105mm以上×せい105mm以上　間隔1000mm以下
③	甲乙梁：幅45mm以上×せい45mm以上　間隔1000mm以下
④	小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上 （端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合）

2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
Ⓑ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
Ⓒ	耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁（くも筋違い）を設ける事

3)各部への釘打及びビス止め

⑦	構造用合板はN75@150mmで目の字に垂木に留め付ける

1)各部材料および寸法

①	面材：構造用合板t=9mm～15mm(横置)
②	垂木：幅45mm以上×せい45mm～90mm@500mm以下
③	小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上 （端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合）
④	転び止め：45mm×60mm程度

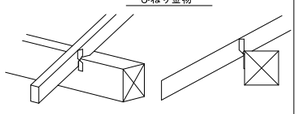
2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	母屋ピッチ:1000mm以下
Ⓑ	耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁（くも筋違い）を設ける事

3)各部への釘打及びビス止め

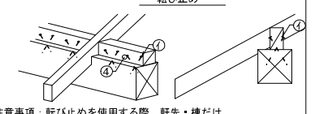
⑦	構造用合板はN50@150mmで川の字に垂木に留め付ける
④	転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
⑦	垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対して N75釘2本打ち

ひねり金物

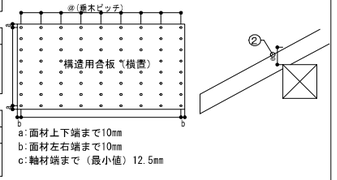


注意事項：ひねり金物を使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する

転び止め



注意事項：転び止めを使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する
N75釘4本(表2本と裏2本を千鳥配置)
斜め打ち

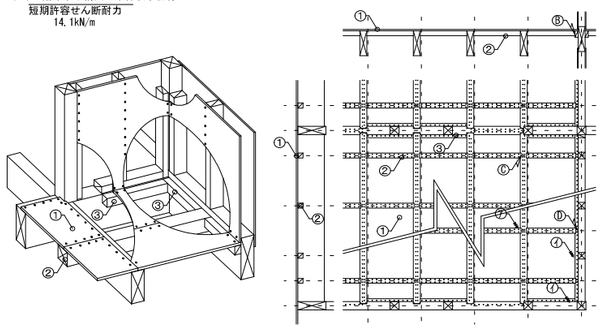


a:面材上下端まで10mm
b:面材左右端まで10mm
c:軸材端まで（最小値）12.5mm

注意事項：構造用合板（又はOSB）に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする

7.3　JISA3301仕様高耐力水平構面

（１）2階床水平構面の条件及び仕様
短期許容せん断耐力
14.1kN/m



1)各部材料

①	面材：構造用合板t=24mm又は28mm横架材に直張り
②	甲乙梁:90mm×90mmの正角材又は幅75mm×成120mm製材を平使い
③	大梁側面に取り付ける床受材：幅55mm～75mm×成120mmの製材

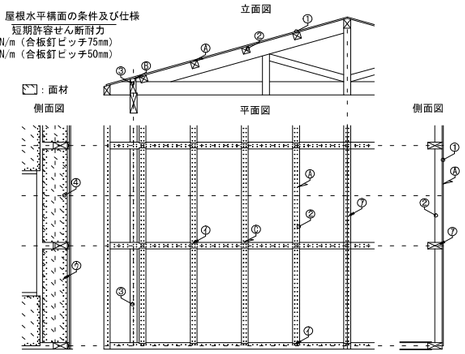
2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
Ⓑ	高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
Ⓒ	甲乙梁端部は小梁に対して深さ15mm程度の大入れ
Ⓓ	甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ15mm×成60mm切り欠き甲乙梁は成60mm分大入れし床受け材勝ちの納まりとする

3)各部への釘打及びビス止め

⑦	構造用合板はN75@75mm目の字釘打ちで横架材,甲乙梁,床受材に留め付ける
④	大梁側面へ取り付ける床受材は木質構造用ビスφ6,L130～150を150 mmピッチの二列打ちとして留め付ける

（２）屋根水平構面の条件及び仕様
短期許容せん断耐力
13.5kN/m（合板釘ピッチ75mm）
19.1kN/m（合板釘ピッチ50mm）



1)各部材料

①	面材：構造用合板t=24mm登梁及び母屋に直張り
②	母屋：幅120mm×成120mmの製材 多雪区域(3級及び4級)の場合は幅120mm×成150mmの製材
③	軒先転び止め:幅105mm×成300mmの製材を用い,天端は屋根面に合わせ切り欠く
④	軒先転び止めの外面に直貼りする構造用合板:t=12mm

2)各部仕口形状及び性能

Ⓐ	構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
Ⓑ	屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
Ⓒ	母屋端部は登梁に対して深さ15mm程度の大入れ

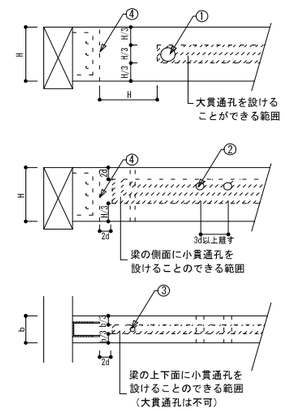
3)各部への釘打及びビス止め

⑦	13.5kN/m仕様：構造用合板はN75@75mm4周(ロの字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける 19.1kN/m仕様：構造用合板はN75@50mm4周(ロの字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
④	母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビスφ5,L150（頭部径φ12.5以上ねじ部長さ50以上）1本を斜め打ちとする
⑦	軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は，N50くぎを50 mmピッチの千鳥打ちとして留め付ける

８．貫通孔

8.1　梁貫通孔の条件及び仕様

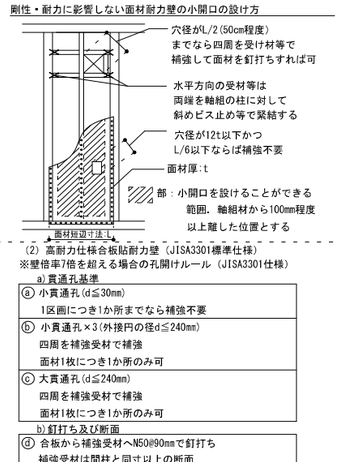
①	大貫通孔:d≦H/4かつ150mm
②	小貫通孔:d≦30mm（隣り合う孔は3d以上離す）
③	縦小貫通孔:d≦b/6かつ30mm
④	接合金物用切り欠きライン



8.2　耐力壁貫通孔

(1)小開口付耐力壁：木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)
※壁倍率7倍までの孔開けルール

剛性・耐力に影響しない面材耐力壁の小開口の設け方



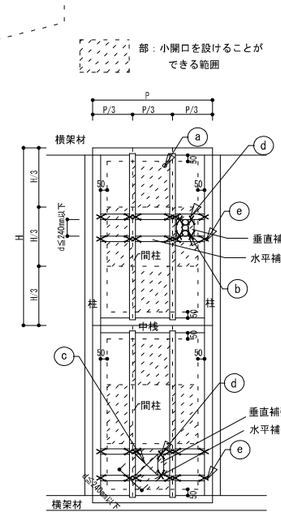
(2) 高耐力仕様合板貼耐力壁（JISA3301標準仕様）
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール（JISA3301仕様）

a)貫通孔基準

ⓐ	小貫通孔(d≦30mm) 1区画につき1か所までなら補強不要
ⓑ	小貫通孔×3(外接円の径d≦240mm) 四周を補強受材で補強 面材1枚につき1か所のみ可
ⓒ	大貫通孔(d≦240mm) 四周を補強受材で補強 面材1枚につき1か所のみ可

b)釘打ち及び断面

ⓓ	合板から補強受材へN50@90mmで釘打ち 補強受材は間柱と同寸以上の断面
ⓔ	補強受け材の留め付けは斜めビス2本止め



工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：木造軸組接合部標準図（４）
縮　尺	：NON　　図面番号：S－011
DATE	：　．　．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第235863号
構造設計１級建築士　第　1977号　山崎　高夫

工　事　区　分　表

工事区分略号の凡例　A：建築主体工事　E：電気設備工事　M：機械設備工事

躯体関係

項目		A	E	M	備考
1．RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け	○	○	○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○			
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	
	貫通孔・開口部の補強	○			
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	
	埋込形盤類及び、箱類の型枠	○			
2．S.SRC造の梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強				
	使用されたスリーブの穴埋め				
	予備スリーブの穴埋め				
	貫通孔・開口部の墨出し				
3．設備機器の基礎	建築設計図に記入あるもの	○			
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○	
	屋外・屋上の基礎（AC・受水槽・キュービクル等）	○			
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの				
	機器取り付け用アンカー・架台		○	○	建築設計図にあるものはA
	屋内受水タンク用の基礎				
	太陽電池アレイ用架台（支持金物）				AとEの区分は図示
4．昇降機関連	昇降路・機械室の躯体				
	機械室の床開口				
	機械室の床配管ピット・蓋・防油堤				
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上				
	巻上機周辺のチェッカープレート敷				
	昇降路内ピット防水・集水桝・点検用タラップ				
	各階出入口穴あけ・同補強				
	出入口扉・三方枠・幕板				
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修				
	昇降路がRC造の時、軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式				
	昇降路がS造の時、中間ビーム及びブラケット受けピース				
	機械室天井フック取付				
	昇降路内天井フック取付（機械室なしの場合）				
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口				
	機械室・昇降路内換気設備				
	ＥＶ機械室からインターホンまでの配線工事				
	ＥＶ機械室からインターホンまでの配管工事				
	点検用コンセント				
	制御盤までの動力、照明用電源、アース、防災信号、拡声設備の配管・配線工事				
	かご内監視カメラからシャフト内制御盤までの配線工事				
	エレベーターシャフト内制御盤から監視装置までの監視カメラ用配管・配線工事				
5．その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）				
	湧水・汚水ピット・RC造各種水槽				
	同上用防水・マンホール・タラップ式				
	避雷設備・同接地工事				
	ＡＬＣ板の壁開口部・補強				
	厨房排水溝				
	厨房グリース阻集器				
	オイルサービスタンクの防油堤				
	フリーアクセスフロア内の防水堤				

仕上げ関係

項目		A	E	M	備考
1．軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○			
	補強を要しないボードの切り込み		○	○	
	開口部の墨出し		○	○	
	壁のボックス取付金具及びその取付		○		
2．既製間仕切り	切り込み及び補強	○			
	位置ボックス	○			
3．吊りボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○	
4．外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○			
	ウェザーカバー、ベントキャップ			○	
	換気扇（取付枠共）			○	
5．湯沸まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台・IHコンロ	○			建築設計図にあるものはA 配線配管接続はEM
	排気フード			○	
	レンジフード・換気機器	○			ダクト接続はM
6．シャワー室まわり	ユニットバス、シャワーユニット（トラップ・水栓・シャワー・換気扇・照明共）	○			電源接続、外部スイッチはE 配管接続・換気ﾀﾞｸﾄはM
	同上への配線及び配管接続		○	○	１次側
	コインシャワー	○			電源接続はE 配管接続はM
7．便所まわり	洗面カウンター	○			洗面器はM
	鏡			○	
	ユニット形衛生器具			○	
	便所用手すり			○	
	紙巻器、ベット、ベビーチェア、エアタオル			○	
	電源、配管、配線、接続		○		
	手すり補強下地	○			
	衛生器具補強下地	○			
8．事務室まわり	総合盤・電灯分電盤		○		
9．フリーアクセスフロア	コンセント・電話・情報等		○		ﾎﾞｯｸｽ、ﾛｰﾗｰｼｮﾝ等
	複合アウトレット用開口	○			
	予備開口　及びプレート	○			
10．自動扉まわり	自動扉・電動シャッターへの電源供給		○		
	自動扉・電動シャッターから付属のスイッチ、センサーへの配管工事	○	○		
	自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ				
	自動扉手元電源スイッチ		○		
	電気錠の本体、扉内配線				
	電気錠の扉までの配管				
11．防火・防犯	屋内消火栓箱				
	埋込型・露出壁掛型消火器ボックス	○			消火器は備品又はM
	独立型消火器ボックス			○	消火器は備品又はM
	防火戸の配管、配線、煙感知器、レリーズ				
	防火シャッターの配管、配線、煙感知器				
	ガスもれ検知器				

項目		A	E	M	備考
12．その他	２重ピット及びトレンチのマンホールふた				
	機器搬入用フック　ビーム				
	チェンブロック				
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	○			
	点検口（天井・壁・床下）	○			
	排煙口等の天井仕上材の取付け				
	洗面器取付の下地の補強	○			
	ー般用手すり	○			
	くつふきマット、玄関マット、自動扉マット部床排水金物（目皿共）、排水管				
	くつ洗い流し部排水金物、排水管			○	
	洗濯パン				

屋外排水設備・外構

項目		A	E	M	備考
1．雨水	屋外雨水排水設備	○			
	桝及び桝ふた	○			
	雨水タテ樋	○			
2．雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備	○			
	桝及び桝ふた	○			
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ				
3．植栽	植栽及び客土				
4．ユニット形浄化槽の躯体	ピット形の躯体及び砂充填				
	上記以外のユニット形浄化槽本体～配管及び据付等				
	ピット形以外				
5．屋外オイルタンク	タンク室の躯体及び砂充填				
	上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等				
	タンク室形以外				
6．その他	駐車場ガソリントラップ				
	雨水貯留槽				
	空調室外機基礎	○			
	機器用架台類			○	

電気配線配管

項目		A	E	M	備考
1．配管配線	機器附属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	
	機器附属の制御盤への電源供給配管配線		○		１次側
	自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線				
	機器と附属操作スイッチの渡り配管配線			○	
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線				
	小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線			○	
	注油口内アース端子よりアース内配管配線				自家用はE
	個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線			○	接地共
	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの複合アウトレット取付及び配線		○		
	電極棒				
	機器類・実験台などへの接続（直接接続するもの）				
	非常用照明及び誘導灯				
2．その他	工事用電力・水道・下水・燃料	○	○	○	○ ○
	本設後の電力、上下水道、ガス使用料金	○	○	○	○ ○ （引渡しまでの間）
	本設後の電力、上下水道、ガス基本料金	○	○	○	○ ○ （引渡しまでの間）
	太陽光発電設備（太陽光パネル取付金物以外全て）				
	太陽光パネル取付金物				
	換気扇類スイッチ			○	Eに支給
	換気扇類スイッチ設置・配線		○		
	空調機　室外機電源		○		
	空調機　室内機電源		○		
	室内機～室内機制御配線			○	
	室内機～リモコン間制御配線			○	

株式会社　ＫＲＣ

一級建築士事務所　長野県知事登録　H第75251号

一級建築士　第293052号　波利　真二

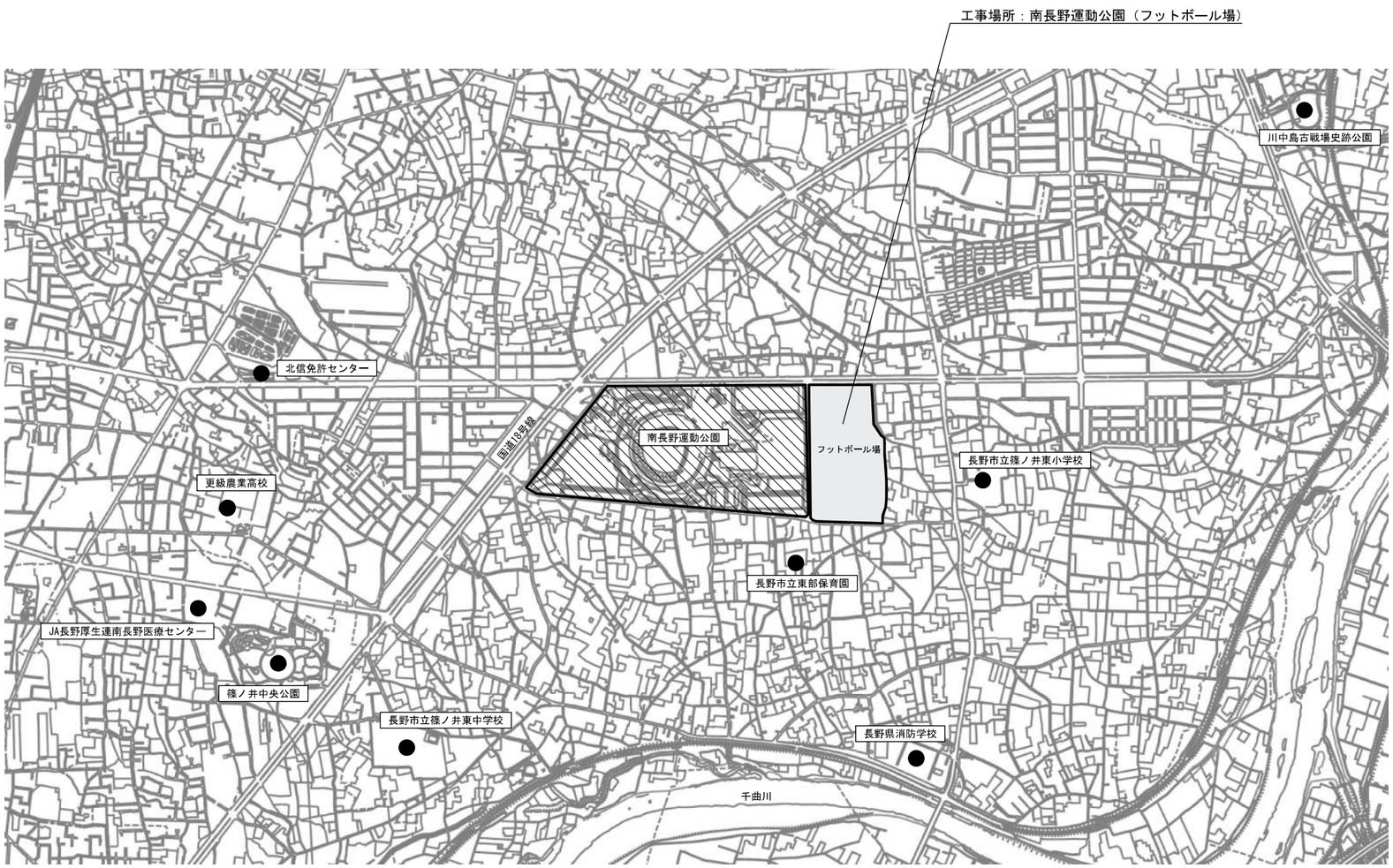
国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体 工事設計図

工事区分表

令和７年度

縮尺 NON

図面番号 共-001



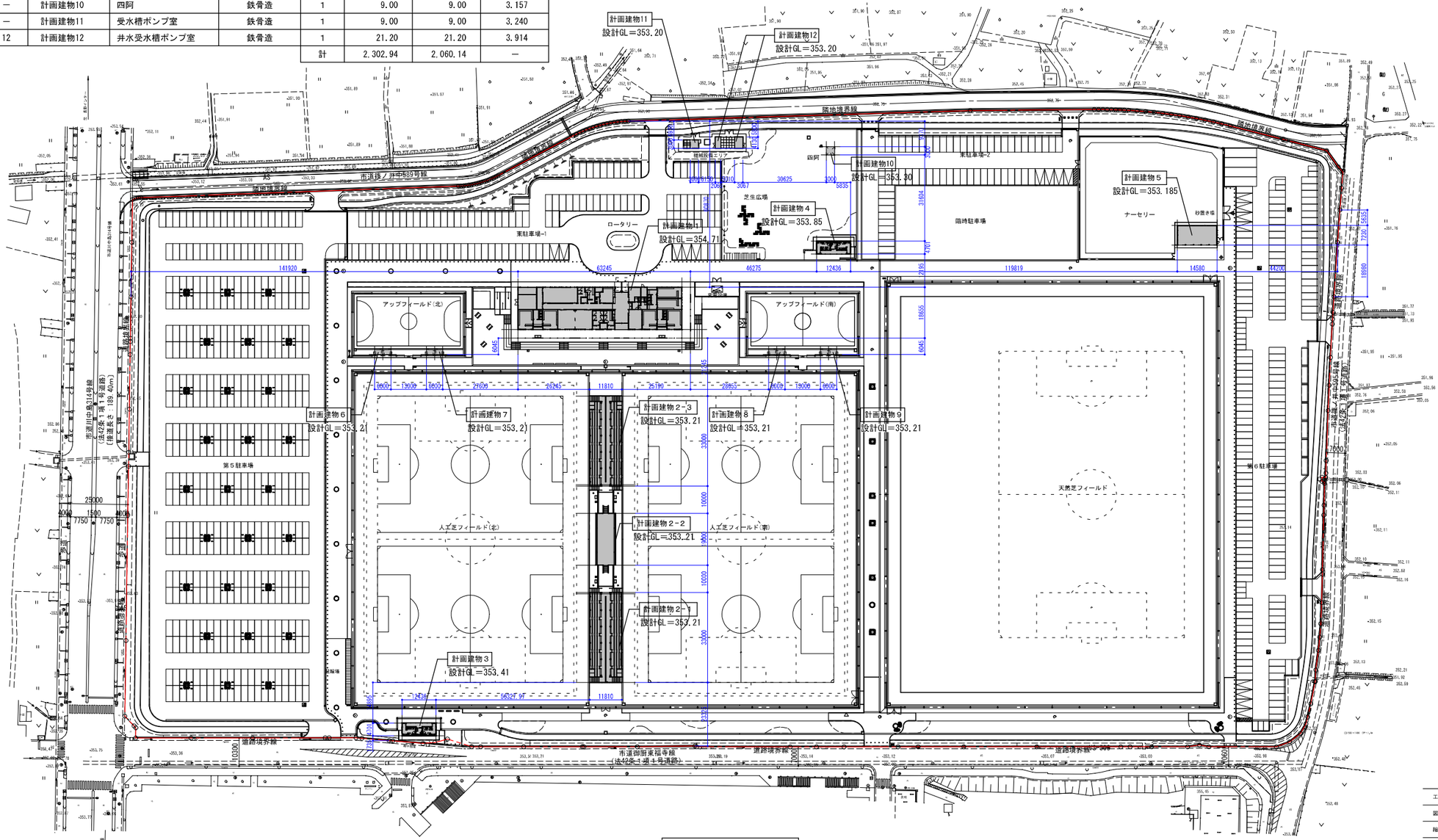
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	案内図
縮　尺	NON
図面番号	共－002
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

面 積 表

敷 地 面 積	96,821.44㎡

建物棟番号		建　物　名	構造	階数	建築面積(m2)	延べ床面積(m2)	最高の高さ(m)
1	計画建物１	クラブハウス	木　造	1	1,218.51	929.13	6.450
2	計画建物２−１	スタンド（観客席Ａ棟）	鉄骨造	1	327.00	366.11	5.095
3	計画建物２−２	スタンド（中央倉庫棟）	ＲＣ造	1	142.50	114.00	4.400
4	計画建物２−３	スタンド（観客席Ｂ棟）	鉄骨造	1	327.00	366.11	5.095
5	計画建物３	トイレ１	木　造	1	58.46	44.89	4.240
6	計画建物４	トイレ２	木　造	1	58.46	44.89	4.240
7	計画建物５	倉庫	鉄骨造	1	105.41	105.41	3.843
8	計画建物６	シェルター１	アルミニウム合金造	1	6.60	12.60	2.245
9	計画建物７	シェルター２	アルミニウム合金造	1	6.60	12.60	2.245
10	計画建物８	シェルター３	アルミニウム合金造	1	6.60	12.60	2.245
11	計画建物９	シェルター４	アルミニウム合金造	1	6.60	12.60	2.245
−	計画建物10	四阿	鉄骨造	1	9.00	9.00	3.157
−	計画建物11	受水槽ポンプ室	鉄骨造	1	9.00	9.00	3.240
12	計画建物12	井水受水槽ポンプ室	鉄骨造	1	21.20	21.20	3.914
				計	2,302.94	2,060.14	−



配置図　S=1:800

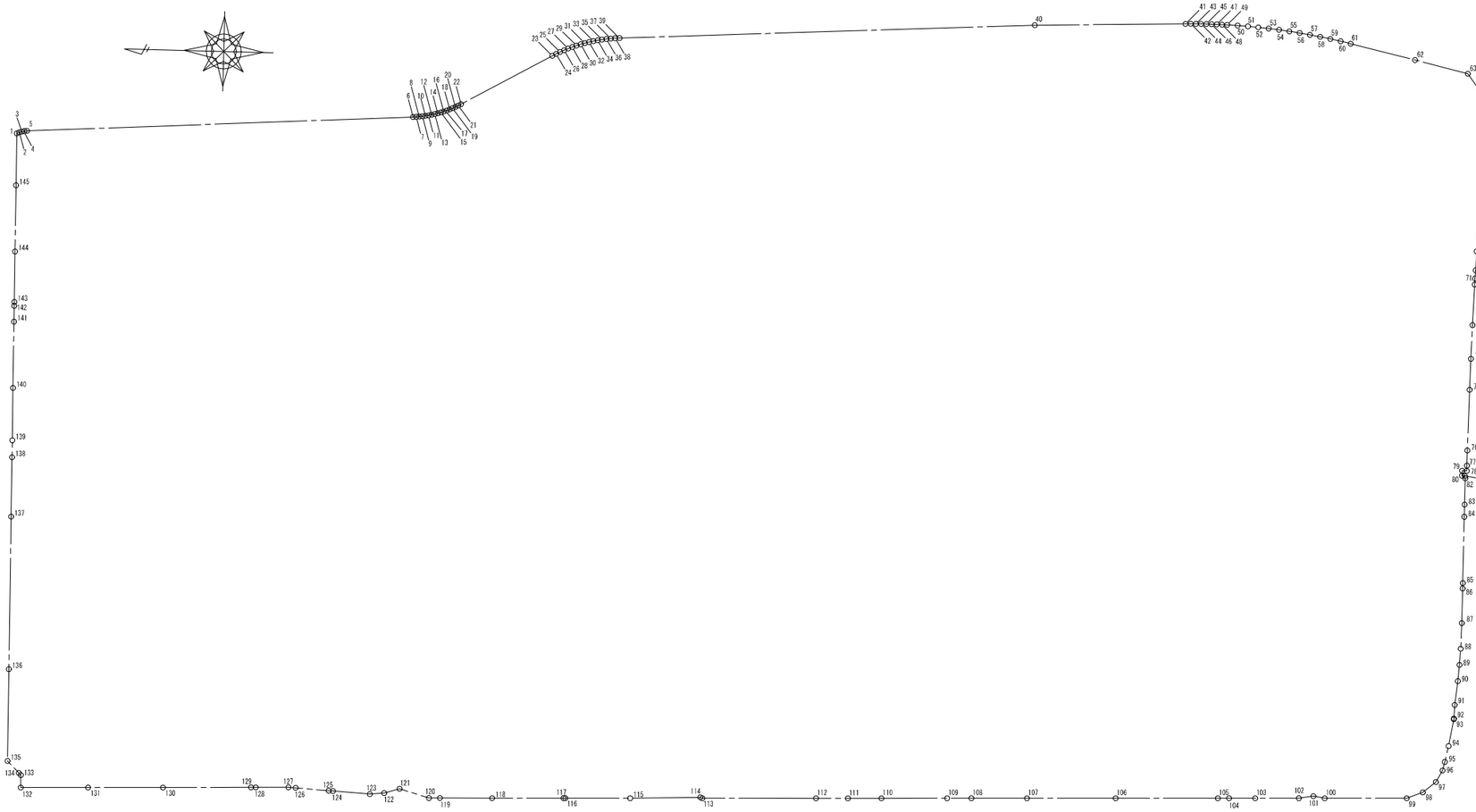
※敷地の接道長さ：837m
※雨水排水は、敷地内の雨水排水処理施設に接続し、敷地内処理を行う。
※各フィールドは、屋根のない屋外フィールドとする。

工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：全体配置図
縮　尺	：1：800(A3（A3=I:1600）図面番号：共ー003
DATE	： . .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

■座席求積表

NO	Xn	Yn	Yn+1−Yn−1	Xn・(Yn+1−Yn−1)
1	64602354.5536	−29257805.8404	16011.761	1034397461149.501
2	64601627.0623	−29257490.9733	556.191	35930843557.38460
3	64600871.9811	−29257249.6494	407.588	26330514368.69689
4	64600091.4521	−29257083.3857	253.286	16362285843.44014
5	64599308.9022	−29256996.3636	7255.601	468706790890.2177
6	64482926.8813	−29249827.7850	7239.120	466799645645.0238
7	64481994.0749	−29249757.2436	167.099	10774870279.81878
8	64481063.6015	−29249660.6861	219.056	14124944523.99531
9	64480136.1868	−29249538.1879	270.842	17463909700.98872
10	64479212.5536	−29249389.8444	324.475	20921898941.21564
11	64478283.3340	−29249213.7128	378.422	24399988040.08042
12	64477359.4563	−29249011.4226	433.437	27946899041.49493
13	64476430.8239	−29248780.2754	488.723	31511095358.60733
14	64475509.1721	−29248522.6999	537.169	34634238339.03255
15	64474608.1363	−29248243.1065	584.446	37681933274.30763
16	64473715.3303	−29247938.2538	634.723	40922956462.90943
17	64472831.4619	−29247608.3834	684.497	44131453269.87226
18	64471957.2321	−29247253.7569	733.728	47304867341.63242
19	64471093.3339	−29246874.6556	782.377	50440687695.12104
20	64470240.4525	−29246471.3801	830.405	53536442257.98050
21	64469399.2642	−29246044.2501	877.776	56589672067.66000
22	64468570.4360	−29245593.6044	15715.086	1013129109358.327
23	64441414.2932	−29230329.1644	15896.711	1024406526562.197
24	64440250.9877	−29229696.8936	1231.168	79336755595.95625
25	64439070.1539	−29229097.9967	1163.934	75002850456.11676
26	64437872.7489	−29228532.9592	1095.758	70608282348.67200
27	64436659.7435	−29228002.2392	1026.692	66156635283.63616
28	64435432.1209	−29227506.2667	956.795	61651518606.70650
29	64434190.8762	−29227045.4439	886.122	57096573417.79283
30	64432937.0156	−29226620.1444	814.731	52495511207.57615
31	64431671.5556	−29226230.7129	742.679	47852075171.95654
32	64430395.5220	−29225877.4650	670.026	43170027304.00091
33	64429109.9490	−29225560.6871	596.829	38453154818.72590
34	64427815.8789	−29225280.6361	523.148	33705295907.07895
35	64426514.3607	−29225037.5389	449.044	28930313944.00884
36	64425206.4494	−29224831.5925	374.575	24132065263.10630
37	64423893.2051	−29224662.9640	299.802	19314437800.25801
38	64422575.6926	−29224531.7901	224.787	14481363964.60982
39	64421254.9797	−29224438.1769	7177.412	4623778822104.3948
40	64296069.6205	−29217354.3782	8626.926	554677415417.9324
41	64250590.7253	−29215811.2512	1601.403	102891063038.8911
42	64249018.7329	−29215752.9756	81.512	5237078864.864439
43	64247445.8470	−29215729.7390	47.038	3022077782.526024
44	64245873.1667	−29215705.9375	31.158	2001792189.965427
45	64244300.0669	−29215698.5807	4.050	260202264.156997
46	64242727.0906	−29215701.8873	−19.204	−1233691633.994955
47	64241154.1911	−29215717.7843	−44.388	−2851529928.027613
48	64239581.2678	−29215746.2752	−69.560	−4468537392.757744
49	64238009.0259	−29215787.3448	−160.960	−10339749932.86630
50	64234865.5784	−29215907.2352	−290.108	−18635029112.85183
51	64231724.0507	−29216077.4525	−390.659	−25092681816.43697
52	64228586.2531	−29216297.8939	−491.154	−31546120629.77341
53	64225451.5834	−29216568.6064	−591.555	−37992867743.91593
54	64222321.8499	−29216889.4486	−691.747	−44425624161.43667
55	64219197.6539	−29217260.3538	−791.693	−50841876404.15019
56	64216080.3947	−29217681.1414	−891.416	−57243254364.38888
57	64212970.2699	−29218151.7700	−991.083	−63640351107.72867
58	64209867.4809	−29218672.2239	−1090.514	−70021753005.11809
59	64206773.4217	−29219242.2839	−1189.539	−76376441787.20636
60	64203689.0823	−29219861.7626	−1288.253	−82710562969.58178
61	64200615.0548	−29220530.5364	−5089.457	−326746250434.8312
62	64181050.5489	−29224951.2193	−8163.738	−523957294082.0379
63	64165022.4676	−29228694.2746	−9645.251	−618887727870.9388
64	64160589.9525	−29234596.4700	−7773.312	−498740264556.7579
65	64158831.1918	−29236467.5863	−7595.215	−487300142714.1456
66	64159129.5559	−29242191.6854	−13842.099	−888097010234.7552
67	64159571.5549	−29250309.6851	−19994.999	−1282870594744.309
68	64160165.5540	−29262186.6848	−31894.000	−2046324339427.412
69	64160979.5521	−29282203.6854	−25724.000	−1650477057246.601
70	64161160.5511	−29287910.6851	−8191.999	−525608195153.9659
71	64161265.5508	−29290395.6849	−4304.000	−276150099762.8746



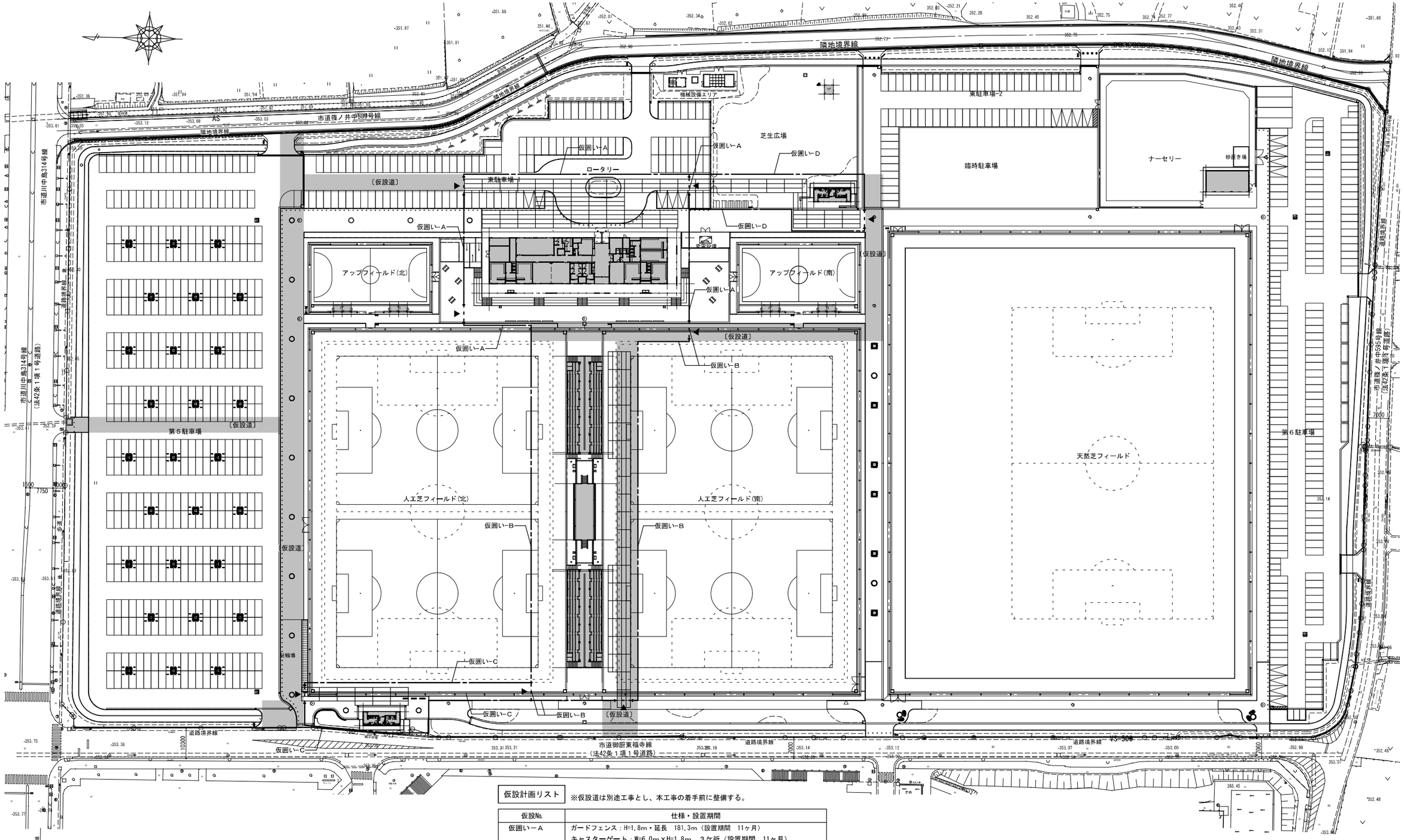
NO	Xn	Yn	Yn+1−Yn−1	Xn・(Yn+1−Yn−1)
72	64161326.5509	−29292214.6853	−14077.000	−903199006689.2628
73	64161684.5497	−29304472.6851	−22438.000	−1439659858677.576
74	64161908.5478	−29314652.6850	−19504.000	−1251413864316.291
75	64162056.5471	−29323976.6851	−27638.000	−1773310918848.750
76	64162284.5449	−29342290.6850	−22907.000	−1469765439237.589
77	64162300.5449	−29346883.6849	−6181.001	−396587211749.2422
78	64162299.5442	−29348471.6855	−1573.001	−100927335680.3409
79	64163680.5446	−29348456.6855	−1488.999	−95539675416.28981
80	64163685.5445	−29349960.6848	−1563.999	−100351972109.6902
81	64162830.5439	−29350020.6850	−748.000	−47993797246.83720
82	64162687.5437	−29350708.6848	−8651.000	−555071390691.8947
83	64162686.5435	−29358671.6847	−11615.001	−745249636284.1609
84	64162679.5429	−29362323.6853	−23652.000	−1517575683716.156
85	64162639.5408	−29382323.6845	−21649.000	−1389059664169.900
86	64162636.5403	−29383972.6850	−12108.001	−776881260976.3466
87	64162615.5396	−29394431.6854	−18193.999	−1167374588629.978
88	64162752.5382	−29402166.6844	−12629.999	−810375532476.0246
89	64162997.5380	−29407061.6849	−9782.000	−627642454749.2937
90	64163363.5372	−29411948.6846	−11977.460	−768514133064.9797
91	64164156.5636	−29419039.1451	−11319.001	−726274120225.5317
92	64164260.5361	−29423267.6851	−4462.540	−286335572796.1757
93	64164290.5360	−29423501.6850	−8357.001	−536221008091.5623
94	64165676.5353	−29431624.6856	−12930.000	−829662184768.3157
95	64166677.5345	−29436431.6848	−7390.000	−474191740563.1787
96	64167275.5339	−29439014.6855	−6143.001	−394179605688.4506
97	64169221.5337	−29442574.6853	−6766.000	−434168959314.0450
98	64173089.5336	−29445780.6856	−5112.001	−328052910703.5790
99	64177882.5328	−29447686.6865	−2521.004	−161792685740.9672
100	64202646.5328	−29448301.6894	−62.003	−3980788794.273504

NO	Xn	Yn	Yn+1−Yn−1	Xn・(Yn+1−Yn−1)
101	64206080.5328	−29447748.6900	−191.001	−12263419167.25871
102	64210425.5328	−29448492.6903	−1080.002	−69347362311.93032
103	64223617.5325	−29448828.6916	−543.002	−34873578456.80699
104	64231493.5331	−29449035.6927	−294.001	−18884116907.09702
105	64234887.5333	−29449122.6925	−880.004	−56526938698.58236
106	64265724.5322	−29449915.6964	−1480.668	−95156227517.98350
107	64292473.7877	−29450603.3609	−1120.005	−72007879246.05296
108	64309221.5324	−29451035.7012	−622.341	−40022297392.25245
109	64316559.5325	−29451225.7024	−700.002	−45021752463.99549
110	64336366.5323	−29451735.7037	−770.003	−49539182371.87062
111	64346484.5324	−29451995.7052	−503.003	−32366455455.36987
112	64356130.5325	−29452238.7064	−1097.005	−70599009845.94228
113	64390425.5323	−29453092.7104	−603.004	−38827671279.65802
114	64391056.5317	−29452841.7102	−541.002	−34835683926.56922
115	64412174.5320	−29453633.7123	−1280.004	−82447866814.52639
116	64431757.5318	−29454121.7146	−502.002	−32344871144.49978
117	64432327.5311	−29454135.7143	−549.002	−35373502452.13731
118	64453835.5314	−29454670.7170	−927.005	−59749021361.46567
119	64469583.5312	−29455062.7192	−475.002	−30623187563.33552
120	64472901.5317	−29455145.7191	2484.999	1602151067 28.0409
121	64481839.5315	−29452577.7200	1163.998	75056738699.01869
122	64486451.5314	−29453981.7210	−1819.001	−117300919822.1988
123	64490779.5318	−29454396.7210	205.999	13285023194.74683
124	64501911.5318	−29453775.7222	691.998	44635206676.52178
125	64503213.5311	−29453704.7228	683.998	44120075499.01444
126	64513205.5316	−29453091.7241	718.999	46384943166.74364
127	64515378.5314	−29452985.7236	−154.001	−9935413454.644027
128	64525249.5312	−29453245.7248	−298.002	−19228666315.84580
129	64526672.5309	−29453283.7258	−779.004	−50266510197.43797

NO	Xn	Yn	Yn+1−Yn−1	Xn・(Yn+1−Yn−1)
130	64553241.5313	−29454024.7284	−1300.005	−83919530301.63737
131	64575821.5312	−29454583.7307	−1098.005	−70904549090.01316
132	64596138.5314	−29455122.7330	3233.998	208903750520.3553
133	64596198.5311	−29451349.7332	4422.051	285647658472.1522
134	64596855.7295	−29450700.6824	4154.000	268335319321.1989
135	64600331.5314	−29447195.7335	31213.948	2016431402123.855
136	64600631.5351	−29419486.7342	73718.999	4762293917375.723
137	64601135.5400	−29373476.7341	63920.000	4129304590177.023
138	64601314.5424	−29355566.7341	23032.000	1487897483000.557
139	64601358.5429	−29350444.7340	20919.000	1351395812898.680
140	64601544.5443	−29334647.7342	35799.000	2312670660840.799
141	64601758.5470	−29314645.7345	24776.000	1600573182680.802
142	64601809.5474	−29309871.7340	5956.000	384768364743.7338
143	64601821.5476	−29308689.7347	16413.000	1060309690600.708
144	64601985.5486	−29293458.7341	35187.000	2273150091339.579
145	64602201.5511	−29273502.7343	35652.894	2303255424687.337
合　計（倍面積）				193642888274.3623
面　積（m2）				96821.444137
敷地面積（m2）				96821.44

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	敷地求積図
縮　尺	1：800（A3（A3=1：1600）図面番号：共ー004
DATE	．．．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二



仮設計画リスト

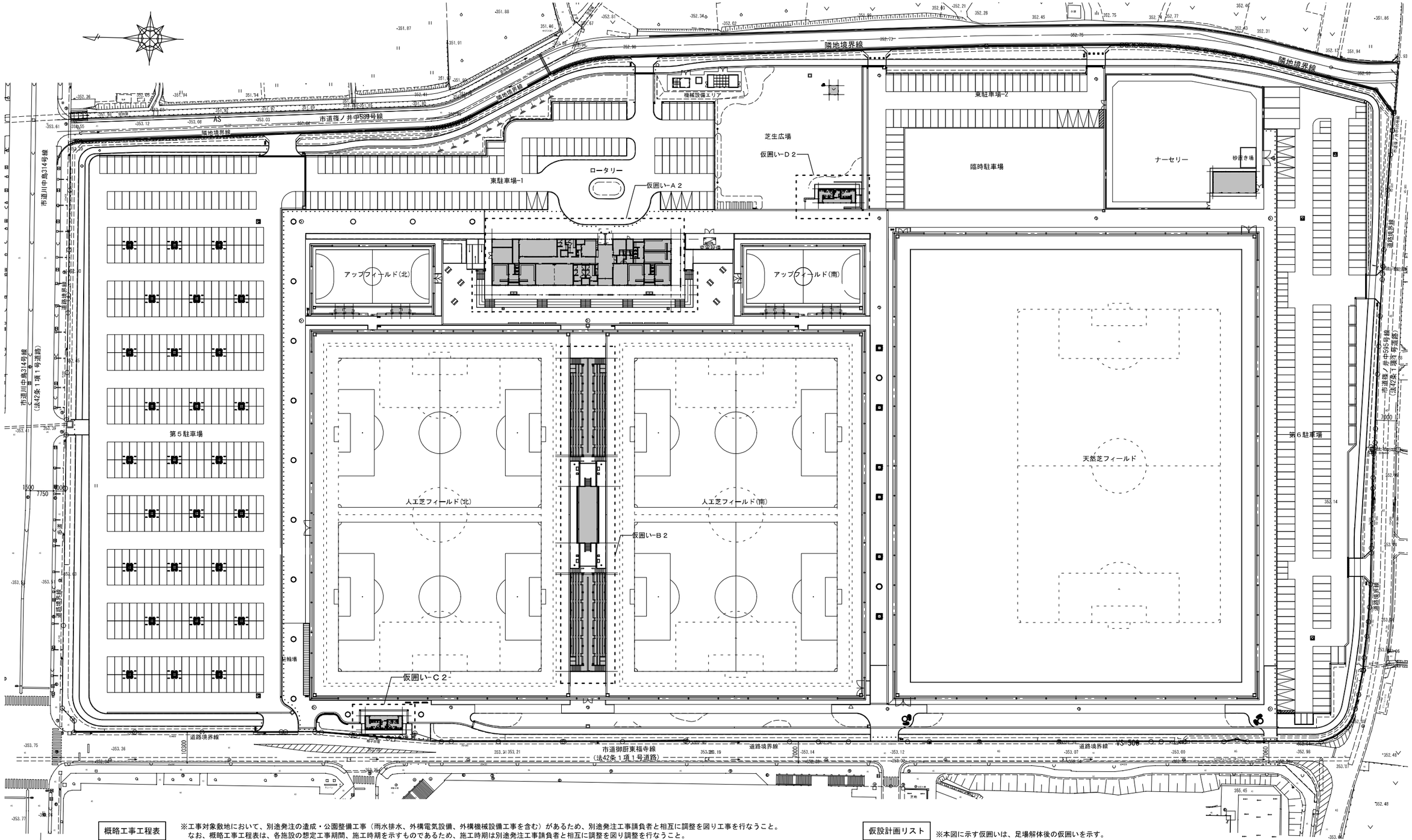
※仮設道は別途工事とし、本工事の着手前に整備する。

仮設No.	仕様・設置期間
仮囲い－Ａ	ガードフェンス：H=1.8m・延長　181.3m（設置期間　11ヶ月）
	キャスターゲート：W=6.0m×H=1.8m　３ケ所（設置期間　11ヶ月）
	敷鉄板：927.00㎡　（設置期間　11ヶ月）
仮囲い－Ｂ	ガードフェンス：H=1.8m・延長　288.8m（設置期間　11ヶ月）
	キャスターゲート：W=6.0m×H=1.8m　３ケ所（設置期間　11ヶ月）
	敷鉄板：756.00㎡　（設置期間　11ヶ月）
仮囲い－Ｃ	ガードフェンス：H=1.8m・延長　172.3m（設置期間　５ヶ月）
	キャスターゲート：W=6.0m×H=1.8m　１ケ所（設置期間　５ヶ月）
	敷鉄板：189.00㎡　（設置期間　５ヶ月）
仮囲い－Ｄ	ガードフェンス：H=1.8m・延長　138.7m（設置期間　５ヶ月）
	キャスターゲート：W=6.0m×H=1.8m　１ケ所（設置期間　５ヶ月）
	敷鉄板：330.75㎡　（設置期間　５ヶ月）

※交通誘導員の配置位置は、工事の進捗に応じて適正な場所に配置すること。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	仮設計画図（１）
縮尺	1：600(A3（A3=1:1200) 図面番号	共ー005
DATE	．．．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



概略工事工程表

※工事対象敷地において、別途発注の造成・公園整備工事（雨水排水、外構電気設備、外構機械設備工事を含む）があるため、別途発注工事請負者と相互に調整を図り工事を行なうこと。
なお、概略工事工程表は、各施設の想定工期期間、施工時期を示すものであるため、施工時期は別途発注工事請負者と相互に調整を図り調整を行なうこと。

	2025年（令和７年度）										2026年（令和８年度）										2027年（令和９年度）				
	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
造成・公園整備工事（別途発注工事）																											
クラブハウス外建築主体工事（全体工程）																											
クラブハウス																											
スタンド																											
トイレ１・２																											
倉庫																											
シェルター・四阿																											
※建築　別途発注工事：電気設備・機械設備																											

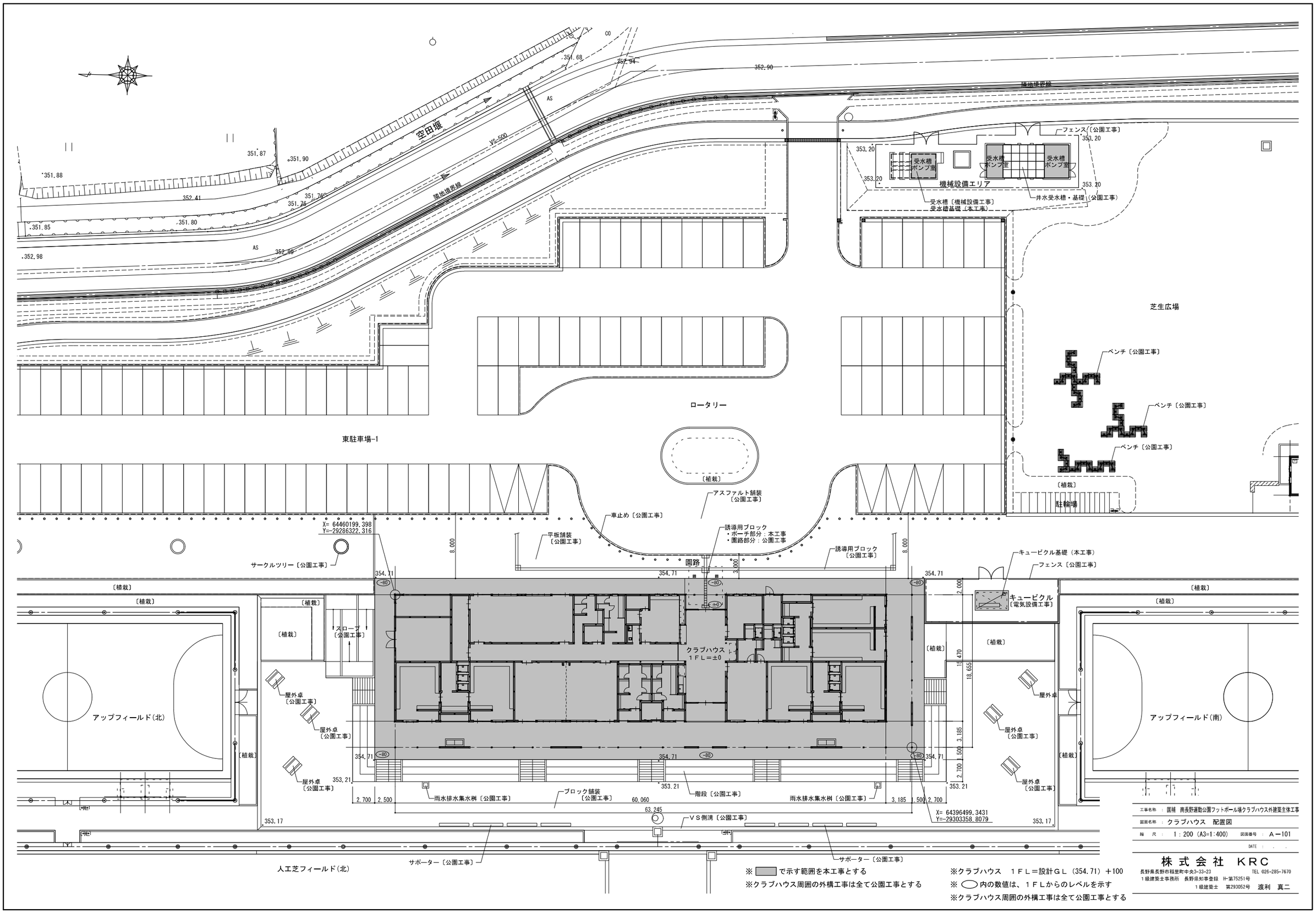
仮設計画リスト

※本図に示す仮囲いは、足場解体後の仮囲いを示す。

仮設No.	仕様・設置期間
仮囲い－Ａ２	単管バリケード：延長　214.0m（設置期間　３ヶ月）
仮囲い－Ｂ２	単管バリケード：延長　262.4m（設置期間　１ヶ月）
仮囲い－Ｃ２	単管バリケード：延長　62.6m（設置期間　１ヶ月）
仮囲い－Ｄ２	単管バリケード：延長　78.3m（設置期間　１ヶ月）

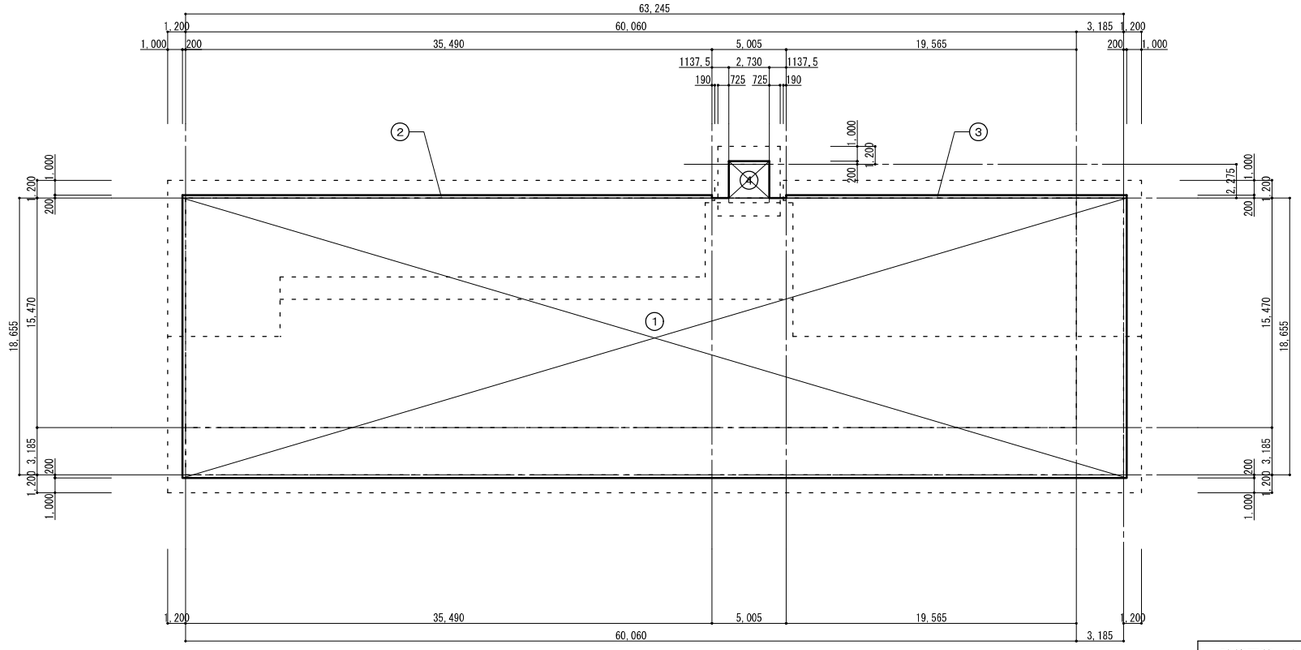
工事名称　：　国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称　：　仮設計画図（２）
縮　尺　：　1：600(A3（A3=1:1200）　図面番号　：　共－006
DATE　：　.　.

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



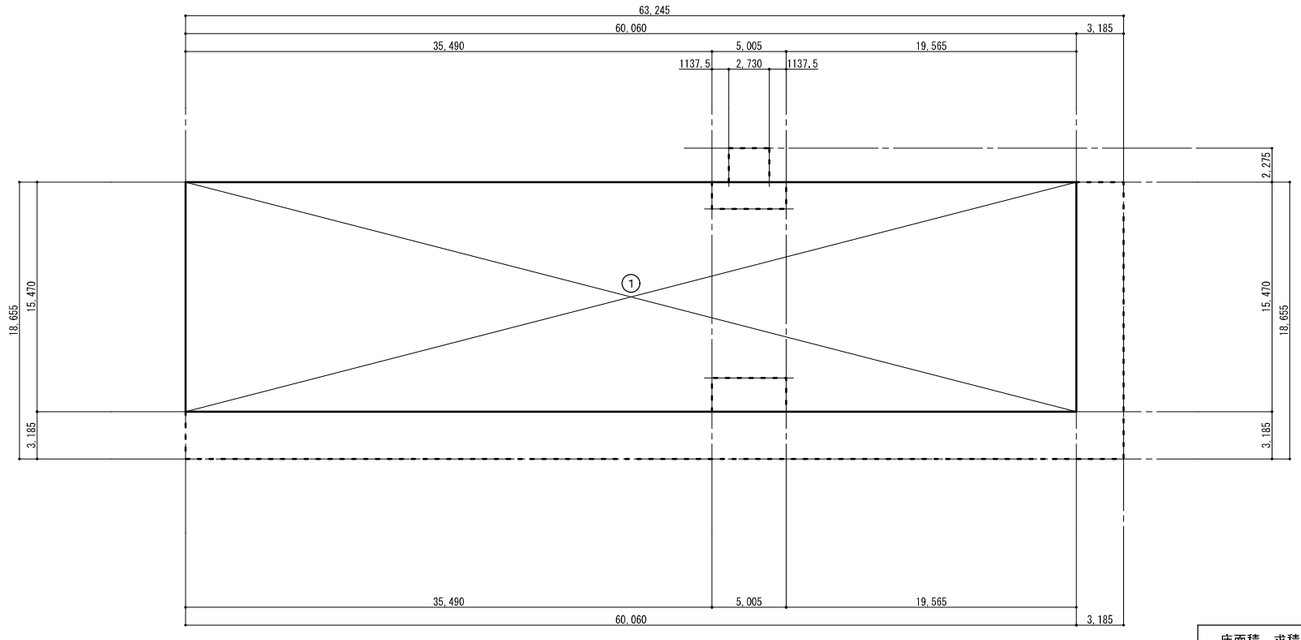
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　配置図
縮　尺	1：200（A3=1:400）
図面番号	Ａ－101
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



建築面積　求積図　　S=1:50

建築面積表			
	計　算　式　（㎡）		
①	63.645 × 18.855	＝	1200.026
②	35.690 × 0.200	＝	7.138
③	22.950 × 0.200	＝	4.590
④	2.730 × 2.475	＝	6.757
	建築床面積		1218.511



床面積　求積図　　S=1:50

１階　床面積表			
	計　算　式　（㎡）		
①	60.060 × 15.470	＝	929.128
	１階床面積		929.128

面積表	
■　床面積	
１階床面積	929.13 ㎡
合　　計	929.13 ㎡
■　建築面積	1218.51 ㎡

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　求積図
縮　尺	1：200（A3=1:400）
図面番号	A－102
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

■ 外部仕上表

屋　　根	カラーガルバリウム鋼板ｔ0.4　立ハゼ葺キ（防水工法）　働巾455 下地：アスファルトルーフィング940＋構造用合板ｔ12	外　通　路	床　：コンクリート金ゴテ仕上 天井：木製野縁組　合板ｔ9＋杉羽目板ｔ12　木材保護着色塗料
	雪止メアングル：L-50×50×4（溶融亜鉛メッキ品）		柱、梁、火打梁、小屋束表し、木枠・見切材：木材保護着色塗料
破　　風	カラーガルバリウム鋼板ｔ0.4加工（唐草、ケラバ　同材）	ポーチ　1	床　：磁器質300角タイル貼り 壁　：窯業系サイディングｔ16張り（金具工法）　下地：透湿防水シート＋木製胴縁
軒　　天	木製野縁組　合板ｔ9＋杉羽目板ｔ12　木材保護着色塗料 腰屋根部分：木製野縁組　ケイ酸カルシウム板ｔ6　ＥＰ		屋根：カラーガルバリウム鋼板ｔ0.4　立ハゼ葺キ（防水工法）　働巾303 下地：アスファルトルーフィング940＋構造用合板ｔ12
外　　壁	窯業系サイディングｔ16張り（金具工法）　下地：透湿防水シート＋木製胴縁 杉羽目板ｔ15（本実加工）　木材保護着色塗料　下地：透湿防水シート＋木製胴縁		軒天：野地板表し（杉羽目板ｔ15　本実加工）　木材保護着色塗料 一部：合板ｔ9＋杉羽目板ｔ12　木材保護着色塗料
	妻面一部：金属サイディングｔ15張り（リブ調）下地：透湿防水シート＋木製胴縁 腰屋根部分：金属サイディングｔ15張り（リブ調）下地：透湿防水シート＋木製胴縁		柱、梁、タル木、木枠・見切材：木材保護着色塗料
基礎立上り	コンクリート打放シ	ポーチ　2	床　：磁器質300角タイル貼り 壁　：杉羽目板ｔ15（本実加工）　木材保護着色塗料　下地：透湿防水シート＋木製胴縁
建　　具	アルミサッシ（カラー）　、アルミ製自動ドア、スチール製建具 軽量鋼製ハンガー引戸（屋外仕様）、アルミ製ハンガー引戸		天井：木製野縁組　合板ｔ9＋杉羽目板ｔ12　木材保護着色塗料 木枠・見切材：木材保護着色塗料
軒樋・竪樋	軒樋：耐候性樹脂被覆鋼板 竪樋：アルミ押出成型管（カラー）	犬　走　り	コンクリート金ゴテ仕上

■ 特記仕様

1.断熱材仕様	土間下（外通路、設備スペースを除く）：押出法ポリスチレンフォームｔ30＋ポリエチレンシートｔ0.15敷 ビットスラブ下、側面：押出法ポリスチレンフォームｔ30打込
	外壁面：高性能グラスウールｔ100（24kg/m3）充填（男女トイレB、外部倉庫Ａ・Ｂ、設備スペース、給湯・物入に面する壁面を含む） 外壁面および外壁面から0.6mの範囲の基礎立上りのＲＣ面：現場発泡ウレタンｔ25吹付（外部倉庫Ａ・Ｂ、設備スペース、給湯・物入に面する面を含む）
	天井裏：高性能グラスウール敷込みｔ50+50（24kg/m3）
2.コンクリート打増し	外部に面する部分は、特記なき限り打増しｔ＝20とする。（外部倉庫、設備スペース、給湯器・物入を含む） コンクリートの出隅部分は、面木を使用とする。
3.外壁下地仕様	サイディング張りの下地胴縁は、縦胴縁18×45　@455とする。 羽目板張りの下地胴縁は、横胴縁18×45　@455とする。
4.内部壁下地仕様	外壁等の基礎立上りに面する壁の下地は、縦胴縁45×40　@455、横胴縁18×45　@303とする。バリアフリートイレの一部は縦胴縁105×30　@455とする。 内部間仕切壁の下地は、横胴縁18×45　@303とする。（バリアフリートイレの一部は縦胴縁105×30　@455とする。）
5.仕上仕様	ビニル床シートは、溶接工法とすること。 汚垂石は、抗菌仕様のタイル製とする。
	化粧ケイ酸カルシウム板の目地コーキングは、シリコン系（防カビ仕様）とする。 化粧ケイ酸カルシウム板のジョイント目地は縦目地のみとして、水平目地は設けないこと。
	サッシ、建具の額縁は、特記なき限り、木製＋木材保護着色塗料塗（屋内仕様）とする。 ＷＰＳ（木材保護着色塗料塗り）は、屋外を３回塗り、屋内を２回塗りとする
	内部で使用する塗料材料、天井裏等の使用材料は、Ｆ☆☆☆とする。 外壁の水切材の出隅部分は、面取り加工又は、ガード材取付とする。
	掲示壁は、シナ合板ｔ5.5（難燃）下地　掲示クロス（準不燃）とし、周囲は木枠見付25（WPS）とする。 手摺等の設備機器の取付で下地補強が必要な場合は、建築工事とする。
6.その他	ユニットシャワーは、0812タイプとし、コイン式シャワーユニット取付対応とし、固定用壁裏補強木を取付とする。 シャワーパネルは、コイン式シャワーユニットとする。
	竪樋はバンドレス仕様とし、受金具は一本ボルト支持金具とする。 埋込消火器ボックスは、スチール製（扉共）、壁掛消火器BOXはステンレス製とする。

■ 内部仕上表

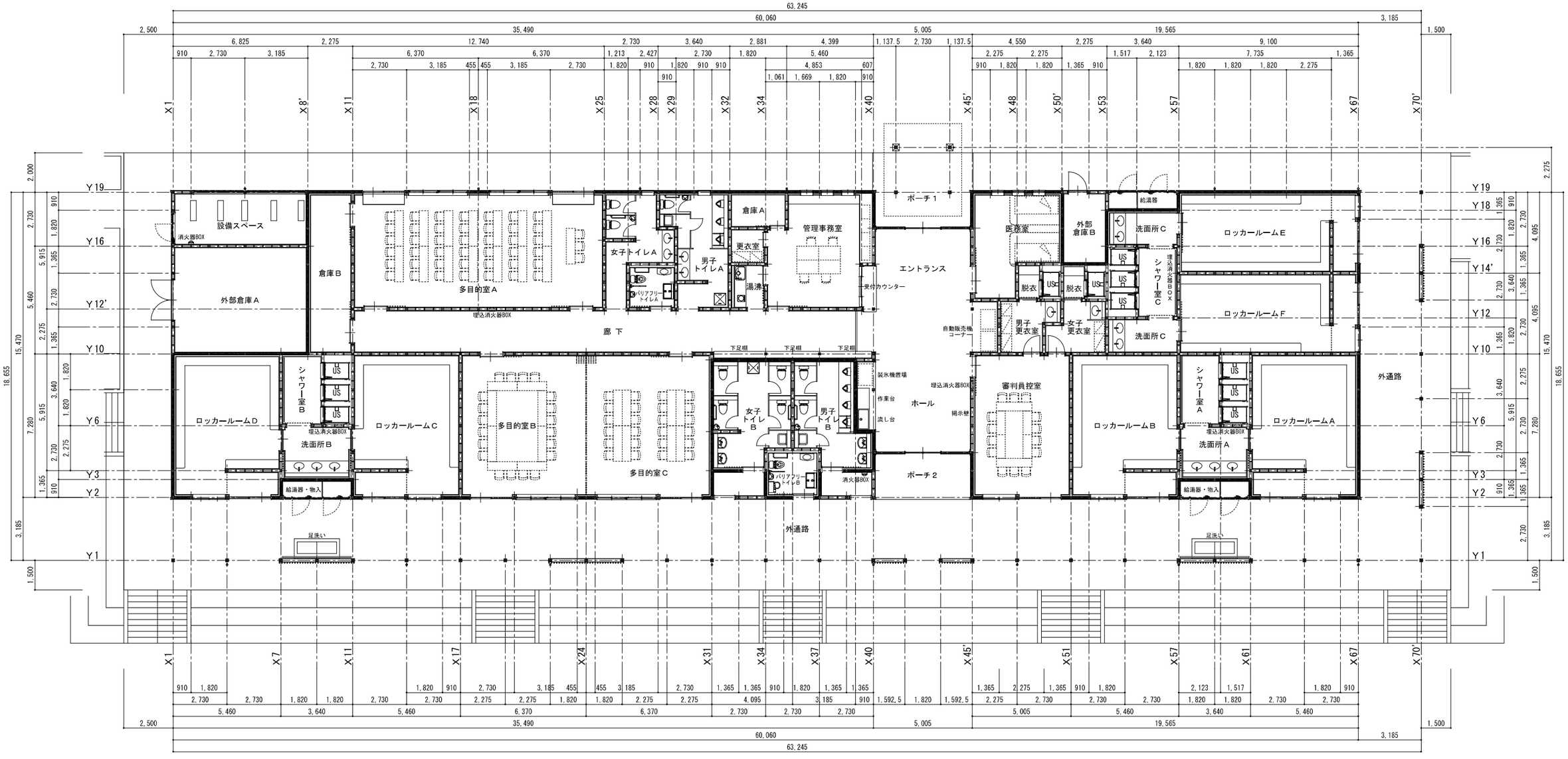
室　名	床　高	床		巾　木		壁		天　井		廻り縁	天井高	備　考 ※〔　〕内は、機械設備工事を表す
		下　地	仕　上	仕　上	H	下　地	仕　上	下　地	仕　上			
エントランス	±0	モルタル	防滑性ビニル床シートｔ2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5+9.5　ビニールクロス（H=3200） 上部：石膏ボードｔ12.5　ＥＰ	木野縁組	石膏ボードｔ9.5+ロックウール吸音板ｔ9 木製梁：木材保護着色塗料（屋内仕様）	塩ビ製	4620～5595	受付カウンター 自動販売機コーナー
ホール	±0	モルタル	防滑性ビニル床シートｔ2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5+9.5　ビニールクロス	木野縁組	石膏ボードｔ9.5+ロックウール吸音板ｔ9 木製梁：木材保護着色塗料（屋内仕様）	塩ビ製	3000	流し台、作業台 掲示壁、埋込消火器BOX
管理事務室	±0	ＯＡフロア	タイルカーペット敷	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5+9.5　ビニールクロス	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2700	ブラインドBOX、ブラインド、窓下収納棚 総合盤〔電気設備工事〕
職員更衣室	±0	モルタル	複層ビニル床シートｔ2.0	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5　ＥＰ	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	
倉庫Ａ	±0	モルタル	複層ビニル床シートｔ2.0	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5　ＥＰ	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	
湯沸室	±0	モルタル	複層ビニル床シートｔ2.0	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5　ＥＰ	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	流し台、吊戸棚、フード ライニング
男子トイレＡ	±0	モルタル	複層ビニル床シートｔ2.0	SUS巾木	60	木製胴縁	耐水石膏ボードｔ12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	ライニング、汚垂石、洗面カウンター、棚板、SUSパイプ（Sカン付）、床下点検口 〔鏡、手摺（小便器用、Ｌ型）　、ベビーチェア〕
女子トイレＡ	±0	モルタル	複層ビニル床シートｔ2.0	SUS巾木	60	木製胴縁	耐水石膏ボードｔ12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	洗面カウンター 〔鏡、手摺（Ｌ型）、ベビーチェア〕
バリアフリートイレＡ	±0	モルタル	複層ビニル床シートｔ2.0	SUS巾木	60	木製胴縁	耐水石膏ボードｔ12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	〔鏡、手摺（Ｌ型、跳ね上げ式）、ベビーチェア、ベビーシート〕
多目的室Ａ	±0	モルタル	長尺弾性ビニル床シートｔ7.5 一部：磁器質100角タイル貼り	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5+9.5　ビニールクロス 一部：合板ｔ9+羽目板ｔ12（難燃）　木材保護着色塗料（屋内仕様）	木野縁組	石膏ボードｔ9.5+ロックウール吸音板ｔ9 木製梁：木材保護着色塗料（屋内仕様）	塩ビ製	2900	ブラインドBOX、ブラインド、壁面鏡、ロールスクリーン スクリーンBOX、電動スクリーン〔電気設備工事〕、プロジェクター〔電気設備工事〕
倉庫Ｂ	±0	モルタル	複層ビニル床シートｔ2.0	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5+9.5　ＥＰ	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	
多目的室Ｂ・Ｃ	±0	モルタル	防滑性ビニル床シートｔ2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5+9.5　ビニールクロス 一部：合板ｔ9+羽目板ｔ12（難燃）　木材保護着色塗料（屋内仕様）	木野縁組	石膏ボードｔ9.5+ロックウール吸音板ｔ9 木製梁：木材保護着色塗料（屋内仕様）	塩ビ製	2900	カーテンBOX、カーテンレール、カーテン スライディングウォール
廻　下	±0	モルタル	複層ビニル床シートｔ2.0	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5+9.5　ビニールクロス（H=3200） 上部：石膏ボードｔ12.5　ＥＰ	木野縁組	石膏ボードｔ9.5+ロックウール吸音板ｔ9 木製梁：木材保護着色塗料（屋内仕様）	塩ビ製	5065～5590	下足棚、掲示壁、ピクチャーレール、 埋込消火器BOX
医務室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シートｔ2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5+9.5　ビニールクロス	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2700	ブラインドBOX、ブラインド カーテンレール、医療用カーテン
審判員控室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シートｔ2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5+9.5　ビニールクロス	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2700	ブラインドBOX、ブラインド
男子更衣室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シートｔ2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5　ＥＰ	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	ライニング、洗面カウンター 〔鏡〕
男子脱衣室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シートｔ2.0	ビニル巾木	60	木製胴縁	耐水石膏ボードｔ12.5　ＥＰ	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	脱衣棚、ユニットシャワー（0812・シャワーパネル付） カーテンレール、シャワーカーテン
女子更衣室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シートｔ2.5（屋外対応）	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5　ＥＰ	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	ライニング、洗面カウンター、隅て板 〔鏡〕
女子脱衣室	±0	モルタル	防滑性ビニル床シートｔ2.0	ビニル巾木	60	木製胴縁	耐水石膏ボードｔ12.5　ＥＰ	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	脱衣棚、ユニットシャワー（0812・シャワーパネル付） カーテンレール、シャワーカーテン
ロッカールームＡ～Ｆ	±0	――	コンクリート金ゴテ　防塵塗床	ビニル巾木	60	木製胴縁	石膏ボードｔ12.5+9.5　ビニールクロス貼り 一部：合板（特類）ｔ15捨張り　化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2700	ベンチ、荷物用フック カーテンレール、シャワーカーテン
洗面所Ａ～Ｃ	±0	モルタル	防滑性ビニル床シートｔ2.0	ビニル巾木	60	木製胴縁	耐水石膏ボードｔ12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6	木野縁組	ケイ酸カルシウム板ｔ6　ＥＰ	塩ビ製	2500	ライニング、洗面カウンター、埋込消火器BOX 〔鏡〕
シャワー室Ａ～Ｄ	±0	モルタル	防滑性ビニル床シートｔ2.0	ビニル巾木	60	木製胴縁	耐水石膏ボードｔ12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6	木野縁組	ケイ酸カルシウム板ｔ6　ＥＰ	塩ビ製	2500	ユニットシャワー（0812・シャワーパネル付） カーテンレール、シャワーカーテン
男子トイレＢ	＋20	モルタル	磁器質100角タイル貼り	45ー二丁掛タイル	100	木製胴縁	耐水石膏ボードｔ12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	ライニング、洗面カウンター、汚垂石、棚板、SUSパイプ（Sカン付）、床下点検口 〔鏡、手摺（小便器用、Ｌ型）　、ベビーチェア〕、壁掛消火器BOX
女子トイレＢ	＋20	モルタル	磁器質100角タイル貼り	45ー二丁掛タイル	100	木製胴縁	耐水石膏ボードｔ12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	ライニング、洗面カウンター、棚板、SUSパイプ（Sカン付） 〔鏡、手摺（Ｌ型）、ベビーチェア〕
バリアフリートイレＢ	±0	モルタル	磁器質100角タイル貼り	45ー二丁掛タイル	100	木製胴縁	耐水石膏ボードｔ12.5＋化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6	木野縁組	化粧石膏ボードｔ9.5	塩ビ製	2500	〔オストメイト、鏡、手摺（Ｌ型、跳ね上げ式）、ベビーチェア、ベビーシート〕
外部倉庫Ａ	＋50	――	コンクリート金ゴテ　防塵塗床	コンクリート　防塵塗床 （基礎立上り）	250	木製胴縁	合板ｔ9＋ケイ酸カルシウム板ｔ6　ＥＰ	木野縁組	ケイ酸カルシウム板ｔ6　ＥＰ	塩ビ製	2700	
外部倉庫Ｂ	＋50	――	コンクリート金ゴテ　防塵塗床	コンクリート　防塵塗床 （基礎立上り）	250	木製胴縁	合板ｔ9＋ケイ酸カルシウム板ｔ6　ＥＰ	木野縁組	ケイ酸カルシウム板ｔ6　ＥＰ	塩ビ製	2500	
設備スペース	-225	――	コンクリート金ゴテ　防塵塗床	――	――	木製胴縁 ――	窯業系サイディングｔ16張り（金具工法）　下地：外壁同材 基礎立上り：コンクリート打放し	木野縁組	ケイ酸カルシウム板ｔ6　ＥＰ	塩ビ製	3300	アルミ製目隠しルーバー（門扉付）、設備基礎 壁掛消火器BOX
給湯器・物入	±0～＋20 -40～20	――	コンクリート金ゴテ仕上	――	――	木製胴縁 ――	窯業系サイディングｔ16張り（金具工法）　下地：外壁同材 基礎立上り：コンクリート打放し	木野縁組	ケイ酸カルシウム板ｔ6　ＥＰ	塩ビ製	2500	アルミ製目隠しルーバー（門扉付） 仕切板

■ 共通事項

1.凡　例	ＥＰ　：合成樹脂エマルションペイント塗料塗り（防火性能　難燃［RM-9364］同等以上） ＷＰＳ：木材保護着色塗料塗り
	ＳＯＰ：合成樹脂調合ペイント塗り ＤＰ　：耐候性塗料塗り
	カラーガルバリウム鋼板：ポリエステル樹脂塗装溶融亜鉛55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 SUS：ステンレス304
2.防火材料リスト	石膏ボードｔ12.5　：NM－8619　　耐水石膏ボードｔ12.5　：QM－0898、NM－9639 石膏ボードｔ 9.5　：QM－9828　　化粧石膏ボードｔ 9.5　：QM－0524、NM－1864
	ケイ酸カルシウム板ｔ6、8 ：NM－8578　　ロックウール吸音板ｔ9 ：NM－8599 化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6：NM－4487、NM－5037　　ビニールクロス：防火性能　NM-3991、QM-0822

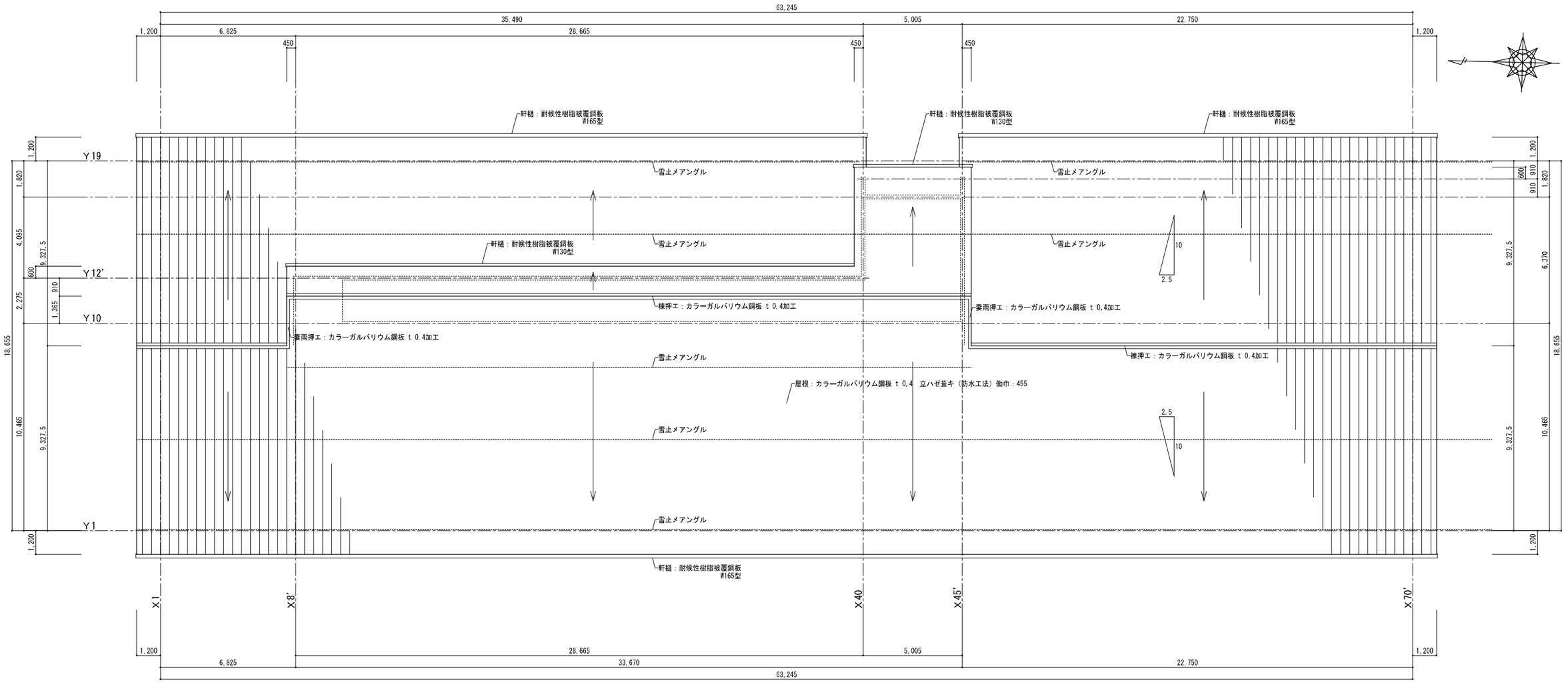
工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：クラブハウス　仕上表
縮　尺	：NON　　図面番号：Ａ－103
DATE	：　．　．

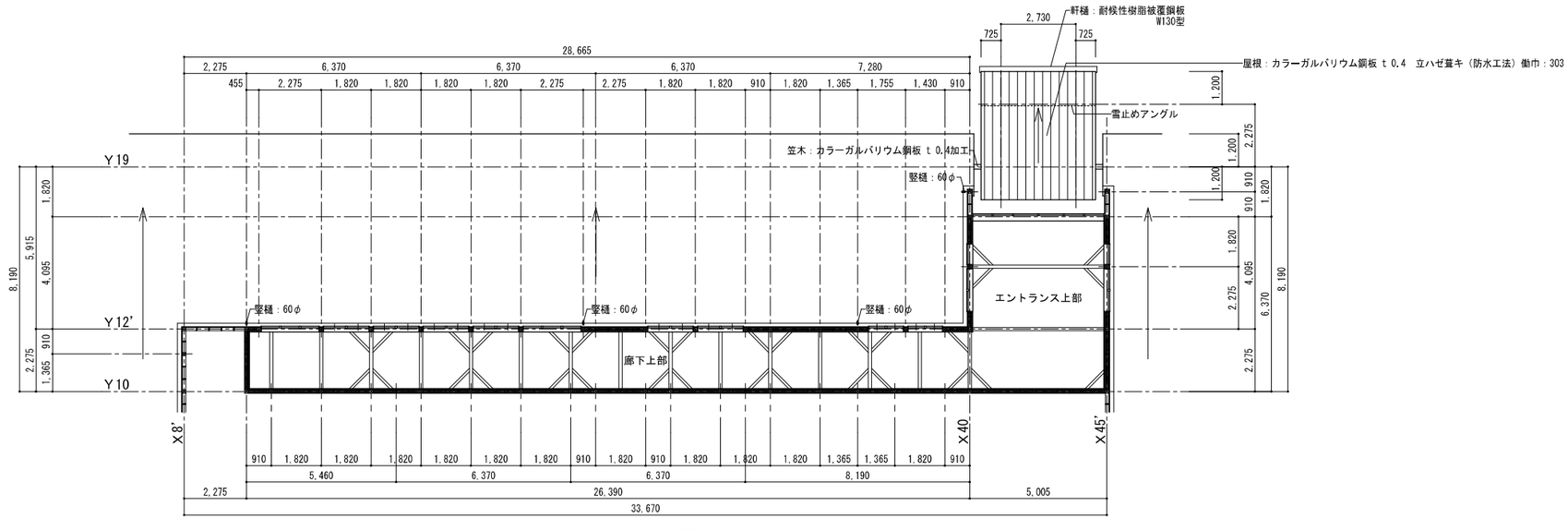
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　平面図
縮尺	1：100（A3=1：200）
図面番号	A－104
DATE	．．．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二

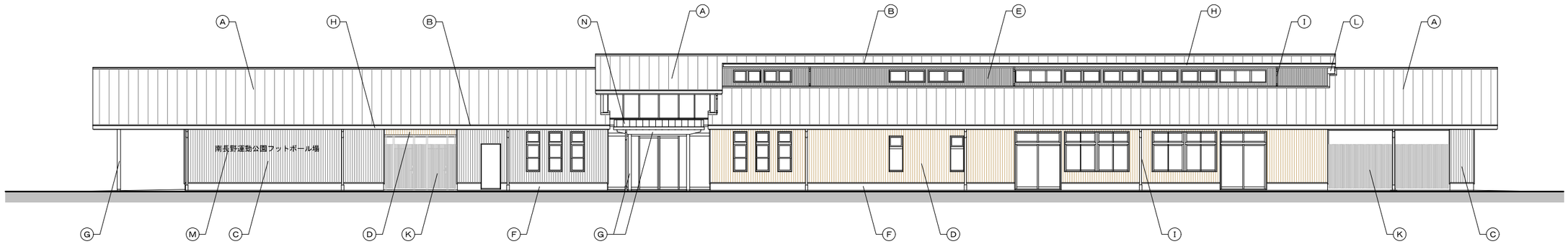




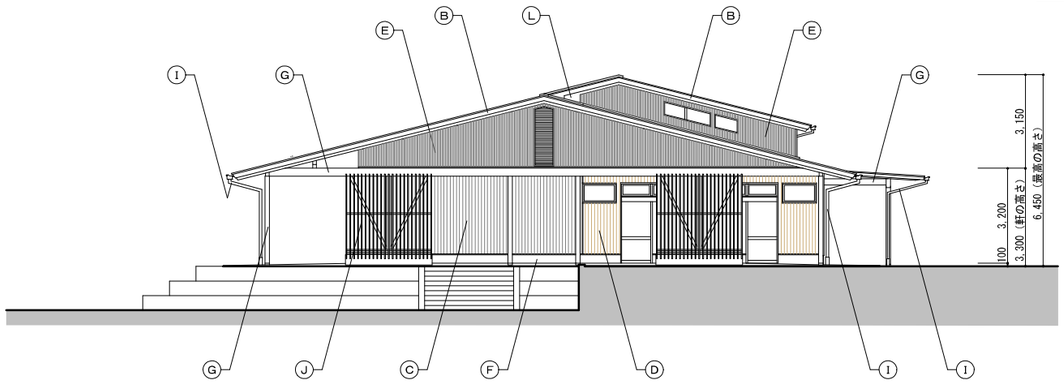
《 上部 平面図 》

工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス 屋根伏図
縮尺	1：100（A3=1：200）
図面番号	A－105
DATE	. .

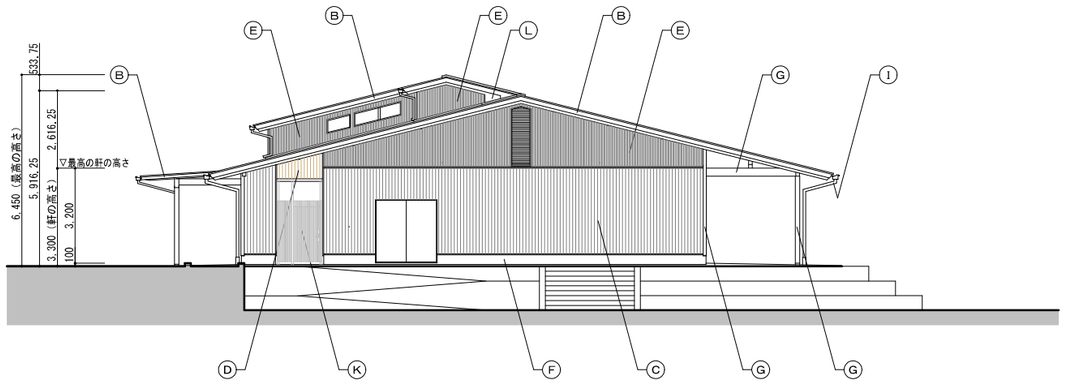
株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL. 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二



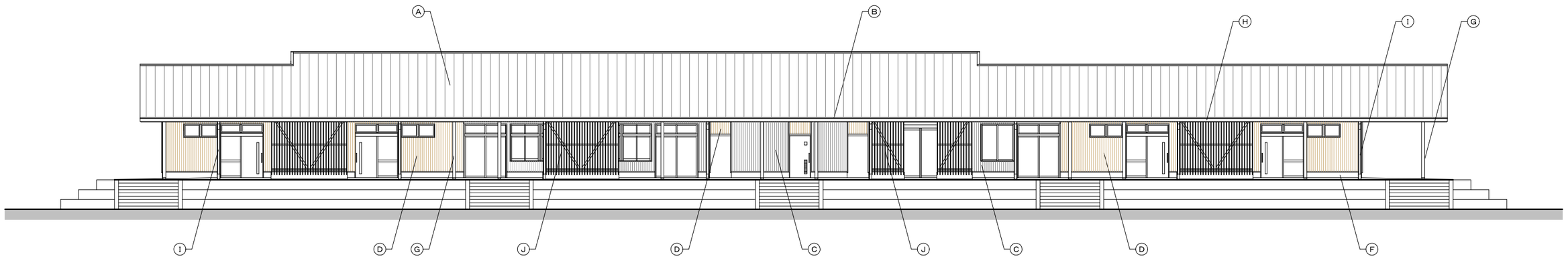
東側立面図



南側立面図



北側立面図



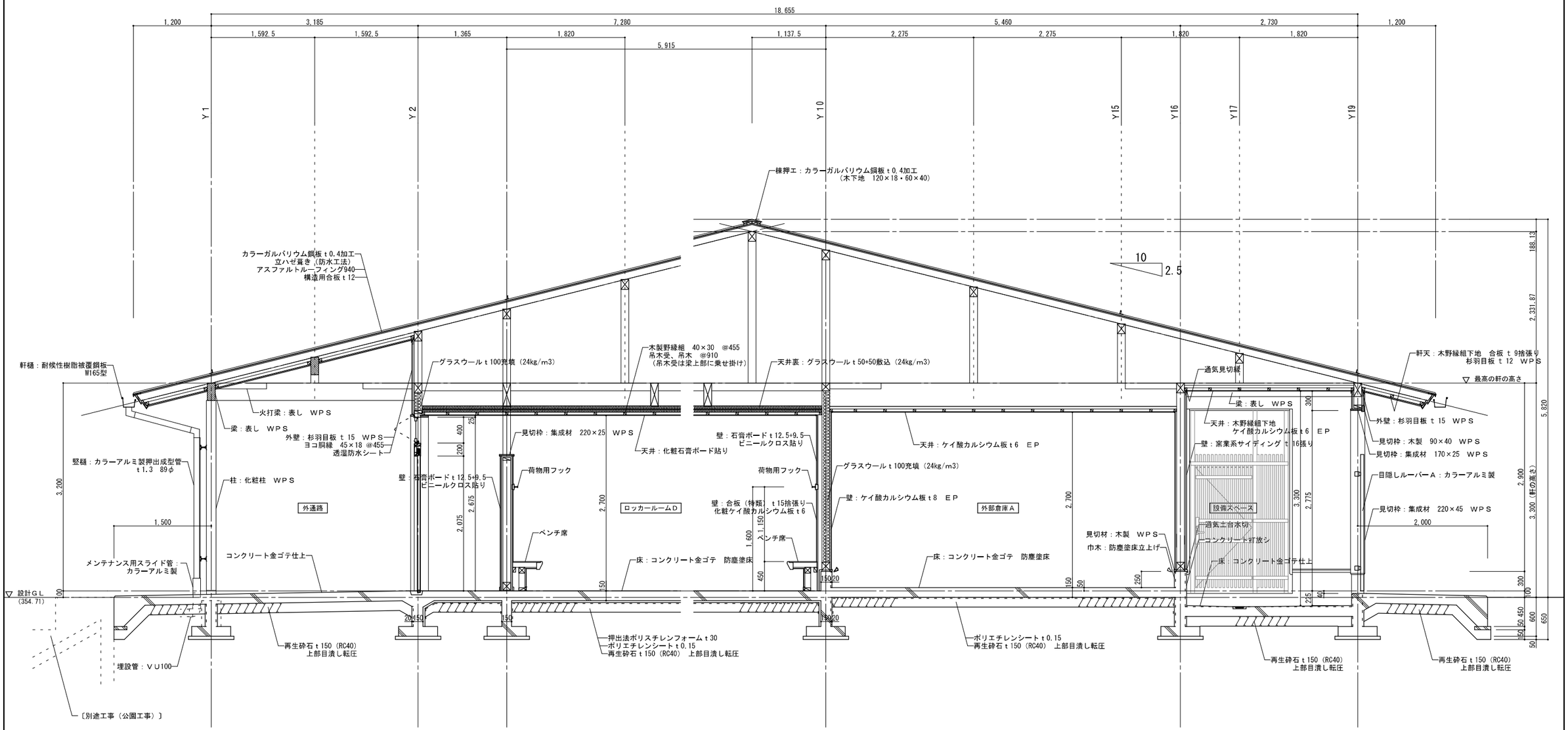
西側立面図

《外部仕上凡例》

Ⓐ	屋根：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4　立ハゼ葺キ（防水工法）　働巾455	Ⓗ	軒樋：耐候性樹脂被覆鋼板
Ⓑ	破風：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4加工（唐草、ケラバ 同材）	Ⓘ	竪樋：アルミ押出成形管（カラー）
Ⓒ	外壁：窯業系サイディング t 16張り（金具工法）	Ⓙ	化粧格子：カラーアルミ製
Ⓓ	外壁：杉羽目板 t 15張り　ＷＰＳ	Ⓚ	目隠しルーバー：カラーアルミ製
Ⓔ	外壁：金属サイディング t 15張り（リブ調）	Ⓛ	立上り：構造用合板 t 12下地　カラーガルバリウム鋼板 t 0.4張り
Ⓕ	基礎立上り：コンクリート打放シ	Ⓜ	館名板：SUS製箱文字　焼付塗装　300×300
Ⓖ	木部表し：ＷＰＳ	Ⓝ	屋根：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4　立ハゼ葺キ（防水工法）　働巾303

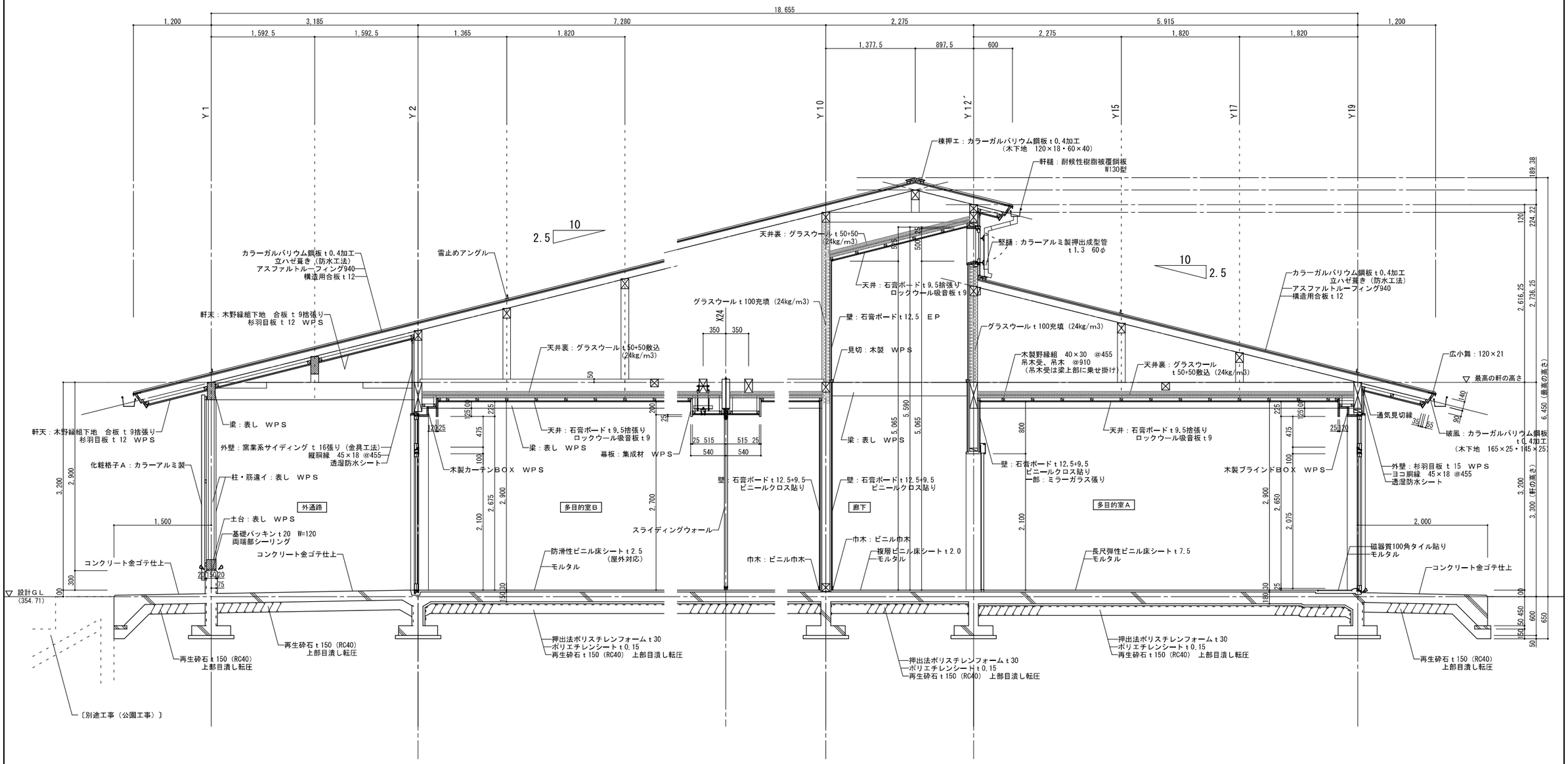
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　立面図
縮　尺	1：100（A3=1:200）　図面番号：Ａ－106
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



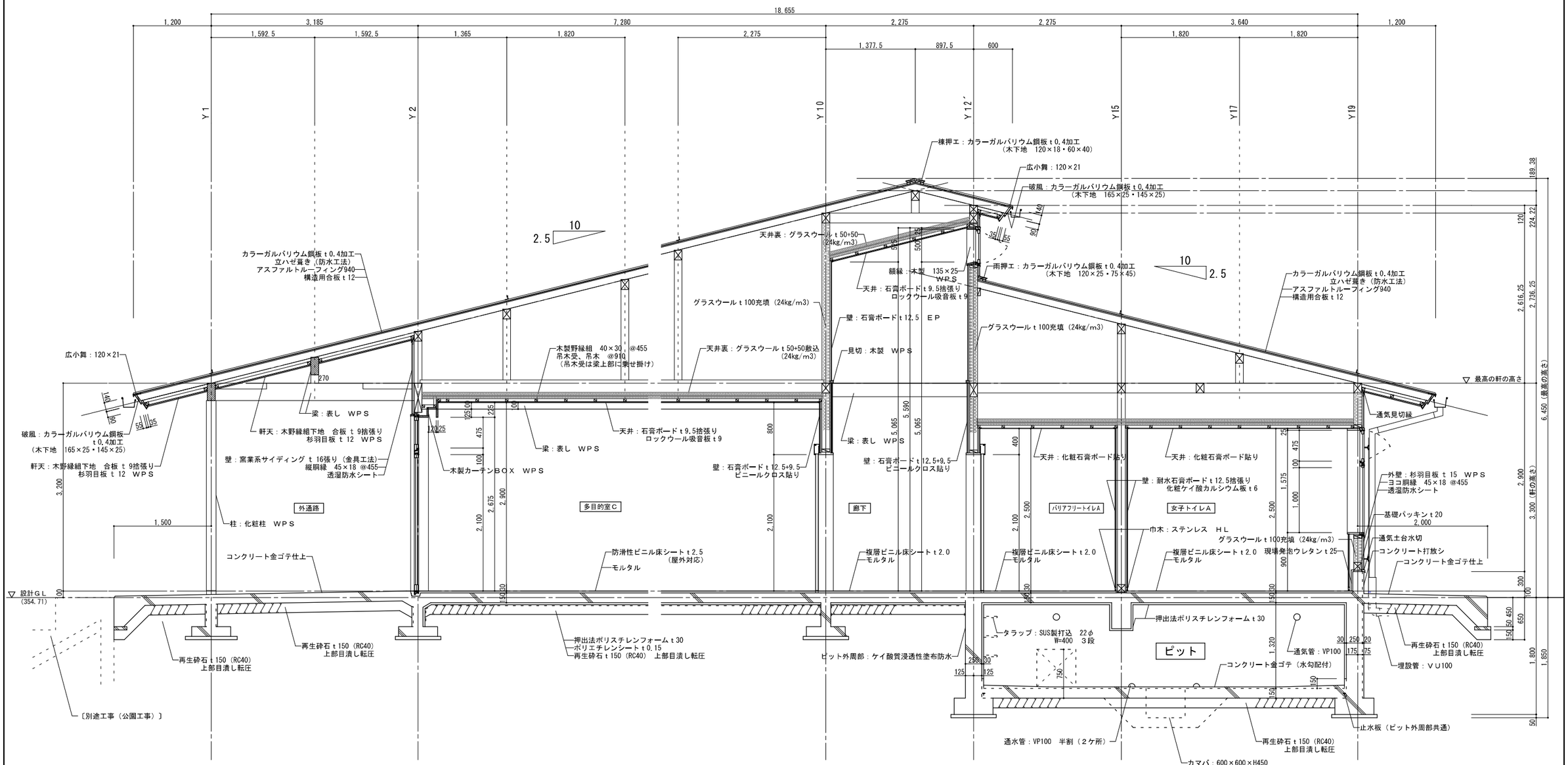
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　矩計図（１）
縮　尺	1：30（A3=1：60）　図面番号：A－107
DATE	．．．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



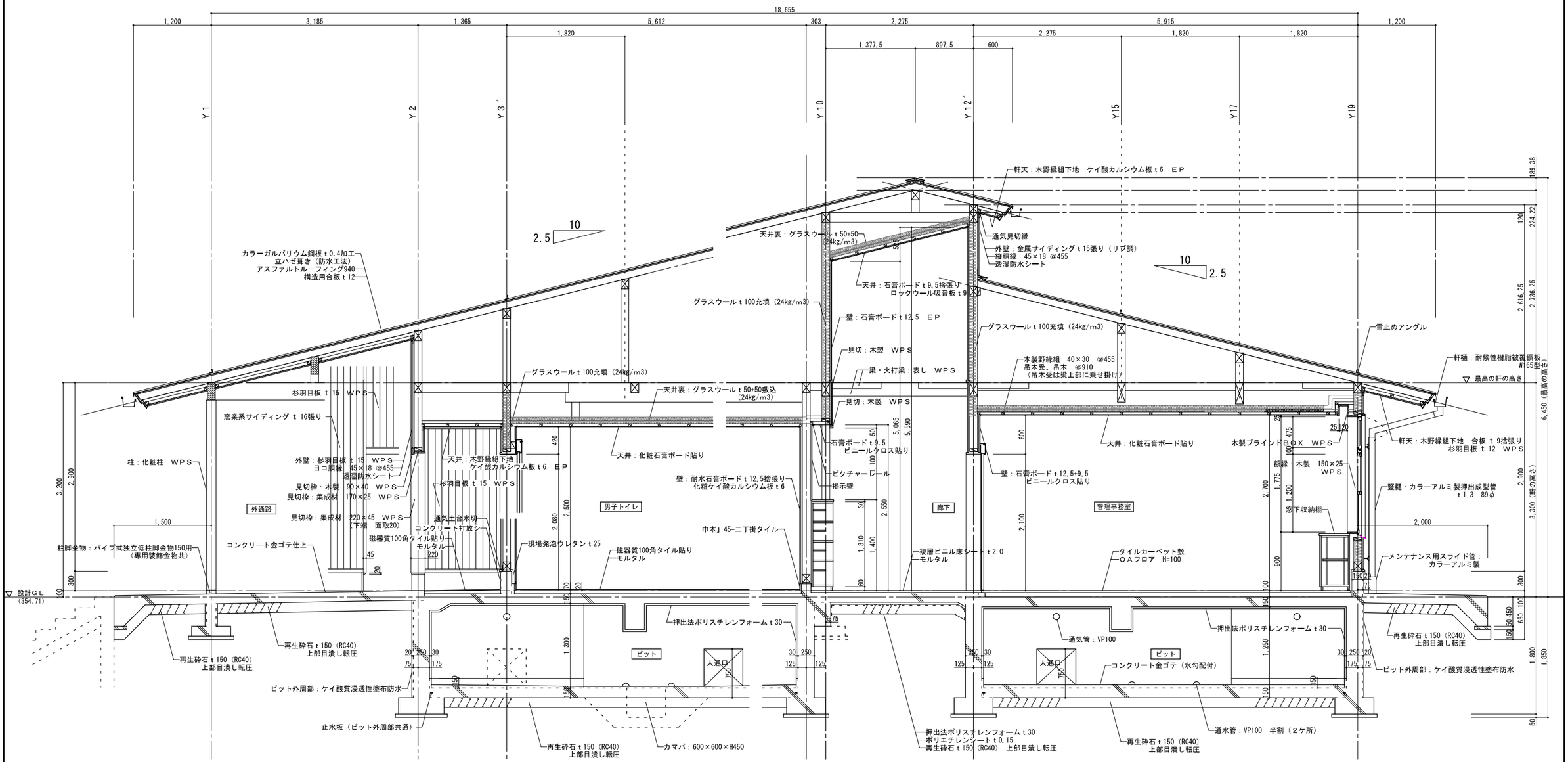
工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：クラブハウス　矩計図（２）
縮　尺	：1：30（A3=1：60）　図面番号：A－108
DATE	：　.　.

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



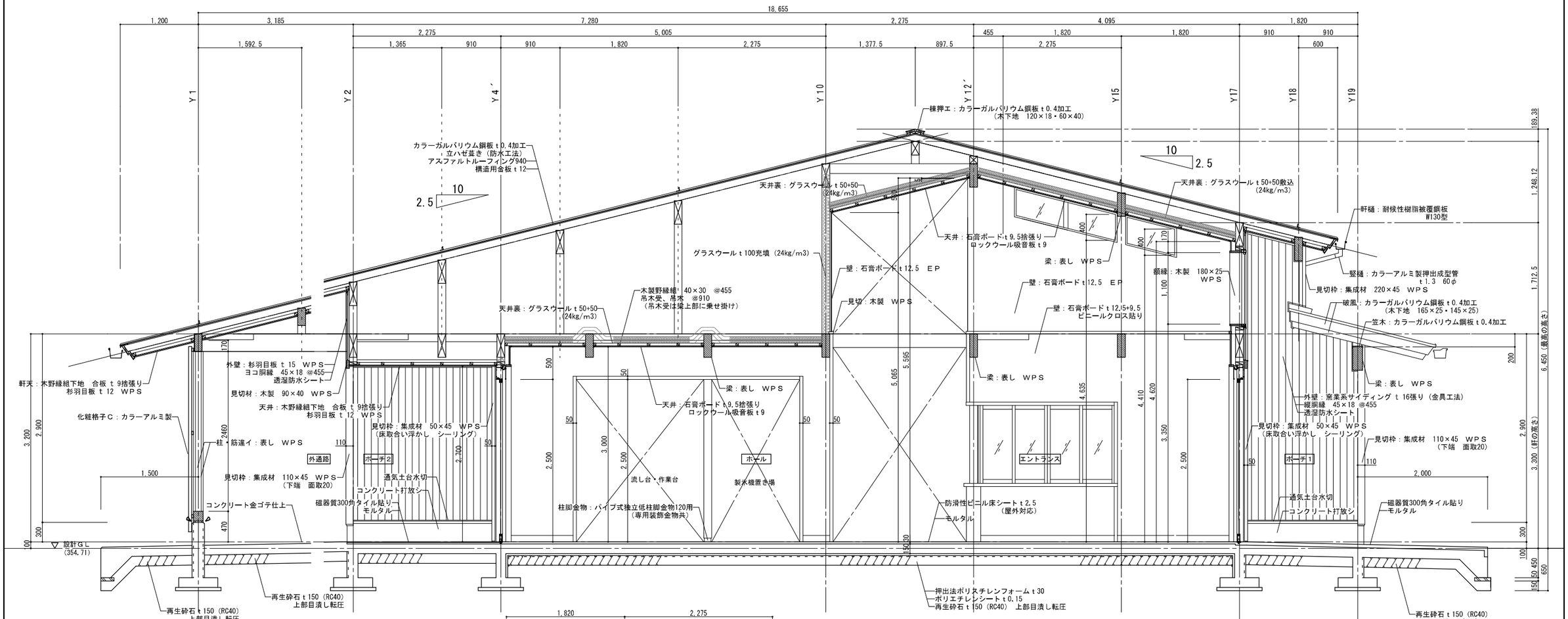
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　矩計図（３）
縮　尺	1：30（A3=1：60）
図面番号	Ａ－109
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



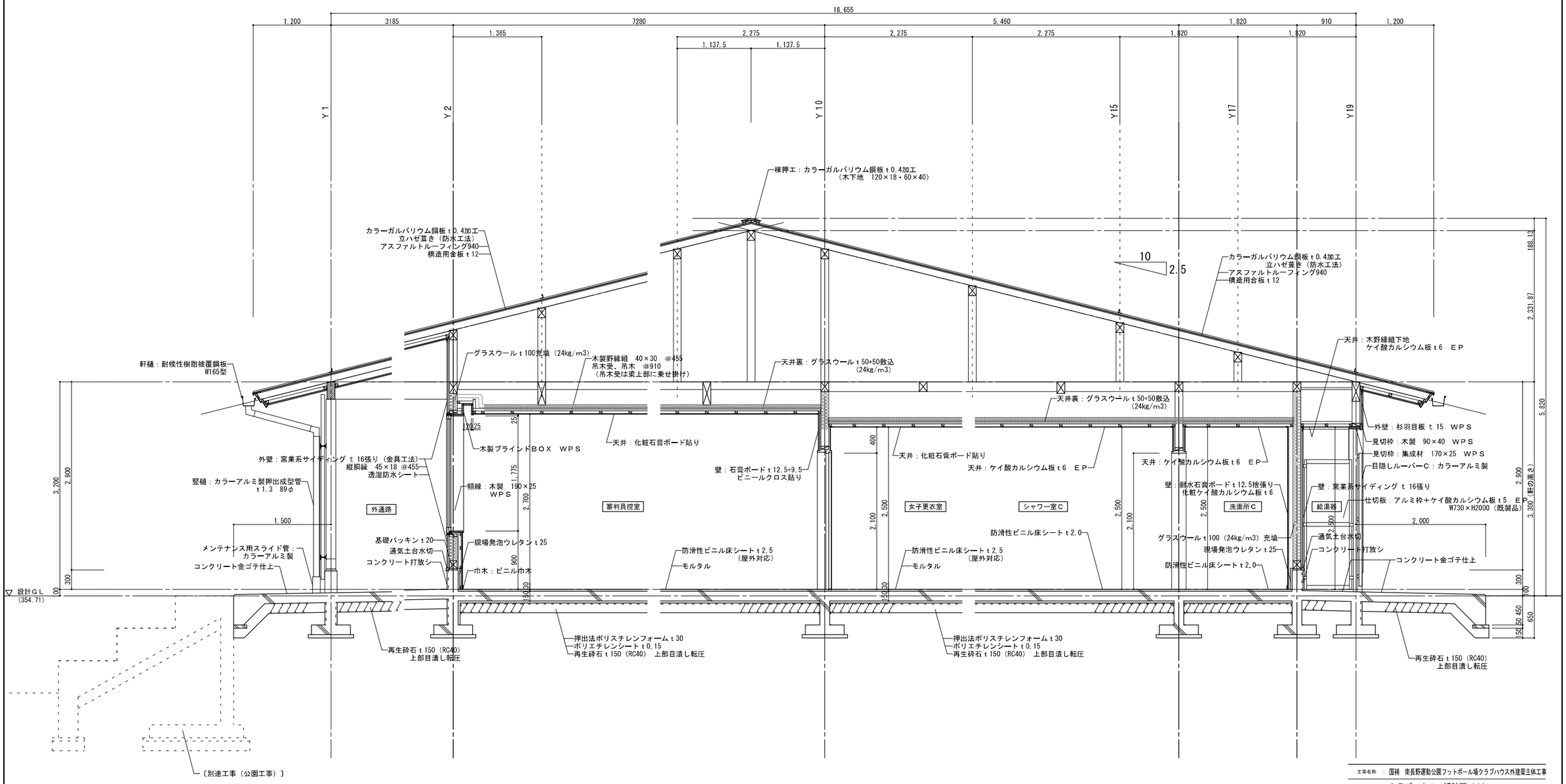
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　矩計図（４）
縮　尺	1：30（A3=1：60）
図面番号	Ａ－110
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



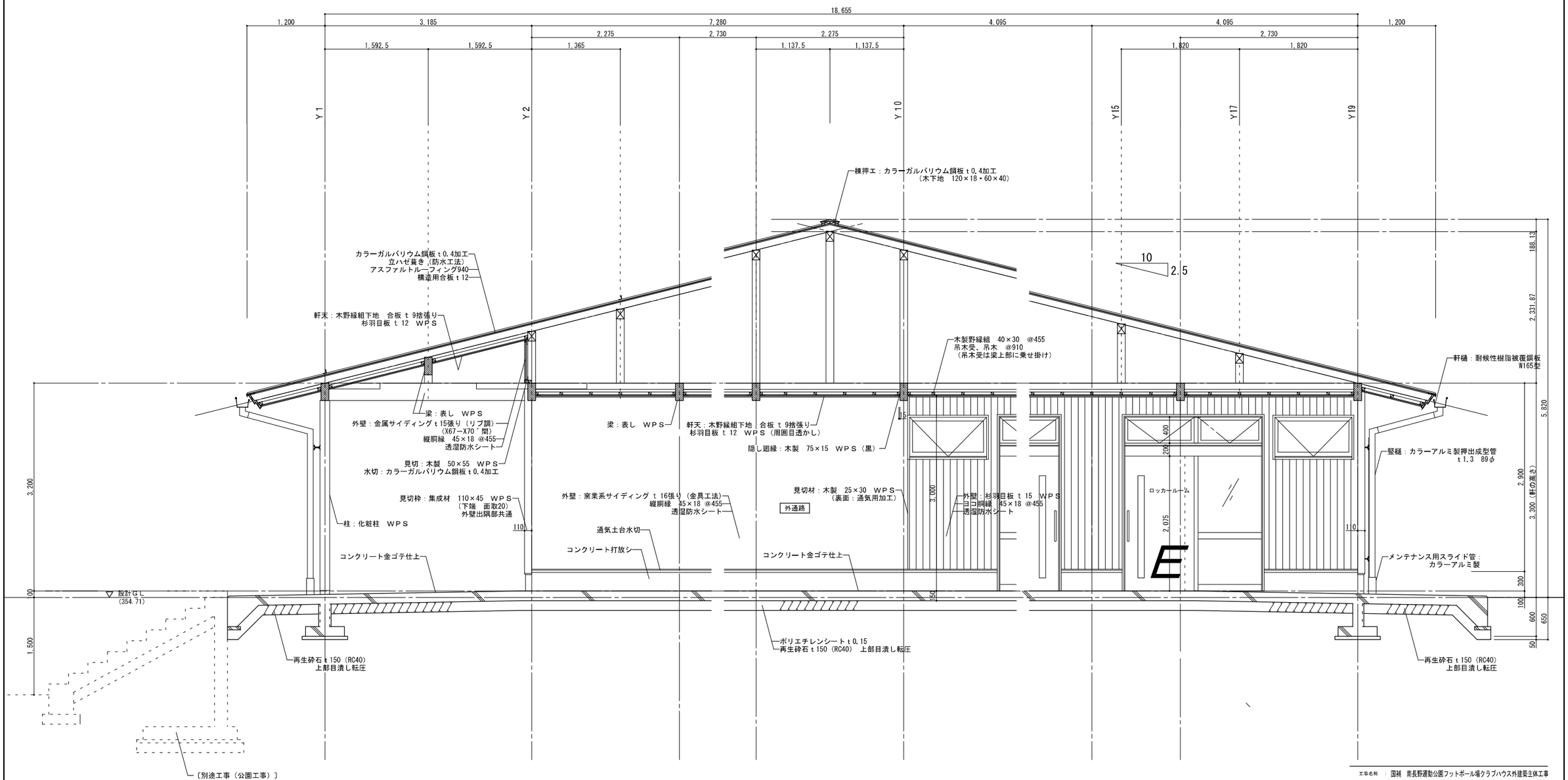
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　矩計図（５）
縮　尺	1：30（A3=1：60）
図面番号	A－111
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



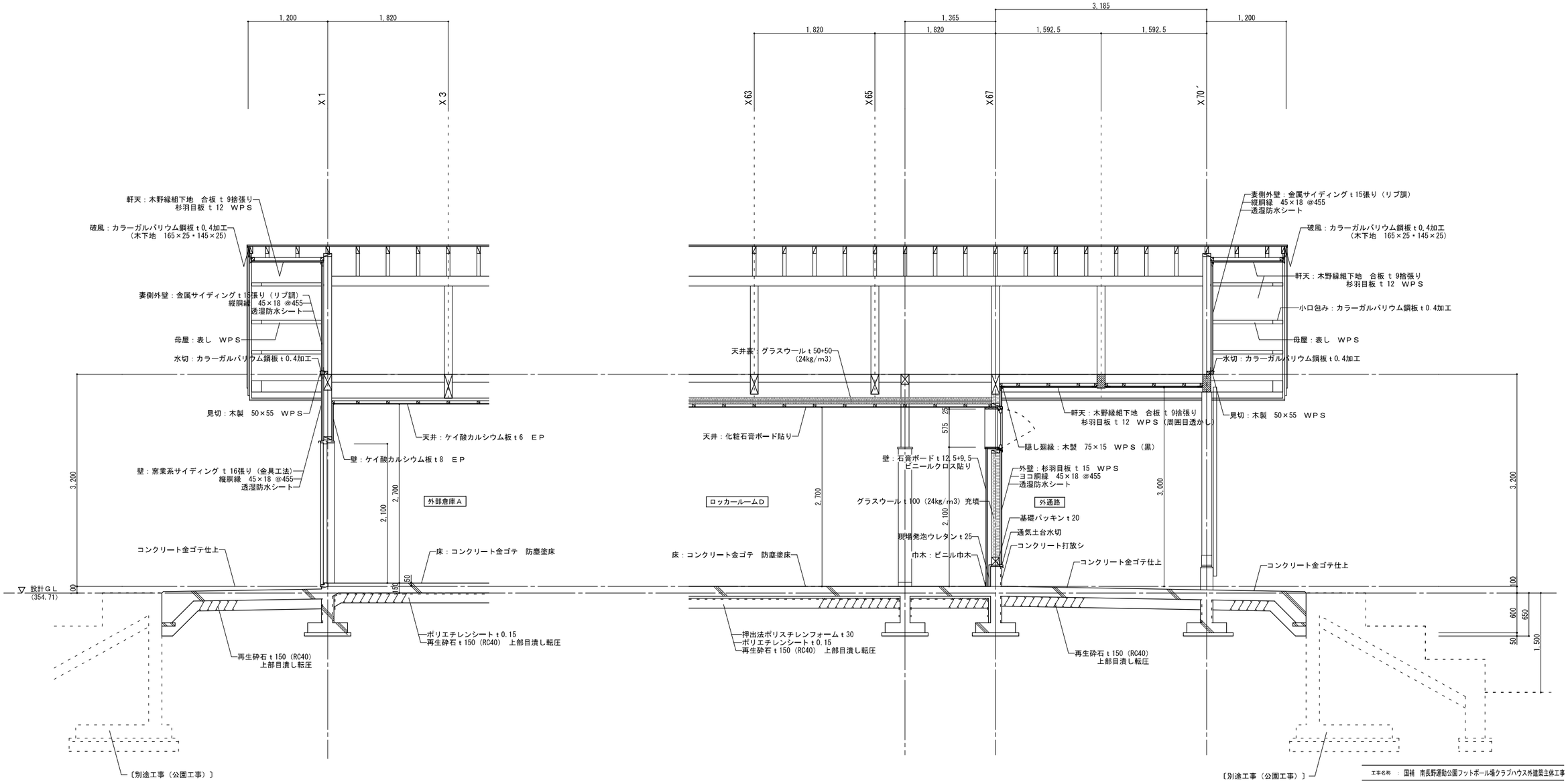
工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：クラブハウス　矩計図（６）
縮　尺	：１：30（A3=1：60）　図面番号：Ａ－112
DATE	： . .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



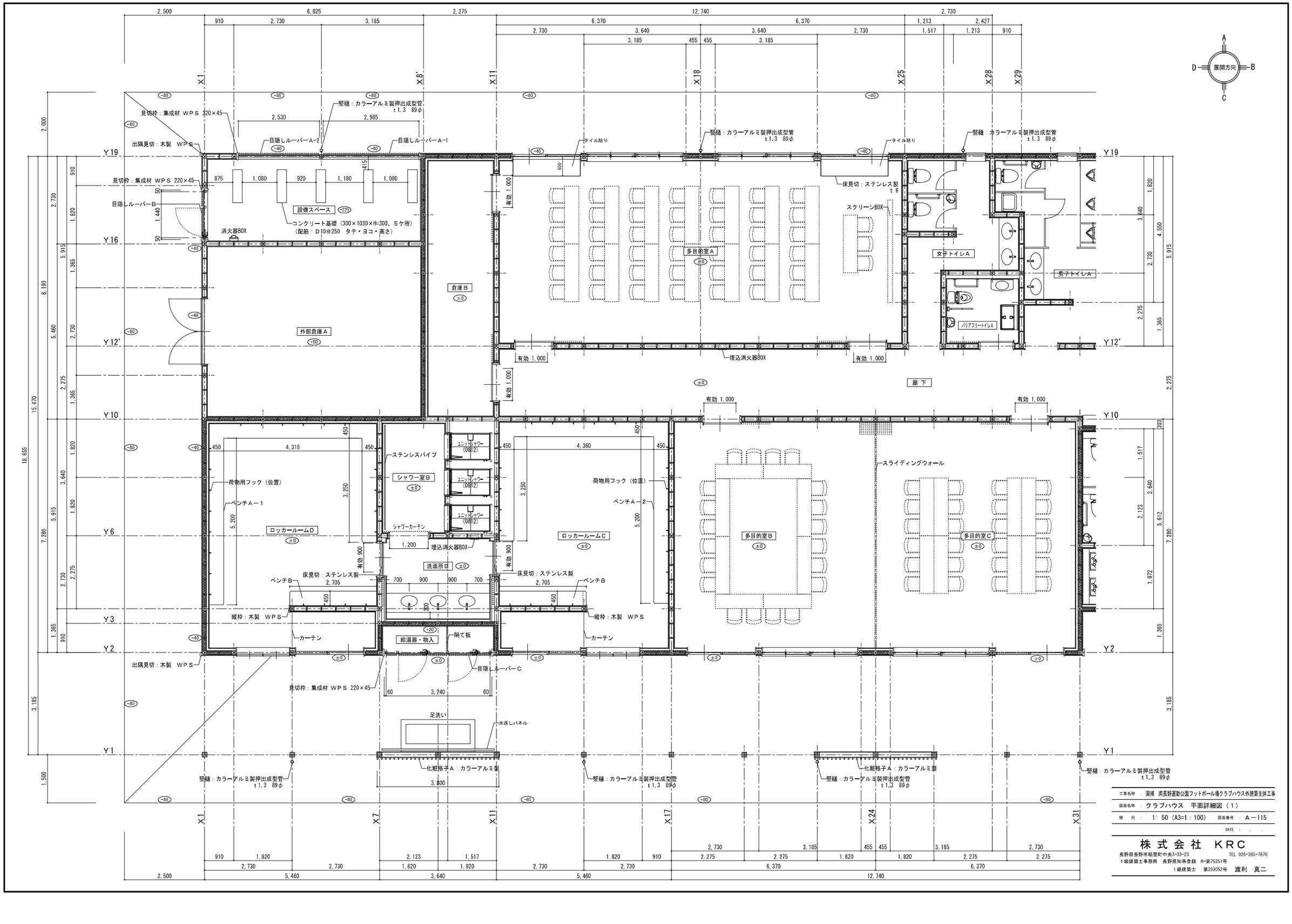
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　矩計図（７）
縮　尺	1：30（A3=1：60）　図面番号：Ａ－113
DATE	．　．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



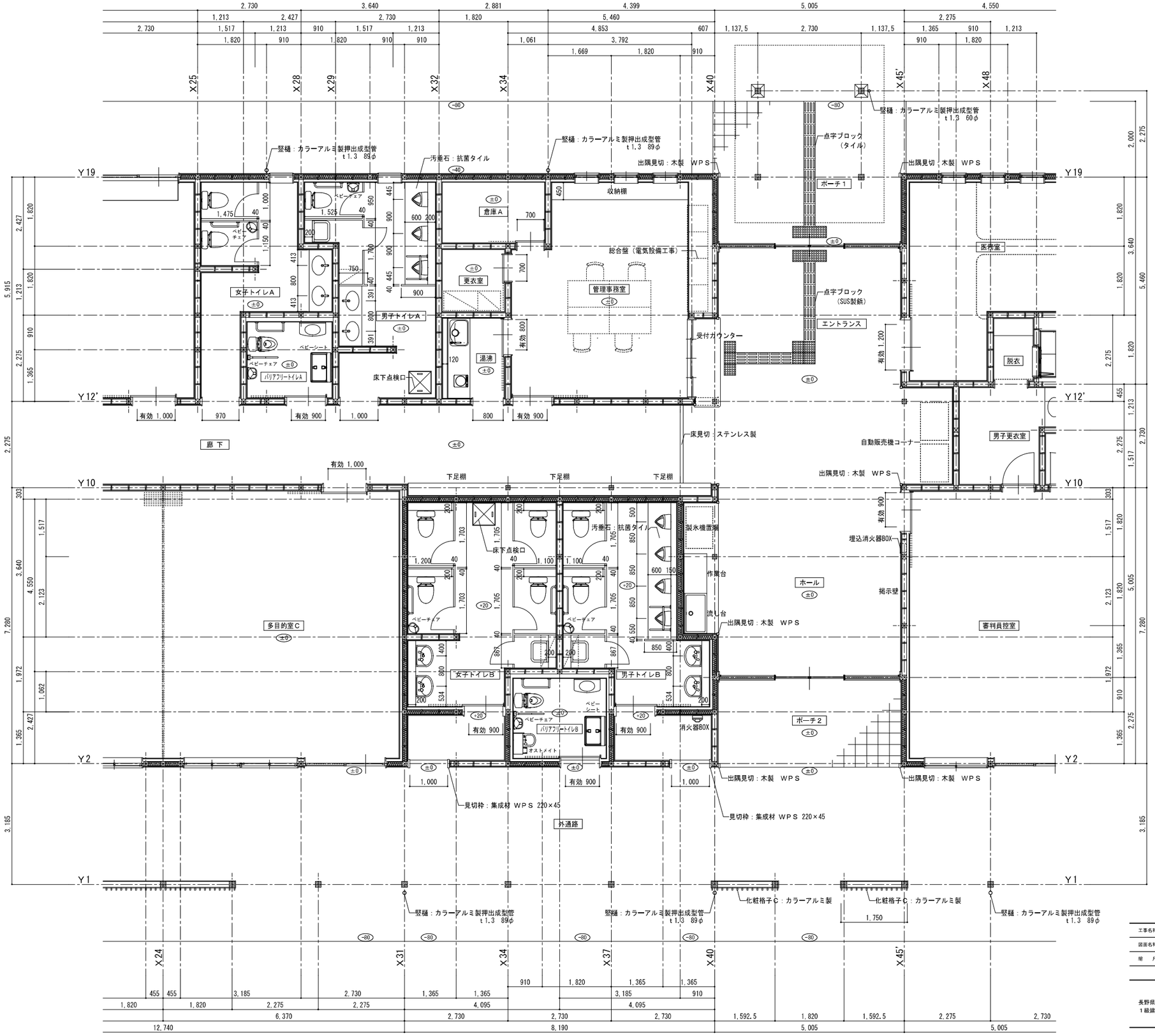
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　矩計図（8）
縮尺	1：30（A3=1：60）
図面番号	A－114
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二



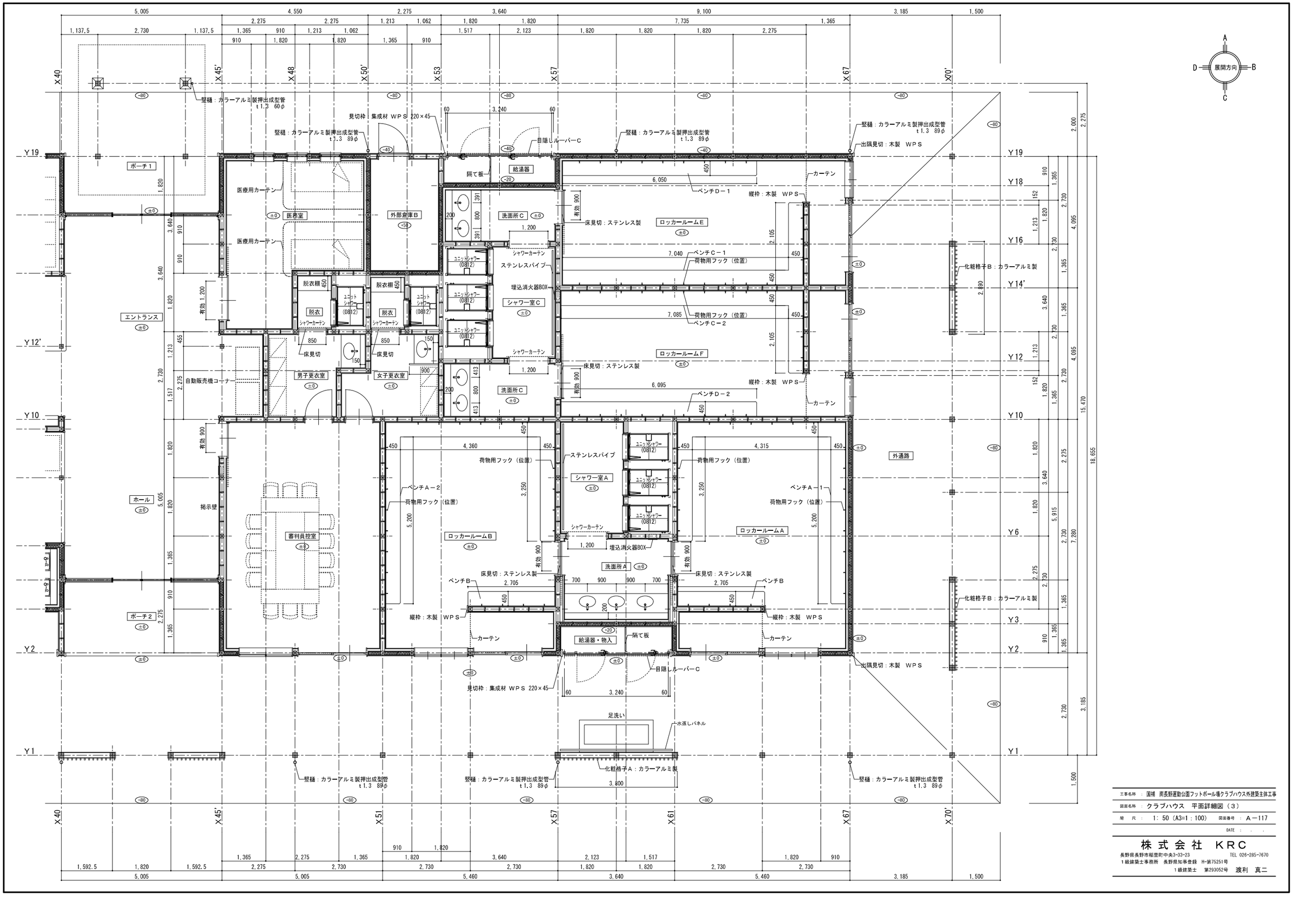
工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス 平面詳細図（1）
縮尺	1：50（A3=1：100）
図面番号	A－115
DATE	． ． ．

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二



工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス 平面詳細図（2）
縮尺	1：50（A3=1：100）
図面番号	A－116
DATE	． ． ．

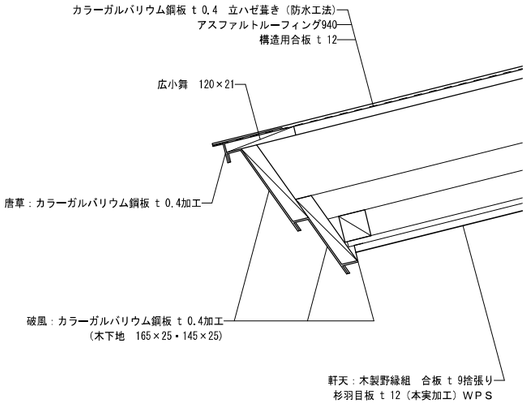
株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二



工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　平面詳細図（３）
縮　尺	1：50（A3=1：100）
図面番号	Ａ－117
DATE	．．．

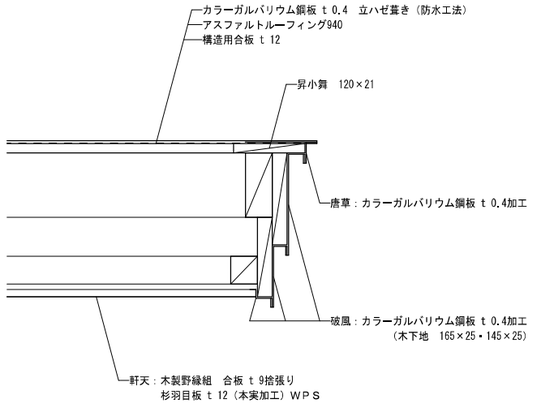
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

屋根（軒先）　S＝1：5



腰屋根部分軒天：木製野縁組　ケイ酸カルシウムい板ｔ6　ＥＰ

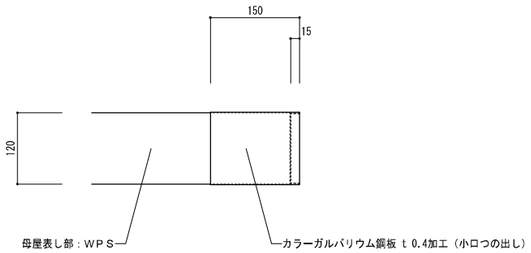
屋根（妻面）　S＝1：5



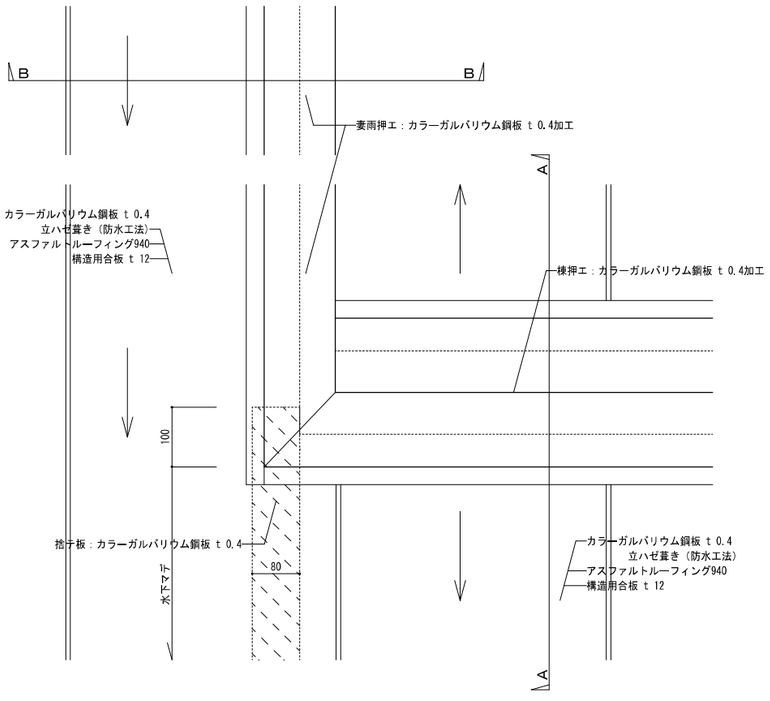
腰屋根部分軒天：木製野縁組　ケイ酸カルシウムい板ｔ6　ＥＰ

母屋小口　S＝1：5

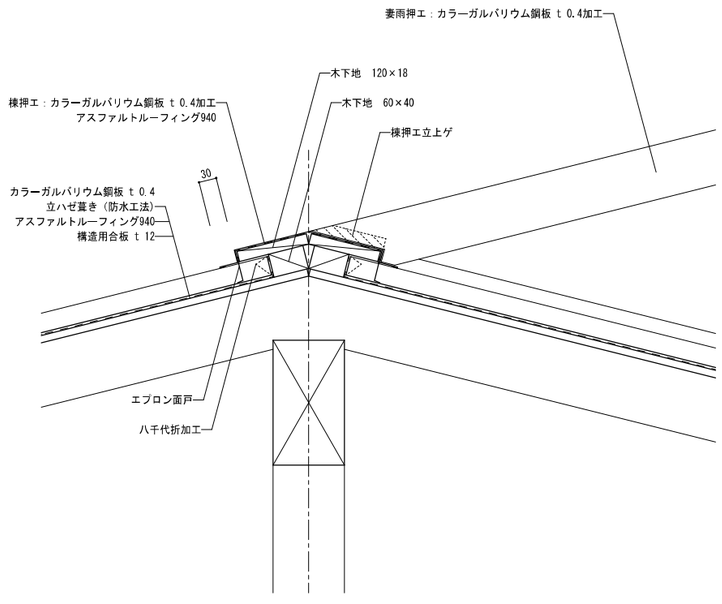
《見上図》



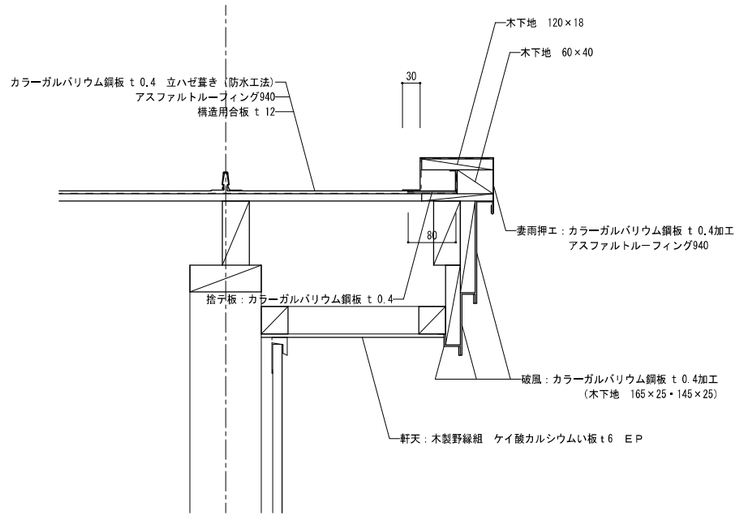
屋根　棟・妻雨押エ取合部　S＝1：5



屋根　棟部 Ａ－Ａ断面　S＝1：5



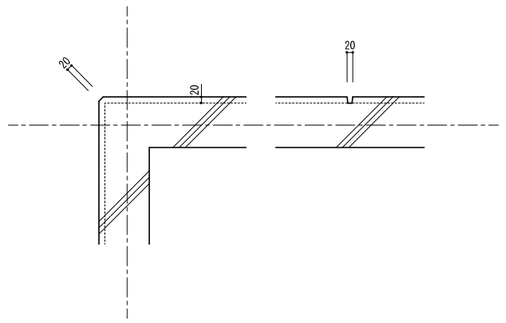
屋根　妻雨押エ Ｂ－Ｂ断面　S＝1：5



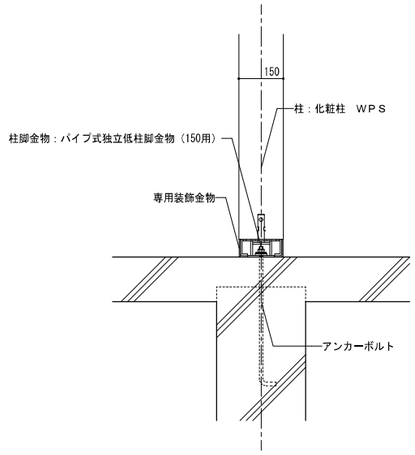
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　部分詳細図（１）
縮尺	1：10（A3=1：20） 1：5（A3=1：10）
図面番号	Ａ－118
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

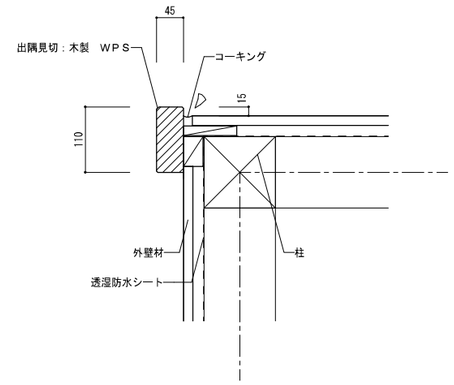
ＲＣ壁（出隅）　Ｓ＝１：１０



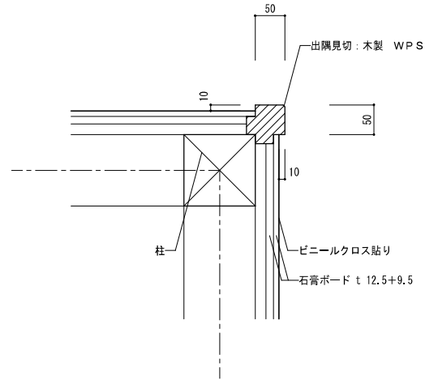
外部化粧柱柱脚部分　詳細図　Ｓ＝１：１０



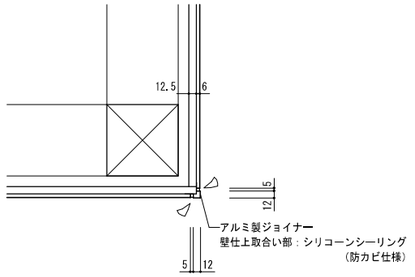
外壁出隅見切（木製）　Ｓ＝１：５



壁見切（出隅）：ボード面＋木製見切（一般）　Ｓ＝１：５

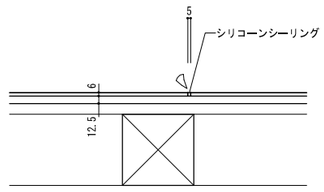


壁見切：化粧ケイ酸カルシウム板出隅（トイレ）　Ｓ＝１：５



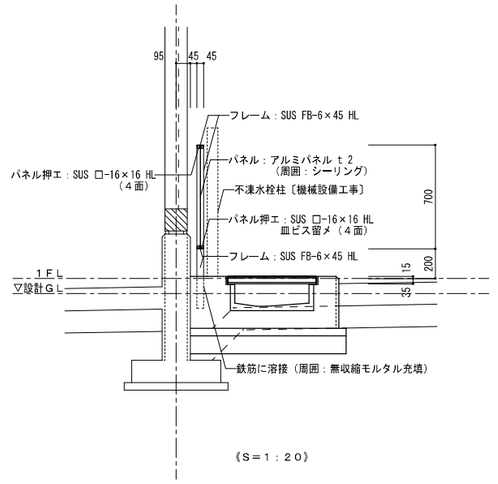
※ ◿ ：シリコーンシーリング（防カビ仕様）を示す

壁：化粧ケイ酸カルシウム板目地（トイレ）　Ｓ＝１：５

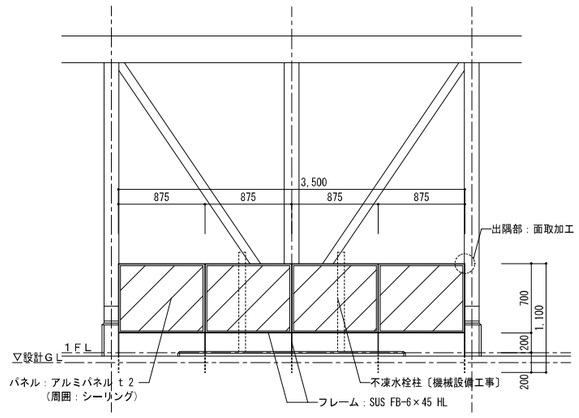


※ ◿ ：シリコーンシーリング（防カビ仕様）を示す

足洗場　水返しパネル　詳細図　Ｓ＝１：２０，Ｓ＝１：３０

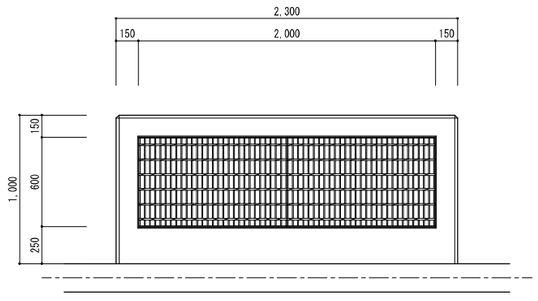


《Ｓ＝１：２０》

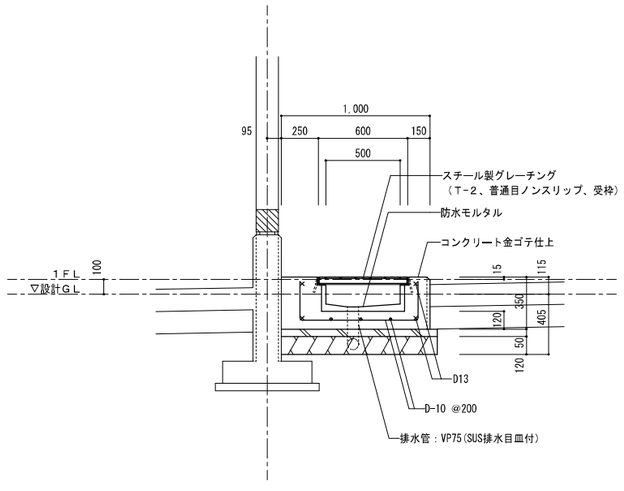


《Ｓ＝１：３０》

足洗い　詳細図　Ｓ＝１：２０



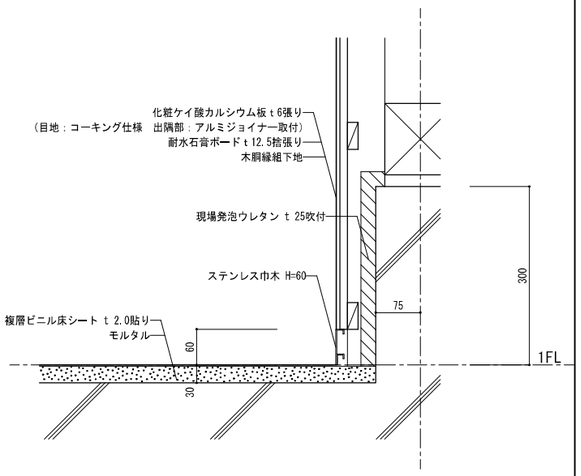
《平面図》



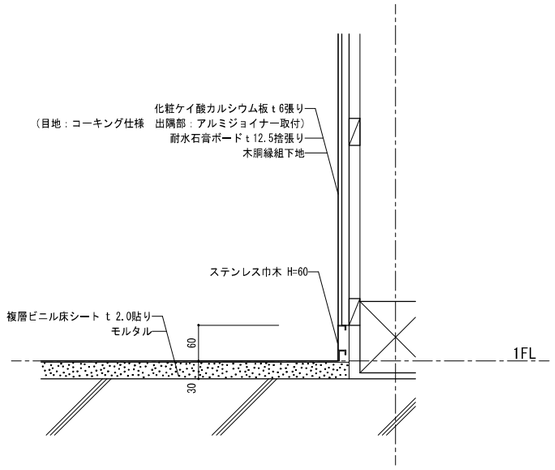
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　部分詳細図（２）
縮　尺	1：10（A3=1：20） 1：5（A3=1：10）
図面番号	Ａ－119
DATE	．　．　．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

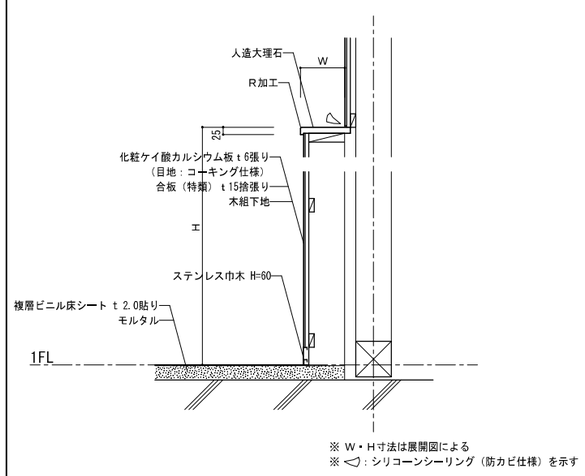
壁～床：化粧ケイ酸カルシウム板＋SUS巾木（トイレＡ　外壁面）　Ｓ＝１：５



壁～床：化粧ケイ酸カルシウム板＋SUS巾木（トイレＡ　内部壁）　Ｓ＝１：５

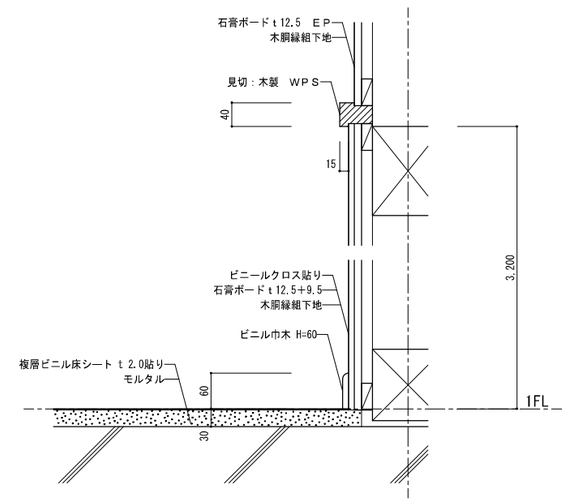


トイレ ライニング（トイレＡ）　Ｓ＝１：１０

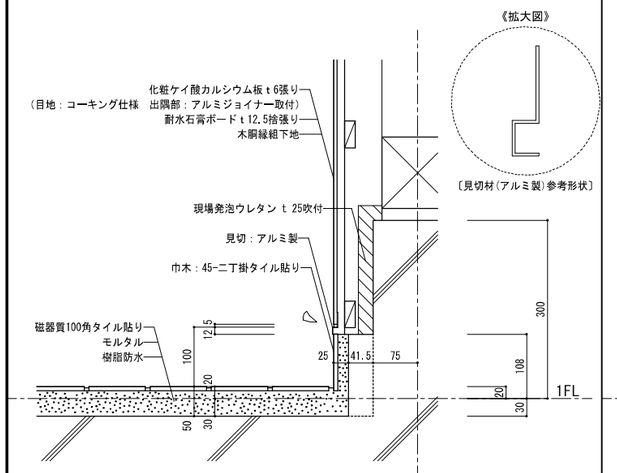


※ Ｗ・Ｈ寸法は展開図による
※ ◁：シリコーンシーリング（防カビ仕様）を示す

壁～床：ボード（一般部）　ビニル巾木、上部木製見切　Ｓ＝１：５

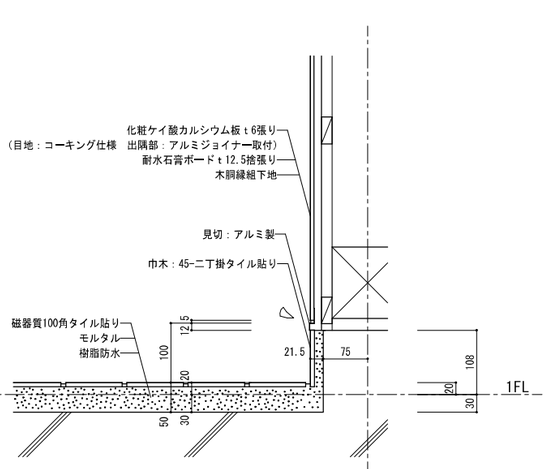


壁～床：化粧ケイ酸カルシウム板＋タイル（トイレＢ　外壁面）　Ｓ＝１：５



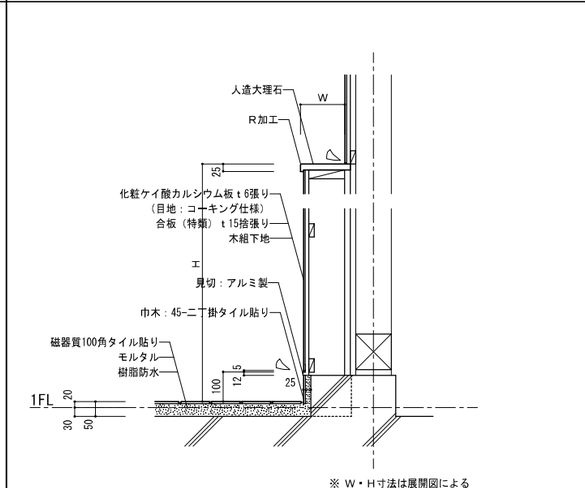
※ ◁：シリコーンシーリング（防カビ仕様）を示す

壁～床：化粧ケイ酸カルシウム板＋タイル（トイレＢ　内部壁）　Ｓ＝１：５



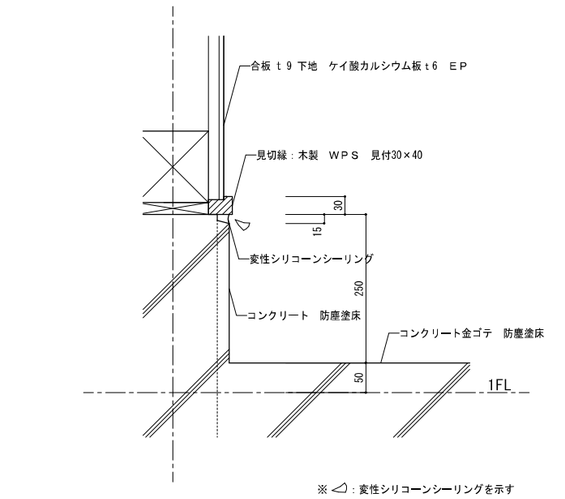
※ ◁：シリコーンシーリング（防カビ仕様）を示す

トイレ ライニング（トイレＢ）　Ｓ＝１：１０



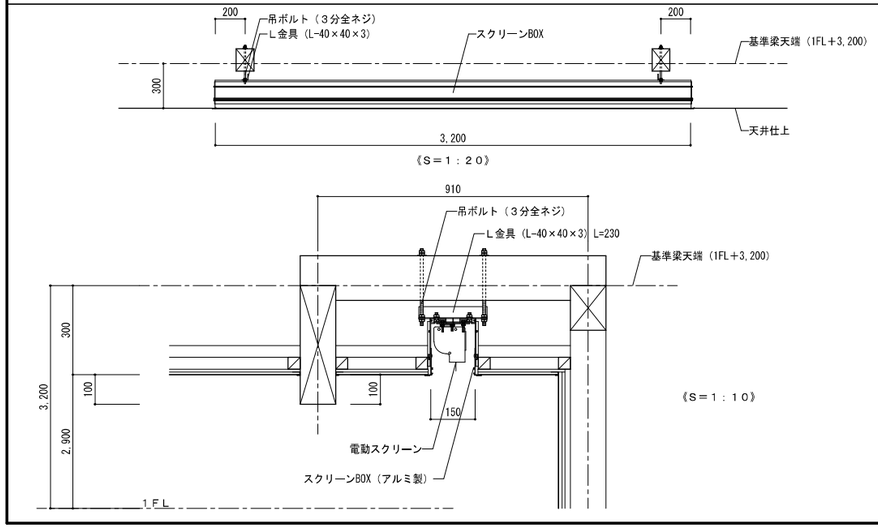
※ Ｗ・Ｈ寸法は展開図による
※ ◁：シリコーンシーリング（防カビ仕様）を示す

壁見切：ＲＣ立上り/ケイ酸カルシウム板＋木製見切（外部倉庫）　Ｓ＝１：５



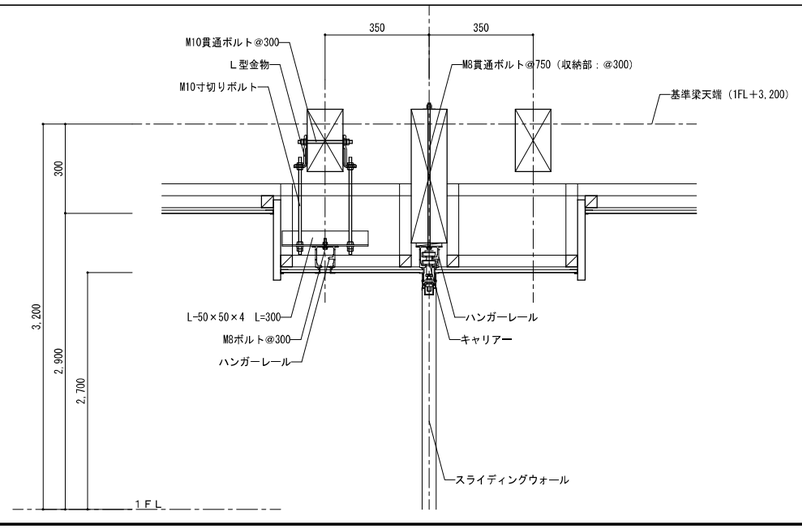
※ ◁：変性シリコーンシーリングを示す

スクリーンBOX　詳細図　　Ｓ＝１：１０、Ｓ＝１：２０



《Ｓ＝１：１０》

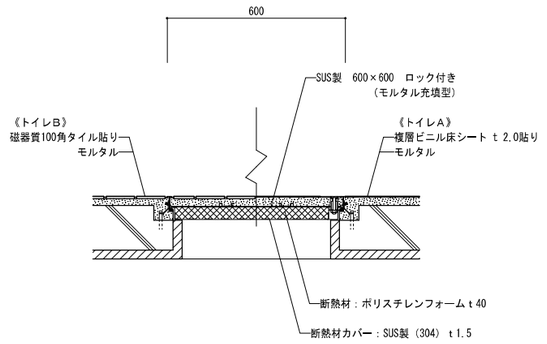
スライディングウォール受金物　詳細図　　Ｓ＝１：１０



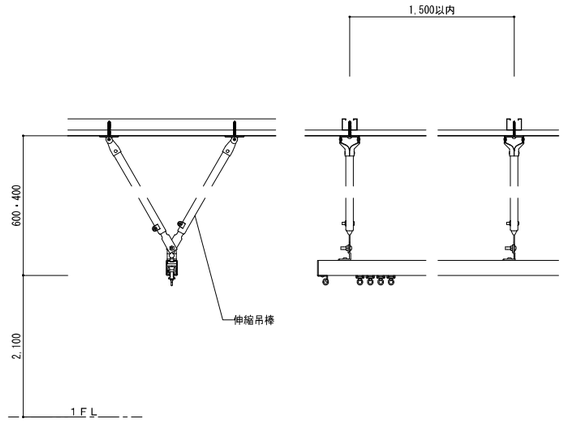
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　部分詳細図（３）
縮　尺	1：10（A3=1：20） 1：5（A3=1：10）
図面番号	Ａ－120
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

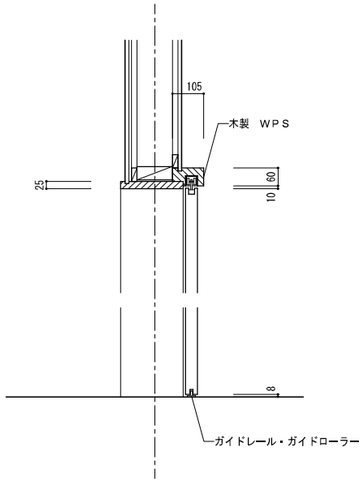
床下点検口　詳細図　　S＝１：１０



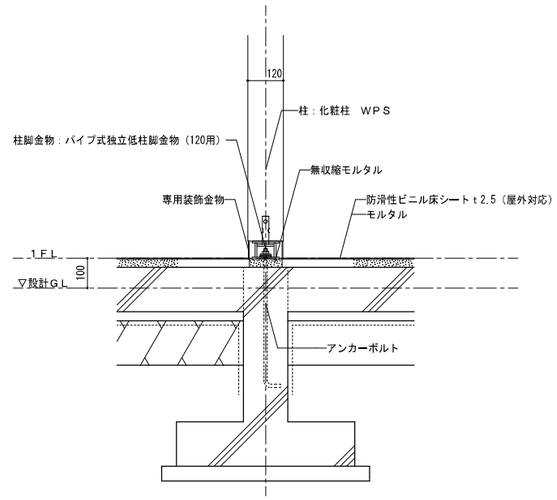
吊式カーテンレール　詳細図　　S＝１：５



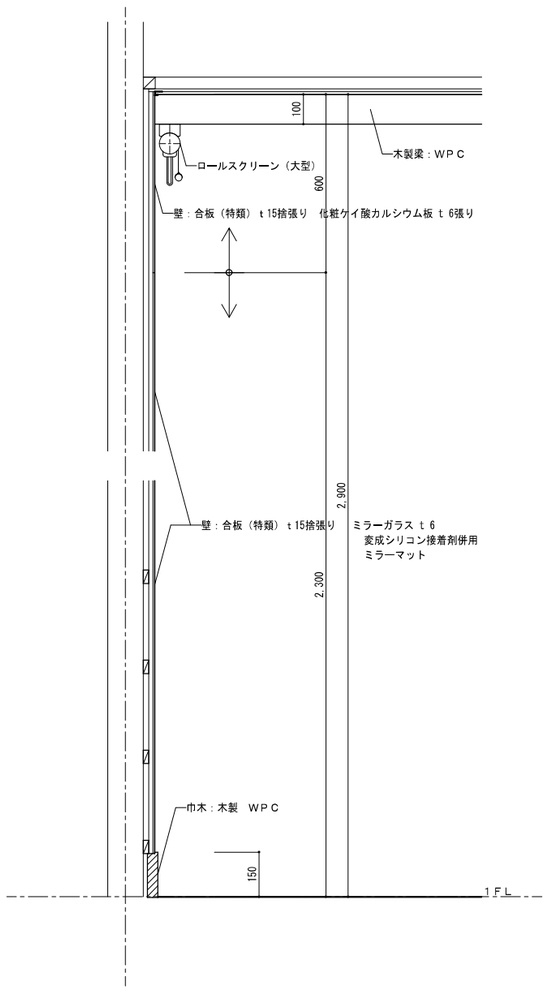
木製建具（ハンガーレール）　詳細図　　S＝１：１０



内部化粧柱柱脚部分　詳細図　　S＝１：１０



姿見　詳細図　　S＝１：１０

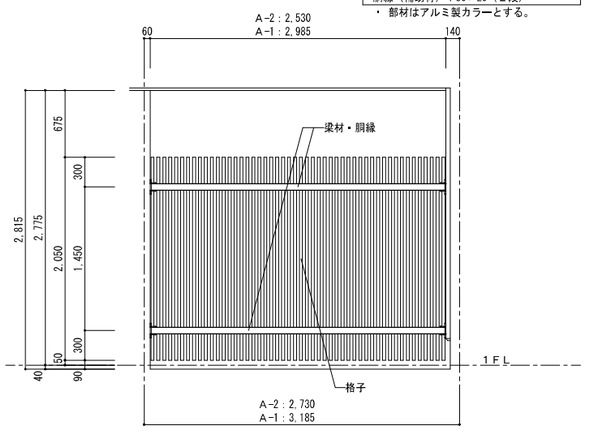


目隠しルーバーＡ　詳細図　　S＝１：３０

※ 目隠しルーバー：格子の開口率は50%以上とする。

格子：50×30（@60）
梁材：65×65（２段） 両端部ブラケット 金物同材
胴縁（補助材）：50×20（２段）

・ 部材はアルミ製カラーとする。

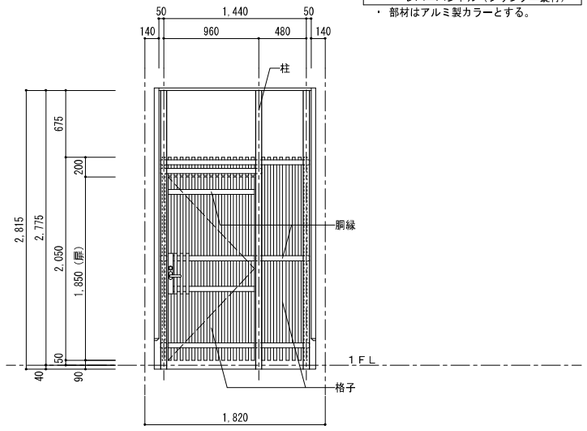


目隠しルーバーＢ　詳細図　　S＝１：３０

※ 目隠しルーバー：格子の開口率は50%以上とする。

格子：50×30（@60）
柱　：60×60（上下アンカー固定）
胴縁（補助材）：50×25（３段）
扉　：格子、胴縁同材 レバーハンドル（シリンダー錠付）

・ 部材はアルミ製カラーとする。

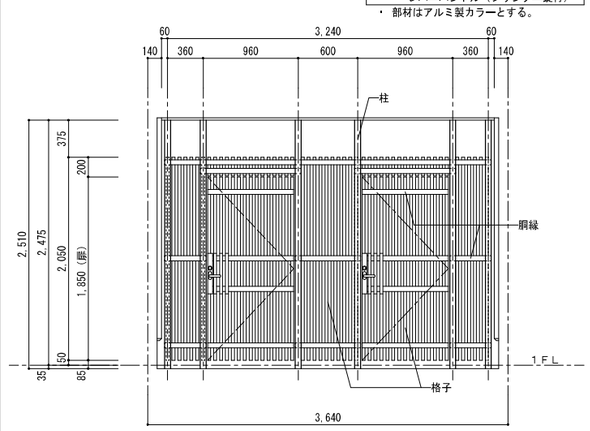


目隠しルーバーＣ　詳細図　　S＝１：３０

※ 目隠しルーバー：格子の開口率は50%以上とする。

格子：50×30（@60）
柱　：60×60（上下アンカー固定）
胴縁（補助材）：50×25（３段）
扉　：格子、胴縁同材 レバーハンドル（シリンダー錠付）

・ 部材はアルミ製カラーとする。

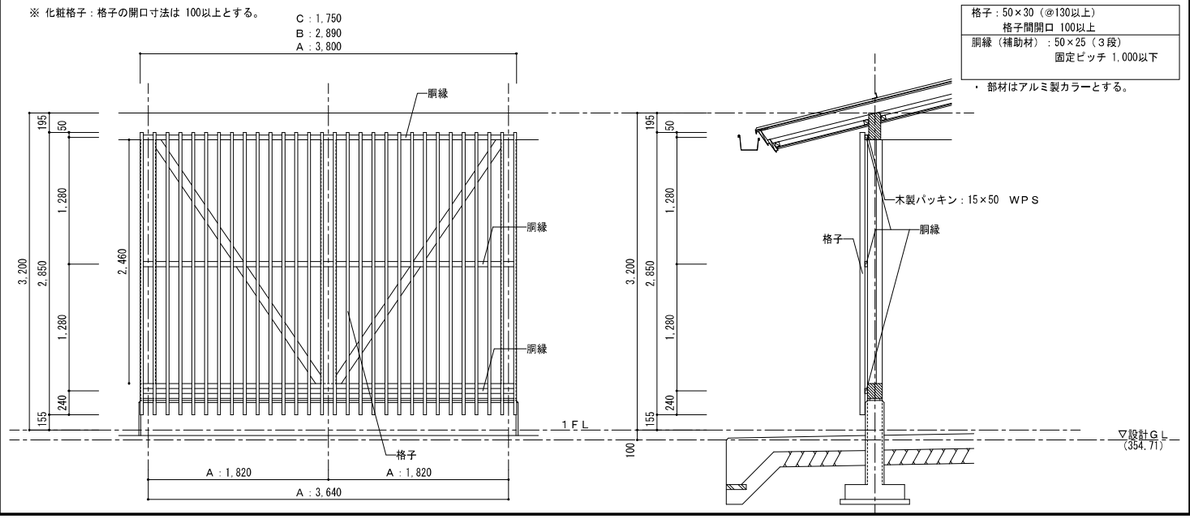


外廊下　化粧格子　詳細図　　S＝１：３０

※ 化粧格子：格子の開口寸法は 100以上とする。

格子：50×30（@130以上） 格子間開口 100以上
胴縁（補助材）：50×25（３段） 固定ピッチ 1,000以下

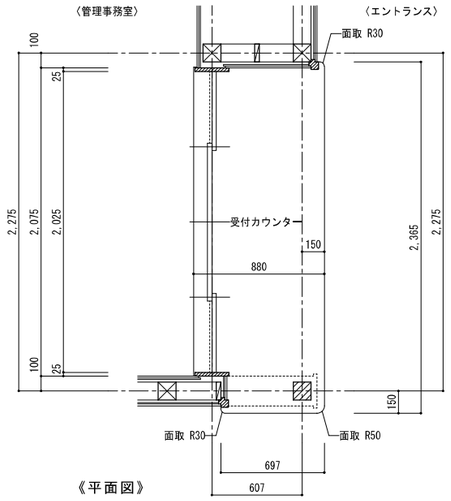
・ 部材はアルミ製カラーとする。



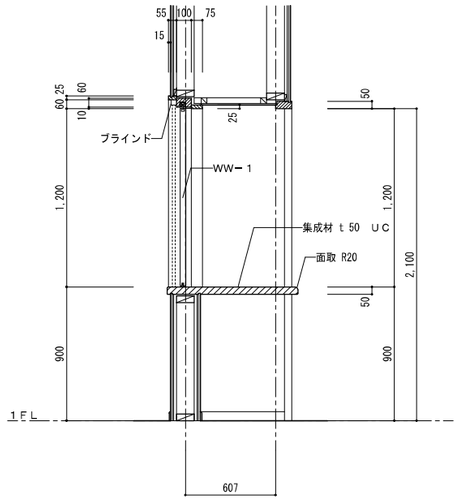
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　部分詳細図（４）
縮　尺	1：10（A3=1：20） 1：5（A3=1：10）
図面番号	Ａ－121
DATE	．　．　．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

受付カウンター　詳細図　　S＝１：２０



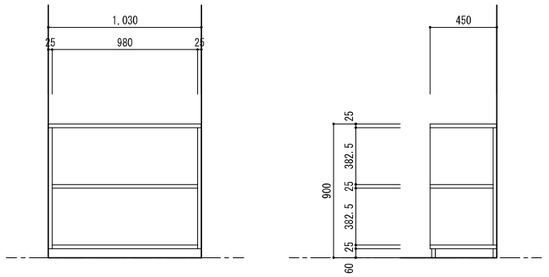
《平面図》



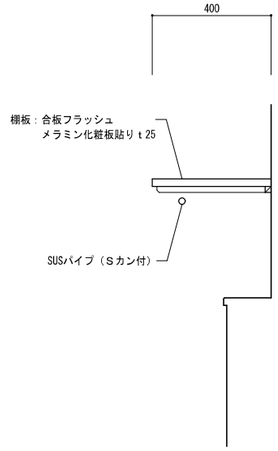
脱衣棚　詳細図　　S＝１：２０

天　板	合板フラッシュ　メラミン化粧板貼り t 25
側　板	合板フラッシュ　メラミン化粧板貼り t 25
棚　板	合板フラッシュ　メラミン化粧板貼り t 25

※ 見え掛り・小口はメラミン化粧板貼りとする



ＳＫ上部　棚板　詳細図　　S＝１：１０



※ 見え掛り・小口はメラミン化粧板貼りとする

ベンチ・荷物用フック　詳細図　　S＝１：１０

※ ◁：シリコーンシーリング（防カビ仕様）を示す

窓下収納棚　詳細図　　S＝１：２０

天　板	合板フラッシュ　メラミン化粧板貼り t 25
開き戸	合板フラッシュ　メラミン化粧板貼り t 20、スライド丁番、キャッチ、取手
側　板	ポリエステル化粧合フラッシュ t 25
仕切板	ポリエステル化粧合フラッシュ t 25
可動棚	合板フラッシュ　メラミン化粧板貼り t 25、棚受金物、棚受柱（埋込）

※ 見え掛り・小口はメラミン化粧板貼りとする
※ 内部はポリエステル化粧合板とする

下足棚　詳細図　　S＝１：２０

天　板	集成材 t 30　UC
側　板	合板フラッシュ　メラミン化粧板貼り t 25
仕切板	合板フラッシュ　メラミン化粧板貼り t 25
棚　板	合板フラッシュ　メラミン化粧板貼り t 25
棚　板	ランバーコア t 15　メラミン化粧板貼り ≒t 18

※ 見え掛り・小口はメラミン化粧板貼りとする

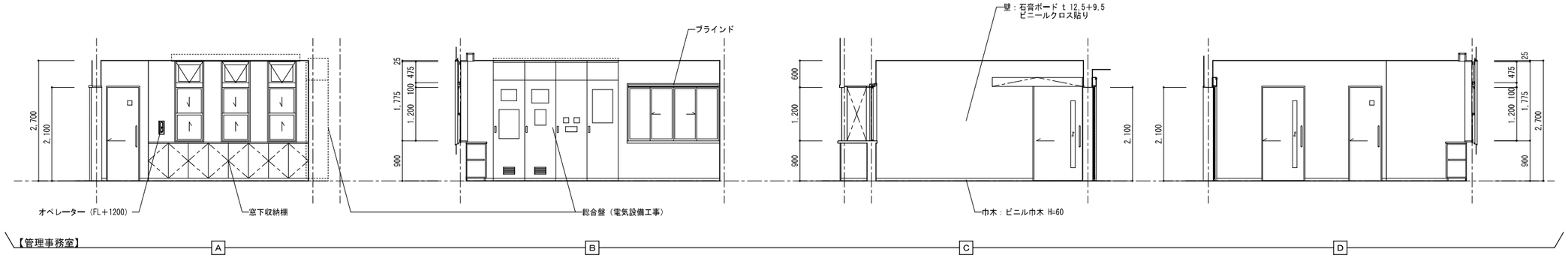
キッチンセット（既製品）　詳細図　　S＝１：２０

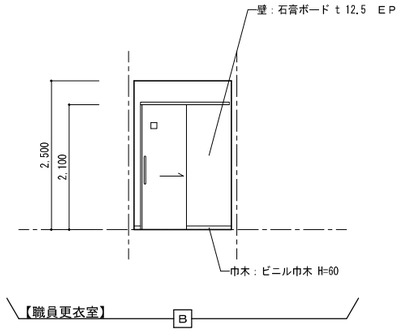
流　し	SUS製
トップ	SUS製
扉　部	メラミン化粧板
収納部	ポリエステル化粧合板
その他	ーロＩＨクッキングヒーター（2.0kw） レンジフード、天井フィラー

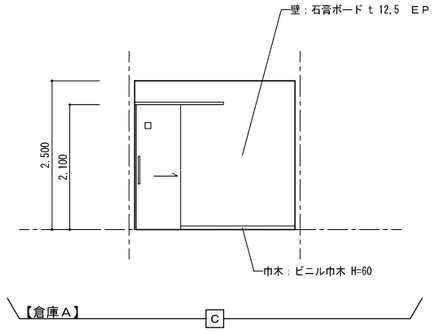
《平面図》

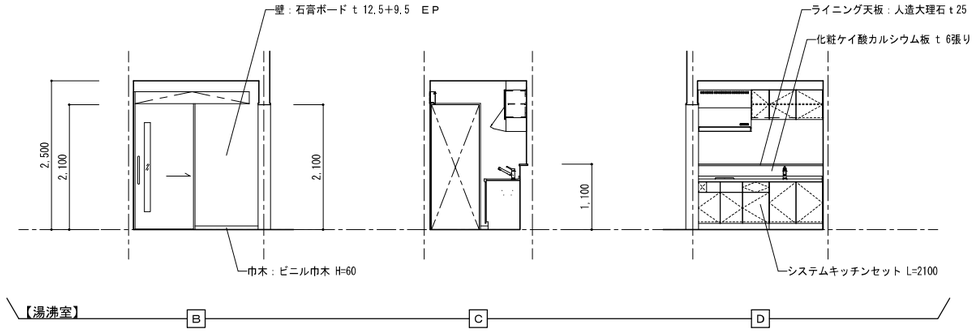
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　部分詳細図（５）
縮　尺	1：20（A3=1：40） 1：10（A3=1：20）
図面番号	Ａ－122
DATE	．．．

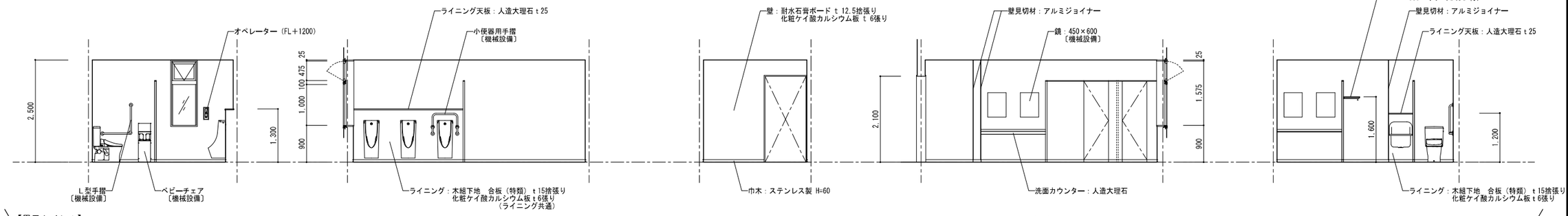
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

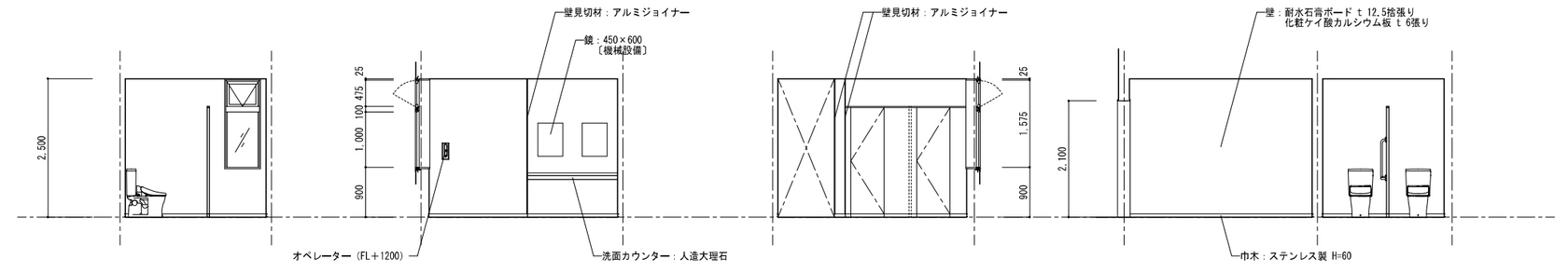






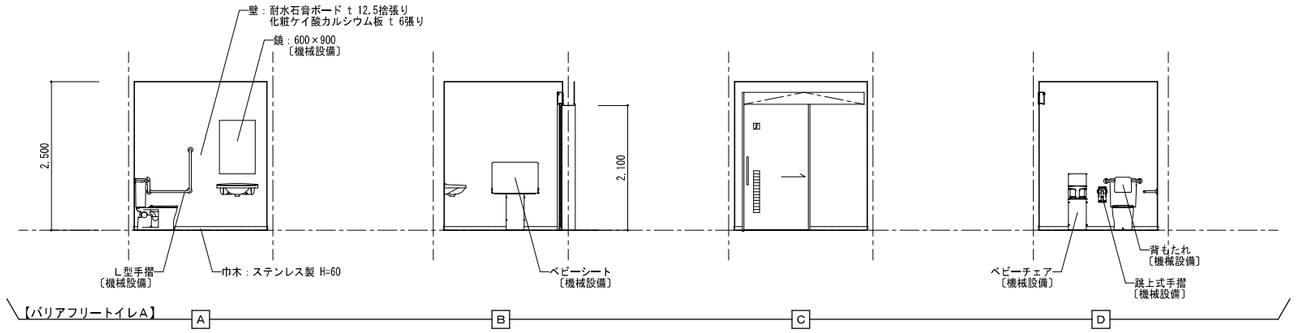




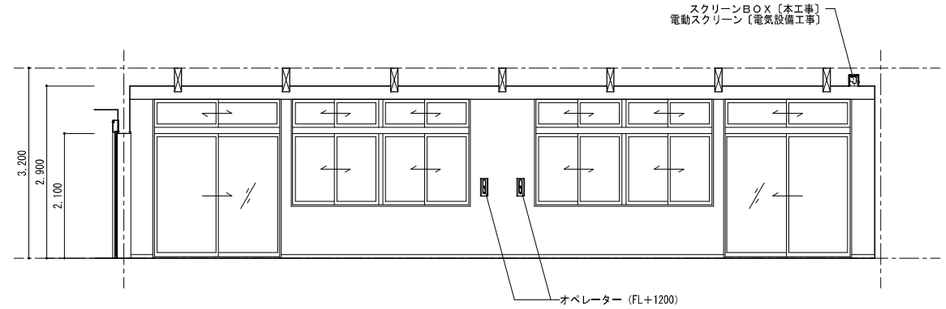


工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス 展開図（１）
縮 尺	1：50（A3=1：100）
図面番号	A－123
DATE	． ． ．

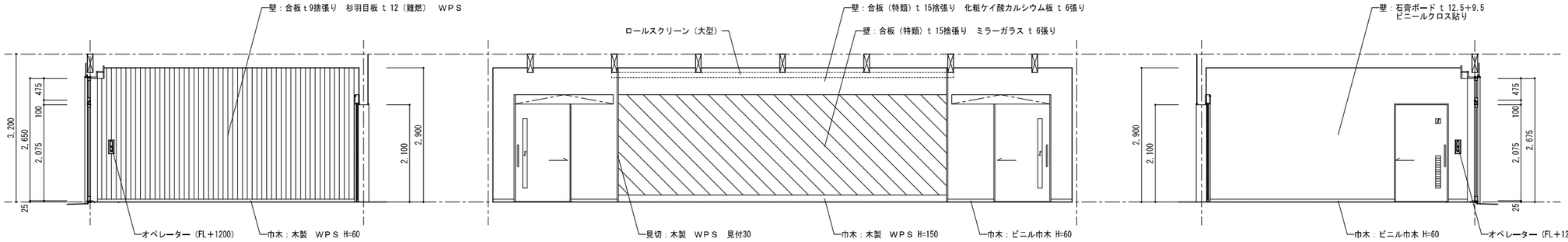
株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
１級建築士 第293052号 渡利 真二



【バリアフリートイレA】

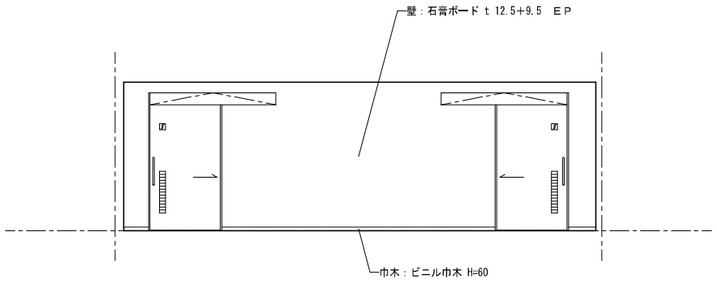


【多目的室A】

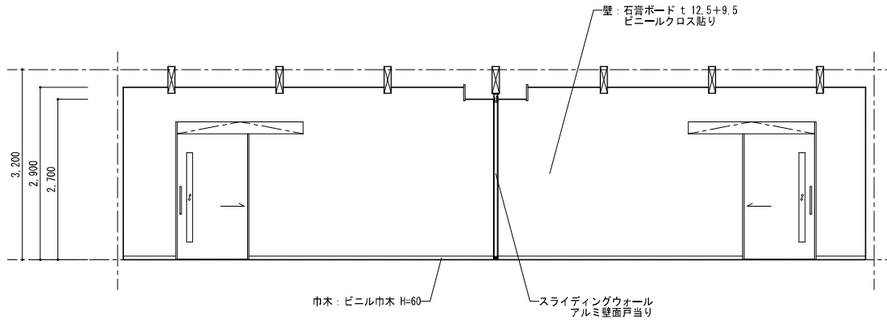


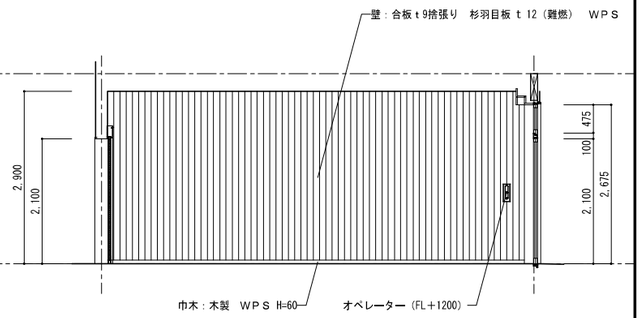
【多目的室A】

【倉庫B】

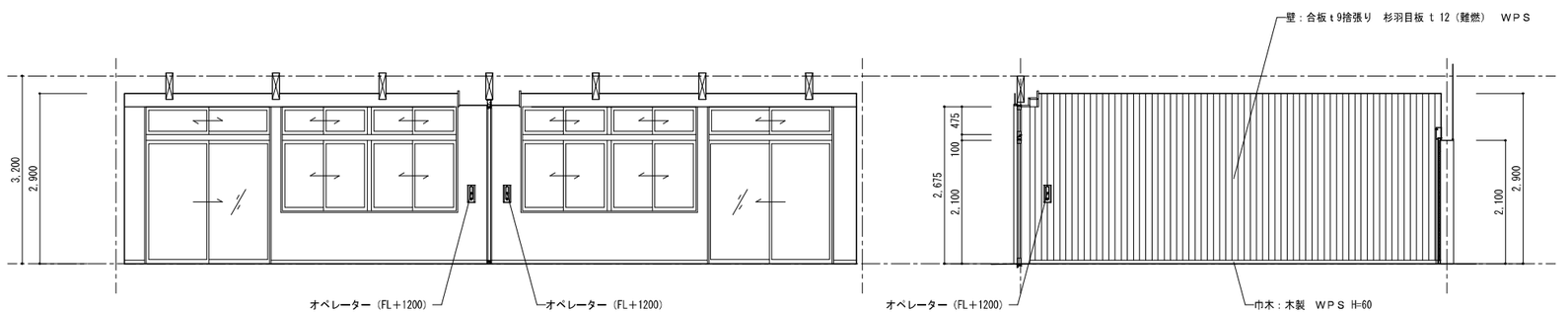


【倉庫B】





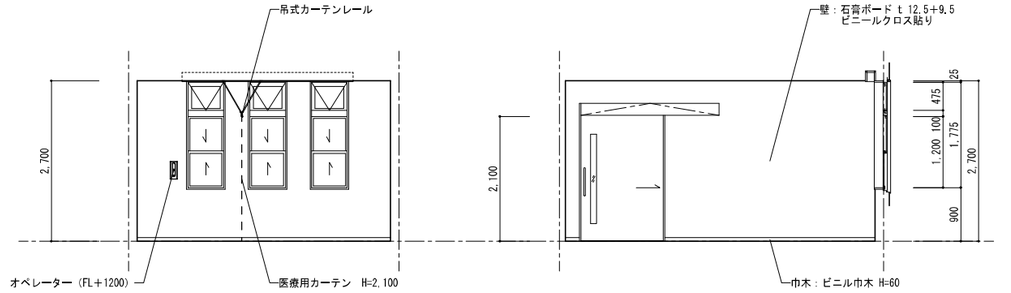
【多目的室B・C】



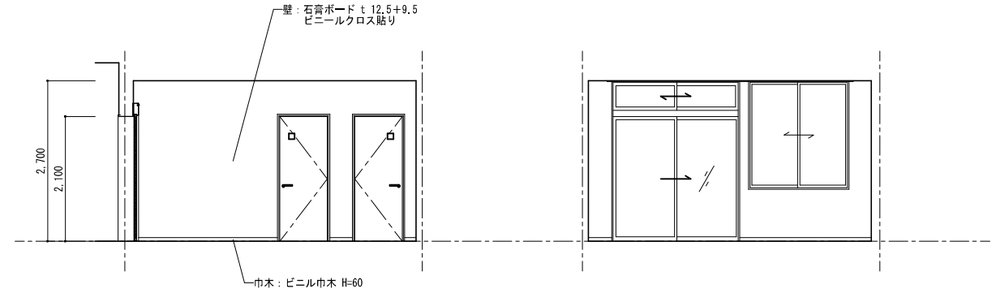
【多目的室B・C】

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　展開図（２）
縮　尺	1：50（A3=1：100）　図面番号：A－124
DATE	．．．

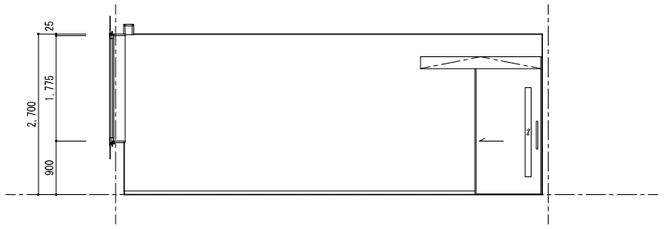
株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二



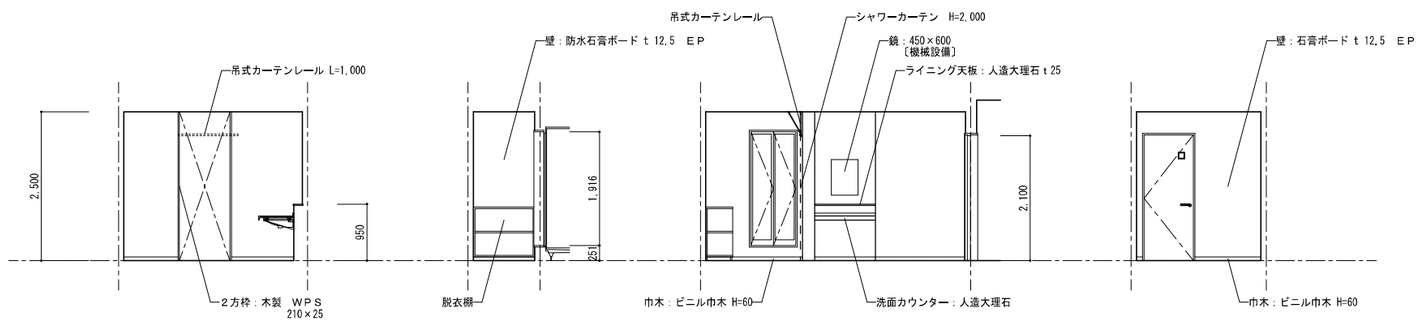
【医務室】 A D



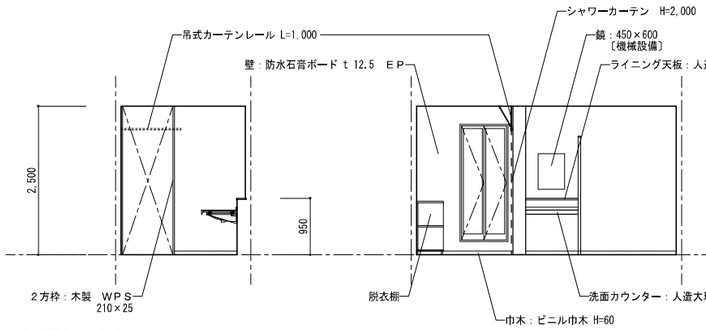
【審判員控室】 A C

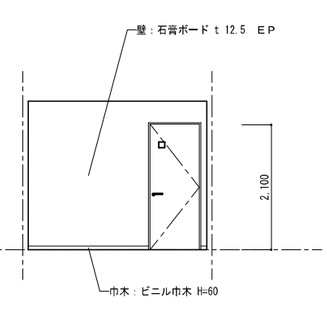


【審判員控室】 D

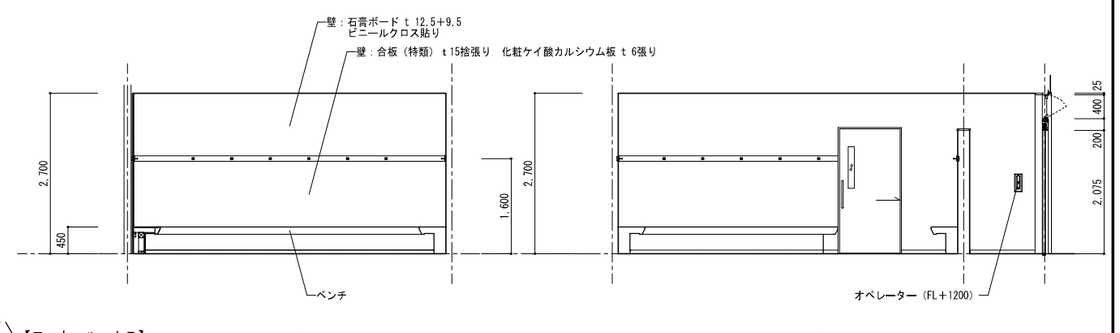


【男子更衣室・脱衣室】 A A B C

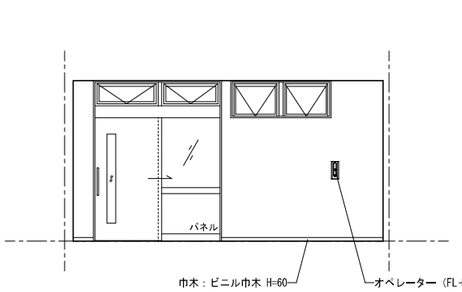


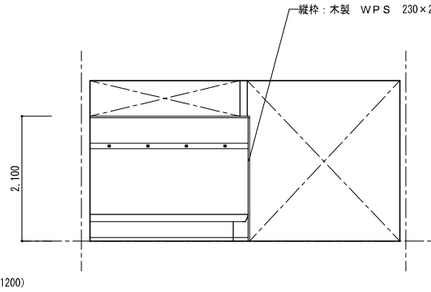


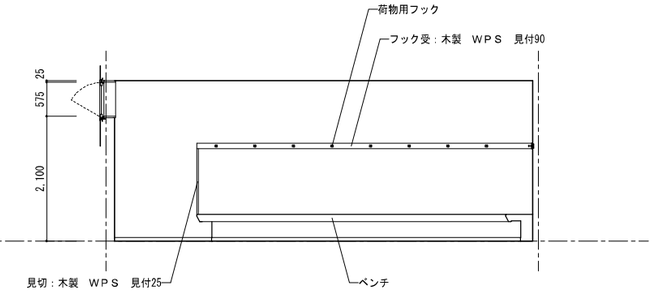
【女子更衣室・脱衣室】 A B C



【ロッカールームB】 A B



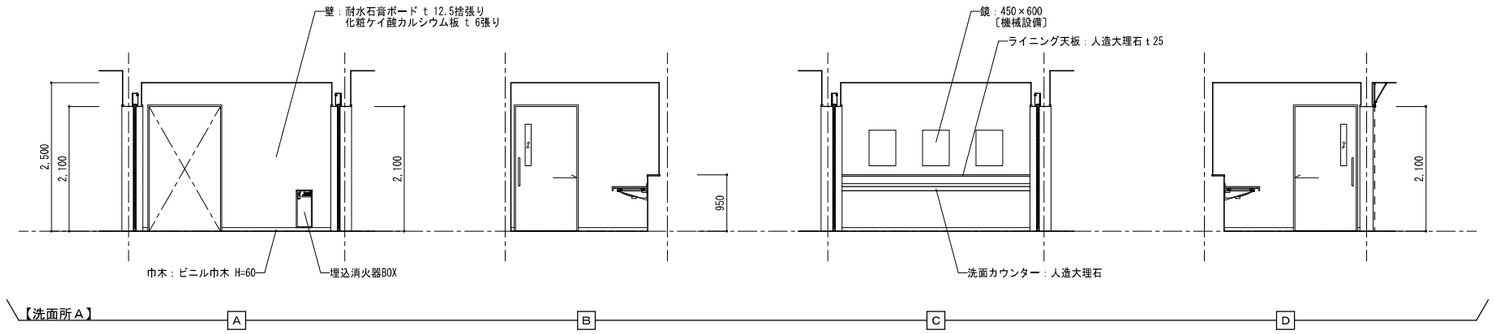


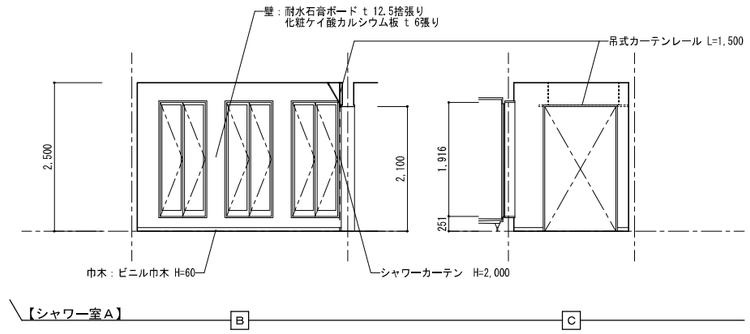


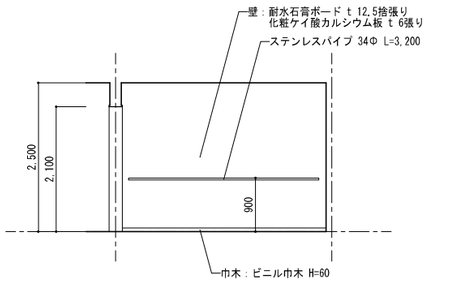
【ロッカールームB】 C C D

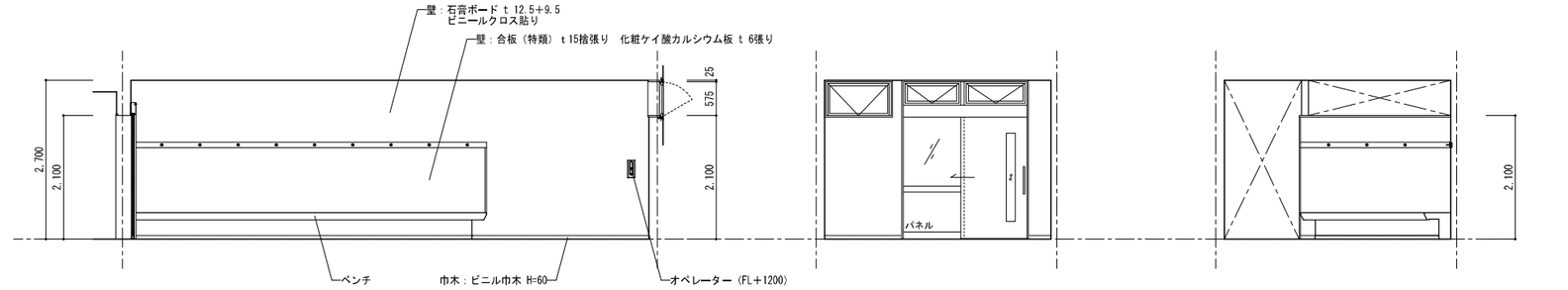
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　展開図（３）
縮　尺	1：50（A3=1：100）　図面番号：A－125
	DATE：．．．

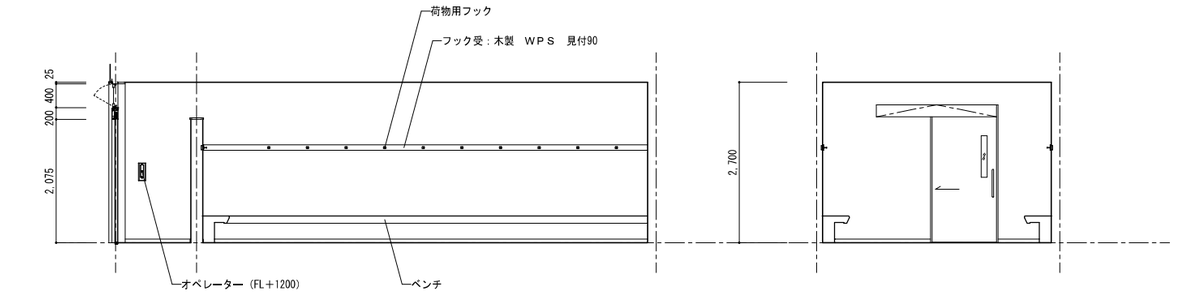
株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

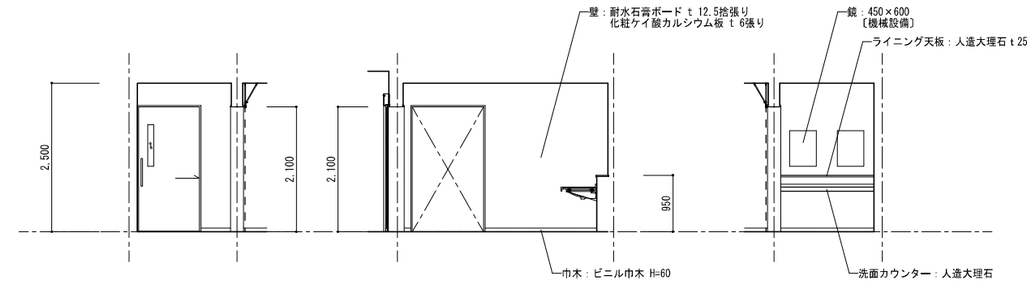


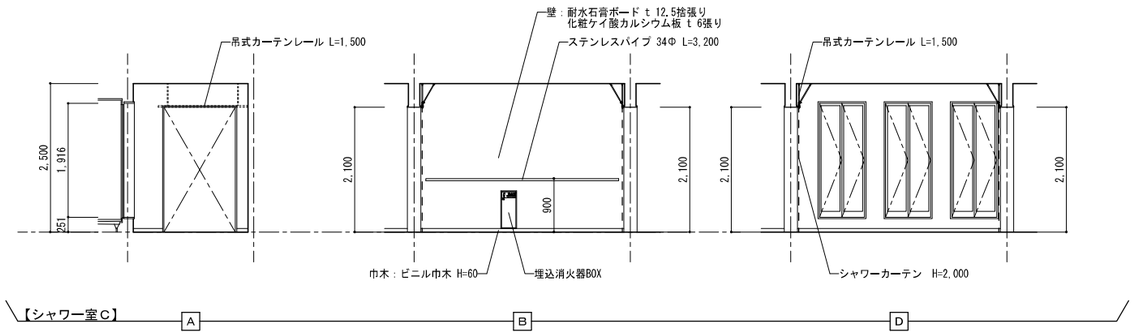






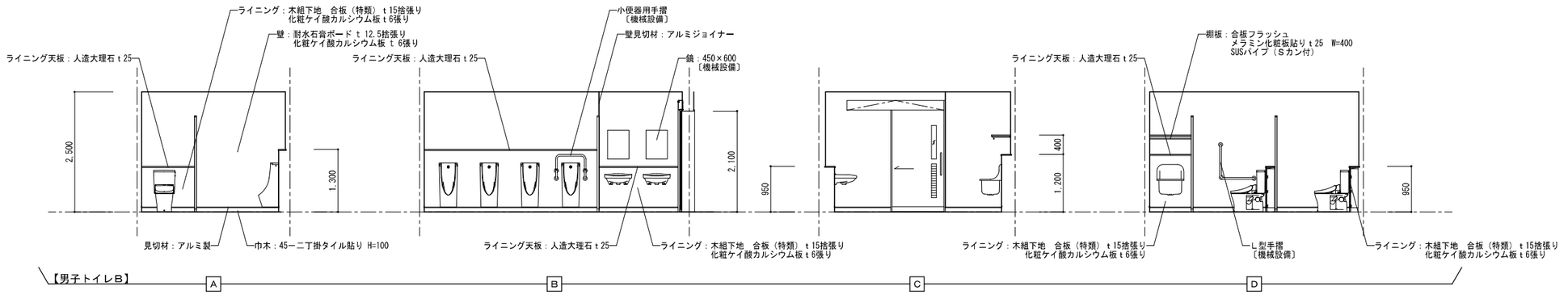


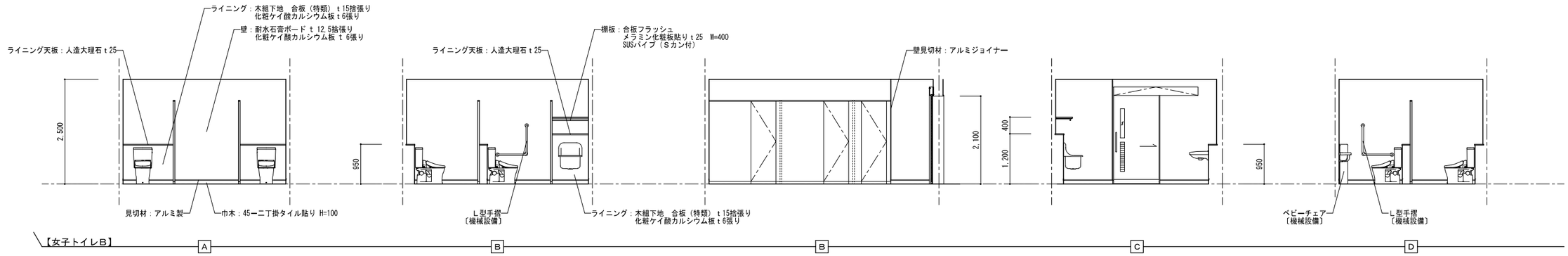


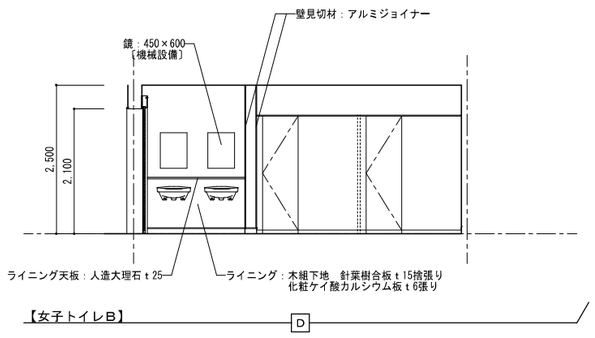


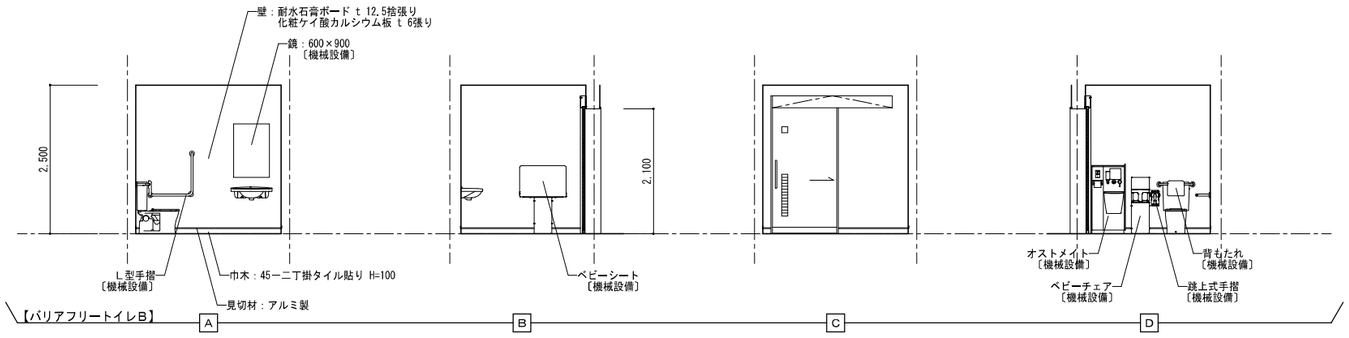
工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス 展開図（４）
縮 尺	1：50（A3=1：100）
図面番号	Ａ－126
DATE	． ．

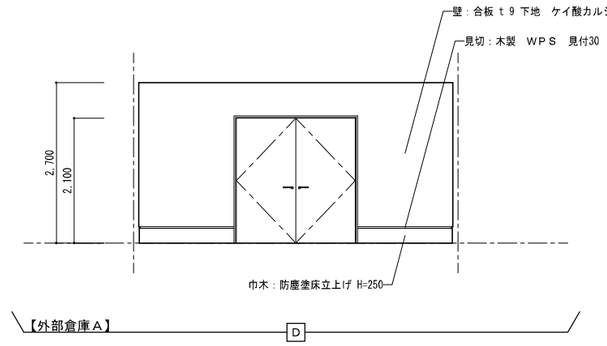
株式会社 ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
１級建築士 第293052号 渡利 真二

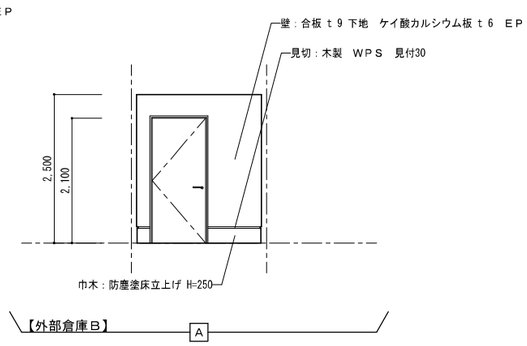






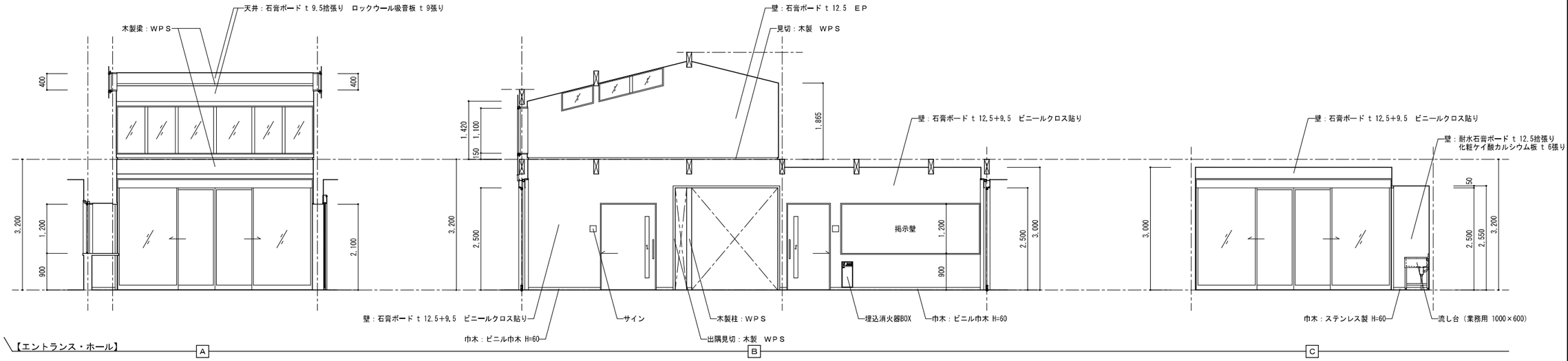






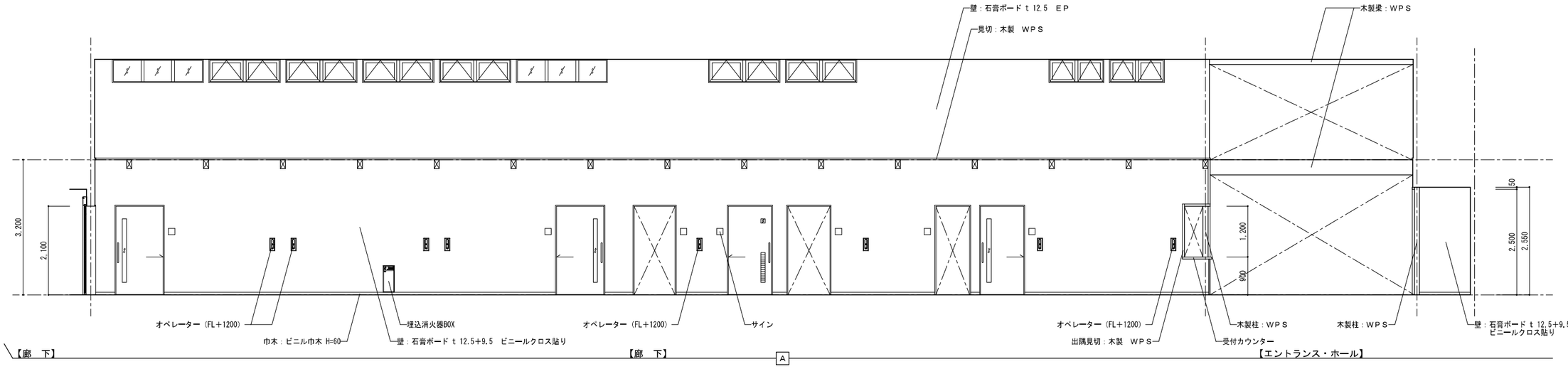
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　展開図（５）
縮　尺	1：50（A3=1：100）　図面番号：A－127
	DATE　：　．　．

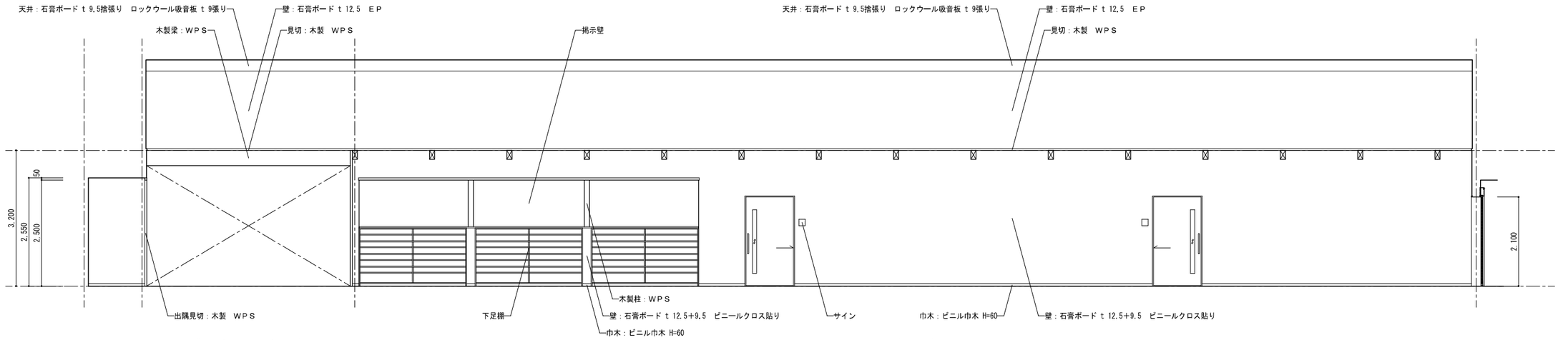
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

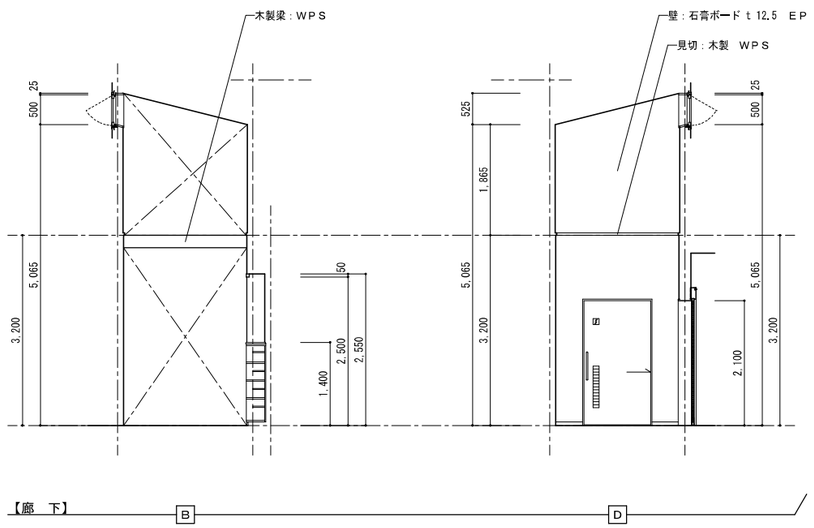


工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　展開図（６）
縮　尺	1：50（A3=1：100）
図面番号	Ａ－128
DATE	．　．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第7525１号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

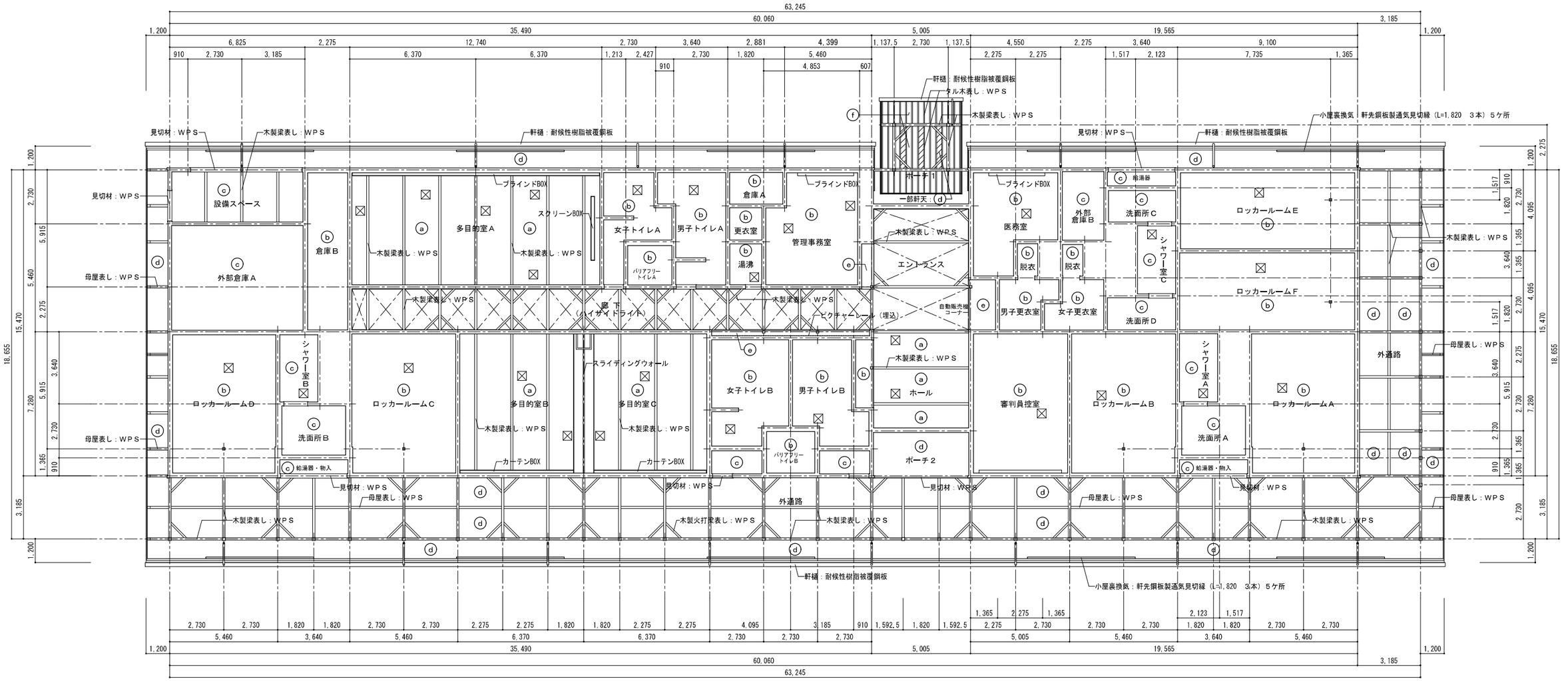


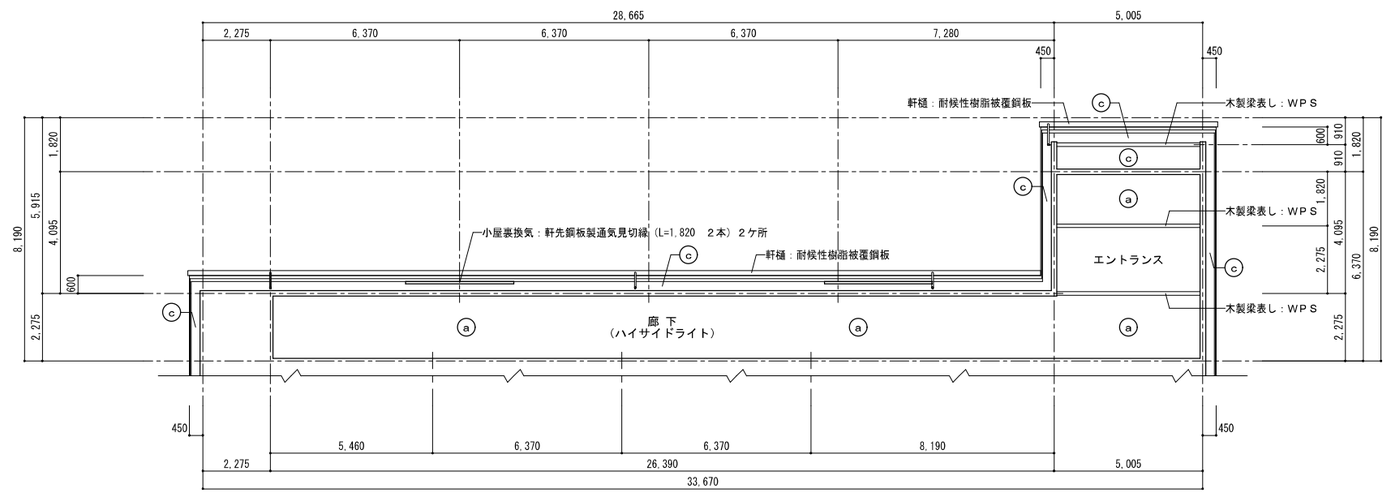




工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　展開図（７）
縮　尺	1：50（A3=1：100）
図面番号	A－129
DATE	．．．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二





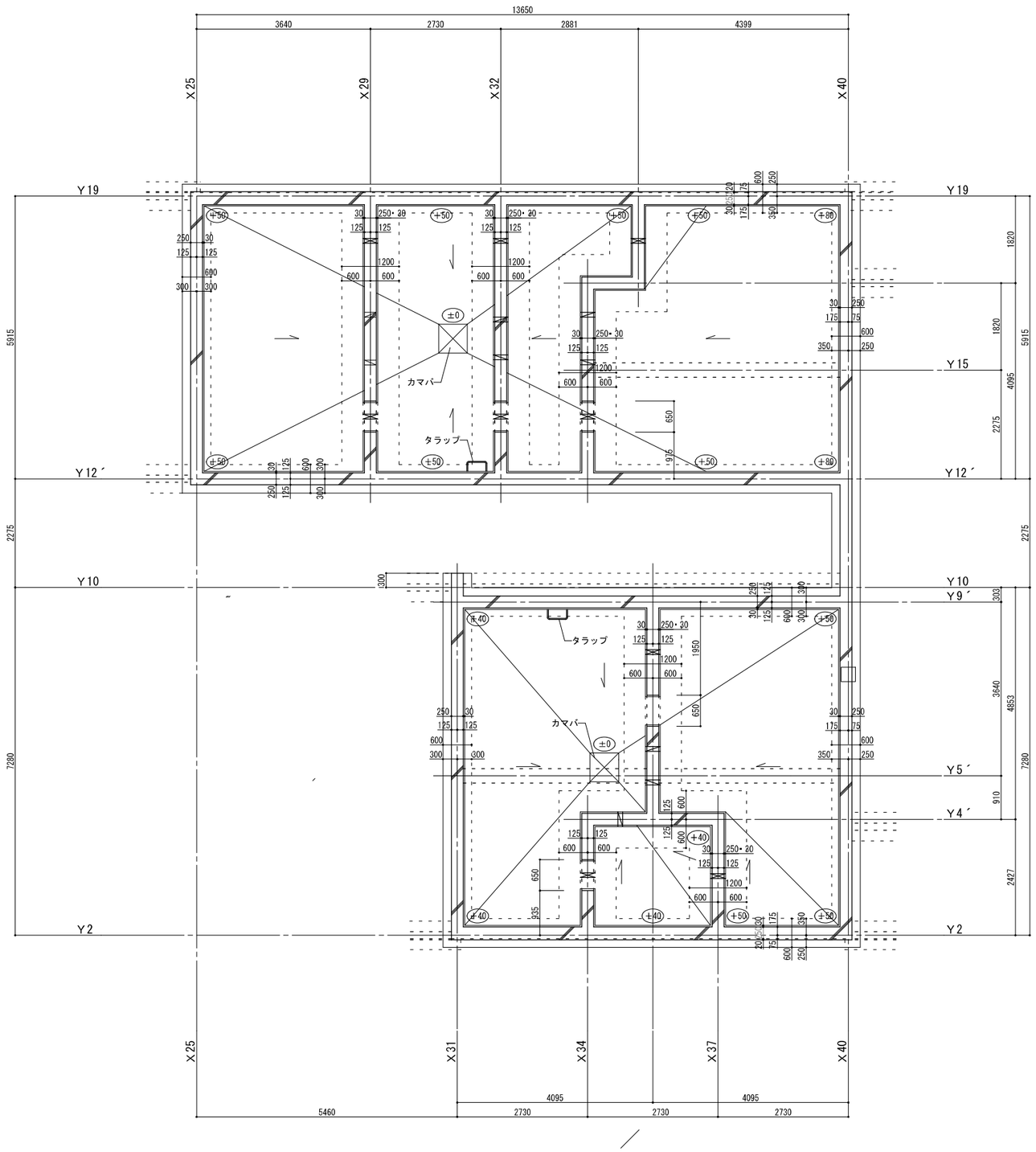
《 上部 天井伏図 》

《天井仕上凡例》

ⓐ	木野縁組下地　石膏ボードｔ9.5捨張り　ロックウール吸音板ｔ9
ⓑ	木野縁組下地　化粧石膏ボードｔ9.5
ⓒ	木野縁組下地　ケイ酸カルシウム板ｔ6　目透シ張り　ＥＰ
ⓓ	木野縁組下地　合板ｔ9捨張り　杉羽目板ｔ12　ＷＰＳ
ⓔ	木野縁組下地　石膏ボードｔ9.5　ビニールクロス貼り
ⓕ	杉羽目板ｔ15　ＷＰＳ
☒	天井点検口：アルミ製　450角（縁枠）２９ケ所

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　天井伏図
縮尺	1：100（A3=1：200）
図面番号	Ａ－130
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

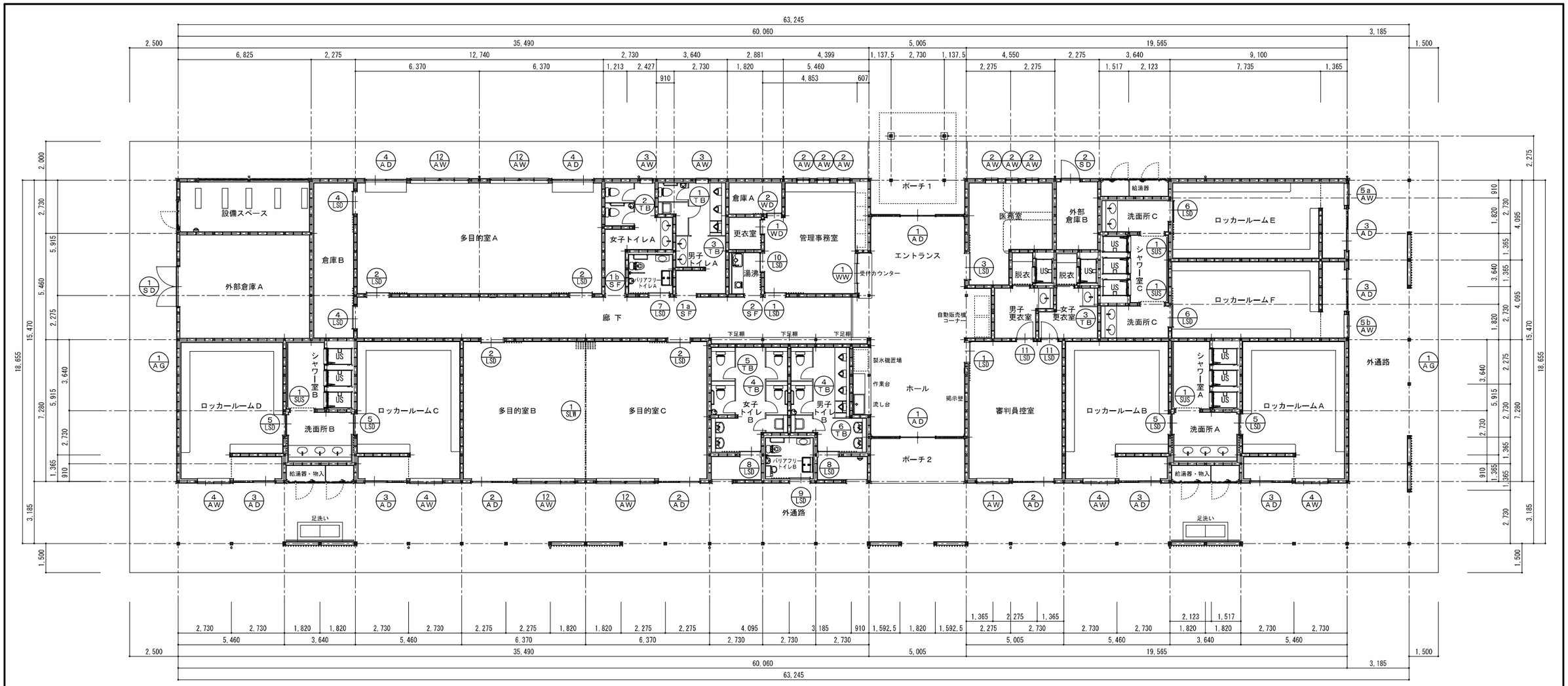


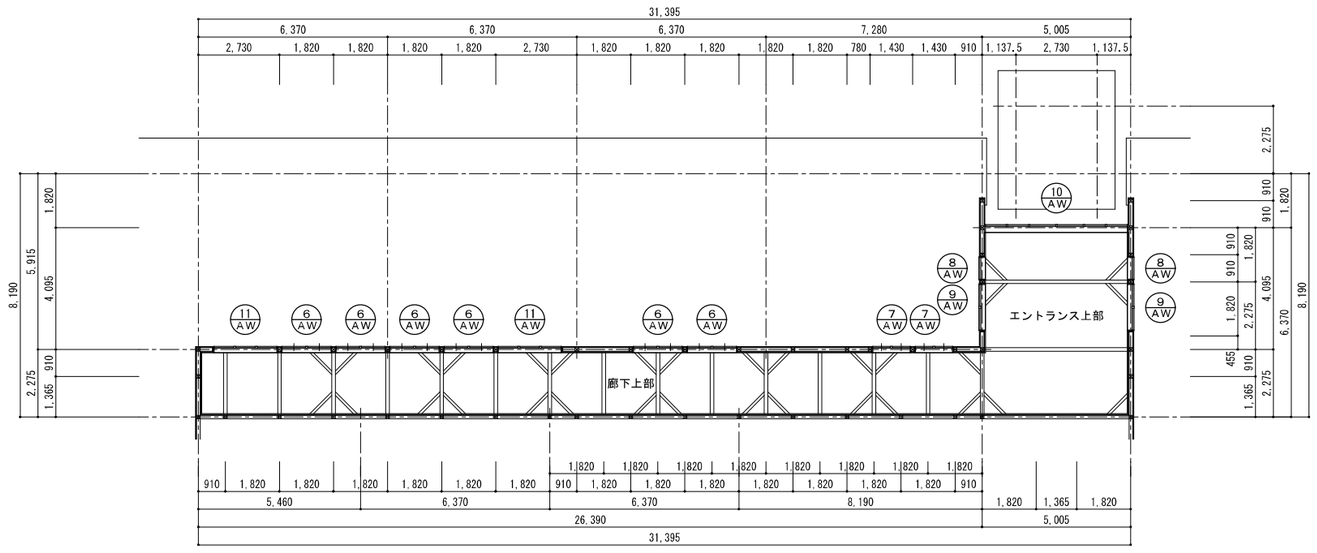
《ピット凡例》

⊠	カマ場：600×600×H450
⊓	タラップ：ステンレス製　22φ　W=400　3段
→	水勾配（1/100）
⊠	通気管：VP100（９ケ所）
▨	通水管：VP100　半割（７ケ所）

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　ピット図
縮　尺	1：50（A3=1:100）
図面番号	A－131
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二





《 上部 平面図 》

《消防法無窓階の検討》		（単位：㎡）
必要面積	908.63 × 1/30 ＝ 30.29	
有効面積	AD－1　1.80 × 2.50	× 2 ＝ 9.00
	AD－2　0.92 × 2.10	× 5 ＝ 9.66
	AD－3　0.92 × 2.07	× 6 ＝ 11.42
	AW－12　1.44 × 1.20 × 2 × 4 ＝ 13.82	
	AW－1　1.64 × 1.77	× 1 ＝ 2.90
	（有効面積の計）	46.80
判定	30.29 ＜ 46.80	OK

工事名称 ： 国補　雨長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

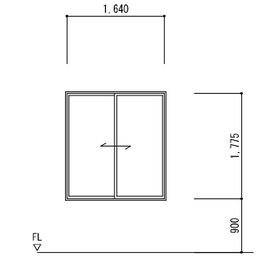
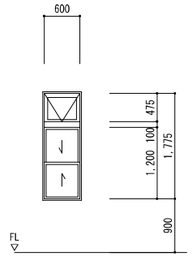
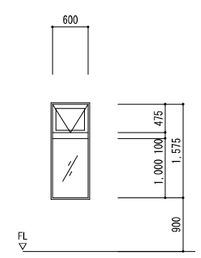
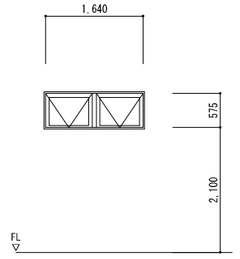
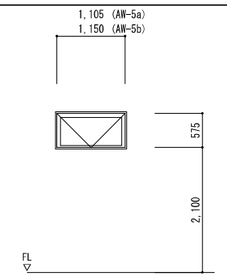
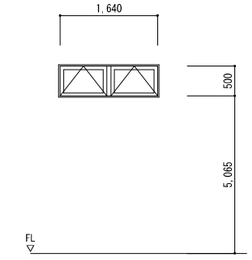
図面名称 ： クラブハウス　建具キープラン

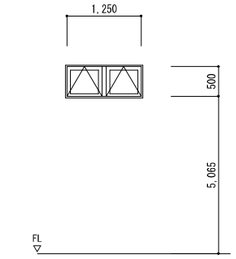
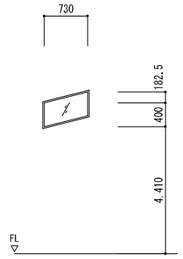
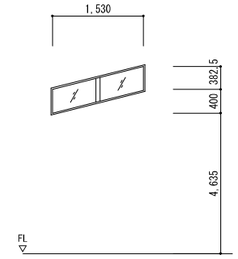
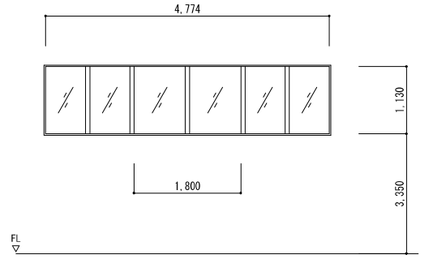
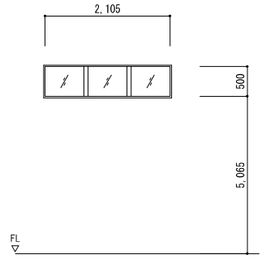
縮　尺 ： 1：100（A3=1：200）　図面番号 ： A－132

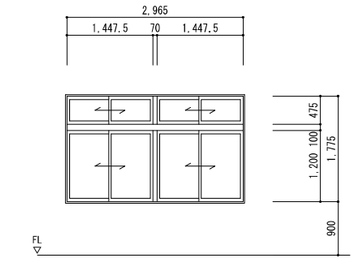
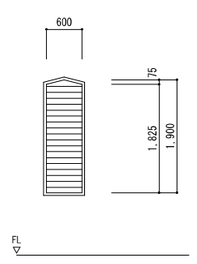
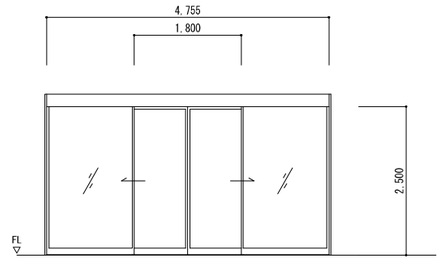
DATE ： ． ． ．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二

建 具 表　S=1:50

記　号	① AW	② AW	③ AW	④ AW	⑤ AW	⑥ AW
	審判員控室	管理事務室、医務室	男子トイレＡ、女子トイレＡ	ロッカールームＡ～Ｄ	ロッカールームＥ・Ｆ	廊下上部
姿　図						
種　類	引違イ窓　半外付枠	上ゲ下ゲ窓＋外倒シ窓　半外付枠	ハメ殺シ窓＋外倒シ窓　半外付枠	２連外倒シ窓　半外付枠	外倒シ窓　半外付枠	２連突出シ窓　半外付枠
口　数	１	６	２	４	２	６
見　込	７０	７０	７０	７０	７０	７０
材　種	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー
金　物	クレセント、アングルピース 他付属金物一式	クレセント、オペレーター（ 60° ）、アングルピース アルミ額縁（外部三方）、他付属金物一式	オペレーター（ 60° ）、アングルピース 他付属金物一式	オペレーター（ 60° ）、アングルピース 他付属金物一式	オペレーター（ 60° ）、アングルピース 他付属金物一式	オペレーター（ 60° ）、アングルピース 他付属金物一式
硝　子	複層ガラス（フロートｔ5＋Ａ6＋フロートｔ5）	複層ガラス（フロートｔ3＋Ａ6＋フロートｔ3）	複層ガラス（型板ｔ4＋Ａ6＋フロートｔ3）	複層ガラス（型板ｔ4＋Ａ6＋フロートｔ3）	複層ガラス（型板ｔ4＋Ａ6＋フロートｔ3）	複層ガラス（型板ｔ4＋Ａ6＋フロートｔ3）
備　考	網戸	網戸	網戸	網戸	網戸	網戸

記　号	⑦ AW	⑧ AW	⑨ AW	⑩ AW	⑪ AW
	廊下上部	エントランス上部	エントランス上部	エントランス上部	廊下上部
姿　図					
種　類	２連突出シ窓　半外付枠	ハメ殺シ窓　半外付枠	２連ハメ殺シ窓　半外付枠	６連ハメ殺シ窓　半外付枠	３連ハメ殺シ窓　半外付枠
口　数	２	２	２	１	２
見　込	７０	７０	７０	７０	７０
材　種	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー
金　物	オペレーター（ 60° ）、アングルピース 他付属金物一式	アングルピース 他付属金物一式	アングルピース 他付属金物一式	アングルピース 他付属金物一式	アングルピース 他付属金物一式
硝　子	複層ガラス（型板ｔ4＋Ａ6＋フロートｔ3）	複層ガラス（型板ｔ4＋Ａ6＋フロートｔ3）	複層ガラス（型板ｔ4＋Ａ6＋フロートｔ3）	複層ガラス（フロートｔ5＋Ａ6＋フロートｔ5）	複層ガラス（型板ｔ4＋Ａ6＋フロートｔ3）
備　考	網戸				

記　号	⑫ AW	① AG	① AD
	多目的室Ａ・Ｂ・Ｃ	妻面外壁上部（小屋裏換気）	エントランス、ホール
姿　図			
種　類	２連引違イ窓　引違イランマ付	ガラリ　半外付枠	引分ケ自動ドア　防護スクリーン付
口　数	４	２	２
見　込	７０	７０	１５０
材　種	アルミ　カラー	アルミ　カラー	アルミ　カラー
金　物	クレセント、オペレーター、アングルピース アルミ額縁（外部三方）、他付属金物一式	ステンレス防虫網	自動ドア開閉装置（エンジン内蔵）、近赤外線反射式センサー、補助光電センサー シリンダー錠（サムターン付）、コーナーゴム、アングルピース、他付属金物一式
硝　子	複層ガラス（フロートｔ5＋Ａ6＋フロートｔ5）　ランマ：複層ガラス（フロート ｔ 3＋Ａ6＋フロート ｔ 3）		複層ガラス（強化ガラスｔ5＋Ａ6＋強化ガラスｔ5）
備　考	網戸		衝突防止シール、自動ドア表示ステッカー、案内表示・戸袋禁告用ラベル

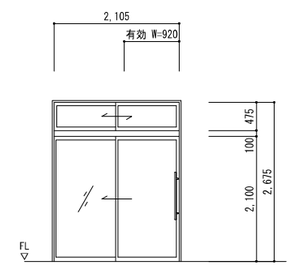
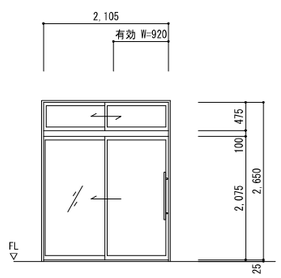
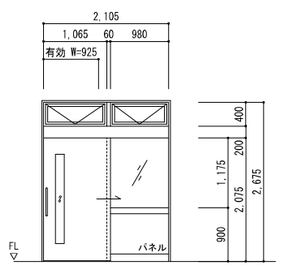
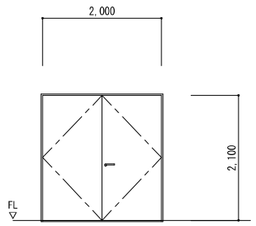
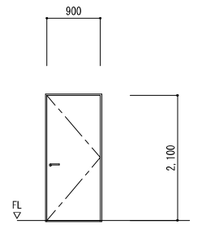
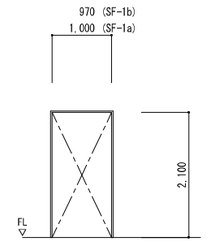
〈共通事項〉

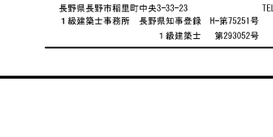
1．寸法は参考寸法とする。
2．特記なき金物はステンレス製とする。
3．ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。
4．出入り口部分の下枠及び水切は、原則として
　ステンレスとする。
5．サッシ廻りのコーキングは、原則として
　変成シリコーン系とする。
6．必要なヶ所は、戸当り付とする。
7．ドア下床見切は、ステンレス製とする。
8．原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。
9．網戸は、合成樹脂製とする。
10．クレセント・ハンドルは、抗菌・抗ウイルス仕様
　とする。

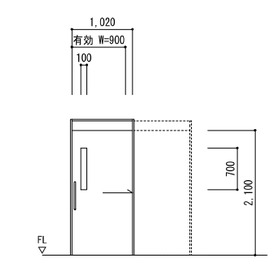
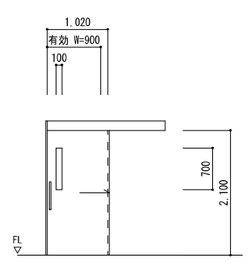
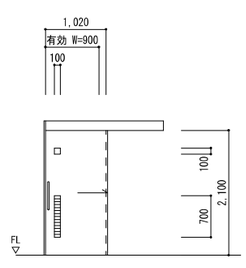
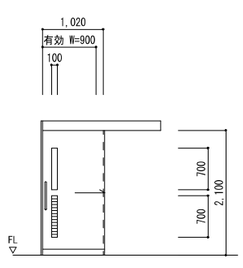
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　建具表（１）
縮　尺	1：50（A3=1：100）
図面番号	Ａ－133
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

建 具 表　S=1:50

記　号	(2) AD 多目的室Ｂ・Ｃ、審判員控室	(4) AD 多目的室Ａ	(3) AD ロッカールームＡ～Ｆ	(1) SD 外部倉庫Ａ	(2) SD 外部倉庫Ｂ	(1) SF 男子トイレＡ、女子トイレＡ
姿　図						
種　類	片引キ戸　引違イランマ付　（ＡＤ－３：下枠フラット仕様・ＡＤ－４：下枠一般仕様）		片袖　額付片引キハンガー戸（自閉式）　外側シランマ付	両開キ戸	片開キ戸	三方枠
口　数	ＡＤ－２：３、ＡＤ－４：２		６	１	１	1a：１、1b：１
見　込	７０		１００	枠：100　扉：40	枠：100　扉：40	２２５　見付25
材　種	アルミ　カラー		アルミ　カラー	スチール　ＤＰ	スチール　ＤＰ	スチール　ＳＯＰ
金　物	召合せ錠、オペレーター、アングルピース、ＡＤ－４のみ：ステンレス下額縁（内部） 引棒、アルミ額縁（外部三方）、他付属金物一式		ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）、引棒、召合せ錠、オペレーター（ 60° ）、アングルピース アルミ額縁（外部三方）、他付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、丁番、ＤＣ ステンレス下枠、スチール三方枠、他付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、丁番、ＤＣ ステンレス下枠、スチール三方枠、他付属金物一式	
硝　子	複層ガラス（強化ガラス t 5＋Ａ6＋強化ガラス t 5）　ランマ：複層ガラス（フロート ｔ 3＋Ａ6＋フロート ｔ 3）		複層ガラス（型板ｔ4＋Ａ6＋フロート t 5）　ランマ：複層ガラス（型板 ｔ 4＋Ａ6＋フロート ｔ 3）			
備　考	衝突防止シール、網戸		網戸、パネル（アルミ樹脂複合板 ｔ 3）			

記　号	(2) SF 湯沸室	(1) 3DS シャワー室Ａ～Ｃ	(1) LS0 管理事務室、審判員控室	(2) LS0 多目的室Ａ・Ｂ・Ｃ	(3) LS0 医務室	(4) LS0 倉庫Ｂ
姿　図						
種　類	三方枠	三方枠	軽量額付片引キハンガー戸	軽量額付片引キハンガー戸	軽量額付片引キハンガー戸	軽量額付片引キハンガー戸　ガラリ付
口　数	１	４	２	４	１	２
見　込	２１０　見付25	２２５　見付25	１００	１００	１００	１００
材　種	スチール　ＳＯＰ	ステンレス　ＨＬ	スチール　焼付塗装	スチール　焼付塗装	スチール　焼付塗装	スチール　焼付塗装
金　物			ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）、引棒（抗菌仕様） シリンダー錠（サムターン付）、スチール三方枠、他付属金物一式	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）、引棒（抗菌仕様） シリンダー錠（サムターン付）、スチール三方枠、他付属金物一式	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）、引棒（抗菌仕様） シリンダー錠（サムターン付）、スチール三方枠、他付属金物一式	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）、引棒（抗菌仕様）、シリンダー錠 スチール三方枠、他付属金物一式
硝　子			型板強化ガラス t 4	型板強化ガラス t 4	型板強化ガラス t 4	型板ガラス t 4
備　考						

記　号	(5) LS0 洗面所Ａ～Ｄ	(6) LS0 洗面所Ｅ・Ｆ	(7) LS0 バリアフリートイレＡ	(8) LS0 男子トイレＢ、女子トイレＢ
姿　図				
種　類	軽量額付片引キハンガー戸（壁収納タイプ）	軽量額付片引キハンガー戸	軽量額付片引キハンガー戸　ガラリ付	軽量額付片引キハンガー戸　ガラリ付
口　数	４	２	１	２
見　込	１００	１００	１００	１００
材　種	スチール　焼付塗装	スチール　焼付塗装	スチール　焼付塗装	スチール　焼付塗装
金　物	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）、引棒（抗菌仕様） スチール三方枠、他付属金物一式	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）、引棒（抗菌仕様） スチール三方枠、他付属金物一式	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）、引棒（抗菌仕様）、シリンダー錠 表示錠（非常時開錠装置付）、スチール三方枠、他付属金物一式	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）、引棒（抗菌仕様）、シリンダー錠 表示錠（非常時開錠装置付）、スチール三方枠、他付属金物一式
硝　子	型板強化ガラス t 4	型板強化ガラス t 4	型板ガラス t 4	型板強化ガラス t 4
備　考				屋外仕様、ステンレス巾木、ガラリ防虫網

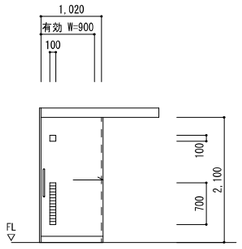
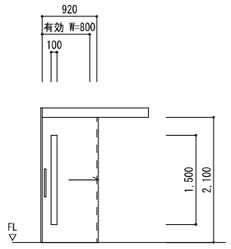
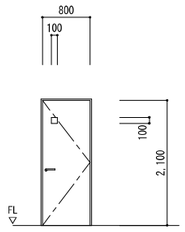
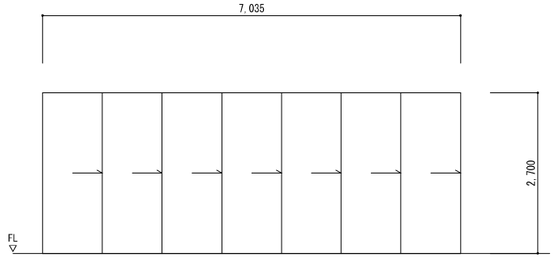
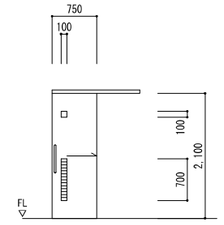
〈共通事項〉

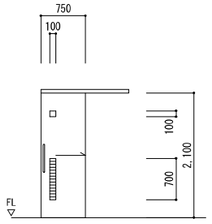
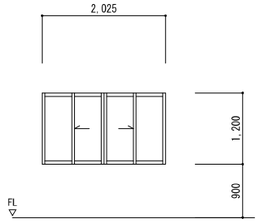
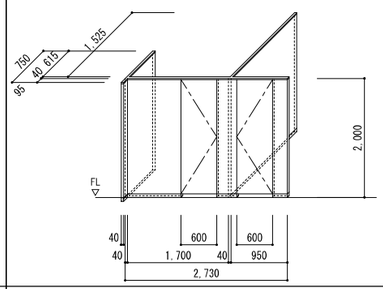
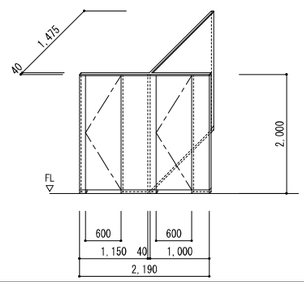
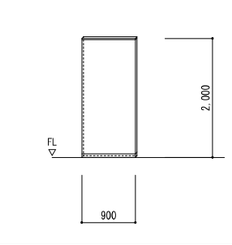
1．寸法は参考寸法とする。
2．特記なき金物はステンレス製とする。
3．ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。
4．出入り口部分の下枠及び水切は、原則として
　ステンレスとする。
5．サッシ廻りのコーキングは、原則として
　変成シリコーン系とする。
6．必要なヶ所は、戸当り付とする。
7．ドア下床見切は、ステンレス製とする。
8．原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。
9．網戸は、合成樹脂製とする。
10．クレセント・ハンドルは、抗菌・抗ウイルス仕様
　とする。

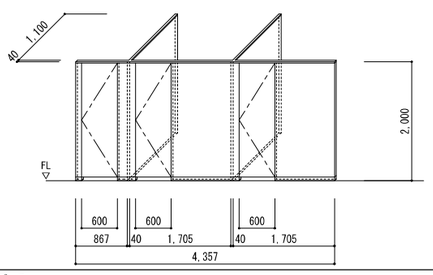
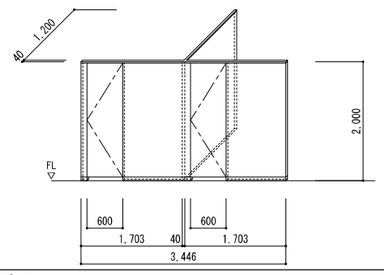
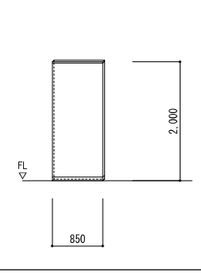
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　建具表（２）
縮　尺	1：50（A3=1：100）
図面番号	Ａ－134
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

建 具 表　S=1:50

記　号	⑨ 1:30 バリアフリートイレB	⑩ 1:30 湯沸室	⑪ 1:30 男子更衣室、女子更衣室	① SRW 多目的室Ｂ・Ｃ	① WD 職員更衣室
姿　図					
種　類	軽量額付片引キハンガー戸　ガラリ付	軽量額付片引キハンガー戸	額付片開キフラッシュ戸	スライディングウォール	額付片引キフラッシュ戸　ガラリ付（ハンガー式）
口　数	1	1	2	1	1
見　込	１００	１００	９０	５０タイプ	
材　種	スチール　焼付塗装	スチール　焼付塗装	スチール　焼付塗装	石膏ボード＋ビニールクロス貼り	メラミン化粧合板張り
金　物	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）、引棒（抗菌仕様）、シリンダー錠 表示錠（非常時開錠装置付）、スチール三方枠、他付属金物一式	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）、引棒（抗菌仕様） スチール三方枠、他付属金物一式	レバーハンドル、表示錠（サムターン・非常時開錠装置付）、丁番、ＤＣ ステンレス容揖、スチール三方枠、他付属金物一式	ハンガーレール、キャリアー、丸落シ・受ツボ、接床タイプ 他付属金物一式	引棒、表示錠（非常時開錠装置付） 埋込ハンガーレール、ガイドローラー、他付属金物一式
硝　子	型板ガラス t 4	型板強化ガラス t 4	型板ガラス t 4		型板ガラス t 4
備　考	屋外仕様、ステンレス巾木、ガラリ防虫網				

記　号	② WD 倉庫Ａ	① WW 管理事務室	① TB 男子トイレＡ	② TB 女子トイレＡ	③ TB 男子トイレＡ、女子更衣室
姿　図					
種　類	額付片引キフラッシュ戸　ガラリ付（ハンガー式）	引分ケ窓（ハンガー式）	トイレブース	トイレブース	トイレブース
口　数	1	1	1	1	2
見　込		３５	４０	４０	４０
材　種	メラミン化粧合板張り	木製　木材保護塗装（屋内仕様）	高圧メラミン化粧合板（竪牢仕様）	高圧メラミン化粧合板（竪牢仕様）	高圧メラミン化粧合板（竪牢仕様）
金　物	引棒、シリンダー錬錠 埋込ハンガーレール、ガイドローラー、他付属金物一式	引手、クレセント 埋込ハンガーレール、ガイドローラー、他付属金物一式	頭つなぎ、ステンレス巾木、Ｒドアエッジ（指はさみ防止構造） グレビティヒンジ、表示付スライドボルト（非常時開錠装置付）、戸当り帽子掛、他付属金物一式	頭つなぎ、ステンレス巾木、Ｒドアエッジ（指はさみ防止構造） グレビティヒンジ、表示付スライドボルト（非常時開錠装置付）、戸当り帽子掛、他付属金物一式	頭つなぎ、ステンレス巾木 他付属金物一式
硝　子	型板ガラス t 4	強化ガラス t 5			
備　考					

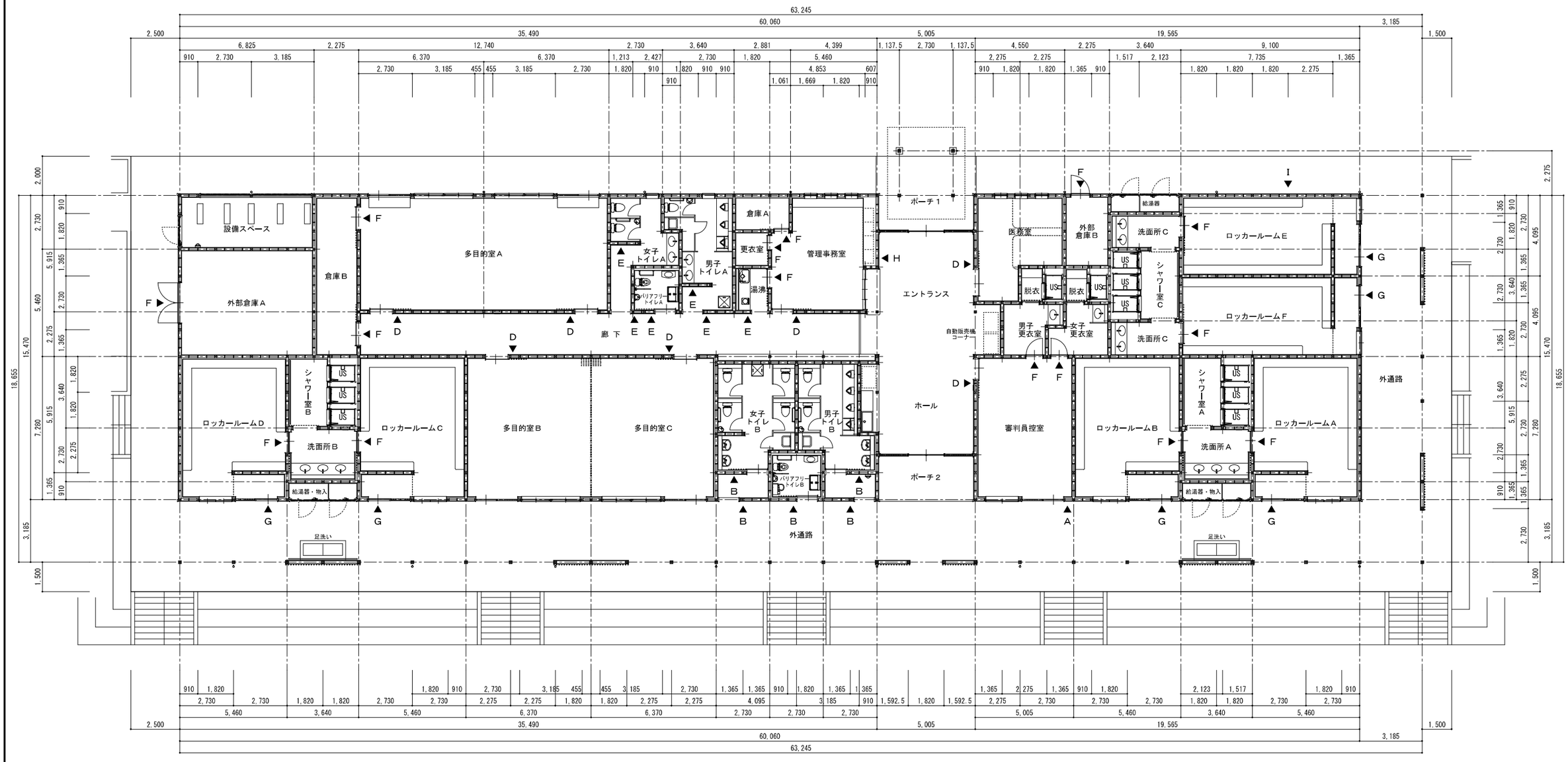
記　号	④ TB 男子トイレＢ、女子トイレＢ	⑤ TB 女子トイレＢ	⑥ TB 男子トイレＢ
姿　図			
種　類	トイレブース	トイレブース	トイレブース
口　数	2	1	1
見　込	４０	４０	４０
材　種	高圧メラミン化粧合板（竪牢仕様）	高圧メラミン化粧合板（竪牢仕様）	高圧メラミン化粧合板（竪牢仕様）
金　物	頭つなぎ、ステンレス巾木、Ｒドアエッジ（指はさみ防止構造） グレビティヒンジ、表示付スライドボルト（非常時開錠装置付）、戸当り帽子掛、他付属金物一式	頭つなぎ、ステンレス巾木、Ｒドアエッジ（指はさみ防止構造） グレビティヒンジ、表示付スライドボルト（非常時開錠装置付）、戸当り帽子掛、他付属金物一式	頭つなぎ、ステンレス巾木 他付属金物一式
硝　子			
備　考			

〈共通事項〉

1．寸法は参考寸法とする。
2．特記なき金物はステンレス製とする。
3．ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。
4．出入り口部分の下枠及び水切は、原則として
　ステンレスとする。
5．サッシ廻りのコーキングは、原則として
　変成シリコーン系とする。
6．必要なヶ所は、戸当り付とする。
7．ドア下床見切は、ステンレス製とする。
8．原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。
9．網戸は、合成樹脂製とする。
10．クレセント・ハンドルは、抗菌・抗ウイルス仕様
　とする。

工事名称	国補　雨長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　建具表（３）
縮　尺	1：50（A3=1：100）
図面番号	Ａ－135
DATE	：　．　．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



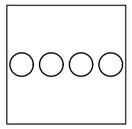
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　サインキープラン
縮　尺	1：100（A3=1：200）
図面番号	A－136
DATE	．．．

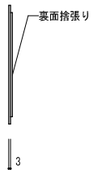
株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二

サインＡ：室名札（壁面・平付　アルミ＋シート）　NON

サイン仕様

壁面取付	150×150 アルミ複合板ｔ3（裏面捨張りｔ3） インクジェットシート貼り（小口巻込み） ※ ベース色：白、文字：カラー	１ケ所

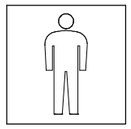




サインＢ：ピクト（壁面・平付　アルミ＋シート）　NON

サイン仕様　※絵文字柄は参考とする。

壁面取付	150×150 アルミ複合板ｔ3（裏面捨張りｔ3） インクジェットシート貼り（小口巻込み） ※ ベース色：カラー、マーク：白	５ヶ所



【男子トイレＢ：Ｂ１】



【女子トイレＢ：Ｂ２】



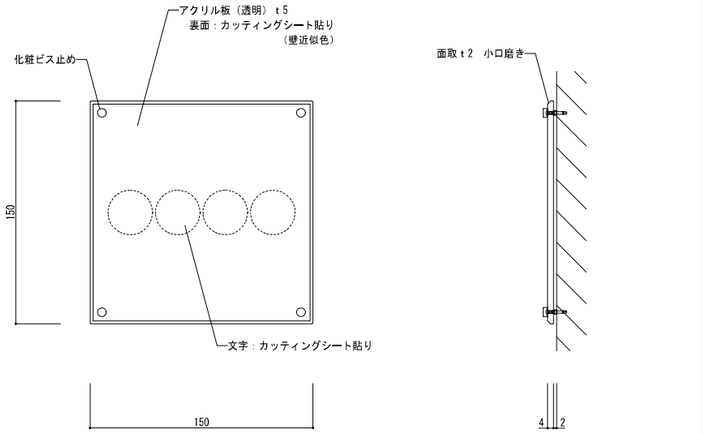


【ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚＢ：Ｂ３】

サインＤ：室名札（壁面・平付　アクリル）　NON

サイン仕様　※絵文字柄は参考とする。

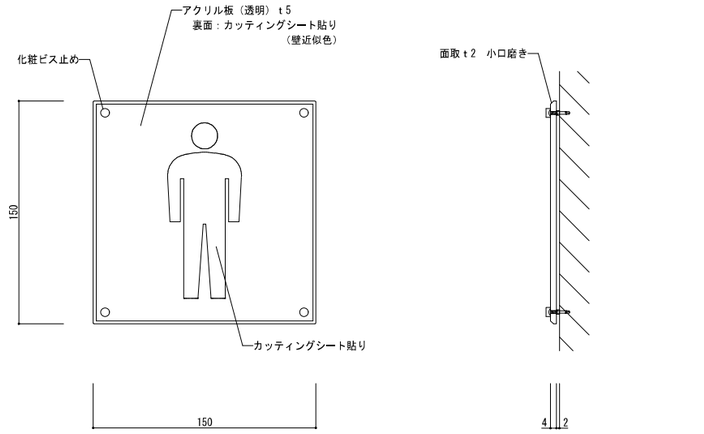
壁面取付	150×150	７ヶ所



サインＥ：ピクト（壁面・平付　アクリル）　NON

サイン仕様　※絵文字柄は参考とする。

壁面取付	150×150	６ヶ所



【ピクトサイン参考図】



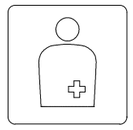
〔男子トイレ〕



〔女子トイレ〕



〔バリアフリートイレ〕



〔オストメイト設置トイレ〕



〔呼出装置対応〕

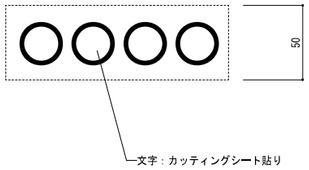
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　サイン詳細図（１）
縮　尺	NON
図面番号	Ａ－137
DATE	．　．

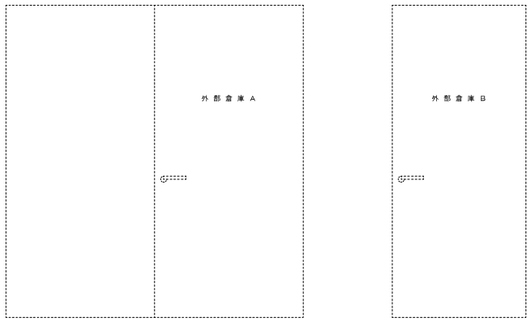
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

サインＦ：室名札（建具面・シート）　NON

サイン仕様　※絵文字柄は参考とする。

建具面取付	図示 カッティングシート貼り	15ヶ所





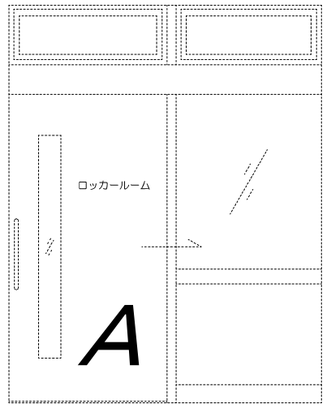
室　名	職員更衣室、倉庫Ａ、湯沸室、倉庫Ｂ×２、男子更衣室、女子更衣室、洗面所Ａ×２、洗面所Ｂ×２、洗面所Ｃ×２、外部倉庫Ａ、外部倉庫Ｂ

サインＧ：室名札＋番号（建具面・シート）　NON

サイン仕様　※絵文字柄は参考とする。

建具面取付	図示 カッティングシート貼り 番号文字：500×500	６ヶ所

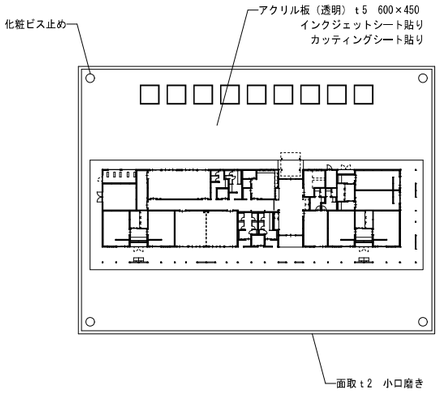




サインＨ：館内案内板　NON

サイン仕様　※絵文字柄は参考とする。

壁面取付	600×450	１ヶ所



サインＩ：館銘板（外壁面　平付）　NON

サイン仕様　※絵文字柄は参考とする。

外壁面取付	図示 SUS製箱文字　焼付塗装　300×300	１ヶ所

南長野運動公園フットボール場

館名文字：SUS製箱文字　焼付塗装　300×300

【ピクトサイン参考図】


〔男子トイレ〕


〔女子トイレ〕



〔バリアフリートイレ〕

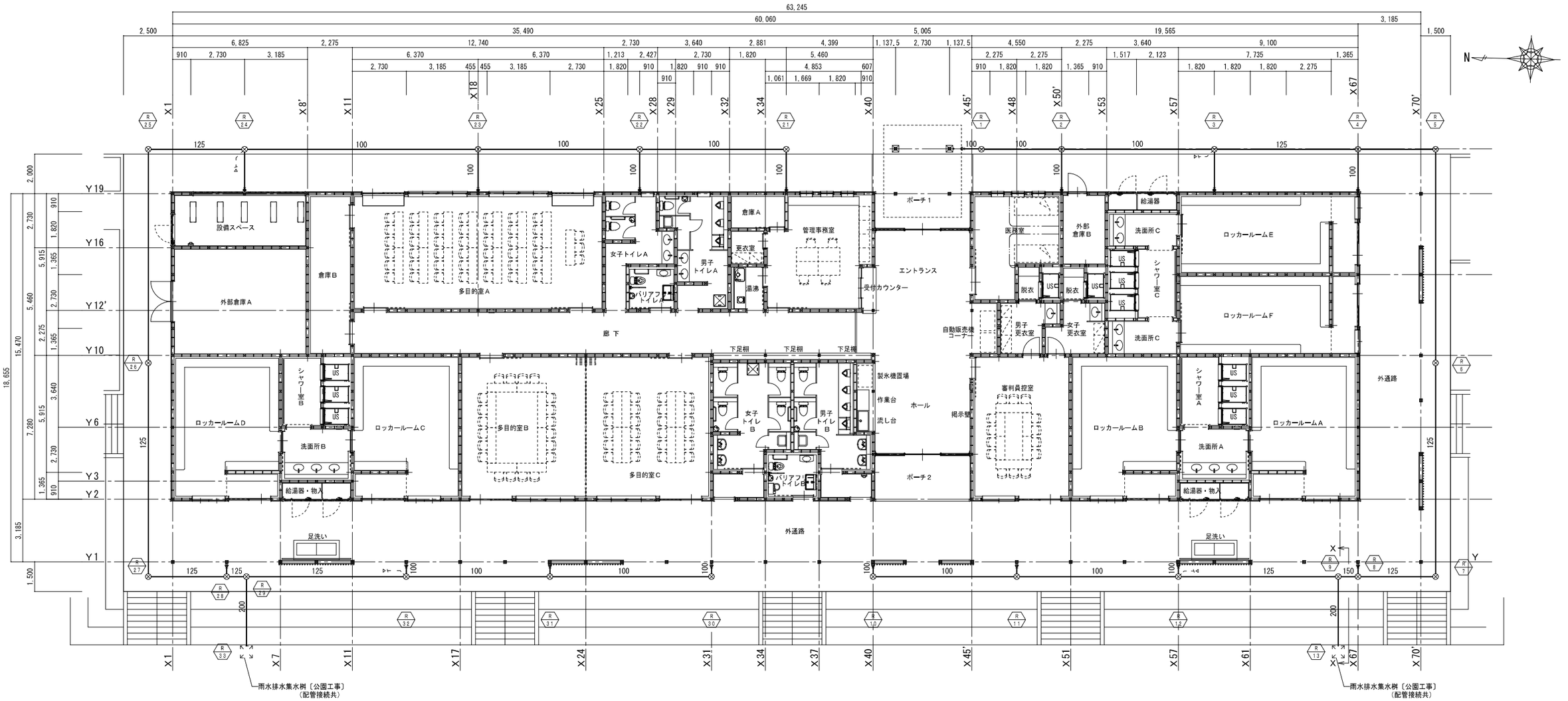

〔オストメイト設置トイレ〕



〔呼出装置対応〕

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　サイン詳細図（２）
縮　尺	NON
図面番号	Ａ－138
DATE	．　．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

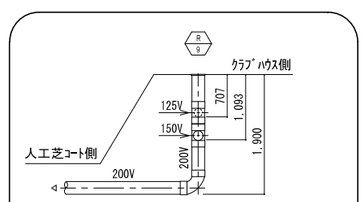


雨水桝リスト

桝リストの数値は参考とする。　桝深さは設計GL(354.71)を基準とする。　雨水桝は泥溜り(H=150以上)、バケット付とする。

NO.	桝の名称	桝口径	主管口径	枝管口径	桝深さ	蓋	距離(m)	勾配
R-21	塩ビ製小口径雨水90°曲点桝	150	100		400	鋳鉄製	7.4	13.0‰
R-22	塩ビ製小口径雨水90°合流桝	150	100	100	496	鋳鉄製	8.2	
R-23	塩ビ製小口径雨水90°合流桝	150	100	100	603	鋳鉄製	11.8	
R-24	塩ビ製小口径雨水90°45°2本合流桝	150	100	100,75	756	鋳鉄製	4.9	
R-25	塩ビ製小口径雨水90°曲点桝	200	125		820	鋳鉄製	10.8	
R-26	塩ビ製小口径雨水中間桝	200	125		970	鋳鉄製	10.8	
R-27	塩ビ製小口径雨水90°曲点桝	200	125		1,120	鋳鉄製	4.0	
R-28	塩ビ製小口径雨水90°合流桝	200	125	100	1,172	鋳鉄製	1.0	
R-29	塩ビ管集水桝（右参考図参照）	200	200	125,125	1,185 1,900	鋳鉄製　1,093	3.4	
R-33	雨水排水集水桝（公園工事）				500			
R-30	塩ビ製小口径雨水90°曲点桝	150	100		400	鋳鉄製	8.2	
R-31	塩ビ製小口径雨水90°合流桝	150	100	100	507	鋳鉄製	7.3	
R-32	塩ビ製小口径雨水90°45°2本合流桝	150	100	100,75	602	鋳鉄製	8.1	
R-29	塩ビ管集水桝（参考図参照）	200	200	125,125	707			

NO.	桝の名称	桝口径	主管口径	枝管口径	桝深さ	蓋	距離(m)	勾配
R-1	塩ビ製小口径雨水中間桝	150	100		400	鋳鉄製	4.1	13.0‰
R-2	塩ビ製小口径雨水90°合流桝	150	100	100	460	鋳鉄製	7.7	
R-3	塩ビ製小口径雨水90°45°2本合流桝	150	100	100,75	568	鋳鉄製	7.3	
R-4	塩ビ製小口径雨水90°合流桝	200	125	100	670	鋳鉄製	3.9	
R-5	塩ビ製小口径雨水90°曲点桝	200	125		725	鋳鉄製	10.8	
R-6	塩ビ製小口径雨水中間桝	200	125		875	鋳鉄製	10.8	
R-7	塩ビ製小口径雨水90°曲点桝	200	125		1,025	鋳鉄製	3.9	
R-8	塩ビ製小口径雨水90°合流桝	200	150	100	1,080	鋳鉄製	1.0	
R-9	塩ビ管集水桝（右参考図参照）	200	200	150,125	1,093 1,900	鋳鉄製　1,093	3.4	
R-13	雨水排水集水桝（公園工事）				500			
R-10	塩ビ製小口径雨水90°曲点桝	150	100		400	鋳鉄製	7.3	
R-11	塩ビ製小口径雨水90°合流桝	150	100	100	495	鋳鉄製	8.2	
R-12	塩ビ製小口径雨水90°45°2本合流桝	150	100	100,75	602	鋳鉄製	8.1	
R-9	塩ビ管集水桝（参考図参照）	200	200	125,125	707			



X～X断面参考図　S=1/50

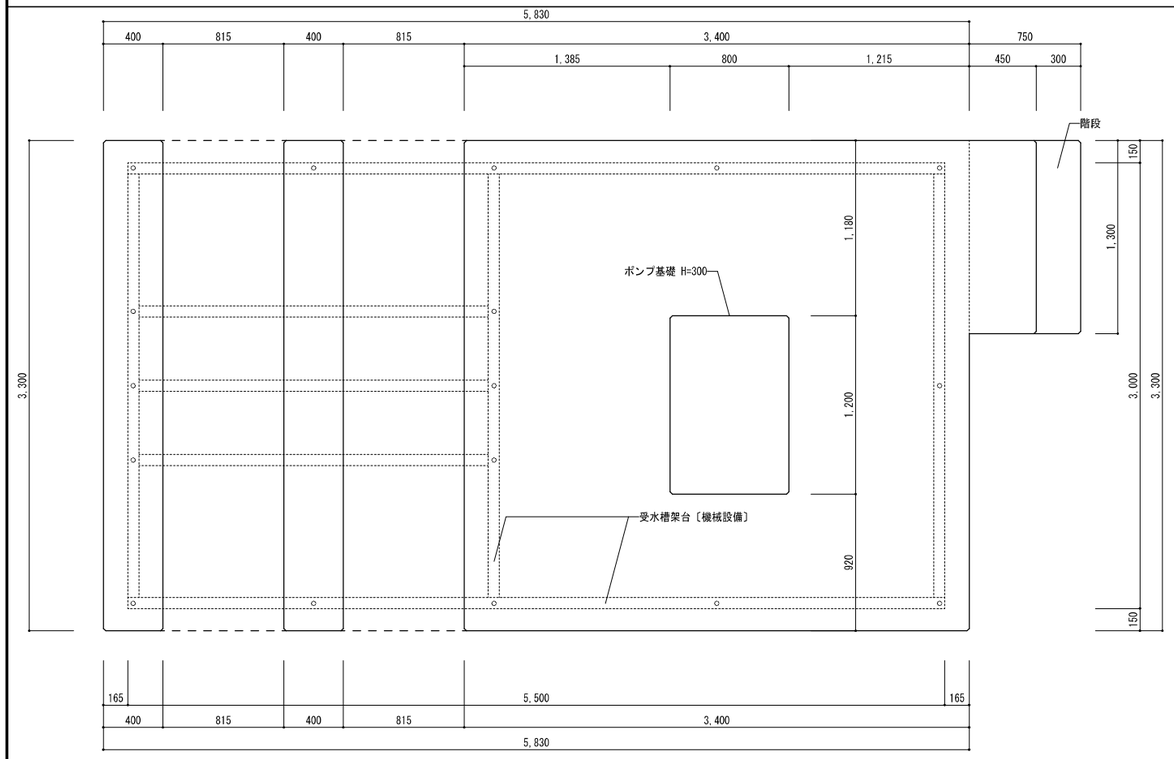
塩ビ管集水桝参考図

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　雨水設備平面図
縮尺	1：100（A3=1:200）
図面番号	A－139
DATE	．．．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二

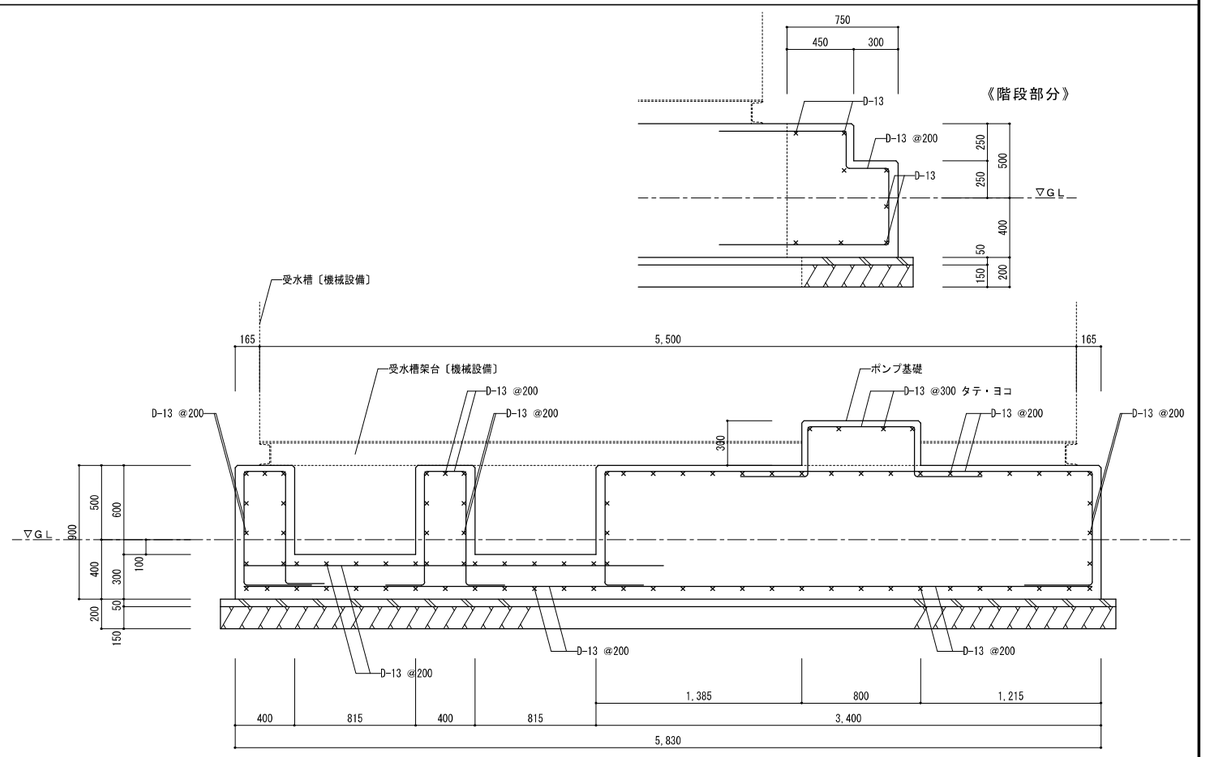
受水槽基礎　詳細図

S＝１：２０



《平面図》

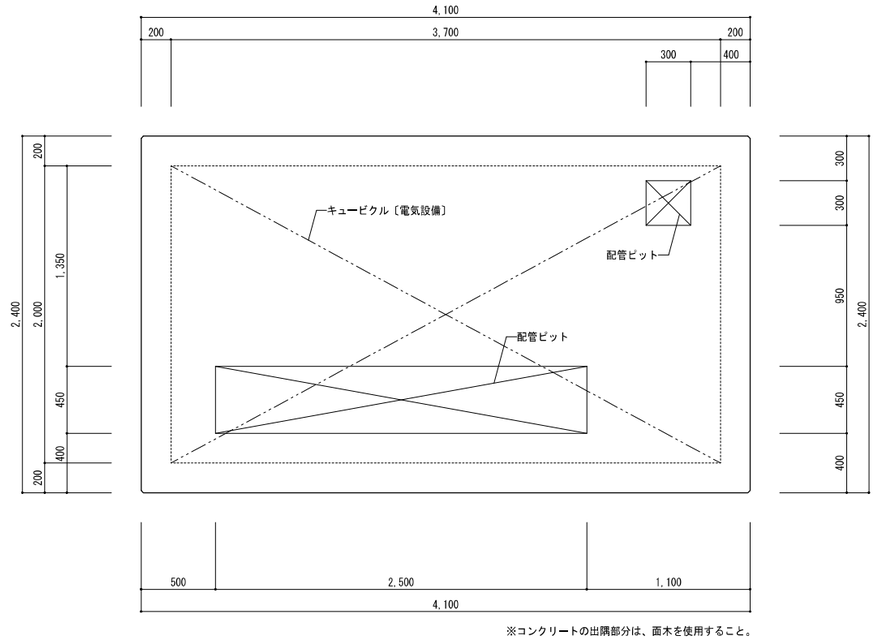
※コンクリートの出隅部分は、面木を使用すること。



※基礎底面において、地耐力30KN/㎡（長期）以上を確認すること。
なお、基準値を下回る場合は、基礎形状および地盤改良について監督員と協議すること。

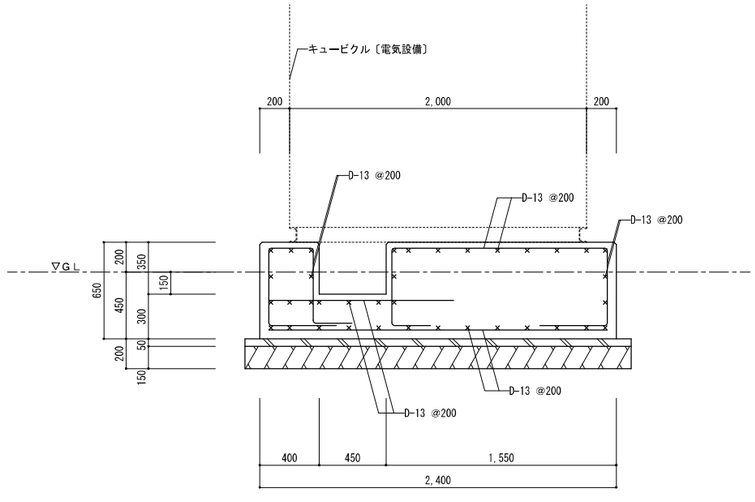
キュービクル基礎　詳細図

S＝１：２０



※コンクリートの出隅部分は、面木を使用すること。

《平面図》



※基礎底面において、地耐力20KN/㎡（長期）以上を確認すること。
なお、基準値を下回る場合は、基礎形状および地盤改良について監督員と協議すること。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　外構詳細図
縮　尺	1：20（A3=1：40）
図面番号	Ａ－140
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

令第116条の2第1項第1号
【無窓居室の検討】

多目的室A（採光の検討）
A（床面積）＝ 75.36㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 3.768㎡
S（有効開口面積）
AW-12 1.447 × 1.20 ×2×2 = 6.94
AW-12 1.447 × 0.475×2×2 = 2.74
AD- 4 2.105 × 2.075 ×2 = 8.73
AD- 4 2.105 × 0.475 ×2 = 1.99
計 20.40㎡ ∴ OK

法第28条第2項
【換気の検討】

多目的室A（換気の検討）
A（床面積）＝ 75.36㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 3.768㎡
S（有効開口面積）
AW-12 0.723 × 1.20 ×2×2 = 3.47
AW-12 0.723 × 0.475×2×2 = 1.37
AD- 4 0.920 × 2.075 ×2 = 3.81
AD- 4 1.052 × 0.475 ×2 = 0.99
計 9.64㎡ ∴ OK

令第116条の2第1項第2号
【無窓居室の検討】

多目的室A（排煙の検討）
A（床面積）＝ 75.36㎡
A×1/50（必要開口面積）＝ 1.507㎡
S（有効開口面積）
AW-12 0.723 × 0.475×2×2 = 1.37
AD- 4 1.052 × 0.475 ×2 = 0.99
計 2.36㎡ ∴ OK

室内（天井）に面する部分の木部の検討

室内の天井面積＝ 880.06㎡
880.06/10＝ 88.00㎡
【天井面の木製梁の表面積】
多目的室A : (0.12+0.10×2) × 5.510 × 7 = 12.35
多目的室B・C : (0.12+0.10×2) × 6.875 × 7 = 15.40
エントランス : (0.12+0.14×2) × 4.805 × 1 = 1.93
(0.12+0.05+0.02) × 4.805 × 1 = 0.92
ホール : (0.12+0.16×2) × 4.805 × 2 = 4.23
(0.12+0.16+0.36) × 4.805 × 1 = 3.08
計 37.91㎡ ＜ 88.00㎡ ∴OK

令第116条の2第1項第1号
【無窓居室の検討】

管理事務室（採光の検討）
A（床面積）＝ 26.77㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 1.339㎡
S（有効開口面積）
AW-2 0.60 × 1.20 ×3 = 2.160
AW-2 0.60 × 0.475 ×3 = 0.855
計 3.015㎡ ∴ OK

法第28条第2項
【換気の検討】

管理事務室（換気の検討）
A（床面積）＝ 26.77㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 1.339㎡
S（有効開口面積）
AW-2 0.60 × 0.55 ×3 = 0.990
AW-2 0.60 × 0.475 ×3 = 0.855
計 1.845㎡ ∴ OK

令第116条の2第1項第2号
【無窓居室の検討】

管理事務室（排煙の検討）
A（床面積）＝ 26.77㎡
A×1/50（必要開口面積）＝ 0.535㎡
S（有効開口面積）
AW-2 0.60 × 0.475 ×3 = 0.855
計 0.855㎡ ∴ OK

令第116条の2第1項第1号
【無窓居室の検討】

医務室（採光の検討）
A（床面積）＝ 20.70㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 1.035㎡
S（有効開口面積）
AW-2 0.60 × 1.20 ×3 = 2.160
AW-2 0.60 × 0.475 ×3 = 0.855
計 3.015㎡ ∴ OK

法第28条第2項
【換気の検討】

医務室（換気の検討）
A（床面積）＝ 20.70㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 1.035㎡
S（有効開口面積）
AW-2 0.60 × 0.55 ×3 = 0.990
AW-2 0.60 × 0.475 ×3 = 0.855
計 1.845㎡ ∴ OK

令第116条の2第1項第2号
【無窓居室の検討】

医務室（排煙の検討）
A（床面積）＝ 20.70㎡
A×1/50（必要開口面積）＝ 0.414㎡
S（有効開口面積）
AW-2 0.60 × 0.475 ×3 = 0.855
計 0.855㎡ ∴ OK

令第116条の2第1項第1号
【無窓居室の検討】

ロッカールームE・F（採光の検討）
A（床面積）＝ 37.26㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 1.863㎡
S（有効開口面積）
AW-5 1.105 × 0.575 ×1 = 0.63
AD-3 0.98 × 1.175 ×1 = 1.15
AD-3 2.045 × 0.400 ×1 = 0.81
計 2.59㎡ ∴ OK

法第28条第2項
【換気の検討】

ロッカールームE・F（換気の検討）
A（床面積）＝ 37.26㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 1.863㎡
S（有効開口面積）
AW-5 1.105 × 0.575 ×1 = 0.63
AD-3 0.925 × 2.075 ×1 = 1.91
AD-3 2.045 × 0.400 ×1 = 0.81
計 3.35㎡ ∴ OK

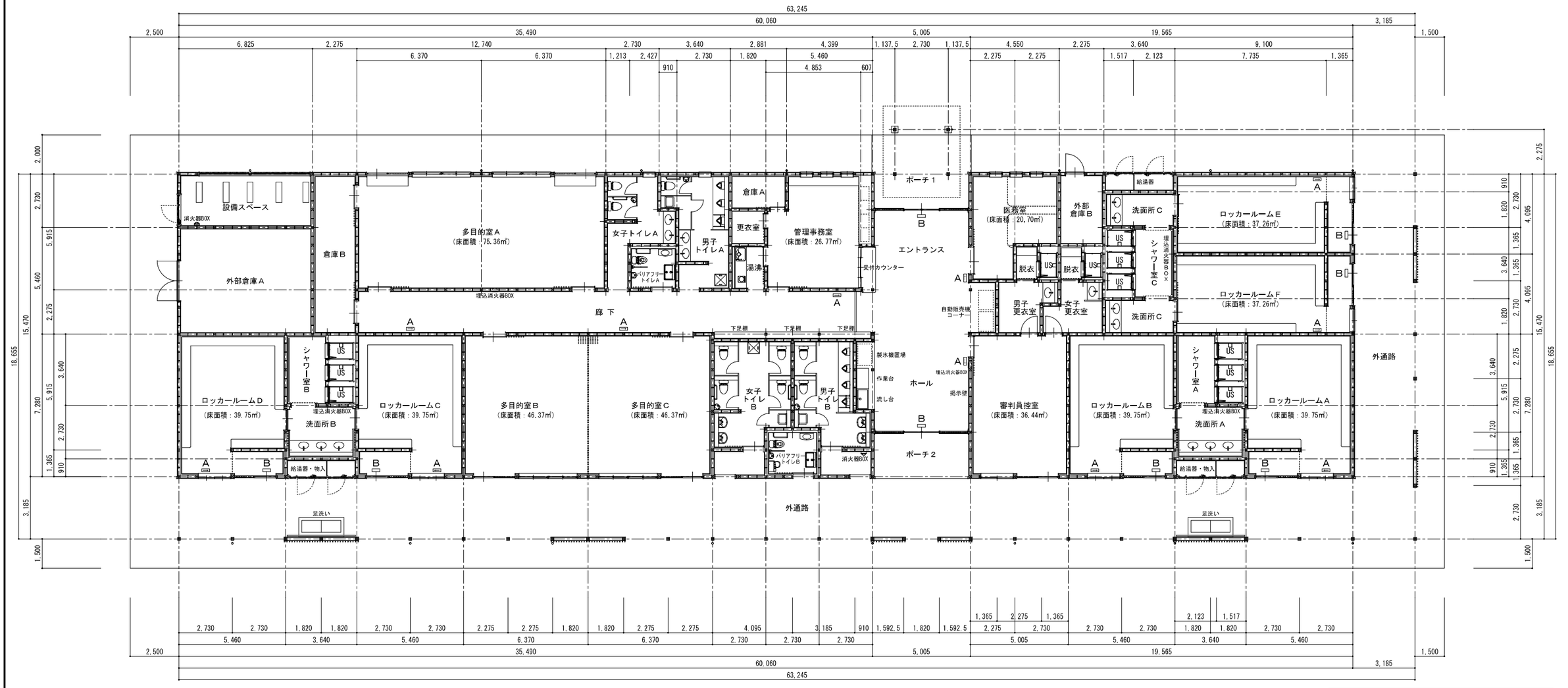
令第116条の2第1項第2号
【無窓居室の検討】

ロッカールームE・F（排煙の検討）
A（床面積）＝ 37.26㎡
A×1/50（必要開口面積）＝ 0.745㎡
S（有効開口面積）
AW-5 1.105 × 0.575 ×1 = 0.63
AD-3 2.045 × 0.400 ×1 = 0.81
計 1.44㎡ ∴ OK

誘導標識（消防認定品）

A : 通路誘導標識（１１ケ所）

B : 避難口誘導標識（８ケ所）



令第116条の2第1項第1号
【無窓居室の検討】

多目的室B・C（採光の検討）
A（床面積）＝ 46.37㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 2.318㎡
S（有効開口面積）
AW-12 1.447 × 1.20 ×2×1 = 3.47
AW-12 1.447 × 0.475×2×1 = 1.37
AD- 2 2.105 × 2.10 ×1 = 4.42
AD- 2 2.105 × 0.475 ×1 = 0.99
計 10.25㎡ ∴ OK

法第28条第2項
【換気の検討】

多目的室B・C（換気の検討）
A（床面積）＝ 46.37㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 2.318㎡
S（有効開口面積）
AW-12 0.723 × 1.20 ×2×1 = 1.73
AW-12 0.723 × 0.475×2×1 = 0.68
AD- 2 0.920 × 2.10 ×1 = 1.93
AD- 2 1.052 × 0.475 ×1 = 0.49
計 4.83㎡ ∴ OK

令第116条の2第1項第2号
【無窓居室の検討】

多目的室B・C（排煙の検討）
A（床面積）＝ 46.37㎡
A×1/50（必要開口面積）＝ 0.927㎡
S（有効開口面積）
AW-12 0.723 × 0.475×2×1 = 0.68
AD- 2 1.052 × 0.475 ×1 = 0.49
計 1.17㎡ ∴ OK

令第116条の2第1項第1号
【無窓居室の検討】

審判員控室（採光の検討）
A（床面積）＝ 36.44㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 1.822㎡
S（有効開口面積）
AW-1 1.640 × 1.775 ×1 = 2.91
AD-2 2.105 × 2.10 ×1 = 4.42
AD-2 2.105 × 0.475 ×1 = 0.99
計 8.32㎡ ∴ OK

法第28条第2項
【換気の検討】

審判員控室（換気の検討）
A（床面積）＝ 36.44㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 1.822㎡
S（有効開口面積）
AW-1 0.820 × 1.775 ×1 = 1.45
AD-2 0.920 × 2.10 ×1 = 1.93
AD-2 1.052 × 0.475 ×1 = 0.49
計 3.87㎡ ∴ OK

令第116条の2第1項第2号
【無窓居室の検討】

審判員控室（排煙の検討）
A（床面積）＝ 36.44㎡
A×1/50（必要開口面積）＝ 0.729㎡
S（有効開口面積）
AW-1 0.820 × 0.775 ×1 = 0.63
AD-2 1.052 × 0.475 ×1 = 0.49
計 1.12㎡ ∴ OK

令第116条の2第1項第1号
【無窓居室の検討】

ロッカールームA～D（採光の検討）
A（床面積）＝ 39.75㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 1.988㎡
S（有効開口面積）
AW-4 0.765 × 0.575 ×2 = 0.90
AD-3 0.98 × 1.175 ×1 = 1.15
AD-3 2.045 × 0.40 ×1 = 0.81
計 2.86㎡ ∴ OK

法第28条第2項
【換気の検討】

ロッカールームA～D（換気の検討）
A（床面積）＝ 39.75㎡
A×1/20（必要開口面積）＝ 1.988㎡
S（有効開口面積）
AW-4 0.765 × 0.575 ×2 = 0.90
AD-3 0.925 × 2.075 ×1 = 1.91
AD-3 2.045 × 0.40 ×1 = 0.81
計 3.62㎡ ∴ OK

令第116条の2第1項第2号
【無窓居室の検討】

ロッカールームA～D（排煙の検討）
A（床面積）＝ 39.75㎡
A×1/50（必要開口面積）＝ 0.795㎡
S（有効開口面積）
AW-4 0.765 × 0.575 ×2 = 0.90
AD-3 2.045 × 0.40 ×1 = 0.81
計 1.71㎡ ∴ OK

※ 令114条第3項の小屋裏隔壁については、ただし書き第２号による。
（各室、通路について室内に面する部分の仕上が難燃材料）

工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス棟 法規チェック図
縮 尺	1：100（A3=1：200） 図面番号 A－141
DATE	． ．

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 H-第7525１号
１級建築士 第293052号 渡利 真二

木質工事特記仕様書

1．一般事項

☑は適用項目を示すものとする。

（1）適用範囲
※本仕様書は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。
木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。

（2）設計図書
設計図書とは標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。

（3）準拠する図書
設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）
「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）
「公共建築木造工事標準仕様書 」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造計画・設計基準 」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」（日本住宅・木材技術センター）
「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」
上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。

（4）設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は下記による。
1.指示書（現場説明書及び質疑回答書） 2.設計図 3.特記仕様書 4.標準図

（5）疑義
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監督職員に申し出、その処理方法について協議する。

（6）製作要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。

（7）施工図及びプレカット図の提出
工事に先立ち各種の施工図を作成し監督職員の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

（8）製作工場・プレカット工場の選定、承諾
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場、プレカット工場及び木工技能者を選定し、監督職員の承諾を受ける。

（9）プレカット部材の品質確保
加工精度や加工効率の確保のため、プレカット工場の管理者は、(一社)中大規模木造プレカット技術協会の主催する講習会の修了者とする。

(10) プレカット部材の瑕疵保証
主架構には、中大規模木造プレカット部材瑕疵保証、及び中大規模木造プレカットミス賠償責任保険（ 運営：中大規模木造プレカット部材共済会 ）を付与された部材を用いる。

(11) 各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

2．材料の品質

☑は適用項目を示すものとする。

2.1 木質材料

（1）構造用製材
木造の内容は特記無き限り、構造用製材を対象とし、製材の日本農林規格に準拠する。

☑【構造用製材】 下表以外は、A-001図による

部 位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観
土台	檜	無等級			

☑ 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
背割りを行う部材の有無
☑ 有 （背割りを行う場合は、見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。）
☐ 無
☑ 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように注意する。
☑ 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級１級相当とする。

（2）構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)
本項の内容は特記無き限り、集成材及び単板積層材の日本農林規格に準拠する。

☑【構造用集成材・LVL】
ラミナの枚数や特殊な試験については必要に応じて特記する。

部 位	樹種名	品 名 (LVLの場合は区分)	強度等級 (LVLの場合は曲げ性能)	材面の品質	使用環境	ホルムアルデヒド放 散 量
梁	米 松	対称異等級	E135-F375	1種	A	F☆☆☆☆

（3）構造用合板、構造用パネル(OSB)、パーティクルボード、MDF等
本項の内容は特記無き限り、合板及び構造用パネルの日本農林規格又はパーティクルボード及びMDF等の日本工業規格に準拠する。

☑【構造用合板・構造用パネル(OSB)、パーティクルボード、MDF等】
単板の樹種及び構成や防虫処理については必要に応じて特記する。

部 位	強度等級 (OSBの場合は曲げ性能)	板面の品質 (注1)	接着の程度 (構造用合板の場合に記入)	寸 法	ホルムアルデヒド放 散 量
	1 級	B	1類		F☆☆☆☆

注1. 構造用合板の板面の品質は、通常は１級がB-C、２級がC-D
OSBの場合は、表面及び裏面に木材の小片の浮き上がりがないこと及び側面の切断面が平滑であること。
注2. 特注品の場合は納期に注意すること(2ヶ月以上)

（4）丸太・そま角
☐【丸太・そま角】
本項の内容は特記無き限り、素材の日本農林規格などに準拠する。

部 位	樹種名	縦振動ヤング係数区分	等 級
(記入例)		E150など測定した縦振動ヤング係数で定められる区分で示す	材の品質を１等、２等、３等、４等で示す

2.2 接合具
接合具の材質は一般普及品を使用することを原則とし、特殊なものを使用したい場合は特記とする。
接合具に錆を生じる恐れのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。標準めっき処理は溶融亜鉛めっき鋼板：Z27(JIS G 3302) 電気亜鉛めっき：Ep-Fe/Zn8/CM2とする。

（1）くぎ、木ネジ

種 類	材 質			径 (mm)	長さ (mm)	使用箇所	頭部／胴部形状
☐ N釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			耐力壁、床板、屋根	皿頭網目付き/スムース
☑ CN釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			耐力壁、床板、屋根	平頭フラット
☑ ZN釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			補強金物	平頭 フラット/バーブ
☐ S釘	ステンレス	JIS G 4309	SUS304			耐力壁、床板、屋根	平頭フラット及び網目付き/スムース
☐ GN釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			石膏ボード用	平頭フラット
☐							

（2）木質構造用ビス

製品名	径 (mm)	長さ (mm)	使用箇所
☐			
☐			
☐			

（3）ボルト、ナット、座金
ボルト・ナットはJIS B 1180、JIS B 1181の規格及び付属書JAによる。

種 類	材 質			径 (mm)	長さ (mm)	防錆処理、使用箇所など
☑ 呼び径六角ボルト ☐ 有効径六角ボルト	鉄	JIS B 1180 JIS B 1181 JIS B 1051	強度区分4.6又は、4.8、4T以上に適合する炭素鋼	M12		☑ 電気亜鉛めっき ☐ （ ）
☐ 全ネジボルト ☐	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地
☑ アンカーボルト ☐	鉄	JIS G 3101 JIS G 3138 JIS G 3505 JIS G 3507-1	SS400 SNR400B、490B SWRM8～10 SWRCH8～10	M12		☑ 電気亜鉛めっき ☐ （ ）
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地
☑ 角座金 ☐ 丸座金 ☐	鉄	JIS G 3131	SPHC SS400			☑ 電気亜鉛めっき ☐ （ ）
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地

・設計図及び標準図記載以外の座金は、特記なき限り用途ごと(引張、せん断)に下表により使い分ける。
尚、ボルトとの組み合わせにより耐力が決まっている羽子板ボルト等の座金は、その仕様に準ずる。（単位：mm）

座金の大きさ ＼ ボルト径		8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13
	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
	角座金の一辺	25	30	35	50	60	70
	丸座金の直径	30	35	38	48	58	68

（4）ドリフトピン、ラグスクリュー、木栓

種 類	材 質			径 (mm)	長さ (mm)	防錆処理、使用箇所など
☑ ドリフトピン	鉄	JIS G 3101 JIS G 3505 JIS G 4051	SS400 SWRM8～12 S10C		DP-118 DP-145	☑ 電気亜鉛めっき ☐ （ ）
☐ ラグスクリュー （コーチボルト）	鉄	JIS B 1180 JIS B 1051 JIS G 3101	強度区分4.6又は、4.8 SS400			☐ 電気亜鉛めっき ☐ （ ）
☐ 木栓	堅木（樹種： ）					

・ドリフトピンの先端テーパー部の長さ：10mm以下
・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等、気乾比重0.6以上の広葉樹で、節や目切れ等の欠点の無いものとし先端は、3~5mm程度面取りすること。

（5）接合金物、鋼材

種 類	品 名	短期許容接合耐力	メーカー等	防錆処理、使用箇所など
☑ 筋かい耐力壁の接合部	図面指示			☑ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
				☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
☑ 柱頭・柱脚接合部	図面指示			☑ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
				☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
				☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
☑ 横架材接合部	羽子板ﾎﾞﾙﾄ			☑ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
				☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
☐ 鋼材				☐ （ ）
☐ （ ）				☐
☐ （ ）				☐ （ ）
☐ （ ）				☐ （ ）

（6）接着剤（接着接合）
ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とする。

製品名	使用箇所	備 考
☐		
☐		
☐		

3．耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）

（1）木材の防腐・防蟻処理
木材の防腐・防蟻処理は以下のいずれかとする。
・高耐久材の使用（注：部材は心材あるいは心持ち材または集成材とする）
・工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所などは、現場処理に準じる）
保存処理材（性能区分） ： K5 K4 K3 K2 K1
AQ認証保存処理材： １種 ２種 ３種
・現場処理： 塗布、吹付、浸漬 （特記無き場合は、処理量： 300 ㎖/㎡塗布量数：2回）
（注：接合部、亀裂部、コンクリートなどに接する部分は、特に入念な処理を行う。
給排水用塩化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を保護する。
処理方法は、日本しろあり対策協会の構準仕様書に準じる。）
使用薬剤：日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。

使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理
土台	☑ （ ）	☐ K3 ☐ （ ）	☐ 塗布
外周柱下部1m	☐ （ ）	☐ K3 ☐ （ ）	☑ 塗布
外周筋かい下部1m	☐ （ ）	☐ K3 ☐ （ ）	☑ 塗布
外周木質系面材耐力壁下部1m	☐ （ ）	☐ K3 ☐ （ ）	☑ 塗布
水周り	☐ （ ）	☐ K3 ☐ （ ）	☑ 塗布
その他	☐ （ ）	☐ K3 ☐ （ ）	☐ 塗布

（2）土壌処理
☐防蟻薬剤による処理：薬剤（ ）
特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。
☐防蟻薬剤による処理と同等以上の対策 （ べた基礎 ）
☐土壌処理省略 ☐北海道 ☐東北 ☐北陸 ☐（ ）
注：処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺２０ｃｍ、束石等の周囲２０ｃｍを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

（3）耐候処理（塗装）：劣悪環境に置かれる木材等を対象とする。

部位	製品名（会社名）	塗り回数

4．材料品質の検査方法

☑は適用項目を示すものとする。

（1）構造用製材
現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、速やかに監理者に報告する。また係員の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行う。

検査項目

☑ 含水率測定	☑ 抜き取り（部位： ）	☐ 全数
☑ ヤング率測定	☑ 抜き取り（部位： ）	☐ 全数
☑ 材種・等級の確認	☑ 抜き取り（部位： ）	☐ 全数
☑ 外観検査	☑ 抜き取り（部位： ）	☐ 全数
☑ 寸法検査	☑ 抜き取り（部位： ）	☐ 全数

☑ 日本農林規格の目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材を使用する場合は製造工場の認定書の写しを確認する。
☑ 含水率測定の時期は、監理者の指示による。
☐ （ ）
・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や静的ヤング係数試験は公的試験場にて行う。含水率計は日本住宅・木材技術センター認定品を、動的ヤング係数は全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
・全乾重量法や静的ヤング係数試験は１荷口につき確認する本数で示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法（JIS Z 2101）に準ずる。
・特記無き場合は、含水率計による測定は、製材加工後の工場出荷前に行う。
・特記無き場合は、動的試験は製材後（経手などの工場加工前に）に行う。

（2）構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)、構造用合板、構造用パネル等
・搬入される全製品について受け入れ検査を実施し、特記仕様書等で指定された所定の製品であることを、日本農林規格(JAS)－MDF等の場合は日本工業規格(JIS)－の表示ラベルまたは出荷証明書で確認すること。

（3）接合具
・現場または加工工場に搬入される全ての接合具について受け入れ検査を実施し、材質程、長さ製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。
・同等性能の接合具を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。
☐ 木製品の接合具については、予め曲げ試験などにより性能の確認を行いその結果を報告する。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

（4）接合金物
・現場または加工工場に搬入される全ての接合金物について受け入れ検査を実施し、材質、形状製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。
・同等認定品や性能評価品等を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。

5．木材の加工

（1）刻み時の注意
製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。

（2）加工寸法の精度
図面表示は仕上がり寸法である。
下記を除き、2. 1木質材料に示す材の仕上げ後の断面寸法の許容差は各々の農林規格の寸法許容差に準ずる。ただし、上限値が制限なしとなっている場合は、協議による。
材種：☐ （ ） ☐ （ ）
構造用製材、構造用集成材、LVLの材長
☑ 軸組み工法の継ぎ手仕口及び金物工法の場合：±1.0mm以下
☐ 調整代をとったボルト接合工法の場合（大断面集成材、LVL）：材長の±0.04%以下
せん断用ボルト穴径 （ｄはボルト径）
集成材 ： d+1.0mm （ｄ≦M12）、d+2.0mm（ｄ≧M16）
接合金物等： d+1.0mm （ｄ≦M12）、d+1.5mm（ｄ≧M16）
ドリフトピン・木栓の木材の穴径：ｄ±0mm （dはドリフトピン・木栓径）
ドリフトピンの接合金物等の穴径： d+1.0mm （ｄ≦M12）、d+1.5mm（ｄ≧M16） （dはドリフトピン径）

（3）表面仕上げ
☑製材（ ） ☑集成材・LVL（ ） ☐その他（ ）

（4）面取り
☑柱 ：（ ） mm ☑梁 ：（ ） mm

（5）加工状況の検査
☑立ち会い検査
☑外観検査 ☐加工寸法検査
☑施工者自主検査記録の提出〔 〕

6．運搬・建方

（1）輸送計画
製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。
☑ 輸送計画書の提出 〔 〕

（2）集積・保管
集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。
降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。
☑ 集積場の確認 〔 〕

（3）建方計画
☑ 建方計画書の提出
アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。

（4）施工時の安全性
建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承認を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。
☑ 施工時の安全性に対する検討書の提出 ☐ 施工時荷重条件の通知

（5）アンカーボルトの施工
・芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。
・アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。
・アンカーボルトはダブルナットとする。 ☐適用除外 〔 〕
・土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。

（6）建方精度
・建方の精度基準は下記による。
☑建物の倒れ ： ☑ e≦H／2500+10mm かつ e≦50mm
☐ 〔 〕
☑梁の水平度 ： ☑ e≦L／700+ 5mm かつ e≦15mm
（節点間のレベル差） ☐ 〔 〕
☑建物のわん曲 ： ☑ e≦L／2500mm かつ e≦25mm
☐ 〔 〕
☑柱据え付け面の高さ及びアンカーボルトの位置
柱据え付け面の基準高さからの誤差 ： ☑±3mm以下 ☐ 〔 〕
通り芯からの誤差 ： ☑±3mm以下 ☐ 〔 〕
階高 ： ☑－5mm≦ΔH≦+5mm
☐ 〔 〕
・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

（7）施工状況の検査
☑ アンカーボルト施工時の立会い検査
☑ 施工者自主検査記録の提出〔 〕
☑ 地組み時の立会い検査
☑ 施工者自主検査記録の提出〔 〕
☑ 建方時の立会い検査
☑ 施工者自主検査記録の提出〔 〕
☑ 建方後の施工状況の検査
☑ 施工者自主検査記録の提出〔 〕
☑ 最終確認
工事中に発生するボルトの緩み、接合具および接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
☑ 施工者自主検査記録の提出〔 〕

6．設備関係 （令第129 条の２の３の事項） ☑は適用項目を示すものとする。

建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
☑ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
☑ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
☑ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90 cm以下とすること。
☑ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5 cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25 cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
☑ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
☑ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
☑ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等、有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
☑ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
☑ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
☑ 法第20 条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389 号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス 木構造標準仕様
縮 尺	NON
図面番号	S－101
DATE	. .

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
１級建築士 第293052号 渡利 真二
１級建築士 第235863号
構造設計１級建築士 第 1977号 山﨑 高夫

スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法　特記仕様書（参考）

§1.工法概容

本地業は、スラリー状のセメント系固化材を地中に注入しながら、工法専用共回り防止翼(十字型)を装着した攪拌装置を用いて、原地盤を機械的に混合攪拌し、固化材の化学反応により所要の強度を持つ改良体を築造する工法である。

§2.特記事項

本工事工法は、攪拌能力・攪拌径・品質(変動係数)に対して「建築技術性能認証委員会」にて証明された技術性能証明取得工法とする。
　性能証明番号は、「GBRC 性能証明 第08－06号 改4」である。
また、事前にその証明書を管理者に提出し、認証を得ることとする。

§3.一般事項

・本地業は、本特記仕様書によるほか、
「改訂版　建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」
(平成14年11月30日 財団法人 日本建築センター、以下指針という)による。

＜1＞施工業者
本工事の施工業者は、地盤改良工法の施工技術及び計測装置の取扱いに精通したもので、工法協会に所属する指定施工会社とする。

＜2＞設計変更
コラム径、掘削深度（改良長+空堀長）、本数配置等は、設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上に変更することができる。

§4.コラム仕様

＜1＞設計基準強度
コラムの設計基準強度はFc= 1000 kN/㎡とする。

＜2＞固化材
固化材の配合は、原則として、改良部分の検査対象土を採取し、３種類以上の添加量にて室内配合試験を行い試験結果と配合強度を基に添加量を決定する。
※使用する固化材は、六価クロム等の土壌環境基準に適合することを確認する。

＜3＞配合強度
配合強度Xfは、設計基準強度Fcと変動係数・採取ヶ所数により割増係数αtを用いて、次式による。　　Xf=αt×Fc

割増係数αtは、合格率80%とした下表による。

採取箇所数　N		1	2	3	4～6	7～8	9～
変動係数 Vc	25%	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594
	30%	2.597	2.240	(2.095)	1.961	1.869	1.792
	35%	3.160	2.649	2.448	2.265	2.140	2.037

＜4＞室内配合強度
室内配合強度Xlは,配合強度Xfを現場/室内強度比αｆｌで除して、次式による。　　Xl=Xf/αfl　（αfl=0.7）

Xl　3339　kN/㎡

＜5＞固化材液の配合

固化材添加量　350　kg/㎥
水／固化材比　60　%

§5.施工仕様

①施工サイクル　：　１サイクル
②羽根切り回数　：　450回／m以上
③掘進、引き抜き速度　：　1m／分以下
④固化材スラリーの吐出量　：　固化材の配合、貫入速度、羽根切り回数求まる値以上

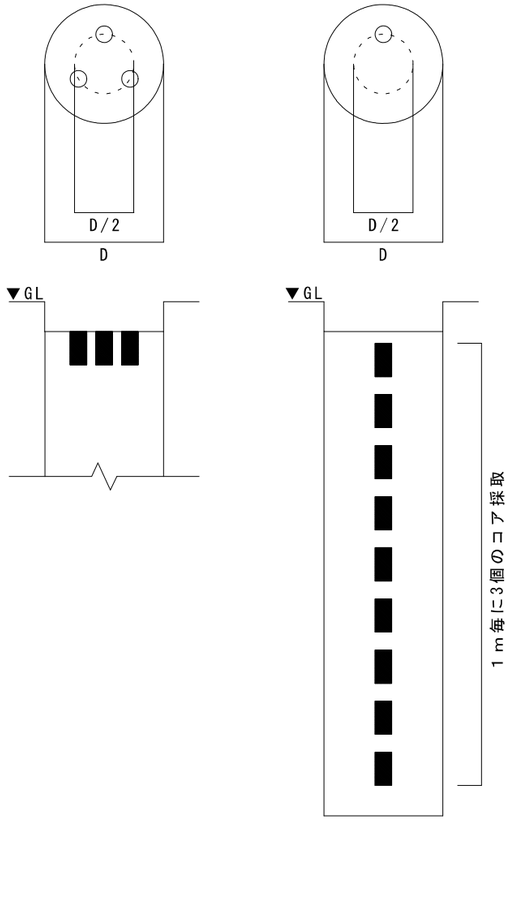
§6.品質管理

＜1＞調査ヶ所（検査対象層に対して）
①検査対象層は（　粘性土　）であり設計対象層を（　粘性土　）とする。
②検査手法は強度のバラツキを想定する場合は検査手法Aによる。
③調査ヶ所数（検査対象群に対して）

検査手法A	頭部コア試験　3　箇所
	全長コア試験　3　箇所

※頭部コアは、１箇所当り３個のコア採取を標準とする。
※全長コアは、１m当り3個のコアを採取を標準とする。

＜2＞採取位置



＜3＞ボーリングコア採取率（連続性の確認）
コア採取率は、全長に対して砂質土系で95%以上、粘性土系で90%以上とし、1m当りのコア採取率は、砂質土系で、90%以上、粘性土系で85%以上とする。(塩ビ管などを代用する場合もある)

＜4＞合否の判定
①設計対象層についての抜取ヶ所をNとする。1箇所あたり3個の供試体を採取し、強度をその箇所の強度とする。
②一軸圧縮試験は第三者で行うものとする。
③検査手法Aによる品質検査
合否の判定は設計対象層におけるNヶ所（抜取ヶ所数）の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$$XN \geqq XL = Fc + Ka \cdot \sigma d = Fc + Ka\ \{Fc \cdot Vd / (1 - 1.3Vd)\}$$

XN: Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値
XL: 合格判定値

XL　1741　kN/㎡

Fc: 設計基準強度
Ka: 合格判定係数
σd: 標準偏差
Vd: 変動係数、品質確認書より想定する。

合格判定係数

抜取りヶ所数　N	1	2	3	4～6	7～8	9～
合格判定係数　Ka	1.9	1.7	(1.6)	1.5	1.4	1.3

＜5＞未固化改良体の比低抗測定
施工直後の改良体の攪拌混合状況を把握するために、比低抗の深度方向の分布を測定する。
検査数量は、1検査対象層群毎に1箇所以上かつ、50コラム毎に1箇所以上とする。

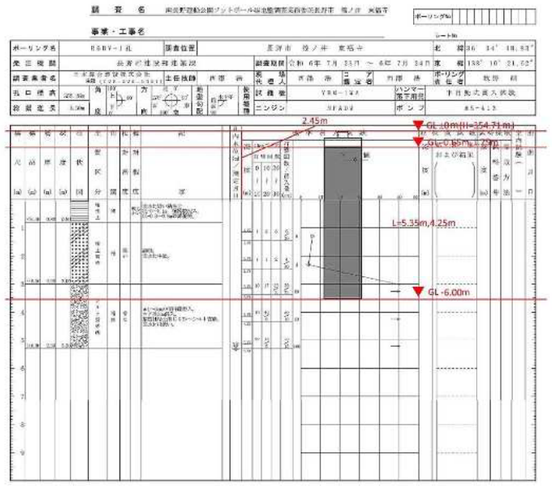
比抵抗測定　6　箇所

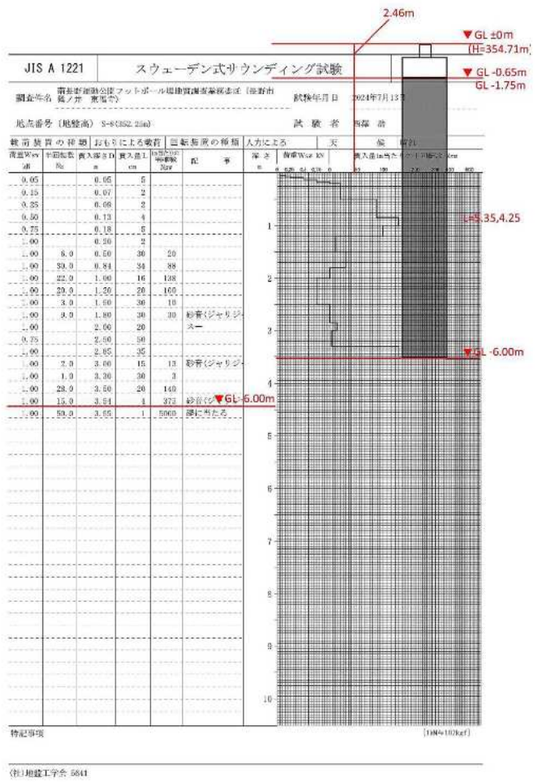
工法	スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法			
設計基準強度	Fc= 1000 KN/㎡			
コラム径 (mm)	掘削長 (m)	改良長 (m)	空堀長 (m)	本数 (本)
600	6.00	5.35	0.65	221
600	6.00	4.15	1.85	81
合計				302

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　地盤改良工法仕様書
縮尺	NON
図面番号	S－102
DATE	. .

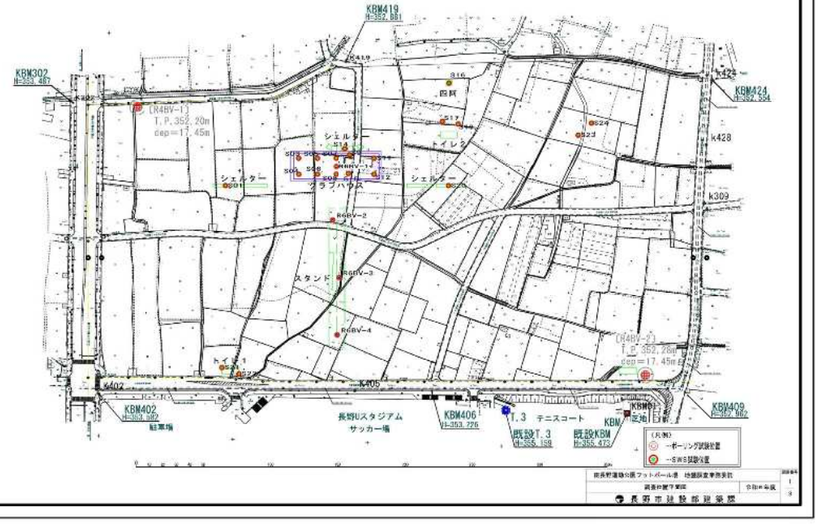
株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二
1級建築士　第235863号
構造設計1級建築士　第　1977号　山崎　高夫

ボーリング柱状図



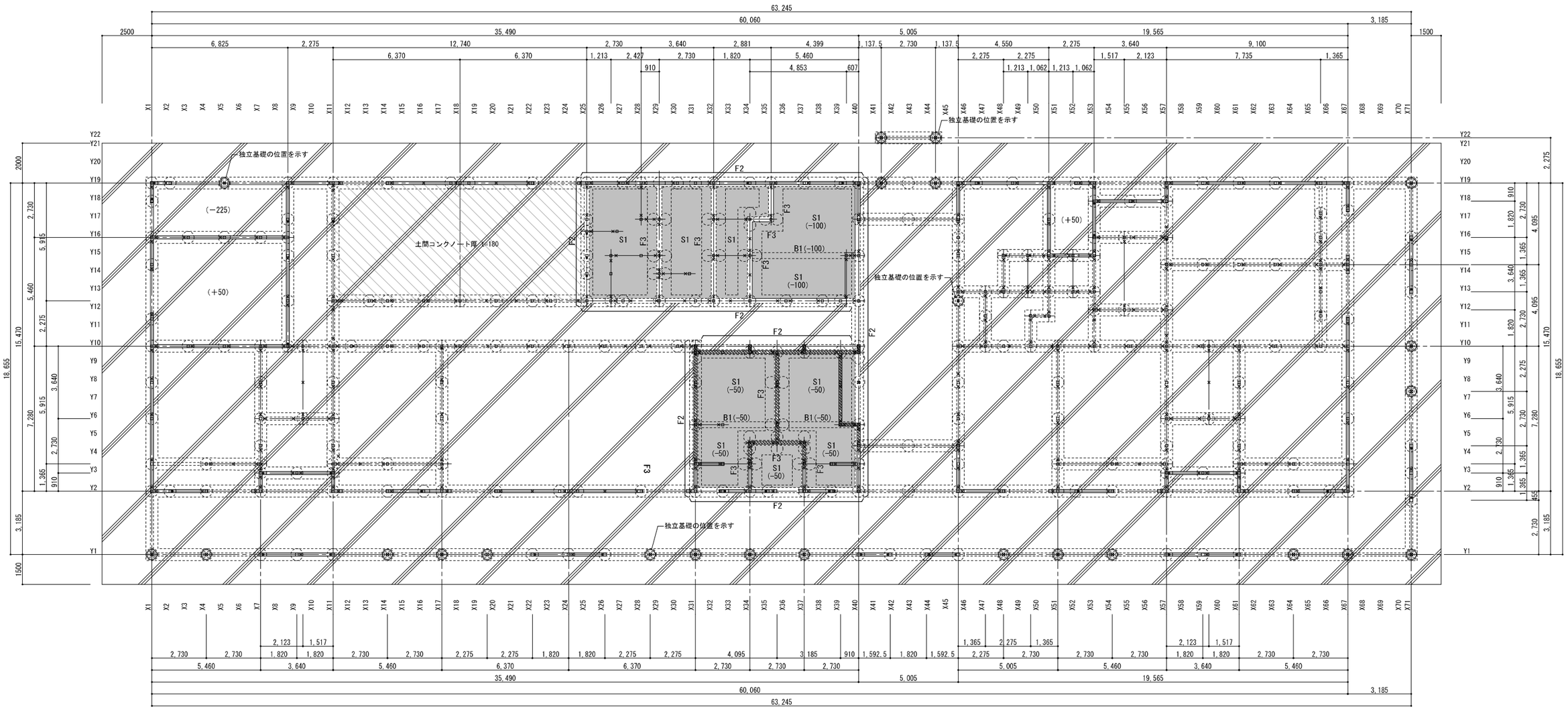


調査位置平面図　S=1：1500



工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　柱状図
縮　尺	NON　　図面番号　S－103
	DATE　.　.

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二
1級建築士　第235863号
構造設計1級建築士　第　1977号　山崎　高夫



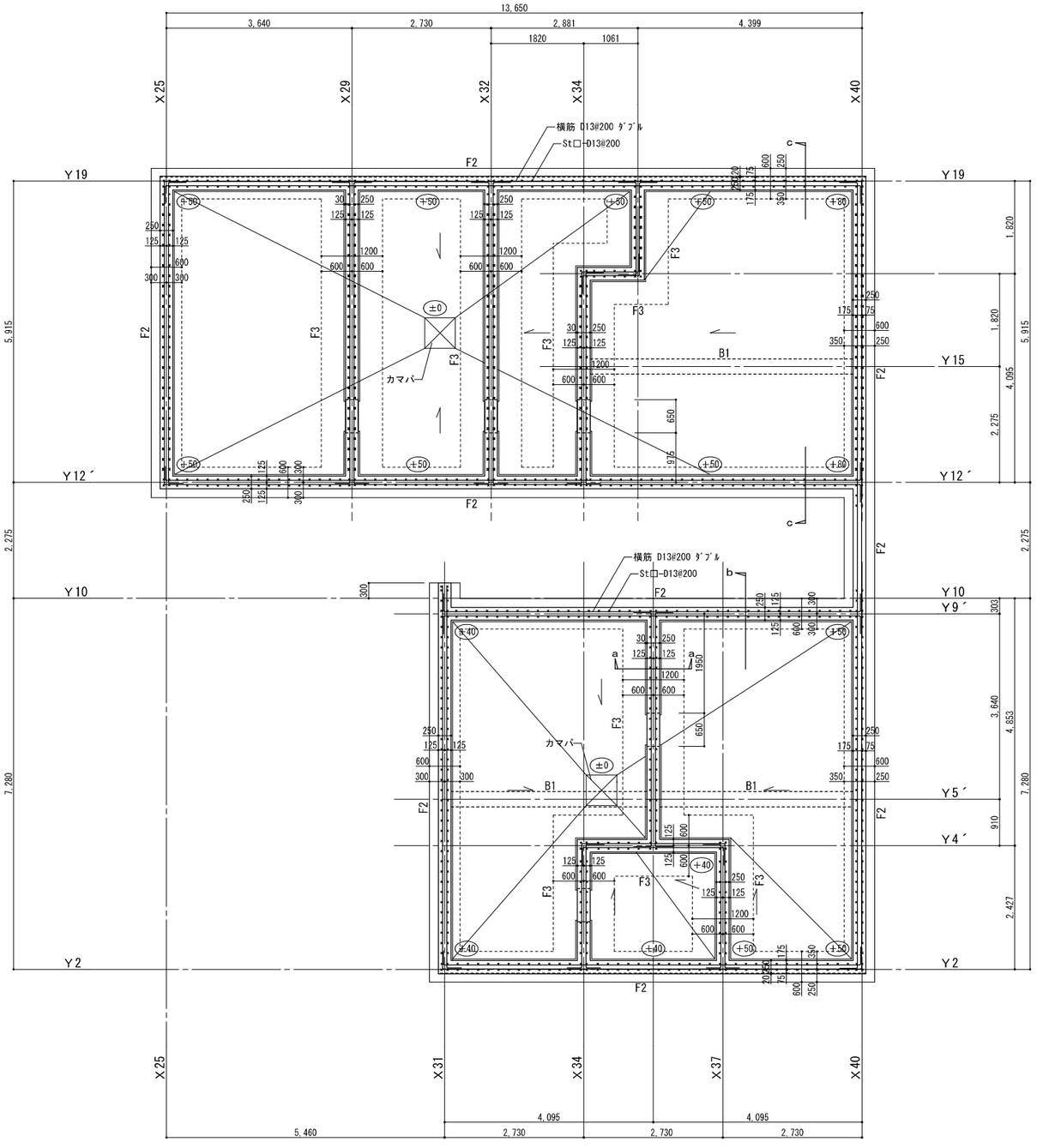
■凡例・特記事項

	基礎天端　ＦＬ＋300
	基礎天端　ＦＬ＋105
	基礎天端　外壁・外廊下廻り：土間下-50打止め・その他：土間天端
◎	ホールダウン用アンカーボルト
×	アンカーボルト：M12　L=450　（独立柱部　共通）
	土間コンクリートt=150
	ピットの範囲を表す

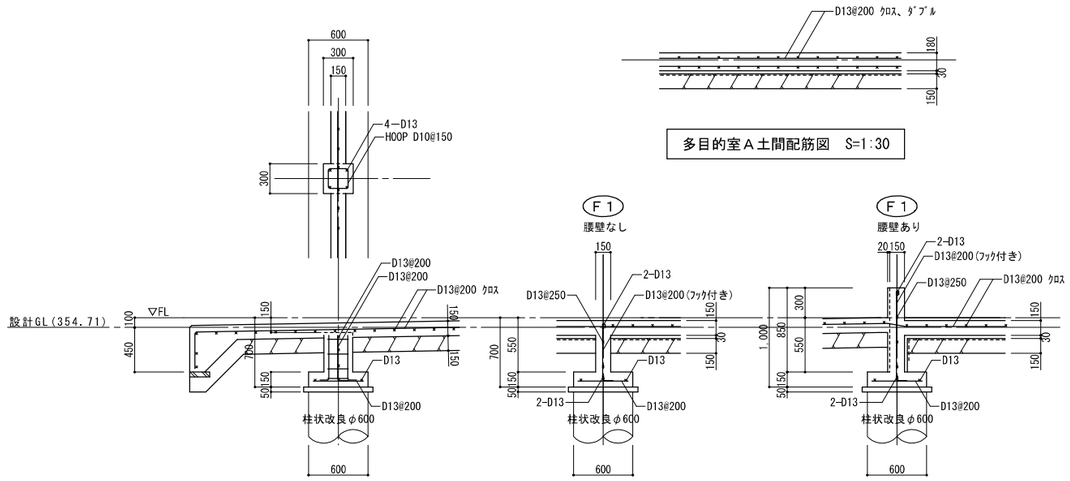
・独立柱は120ロ、150ロ用の柱脚金物（既製金物）を使用する。
・スラブ、Ｂ１の天端は、特記なき限りFL-30とする。
・特記なき基礎は、［Ｆ１］とする。
・建物内の土間天端は、特記なき限りFL-30とし、外部（外廊下を含む）は平面詳細図による。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　基礎伏図
縮尺	1：100（A3=1:200）
図面番号	S－104
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第235863号
構造設計１級建築士　第　1977号　山﨑　高夫



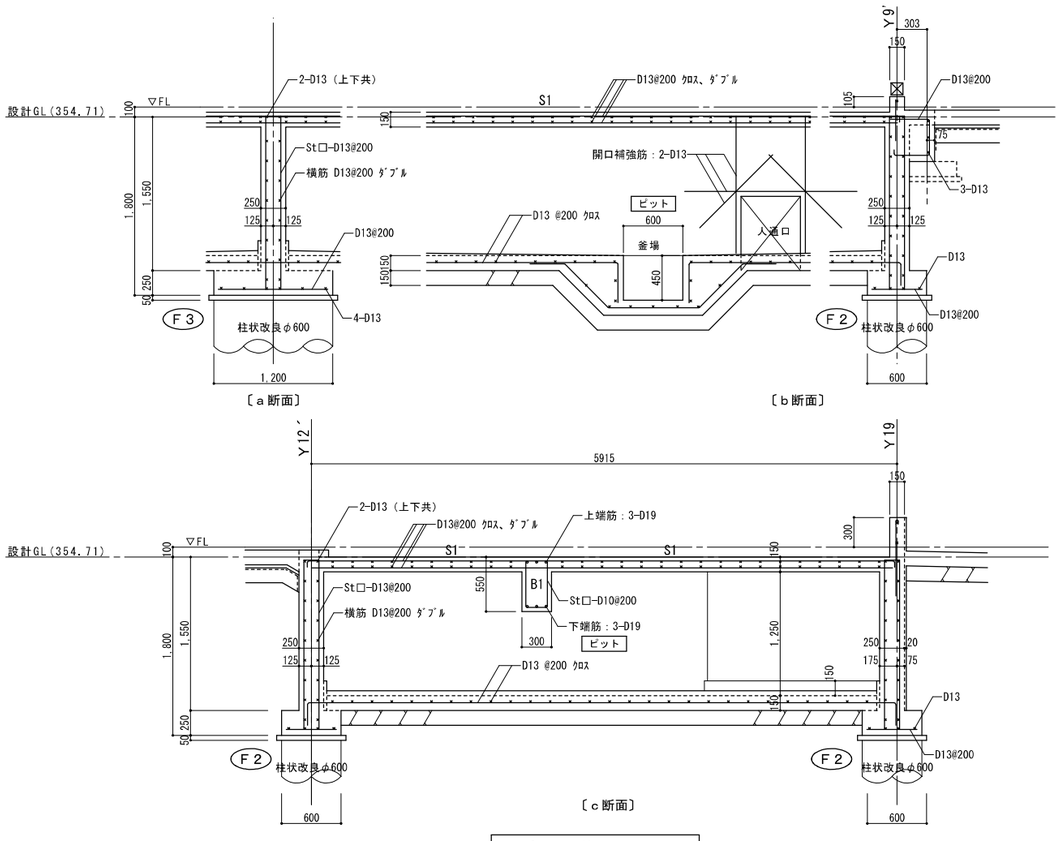
ピット平面配筋図　S=1:50



独立基礎配筋図　S=1:30

土間下布基礎配筋図　S=1:30

一般布基礎配筋図　S=1:30



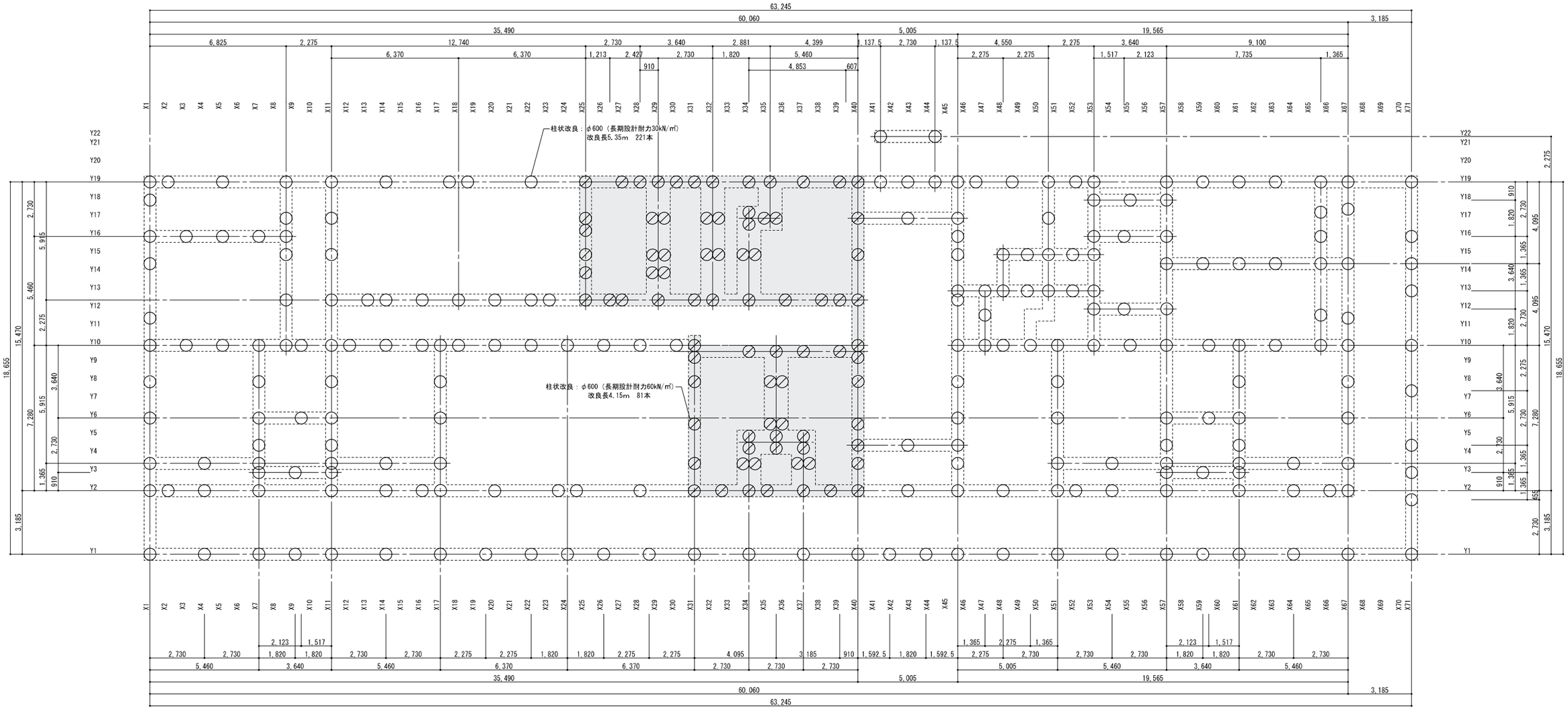
〔a断面〕　〔b断面〕　〔c断面〕

ピット配筋図　S=1:30

コンクリート：Fc=21
鉄　筋　　：SD295A

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　基礎配筋図
縮　尺	1：50（A3=1:100） 1：30（A3=1：60）
図面番号	S－105
DATE	．．．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二
1級建築士　第235863号
構造設計1級建築士　第　1977号　山﨑　高夫



工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　地盤改良伏図
縮　尺	1：100（A3=1:200）
図面番号	S－106
DATE	. .

株式会社　KRC

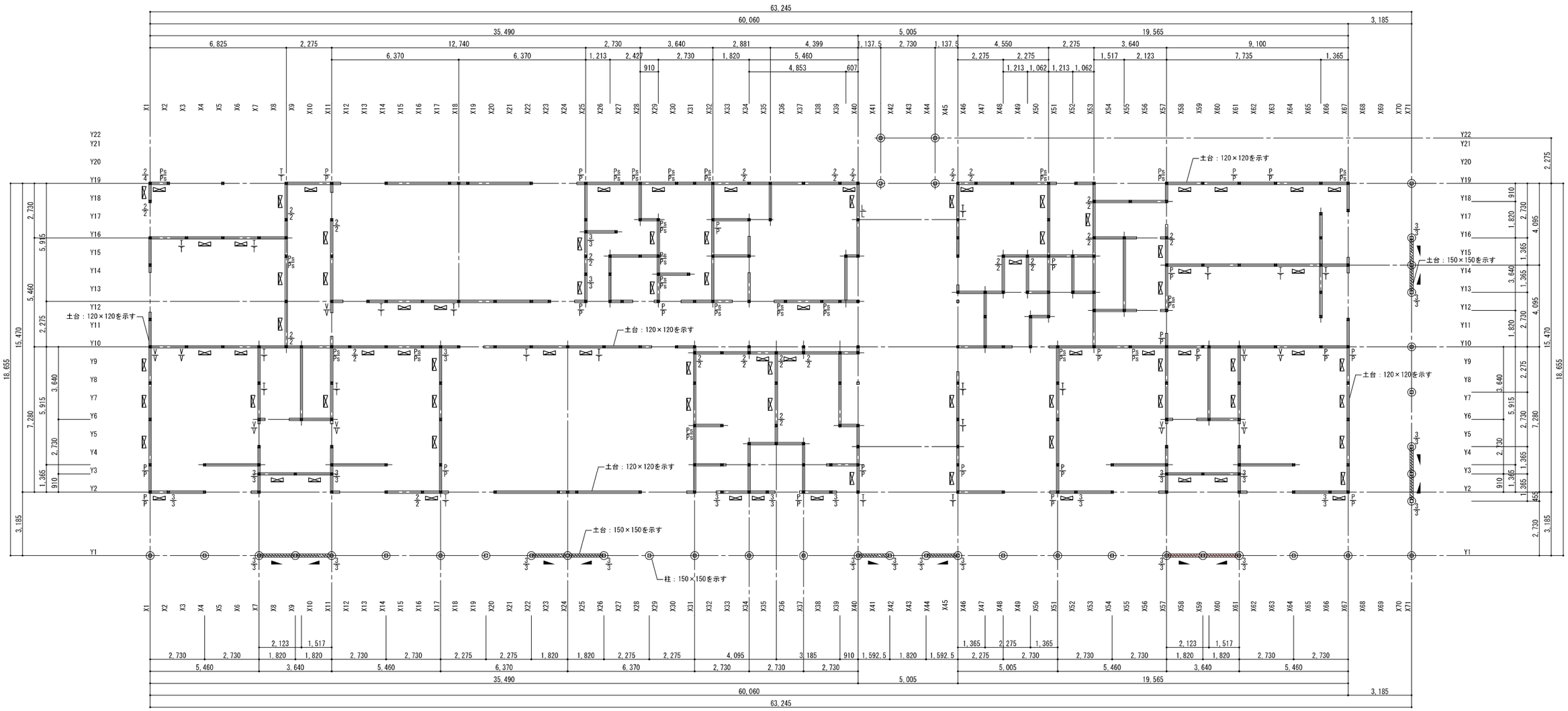
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670

1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号

1級建築士　第293052号　渡利　真二

1級建築士　第235863号

構造設計1級建築士　第　1977号　山崎　高夫



■凡例・特記事項

⊠	柱　：杉　120×120（λ＝75.06）
⊡	柱　：杉　150×150（λ＝60.04）
═══	土　台：檜　120×120
▨	土　台：檜　150×150
⋈	筋違イ：杉　90×45　たすき掛け（筋違プレート：BP-2　同等以上）
◢	筋違イ：杉　90×90　シングル　（ボルトφ12）
2/2	柱頭・柱脚接合部金物記号（上段：柱頭・下段：柱脚） ※仕様は金物表による
・木材はＫＤ材とする。 ・間柱は杉とする。	

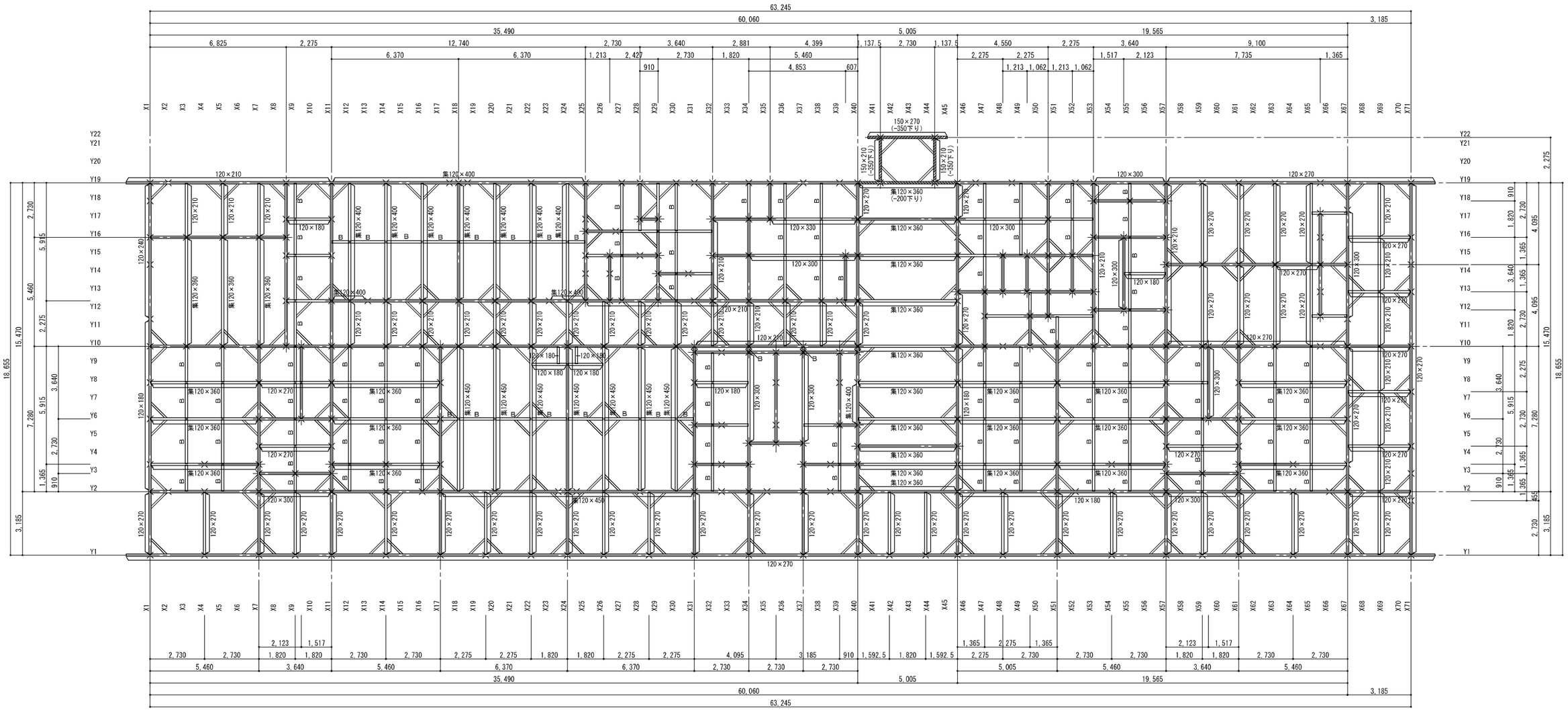
■柱頭・柱脚接合部金物表

記号	仕　様	倍率	Ta(kN)
L	ＣＰ－Ｌ	0.65	3.38
T	ＣＰ－Ｔ	1.00	5.07
V	山形プレート	1.00	5.88
P	羽子板ボルト	1.40	7.50
Ps	スクリュー釘併用羽子板ボルト	1.60	8.50
2	10kN　引き寄せ金物	1.80	10.00
3	15kN　引き寄せ金物	2.80	15.00
4	20kN　引き寄せ金物	3.70	20.00

・柱頭、柱脚金物は指定記号の耐力と同等以上の金物を取付とする。
・独立柱は120ロ、150ロ用の柱脚金物（既製金物）を使用する。

工事名称　：　国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称　：　クラブハウス　土台伏図
縮　尺　：　1：100（A3=1:200）　図面番号　：　Ｓ－107
DATE　：　.　.

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第235863号
構造設計１級建築士　第　1977号　山崎　高夫

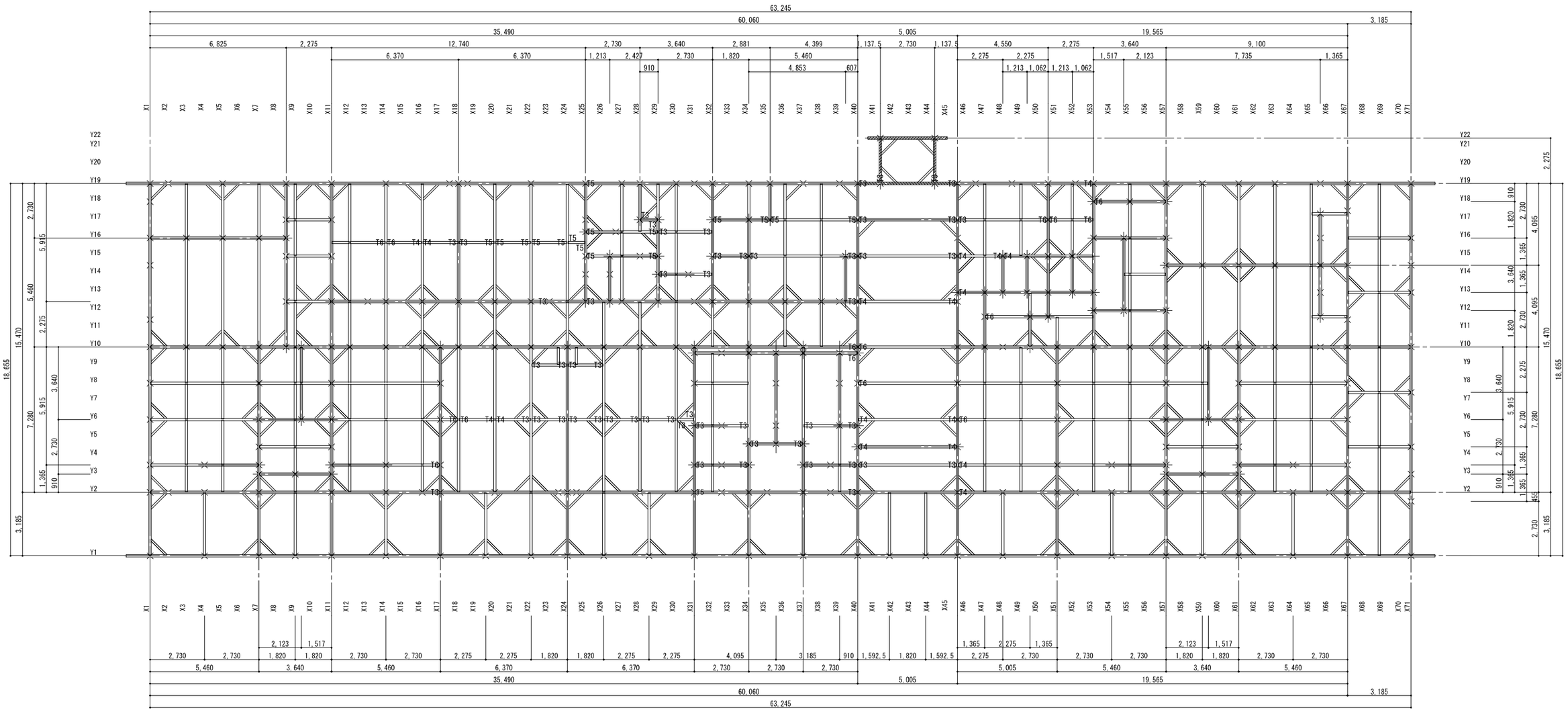


■凡例・特記事項

梁　：唐松　特記なき部材は［120×150］ととする
B材は［120×120］とする
「集」表記の梁材は、米松集成材（E135−F375）とする
火打梁：唐松　90×90
：柱の位置を示す
・木材はＫＤ材とする。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　梁伏図
縮　尺	1：100（A3=1:200）　図面番号：Ｓ−108
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第235863号
構造設計１級建築士　第　1977号　山﨑　高夫



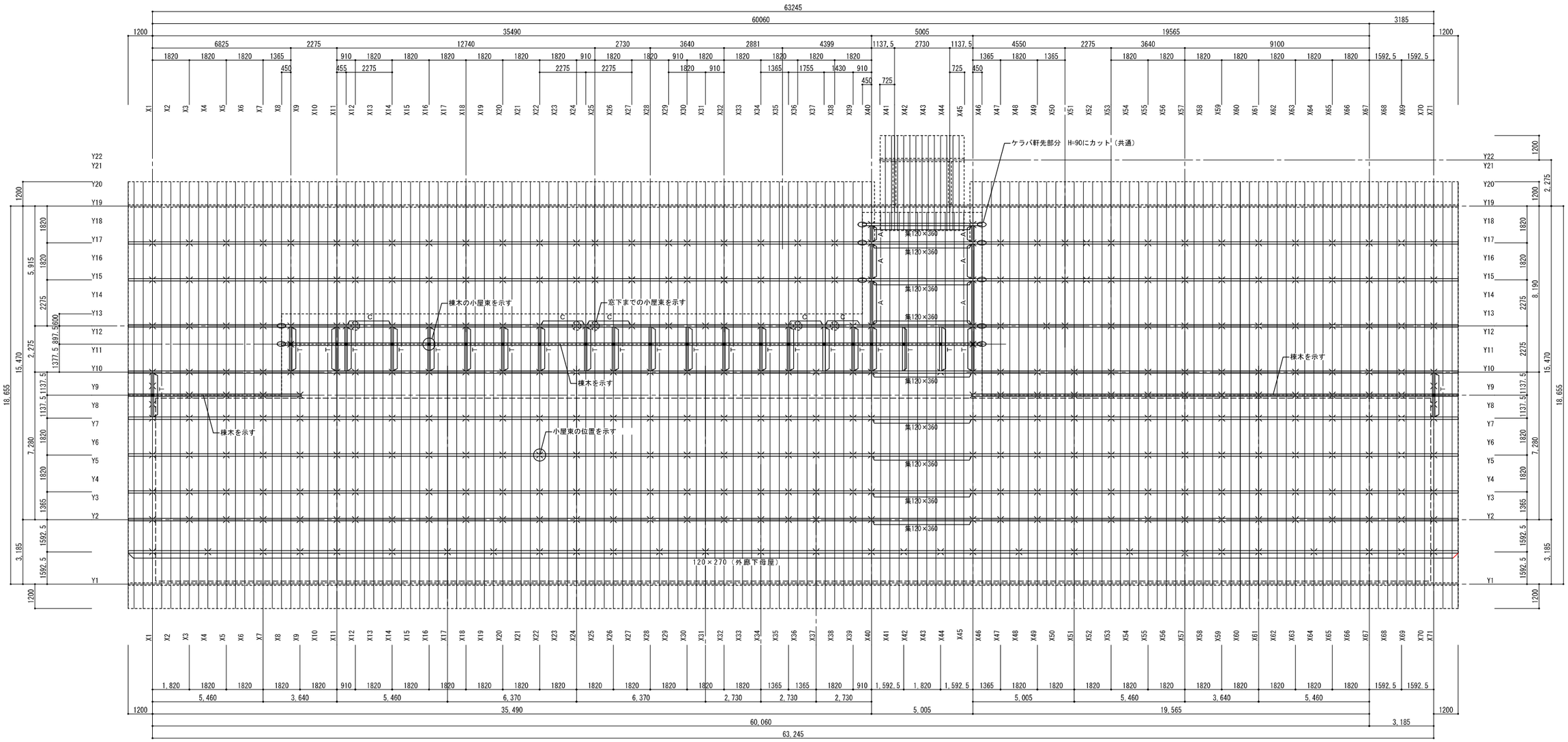
■横架材接合部仕様

記号	仕　　様	Ta(kN)
T1	かたぎ大入れ短ほぞ差し、かね折り金物 SAまたは羽子板ボルト	7.50
T3	かたぎ大入れ短ほぞ差し、15kN引き寄せ金物 HD-B15	15.00
T4	大入り蟻掛け、羽子板ボルト	10.10
T5	大入り蟻掛け、羽子板ボルト×2	15.90
T6	かたぎ大入れ短ほぞ差し、短冊金物S、スクリュー釘	8.50

・特記なき横架材接合部は、〔Ｔ１〕とする
・横架材接合部は指定記号の耐力と同等以上の耐力の仕様・金物とする。

工事名称 ： 国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称 ： クラブハウス　梁伏図（金物伏図）
縮　尺 ： 1：100（A3=1:200）　図面番号 ： Ｓ－109
DATE ： . .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第235863号
構造設計１級建築士　第　1977号　山﨑　高夫



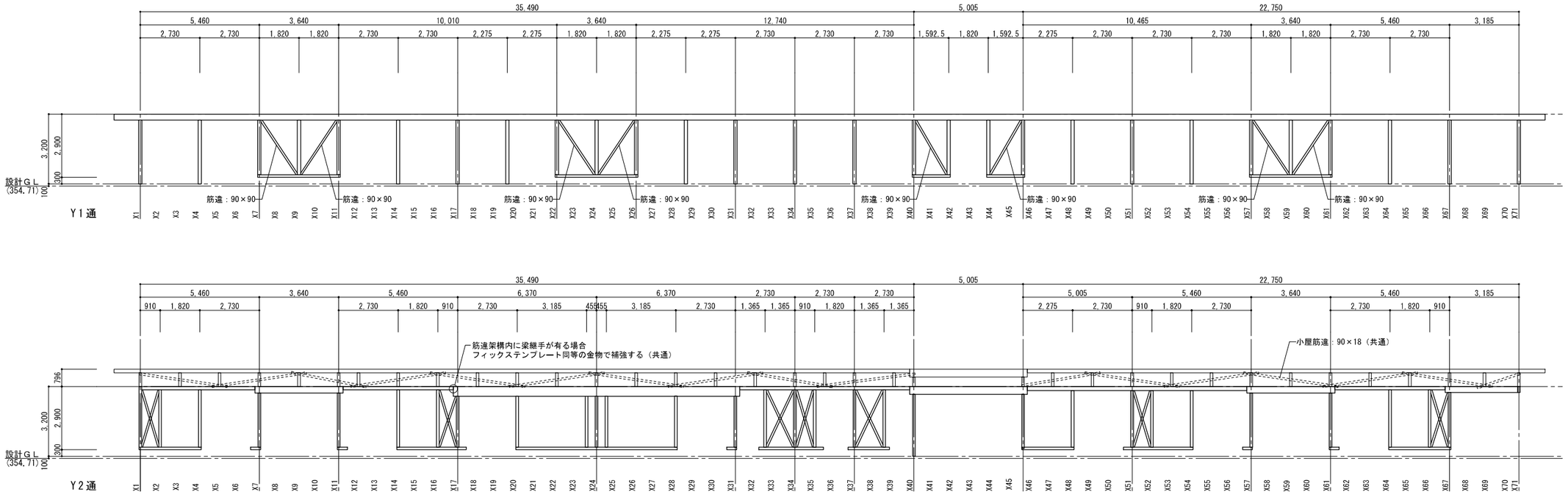
■凡例・特記事項

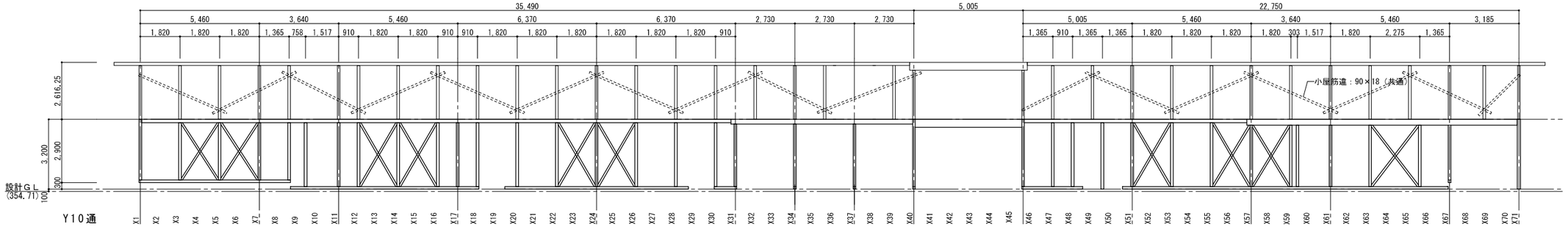
母　　屋	：唐松　120×150（特記なき母屋　共通）
棟　　木	：唐松　120×150（特記なき棟木　共通）
つなぎ梁	：唐松　120×150（［T］表記箇所）
頭つなぎ	：唐松　120×150（［A］表記箇所）
中間つなぎ	：唐松　120×150（［C］表記箇所）
小 屋 束	：杉　　120×120（共通）
タ ル キ	：唐松　105×105/2　@455
タ ル キ	：唐松　105×105/2　@303（ポーチ屋根）
	：太陽光パネル設置可能範囲

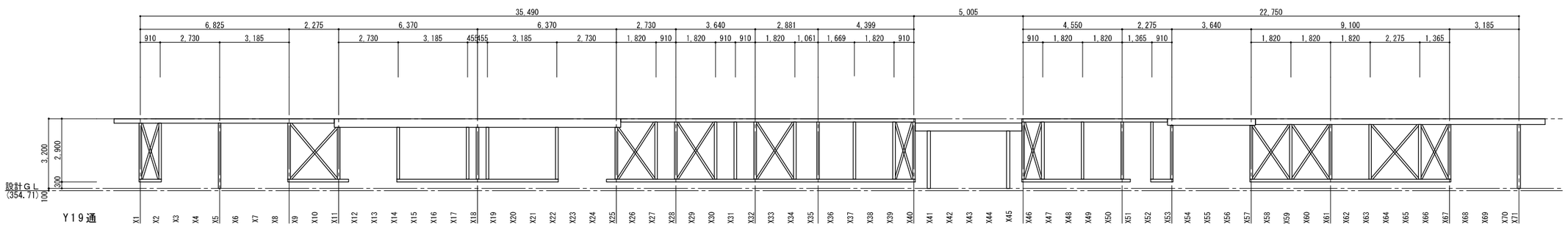
・木材はＫＤ材とする。
・母屋の「集」表記は、米松集成材を表す。
・タルキ間に転び止め（45×60程度）を取付とする。（ポーチ屋根を除く）
・構造用合板は、N50　@150以下でタルキに留め付けとする。

工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：クラブハウス　母屋伏図
縮　尺	：1：100（A3=1:200）　図面番号：S－110
DATE	：　.　.

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第235863号
構造設計１級建築士　第　1977号　山﨑　高夫

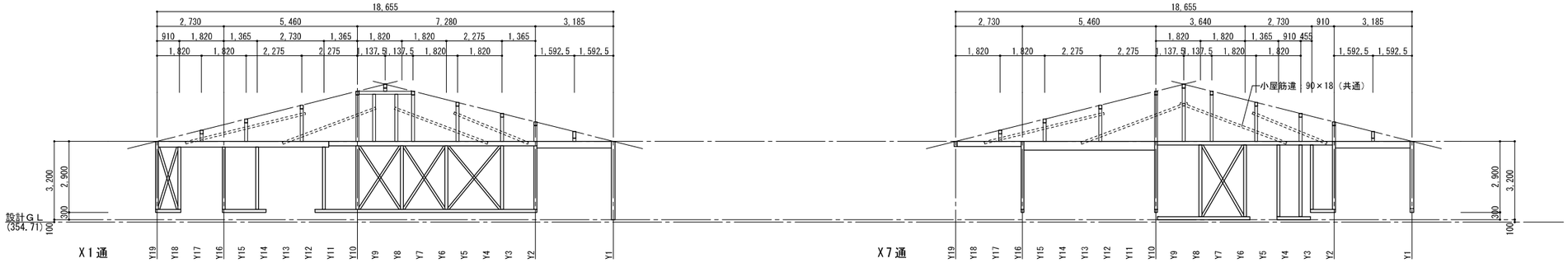






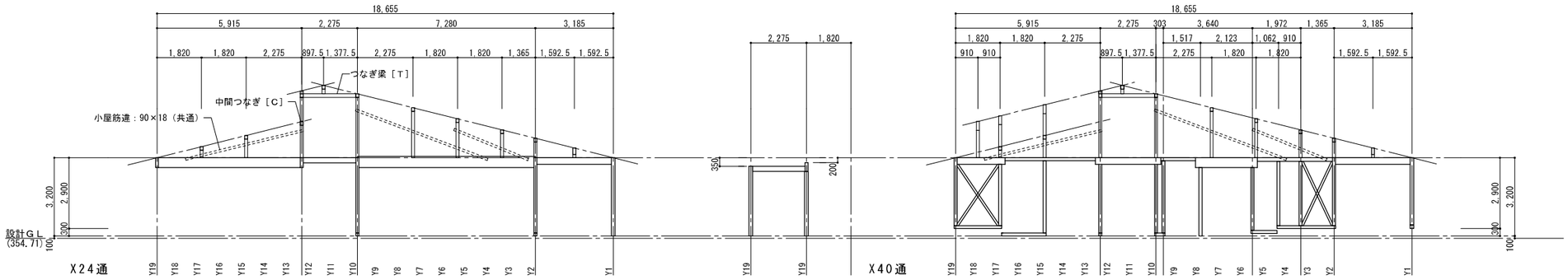
工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：クラブハウス　軸組図（１）
縮　尺	：1：100（A3=1:200）　図面番号：S－111
DATE	：　.　.

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第235863号
構造設計１級建築士　第　1977号　山崎　高夫



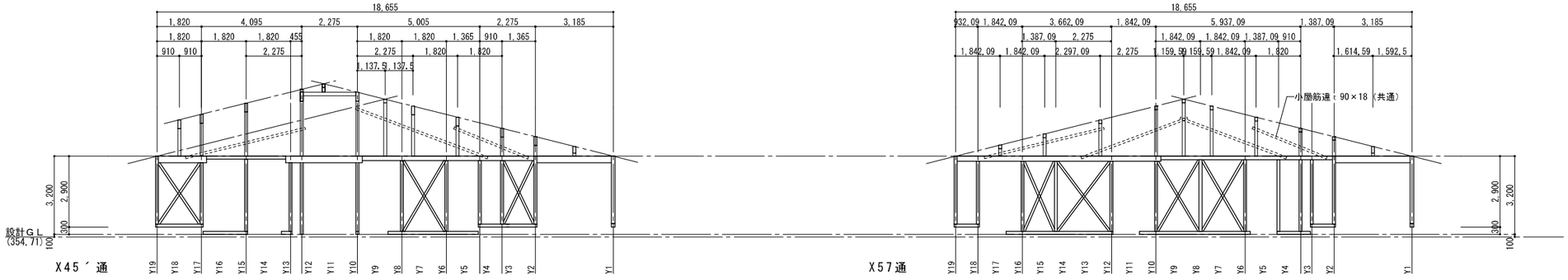
X1通

X7通



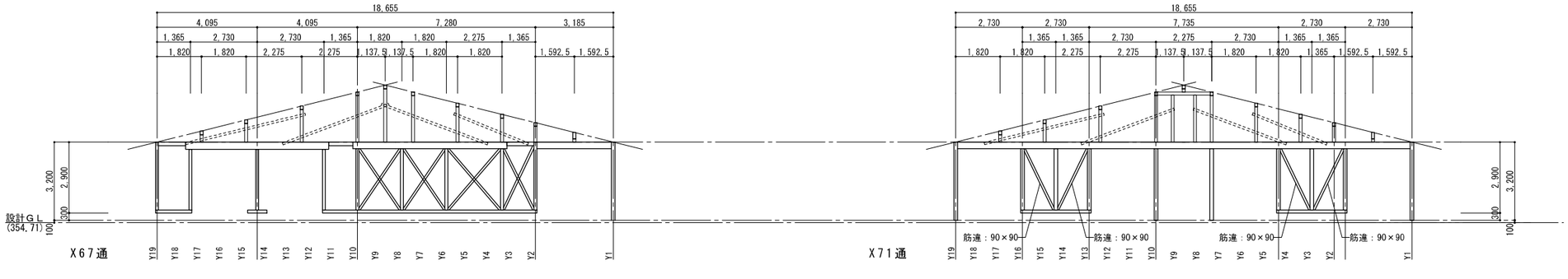
X24通

X40通



X45´通

X57通



X67通

X71通

■特記事項

・特記なき筋違は、90×45　たすき掛けとする。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	クラブハウス　軸組図（２）
縮　尺	1：100（A3=1:200）
図面番号	Ｓ－112
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第235863号
構造設計１級建築士　第　1977号　山崎　高夫

人工芝フィールド（北）

人工芝
〔公園工事〕

105,000
33,000 10,000 19,000 10,000 33,000
1,500 8,500 9,500 9,500 8,500 1,500

コンクリート舗装
〔公園工事〕

高密度人工芝
〔公園工事〕

X= 64431110.0198
Y=-29397516.8057

X= 64428945.325
Y=-29368452.1688

X= 64432945.6745
Y=-29325540.2095

照明柱
〔公園工事〕

照明柱
〔公園工事〕

ＶＳ側溝〔公園工事〕

ＶＳ側溝〔公園工事〕

4,650
1,000

353.21

353.27

2,905
6,000
11,810

スタンド（観客席Ａ棟）

スタンド（中央倉庫棟）
１ＦＬ＝±0

スタンド（観客席Ｂ棟）

-35

コンクリート舗装
〔公園工事〕

コンクリート舗装
〔公園工事〕

ＶＳ側溝〔公園工事〕

照明柱
〔公園工事〕

照明柱
〔公園工事〕

ＶＳ側溝〔公園工事〕

X= 64418462.517
Y=-29430204.9805

X= 64422462.8665
Y=-29387293.0216

コンクリート舗装
〔公園工事〕

高密度人工芝
〔公園工事〕

X= 64420298.1716
Y=-29358228.3856

人工芝
〔公園工事〕

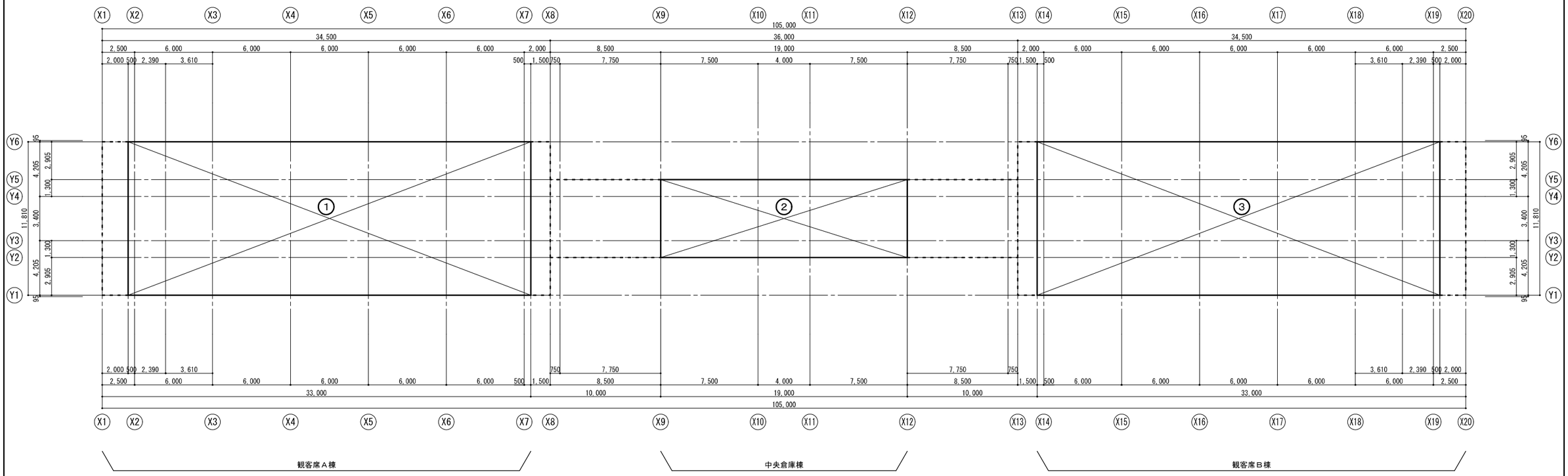
人工芝フィールド（南）

クラブハウス

※スタンド（中央倉庫棟）　１ＦＬ＝設計ＧＬ（353.21）＋50
※ ⬭ 内の数値は、１ＦＬからのレベルを示す
※スタンド周囲の外構工事は全て公園工事とする

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　配置図
縮　尺	1：200（A3=1:400）
図面番号	Ａ－201
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



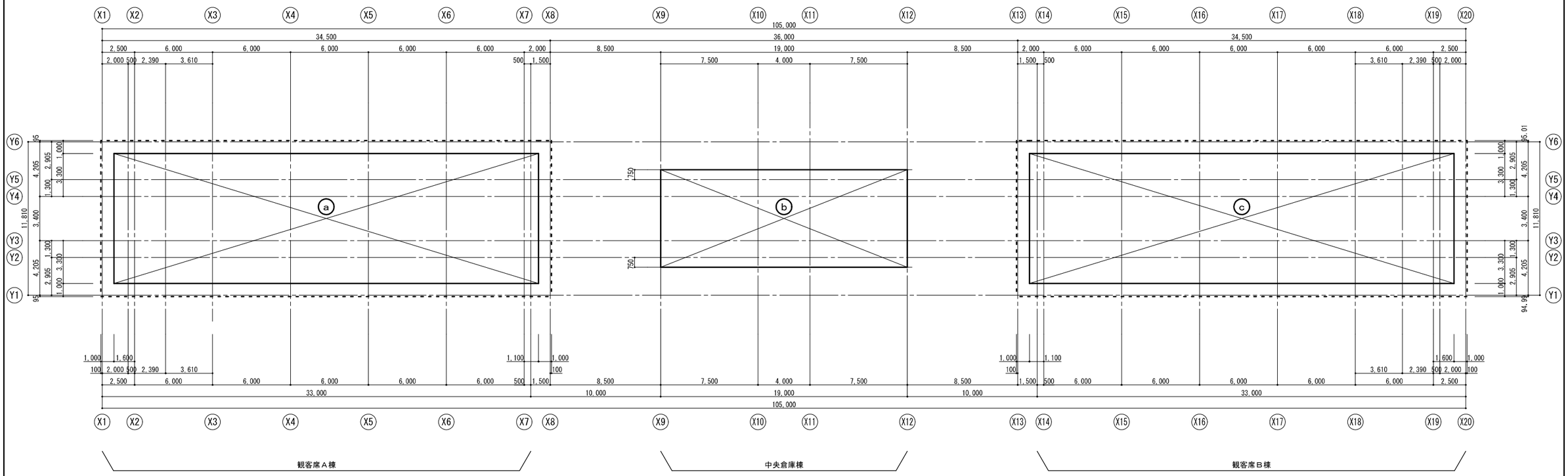
観客席Ａ棟　１階床面積表			
	計　算　式　（㎡）		
①	31.000 × 11.810	＝	366.11
	１階床面積		366.11

中央倉庫棟　１階床面積			
	計　算　式　（㎡）		
②	19.000 × 6.000	＝	114.000
	１階床面積		114.00

観客席Ｂ棟　１階床面積表			
	計　算　式　（㎡）		
③	31.000 × 11.810	＝	366.11
	１階床面積		366.11

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　求積図・面積表（１）
縮　尺	1：150（A3=1:300）
図面番号	Ａ－202
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



観客席Ａ棟　建築面積表			
	計　算　式　（㎡）		
ⓐ	32.700 × 10.000	＝	327.00
	建築面積		327.00

中央倉庫棟　建築面積			
	計　算　式　（㎡）		
ⓑ	19.000 × 7.500	＝	142.50
	建築面積		142.50

観客席Ｂ棟　建築面積表			
	計　算　式　（㎡）		
ⓒ	32.700 × 10.000	＝	327.00
	建築面積		327.00

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　求積図・面積表（２）
縮　尺	1：150（A3=1:300）
図面番号	Ａ－203
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

■ 外部仕上表

屋　　根	カラーガルバリウム鋼板 t 0.6　折板葺キ　H=90　ハゼタイプ（裏貼りなし）	観客席Ａ・Ｂ	床　：コンクリート金ゴテ仕上　　中通路：コンクリート金ゴテ　刷毛引き仕上 手摺壁：コンクリート打放シ（天端共）
軒　　天	折版表し 梁型：鉄骨表し　溶融亜鉛メッキ処理		手　摺：スチール製　溶融亜鉛メッキ処理 座　席：アルミ合金製
外　　壁	コンクリート打放シ　光触媒防汚コート　　一部天端：カラーアルミ製笠木 柱型：鉄骨表し　溶融亜鉛メッキ処理	車いす席Ａ・Ｂ	床　：コンクリート金ゴテ仕上　白線引き 手摺壁：コンクリート打放シ（天端共）
建　　具	スチール製建具 軽量スチールシャッター		手　摺：スチール製　溶融亜鉛メッキ処理
軒樋・竪樋	軒樋：耐候性樹脂被覆鋼板 竪樋：アルミ押出成型管（カラー）　メンテナンス用スライド管	通路Ａ・Ｂ	床　：コンクリート金ゴテ　刷毛引き仕上 柱型：鉄骨表し　溶融亜鉛メッキ処理
屋　　上	床　：コンクリート金ゴテ　ウレタン塗膜防水（防滑仕様） 手摺取付部立上り：コンクリート打放シ　ウレタン塗膜防水（天端共）		柱型根巻き：コンクリート打放シ（天端共） 手　摺：スチール製　溶融亜鉛メッキ処理
	手摺壁：コンクリート打放シ　光触媒防汚コート　　天端：カラーアルミ製笠木 手　摺：スチール製　溶融亜鉛メッキ処理	側面階段Ａ・Ｂ	床　　：コンクリート金ゴテ仕上　ノンスリップ目地 手摺壁：コンクリート打放シ（天端共）　　一部天端：カラーアルミ製笠木
中央通路Ａ・Ｂ	床　：コンクリート金ゴテ　刷毛引き仕上 壁面：コンクリート打放シ　光触媒防汚コート		手摺壁（外側）：コンクリート打放シ　光触媒防汚コート（カラー） 手　摺：スチール製　溶融亜鉛メッキ処理
	手摺取付部立上り：コンクリート打放シ（天端共） 手　摺：スチール製　溶融亜鉛メッキ処理	中央階段Ａ・Ｂ	床　　：コンクリート金ゴテ仕上　ノンスリップ目地 手摺壁：コンクリート打放シ（天端共）　　一部天端：カラーアルミ製笠木
階段Ａ・Ｂ	床　　：モルタル金ゴテ　ウレタン塗膜防水（防滑仕様） 手摺壁：コンクリート打放シ　光触媒防汚コート　　天端：カラーアルミ製笠木		手摺壁（外側）：コンクリート打放シ　光触媒防汚コート（カラー） 手　摺：スチール製　溶融亜鉛メッキ処理
	手　摺：スチール製　溶融亜鉛メッキ処理	土　　間	コンクリート金ゴテ仕上

■ 特記仕様

1.コンクリート打増し	外部に面する部分は、特記なき限り打増しｔ＝20とする。 コンクリートの出隅部分は、面木を使用とする。
2.仕上仕様	ウレタン塗膜防水は指定色とする。 光触媒防汚コートは指定色とする。
3.竪樋仕様	竪樋はバンドレス仕様とし、受金具は下記とする。 ・ＲＣ部：高強度支持金具　・鉄骨部：センタープラケット金具
4.EXP.J金物仕様	床　用：ステンレス製　クリアランス50用（既製品） 外壁用：アルミ製　クリアランス50用（既製品）
5.多目的スリーブ仕様	室外側：ステンレス製　100φ用　キャップ：室内側取外しタイプ 室内側：樹脂製　100φ用
6.その他	消火器ボックスは、ステンレス製とし、屋外用・壁掛タイプとする。

■ 共通事項

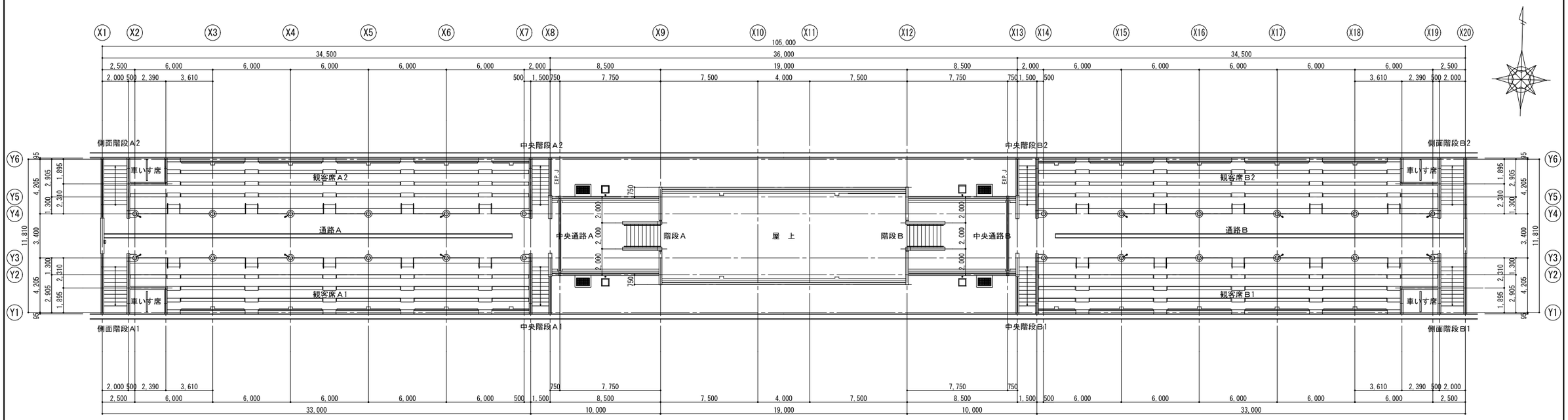
1.凡　例	カラーガルバリウム鋼板：ポリエステル樹脂塗装溶融亜鉛55%アルミニウム一亜鉛合金めっき鋼板 光触媒防汚コート：無機質系全光型光触媒防汚コート

■ 内部仕上表

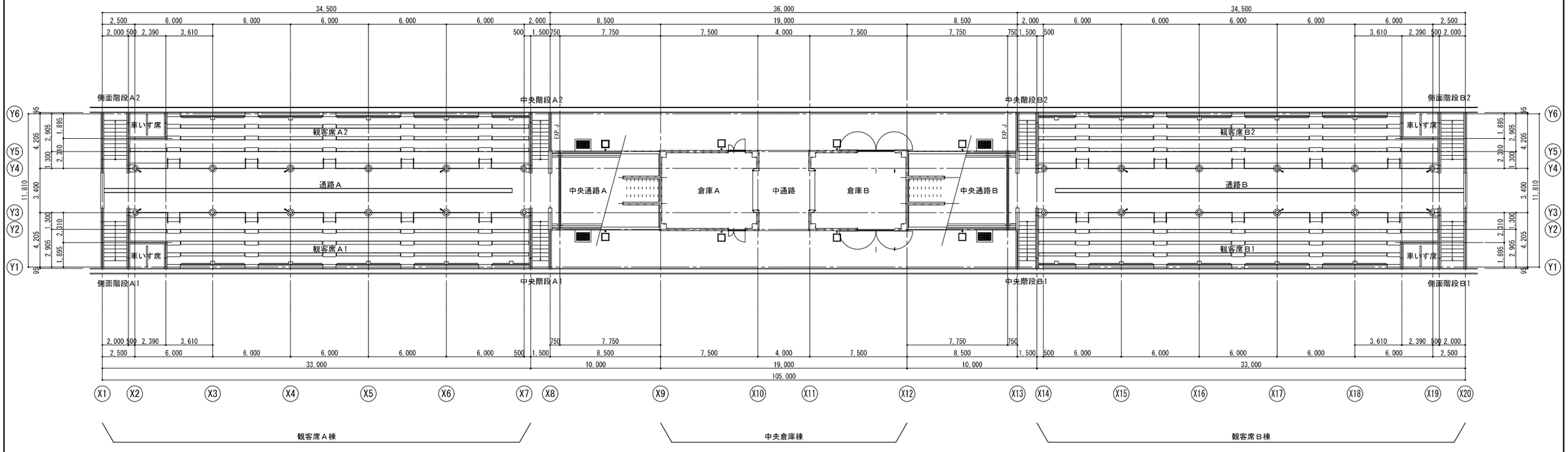
室　名	床　高	床		巾　木		壁		天　井		廻り縁	天井高	備　考 ※〔　〕内は、機械設備工事を表す
		下　地	仕　上	仕　上	H	下　地	仕　上	下　地	仕　上			
倉庫Ａ	±0～+20	――	コンクリート金ゴテ　防塵塗床	床材立上げ	100	――	コンクリート打放シ	――	コンクリート打放シ	――	――	室名札
倉庫Ｂ	±0～+20	――	コンクリート金ゴテ　防塵塗床	床材立上げ	100	――	コンクリート打放シ	――	コンクリート打放シ	――	――	多目的スリーブ 室名札
中通路	±0～＋20	――	コンクリート金ゴテ仕上	――	――	――	コンクリート打放シ　光触媒防汚コート	――	コンクリート打放シ　光触媒防汚コート	――	――	

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　仕上表
縮　尺	NON
図面番号	Ａ－204
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-32-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



屋上平面図

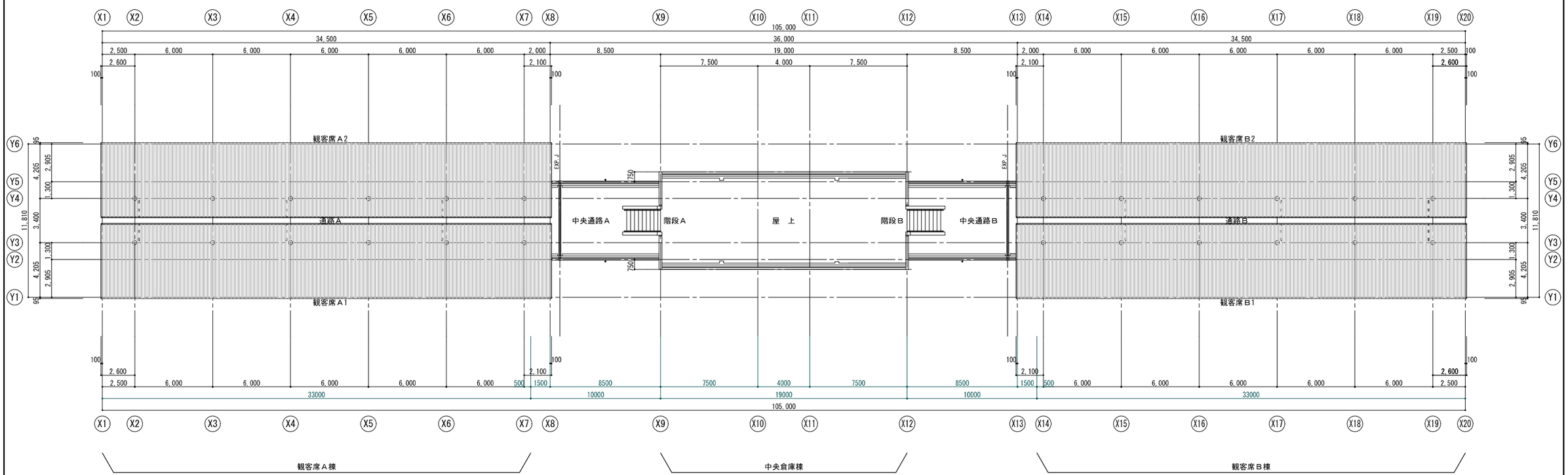


1階平面図

※倉庫は危険物の貯蔵は行わない。
※観客席の使用建材は規制対象外の建材とする。

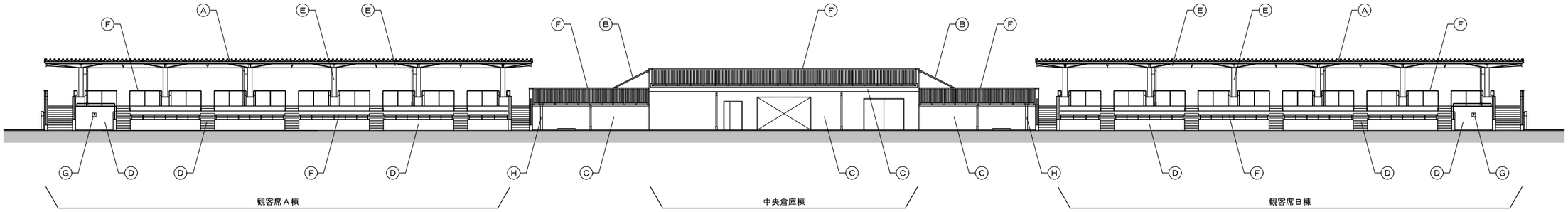
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　平面図
縮　尺	1：150（A3=1:300）
図面番号	A－205
DATE	． ．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二

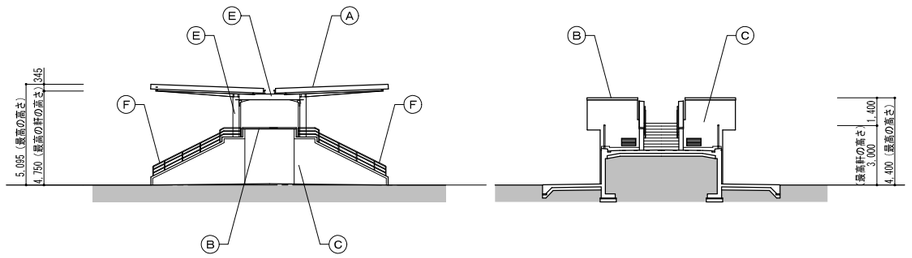


工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　屋根伏図
縮　尺	1：150（A3=1:300）
図面番号	A－206
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二



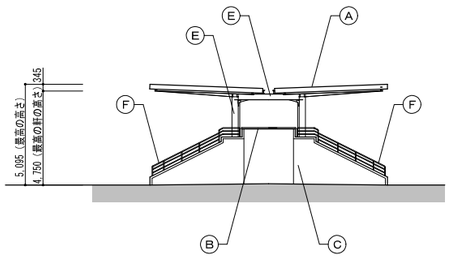
南側立面図



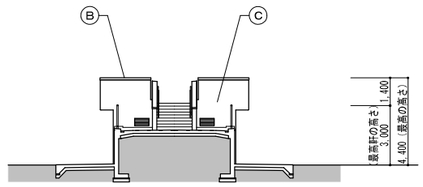
観客席Ｂ棟

中央倉庫棟

東側立面図

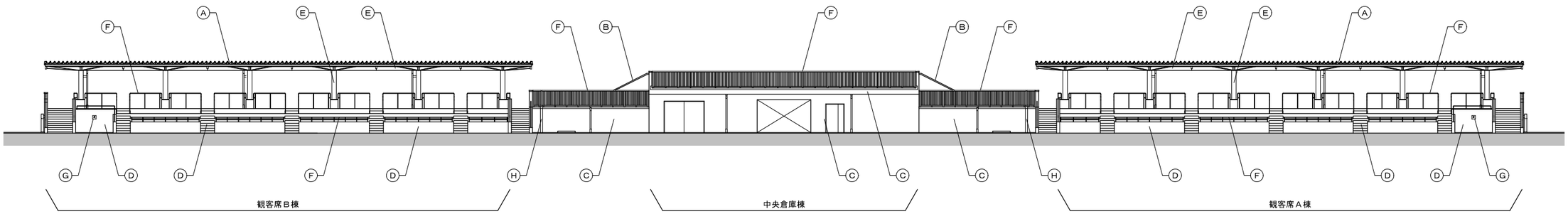


観客席Ａ棟



中央倉庫棟

西側立面図



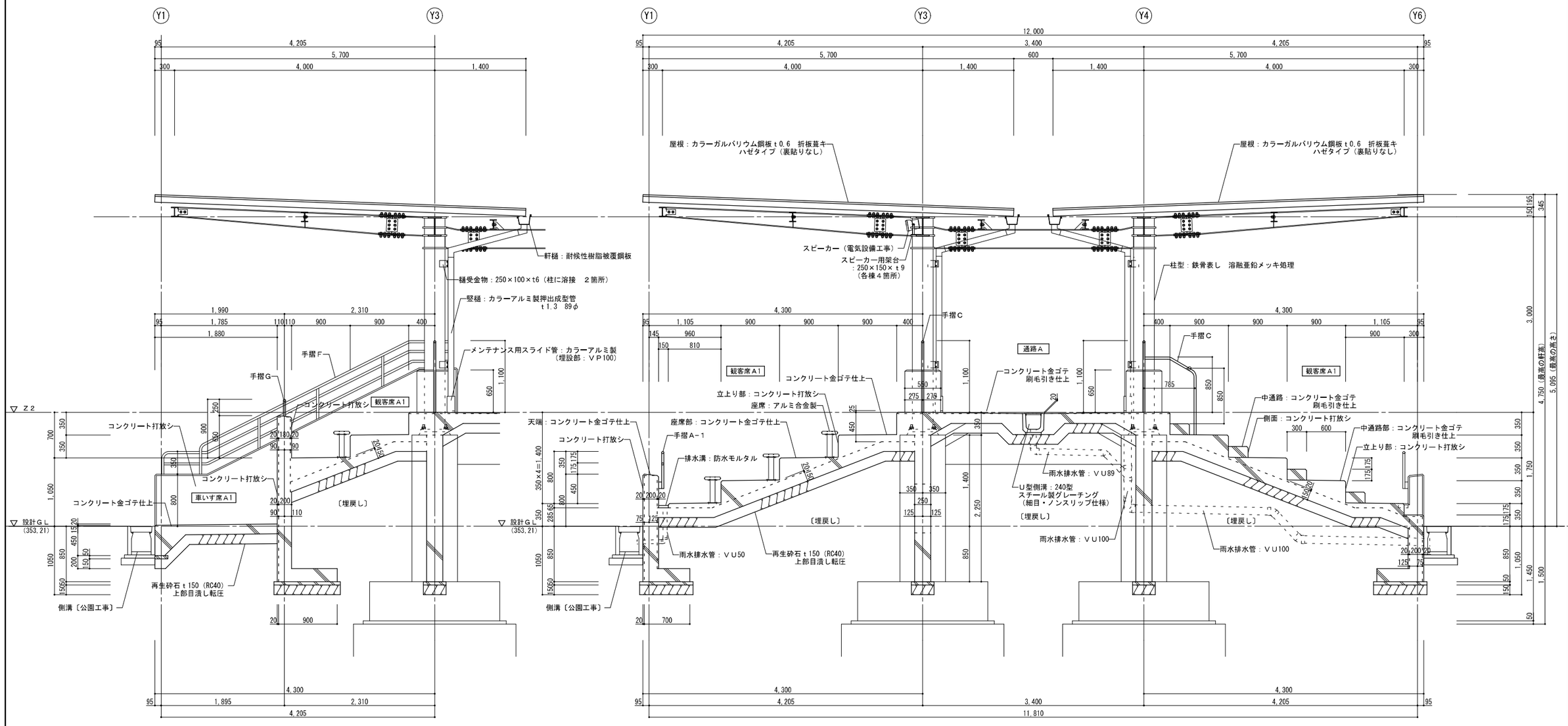
北側立面図

外部仕上凡例

Ⓐ	カラーガルバリウム鋼板ｔ0.6　折板葺キ　H=90　ハゼタイプ（裏貼りなし）
Ⓑ	カラーアルミ製笠木
Ⓒ	コンクリート打放シ　光触媒防汚コート
Ⓓ	コンクリート打放シ
Ⓔ	鉄部表し　溶融亜鉛メッキ処理
Ⓕ	スチール製手摺
Ⓖ	サイン表示（部分詳細図　参照）
Ⓗ	ＥＸＰ．Ｊ金物：アルミ製

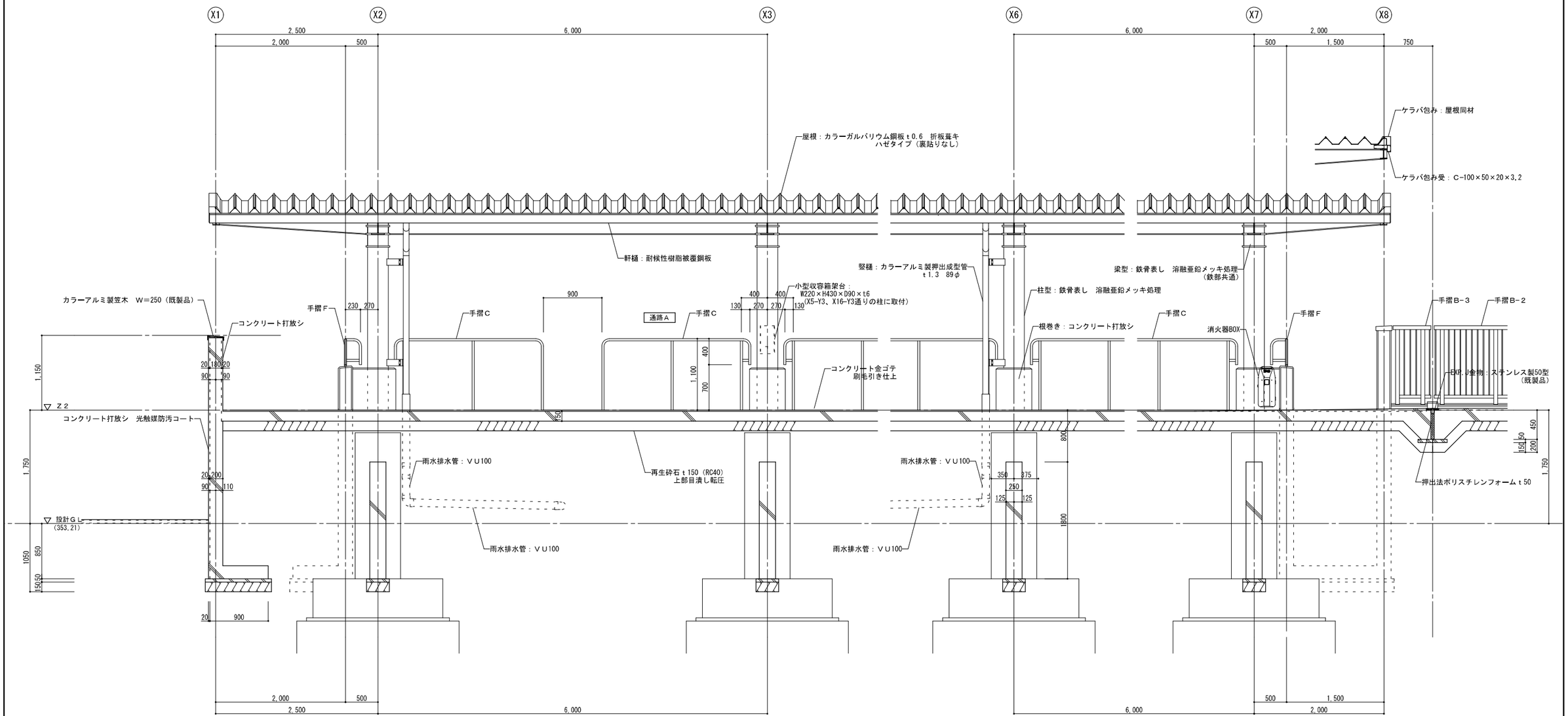
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　立面図
縮　尺	1：150（A3=1:300）
図面番号	Ａ－207
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



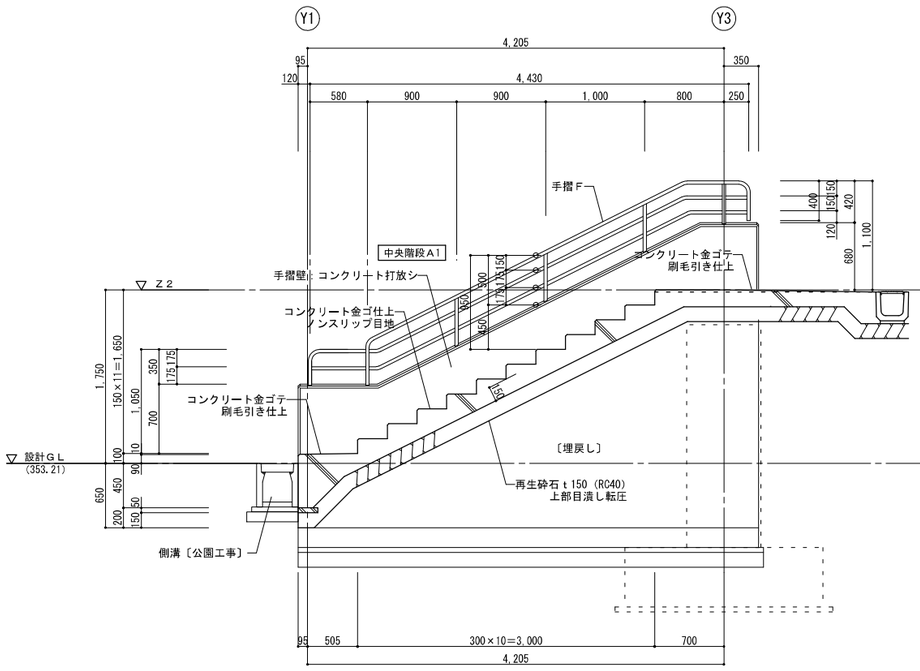
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　矩計図（１）
縮　尺	1：30（A3=1：60）　図面番号　Ａ−208
DATE	．　．

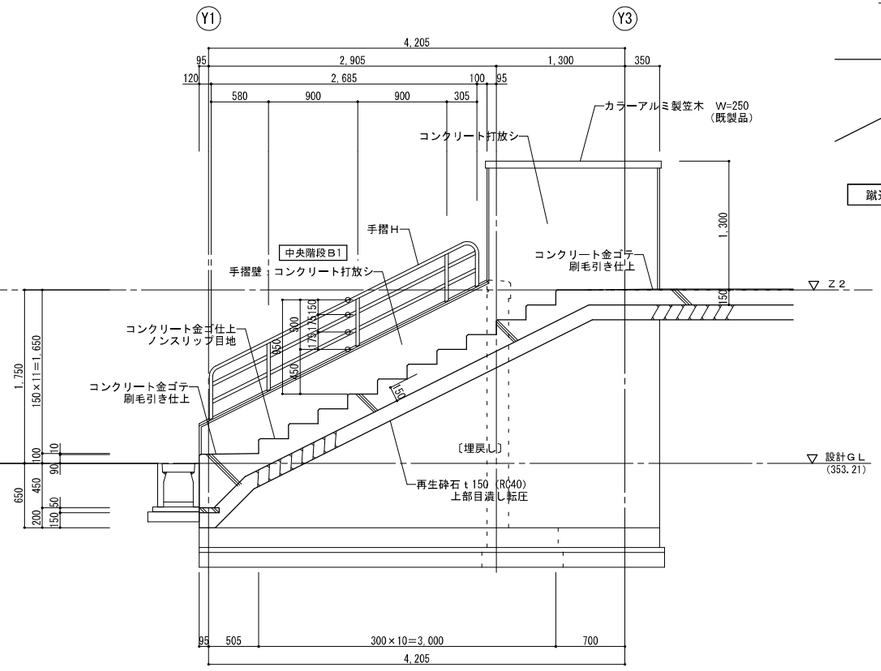
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

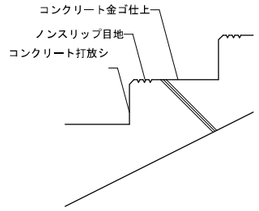


工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　矩計図（２）
縮　尺	1：30（A3=1：60）　図面番号：Ａ－209
DATE	．　．

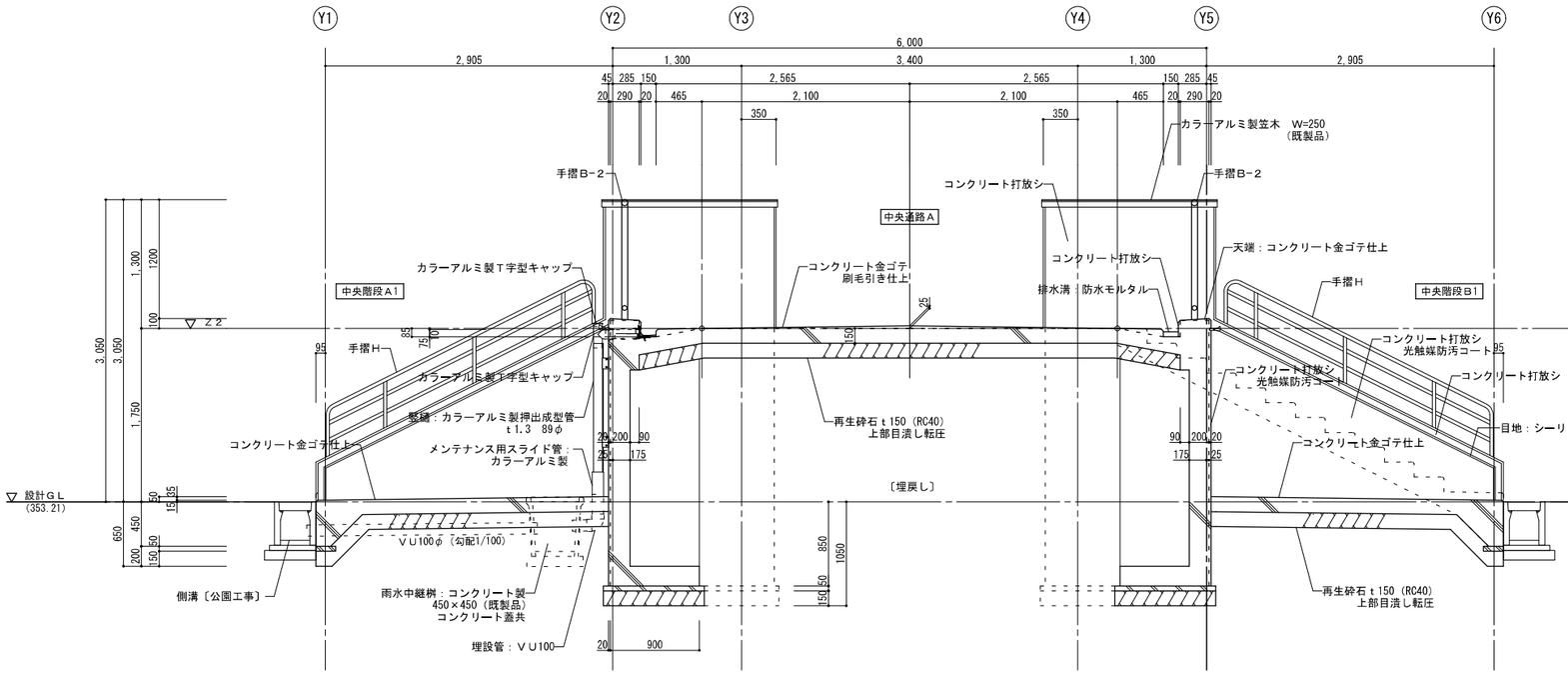
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

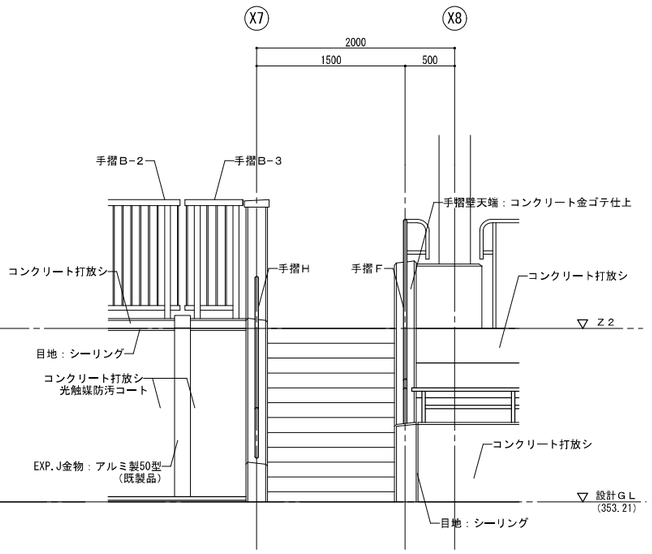






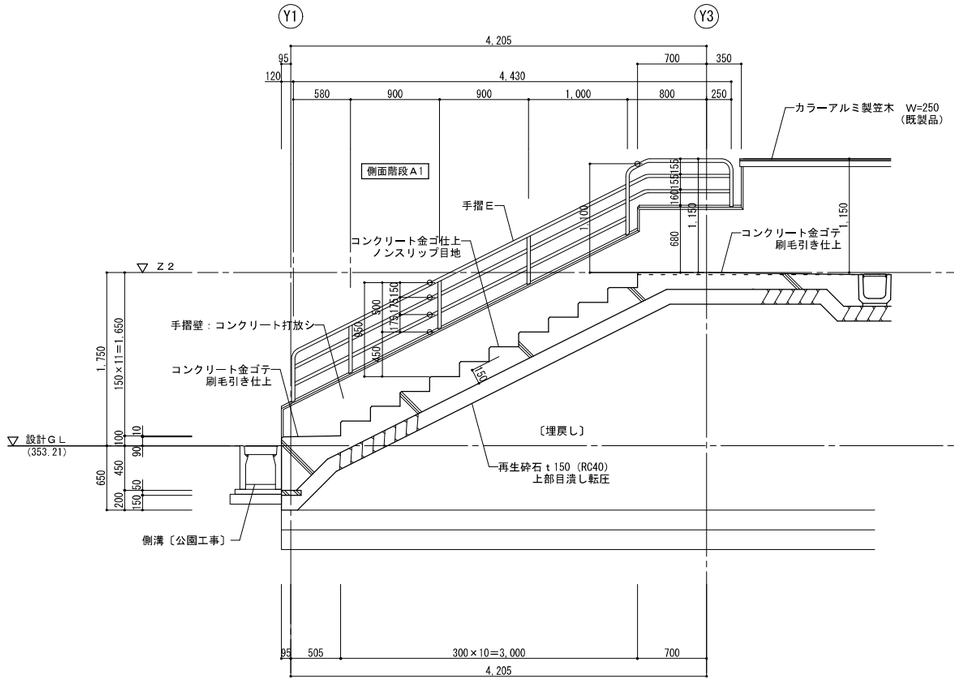
鼠込部分詳細図　S=1:10
※中央・側面階段共通

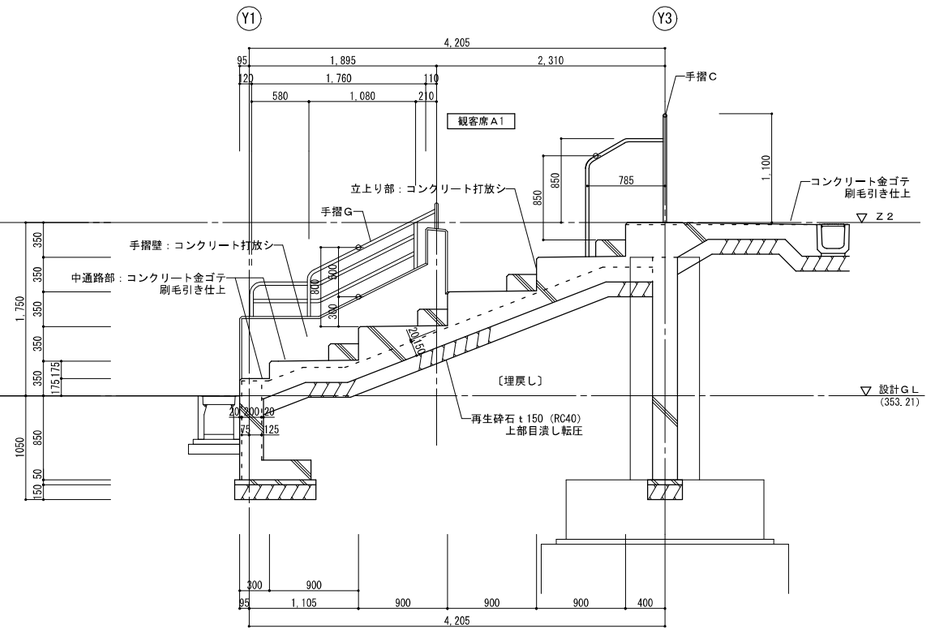


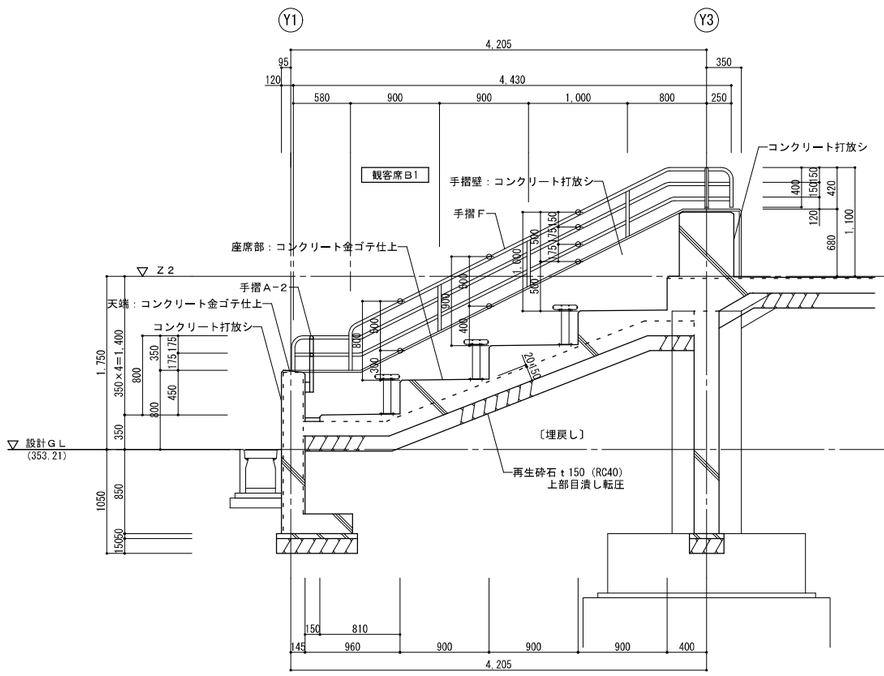


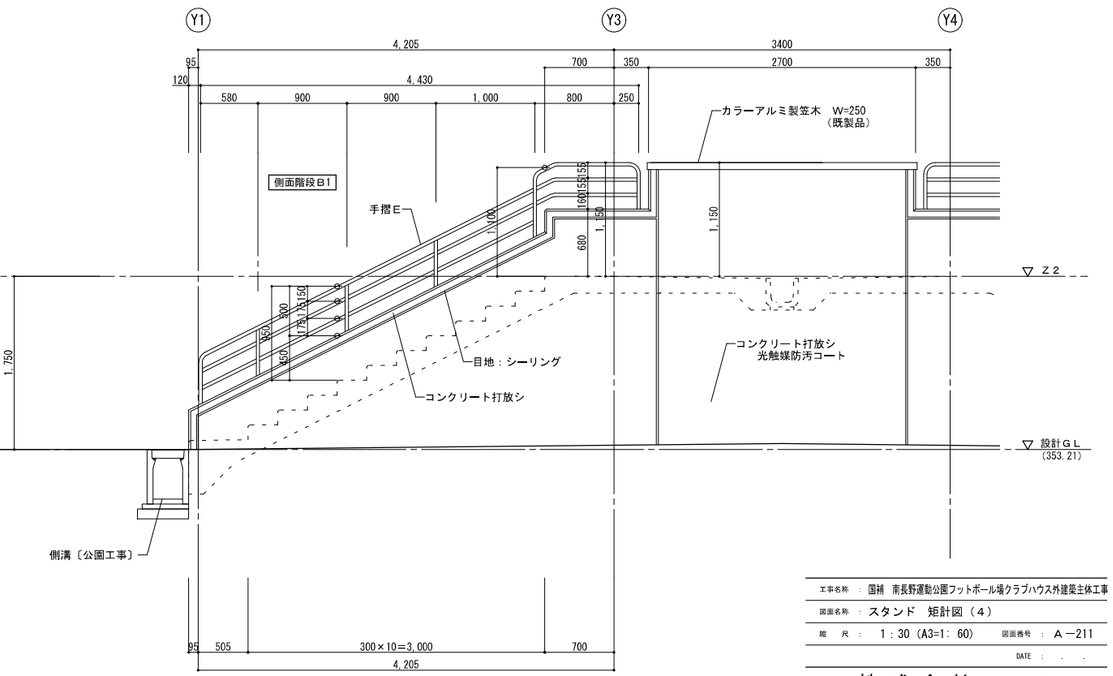
工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：スタンド　矩計図（３）
縮　尺	：1：30（A3=1：60）　図面番号：A−210
	DATE　：　．　．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



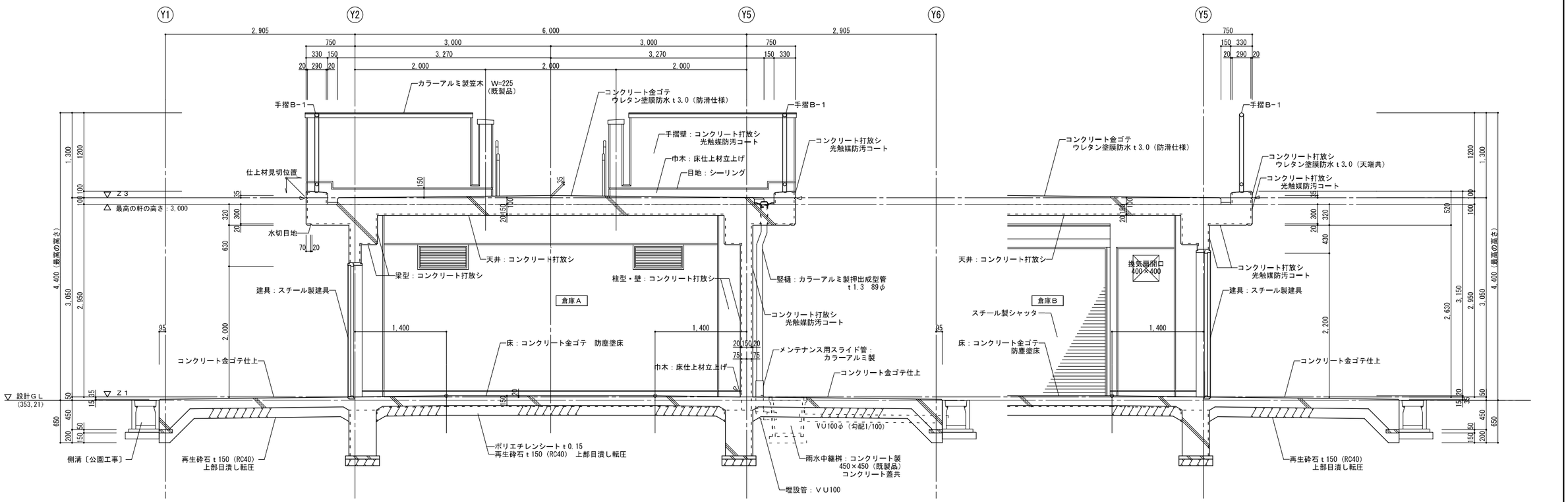


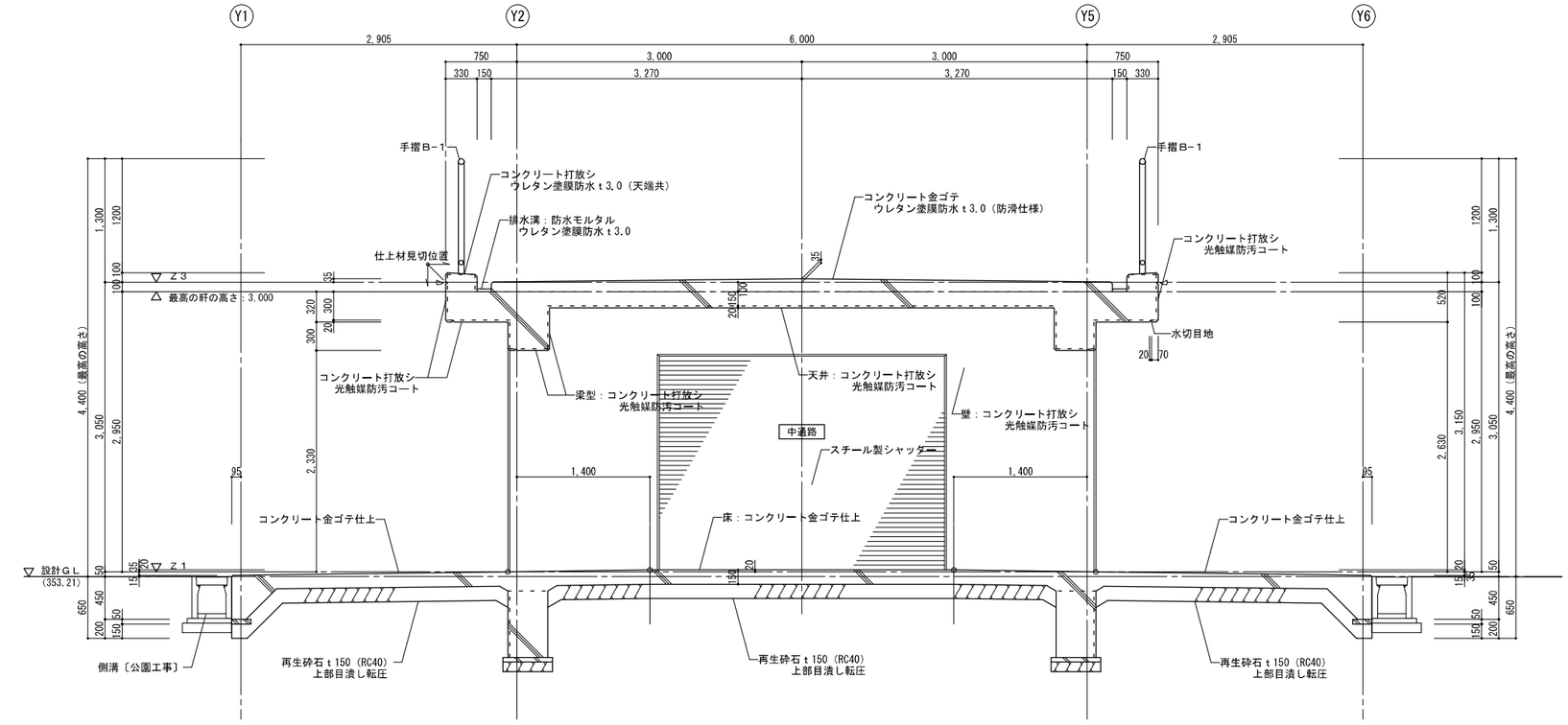




工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：スタンド　矩計図（４）
縮　尺	：1：30（A3=1：60）　図面番号：A－211
DATE	： . .

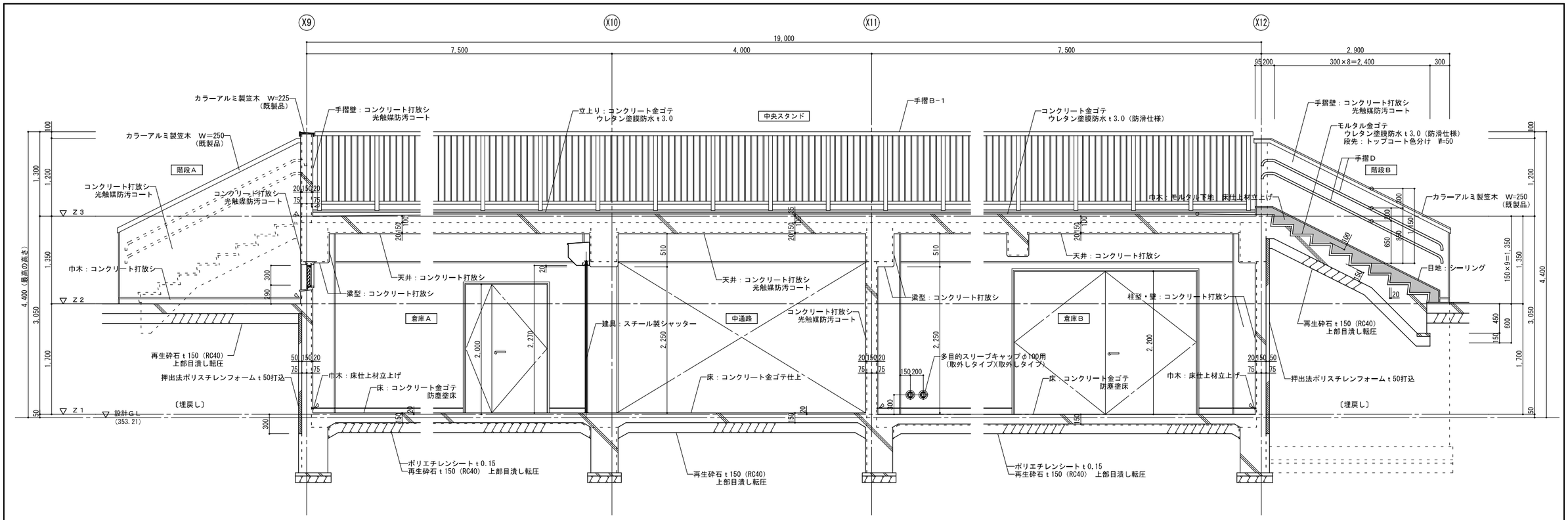
株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二





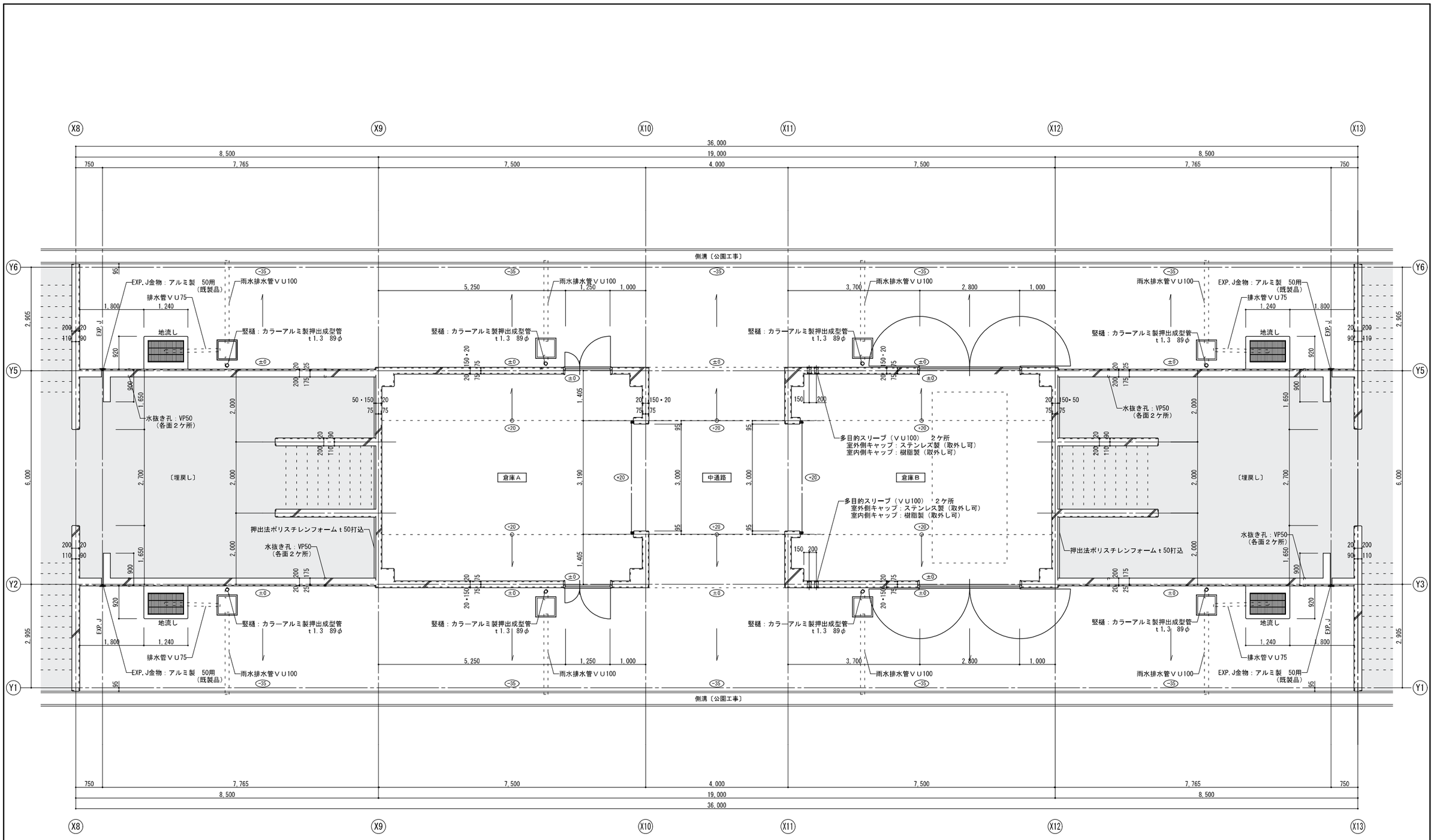
工事名称	：国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：スタンド 矩計図（5）
縮尺	：1：30（A3=1：60） 図面番号：A－212
	DATE ： . .

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二



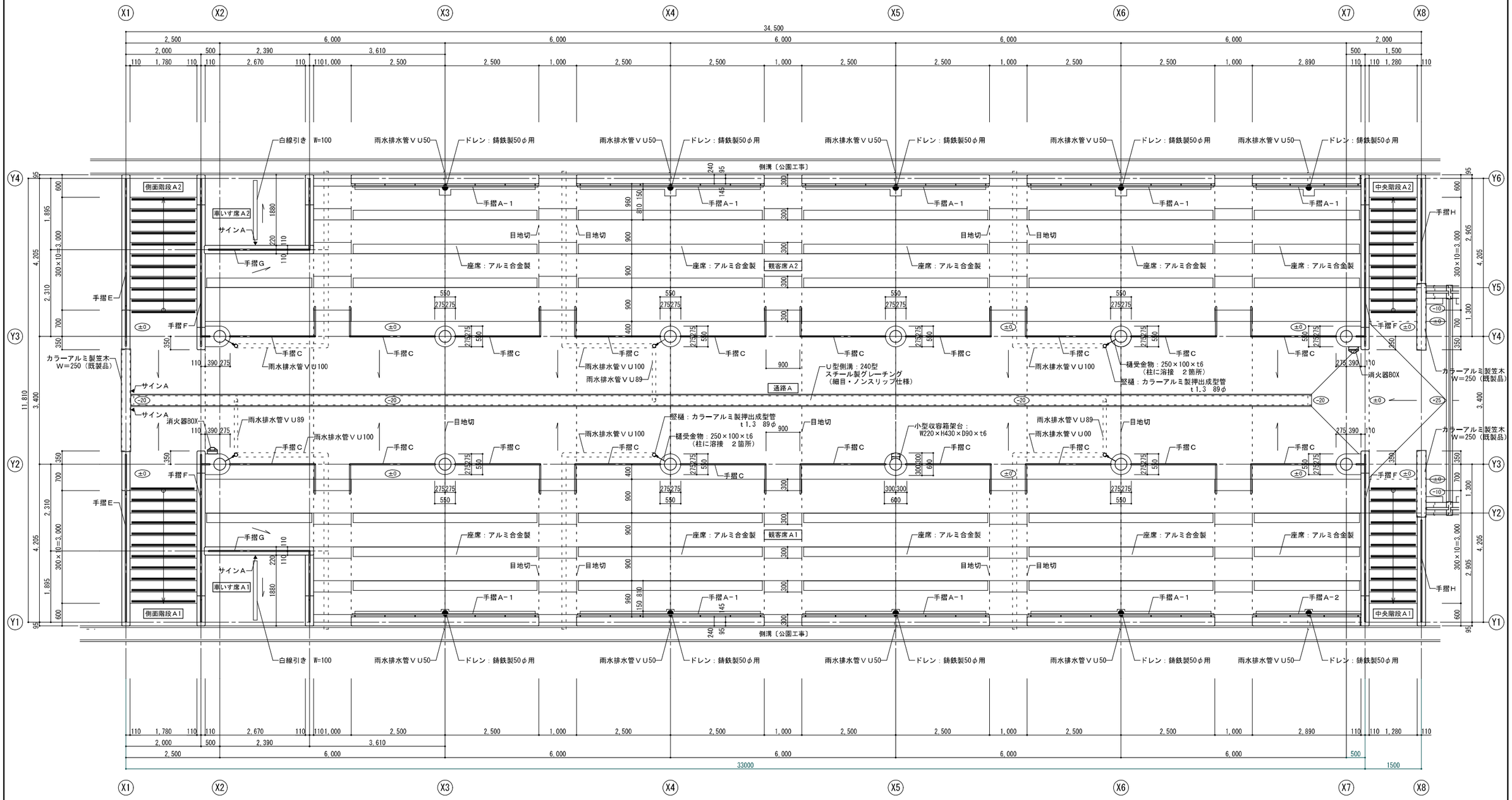
工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド 矩計図（６）
縮 尺	1：30（A3=1：60）
図面番号	A－213
DATE	. .

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
１級建築士 第293052号 渡利 真二



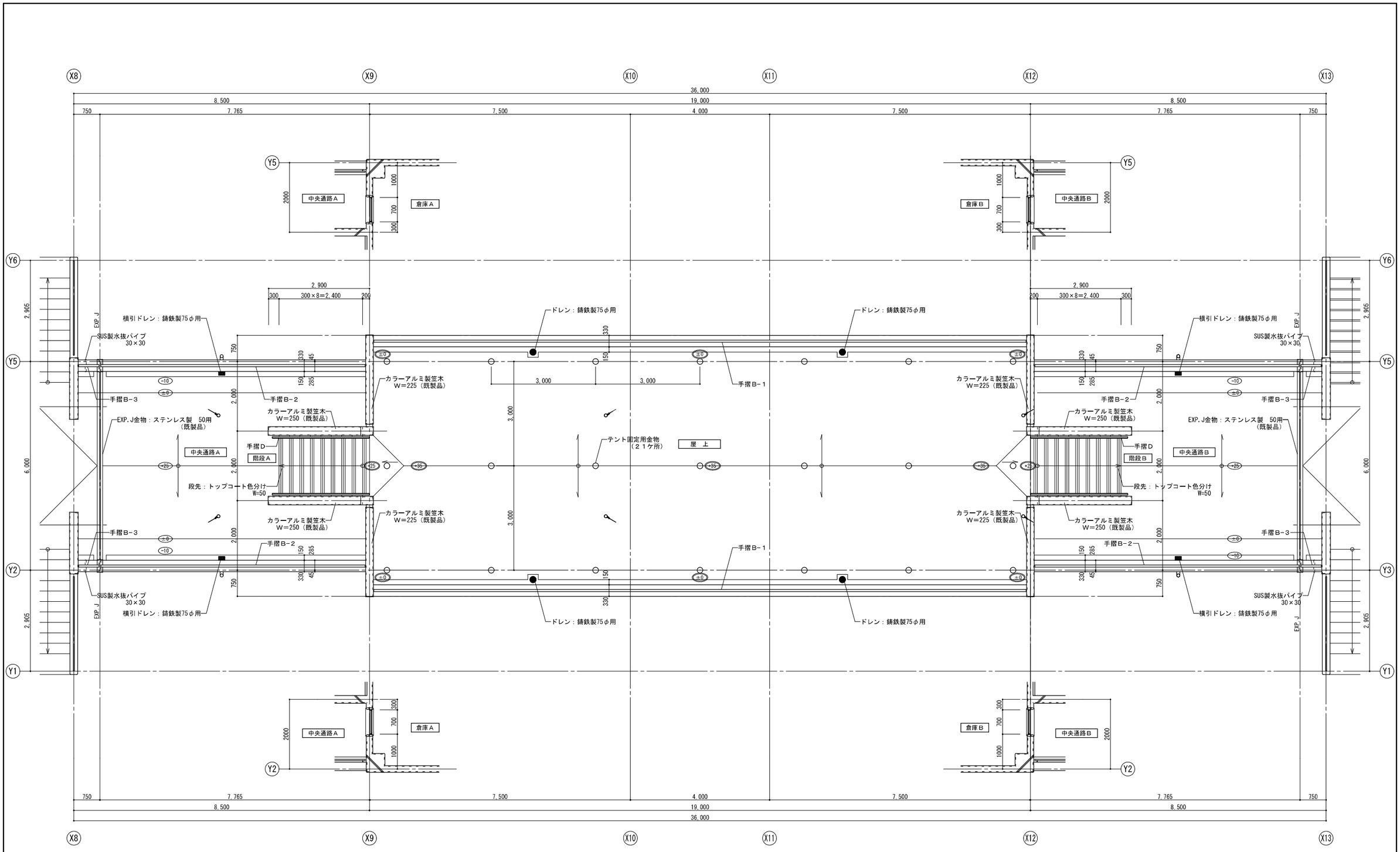
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　平面詳細図（１）
縮　尺	1：50（A3=1:100）
図面番号	Ａ－214
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド 平面詳細図（２）
縮尺	1：50（A3=1:100）
図面番号	A－215
DATE	． ．

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 ⅡｰⅠ第75251号
１級建築士 第293052号 渡利 真二

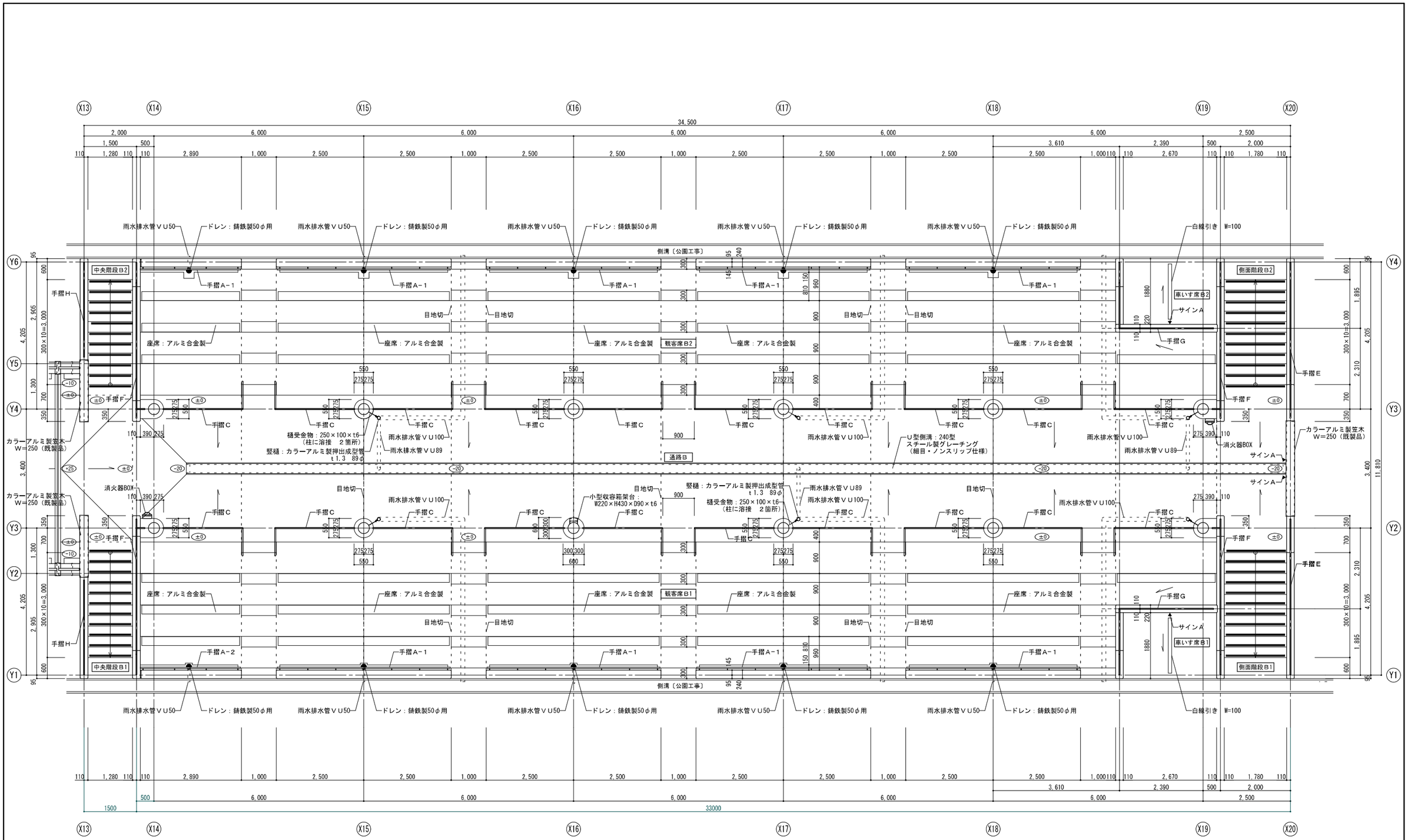


設計ＧＬ＋1,750（Ｚ２）からのレベルを示す

設計ＧＬ＋3,050（Ｚ３）からのレベルを示す

工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド 平面詳細図（３）
縮尺	1：50（A3=1:100）
図面番号	A−216
DATE	. .

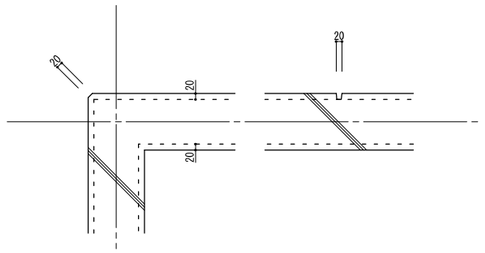
株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
１級建築士 第293052号 渡利 真二



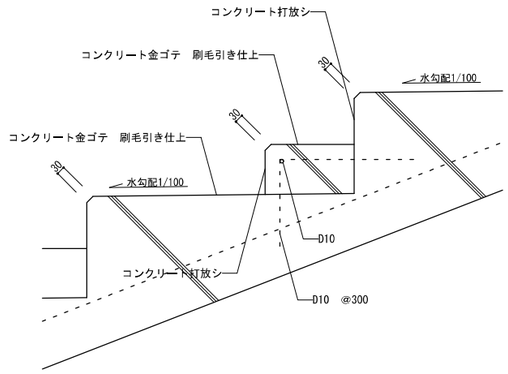
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　平面詳細図（４）
縮　尺	1：50（A3=1:100）
図面番号	A−217
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二

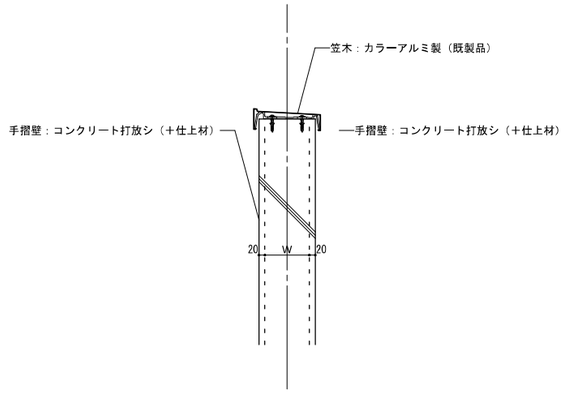
ＲＣ壁面木・目地　詳細図　　Ｓ＝１：１０



観客席段床部　詳細図　　Ｓ＝１：１０

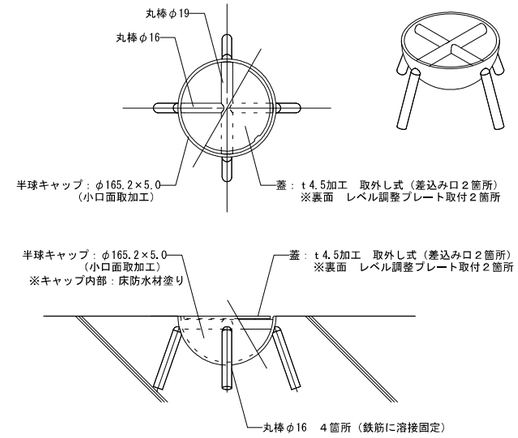


手摺壁（笠木付）　詳細図　　Ｓ＝１：１０

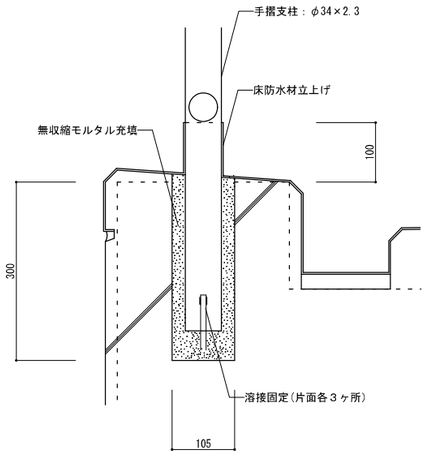


テント固定用金物　詳細図　　Ｓ＝１：５

※全ての処理方法：溶融亜鉛メッキ処理

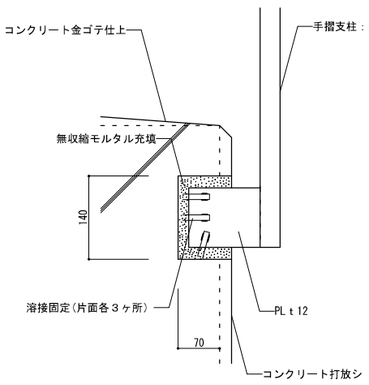


手摺取合部　詳細図（自立・防水仕上材あり）　　Ｓ＝１：５

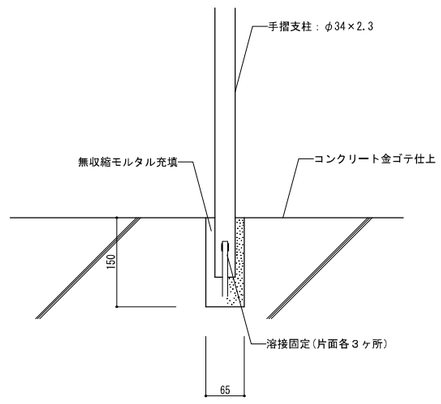


※中央通路は防水材なし

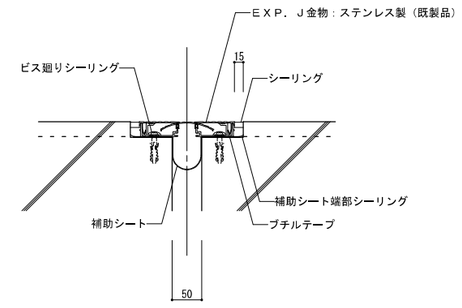
手摺取合部　詳細図（壁付・防水仕上材なし）　　Ｓ＝１：５



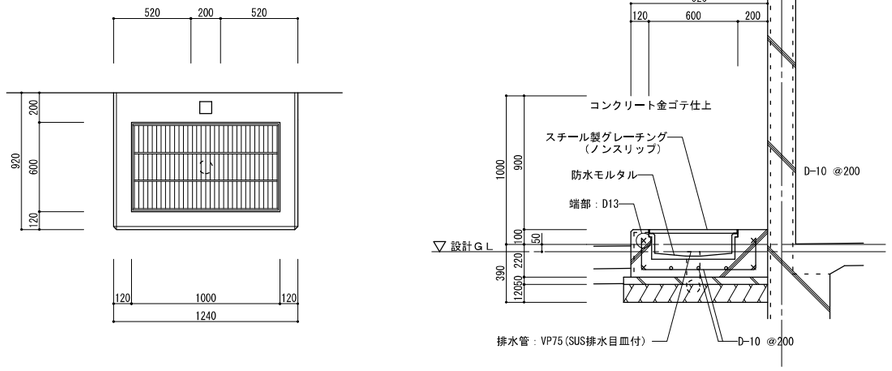
手摺取合部　詳細図（自立・防水仕上材なし）　　Ｓ＝１：５



EXP.J金物（床）　詳細図　　Ｓ＝１：５



地流し　詳細図　　Ｓ＝１：２０



サインＡ　詳細図　　NON

サイン仕様　　※絵文字柄は参考とする。

壁面取付	250×250 アルミ複合板ｔ3（裏面捨張りｔ3） インクジェットシート貼り（小口巻込み） ※ ベース色：カラー、マーク：白	10ヶ所

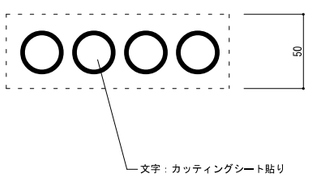


【車いす席】　　【Ｘ1通り・Ｘ20通り】

サインＢ　詳細図　　NON

サイン仕様　　※絵文字柄は参考とする。

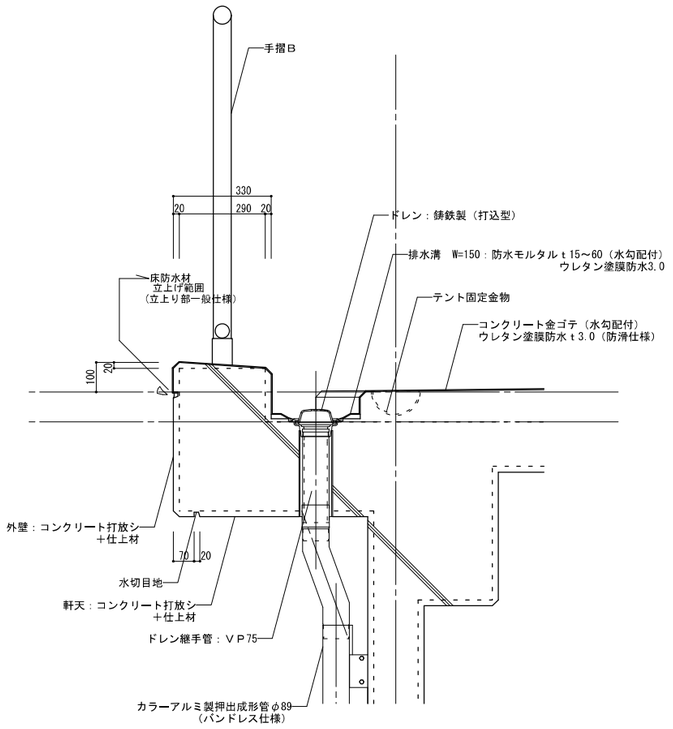
建具取付	図示 カッティングシート貼り（黒）	４ヶ所



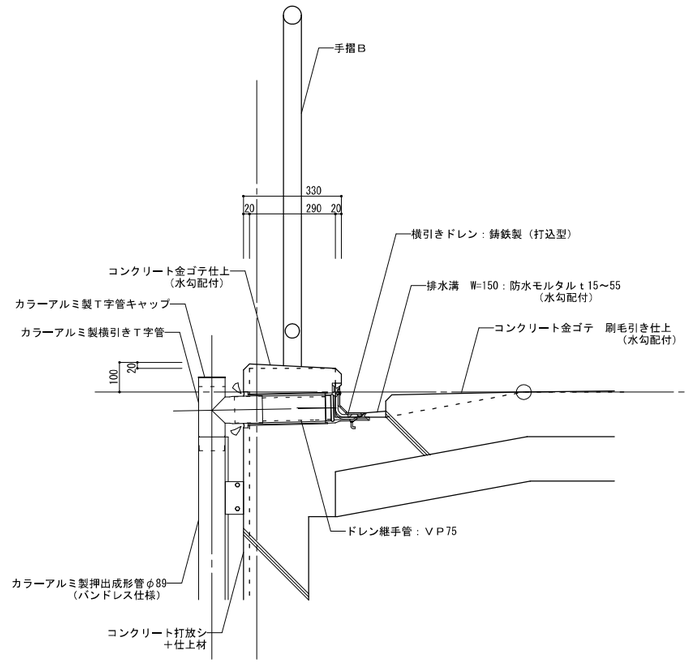
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　部分詳細図（１）
縮尺	1:5・10・20 (A3=1:10・20・40)
図面番号	Ａ－218
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

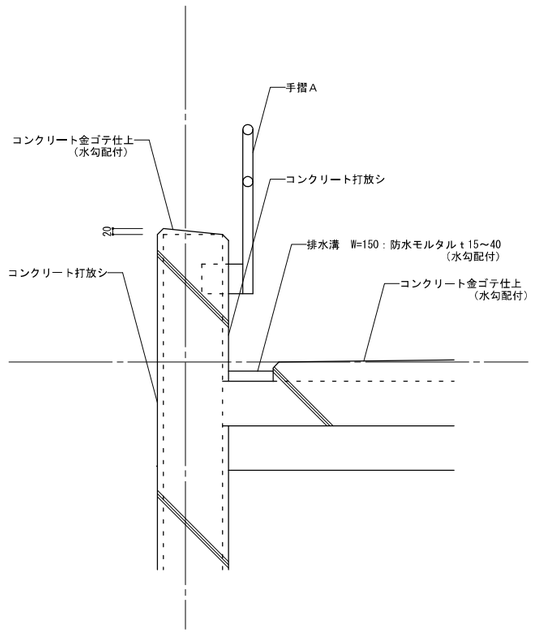
中央スタンド立上り部　詳細図　　S＝１：１０



中央通路立上り部　詳細図　　S＝１：１０



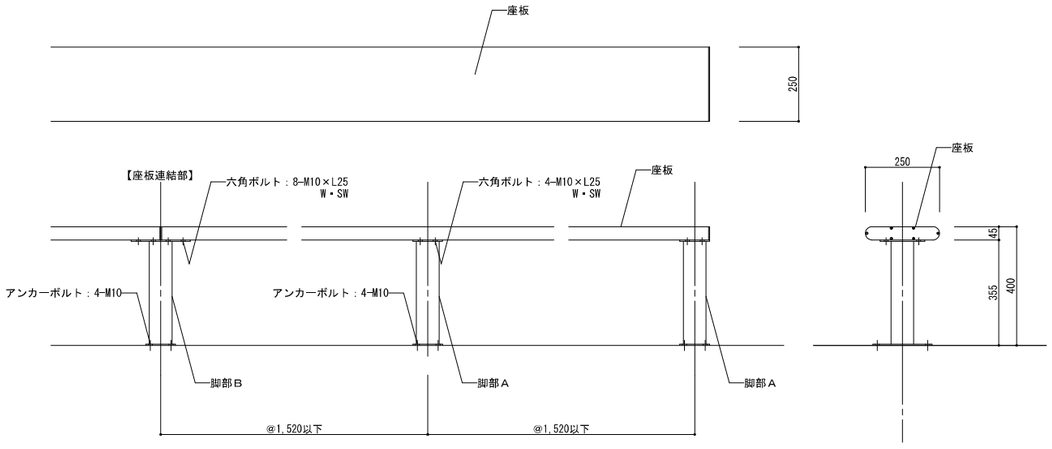
観客席立上り部　詳細図　　S＝１：１０



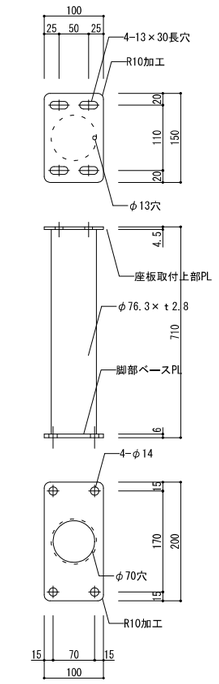
ベンチ席　詳細図　　S＝１：１０

■ベンチ席〔株式会社ルイ高　ルイ・ステージ　長ベンチ仕様（同等品）〕

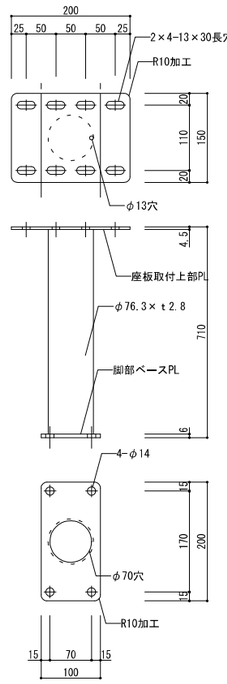
座　板	アルミ合金(A6063-15)　アルマイト処理（ステンカラー）＋電着塗装
脚　部	鉄製　溶融亜鉛メッキ＋ウレタン塗装（黒色　半つや）
ねじ類	ステンレス（SUS304）



長　さ	箇所数
4,900	４８
2,800	１６



脚部Ａ詳細図　S=1:5



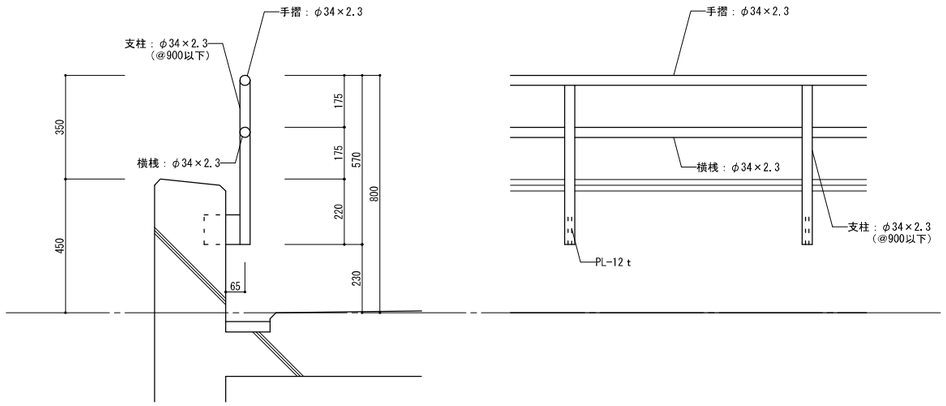
脚部Ｂ詳細図　S=1:5

工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：スタンド　部分詳細図（２）
縮　尺	：1：10(A3=1:20)　　図面番号：Ａ－219
DATE	：　．　．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

手摺Ａ　詳細図　　Ｓ＝１：１０

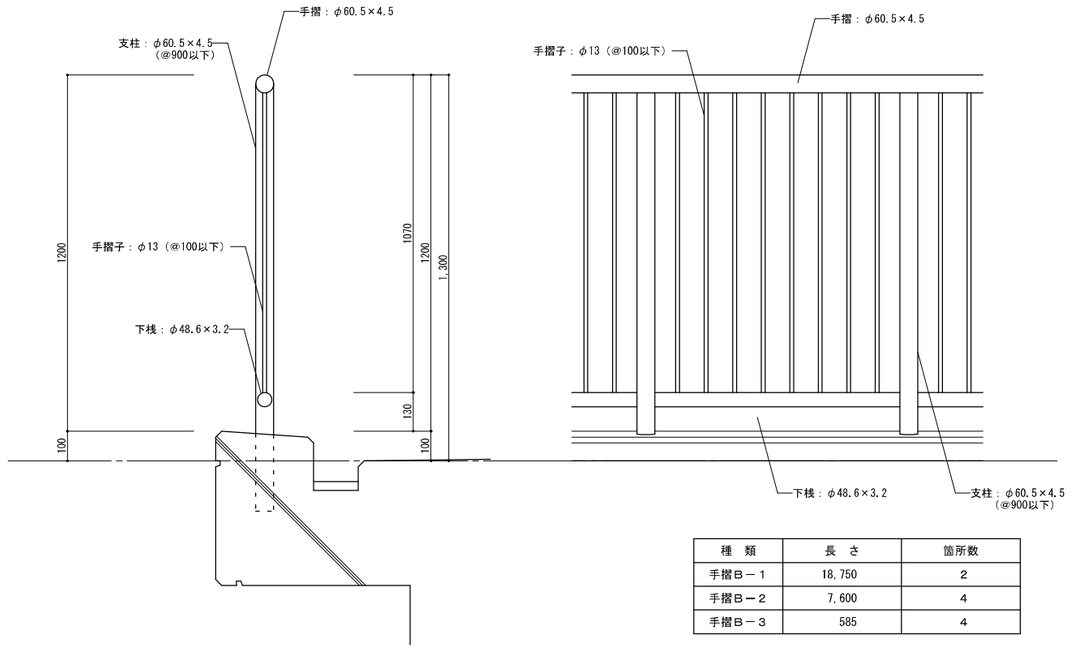
※全ての処理方法：溶融亜鉛メッキ処理



種　類	長　さ	箇所数
手摺Ａ－１	4,950	１６
手摺Ａ－２	2,865	４

手摺Ｂ　詳細図　　Ｓ＝１：１０

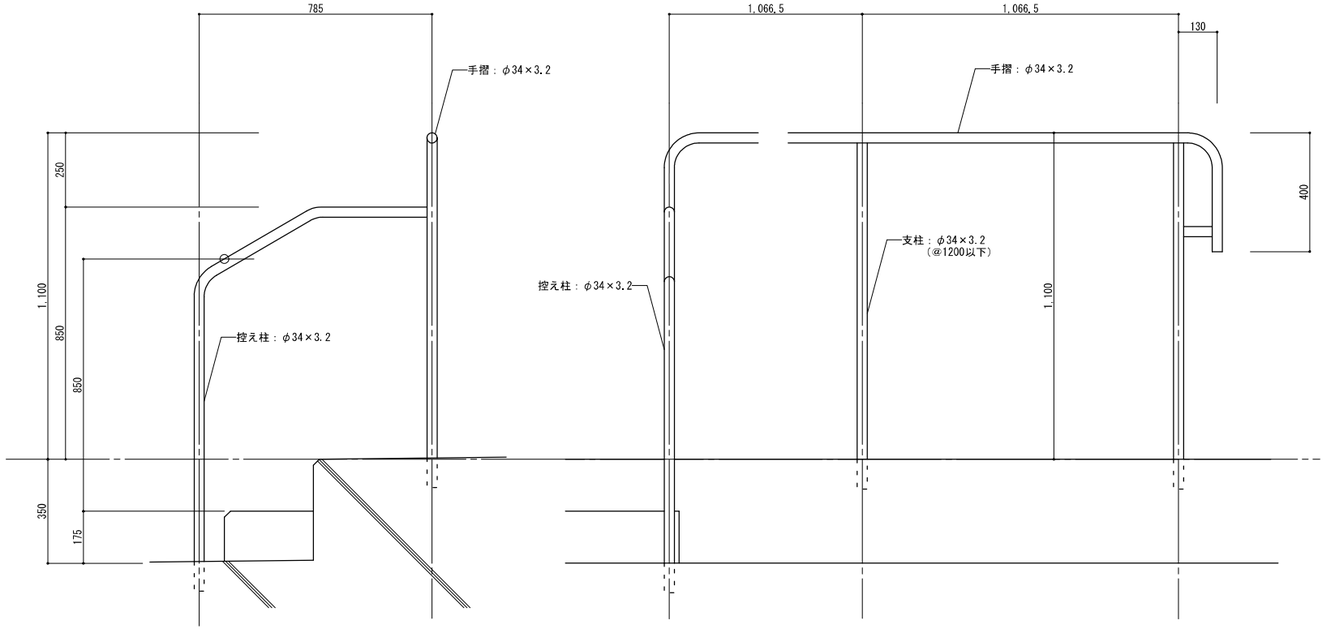
※全ての処理方法：溶融亜鉛メッ処理



種　類	長　さ	箇所数
手摺Ｂ－１	18,750	２
手摺Ｂ－２	7,600	４
手摺Ｂ－３	585	４

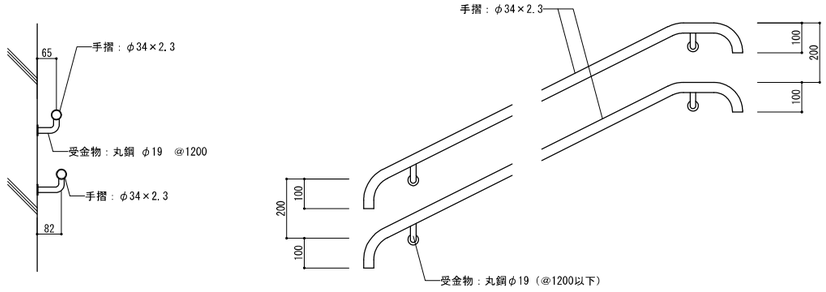
手摺Ｃ　詳細図　　Ｓ＝１：１０

※全ての処理方法：溶融亜鉛メッキ処理



手摺Ｄ　詳細図　　Ｓ＝１：１０

※全ての処理方法：溶融亜鉛メッキ処理

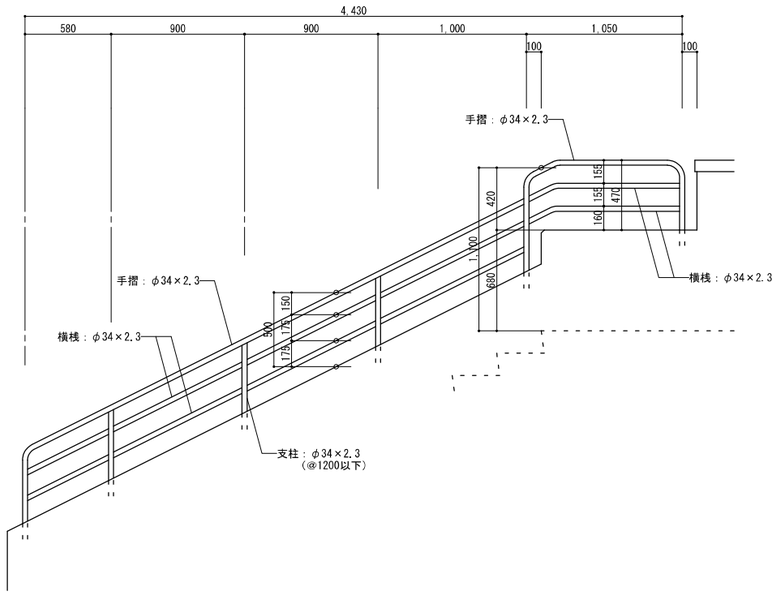


工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　部分詳細図（３）
縮　尺	1：10(A3=1:20)
図面番号	Ａ－220
DATE	．　．

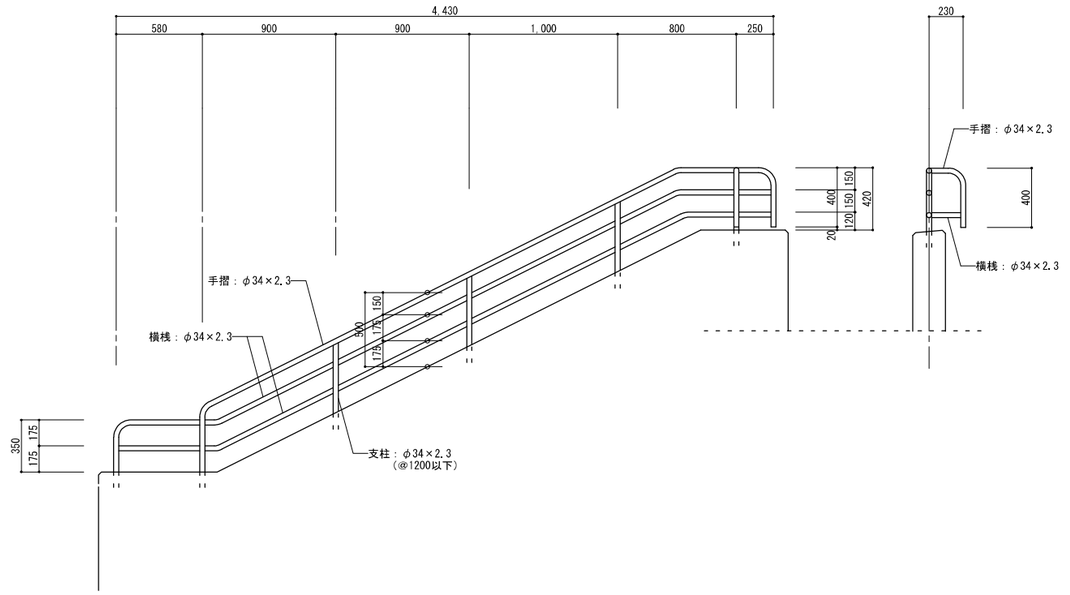
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

手摺E　詳細図　　S＝1：20

※全ての処理方法：溶融亜鉛メッキ処理

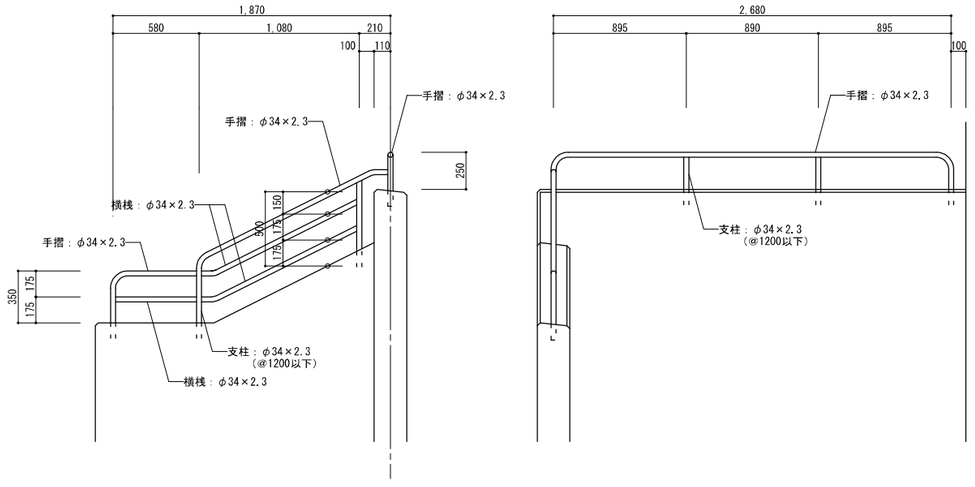


手摺F　詳細図　　S＝1：20



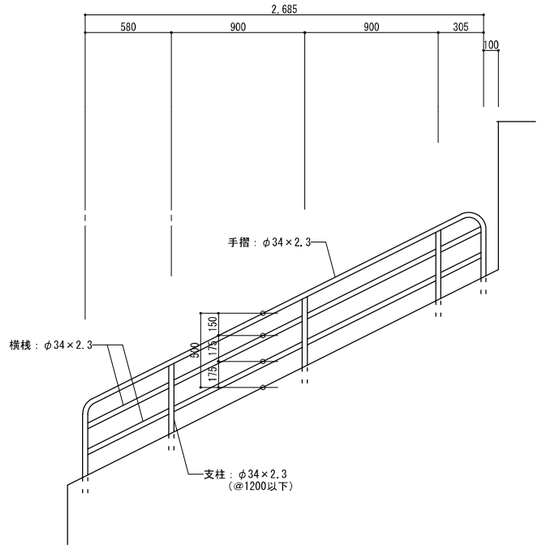
手摺G　詳細図　　S＝1：20

※全ての処理方法：溶融亜鉛メッキ処理



手摺H　詳細図　　S＝1：20

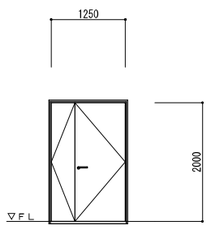
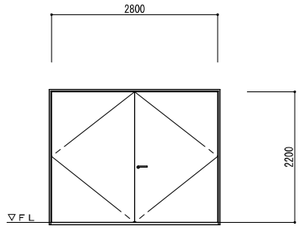
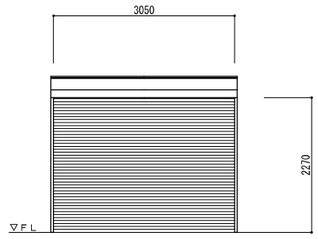
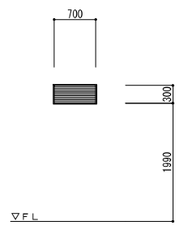
※全ての処理方法：溶融亜鉛メッキ処理

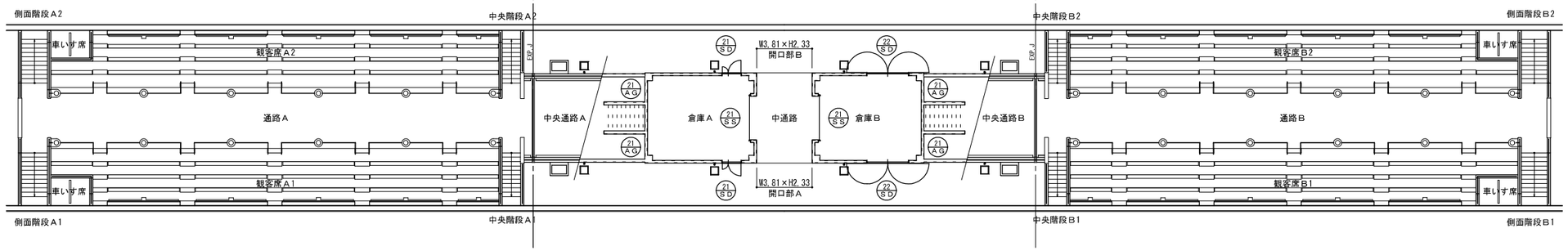


工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　部分詳細図（４）
縮　尺	1：20(A3=1:40)　　図面番号：A－221
DATE	．　．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

建　具　表　　S=1:50

記　号	21 SD　倉庫Ａ	22 SD　倉庫Ｂ	21 SS　倉庫Ａ・Ｂ	21 AG　倉庫Ａ・Ｂ	
姿　図	 ※開き勝手は建具伏図による				
種　類	親子開キ戸	両開キ戸	軽量シャッター（手動式）	固定ガラリ	
口　数	２	２	２	４	
見　込	枠：１００　　扉：４０	枠：１００　　扉：４０		７０	
材　種	スチール　ＤＰ	スチール　ＤＰ	スチール（カラー鋼板　スラットｔ0.5）	アルミ　カラー	
金　物	レバーハンドル・シリンダー錠（サムターン付）・丁番・ＤＣ ステンレス下枠・スチール三方枠・他付属金物一式	レバーハンドル・シリンダー錠（サムターン付）・丁番・ＤＣ ステンレス下枠・スチール三方枠・他付属金物一式	ガイドレール・シャッターケース・SUS座板 他付属金物一式	付属金物一式	
硝　子					
備　考			水圧開錠装置付	ステンレス防虫網	



建　具　表　　S=1:50

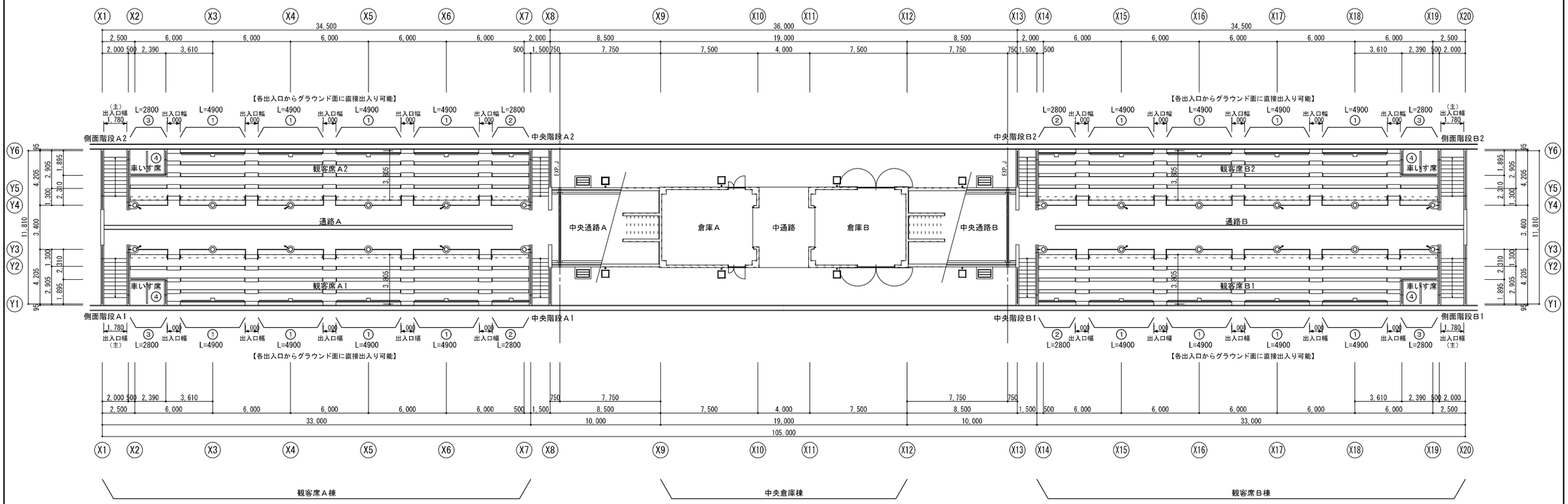
消防法無窓階の検討	
	必要面積　114.00×1/30＝3.80
	有効面積　開口Ａ　3.81×2.33＝8.87
	開口Ｂ　3.81×2.33＝8.87
	判定　　3.80　＜　17.74　　ＯＫ

〈共通事項〉

1．寸法は参考寸法とする。
2．特記なき金物はステンレス製とする。
3．ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。
4．サッシ廻りのコーキングは、原則として変成シリコーン系とする。
5．出入り口部分の下枠及び水切は、原則としてステンレスとする。
6．必要なヶ所は、戸当り付とする。
7．ＤＣは、原則としてストッパー付とする。
8．シリンダー錠は、原則としてサムターン付とする。
9．原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。
10．網戸は、合成樹脂製とする。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　建具キープラン・建具表
縮　尺	1：50（A3=1:100）　　図面番号　Ａ－222
DATE	．　．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



1階平面図

■観客席A棟　出入口の幅（県条例第２２条）　（m）

①	4.900 / 0.400 ＝ 12.250 → 13席 × 3列 × 8	＝	312.00
	4.900 / 0.400 ＝ 12.250 → 13席 × 1列 × 8	＝	104.00
②	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 3列 × 2	＝	42.00
	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
③	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
④	2席 × 2	＝	4.00
計			504.00
客席の定員（人）			504

【必要な出入口の幅】
504 × 10mm ＝ 5040.00mm → 5040.00 / 1000 ＝ 5.04m
【出入口の幅】
1.78 × 2 ＋ 1.00 × 10 ＝ 13.56
13.56m ＞5.04m・・・・OK

■客席A棟　主要な出入口の前面空地（県条例第３３条）

【客席の床面積】
31.00 × 3.805 ＝ 117.955 → 117.96 × 2 ＝ 235.92m2
【必要な空地の奥行】
235.92 × 1/10 × 0.01 ＋ 1.2m ＝ 2.24m
【必要な空地の長さ】 5.04m
空地（グラウンド）の大きさ：奥行（短辺方向） 86.25m ・・・・OK
長さ（長辺方向） 122.20m ・・・・OK

■道路の幅員・接道長さ（県条例第３２条）

【客席の床面積（観客席A棟＋B棟）】
31.00 × 3.805 ＝ 117.955 → 117.96 × 4 ＝ 471.84m2
【必要な道路の幅員】 6.00m以上
【接する道路の幅員】 25.00m、7.00m、7.00m
25.00m、7.00m、7.00m ＞ 6.00m ・・・・OK
【必要な道路の接道長さ】 5.04m×２棟 ＝ 10.08m 以上
【道路の接道の長さ】 837m
837m ＞ 10.08m ・・・・OK

■観客席B棟　出入口の幅（県条例第２２条）　（m）

①	4.900 / 0.400 ＝ 12.250 → 13席 × 3列 × 8	＝	312.00
	4.900 / 0.400 ＝ 12.250 → 13席 × 1列 × 8	＝	104.00
②	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 3列 × 2	＝	42.00
	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
③	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
④	2席 × 2	＝	4.00
計			504.00
客席の定員（人）			504

【必要な出入口の幅】
504 × 10mm ＝ 5040.00mm → 5040.00 / 1000 ＝ 5.04m
【出入口の幅】
1.78 × 2 ＋ 1.00 × 10 ＝ 13.56
13.56m ＞5.04m・・・・OK

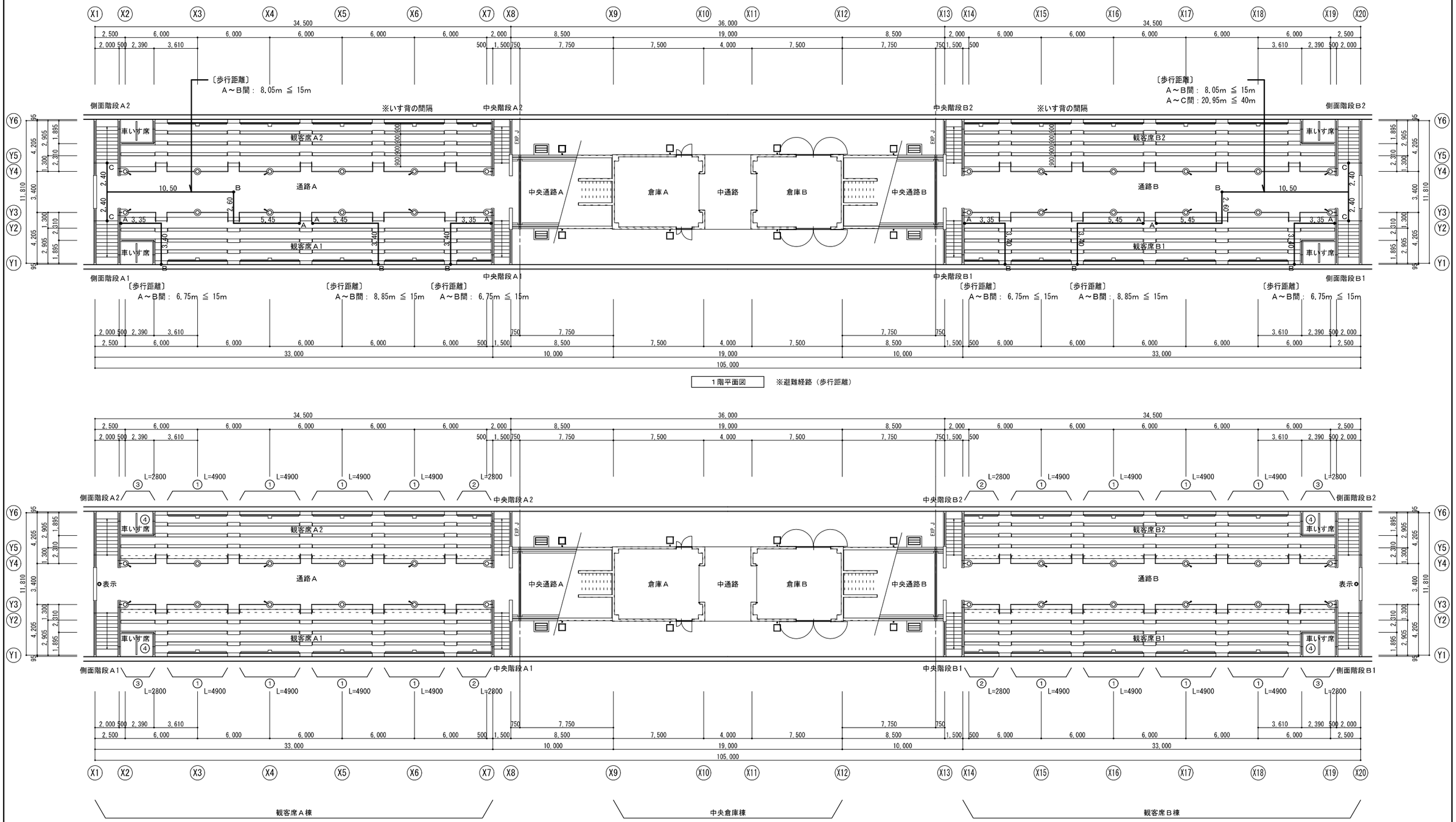
■客席B棟　主要な出入口の前面空地（県条例第３３条）

【客席の床面積】
31.00 × 3.805 ＝ 117.955 → 117.96 × 2 ＝ 235.92m2
【必要な空地の奥行】
235.92 × 1/10 × 0.01 ＋ 1.2m ＝ 2.24m
【必要な空地の長さ】 5.04m
空地（グラウンド）の大きさ：奥行（短辺方向） 86.25m ・・・・OK
長さ（長辺方向） 122.20m ・・・・OK

〔県条例関係〕

工事名称 ： 国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称 ： スタンド 法規チェック図（１）
縮 尺 ： 1：150（A3=1:300） 図面番号 ： A－223
DATE ： . .

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
１級建築士 第293052号 渡利 真二



1階平面図　※避難経路（歩行距離）

1階平面図

【凡例】
○表示：長野市火災予防条例第２３条第２項
および第３９条による表示の設置位置を示す

■観客席A棟　収容人の算定式

①	4.900 / 0.400 ＝ 12.250 → 12席 × 3列 × 8	＝	288.00
	4.900 / 0.400 ＝ 12.250 → 12席 × 1列 × 8	＝	96.00
②	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 3列 × 2	＝	42.00
	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
③	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
④	2.890 × 1.895 / 0.500 × 2	＝	21.91
計			489.91
収容人員（人）			490

■観客席B棟　収容人の算定式

①	4.900 / 0.400 ＝ 12.250 → 12席 × 3列 × 8	＝	288.00
	4.900 / 0.400 ＝ 12.250 → 12席 × 1列 × 8	＝	96.00
②	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 3列 × 2	＝	42.00
	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
③	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
	2.800 / 0.400 ＝ 7.000 → 7席 × 1列 × 2	＝	14.00
④	2.890 × 1.895 / 0.500 × 2	＝	21.91
計			489.91
収容人員（人）			490

〔消防関係〕

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　法規チェック図（２）
縮　尺	1：150（A3=1:300）
図面番号	A－224
DATE	． ．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第7525１号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

構造設計標準仕様

適用は ◎印を記入する。

1．建築物の構造内容

(1) 工事名称　国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
　　建築場所　長野市篠ノ井東福寺　南長野運動公園

(2) 工事種別　■新築　□増築　□増改築　□改築

(3) 構造種別
□ 木造（W）　□ 補強コンクリートブロック造（CB）　■ 鉄骨造（S）
■ 鉄筋コンクリート造（RC）　□ 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）　□

(4) 階　数
地下　0 階　　地上　1 階　　塔屋　0 階

(5) 主要用途　スタンド

(6) 屋上付属物
□ 庇屋根　□ アンテナ　□ 気象観測装置　□
□ 太陽光パネル　□ ハト小屋　□　□

(7) 増築計画　□ 有（　　）　■ 無

(8) 付帯工事
□ 門扉　□ 擁壁　□　□　□

(9) 特別な荷重
□ エレベーター　人乗（ロープ式　油圧式）　□ リフト　kN　□ ホイスト　kN
□ 倉庫積載床用　N/m²　□ 受水槽　kN

(10) 構造計算ルート　X方向ルート　1 －（ 1 ）　Y方向ルート　1 －（ 1 ）

2．使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種　類	設計基準強度Fc=N/mm²	品質基準強度Fc=N/mm²	スランプcm	備　考
捨コンクリート、ラップル	■ 普通	□ 13.5 □ 16 ■ 18	□ 13.5 □ 16 ■ 18	15	
土間コンクリート	■ 普通	□ 18 □ 21 ■ 24	□ 18 □ 21 ■ 24	18	
基礎、基礎梁	■ 普通	□ 21 ■ 24 □ 27	□ 21 ■ 24 □ 27	18	
柱、梁、床、壁	■ 普通、□ 軽量	□ 21 ■ 24 □ 27	□ 21 ■ 24 □ 27	18	
柱、梁、床、壁	□ 普通、□ 軽量	□ 21 □ 24 □ 27	□ 21 □ 24 □ 27		
デッキコンクリート	□ 普通、□ 軽量	□ 18 □ 21 □ 24	□ 18 □ 21 □ 24		
押えコンクリート	□ 普通、□ 軽量	□ 13.5 □ 16 □ 18	□ 13.5 □ 16 □ 18		

(2) コンクリートブロック（CB）
□ A種　□ B種　□ C種　厚 □ 100、　□ 120、　□ 150、　□ 190、

(3) 鉄　筋

	種　類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	■ SD295A	D16以下	全て	■ 重ね継手 D16以下
	□ SD295B			
	■ SD345	D19～D25	全て	■ ガス圧接継手 D19以上
	□ SD390	D29～D32	全て	
高強度せん断補強筋	□ ウルボン			□ 重ね継手
溶接金網	□ 150x150			□ 特殊継手（　　）

(4) 鉄　骨

	種　類	使用箇所	現場溶接	設計溶接強度	備　考
鋼　材	■ SS400 ■ SN400B □ SM400B	小梁、大梁	□ 有 ■ 無	□ 0.9F □ 1.0F	
	■ SN490C □ SN490B	ダイアフ	□ 有 ■ 無	□ 0.9F □ 1.0F	
	□ BCR295		□ 有 □ 無	□ 0.9F □ 1.0F	
	■ STKN490B □ BCP325	柱	□ 有 ■ 無	□ 0.9F □ 1.0F	
	□ STKR400 □ STKR490		□ 有 □ 無	□ 0.9F □ 1.0F	
	■ SNR400 □ SM490B	水平ブ	□ 有 ■ 無	□ 0.9F □ 1.0F	
	■ SSC400	屋上材	□ 有 ■ 無	□ 0.9F □ 1.0F	

(5) ボルト
◎ 高力ボルト　□ F10T　◎ F8T　□ S10T　認定品（　□ M12、　◎ M16、　◎ M20、　□ M22）
□ 中ボルト　φ= M12　φ=　高力ボルトすべり係数試験　□ 要　◎ 否
◎ ＡＢ　ハイベースneo用　□
□　□
□ 頭付スタッド　□ φ=　L=　mm
□ φ=　L=　mm

(6) 屋根、床、壁　使用箇所
◎ 折　板　型式　H=　厚
□ デッキプレート　型式　厚
□ キーストンプレート　型式　厚
□ 特殊デッキプレート

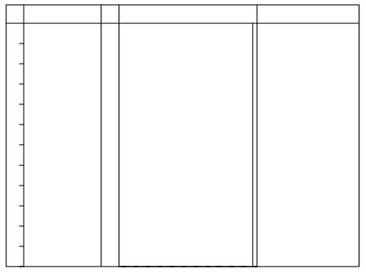
3．地　盤

(1) 地盤調査資料
■ 有（ ■ 敷地内　□ 近傍 ）　■ ボーリング調査　□ 平板載荷試験　□ 水平地盤反力係数の測定
□ 無（ 調査予定　□ 有　□ 無 ）　□

(2) 地盤調査計画
□ ボーリング調査　□ 静的貫入試験　□ 標準貫入試験　□ 水平地盤反力係数の測定
□ 土質試験　□ 物理探査　□ 平板載荷試験　□

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長・杭種・直接基礎の深さ・形状を変更する場合もある
■ 地盤図は、別図による。

(4) ボーリング標準貫入値、土質



4．地業工事

(1) 直接基礎
□ ベタ 基礎　□ 布基礎　◎ 独立基礎（基礎下地盤改良 ※ラップル系機械攪拌式プロック状地盤改良工法）　試験掘　□ 有　□ 無
深さGL－ 3.80 m、支持層－砂層・シルト質砂礫層　長期許容支持力度 200 kN／m²　載荷試験　□ 有　□ 無（ ヶ所）
※ 最終的な支持地盤位置の決定は工事監理者との協議による。

(2) 杭基礎　支持層－

杭　種	材　料	施　工　法	備　考
□ RC　□ PC	PC（ □ A種　□ B種　□ C種）	□ 打込み	
□ 105-CPRC	CPRC（ □ I 種　□ II 種　□ III種）	□ 埋込み（セメントミルク工法）	
□ 鋼管　□ 摩擦杭	鋼 材 □ SS400　□ STK490	□	
□	□	□	
□ 場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc= 24 N/m² セメント量 300 kg/m³ 鉄 筋　主 筋　SD 345 HOOP　SD 295A	□ オールケーシング　□ 拡底杭 □ リバースサーキュレーション □ アースドリル　□ ミニアース □ BH　□ 深礎　□ 手掘 □ 機械掘	拡底杭 日本建築センター 認定 第　号 年　月　日

杭仕様　□ 施工計画書承認　□ 杭施工結果報告書
試験杭　（ □ 有・ □ 無 ）　（ □ 打ち込み・ □ 載荷 ）　本

杭径（mm）	設計支持力（kN）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

◎ コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5による。
◎ セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◎ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◎ 寒中、暑中、その他特殊なコンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
◎ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
◎ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（JASS5T-603）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
◎ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間の制限は、外気温が25℃以下の場合は90分、25℃を超える場合は60分を限度とする。

(2) 鉄　筋

◎ 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。
◎ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」による。
◎ D19未満は、すべて重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、（社）日本継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
◎ ガス圧接部の抜取試験は次による。
・外観試験　：◎ 有　□ 無　試験箇所数は、すべての圧接部とする。
・引張試験　：□ 有　◎ 無　試験片の採取数は、1ロットに対して3本とする。
・超音波探傷試験：◎ 有　□ 無　試験箇所数は、1ロットに対して30箇所とし、無作為に抜き取りとする。
◎ 柱の帯筋（HOOP）の加工方法は、　◎ H形（タガ形）　□ W-I形（溶接形）　□ SP形（スパイラル形）　とする。
◎ コンクリート及び鉄筋の試験は、工事監理者が指定する公的試験機関による

(3) 型　枠

◎ 材料　合板厚　12　㎜を標準とする。
◎ 打放し面のフカシ　□ +10mm　□ +15mm　◎ +20mm　□ +25mm
◎ 型枠存置期間

種類	せき板	支柱				
存置期間の平均気温	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下			梁　下	
セメントの種類		早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	高炉セメントB種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 混合セメントの A種	高炉セメントB種	左記のすべてのセメント
コンクリートの圧縮強度による場合	15℃以上	2	3	5	8	17	28	28
	5℃以上	3	5	7	12	25		
	0℃以上	5	8	10	15	28		
	圧縮強度が5N/mm²以上となるまで。				圧縮強度が設計基準強度（Fc）の85%以上又は10N/mm²以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。			圧縮強度が設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。

注）1　型枠の取外しは、型枠の最小存置期間を経た後に行う。。
注）2　型枠の最小存置期間は、上表により、コンクリートの材齢又はコンクリートの圧縮強度により定める。寒冷のため強度の発現が遅れると思われる場合は、圧縮強度により定める。
なお、圧縮強度により定める場合は、コンクリートの試験結果及び安全を確認する為の資料により、監督職員の承諾を受ける。
注）3　片持ち梁、ひさし、長大スパンの梁、大型スラブ等の型枠を支持する支柱、又は施工荷重が著しく大きい場合の支柱等は、必要に応じて、存知期間を延長する。
注）4　スラブ下及び梁下のせき板は、原則として、支柱を取り外したのちに取り外す。
なお、支柱の盛替えは行わない。

6．鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
◎ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
◎ 製作工場　◎ 製作要領書　◎ 工作図　◎ 施工計画書
◎ 国土交通省告示第1103号による認定工場　（ 大臣認定　H ⑪ R　グレード ）
◎ 材料規格証明書または試験成績書
◎ 鋼材　◎ 高力ボルト　◎ 特殊ボルト　□ スタッドボルト

(3) 工事監理者が行う検査項目
（◎ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
◎ 現寸検査　□ 組立・開先検査　◎ 製品検査
◎ 建方検査　□ 高力ボルト受入検査　□

(4) 接合部の溶接は下記によること
◎ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説　Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
◎ 溶接技術者の技量付加試験　□ 行う　◎ 行なわない

(5) 接合部の検査
◎ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 社内	第三者	工事監理者	備　考
◎ 突合せ溶接部	超音波探傷試験	100 % 箇所	30 % 箇所	% 箇所	
□	外観（目視）検査	100 %	30 %	%	
□	マクロ試験・その他	箇所	箇所	箇所	
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注）現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

□ 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを摩擦面全面の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
□ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けはマーキングによる2度締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。

(6) 防錆塗装
□ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K 5674、2回塗りを標準とする。
□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し 2回塗りとする。
□ MSDSシート（科学物質安全等データーシート）を提出すること。
◎ 溶融亜鉛メッキ処理とする。

(7) 耐火被覆の材料
□

7．設備関係

令第129 条の２の３の事項 ※ 設計が該当する場合には、□にチェックを記入する。

・ 建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
● 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び築結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
● 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
● 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90 cm以下とすること。
● 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5 cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25 cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
● 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
　● 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
　● 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
　● 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
　● 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
　● 法第20 条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389 号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

8．その他

◎ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◎ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
◎ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
◎ 図面及び特記仕様に記載されていない事項（疑問が生じた場合を含む）は、全て国土交通省大臣官房庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（最新版）」による。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　構造設計標準仕様
縮　尺	NON
図面番号	S－201
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二
1級建築士　第163891号
構造設計1級建築士　第　1981号　関田　政道

スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法　特記仕様書（参考）

１．工法概要

本工法は、セメント系固化材液を用いて現地土を流動化処理することで、ブロック状の均質な地盤改良体を築造する工法である。

本工法は、(財)日本建築総合試験所の建築技術性能証明取得工法であり、性能証明番号は、「GBRC 性能証明 第10ー23号 改3」である。

２．一般事項

本地業は、本特記仕様書によるほか、

「2018年版　建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」による。

（一般財団法人　日本建築センター）

３．特記事項

・改良体の配置、形状、寸法等は、設計図書による。

ただし、土質や地盤状況により、形状、寸法、配合等を変更した方が適切と判断される場合には、監督員の承認を得た上で変更することができる。

・設計用地耐力　：　ｆｅ　＝ 200 (kN/㎡)

・設計基準強度　：　Ｆｃ　＝ 600 (kN/㎡)

・固化材の種類　：　□　一般軟弱土用

■　特殊土用（六価クロム抑制型）

・固化材の配合　：　事前に現地土による室内配合試験を実施の上決定する。

・改良対象地盤　：　□ 砂礫　□ 砂　■ 粘土・シルト　□ ローム

・本工法の施工　：　本工法は、工法協会の認定施工会社の責任施工とし、協会の施工管理技術資格認定教育修了者で構成された作業員で施工する。

・攪拌混合装置　：　攪拌促進ブレード付攪拌混合装置（バケットミキサー）

４．施工計画

工事に先立ち、下記事項を記載した施工計画書を監督員に提出する。

(1)工事概要（改良幅・改良長・設計基準強度・等）

(2)工事組織表（設計事務所・元請会社・施工会社・等）

(3)施工手順（施工フロー・等）

(4)施工管理方法

(5)品質管理方法

(6)配合計画及び配合管理

(7)施工機械及び機材

(8)土質柱状図

(9)設計図（改良伏図・基礎リスト）

(10)安全対策

(11)建築技術性能証明書の写し

５．配合計画

施工に先立ち、試掘により支持層を確認する。同時に対象土を採取し室内配合試験にて配合量を決定する。

(1)土質分析（湿潤密度）

(2)配合設計強度の設定

・現場目標強度　　：qud（算定式：7.品質管理 に記載）

・室内配合目標強度：XI(7日)、XI(28日)

XI(28日)=qud/αfl　αfl:現場室内強度比(土質による)

材齢7日→28日強度の伸び率：土質による

(3)配合（固化材、添加量、W/C)

(4)一軸圧縮試験結果に基づいて固化材添加量を決定する。

(5)決定した配合の供試体を用いて六価クロムの溶出試験を行う。

(6)室内配合試験結果報告書を監督員に提出する。

６．施工管理

施工中に改良範囲や攪拌混合度をモニター画面で監視できる管理装置により施工管理を行う。

(1)施工管理項目

①形状・寸法

・施工位置　：　改良範囲の寸法を確認しマーキングする

・支持地盤　：　支持層の土質を目視確認

・改良範囲、掘削深度　：　検尺確認および管理装置で確認

②固化材料

・流量計と納入伝票による（計画値以上）

A type（プラントでプレミックスした固化材料を投入する方法）

B type（固化材と混練水を別々に投入する方法）

③攪拌混合回数

・管理装置による

□ 羽根切回数　500回/m3以上　（砂質土地盤）

■ 羽根切回数　750回/m3以上　（粘性土を含む地盤）

④電気比抵抗値

・管理装置による

■ 20Ω・m以下　（粘性土主体地盤）

□ 30Ω・m以下　（砂質土主体地盤）

⑤供試体採取

・採取頻度は、100ﾊﾟｽ(1ﾊﾟｽ：1施工ﾌﾞﾛｯｸ)あたり9箇所以上とする。

100ﾊﾟｽを超えるものは、100パス毎に3箇所(抜き取り個数n=9)追加する。

・改良厚 0.7m～1.7m 改良体頭部から直接採取

・改良厚 1.7m～3.0m 未固化試料採取器で上中下の３深度で採取

・改良厚 3.0m～6.0m 未固化試料採取器で1m毎の深度で採取

⑤供試体採取

・材令7日（σ7）の一軸圧縮強度試験は、早期確認を目的として行う。

・材令28日（σ28）の一軸圧縮強度試験は、第三者機関で行う。

⑥改良天端レベルの確認

(2)施工時の立会い

元請会社の本工事担当者は、施工中立合うものとする。

７．品質管理

要求性能を満足しているかを確認するために、下記の通り判定を行う。

品質管理基準は、「2018年版　建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」の深層混合処理工法の基準に準ずる。

合格判定　$\overline{XN} \geqq XL$

XN　：　Ｎ箇所の一軸圧縮強度の平均値

XL　：　合格判定値

$XL = Fc + k \times \sigma$

Fc　：　設計基準強度

k　：　合格判定係数

σ　：　標準偏差(qud×v)

qud　：　現場目標強度

qud=Fc/(1ー m×v)/(B/M)比

m　：　Fc,qud,vを関連付ける係数　1.30

v　：　変動係数　0.30

(B/M)比：　ボーリングコア・モールドコア強度比　0.90

合格判定係数k

抜取り箇所数 N	1	2	3	4～6	7～8	9～
抜取り個数　n	3	6	9	12～18	21～24	27～
合格判定係数 k	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

８．施工報告

工事完了後、下記事項についてまとめた施工報告書を監督員に提出する。

(1)改良施工伏図（施工パスNo）

(2)施工記録（施工日・改良範囲・改良厚・等施工管理項目）

(3)施工管理記録

・出来形（改良軌跡モニター）

・攪拌混合状態（電気比抵抗モニター）

(4)一軸圧縮強度試験結果

(5)合格判定結果

(6)固化材入荷伝票

(7)工事写真

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　地盤改良工法仕様書
縮　尺	NON
図面番号	Ｓ－202
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ

長野県長野市稲里町中央3-32-23　TEL 026-285-7670

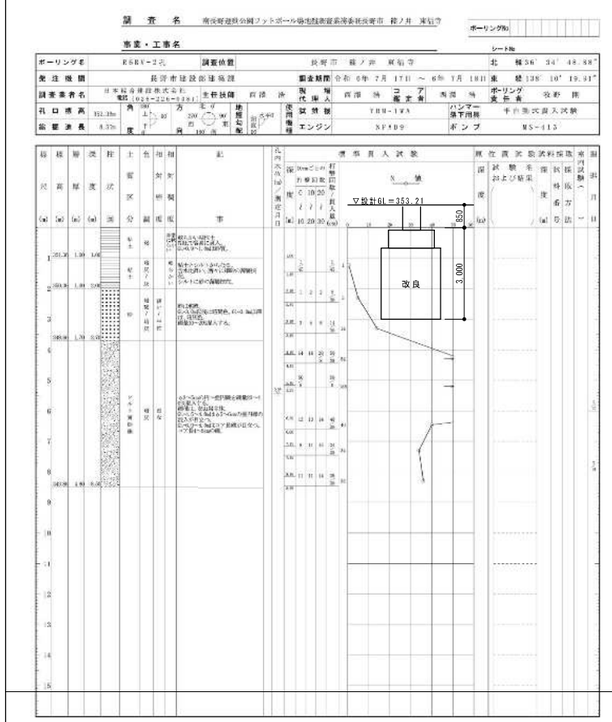
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号

１級建築士　第293052号　渡利　真二

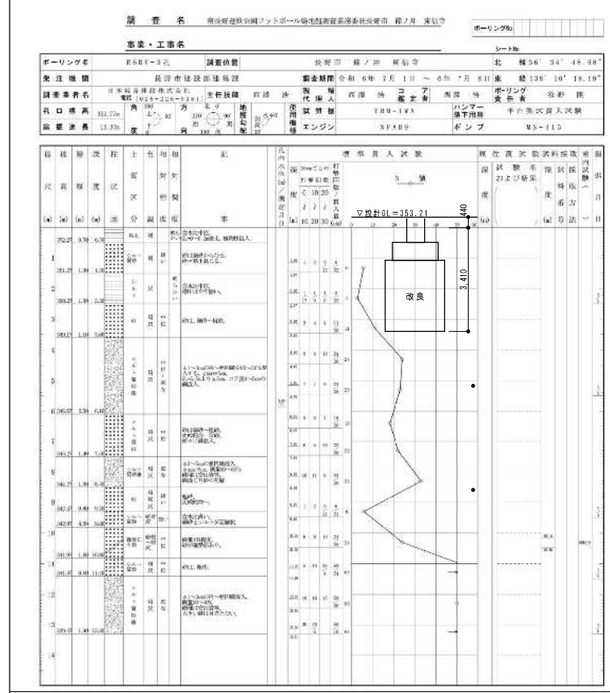
１級建築士　第163891号

構造設計１級建築士　第　1981号　関田　政道

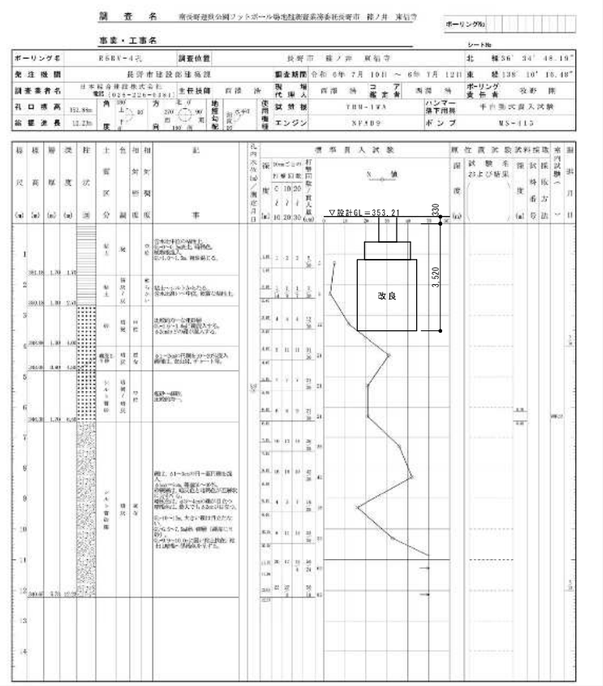
ボーリング柱状図

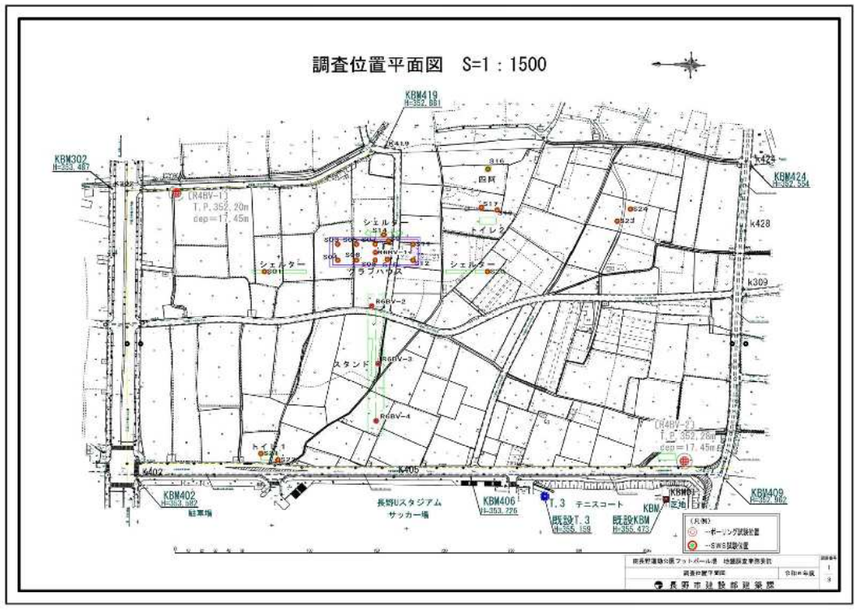


ボーリング柱状図



ボーリング柱状図





工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　柱状図
縮　尺	NON
図面番号	S－203
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二
1級建築士　第163891号
構造設計1級建築士　第　1981号　関田　政道

ハイベースNEO工法設計施工標準　（ハイベースNEO工法は、S造及びＣＦＴ造に適用）

2025/3

大臣認定　MSTL−0566, 0404, 0180（Gタイプ用ベースプレート）
　　MBLT−0042～0044, 0046, 0231（アンカー用ボルトセット）
BCJ評定　BCJ評定−ST0058（Gタイプ）
　　BCJ評定−ST0059（エコタイプ、高強度柱適用タイプ）

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 ＪＡＳＳ ６ 鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説 ＪＡＳＳ ５ 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

設　計

１．材質

（１）ベースプレート・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

エコタイプ（ＥＢ型式、ＥＭ型式　ＥＨ型式），高強度柱適用タイプ（KB型式）

	ベースプレート		アンカーボルト※2	エコナット※2	ナット※2	座　金※2	定着板
	エコタイプ	高強度柱適用タイプ					
規　格	JIS G3136 又は TMCP鋼※4	TMCP鋼※4	HAB（大臣認定取得材）	大臣認定取得材	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
備　考	板厚40mm以下の場合 SN490B 板厚40mm超の場合 TMCP325B, C	TMCP385B, C	降伏比 ７０%以下	−	強度区分5	SM490A	SS400

エコタイプ、高強度柱適用タイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。

Gタイプ（ＧＢ型式、ＧＭ型式、ＧＨ型式）

	ベースプレート※1	アンカーボルト※2	ナット※2	座　金※2	定着板
規　格	HCW490B,b HCW490st（大臣認定取得材）	HAB（大臣認定取得材）	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	メートル並目※3	メートル並目※3	—	—
備　考	SN490B同等	降伏比 ７０%以下	強度区分5（二重ナット時） 強度区分6（一重ナット時）	SM490A	SS400

※１　国土交通大臣認定（ＭＳＴＬ−0566, 0404, 0180）　※２　国土交通大臣認定（ＭＢＬＴ−0042～0044, 0046, 0231）
※３　Ｍ７２は細目ねじ　※４　建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

（２）ベースプレート下面のモルタル

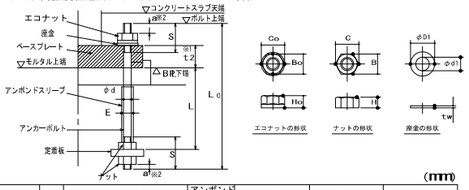
後詰めモルタル	ハイベース工法無収縮モルタルＮＸ−２０００、又はクイック３およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※　※ センクシアが供給するものに限る
中心塗部分モルタル	○無収縮モルタルパッド用又は普通モルタル（NX−２０００及びクイック３は使用不可。） ○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

（３）基礎・基礎ばり

コンクリート	○日本建築学会「ＪＡＳＳ ５ 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート ○設計基準強度は、Ｆｃ＝１８～３６Ｎ／ｍｍ²
鉄　筋	ＪＩＳ Ｇ ３１１２「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼
柱　形	へりあき量は、ベースプレート外形寸法の０．１倍以上確保しなければならない。

２．アンカーボルトのセット寸法

エコタイプ、高強度柱適用タイプ用アンカーボルト部品



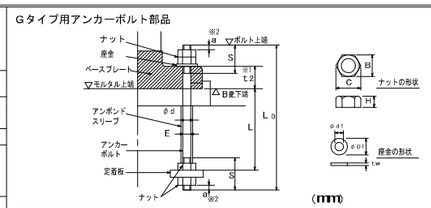
(mm)

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径	ねじ ピッチ	ねじ 長さ	余長※2 a	定着長さ L	全長 LO	アンボンドスリーブ 外径 E	エコナット 高さ HO	エコナット 二面幅 BO	エコナット 対角距離 CO	ナット 高さ H	ナット 二面幅 B	ナット 対角距離 C	座金 厚さ tw	座金 内径 φd1	座金 外径 φD1
	φd	P	S	a	L	LO	E	HO	BO	CO	H	B	C	tw	φd1	φD1
エコタイプ※3 M24	24	3	105 155	10	480 645	550 645	29	22	46	53	19	36	42	6	25	56
エコタイプ※3 M30	30	3.5	110 130	13	480 600	580 800	35	27	50	58	24	46	53	6	31	60
エコタイプ※3 M36	36	4	130	16	480 720	690 925	41	29	55	64	29	55	64	6	37	66
エコタイプ※3 M42	42	4.5	155	18	840	1080	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78
高強度柱適用タイプ M42	42	4.5	165	18	840	1110	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78

※１　t₂ はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースＮＥＯ型式によって変わります。
※２　ａ寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
　　施工時は、ねじ山が最低３山ナットの外に出るように余長を確保してください。
※３　表中のエコタイプ上段はEB、EM型式のアンカーボルト4本タイプ、
　　エコタイプ下段はEB、EM型式のアンカーボルト8本、12本タイプ及びEHタイプの場合の寸法です。

⚠注意
・エコタイプ、高強度柱適用タイプのアンカーボルトはシングルナットとしておりますので、ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。
・コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。その場合、せん断耐力が変わる可能性がありますのでセンクシアにご相談ください。
・アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは所定の性能が発揮できません。

Gタイプ用アンカーボルト部品



(mm)

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径	ねじ ピッチ	ねじ 長さ	余長 a	定着長さ L	全長 LO	アンボンドスリーブ 外径 E	ナット 高さ H	ナット 二面幅 B	ナット 対角距離 C	座金 厚さ tw	座金 内径 φd1	座金 外径 φD1
	φd	P	S	a	L	LO	E	H	B	C	tw	φd1	φD1
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36	42	6	25	44
M30	30	3.5	130	13	600	800	35	24	46	53	6	31	56
M36	36	4	130 155	16	720	925 955	41	29	55	64	6	37	66
M42	42	4.5	155 165	18	840	1080 1110	48	34	65	75	9	43	78
M48	48	5	170	22	960	1235 1270	54	38	75	87	9	50	92
M56	56	5.5	185 210	24	1120	1420 1470	62	45	85	98	9	58	105
M64	64	6	200 250	28	1280	1610 1660	70	51	95	110	12	66	115
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125

※１　t₂ はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースＮＥＯ型式によって変わります。

※２
ａ寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
施工時は、ねじ山が最低３山ナットの外に出るように余長を確保してください。

※３
上段はGB型式及びGM型式の場合、下段はGH型式の場合の寸法です。

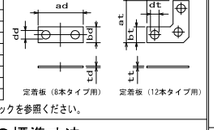
⚠注意
・Gタイプのアンカーボルトは二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。
・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等の ゆるみ止め処置が必要です。（一重ナットとする場合は、センクシアにご相談ください。）

ベースプレートのアンカーボルト孔径　(mm)

ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ 高強度柱適用タイプ	38	44	50	57	−	−	−	−
Gタイプ孔径	〃	38	45	53	61	70	79	87

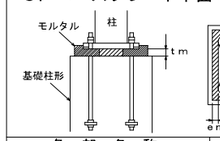
定着板（エコタイプ、高強度柱適用タイプ、Gタイプ共通）　(mm)

ねじの呼び	4本タイプ用 厚さ ta	外径 Da	内径 da	8本タイプ用 厚さ td	長さ ad	幅 bd	内径 dd	12本タイプ用 厚さ tt	長さ at	幅 bt	内径 dt
M24	16	70	27	−	−	−	−	−	−	−	−
M30	16	90	33	9	180	65	33	−	−	−	−
M36	19	100	39	9	215	75	39	−	−	−	−
M42	22	120	45	9	240	85	45	9	225	85	45
M48	25	140	52	9	270	95	52	9	260	95	52
M56	28	160	60	9	305	110	60	9	295	110	60
M64	32	180	68	12	330	130	68	12	340	130	68
M72	−	−	−	16	380	145	76	16	375	145	76



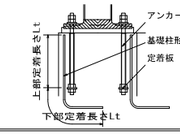
ベースプレートの形状・寸法は、ハイベースＮＥＯ工法設計ハンドブックを参照ください。

３．ベースプレート下面モルタルの標準寸法



各部名称	寸法	備考
中心塗り部分モルタルの厚さ（ｔｍ）	標準寸法 ｔｍ=50mm	許容範囲 ３０≦ｔｍ≦７０mm
ベースプレート周辺のモルタル幅（ｅｍ）	ｅｍ≧３０mm	許容範囲 ｅｍ≧２５mm

４．基礎柱形主筋の定着長さ（最小値）



基礎柱形主筋の定着長さ（Lt）は、定着板上面を境にして上下とも確保する必要があります。

工場加工

１．溶接材料

被覆アーク溶接	JIS Z 3211（旧JIS Z 3212）に従い選定する（低水素系）
ガスシールドアーク溶接	JIS Z 3312 又は JIS Z 3313に従い選定する

※ベースプレートと柱のF値が異なる場合は、JASS6や各材質毎に定められた指針に従い溶接材料を選定する。

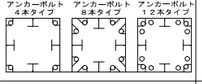
２．ベースプレートの鉄骨柱への取付け（柱端部に開先を設ける）

※　柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接
　　開先はＭＣ−ＴＬ−１Ｂ、ＧＣ−ＴＬ−１Ｂによる　　※開先形状は参考

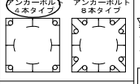
エコタイプ・高強度柱適用タイプ

ベースプレート形状

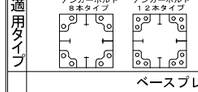
角形鋼管柱用（EB型式）



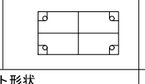
円形鋼管柱用（EM型式）



高強度角形鋼管柱用（KB型式）



H形柱用（EH型式）



開先形状

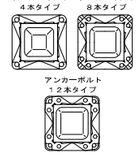


⚠注意
柱はベースプレートのフラット面に取り付けてください。
アンカーボルト孔周辺に凹加工している面はベースプレート裏面であり、無収縮モルタルと接する面となります。

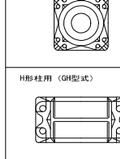
Gタイプ

ベースプレート形状

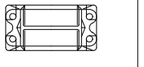
角形鋼管柱用（GB型式）



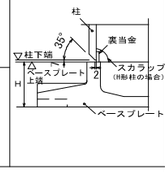
円形鋼管柱用（GM型式）



H形柱用（GH型式）



開先形状



３．組立溶接

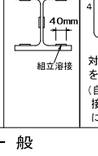
角形鋼管



円形鋼管

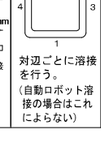


H形



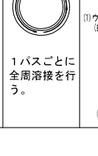
４．本溶接の手順

角形鋼管



対辺ごとに溶接を行う。
（自動ロボット溶接の場合はこれによらない）

円形鋼管



１パスごとに全周溶接を行う。

H形

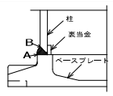


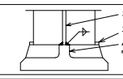
(1) ウェブの面直すみ肉溶接（余盛り良目の場合は、完全突込み溶接とする）

(2) 開先部の溶接

５．溶接施工一般

予　熱	鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。
余　盛	溶接余盛はベースプレート側A点から柱側B点へ向かってなめらかになるように施工する。 余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手またはＴ継手余盛り高さに準拠する（Gタイプ）。
H形柱の溶接	エンドタブの取付とＨ形柱ウェブのすみ肉溶接





⚠注意　柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱変形によって曲がることがあります。

６．検　査

方　法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。 探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正	（１）　有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。 （２）　溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から５０mm以上、はつり取り再溶接する。

現　場　施　工

(#)：センクシアの担当範囲

１．捨てコンクリート打設

柱脚部の捨てコンクリートの厚さは９０mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

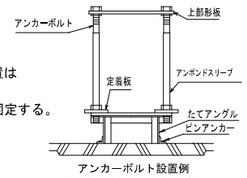
２．墨出し

３．アンカーボルト搬入（#）

４．アンカーボルト据付（#）

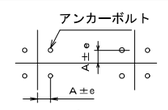
アンカーボルト設置

アンカーボルトの設置は自立できる形式とし、捨てコンクリートに固定する。



アンカーボルト設置例
（架台の形状は異なる場合あり）

アンカーボルト設置精度の目標値

平面	レベル
	基準高さよりの誤差eh −３mm≦eh≦10mm

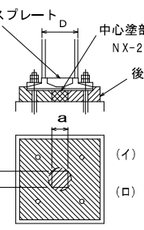
e≦３mm
（形板芯にて検査）

５．鉄筋配筋・型枠の立込み

６．基礎コンクリート打設

基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。

７．中心塗り部分モルタル施工



中心塗部分モルタル
ＮＸ−２０００、クイック３は使用不可。

後詰めモルタル
ハイベース工法無収縮モルタルＮＸ−２０００、又はクイック３およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※
注入方法はヘッド圧工法による。
※ センクシアが供給するものに限る
（イ）□ ２５０以下、φ２６７．４以下、Ｈ２５０以下の場合
　　１００mm ≦ ａ ≦２００mm　かつ柱寸法 Ｄ以下
（ロ）□ ３００以上□７００以下、φ３００以上φ７１１．２以下、および Ｈ２５０以上の場合
　　１５０mm ≦ ａ ≦３００mm　かつ柱寸法 Ｄ以下
（ハ）□ ７５０～□１２００、φ７５０～φ１０１６の場合
　　３００mm ≦ ａ ≦５００mm

中心塗部分モルタル及び後詰めモルタルの養生
基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

EB, GB, EM, GM, EH, KB型式	GH型式
８．鉄骨建方 アンカーボルト締付 アンカーボルトは隙間がないよう確実に締め付けを行う。	８．鉄骨建方
	９．モルタル注入枠設置（#） 後詰めモルタル充填（#）
９～１０．モルタル注入枠設置（#） 後詰めモルタル充填（#） アンカーボルト締付確認（#） ベースプレートと座金とナットが密着していることを確認。	１０．アンカーボルト締付（#） 予備締め マーキング ナット回転法による本締め （30°回転、許容差 $^{+10°}_{0}$）

１１．モルタル注入枠取り外し

施工完了後、ハイベースＮＥＯ工法のチェックシートに工事記録を記載する。

⚠注意
１．アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、これらの施工は、センクシアが定めた認定業者が行うこと。（日本建築センターの評定で義務付けられています。）
２．アンカーボルト及びナットは加熱、溶接、加工は絶対に行わないでください。
３．設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちきずやコンクリートが付着しないようにねじ部の保護養生をしてください。
４．建て入れ直し用のワイヤをアンカーボルトにとらないでください。
５．本資料以外の施工方法で行った場合、ハイベースNEOの性能が発揮できなくなります。

センクシア株式会社
URL　https://www.senqcia.co.jp/

本社　ＴＥＬ　０３−４２１４−１９３２
札幌　ＴＥＬ　０１１−７０８−１１７７
東北　ＴＥＬ　０２２−２１３−５５９５
関東　ＴＥＬ　０２７−３２２−９４１１
中部　ＴＥＬ　０５２−５８２−３３５６
北陸　ＴＥＬ　０７６−２３３−５２６０
関西　ＴＥＬ　０６−６３９５−２１３３
中四国　ＴＥＬ　０８２−２４０−１６３０
九州　ＴＥＬ　０９２−４５２−０３４１

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　ハイベース標準（１）
縮尺	NON
図面番号	Ｓ−２０４
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3−33−23　TEL 026−285−7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ−第7525１号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第163891号
構造設計１級建築士　第　1981号　関田　政道

ハイベースNEO工法　各種寸法及び基礎柱形設計例（Fc24の場合）（ハイベースNEO工法Gタイプは、S造及びCFT造に適用）
〈円形鋼管柱用 φ190.7～φ1016〉　（ハイベースNEO工法エコタイプは、S造及びCFT造に適用）

2025/3

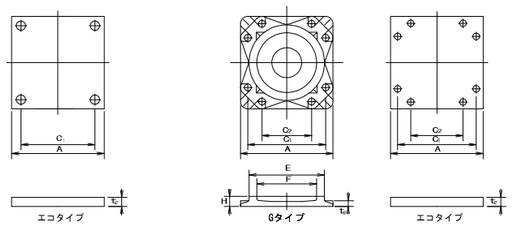
大臣認定　MSTL-0566, 0404, 0180（Gタイプ用ベースプレート）
MBLT-0042～0044, 0046, 0231（アンカーボルト）

BCJ評定　BCJ評定-ST0058（Gタイプ）　BCJ評定-ST0059（エコタイプ）　本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書ＪＡＳＳ６鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説ＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

型式表示例

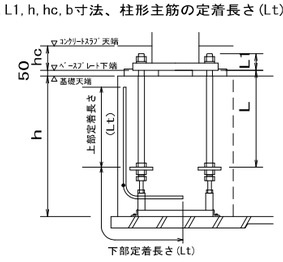
エコタイプ：EM350－8－36
Gタイプ　：GM500－8－48
- －36：アンカーボルト径
- －8：アンカーボルト本数
- 500：柱外径寸法
- GM：円形鋼管柱用

ベースプレート形状



アンカーボルト４本タイプ　アンカーボルト８本タイプ

L, L1, h, hc, b寸法、柱形主筋の定着長さ（Lt）



エコタイプはシングルナット仕様（コンクリートスラブに埋込）
Gタイプはダブルナット仕様（露出が標準）
注）表中のh寸法は杭がない場合です。
　杭がある場合は表中のh寸法に+100mm以上確保して下さい。
　Gタイプでコンクリートスラブに埋め込む場合、スラブ厚(hc寸法)は
　"L1寸法+最低40mm以上のかぶり"となる寸法を確保してください。

Lt寸法は定着板上面より下表の定着長さを上下とも確保してください。

・ハイベースNEO工法（円形鋼管柱用φ190.7～φ1016）

採用		適用柱		ハイベースNEO型式		アンカーボルト	回転バネ定数 X10⁷ kN・m/rad	寸法 (mm)							質量（kg）			L (mm)	L1 (mm)	基礎天端～仮設コンクリート天端 h (mm)	ベースプレート～仮設コンクリート天端 hc (mm)	基礎柱形の設計例(Fc24) ＜ 側・隔柱用 ＞ Ⅰゾーン			Ⅱゾーン			鉄筋の定着長さ Lt (mm)	基礎柱形の設計例(Fc24) ＜ 中柱用（4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示す。）＞ Ⅰゾーン			Ⅱゾーン			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
柱符号	数量	柱サイズ	最大板厚	エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	E	F	H	t_2	ベースプレート	部品	セット質量						柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋										
		φ190.7	8.2	EM190－4－24		4－M24	13.8	290	210	－	－	－	－	32	22	14	36	400	87	600以上	130	500	8－D16	D13@150	500	16－D16	D13@150	210	500	8－D16	D13@150	500	16－D16	D13@150	210
		φ216.3	12.7	EM216－4－24		4－M24	19.9	310	230	－	－	－	－	32	25	14	39	400	87	600以上	130	520	8－D16	D13@150	520	16－D16	D13@150	200	520	8－D16	D13@150	520	16－D16	D13@150	200
		φ267.4	16	EM250－4－24		4－M24	28.4	370	290	－	－	－	－	32	35	14	49	400	87	600以上	130	570	8－D16	D13@150	570	16－D16	D13@150	190	570	8－D16	D13@150	570	16－D16	D13@150	190
		φ300	16	EM300－4 －24		4－M24	38.3	420	340					32	45	15	60	400	87	600以上	130	620	8－D19	D13@150	620	12－D19	D13@150	190	620	8－D19	D13@150	620	12－D19	D13@150	190
P1	A種：12 B種：12	φ318.5		－30		4－M30	61.0	430	340	－	－	－	－	40	59	23	82	400	110	600以上	150	620	12－D19	D13@150	620	16－D19	D13@150	280	620	12－D19	D13@150	620	16－D19	D13@150	280
		φ350	19	EM350－4－30		4－M30	65.1	420	330	－	－	－	－	32	45	23	68	400	102	600以上	150	620	12－D19	D13@150	620	16－D19	D13@150	280	620	12－D19	D13@150	620	16－D19	D13@150	280
		φ355.6		EM350－8－30		8－M30	86.3	500	410	240	－	－	－	40	79	50	129	600	110	800以上	150	700	16－D22	D13@150	700	20－D22	D13@150	490	700	16－D22	D13@150	700	20－D22	D13@150	490
		φ400 φ406.4	22	EM400－8	－30	8－M30	119	540	450	280				40	92	51	143	600	110	800以上	150	740	16－D22	D13@150	740	20－D22	D13@150	470	740	16－D22	D13@150	740	20－D22	D13@150	470
					－36	8－M36	148	560	470	270	－	－	－	48	119	81	200	720	125	900以上	170	770	16－D25	D13@150	800	24－D25	D13@150	550	770	12－D25	D13@150	800	24－D25	D13@100	550
					－42	8－M42	194	610	500	280				60	176	127	303	840	150	1100以上	190	810	20－D25	D13@100	850	32－D25	D13@100	700	810	20－D25	D13@100	850	32－D25	D13@100	700
		φ450 φ457.2	22	EM450－8	－30	8－M30	146	580	490	320				40	106	51	157	600	110	800以上	150	780	16－D22	D13@150	780	20－D22	D13@150	450	780	12－D22	D13@150	780	20－D22	D13@150	450
					－36	8－M36	182	600	510	310	－	－	－	48	136	81	217	720	125	900以上	170	810	16－D25	D13@100	810	24－D25	D13@100	550	810	12－D25	D13@100	810	24－D25	D13@100	550
					－42	8－M42	249	650	540	320				60	199	127	326	840	150	1100以上	190	850	20－D25	D13@100	850	32－D25	D13@100	700	850	16－D25	D13@100	850	32－D25	D13@100	700
		φ500 φ508	25	EM500－8	－36	8－M36	231	640	550	350	－	－	－	48	155	82	237	720	125	900以上	170	850	16－D25	D13@100	850	24－D25	D13@100	530	850	12－D25	D13@100	850	24－D25	D13@100	530
					－42	8－M42	301	700	590	370				60	231	128	359	840	150	1100以上	190	900	20－D25	D13@100	900	32－D25	D13@100	670	900	20－D25	D13@100	900	32－D25	D13@100	670
			40		GM500－8 －48	8－M48	405	710	580	330	518	390	90	57	229	207	436	960	164	1200以上	－	950	24－D25	D16@100	950	40－D25	D16@100	730	950	20－D25	D16@100	950	40－D25	D16@100	730
					－56	8－M56	470	740	600	320			100	69	282	308	590	1120	192	1350以上	－	950	32－D25	D16@100	1100	52－D25	D16@100	940	950	28－D25	D16@100	1100	52－D25	D16@100	940
		φ550 φ558.8	25	EM550－8 －36		8－M36	269	680	590	390	－	－	－	48	175	82	257	720	125	900以上	170	900	20－D25	D13@100	900	24－D25	D13@100	520	900	16－D25	D13@100	900	24－D25	D13@100	520
					－42	8－M42	350	740	630	410				60	258	128	386	840	150	1100以上	190	950	20－D25	D13@100	950	32－D25	D13@100	660	950	20－D25	D13@100	950	32－D25	D13@100	660
			40		GM550－8 －48	8－M48	468	740	610	360	568	430	85	54	244	208	452	960	161	1200以上	－	950	28－D25	D16@100	950	40－D25	D16@100	730	950	24－D25	D16@100	950	40－D25	D16@100	730
					－56	8－M56	543	770	630	350			100	65	301	310	611	1120	188	1350以上	－	1000	32－D25	D16@100	1100	52－D25	D16@100	940	1000	28－D25	D16@100	1100	52－D25	D16@100	940
		φ600 φ609.6	40		GM600－8 －36	8－M36	421	700	610	410	620	480	70	36	192	85	277	720	116	900以上	－	950	20－D25	D16@100	950	24－D25	D16@100	450	950	16－D25	D16@100	950	24－D25	D16@100	450
					－48	8－M48	563	780	650	400			85	52	273	210	483	960	159	1200以上	－	1000	28－D25	D16@100	1000	40－D25	D16@100	720	1000	24－D25	D16@100	1000	40－D25	D16@100	720
					－64	8－M64	747	850	690	390			110	75	408	449	857	1280	217	1600以上	－	1100	32－D29	D16@100	1150	48－D29	D16@80	1120	1100	28－D29	D16@100	1150	48－D29	D16@80	1120
		φ650 φ660.4	40		GM650－8 －48	8－M48	661	820	690	440	670	530	90	52	316	211	527	960	159	1200以上	－	1050	28－D25	D16@100	1050	40－D25	D16@100	720	1050	24－D25	D16@100	1050	40－D25	D16@100	720
					－64	8－M64	846	880	720	420			110	71	432	451	883	1280	213	1600以上	－	1100	32－D29	D16@100	1150	48－D29	D16@80	1120	1100	28－D29	D16@100	1150	48－D29	D16@80	1120
		φ700 φ711.2	40		GM700－8 －48	8－M48	750	850	720	470	720	570	80	48	330	212	542	960	155	1200以上	－	1050	32－D25	D16@100	1050	40－D25	D16@100	720	1050	28－D25	D16@100	1050	40－D25	D16@100	720
					－64	8－M64	958	920	760	460			105	70	471	453	924	1280	212	1600以上	－	1150	32－D29	D16@100	1150	48－D29	D16@80	1120	1150	28－D29	D16@100	1150	48－D29	D16@80	1120
		φ750 φ762	40		GM750－8 －48	8－M48	865	890	760	510	770	620	85	48	381	214	595	960	155	1300以上	－	1100	24－D29	D16@100	1100	28－D29	D16@100	730	1100	20－D29	D16@100	1100	28－D29	D16@100	730
					－64	8－M64	1100	960	800	500			110	69	527	455	982	1280	211	1600以上	－	1200	32－D29	D16@100	1200	48－D29	D16@80	1110	1200	28－D29	D16@100	1200	48－D29	D16@80	1110
		φ800 φ812.8	40		GM800－8 －48	8－M48	961	920	790	540	820	660	90	45	426	215	641	960	152	1300以上	－	1150	24－D29	D16@100	1150	28－D29	D16@100	720	1150	20－D29	D16@100	1150	28－D29	D16@100	720
					－64	8－M64	1240	990	830	530			100	66	550	456	1006	1280	208	1600以上	－	1200	32－D29	D16@100	1200	48－D29	D16@80	1110	1200	28－D29	D16@100	1200	48－D29	D16@80	1110
		φ850	40		GM850－8－64	8－M64	1410	1030	870	570	870	710	105	65	616	459	1075	1280	207	1600以上	－	1250	32－D29	D16@100	1300	48－D29	D16@80	1090	1250	28－D29	D16@100	1300	48－D29	D16@80	1090
		φ900 φ914.4	40		GM900－8－64	8－M64	1660	1100	940	640	920	760	105	70	734	462	1196	1280	212	1600以上	－	1350	36－D29	D16@100	1350	48－D29	D16@80	1070	1350	32－D29	D16@100	1350	48－D29	D16@80	1070
		φ950	40		GM950－8－64	8－M64	1750	1100	940	640	970	810	105	61	735	462	1197	1280	203	1600以上	－	1350	36－D29	D16@100	1350	48－D29	D16@80	1070	1350	32－D29	D16@100	1350	48－D29	D16@80	1070
		φ1000 φ1016	40		GM1000－8－64	8－M64	1970	1140	980	680	1030	870	110	59	827	465	1292	1280	201	1600以上	－	1400	36－D29	D16@100	1400	48－D29	D16@100	1120	1400	32－D29	D16@100	1400	48－D29	D16@100	1120

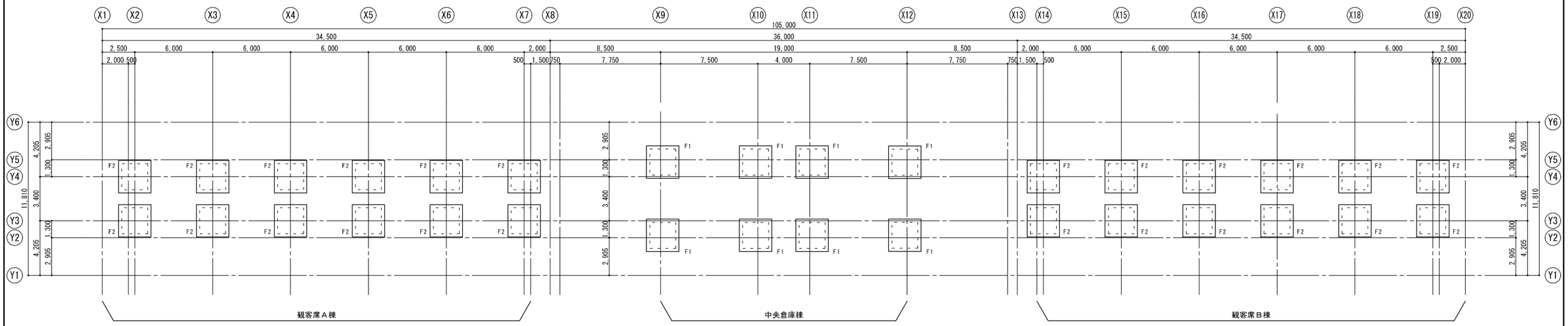
鉄筋はD13, D16はSD295, D19, D22, D25はSD345, D29はSD390をご採用ください。　表中に無いサイズについても対応可能です。センクシアに問い合わせ下さい。

注 1）Ⅰ, Ⅱゾーン分けについてはハイベースNEO工法設計ハンドブックの各型式の耐力曲図を参照下さい。
注 2）上記表内の〈中柱用〉とは、4方向から基礎梁が取り付いた状態を示します。この条件を満たさない状態については、〈側・隅柱用〉を御採用下さい。
注 3）表中の鉄筋量は基礎立上がりのない場合（基礎梁天端と基礎柱形天端が一致する場合）の設計例です。立上がりがある場合、独立基礎の場合は、
　　ハイベースNEO工法設計ハンドブックに従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行って下さい。
注 4）〈中柱用〉の鉄筋量は、基礎梁内のあばら筋をφ406.4以下はD10@250、φ450以上はD13@250として算定しています。
　　あばら筋断面積がこれよりも小さくなる場合は〈側・隅柱用〉の鉄筋量として下さい。
注 5）部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量です。

センクシア株式会社
URL　https://www.senqcia.co.jp/
本社　TEL　03-4214-1932　　関東　TEL　027-322-9411　　関西　TEL　06-6395-2133
札幌　TEL　011-708-1177　　中部　TEL　052-582-3356　　中四国TEL　082-240-1630
東北　TEL　022-213-5595　　北陸　TEL　076-233-5260　　九州　TEL　092-452-0341

工事名称：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称：スタンド　ハイベース標準図（２）
縮尺：NON　　図面番号：S－205
DATE：．．

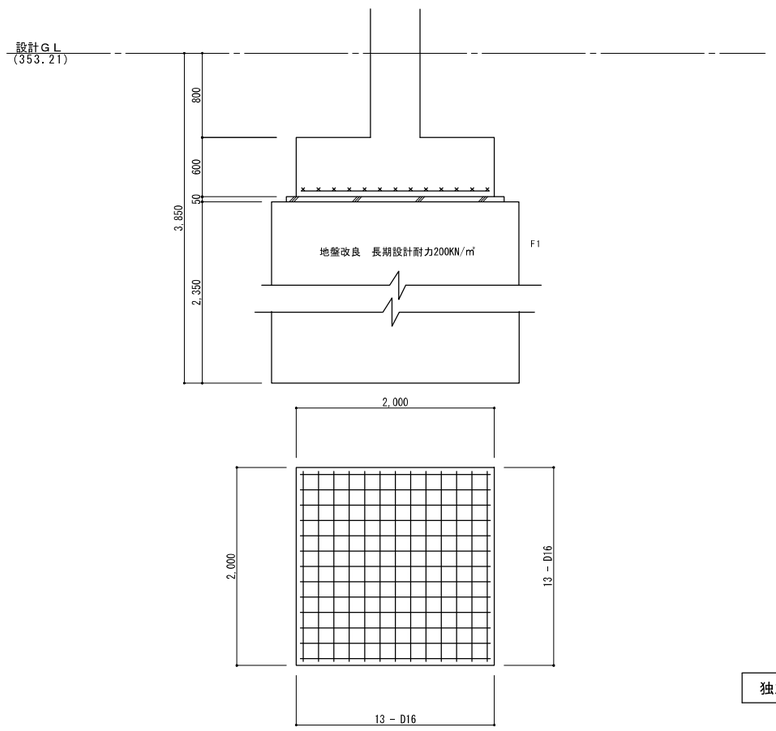
株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第163891号
構造設計１級建築士　第　1981号　関田　政道



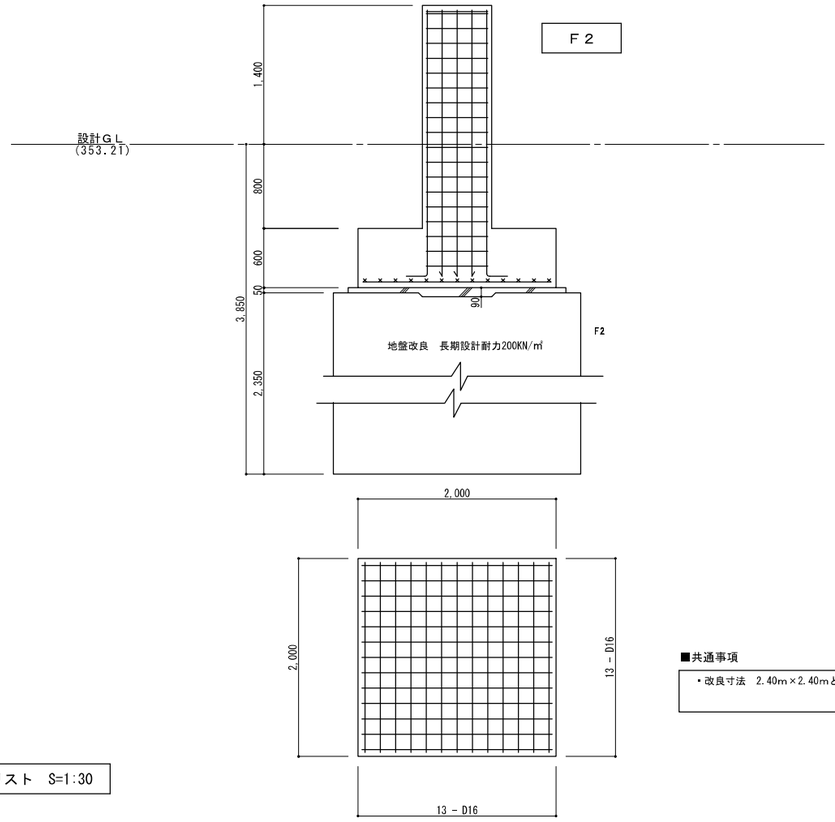
地盤改良伏図　S=1:150



Ｆ１



Ｆ２



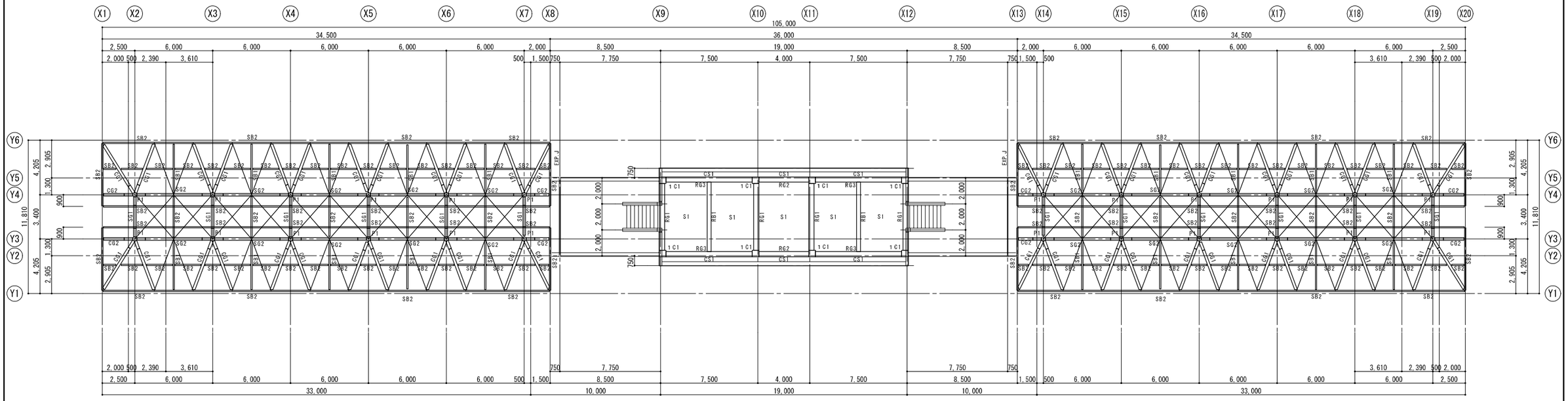
独立基礎リスト　S=1:30

■共通事項

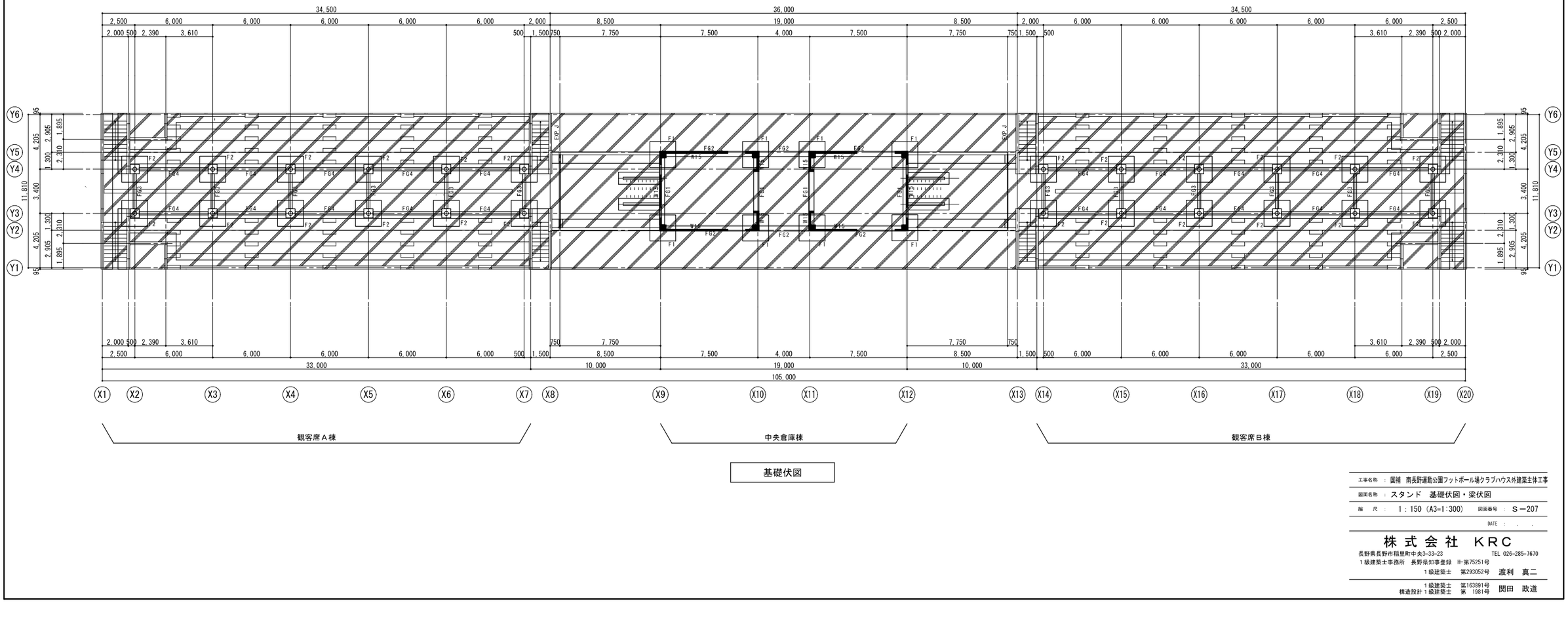
・改良寸法　2.40m×2.40mとする。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　地盤改良伏図・基礎リスト
縮尺	1：150 (A3=1:300) 1：30 (A3=1: 60)
図面番号	Ｓ－206
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第163891号
構造設計１級建築士　第　1981号　関田　政道



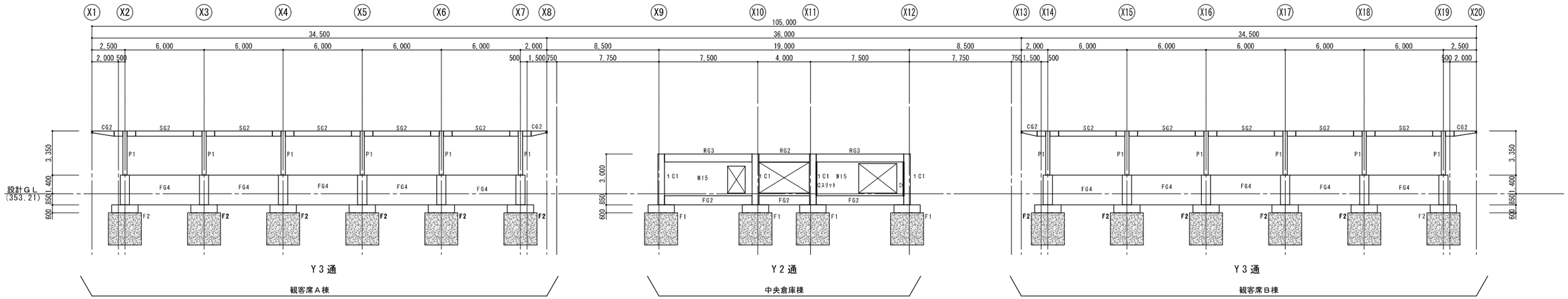
梁 伏 図

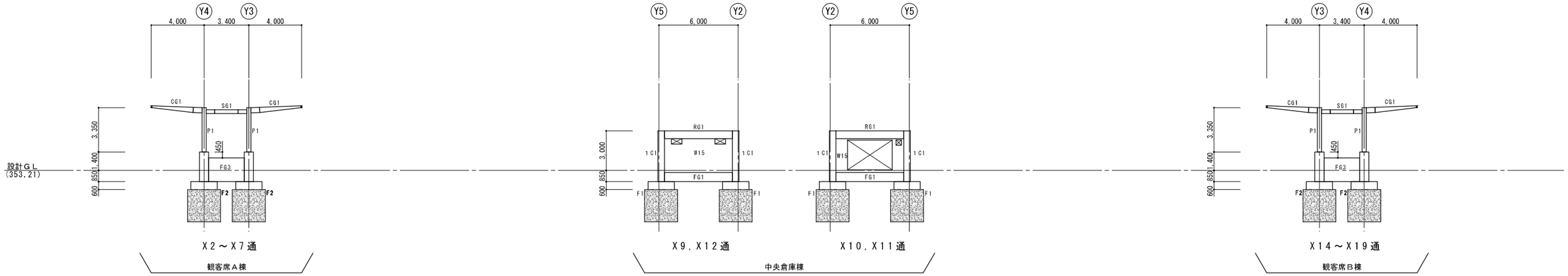


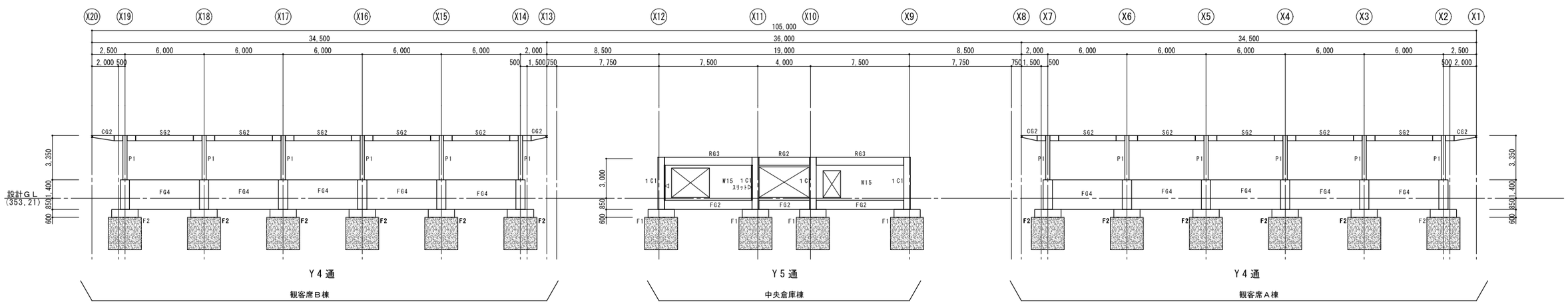
基礎伏図

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　基礎伏図・梁伏図
縮　尺	1：150（A3=1:300）
図面番号	S－207
DATE	． ．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二
1級建築士　第163891号
構造設計1級建築士　第　1981号　関田　政道

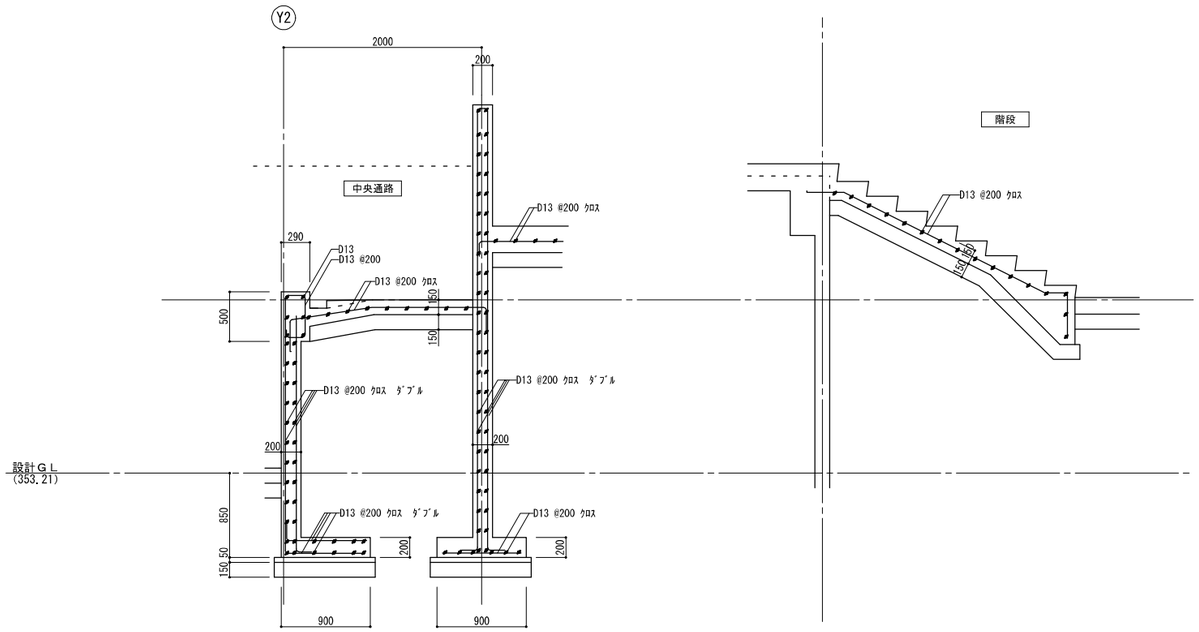


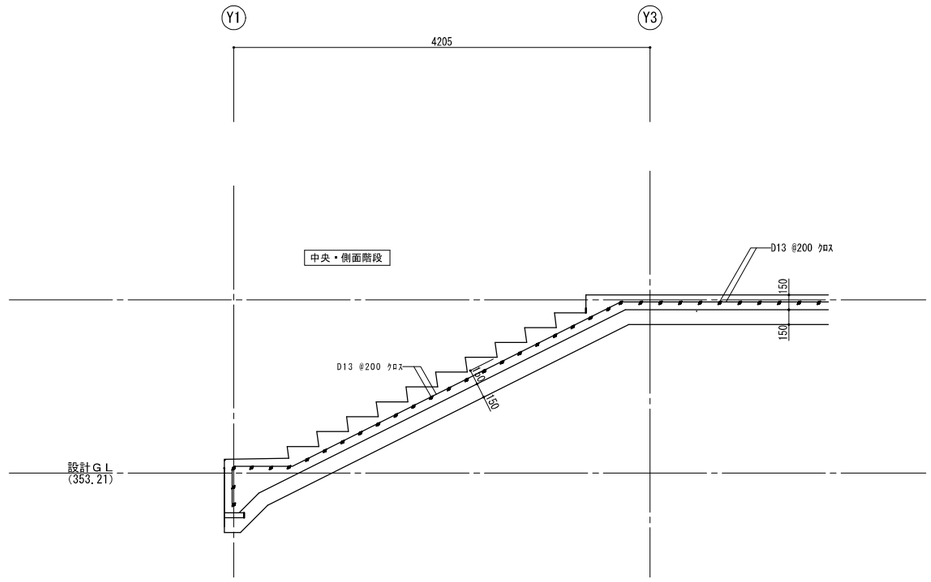


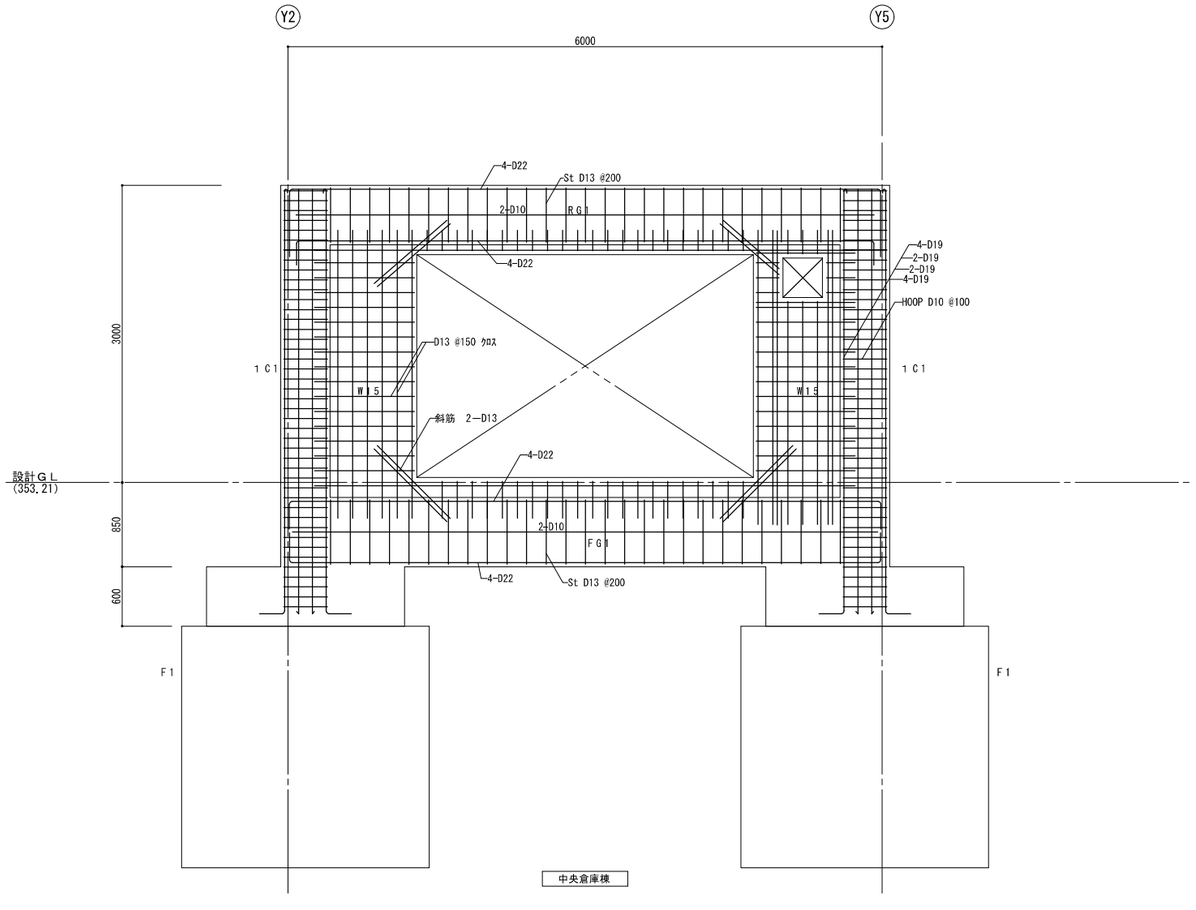


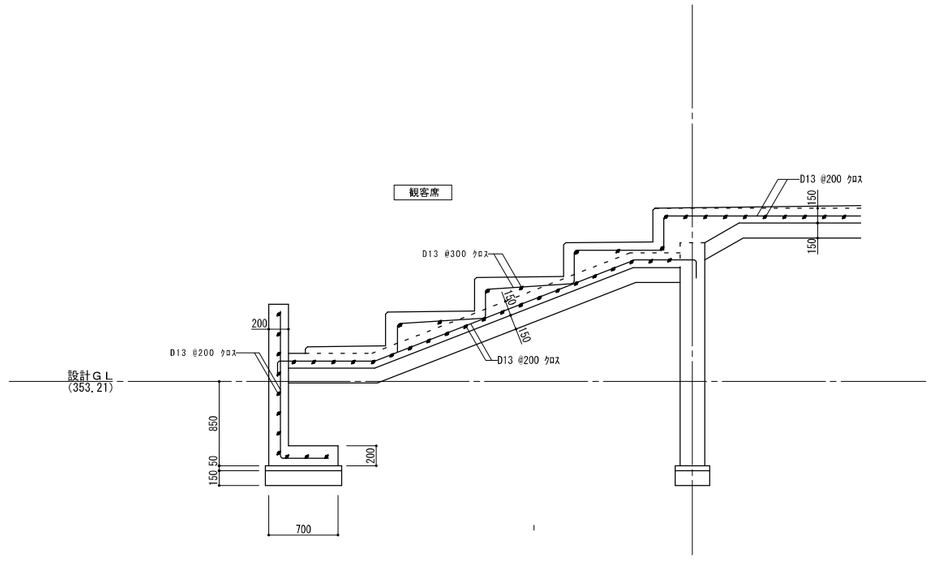
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　軸組図
縮　尺	1：150（A3=1:300）
図面番号	S－208
DATE	. .

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二
1級建築士　第163891号
構造設計1級建築士　第　1981号　関田　政道







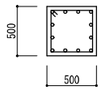


工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド　ＲＣ配筋詳細図・雑配筋図
縮　尺	1：30（A3=1：60）
図面番号	Ｓ－209
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第163891号
構造設計１級建築士　第　1981号　関田　政道

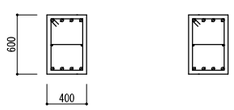
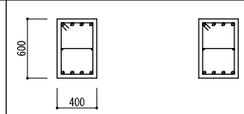
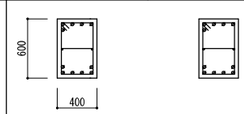
柱リスト　1/30

特記無き限り下記に依る
フープ □-D10-@100　とする

階	符 号	1C1
1 F	断面	
	Dx × Dy	500x500
	主筋	12-D19
	フープ	
	備考	

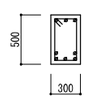
大梁リスト　1/30

特記無き限り下記に依る
スターラップ □-D10-@200　とする
腹筋　2-D10　とする
幅止め筋　D10-@1000　とする

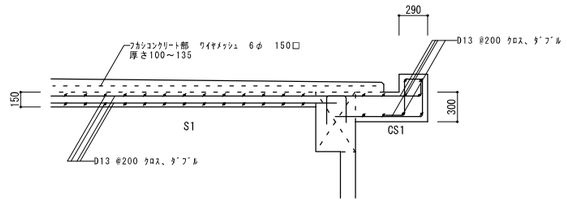
階	符 号		RG1		RG2		RG3	
	位置		両端	中央	両端	中央	両端	中央
R F	断面							
	B × D		400x600		400x600		400x600	
	主筋	上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	5-D22	5-D22
		下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22
	スターラップ		□-D13-@200		□-D13-@200		□-D13-@200	
	腹筋							
	備考							

小梁リスト　1/30

特記無き限り下記に依る
スターラップ □-D10-@200　とする
腹筋　2-D10　とする
幅止め筋　D10-@1000　とする

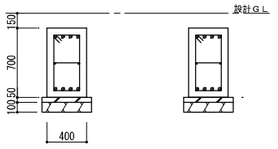
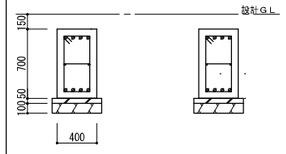
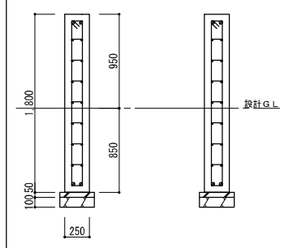
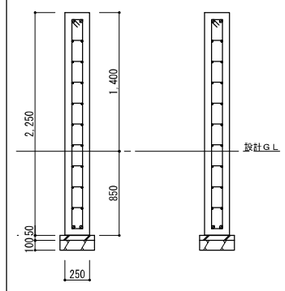
符 号		RB1
位置		全断面
断面		
B × D		300x500
主筋	上端筋	3-D19
	下端筋	5-D19
スターラップ		□-D10-@200
腹筋		———
備考		

スラブリスト　1/30



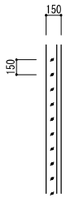
地中梁リスト　1/30

特記無き限り下記に依る
スターラップ □-D10-@200　とする
腹筋　2-D10　とする
幅止め筋　D10-@1000　とする

符 号		FG1		FG2		FG3		FG4	
位置		両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央
断面									
B × D		400x700		400x700		250x1,800		250x2,250	
主筋	上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22
	下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22
スターラップ		□-D13-@200		□-D13-@200		□-D13-@200		□-D13-@200	
腹筋									
備考									

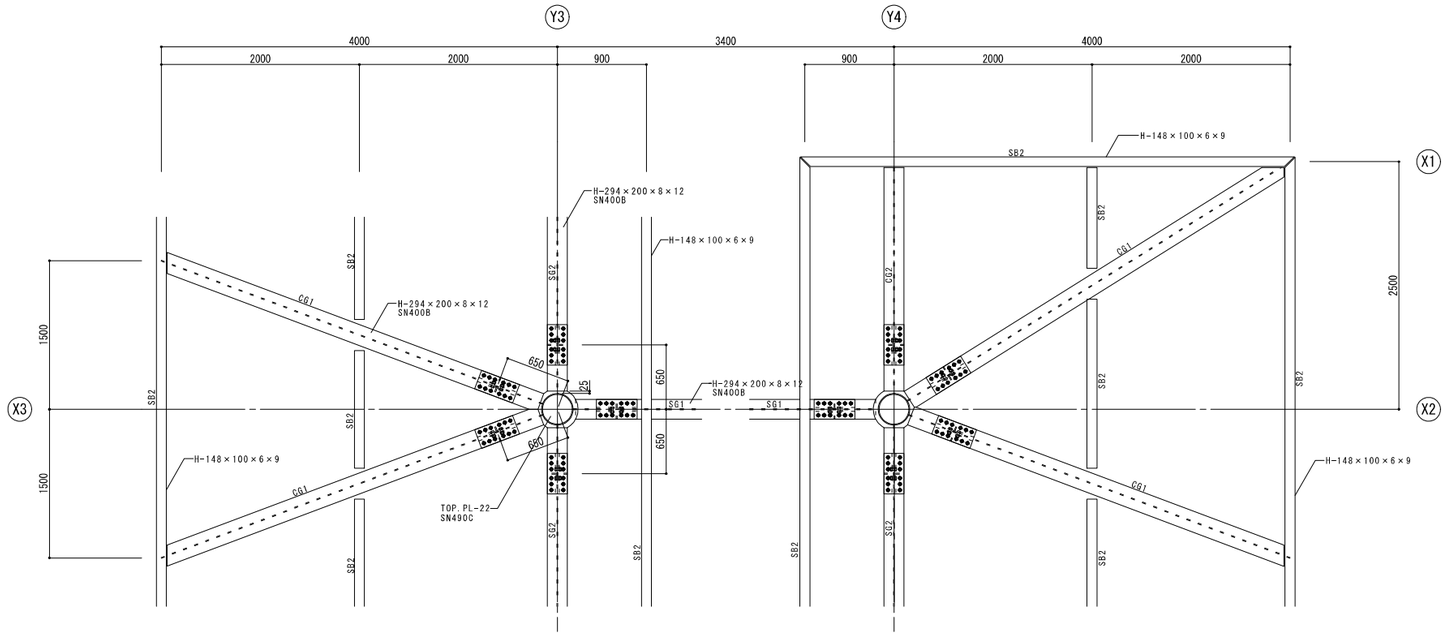
壁リスト　1/30

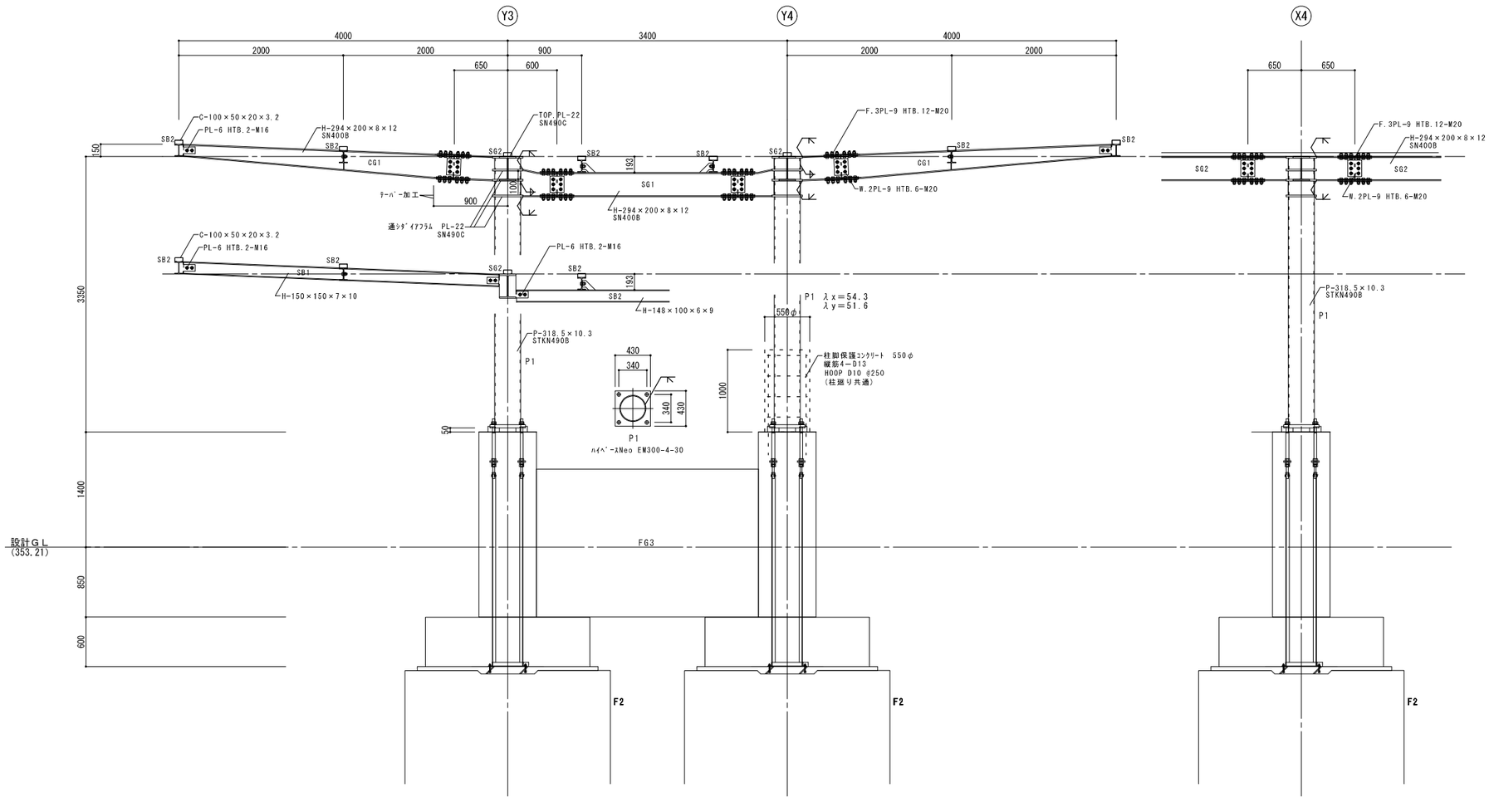
特記無き限り下記に依る
幅止め筋　D10-@1000　とする

符 号		W15
断面		
壁厚		150
主筋	縦筋	D13-@150（シングル）
	横筋	D13-@150（シングル）
開口部	縁横筋	2-D13
	斜め筋	2-D13
幅止め筋		———
備考		

工事名称　：　国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称　：　スタンド　ＲＣ部材リスト
縮　尺　：　1：30（A3=1：60）　図面番号　：　Ｓ－210
DATE　：　.　.

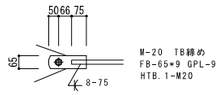
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二
１級建築士　第163891号
構造設計１級建築士　第　1981号　関田　政道





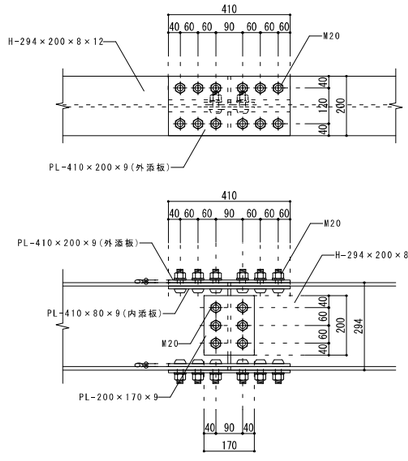
部材リスト

P1	STKN490B	P-318.5×10.3	ﾊｲﾍﾞｰﾑNE0 EM-30-4-30
SG1	SN400B	H-294×200×8×12	F.3PL-9 HTB.12-M20 W.2PL-9 HTB.6-M20
SG2	SN400B	H-294×200×8×12	F.3PL-9 HTB.12-M20 W.2PL-9 HTB.6-M20
CG1	SN400B	H-294～150×200×8×12 テーパー加工	F.3PL-9 HTB.12-M20 W.2PL-9 HTB.6-M20
CG2	SN400B	H-294～150×200×8×12 テーパー加工	F.3PL-9 HTB.12-M20 W.2PL-9 HTB.6-M20
SB1	SS400	H-150×150×7×10	PL-6 HTB.2-M16
SB2	SS400	H-148×100×6×9	PL-6 HTB.2-M16
RF水平Br	SNR400	JIS Br M20 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ締め	FB-65×9 G.PL-9 HTB.1-M20
HTB	F8T	M16 M20	認定番号 MBLT-0050
ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ	SN490C		
GPL	SS400		



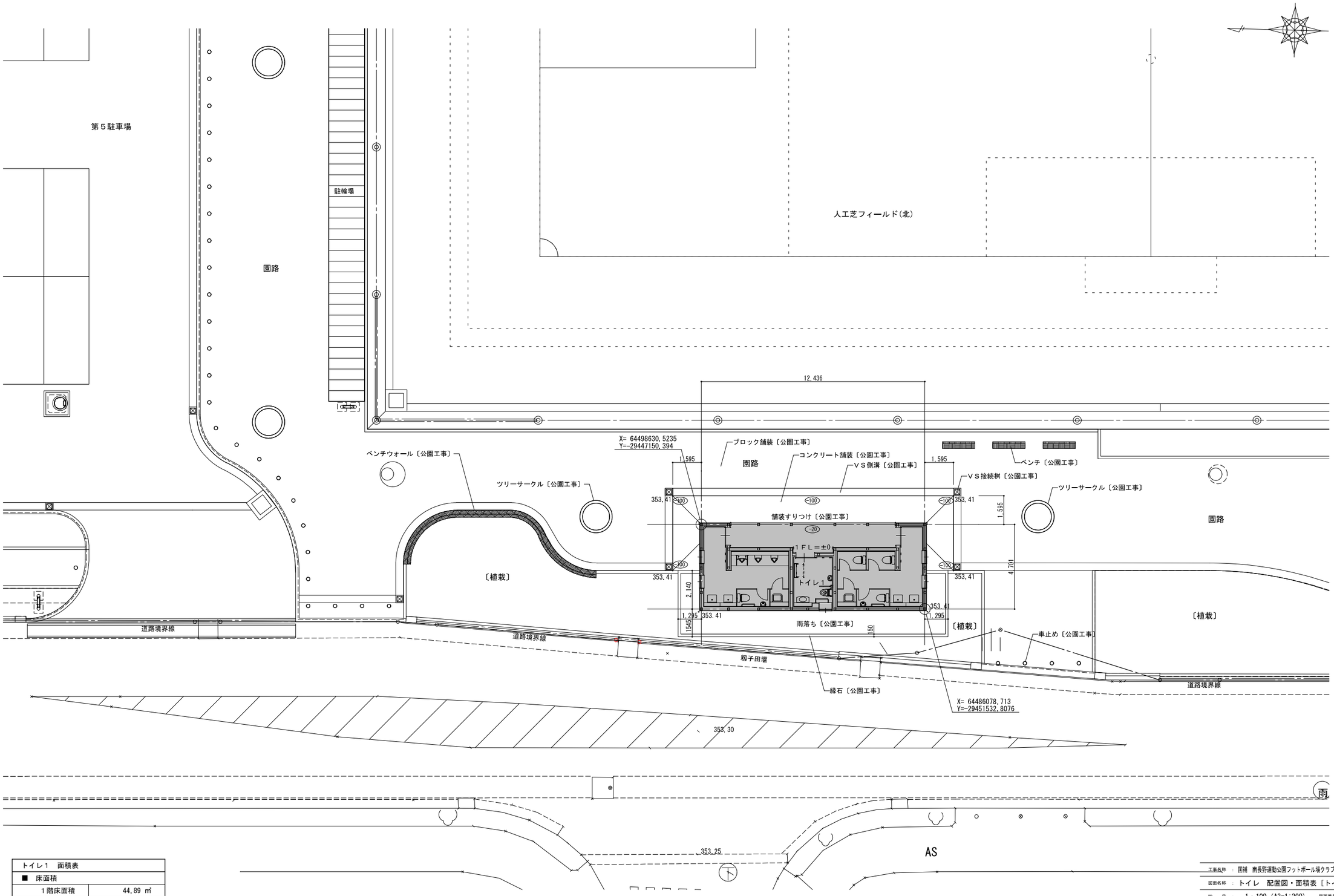
水平Ｂｒ詳細図

梁サイズ		H-294×200×8×12	
フランジ	外添板	PL-410×200×9 (2枚)	ボルトM20 (24本)
	内添板	PL-410×80×9 (4枚)	
ウェブ	添板	PL-200×170×9 (2枚)	ボルトM20 (6本)



工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	スタンド 鉄骨詳細図・部材リスト
縮尺	1：30 (A3=1：60)
図面番号	S－211
DATE	. .

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二
1級建築士 第163891号
構造設計1級建築士 第 1981号 関田 政道



トイレ１　面積表	
■　床面積	
１階床面積	44.89 ㎡
合　　計	44.89 ㎡
■　建築面積	58.46 ㎡

※トイレ１　１ＦＬ＝設計ＧＬ（353.41）＋100

※ ⬭ 内の数値は、１ＦＬからのレベルを示す

※トイレ１周囲の外構工事は全て公園工事とする

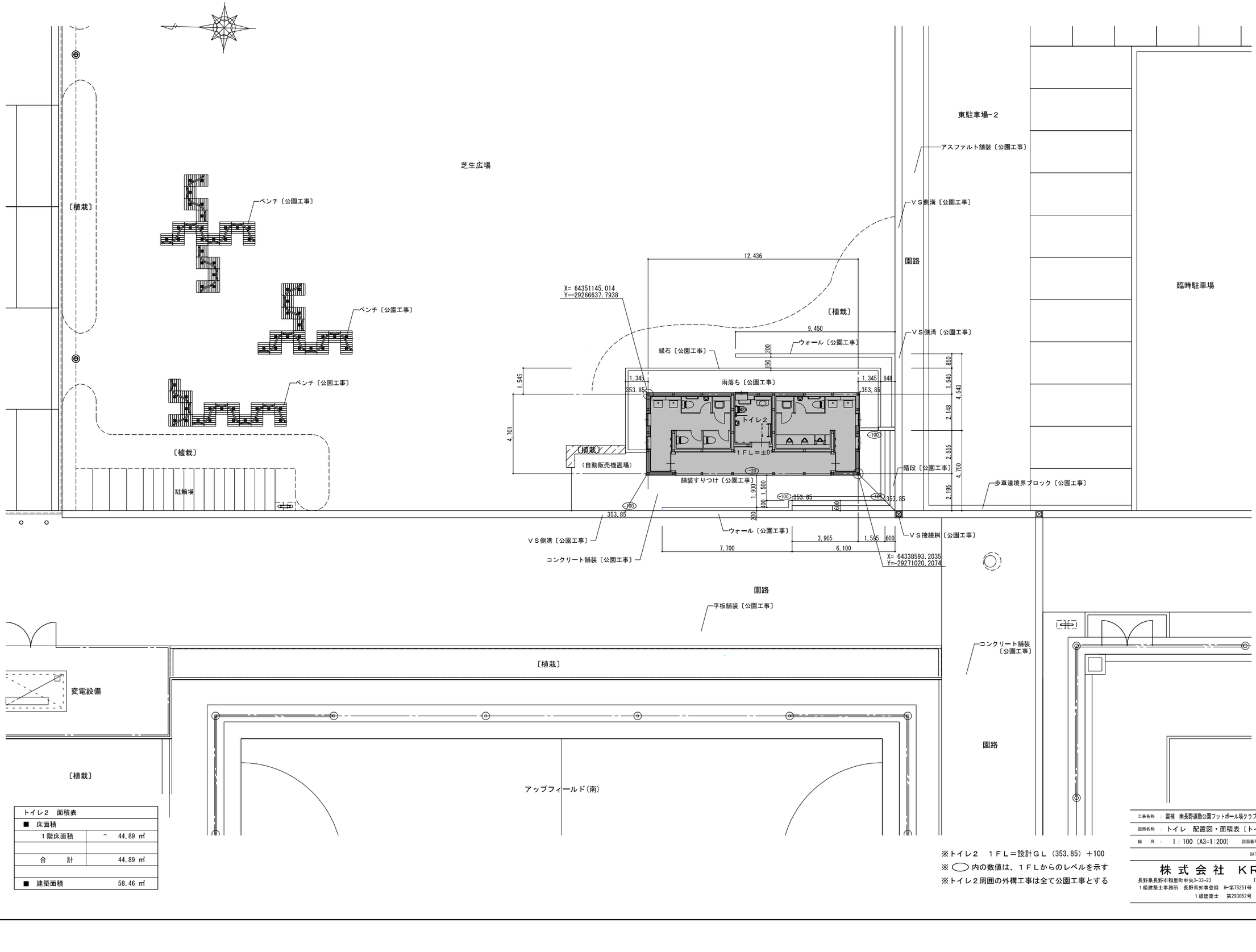
工事名称　：　国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称　：　トイレ　配置図・面積表［トイレ１］

縮　尺　：　1：100（A3=1:200）　図面番号　：　Ａ－301

DATE　：　.　.

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



トイレ２　面積表	
■　床面積	
１階床面積	^　44.89 ㎡
合　　計	44.89 ㎡
■　建築面積	58.46 ㎡

※トイレ２　１ＦＬ＝設計ＧＬ（353.85）＋100

※ ⬭ 内の数値は、１ＦＬからのレベルを示す

※トイレ２周囲の外構工事は全て公園工事とする

工事名称　：　国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事

図面名称　：　トイレ　配置図・面積表［トイレ２］

縮　尺　：　1：100（A3=1:200）　図面番号　：　Ａ－302

DATE　：　.　.

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

■ 外部仕上表

屋　　根	カラーガルバリウム鋼板ｔ0.4　立ハゼ葺キ（防水工法）　雪止メアングル：L-50×50×4（溶融亜鉛メッキ品） 下地：アスファルトルーフィング940＋構造用合板ｔ12
破　　風	カラーガルバリウム鋼板ｔ0.4加工（唐草、ケラバ　同材）
軒　　天	木製野縁組　合板ｔ9＋杉羽目板ｔ12　木材保護着色塗料
外　　壁	窯業系サイディングｔ16張り（金具工法）　下地：透湿防水シート＋木製胴縁 一部：金属サイディングｔ15張り（リブ調）
腰　　壁	コンクリート打放シ　光触媒防汚コート（化粧目地切）
建　　具	アルミサッシ（カラー） 軽量鋼製ハンガー引戸（屋外仕様）
通　　路	床　：磁器質150角タイル貼り 壁　：杉羽目板ｔ15（本実加工）　木材保護着色塗料　下地：透湿防水シート＋木製胴縁
	腰壁：コンクリート打放シ　光触媒防汚コート 天井：木製野縁組　合板ｔ9＋杉羽目板ｔ12　木材保護着色塗料
	柱、木枠・見切材：木材保護着色塗料

■ 特記仕様

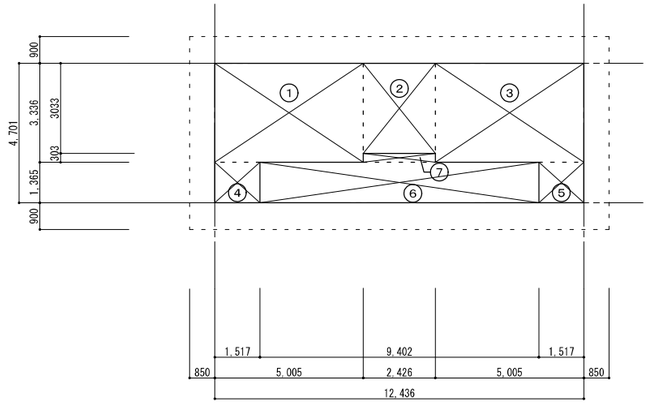
1.断熱材仕様	ビットスラブ下、側面：押出法ポリスチレンフォームｔ30打込 天井裏：高性能グラスウールｔ50＋50敷込み（24kg/m3）
	外壁：高性能グラスウールｔ100（24kg/m3）充填 外壁廻りの腰壁、外壁面から0.6mの範囲のＲＣ面：現場発泡ウレタンｔ25吹付
2.コンクリート打増し	外部に面する部分、特記なき限り打増しｔ＝20とする。 コンクリート躯体の出隅部分は、面木を使用とする。
3.内部壁下地仕様	壁の下地は、縦胴縁45×40　@455、横胴縁18×45　@455とする。 （バリアフリートイレの一部は縦胴縁105×30　@455とする。）
4.仕上仕様	化粧ケイ酸カルシウム板の目地コーキングは、シリコン系（防カビ仕様）とする。 化粧ケイ酸カルシウム板のジョイント目地は縦目地のみとして、水平目地は設けないこと。
	サッシの額縁、見切等の木部は、ＷＰＳ（木材保護着色塗料塗り）とする。 ＷＰＳ（木材保護着色塗料塗り）は、屋外を３回塗り、屋内を２回塗りとする
	汚垂石は、抗菌仕様のタイル製とする。
5.その他	内部で使用する塗料材料はＦ☆☆☆☆とする。 天井裏等の使用材料はＦ☆☆☆☆とする。
	手摺等の設備機器の取付で下地補強が必要な場合は、建築工事とする。 外壁の水切材の出隅部分は、面取り加工又は、ガード材取付とする。

■ 共通事項

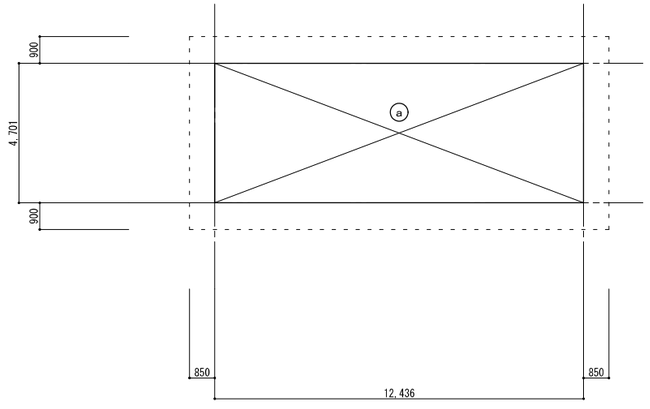
1.凡　例	カラーガルバリウム鋼板：ポリエステル樹脂塗装溶融溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 ＷＰＳ：木材保護着色塗料塗り
	SUS：ステンレス304 光触媒防汚コート：無機質系全光型光触媒防汚コート
2.防火材料リスト	－

■ 内部仕上表

室　名	床高	床		巾木		壁		天井		廻り縁	天井高	備考 ※〔　〕内は、機械設備工事を表す
		下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上			
男子トイレ	±0	モルタル	磁器質150角タイル貼り（水勾配付）	45ー二丁掛タイル	100	木製胴縁	合板（特類）ｔ12捨張り　化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6張り （目地：コーキング仕様　　出隅部：アルミジョイナー取付）	木野縁組	合板ｔ9捨張り　杉羽目板ｔ12　木材保護着色塗料（屋内仕様）	木　製	2500	ライニング、汚垂石、ピクトサイン、棚板、SUSパイプ（Sカン付）、床下点検口、天井点検口 〔鏡、手摺（小便器用、L型）、ベビーチェア、荷物掛け用フック〕
女子トイレ	±0	モルタル	磁器質150角タイル貼り（水勾配付）	45ー二丁掛タイル	100	木製胴縁	合板（特類）ｔ12捨張り　化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6張り （目地：コーキング仕様　　出隅部：アルミジョイナー取付）	木野縁組	合板ｔ9捨張り　杉羽目板ｔ12　木材保護着色塗料（屋内仕様）	木　製	2500	ライニング、ピクトサイン、棚板、SUSパイプ（Sカン付） 〔鏡、手摺（L型）、ベビーチェア〕
バリアフリートイレ	±0	モルタル	磁器質150角タイル貼り（水勾配付）	45ー二丁掛タイル	100	木製胴縁	合板（特類）ｔ12捨張り　化粧ケイ酸カルシウム板ｔ6張り （目地：コーキング仕様　　出隅部：アルミジョイナー取付）	木野縁組	合板ｔ9捨張り　杉羽目板ｔ12　木材保護着色塗料（屋内仕様）	木　製	2500	ライニング、ピクトサイン 〔鏡、手摺（L型、跳上式）、ベビーシート、ベビーチェア〕



床面積　求積図　S=1:100



建築面積　求積図　S=1:100

面積表	
■ 床面積	44.89 ㎡
■ 建築面積	58.46 ㎡

床面積表

	計　算　式　（㎡）		
①	5.005 × 3.336	＝	16.697
②	2.426 × 3.033	＝	7.358
③	5.005 × 3.336	＝	16.697
④	1.517 × 1.365	＝	2.071
⑤	1.517 × 1.365	＝	2.071
	床面積		44.894
⑥	9.402 × 1.365	＝	12.834
⑦	2.426 × 0.303	＝	0.735
	通路部分		13.569
	合　計		58.463

建築面積表

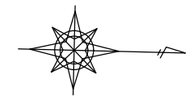
	計　算　式　（㎡）		
ⓐ	12.436 × 4.701	＝	58.461
	建築面積		58.461

工事名称　：　国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称　：　トイレ　仕上表・面積表［共通］
縮　尺　：　1：100（A3=1:200）　図面番号　：　Ａ－303
DATE　：　.　.

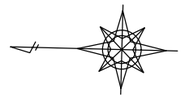
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

《凡 例》

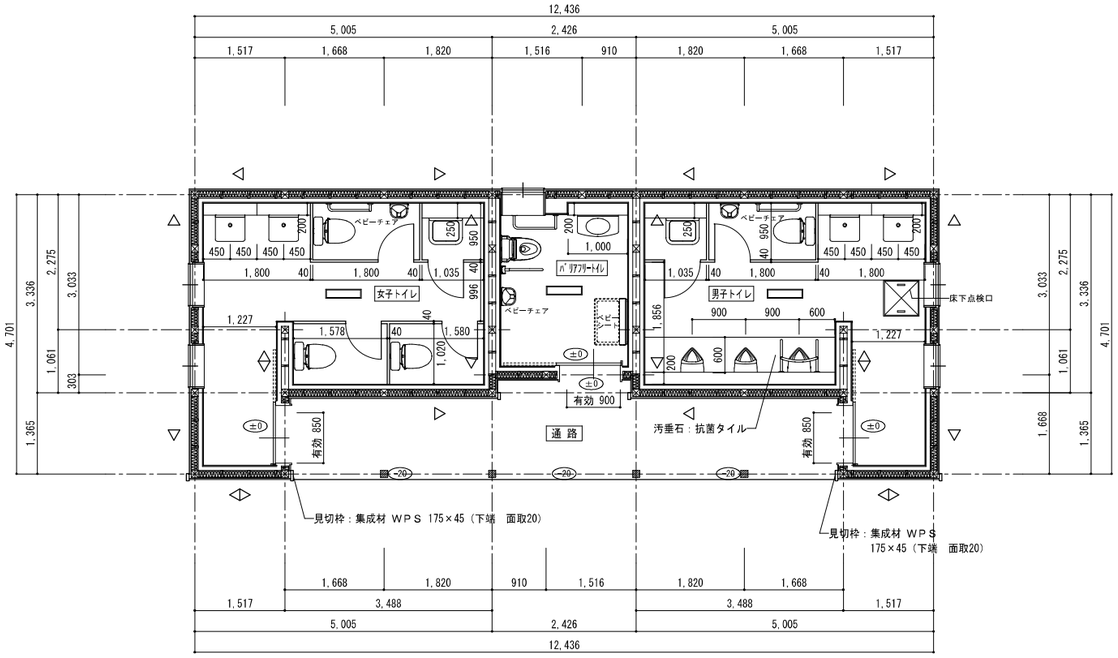
⊠	柱：120×120
⫴	間柱：120×30　@455
[桁] ◁ [土台]	筋カイ：45×90 シングル位置を示す
◁▷	筋カイ：45×90 ダブル(たすき掛け)位置を示す
▨	柱：120×120（化粧材）



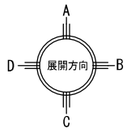
【トイレ１】



【トイレ２】

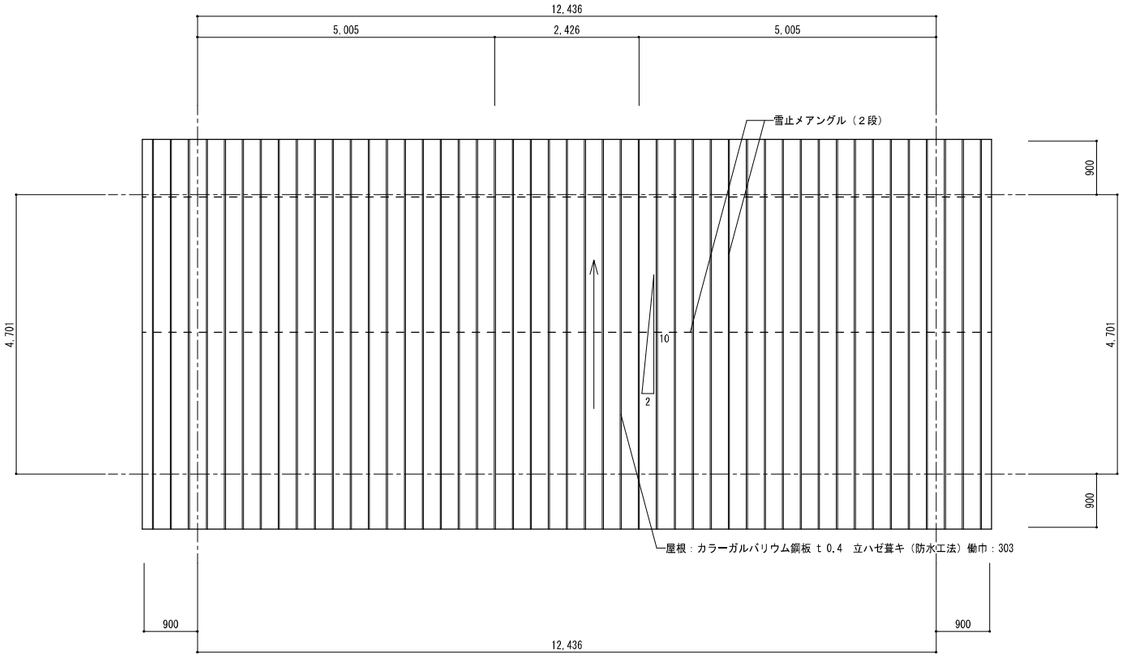


平面詳細図　S=1:50



※ ▭ 床排水ユニット〔機械設備工事〕を表す
（床排水ユニットに向けて排水勾配をとること）

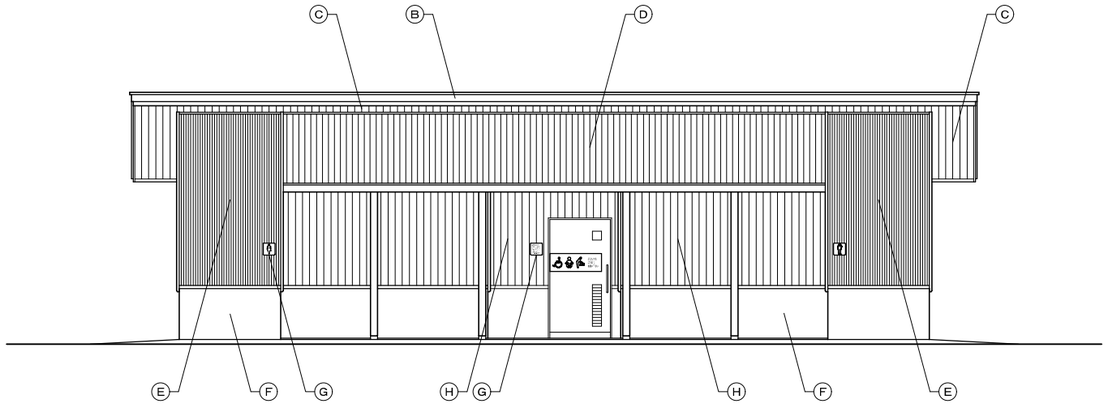
※　トイレ１：設計ＧＬ＝353.41
トイレ２：設計ＧＬ＝353.85



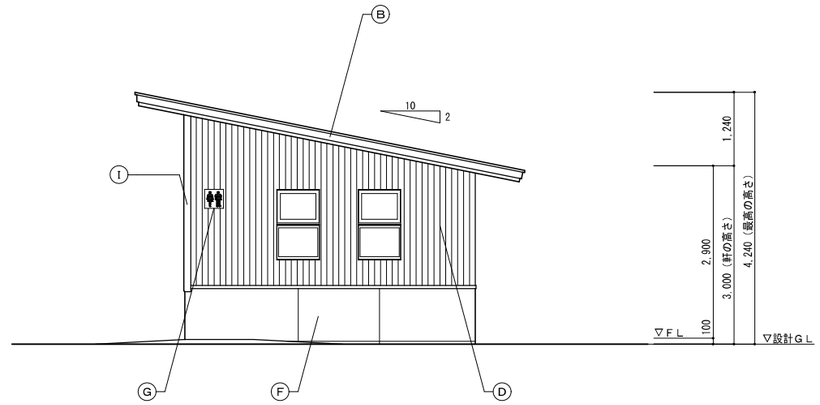
屋根伏図　S=1:50

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	トイレ　平面詳細図・屋根伏図［共通］
縮　尺	1：50（A3=1:100）
図面番号	Ａ－304
DATE	．　．

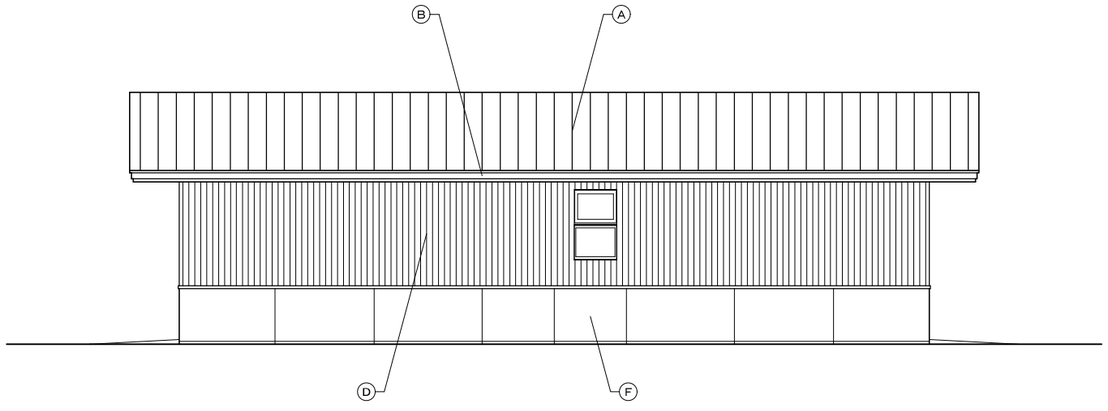
株 式 会 社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



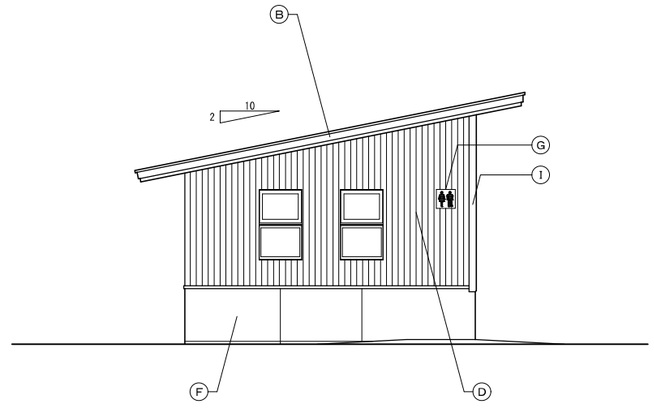
東 側 立 面 図



北 側 立 面 図



西 側 立 面 図



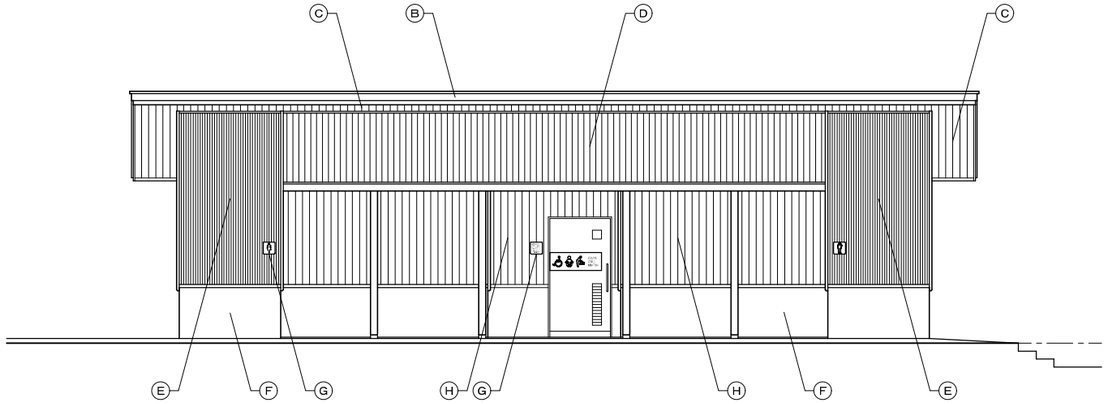
南 側 立 面 図

《外部仕上凡例》

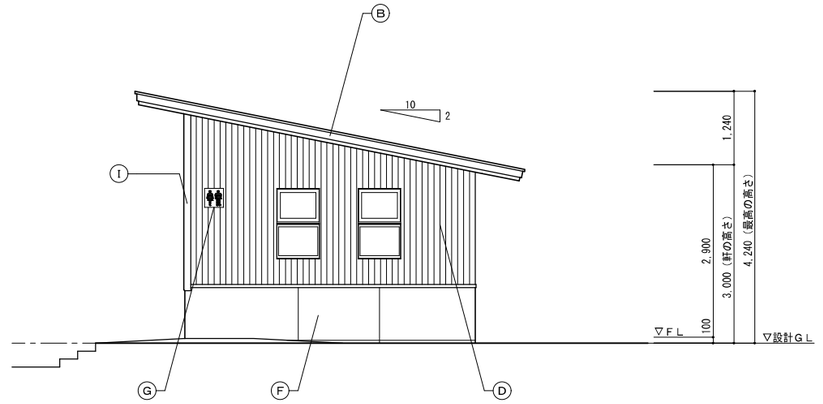
A	屋根：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4　立ハゼ葺キ（防水工法）　働巾：303
B	破風：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4加工（唐草、ケラバ 同材）
C	軒天：木製野縁組　合板t 9＋杉羽目板t 12　ＷＰＳ
D	外壁：窯業系サイディング t 16張り（金具工法）
E	外壁：金属サイディング t 15張り（リブ調）
F	腰壁：コンクリート打放シ　光触媒防汚コート（化粧目地切）
G	サイン表示（部分詳細図　参照）
H	壁：杉羽目板t 15　ＷＰＳ
I	出隅見切：集成材　ＷＰＳ　120×45（下端　面取20）

工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：トイレ　立面図［トイレ１］
縮　尺	：1：50（A3=1:100）　図面番号：Ａ－305
	DATE　：　．　．

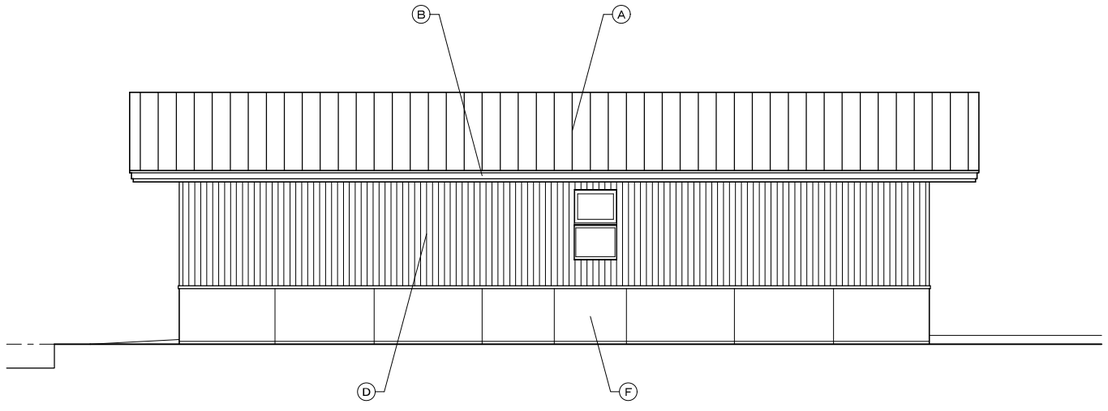
株 式 会 社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



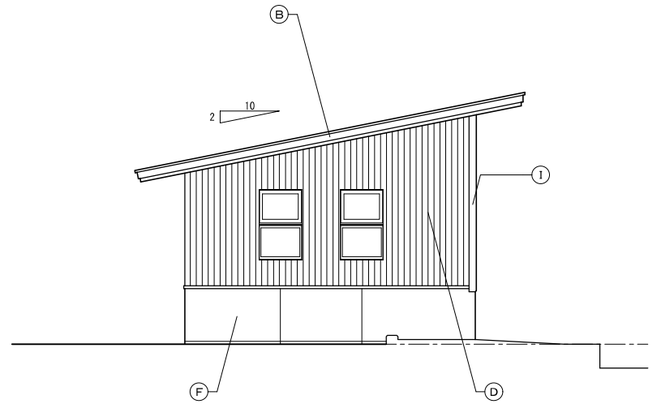
西 側 立 面 図



南 側 立 面 図



東 側 立 面 図



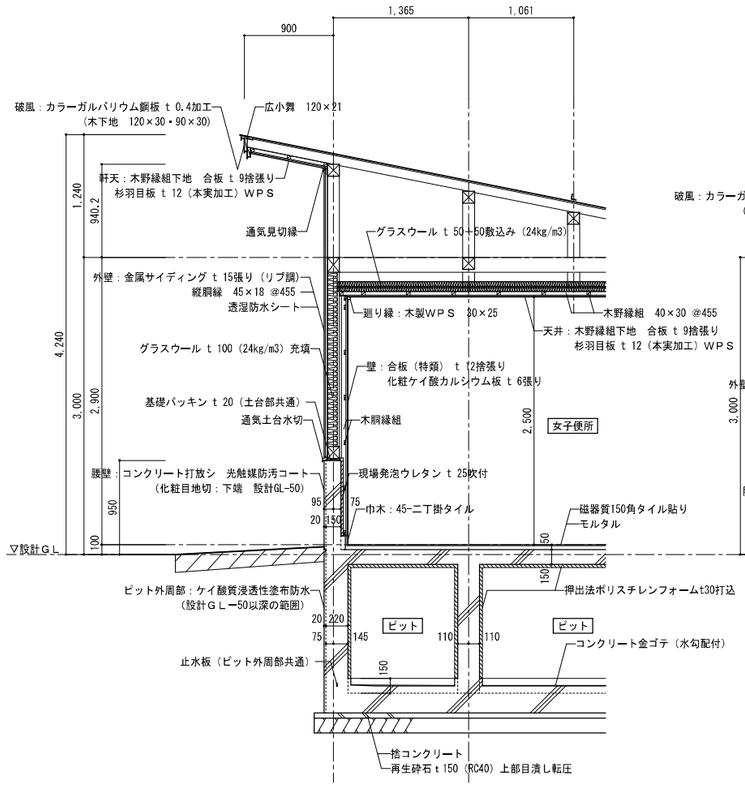
北 側 立 面 図

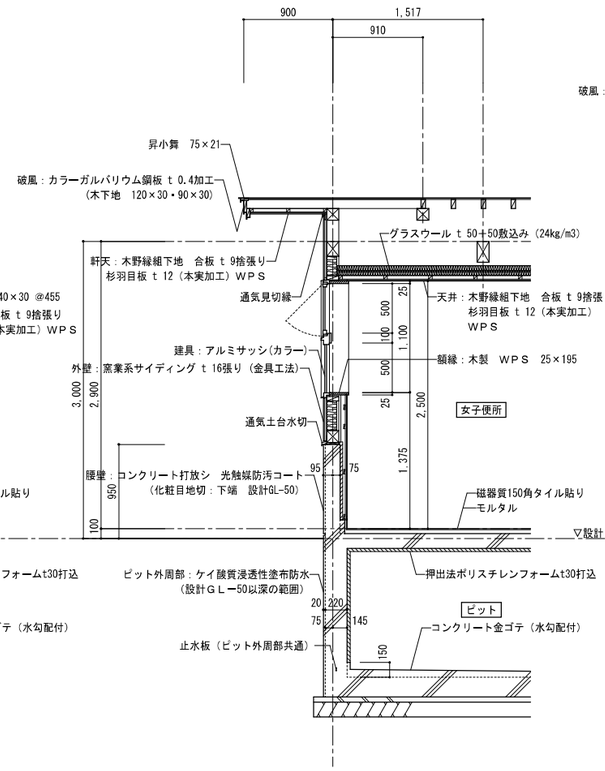
《外部仕上凡例》

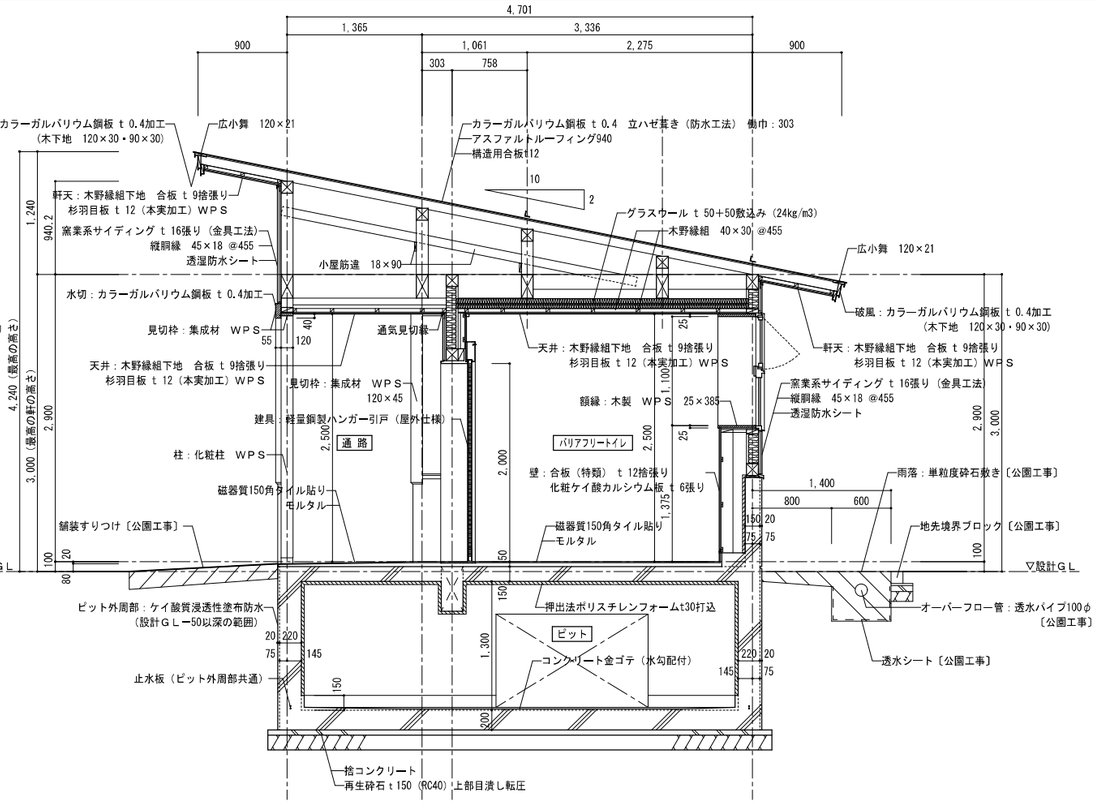
A	屋根：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4　立ハゼ葺キ（防水工法）　働巾：303
B	破風：カラーガルバリウム鋼板 t 0.4加工（唐草、ケラバ 同材）
C	軒天：木製野縁組　合板t 9＋杉羽目板t 12　ＷＰＳ
D	外壁：窯業系サイディング t 16張り（金具工法）
E	外壁：金属サイディング t 15張り（リブ調）
F	腰壁：コンクリート打放シ　光触媒防汚コート（化粧目地切）
G	サイン表示（部分詳細図　参照）
H	壁：杉羽目板t 15　ＷＰＳ
I	出隅見切：集成材　ＷＰＳ　120×45（下端　面取20）

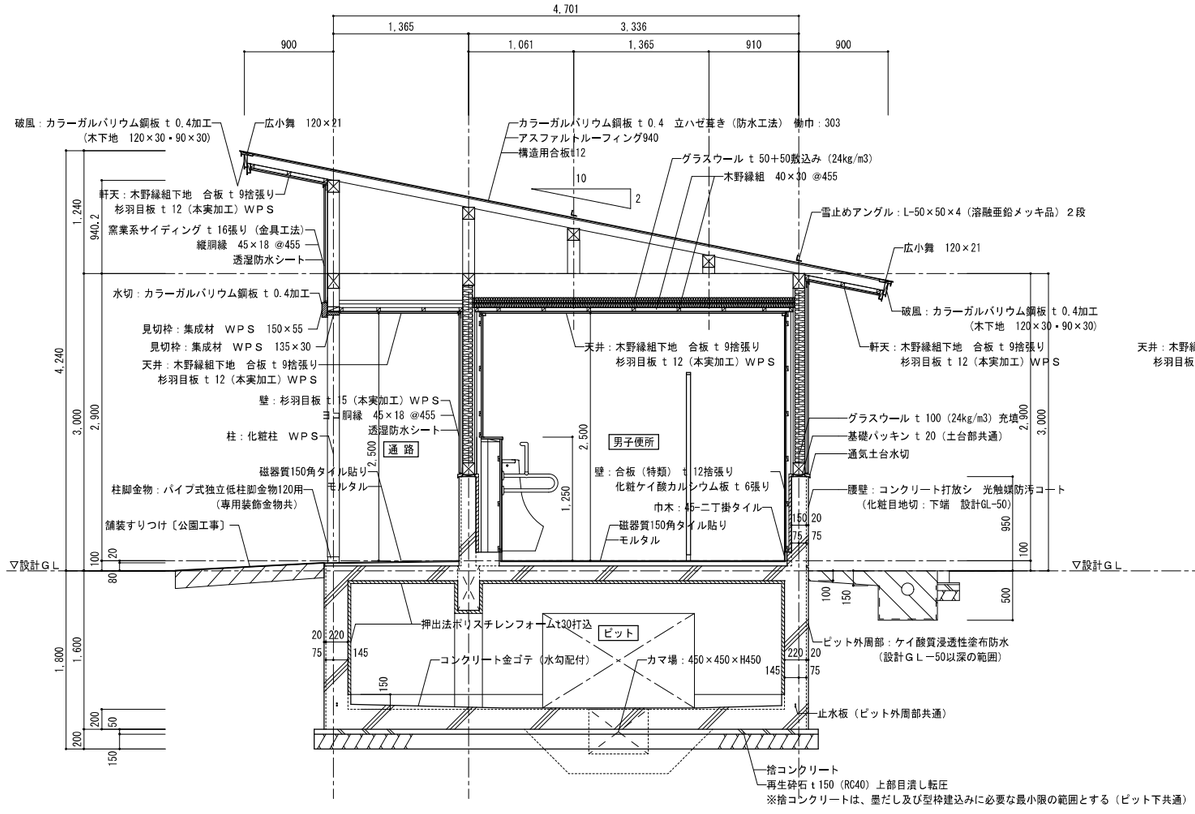
工事名称	：国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	：トイレ　立面図［トイレ2］
縮　尺	：1：50（A3=1:100）　図面番号：A－306
	DATE ：　.　.

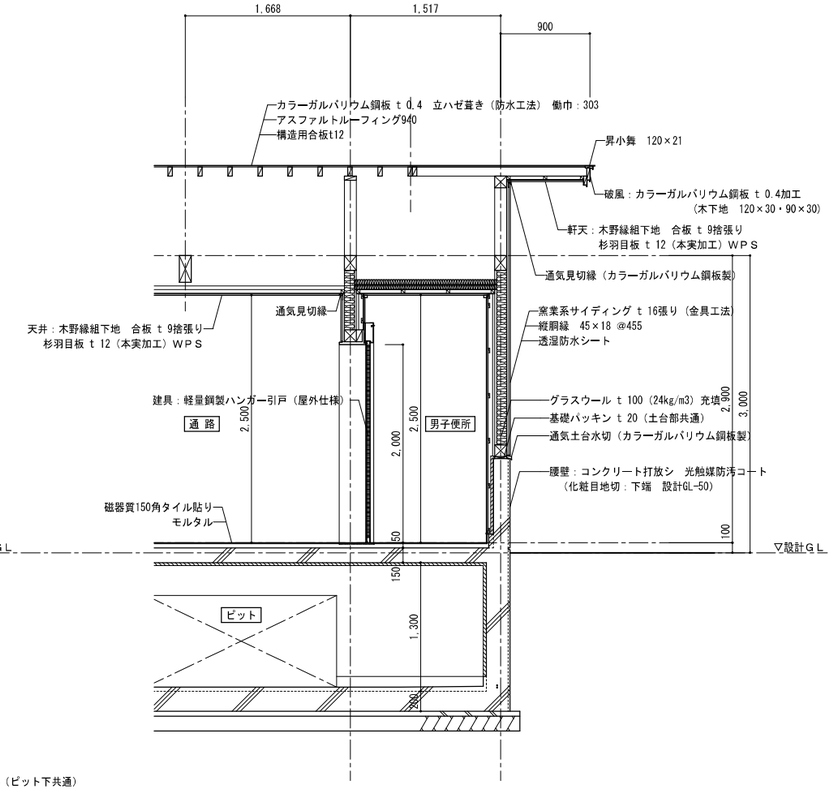
株 式 会 社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二





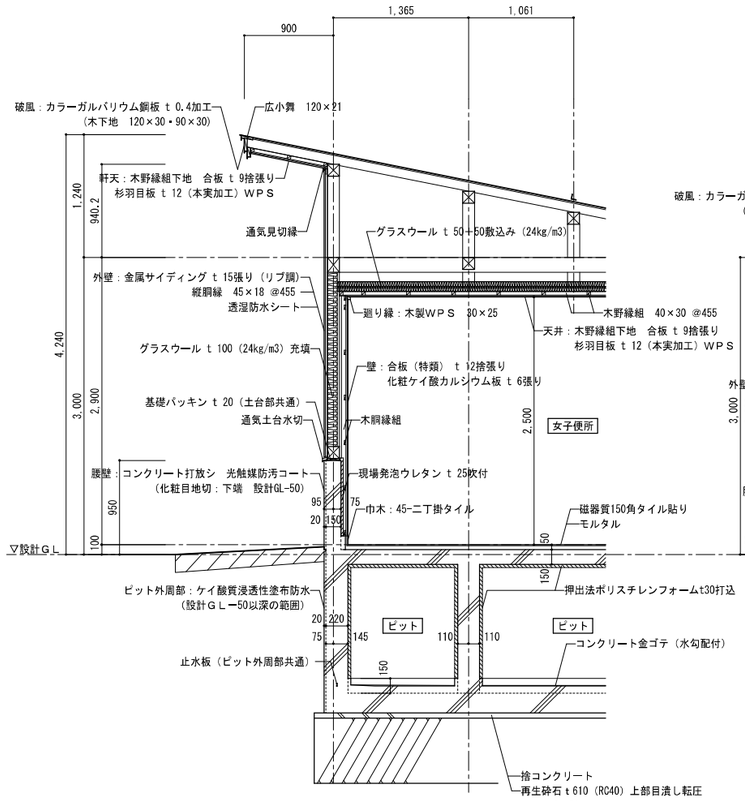


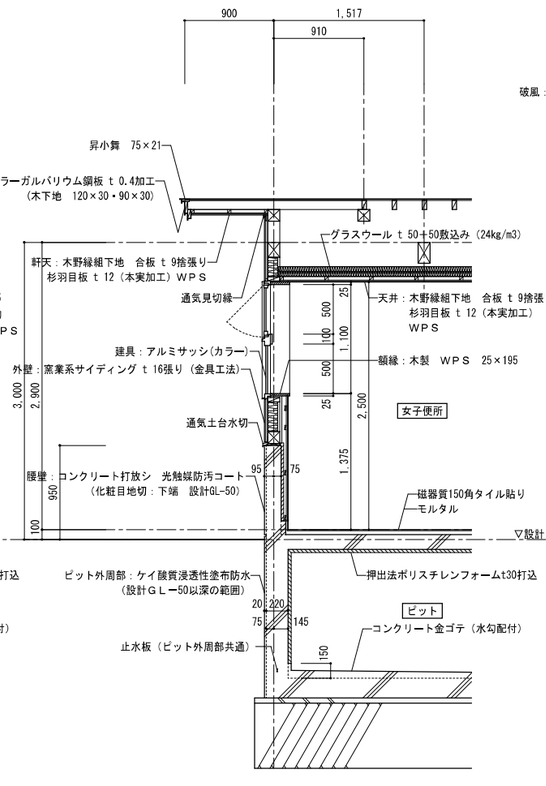


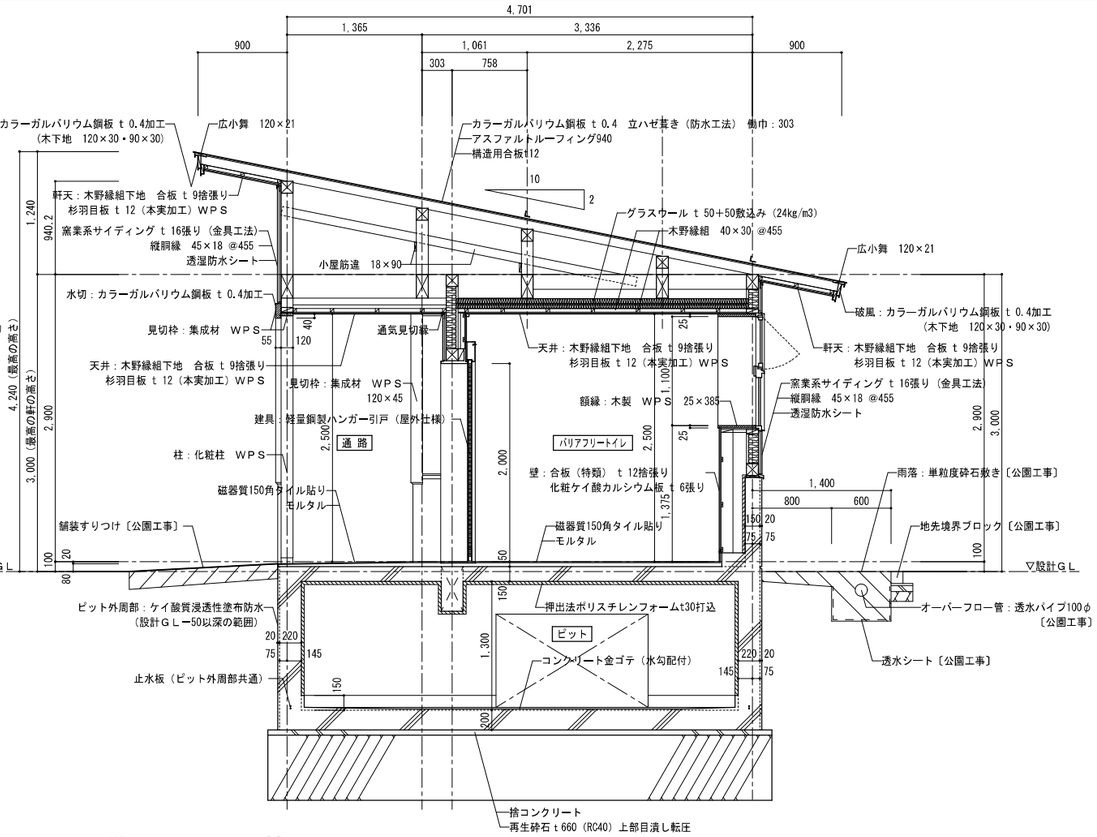


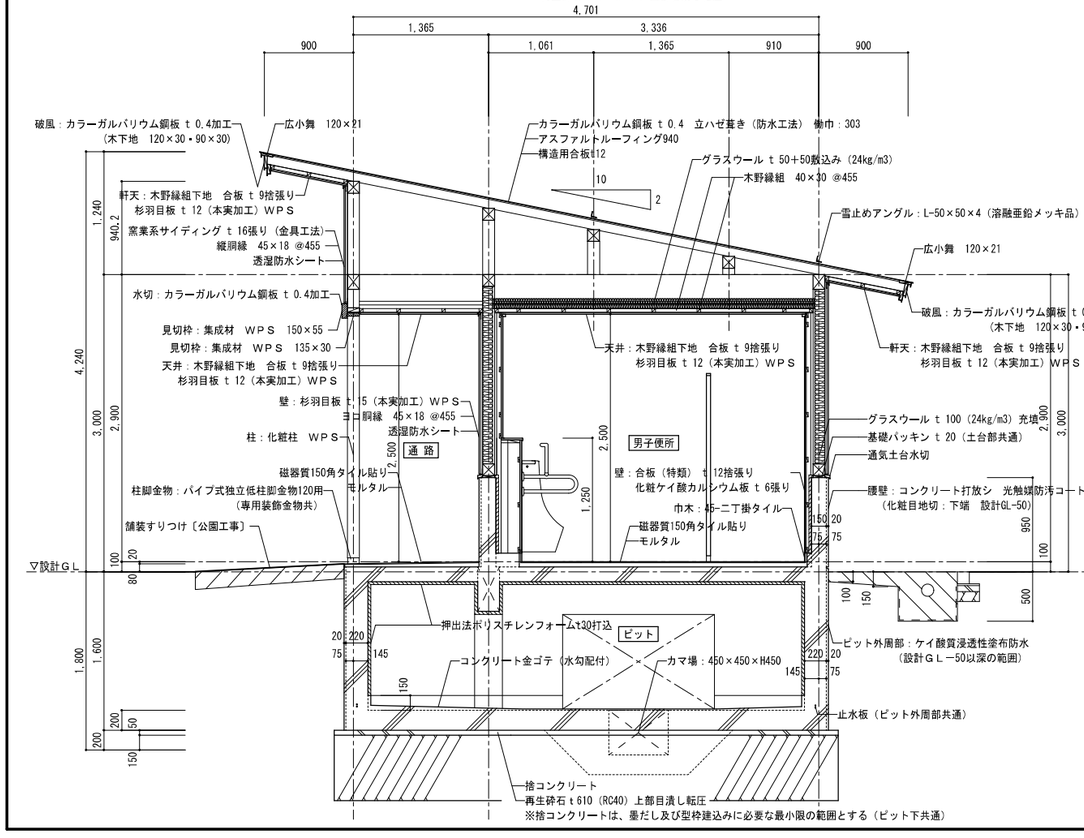
工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	トイレ 矩計図［トイレ１］
縮 尺	1：30（A3=1：60） 図面番号 A－307
	DATE ： ． ．

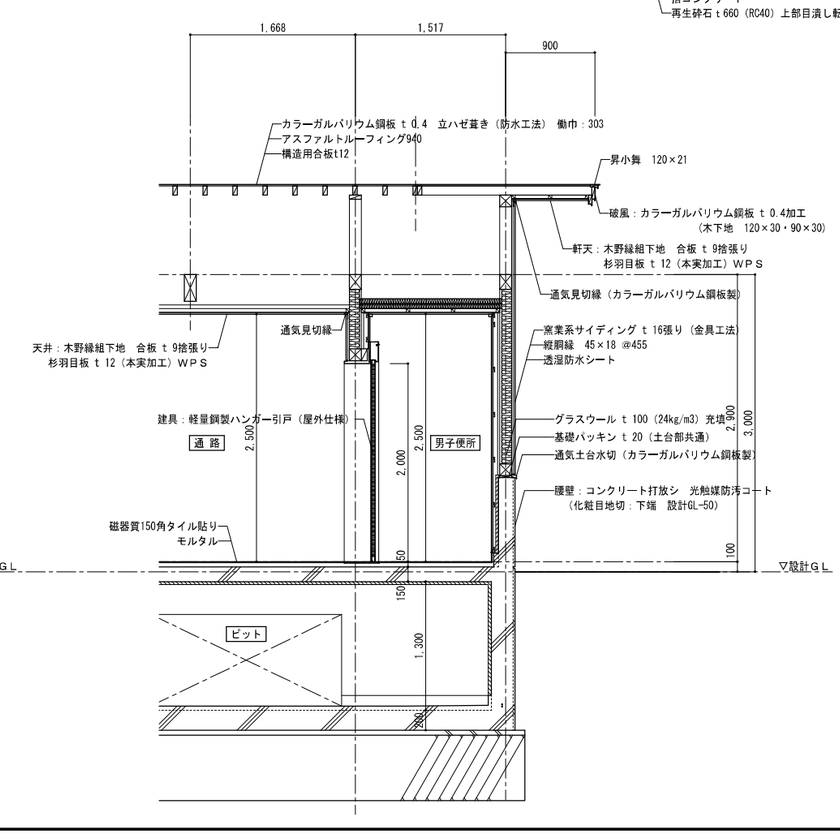
株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
１級建築士 第293052号 渡利 真二







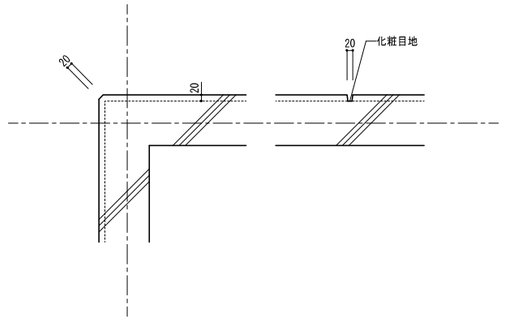




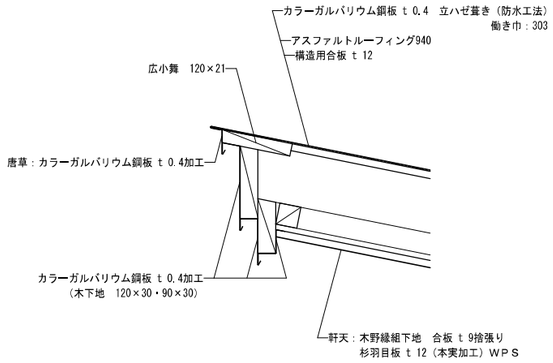
工事名称	国補 南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	トイレ 矩計図［トイレ２］
縮 尺	1：30（A3=1：60）
図面番号	A－308
DATE	．．．

株式会社 KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
１級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
１級建築士 第293052号 渡利 真二

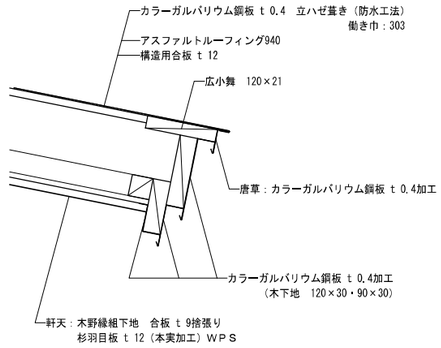
ＲＣ壁面木・目地　詳細図　　Ｓ＝１：１０



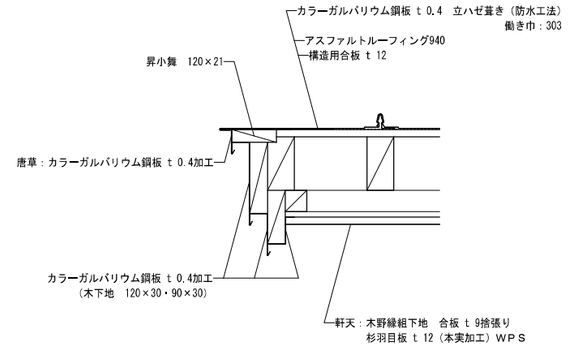
屋根　詳細図（軒先　水上）　　Ｓ＝１：５



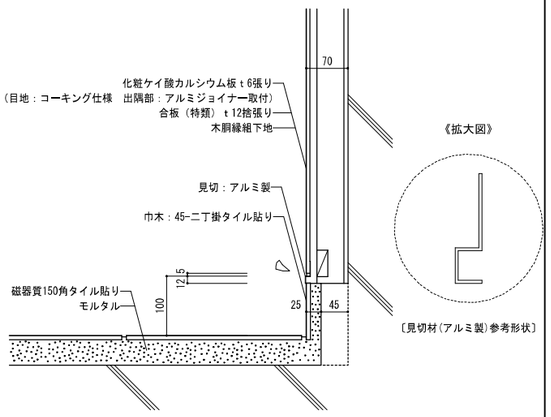
屋根　詳細図（軒先　水下）　　Ｓ＝１：５



屋根　詳細図（軒先　ケラバ）　　Ｓ＝１：５

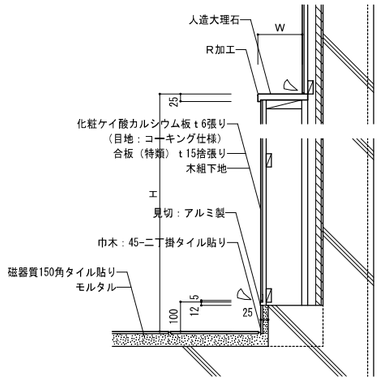


壁～床　詳細図（トイレ　コンクリート面）　　Ｓ＝１：５



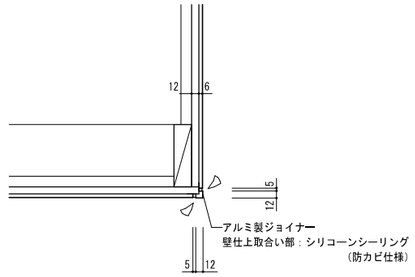
※ ◁：シリコーンシーリング（防カビ仕様）を示す

ライニング　詳細図　　Ｓ＝１：１０



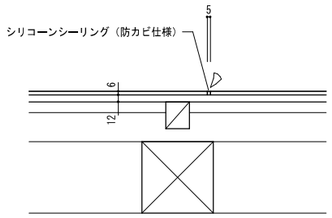
※ ◁：シリコーンシーリング（防カビ仕様）を示す

化粧ケイ酸カルシウム板出隅部　詳細図　　Ｓ＝１：５



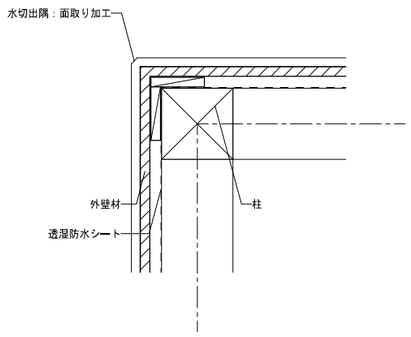
※ ◁：シリコーンシーリング（防カビ仕様）を示す

化粧ケイ酸カルシウム板縦目地部　詳細図　　Ｓ＝１：５

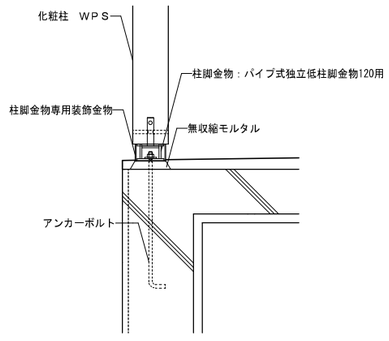


※ ◁：シリコーンシーリング（防カビ仕様）を示す

外壁下端水切出隅　詳細図　　Ｓ＝１：５



化粧柱（独立柱）柱脚金物　詳細図　　Ｓ＝１：１０



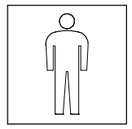
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	トイレ　部分詳細図（１）［共通］
縮　尺	1：10（A3=1：20） 1：5（A3=1：10）
図面番号	Ａ－309
DATE	．　．　．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

サインA　詳細図　〔ピクトサイン：壁面　平付〕　NON

サイン仕様　※絵文字柄は参考とする。

壁面取付	250×250 アルミ複合板ｔ3（裏面捨張りｔ3） インクジェットシート貼り（小口巻込み） ※ ベース色：カラー、マーク：白	各１ヶ所



【男子トイレ：Ａ１】



【女子トイレ：Ａ２】



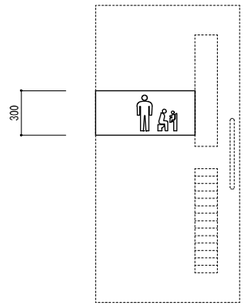
非常呼出しの
作動時は多目的
トイレの確認に
ご協力下さい。
緊急連絡先
○○○○○○○○
0000-00-0000

【ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ：Ａ３】

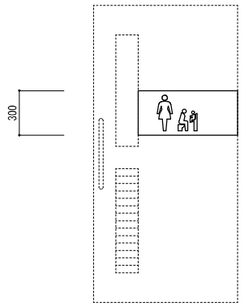
サインB　詳細図　〔ピクトサイン：建具LSD面　平付〕　NON

サイン仕様　※絵文字柄は参考とする。

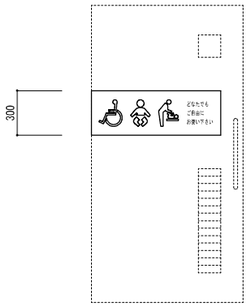
建具取付	図示 カッティングシート貼り（黒） ※ ベース色：カラー、マーク：白	各１ヶ所



【男子トイレ：Ｂ１】



【女子トイレ：Ｂ２】

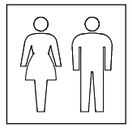


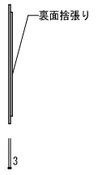
【ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ：Ｂ３】

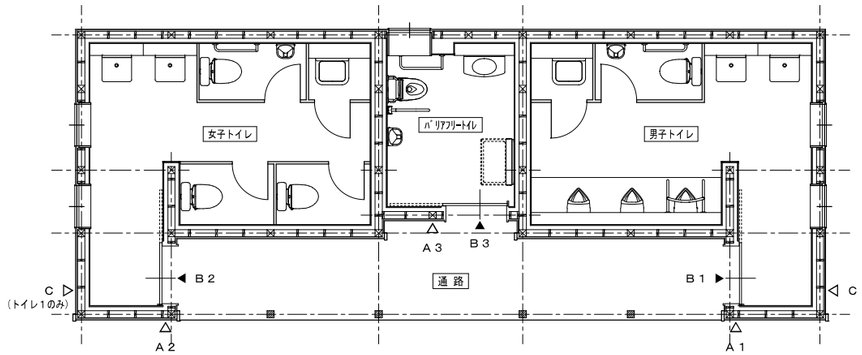
サインC　詳細図　〔ピクトサイン：壁面　平付〕　NON

サイン仕様　※絵文字柄は参考とする。

壁面取付	300×300 アルミ複合板ｔ3（裏面捨張りｔ3） インクジェットシート貼り（小口巻込み） ※ ベース色：カラー、マーク：白	各種 各１ケ所



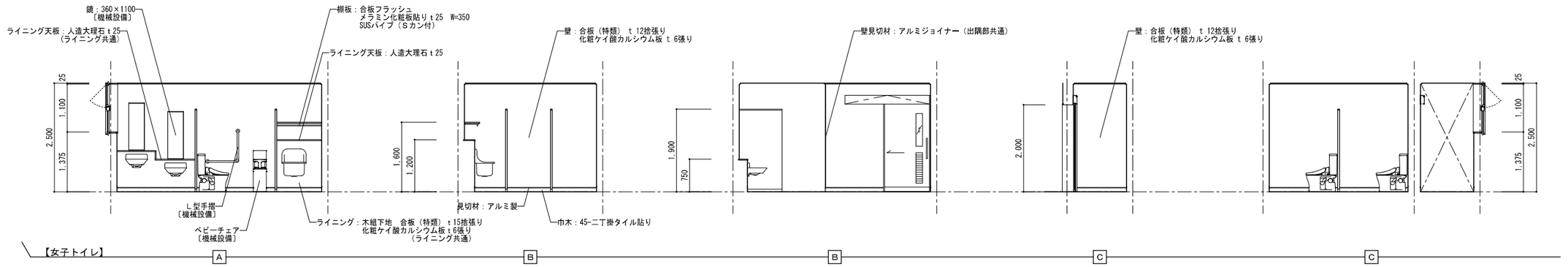


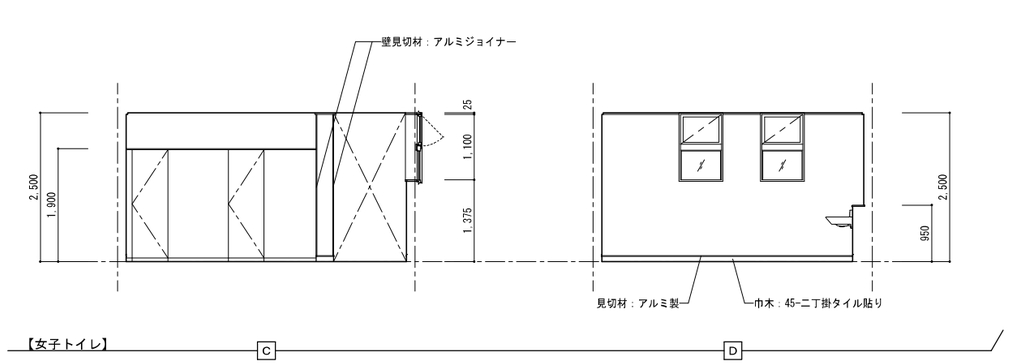


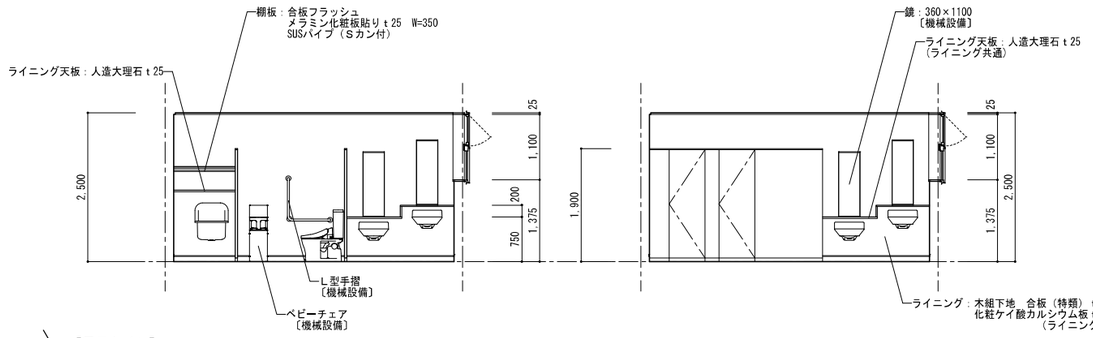
サインキープラン　S=1:50

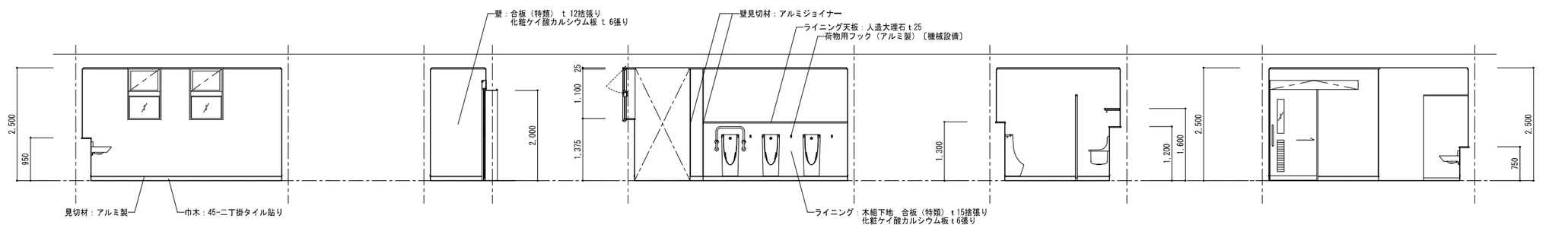
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	トイレ　部分詳細図（２）　[共通]
縮　尺	NON・1：10（A3=1：20）
図面番号	Ａ－310
DATE	．　．

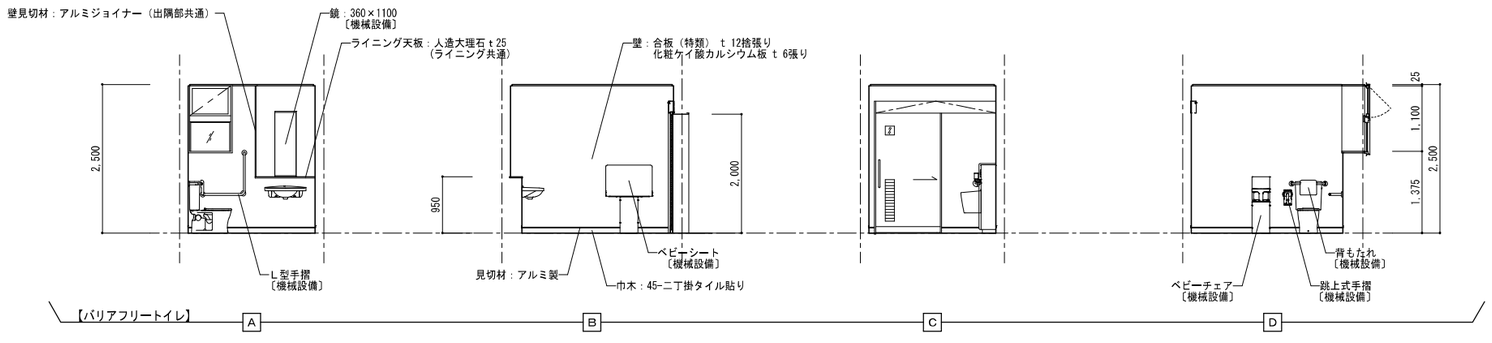
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二











工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	トイレ　展開図［共通］
縮　尺	1：50（A3＝1:100）
図面番号	A－311
DATE	．　．

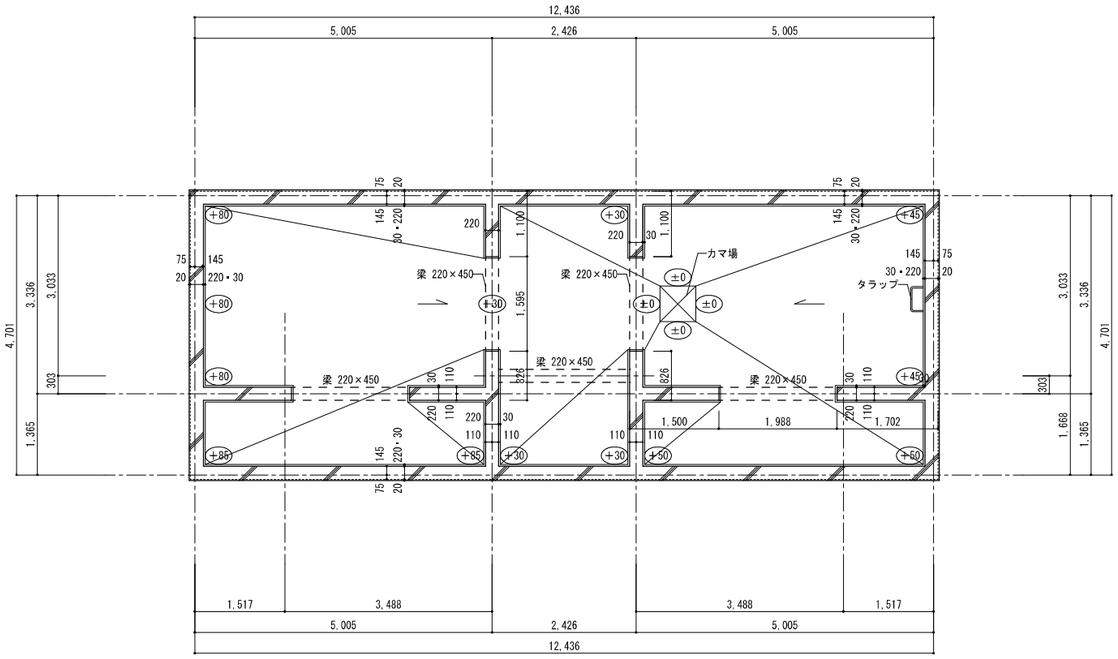
株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二

《ピット凡例》

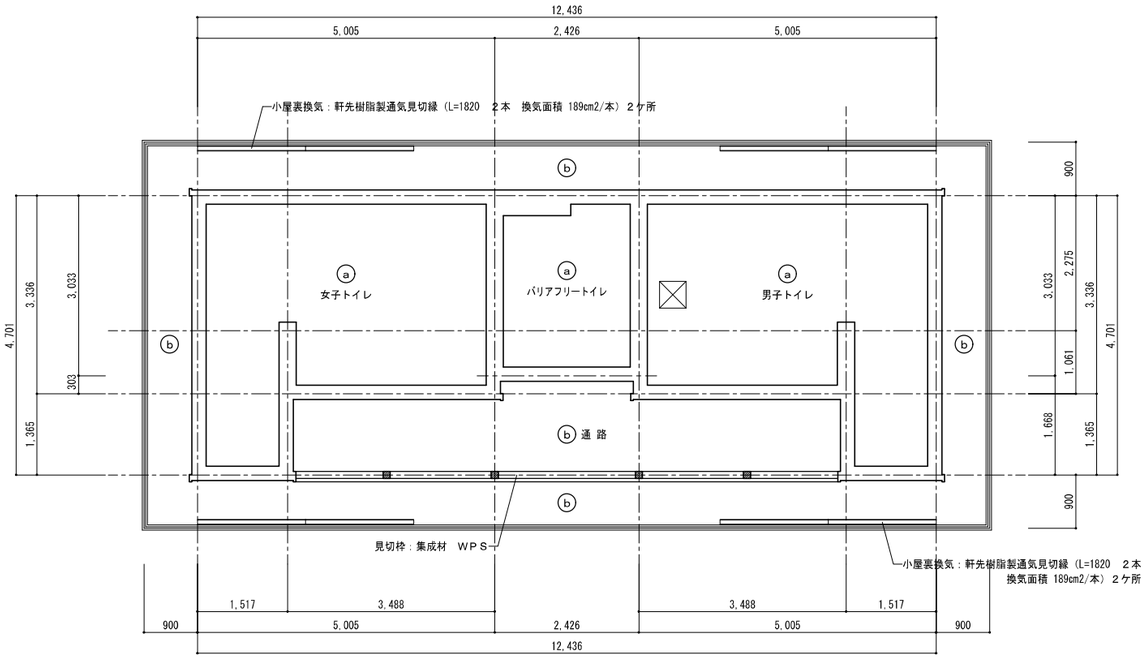
☒	カマ場：600×600×H450
⊓	タラップ：ステンレス製　22φ　W=400　3段
→	水勾配（1/100）

《天井仕上凡例》

ⓐ	木野縁組下地　合板ｔ9捨張り　杉羽目板ｔ12　ＷＰＳ（屋内仕様）
ⓑ	木野縁組下地　合板ｔ9捨張り　杉羽目板ｔ12　ＷＰＳ
☒	天井点検口：アルミ製　450角　1ケ所



ピット図　S=1:50

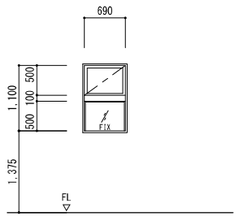
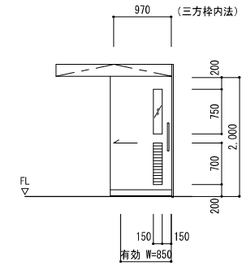
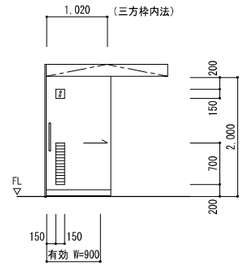
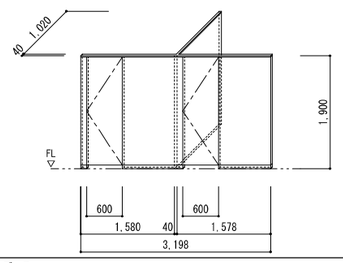
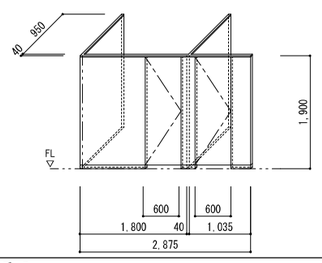


天井伏図　S=1:50

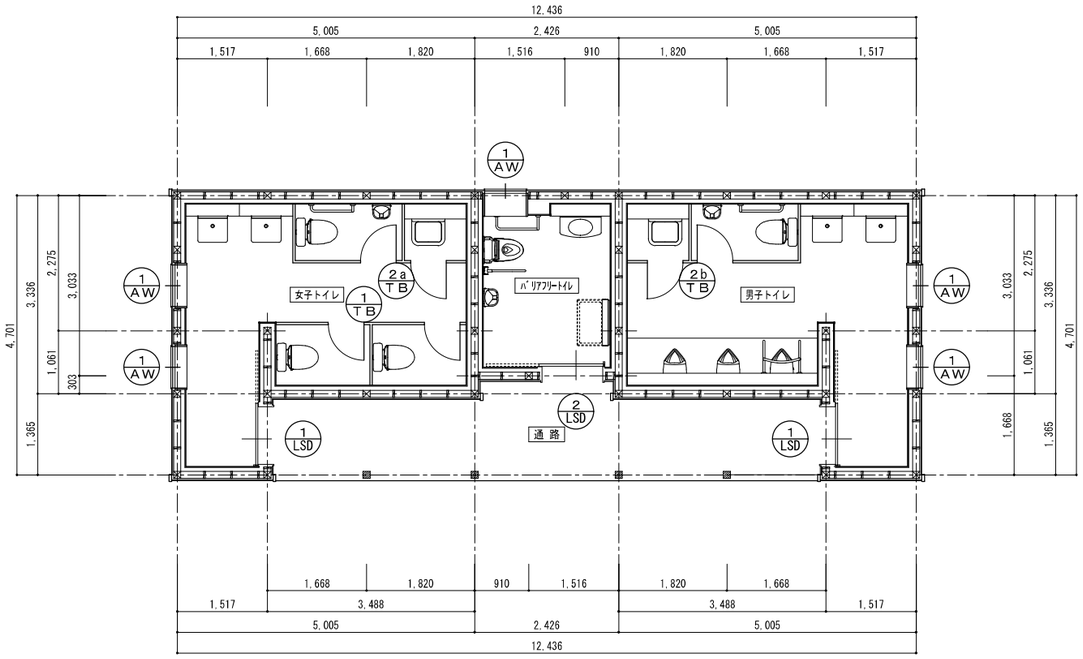
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	トイレ　ピット図・天井伏図［共通］
縮　尺	1：50（A3=1:100）　図面番号：Ａ－312
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

建 具 表　S=1:50

記　号	① AW　女子トイレ・ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ・男子トイレ		
姿　図			
種　類	スベリ出シ窓＋ハメ殺シ窓　住宅用		
口　数	5		
見　込	８６		
材　種	アルミ（複合）　カラー		
金　物	カムラッチハンドル・スベリ出しアーム 他付属金物一式		
硝　子	複層ガラス（型板ｔ4＋A6＋フロートｔ3）		
備　考	網戸		
記　号	① LSD　女子トイレ・男子トイレ	② LSD　バリアフリートイレ	
姿　図			
種　類	軽量額付片引キハンガー戸　ガラリ付	軽量額付片引キハンガー戸　ガラリ付	
口　数	2	1	
見　込	１００	１００	
材　種	スチール　焼付塗装	スチール　焼付塗装	
金　物	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）・引棒（抗菌仕様） シリンダー錠・スチール三方枠・他付属金物一式	ハンガーレール（自閉装置、点検カバー）・引棒（抗菌仕様）・シリンダー錠 表示錠（非常時開錠装置付）・スチール三方枠・他付属金物一式	
硝　子	型板強化ガラスｔ4	型板ガラスｔ4	
備　考	屋外仕様・ステンレス巾木・ガラリ防虫網	屋外仕様・ステンレス巾木・ガラリ防虫網	
記　号	① TB　女子トイレ	② TB　女子トイレ・男子トイレ	
姿　図			
種　類	トイレブース	トイレブース	
口　数	1	2	
見　込	４０	４０	
材　種	高圧メラミン化粧合板（竪牢仕様）	高圧メラミン化粧合板（竪牢仕様）	
金　物	頭つなぎ・ステンレス巾木・Ｒドアエッジ（指はさみ防止構造） グレビティヒンジ・表示付スライドボルト（非常時開錠装置付）・戸当り帽子掛 他付属金物一式	頭つなぎ・ステンレス巾木・Ｒドアエッジ（指はさみ防止構造） グレビティヒンジ・表示付スライドボルト（非常時開錠装置付）・戸当り帽子掛 他付属金物一式	
硝　子			
備　考		姿図は２aを表す、２bは反転とする	

消防法無窓階の検討	
	必要面積　58.46×1/30＝1.95
	有効面積　LSD-1　0.85×2.00×2＝3.40
	判定　1.95 ＜ 3.40　ＯＫ

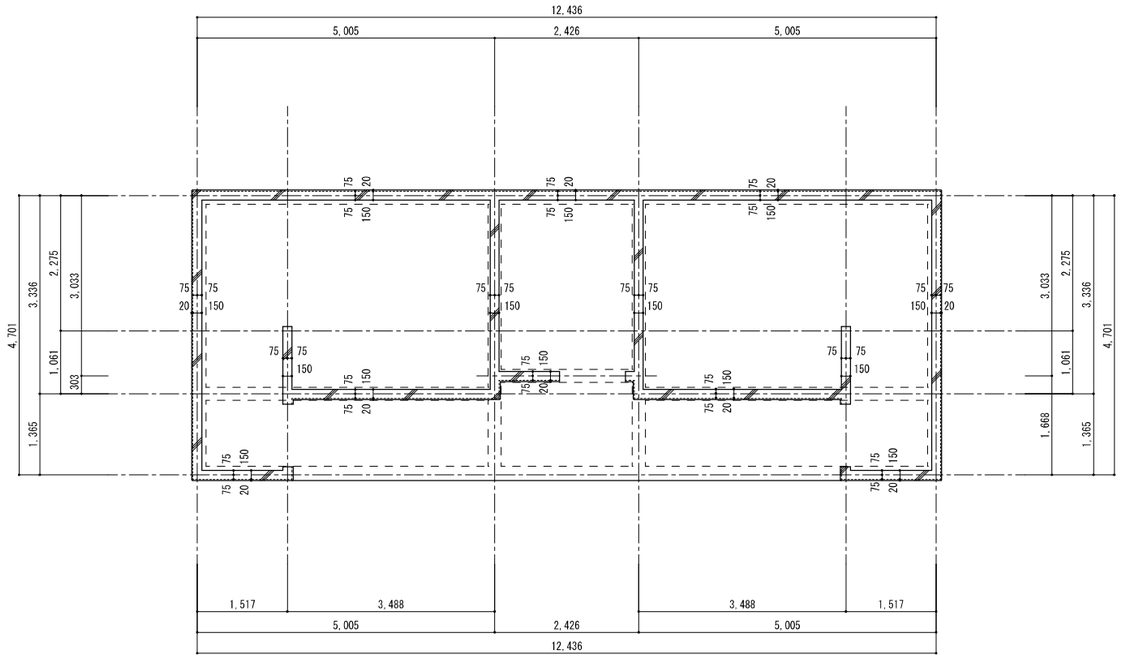


建 具 伏 図　S=1:50

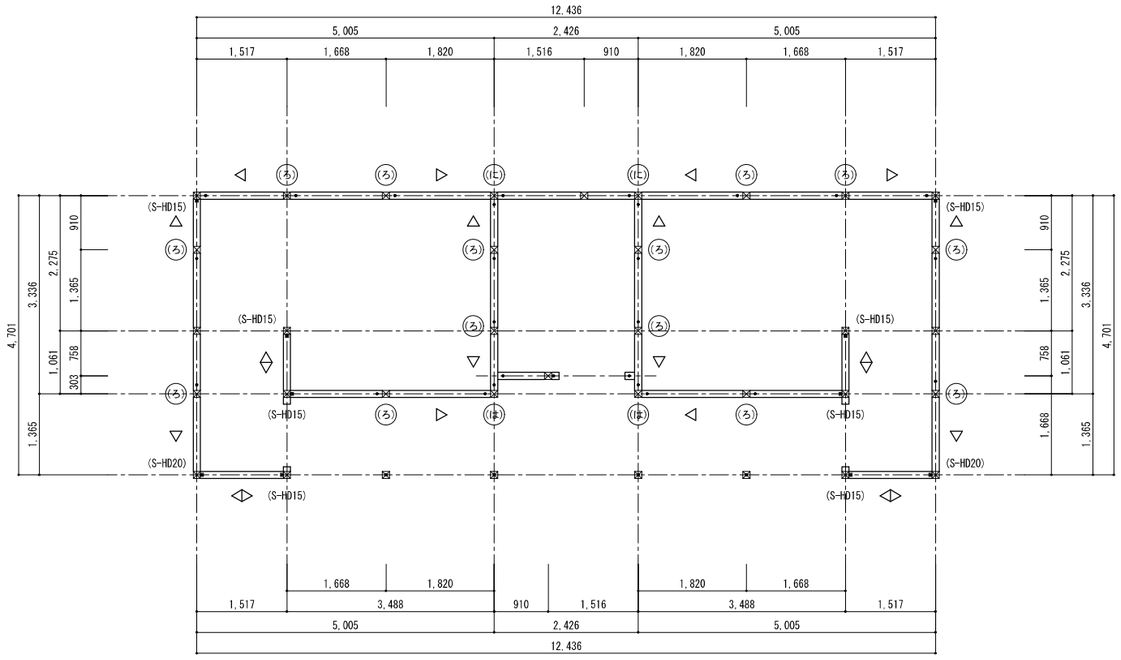
〈共通事項〉
1．寸法は参考寸法とする。
2．特記なき金物はステンレス製とする。
3．ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。
4．サッシ廻りのコーキングは、原則として
　変成シリコーン系とする。
5．必要なケ所は、戸当り付とする。
6．ドア下床見切は、ステンレス製とする。
7．原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。
8．網戸は、合成樹脂製とする。

工事名称	国補　雨長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	トイレ　建具キープラン・建具表［共通］
縮　尺	1：50（A3=1:100）　図面番号　Ａ－313
DATE	： ． ．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



床 伏 図　S=1:50



土台伏図　S=1:50

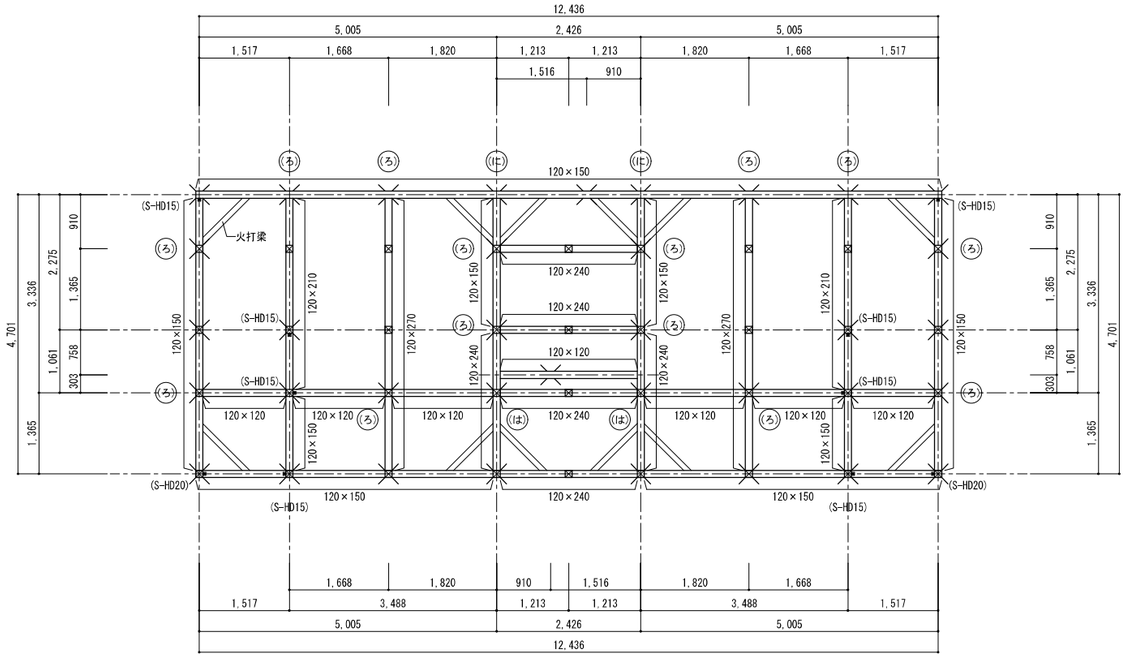
⊠　柱：120×120を示す
•　アンカーボルト：M12　L=450　フック付（位置は柱芯より150mmを基本、埋込み長さ250mm以上とする）
▪　ホールダウン金物（S-HD15、S-HD20）
◁　筋カイ：45×90 シングル位置を示す　　設置方向：[桁]◁[土台]
◁▷　筋カイ：45×90 ダブル(たすき掛け)位置を示す

土　台：防腐土台　120×120（基礎パッキンt20）
柱　：杉（ＫＤ）　120×120

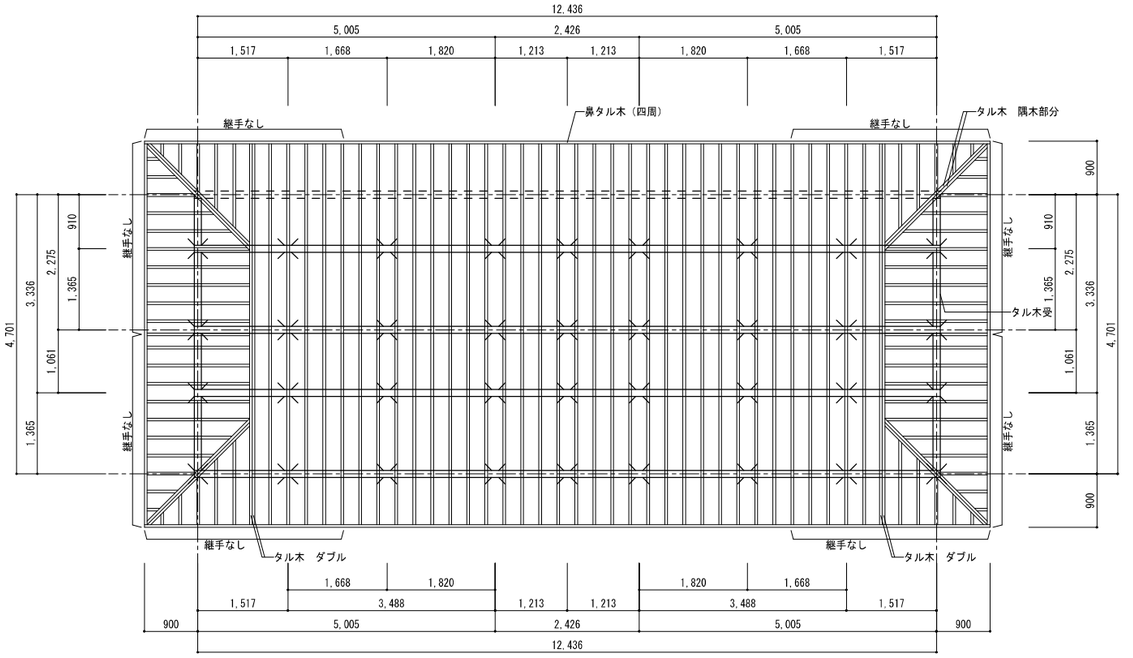
・木材は、ＫＤ材とする。
・アンカーボルトの埋設位置は以下とする。但し、ホールダウン専用アンカーボルトが取り付けられた場合は、省略することができる。
　① 筋違イを設けた耐力壁の両端の柱脚部
　② 土台の継手、仕口箇所の上木端部および土台端部
　③ 上記のほか、@2.7m以内となる位置
・ホールダウン金物以外の柱脚部は、図中の告示記号(ろ)(は)(に)の金物取付とする。
・特記以外の柱脚部は、告示記号(い)以上の金物取付とする。
・筋違部には、筋違金物(壁倍率2.0倍用)取付とする。
・その他接合部(継手、仕口等)は、告示平12建告第1460号による。

工事名称	南長野運動公園フットボール場　クラブハウス外　建築主体工事
図面名称	トイレ　床伏図・土台伏図［共通］
縮　尺	1：50（A3=1:100）
図面番号	Ａ－314
DATE	．　．　．

株 式 会 社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



梁 伏 図　S=1:50



小屋伏図　S=1:50

下部柱：120×120を示す
小屋束：120×120を示す
ホールダウン金物（S-HD15、S-HD20）

柱　：杉　120×120
梁・桁：唐松　120×120・150・210・240・270
火打梁：唐松　90×90
小屋束：杉　120×120

- 木材は、ＫＤ材とする。
- 梁接合部には、羽子板ボルトを取付とする。
- 火打梁には、六角ボルトを取付とする。
- ホールダウン金物以外の柱頭部は、図中の告示記号(ろ)(は)(に)の金物取付とする。
- 特記以外の柱頭部は、告示記号(い)以上の金物取付とする。
- その他接合部(継手、仕口等)は、告示平12建告第1460号による。

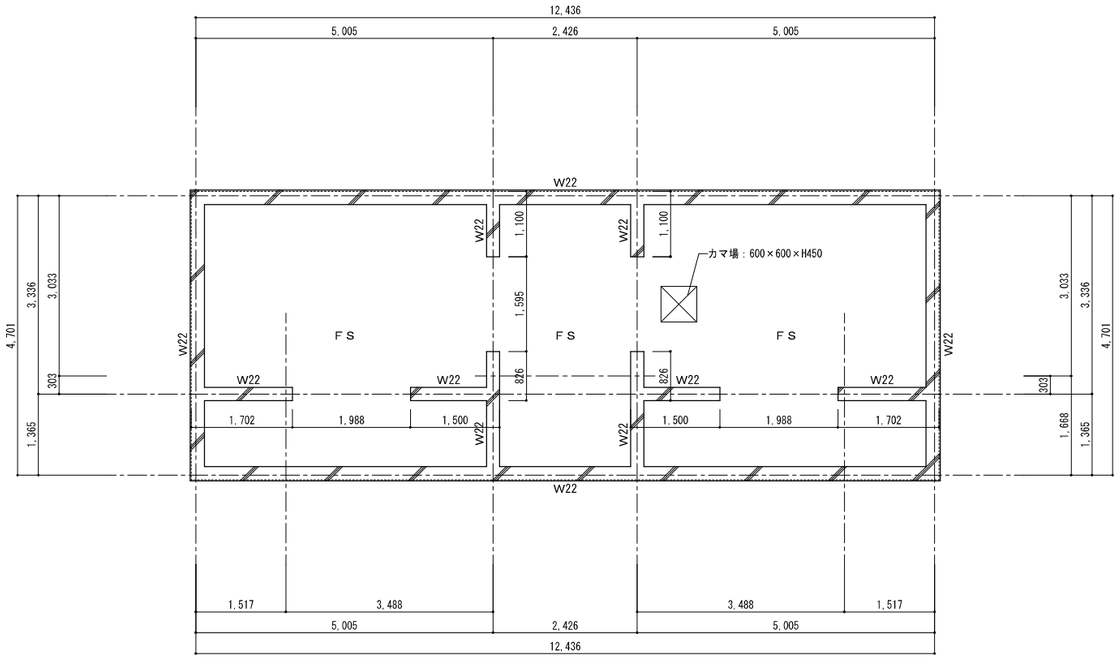
下部小屋束　120×120を示す

小屋束　：杉　120×120
モ　ヤ　：唐松　120×120
タル木　：杉　45×90 ＠303　　隅木部分はダブルとする
タル木受：杉　120×120

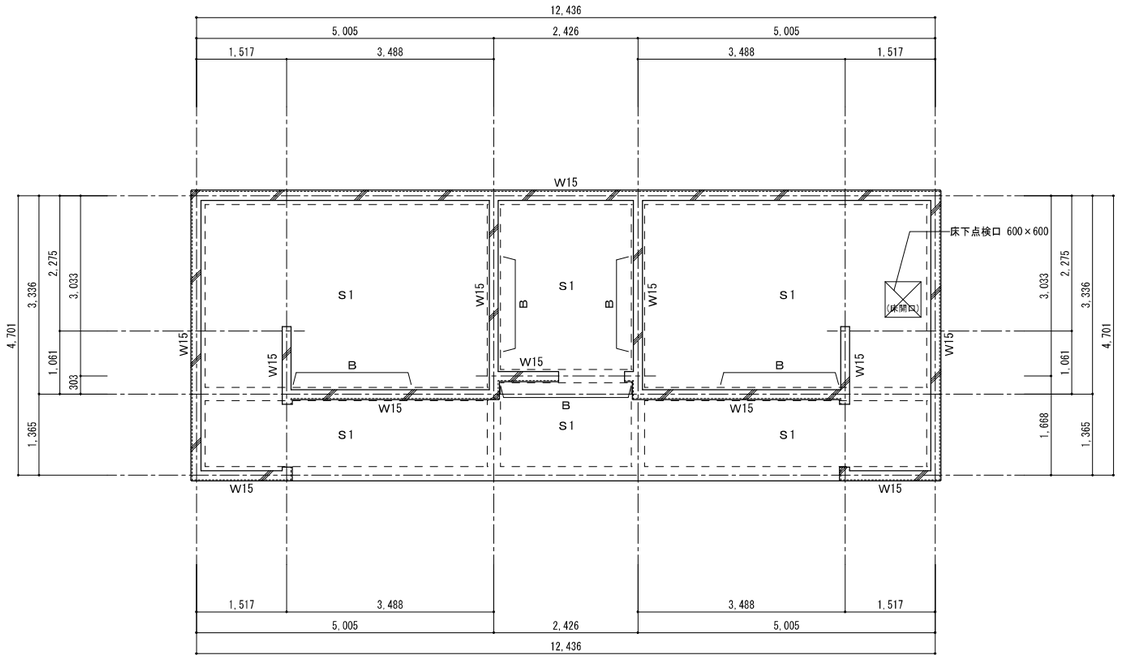
- 木材は、ＫＤ材とする。
- 母屋と垂木は、ひねり金物又は同等品にて接合とする。
- 小屋束は、かすがいにて接合とする。
- その他接合部(継手、仕口等)は、告示平12建告第1460号による。

工事名称　：南長野運動公園フットボール場　クラブハウス外　建築主体工事
図面名称　：梁伏図・小屋伏図［共通］
縮　尺　：　1：50（A3=1:100）　図面番号　：　Ａ－315
DATE　：　.　.

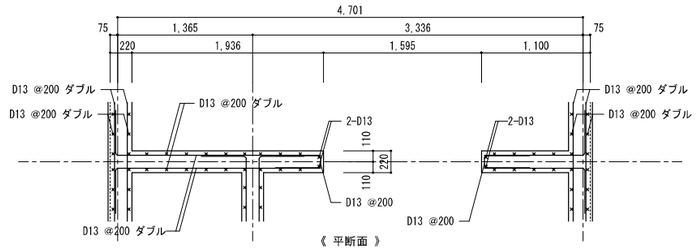
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

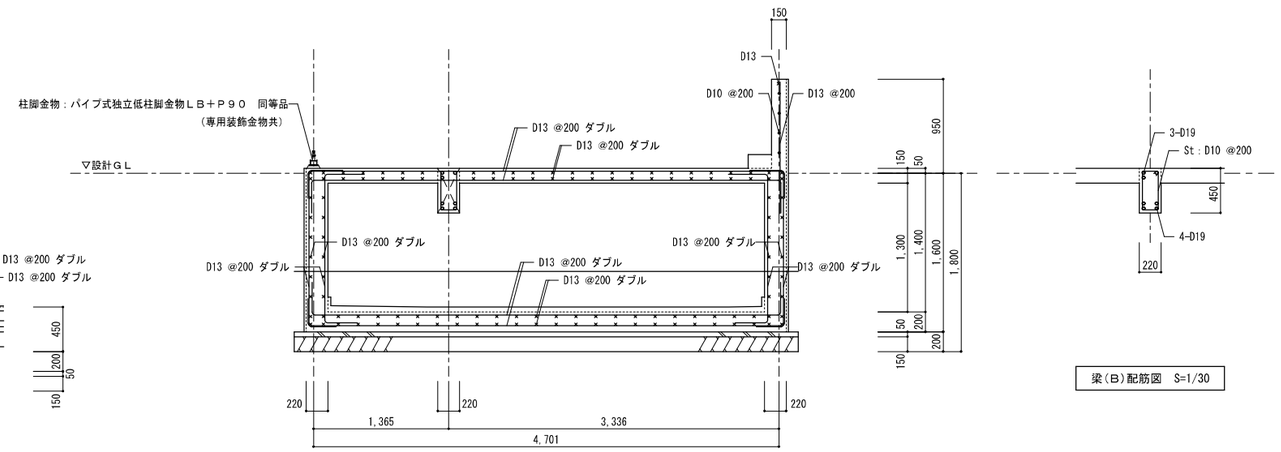


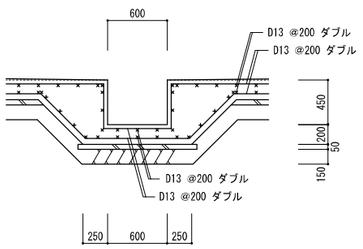
ピット底盤図　S=1:50



基礎伏図　S=1:50







カマ場 配筋図　S=1/30

配筋要領図　S=1/30

梁(B)配筋図　S=1/30

スラブリスト

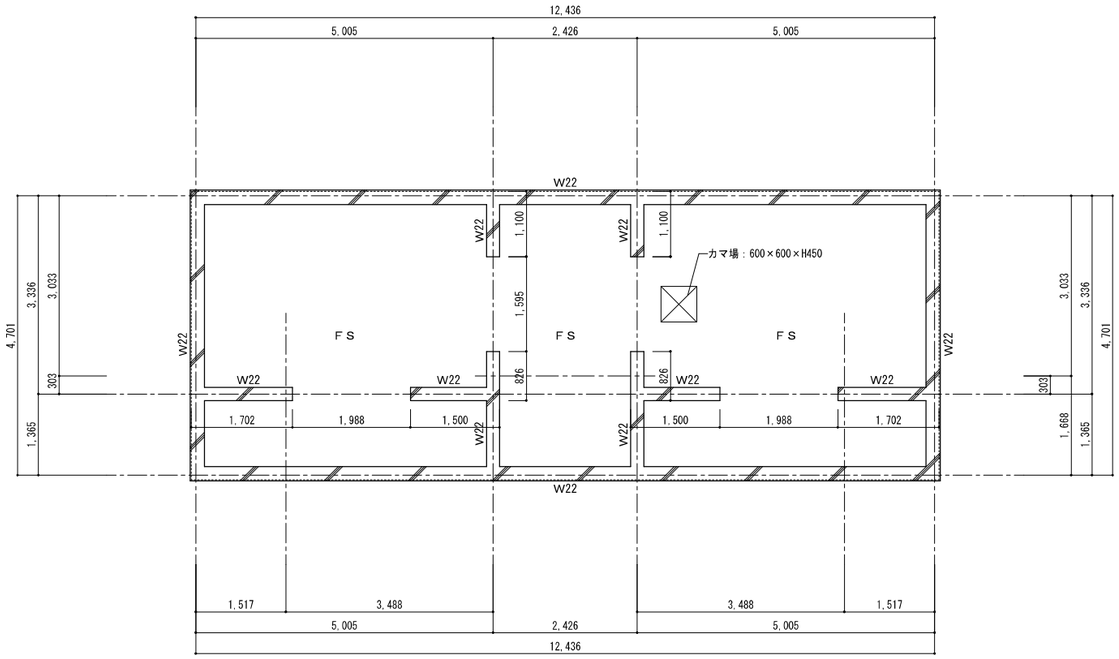
符　号	スラブ厚		短辺方向主筋	長辺方向主筋	備　考
ＦＳ	200	上	D13 @200	D13 @200	
		下	D13 @200	D13 @200	
S1	150	上	D13 @200	D13 @200	開口補強筋 縦・横：各2-D13（上下） 斜め　：各2-D13（上下間）
		下	D13 @200	D13 @200	

壁リスト

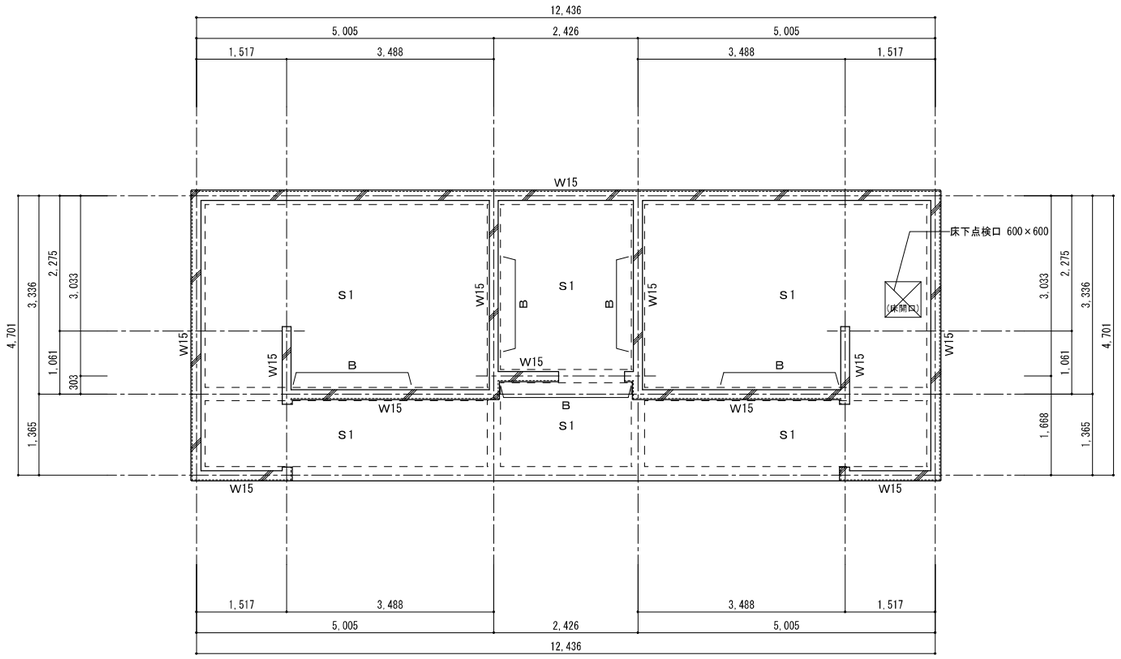
符　号	壁厚	縦　筋	横　筋	備　考
W22	220	D13@200ダブル	D13@200ダブル	
				巾止め筋：D10@1000
W15	150	D13@200	D10@200 端部：D13	

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	トイレ　基礎詳細図［トイレ１］
縮　尺	1：50（A3=1:100） 1：30（A3=1：60）
図面番号	Ａ－316
DATE	．　．　．

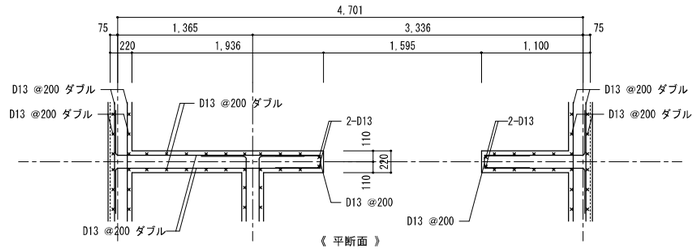
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

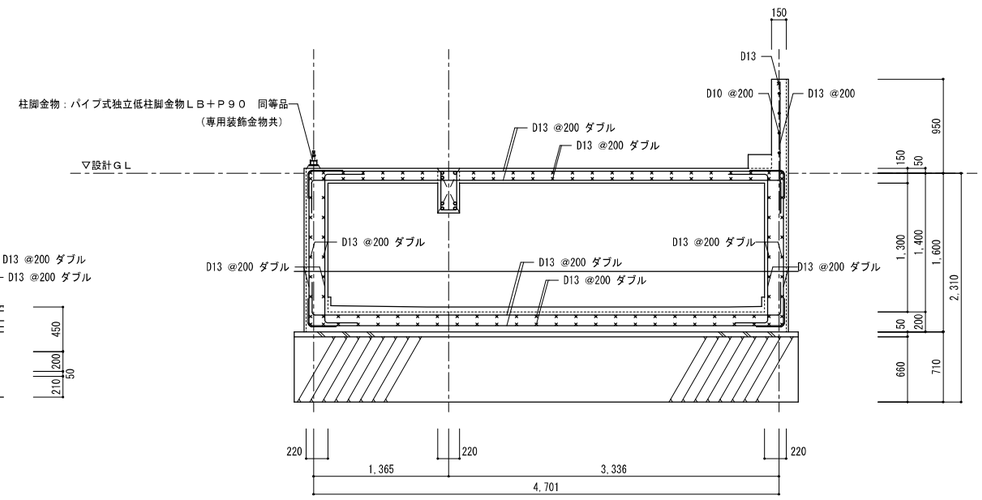


ピット底盤図　S=1:50

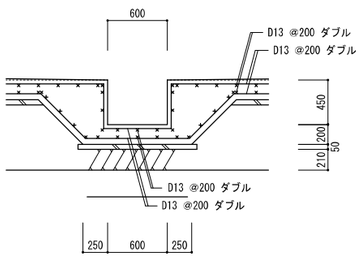


基礎伏図　S=1:50

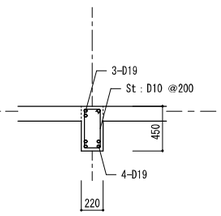




配筋要領図　S=1/30



カマ場 配筋図　S=1/30



梁(B)配筋図　S=1/30

スラブリスト

符　号	スラブ厚		短辺方向主筋	長辺方向主筋	備　考
ＦＳ	200	上	D13 @200	D13 @200	
		下	D13 @200	D13 @200	
S1	150	上	D13 @200	D13 @200	開口補強筋 縦・横：各2-D13（上下） 斜め　：各2-D13（上下間）
		下	D13 @200	D13 @200	

壁リスト

符　号	壁厚	縦　筋	横　筋	備　考
W22	220	D13@200ダブル	D13@200ダブル	
				巾止め筋：D10@1000
W15	150	D13@200	D10@200 端部：D13	

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	トイレ　基礎詳細図［トイレ２］
縮　尺	1：50（A3=1:100） 1：30（A3=1：60）
図面番号	Ａ－317
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

木 造 壁 量 計 算 表　（建築基準法施行令第46条）

《表 1》　設 計 壁 量（倍率×単位壁長×ケ所）

	軸 組 の 種 類	倍 率	設計壁量（単位壁長 × ケ所） X 方向 2 階	X 方向 1 階	Y 方向 2 階	Y 方向 1 階
(1)	土塗壁又は木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面に打ち付けた壁を設けた軸組	0.5				
(2)	木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組	1.0				
	厚さ1.5センチメートルで幅9センチメートルの木材もしくは径9ミリメートルの鉄筋又はこれらと同等以上の耐力を有する筋違を入れた軸組					
(3)	厚さ3センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋違を入れた軸組	1.5				
(4)	厚さ4.5センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋違を入れた軸組	2.0		151×2 182×4		91×4 106×2 136×2
(5)	9センチメートル角の木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋違を入れた軸組	3.0				
(6)	(2)から(4)までに掲げる筋違をたすき掛けに入れた軸組	(2)(3)(4)倍数×2		151×2		106×2
(7)	(5)に掲げる筋違をたすき掛けに入れた軸組	5.0				
(8)	その他建設大臣が(1)～(7)までに掲げる軸組と同等以上の耐力を有するものと認めて定める軸組					
(9)	(1)又は(2)に掲げる壁と(2)から(6)までに掲げる筋違を併用した軸組	(1)・(2)と(2)～(6)との合計				
設計壁量の合計（cm）				3268		2544
※ 上の数値が必ず下の数値以上であること。			Ⅶ	Ⅶ	Ⅶ	Ⅶ
必 要 壁 量（cm）				818		1879
or：いづれか大きい数値				①or③	①or⑤	②or⑥

【２階平面必要壁量】

２階床面積		表２の数値		必要壁量（cm）	
	×		=		・・①

【１階平面必要壁量】

１階床面積		表２の数値		必要壁量（cm）	
58.46	×	14	=	818	・・②

【Ｘ面立面必要壁量】

２階見付面積		表３の数値		必要壁量（cm）	
	×		=		・・③
１階見付面積		表３の数値		必要壁量（cm）	
10.78	×	50	=	539	・・④

【Ｙ面立面必要壁量】

２階見付面積		表３の数値		必要壁量（cm）	
	×		=		・・⑤
１階見付面積		表３の数値		必要壁量（cm）	
37.58	×	50	=	1879	・・⑥

《表 2》　荷重の実態によって定まる壁量

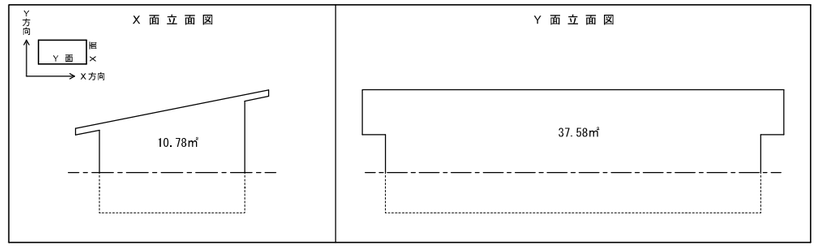
		単位床面積当たりの必要壁量Ｌｗ（単位 cm/㎡） 平屋	２階建て １階	２階建て ２階
⊙	早 見 表	14		
・	表計算ツール			

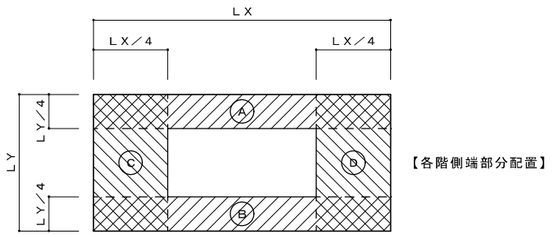
※ 早見表、及び表計算ツールは、（公財）日本住宅・木材技術センターの設計支援ツールを使用。

《表 3》　風圧力によって定まる壁量

		区 域	見付面積に乗ずる数値（単位 cm/㎡）
・	(1)	特定行政庁がその地方における過去の風の記録を考慮してしばしば強い風が吹くと認めて規則で指定する区域	50を超え、75以下の範囲内において特定行政庁がその地方における風の状況に応じて規則で定める数値
⊙	(2)	(1)に掲げる区域以外の区域	50

（注）梁に鉄骨を用いる場合は柱との取付詳細図を添付し、床面の水平剛性はどのように考慮してあるか明記して下さい。





【各階側端部分配置】

【２階側端部分壁量充足率】

		存在壁量		側端部分床面積		表２の数値		壁量充足率
《Ｘ方向》	A		／		×		=	
	B		／		×		=	
《Ｙ方向》	C		／		×		=	
	D		／		×		=	

【１階側端部分壁量充足率】

		存在壁量		側端部分床面積		表２の数値		壁量充足率
《Ｘ方向》	A	1332	／	14.615	×	14	=	6.50
	B	1208	／	14.615	×	14	=	5.90
《Ｙ方向》	C	878	／	14.615	×	14	=	4.29
	D	878	／	14.615	×	14	=	4.29

【２階耐力壁配置の検討】

Ｘ方向　□ 両方の壁量充足率＞1.0　□ 壁率比 ≧ 0.5

Ｙ方向　□ 両方の壁量充足率＞1.0　□ 壁率比 ≧ 0.5

【１階耐力壁配置の検討】

Ｘ方向　☑ 両方の壁量充足率＞1.0　☑ 壁率比 ≧ 0.5

Ｙ方向　☑ 両方の壁量充足率＞1.0　☑ 壁率比 ≧ 0.5

（※ 壁率比：壁量充足率の小さい数値／大きい数値）

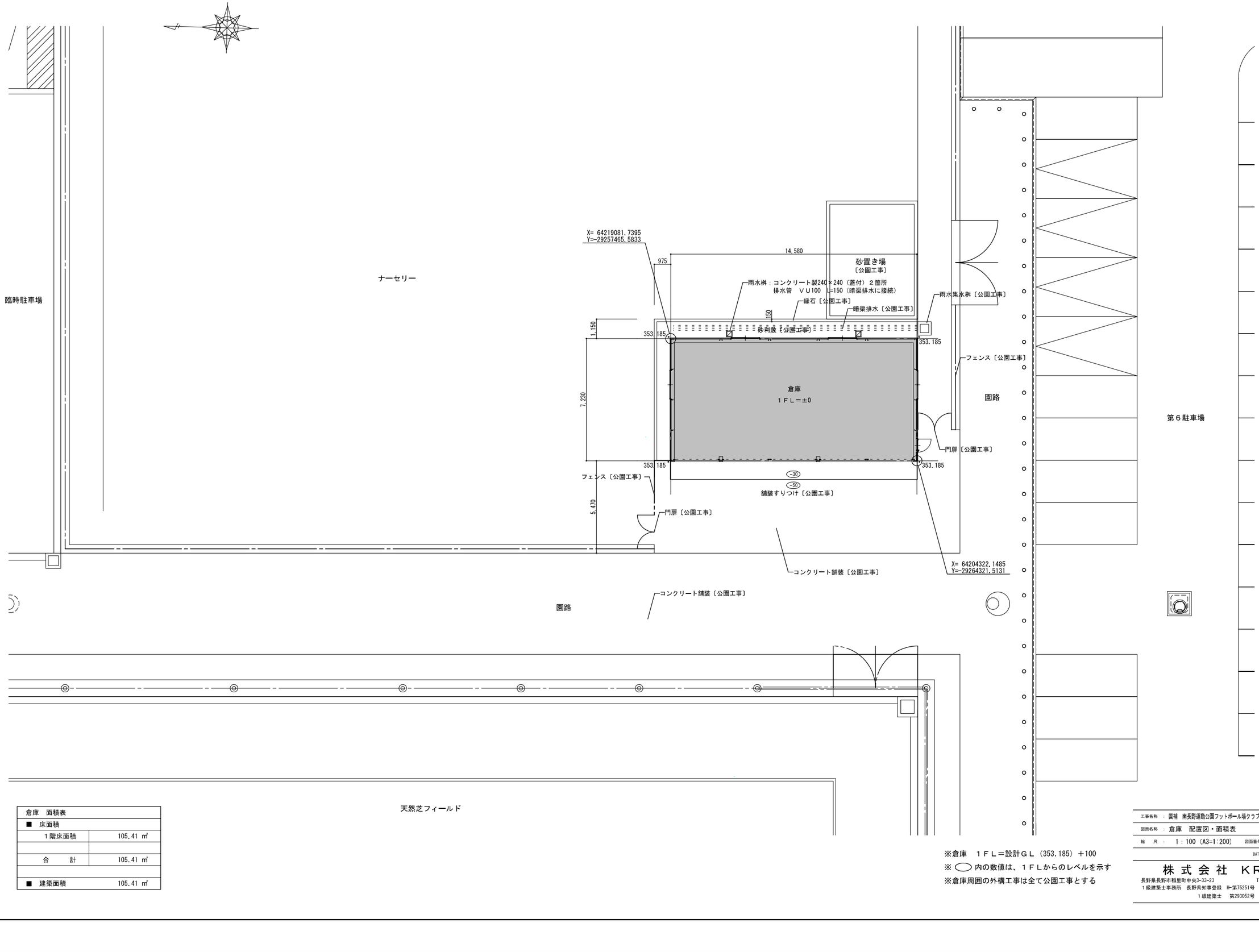
柱の小径の検討　（建築基準法施行令第43条）

		柱の必要小径ｄｅ（単位 mm） 平屋 ｄｅ/Ｌ	平屋 ｄｅ(mm)以上	２階建て １階 ｄｅ/Ｌ	２階建て １階 ｄｅ(mm)以上	２階建て ２階 ｄｅ/Ｌ	２階建て ２階 ｄｅ(mm)以上
⊙	早 見 表	1/30	90				
・	表計算ツール						

※ 早見表、及び表計算ツールは、（公財）日本住宅・木材技術センターの設計支援ツールを使用。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	トイレ　壁量計算表［トイレ１・２］
縮　尺	NON
図面番号	Ａ－318
DATE	．　．

株 式 会 社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

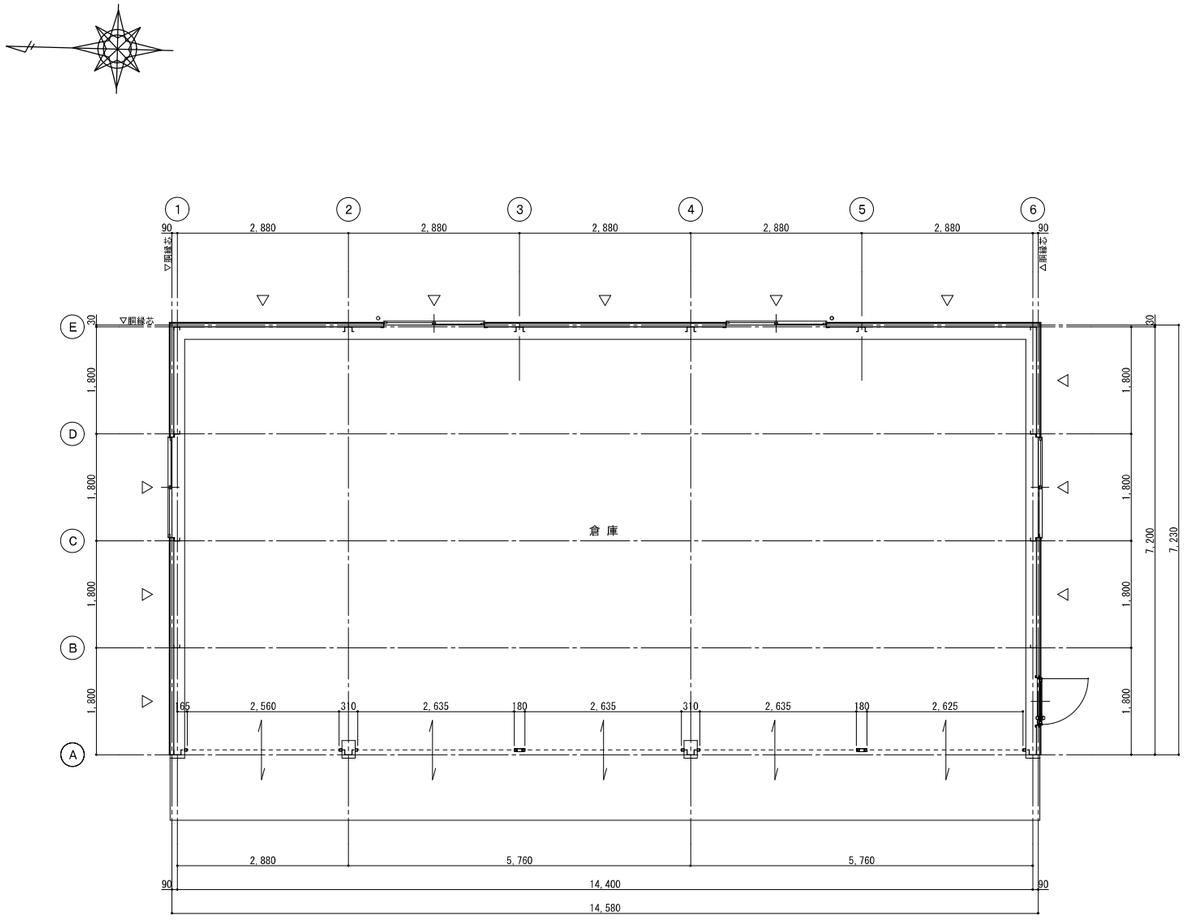


倉庫　面積表	
■　床面積	
１階床面積	105.41 ㎡
合　　計	105.41 ㎡
■　建築面積	105.41 ㎡

※倉庫　１ＦＬ＝設計ＧＬ（353.185）＋100
※ ◯ 内の数値は、１ＦＬからのレベルを示す
※倉庫周囲の外構工事は全て公園工事とする

工事名称　：　国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称　：　倉庫　配置図・面積表
縮　尺　：　1：100（A3=1:200）　図面番号　：　Ａ－401
DATE　：　.　.

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



平面図　S=1:50

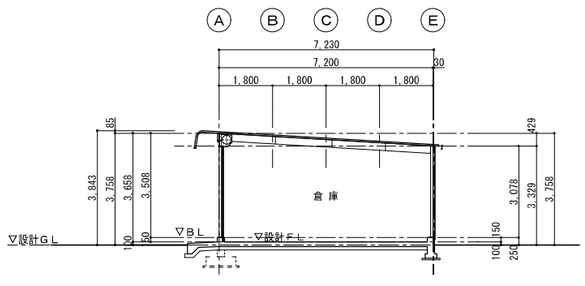
※▽印はブレース位置を示す

設計ＧＬ＝353.185

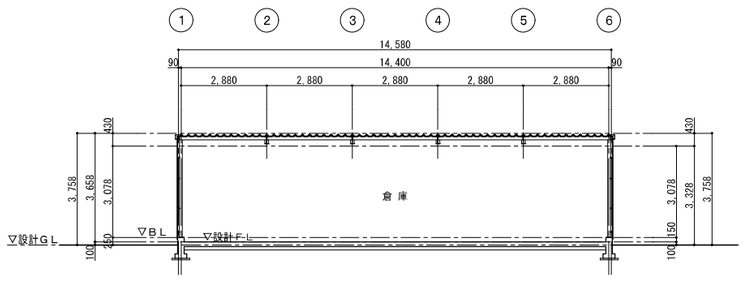
※倉庫は危険物の貯蔵は行わない。

建築面積：14.58×7.23＝105.41㎡

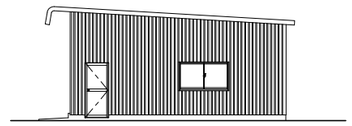
床面積：　14.58×7.23＝105.41㎡



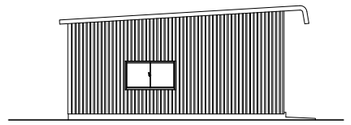
４通り断面図　S=1:100



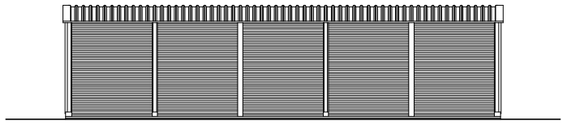
Ｂ通り断面図　S=1:100



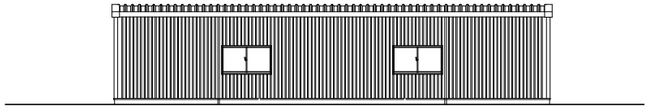
南面立面図　S=1:100



北面立面図　S=1:100



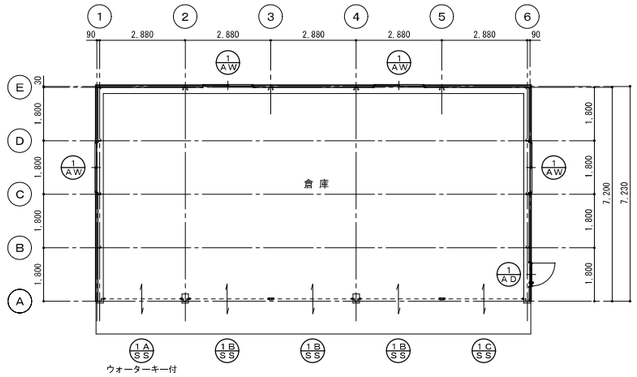
西面立面図　S=1:100



東面立面図　S=1:100

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	倉庫　平面図・立面図・断面図
縮　尺	1:100・50(A3=1:200・100)　図面番号：Ａ－402
DATE	．．．

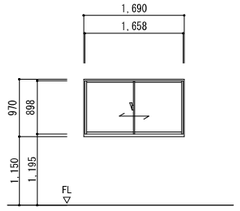
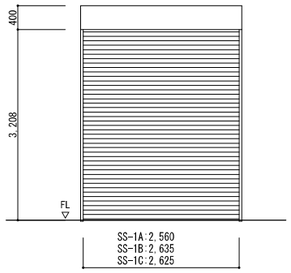
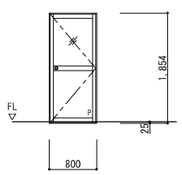
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

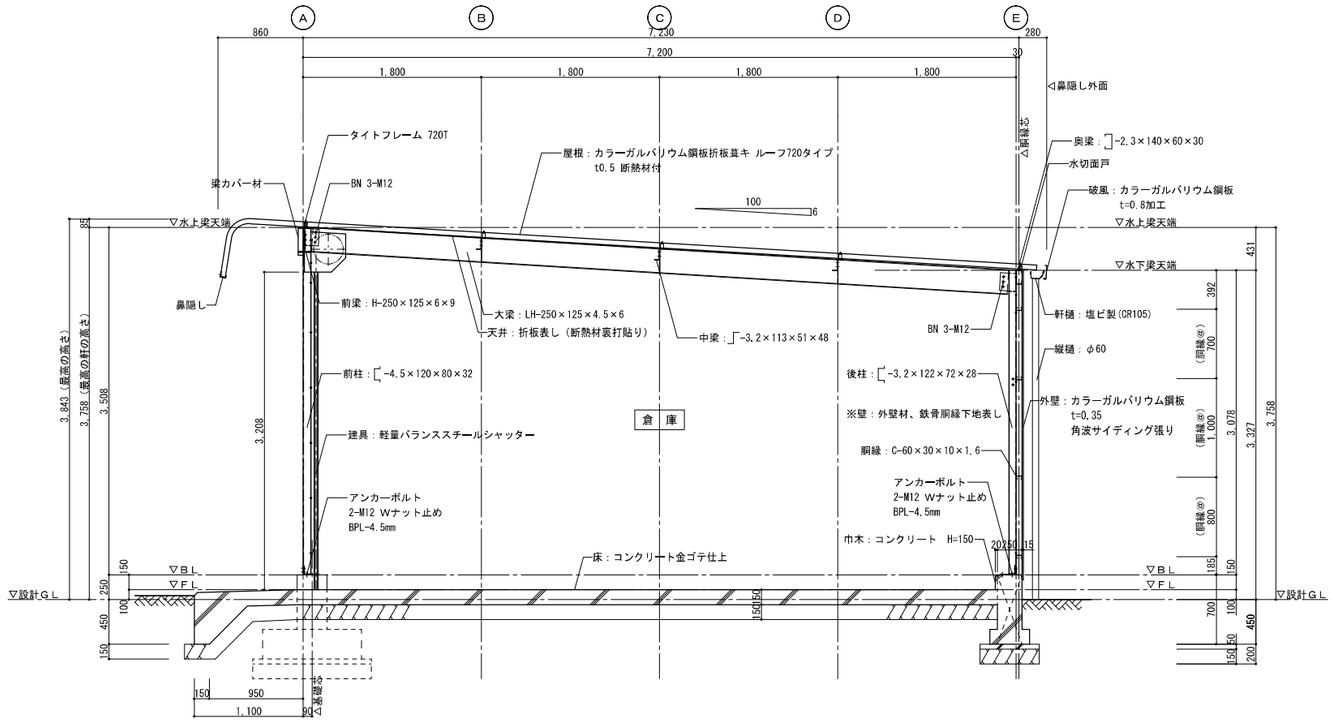


建具キープラン　S=1:100

消防法無窓階の検討		(㎡)
	必要面積	105.41×1/30=3.51
	有効面積　SS-1A	2.56×3.208×1=8.21
	AD-1	0.80×1.854×1=1.48
	計	9.69
	判定	3.51 ＜ 9.69　　OK

建　具　表　　S=1:50

記　号	1 AW	倉庫	1A SS×1　1B SS×3　1C SS×1	倉庫
姿　図				
種　類	引キ違イ窓　　鉄骨用半外付		軽量バランススチールシャッター（手動）	
口　数	4		5	
見　込	６５			
材　種	カラーアルミ		ステール　　スラット：カラー鋼板 t 0.5	
金　物	クレセント 他付属金物一式		鍵、巻取シャフト、ブラケットケース、 ガイドレール、座板、他付属金物一式	
硝　子	型板ガラス t 4			
備　考			SS-1A：ウォーターキー	
記　号	1 AD	倉庫		
姿　図				
種　類	片開キ框ドア			
口　数	1			
見　込	３０			
材　種	カラーアルミ			
金　物	握り玉・シリンダー錠・丁番 他付属金物一式			
硝　子	型ガラスt4・アルミパネル			
備　考				

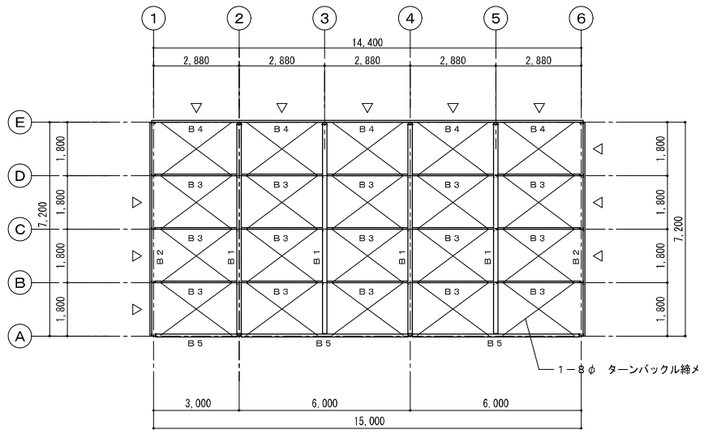


矩計図　S=1:30

〈共通事項〉
1．寸法は参考寸法とする。
2．特記なき金物はステンレス製とする。
3．ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。
4．サッシ廻りのコーキングは、原則として変成シリコーン系とする。

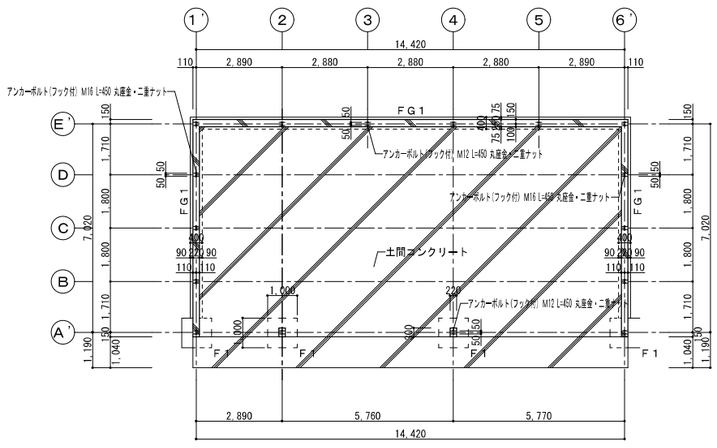
工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	倉庫　矩計図・建具表
縮　尺	1:50・30 (A3=1:100・60)
図面番号	Ａ－403
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



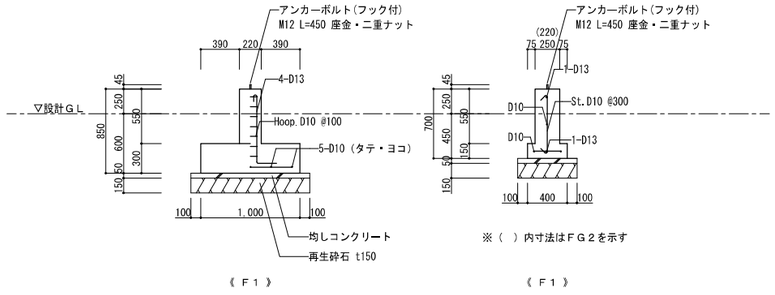
梁伏図　S=1:100

※ ▽印は壁ブレース位置を示す



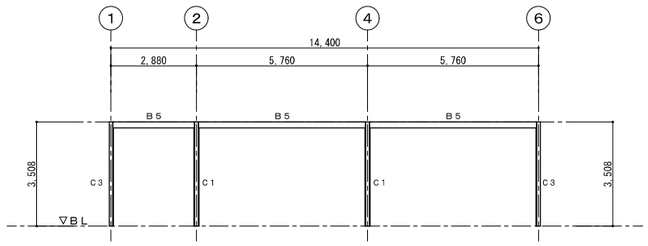
基礎伏図　S=1:100

※ 土間コンクリートは t 150、配筋：D13 @200 タテ・ヨコ

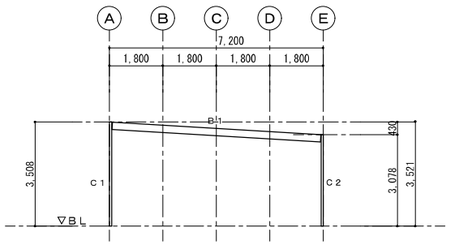


基礎詳細図　S=1:30

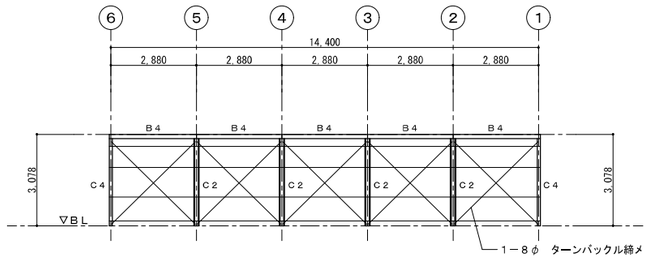
※基礎底面において、地耐力30KN/㎡（長期）以上を確認すること。
なお、基準値を下回る場合は、基礎形状および地盤改良について監督員と協議すること。



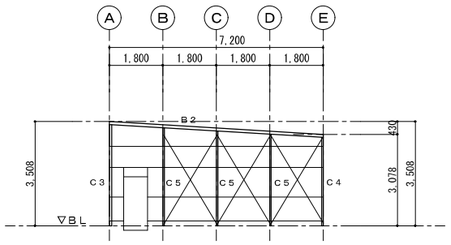
A通り軸組図　S=1:100



2通り軸組図　S=1:100



E通り軸組図　S=1:100



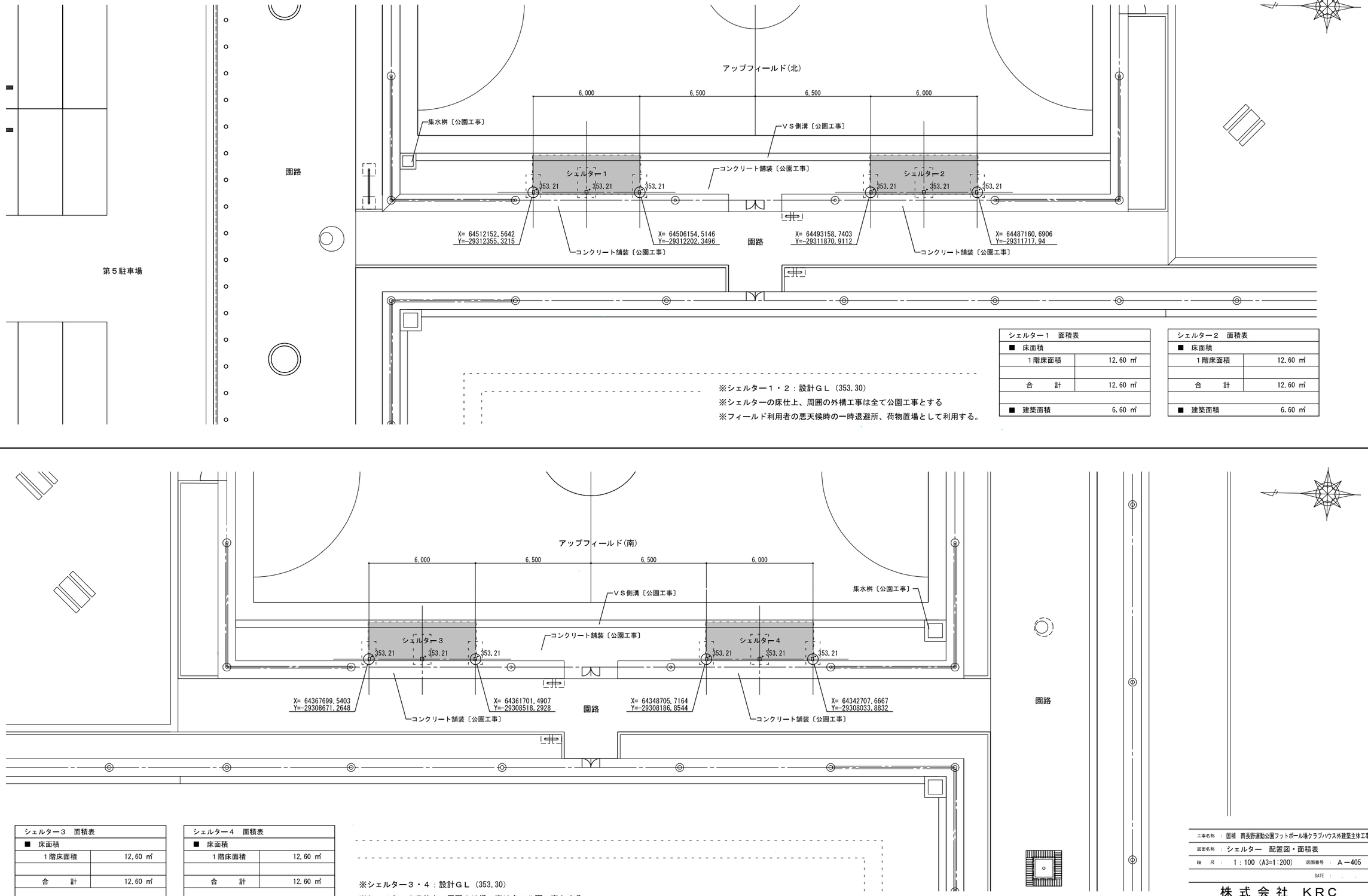
6通り軸組図　S=1:100

部 材 リ ス ト

符 号	メ ン バ ー
C1	┌－4．5x120x80x32
C2	┌－3．2x122x72x28
C3	┌－4．5x120x80x76x32
C4	┌－4．5x100×60
C5	┌－3．2x100x50
B1	LH－250x125x4．5x6
B2	└－2．3x15×110x60x30
B3	┐－3．2x113x51x48
B4	┐－2．3x140x60x30
B5	H－250x125x6x9
胴縁	C－60x30x10x1．6
小屋ブレース	1－8φ　ターンバックル締メ
柱ブレース	1－8φ　ターンバックル締メ

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	倉庫　構造図
縮　尺	1:100・30(A3=1:200・60)　図面番号　A－404
DATE	．　．　．

株式会社　KRC
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
1級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
1級建築士　第293052号　渡利　真二



シェルター１　面積表	
■　床面積	
１階床面積	12.60 ㎡
合　　計	12.60 ㎡
■　建築面積	6.60 ㎡

シェルター２　面積表	
■　床面積	
１階床面積	12.60 ㎡
合　　計	12.60 ㎡
■　建築面積	6.60 ㎡

※シェルター１・２：設計ＧＬ（353.30）
※シェルターの床仕上、周囲の外構工事は全て公園工事とする
※フィールド利用者の悪天候時の一時退避所、荷物置場として利用する。

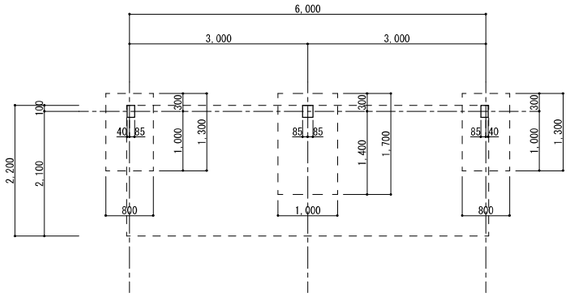
シェルター３　面積表	
■　床面積	
１階床面積	12.60 ㎡
合　　計	12.60 ㎡
■　建築面積	6.60 ㎡

シェルター４　面積表	
■　床面積	
１階床面積	12.60 ㎡
合　　計	12.60 ㎡
■　建築面積	6.60 ㎡

※シェルター３・４：設計ＧＬ（353.30）
※シェルターの床仕上、周囲の外構工事は全て公園工事とする
※フィールド利用者の悪天候時の一時退避所、荷物置場として利用する。

工事名称　：　国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称　：　シェルター　配置図・面積表
縮　尺　：　1：100（A3=1:200）　図面番号　：　Ａ－405
DATE　：　.　.

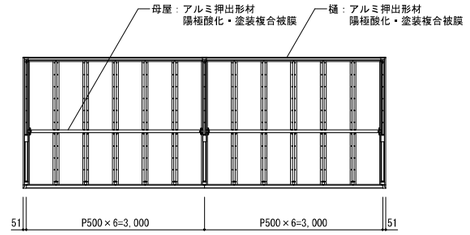
株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　Ⅱ-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二



平面図　S=1:50

※シェルター１：設計ＧＬ＝353.21

※シェルター２：設計ＧＬ＝353.21

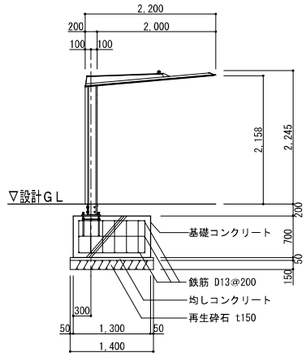


屋根伏図　S=1:50

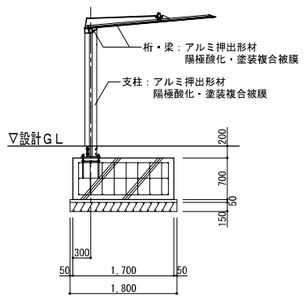
シェルター面積算定

建築面積：6.0×1.1＝6.6㎡（屋根先端より1m後退）

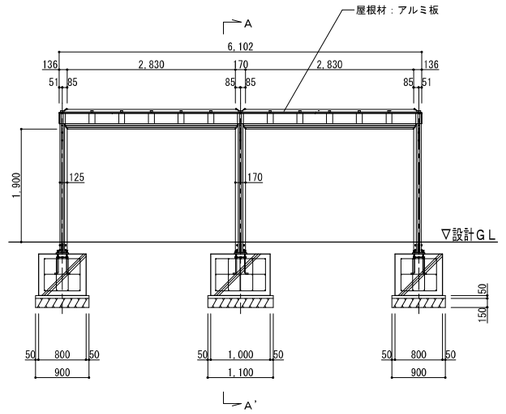
床面積：　6.0×2.1＝12.6㎡



立面・断面図　S=1:50



A-A'断面図　S=1:50



立面・断面図　S=1:50

※基礎底面において、地耐力50KN/㎡（長期）以上を確認すること。
　なお、基準値を下回る場合は、基礎形状および地盤改良について監督員と協議すること。

※国土交通省告示第410号（平成１４年5月１４日）に適合するアルミニウム合金造とする。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	シェルター　詳細図
縮　尺	1：50（A3=1:100）
図面番号	Ａ－406
DATE	．　．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

352.73

隣地境界線

井水受水槽＋基礎〔公園工事〕

〔植栽〕

フェンス〔公園工事〕

X= 64348427.9544
Y=-29231952.4246

3.000

353.30

353.30

四阿

水飲み〔公園工事〕

3.000

353.30

353.30

X= 64345352.444
Y=-29234874.9638

ＶＳ側溝〔公園工事〕

東駐車場−２

歩車道境界ブロック〔公園工事〕

園路

芝生広場

臨時駐車場

ベンチ〔公園工事〕

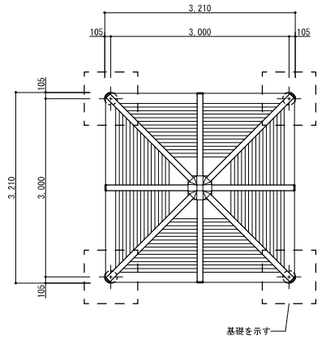
四阿　面積表	
■　床面積	
１階床面積	9.00 ㎡
合　　計	9.00 ㎡
■　建築面積	9.00 ㎡

※四阿　設計ＧＬ（353.30）

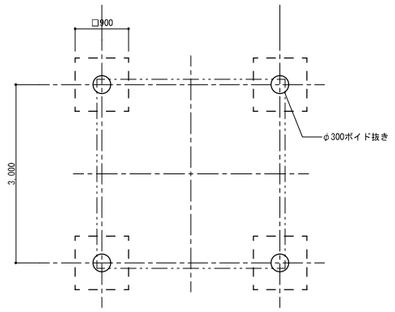
※四阿の床仕上、ベンチ、周囲の外構工事は全て公園工事とする

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	四阿　配置図・面積表
縮　尺	１：100（A3=1:200）
図面番号	Ａ−407
DATE	. .

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二

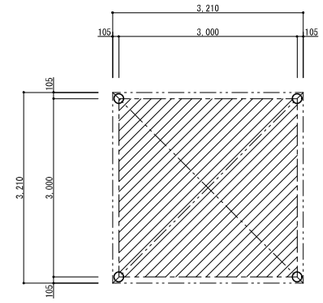


屋根伏図　S=1:50



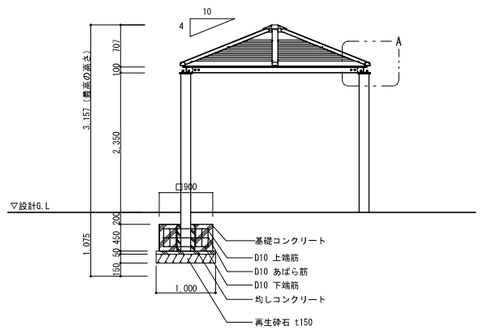
平面図　S=1:50

※設計ＧＬ＝353.30

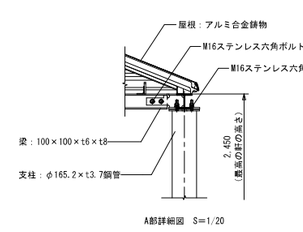


四阿面積算定
建築面積：3.0m×3.0m＝9.0㎡
床面積：　3.0m×3.0m＝9.0㎡

求積図　S=1:50



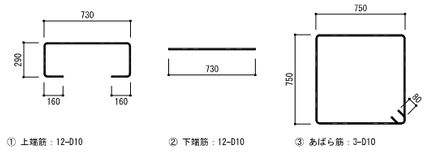
立面・断面図　S=1:50



屋根材	材料
アルミ合金鋳物	AC7A

A部詳細図　S=1/20

A部詳細図　S=1:20



① 上端筋：12-D10　② 下端筋：12-D10　③ あばら筋：3-D10

※鉄筋加工図は標準参考図です。

鉄筋加工図　S=1:25

鉄筋重量表　（基礎1ヶ所当り）

番号	種別	鉄筋径	長さ（mm）	本数	単位重量（kg/m）	1本当り重量（kg）	総重量（kg）
①	上端筋	D10	1,630	12	0.56	0.91	10.92
②	下端筋	D10	730	12	0.56	0.41	4.92
③	あばら筋	D10	3,160	3	0.56	1.77	5.31
						合計	21.15　kg

※基礎底面において、地耐力50KN/㎡（長期）以上を確認すること。
　なお、基準値を下回る場合は、基礎形状および地盤改良について監督員と協議すること。

屋根：アルミ合金鋳物　合成樹脂塗装（アースグレー）
支柱：φ165.2×t3.7鋼管　溶融亜鉛メッキ　合成樹脂塗装（アースグレー）
梁　：H-100×100×t6×t8H型鋼　溶融亜鉛メッキ　合成樹脂塗装（アースグレー）

※ISO9001 / ISO14001認証取得企業の製品とする。
※(一社)日本公園施設業協会　SPL表示認定企業製品とする。
※(一社)日本公園施設業協会団体賠償責任保険に加入した製品とする。
※使用建材は規制対象外の建材とする。

工事名称	国補　南長野運動公園フットボール場クラブハウス外建築主体工事
図面名称	四阿　詳細図
縮尺	1：50（A3=1:100）
図面番号	Ａ－408
DATE	．．．

株式会社　ＫＲＣ
長野県長野市稲里町中央3-33-23　TEL 026-285-7670
１級建築士事務所　長野県知事登録　H-第75251号
１級建築士　第293052号　渡利　真二